

あら お みなみ

荒尾南遺跡 B 地区 I

(第3分冊)

2 0 1 2

岐阜県文化財保護センター

目次（第3分冊）

第3章 調査の成果

遺物観察表

第4章 案遺跡	121
第1節 調査に至る経緯	121
第2節 遺跡の環境	122
第3節 基本層序	124
第4節 遺構と遺物	127
第5節 まとめ	130
第5章 自然科学分析	131
第1節 分析の概要	131
第2節 放射性炭素年代測定	132
第3節 荒尾南遺跡方形周溝墓埋土及び、大溝埋土、水田の花粉分析	141
第4節 荒尾南遺跡B地区東部のブラント・オペール分析	148
第5節 荒尾南遺跡B地区出土木製品の樹種同定	153
第6章 総括	163
第1節 遺構・遺物の検討	163
第2節 遺構及び遺物包含層出土石器の分布について	170
参考文献	
遺構全体図分割図	175

第1分冊 目次

第1章 調査の経緯
第1節 調査に至る経緯
第2節 調査の方法と経過
第2章 遺跡の環境
第1節 地理的環境
第2節 歴史的環境
第3節 過去の調査
第3章 調査の成果
第1節 現地形の状況
第2節 基本層序
第3節 遺構の概要
第4節 遺物の概要
第5節 西部

第2分冊 目次

第3章 調査の成果
第6節 東部

第4分冊 目次

写真図版

挿図目次

図648 過去の柱遺跡調査地と今回の調査地	123	図695 ①面遺構全体図分割図17	195
図649 調査坑設定図	124	図696 ①面遺構全体図分割図18	196
図650 試掘坑壁面上層断面図（1）	125	図697 ①面遺構全体図分割図19	197
図651 試掘坑壁面上層断面図（2）	126	図698 ①面遺構全体図分割図20	198
図652 出土遺物実測図	128	図699 ①面遺構全体図分割図21	199
図653 試料No.3546-1のウイグルマッチング結果	136	図700 ①面遺構全体図分割図22	200
図654 単体試料の層年較正結果	137	図701 ①面遺構全体図分割図23	201
図655 層年較正結果	138	図702 ②面遺構全体図分割図1	203
図656 層年較正結果	139	図703 ②面遺構全体図分割図2	204
図657 層年較正結果	140	図704 ②面遺構全体図分割図3	205
図658 調査区全体図	142	図705 ②面遺構全体図分割図4	206
図659 方形周溝墓土層（試料1採取場所）	142	図706 ②面遺構全体図分割図5	207
図660 大溝埋立土層（試料2・3採取場所）	143	図707 ②面遺構全体図分割図6	208
図661 北壁土層（試料4・5採取場所）	143	図708 ②面遺構全体図分割図7	209
図662 花粉化石分布図	145	図709 ②面遺構全体図分割図8	210
図663 調査区全体図	149	図710 ②面遺構全体図分割図9	211
図664 北壁土層（試料4・5採取場所）	149	図711 ②面遺構全体図分割図10	212
図665 西壁土層（試料6～9採取場所）	150	図712 ②面遺構全体図分割図11	213
図666 KM3-5ライン土層（試料10採取場所）	150	図713 ②面遺構全体図分割図12	214
図667 荒尾南遺跡ブラント・オパール分布図	150	図714 ②面遺構全体図分割図13	215
図668 B地区西部方形周溝墓位置図	164	図715 ②面遺構全体図分割図14	216
図669 B地区東部方形周溝墓位置図	165	図716 ②面遺構全体図分割図15	217
図670 VI-3期の土器（SK01881出土）	167	図717 ②面遺構全体図分割図16	218
図671 VI-3期の土器（SK01880出土）	168	図718 ②面遺構全体図分割図17	219
図672 東部豎穴住居跡・溝状遺構位置図	169	図719 ②面遺構全体図分割図18	220
図673 石器出土状況図（1）	171	図720 ②面遺構全体図分割図19	221
図674 石器出土状況図（2）	172	図721 ②面遺構全体図分割図20	222
図675 石器出土状況図（3）	173	図722 ②面遺構全体図分割図21	223
図676 調査区全体図①面	175	図723 ②面遺構全体図分割図22	224
図677 調査区全体図②面	176	図724 ②面遺構全体図分割図23	225
図678 遺構全体図割付図	177	図725 ②面遺構全体図分割図24-25	226
図679 ①面遺構全体図分割図1	179	図726 ②面遺構全体図分割図26-27	227
①面遺構全体図分割図2	180	図727 ②面遺構全体図分割図28-29	228
図681 ①面遺構全体図分割図3	181	図728 ②面遺構全体図分割図30-31	229
図682 ①面遺構全体図分割図4	182	図729 ②面遺構全体図分割図32	230
図683 ①面遺構全体図分割図5	183	図730 ②面遺構全体図分割図33	231
図684 ①面遺構全体図分割図6	184	図731 ②面遺構全体図分割図34	232
図685 ①面遺構全体図分割図7	185	図732 ②面遺構全体図分割図35	233
図686 ①面遺構全体図分割図8	186	図733 ②面遺構全体図分割図36	234
図687 ①面遺構全体図分割図9	187	図734 ②面遺構全体図分割図37	235
図688 ①面遺構全体図分割図10	188	図735 ②面遺構全体図分割図38	236
図689 ①面遺構全体図分割図11	189	図736 ②面遺構全体図分割図39	237
図690 ①面遺構全体図分割図12	190	図737 ②面遺構全体図分割図40	238
図691 ①面遺構全体図分割図13	191	図738 ②面遺構全体図分割図41	239
図692 ①面遺構全体図分割図14	192	図739 ②面遺構全体図分割図42	240
図693 ①面遺構全体図分割図15	193	図740 ②面遺構全体図分割図43	241
図694 ①面遺構全体図分割図16	194	図741 ②面遺構全体図分割図44	242

图742 ②面遗構全体図分割図45	243	图760 ②面遺構全体図分割図63	261
图743 ②面遗構全体図分割図46	244	图761 ②面遺構全体図分割図64	262
图744 ②面遗構全体図分割図47	245	图762 ②面遺構全体図分割図65	263
图745 ②面遗構全体図分割図48	246	图763 ②面遺構全体図分割図66	264
图746 ②面遗構全体図分割図49	247	图764 ②面遺構全体図分割図67	265
图747 ②面遗構全体図分割図50	248	图765 ②面遺構全体図分割図68	266
图748 ②面遗構全体図分割図51	249	图766 ②面遺構全体図分割図69	267
图749 ②面遗構全体図分割図52	250	图767 ②面遺構全体図分割図70	268
图750 ②面遗構全体図分割図53	251	图768 ②面遺構全体図分割図71	269
图751 ②面遗構全体図分割図54	252	图769 ②面遺構全体図分割図72	270
图752 ②面遗構全体図分割図55	253	图770 ②面遺構全体図分割図73	271
图753 ②面遗構全体図分割図56	254	图771 ②面遺構全体図分割図74	272
图754 ②面遗構全体図分割図57	255	图772 ②面遺構全体図分割図75	273
图755 ②面遗構全体図分割図58	256	图773 ②面遺構全体図分割図76	274
图756 ②面遗構全体図分割図59	257	图774 ②面遺構全体図分割図77	275
图757 ②面遗構全体図分割図60	258	图775 ②面遺構全体図分割図78	276
图758 ②面遗構全体図分割図61	259	图776 ②面遺構全体図分割図79	277
图759 ②面遗構全体図分割図862	260		

表目次

表67 土器類観察表（1）	1	表91 土器類観察表（25）	25
表68 土器類観察表（2）	2	表92 土器類観察表（26）	26
表69 土器類観察表（3）	3	表93 土器類観察表（27）	27
表70 土器類観察表（4）	4	表94 土器類観察表（28）	28
表71 土器類観察表（5）	5	表95 土器類観察表（29）	29
表72 土器類観察表（6）	6	表96 土器類観察表（30）	30
表73 土器類観察表（7）	7	表97 土器類観察表（31）	31
表74 土器類観察表（8）	8	表98 土器類観察表（32）	32
表75 土器類観察表（9）	9	表99 土器類観察表（33）	33
表76 土器類観察表（10）	10	表100 土器類観察表（34）	34
表77 土器類観察表（11）	11	表101 土器類観察表（35）	35
表78 土器類観察表（12）	12	表102 土器類観察表（36）	36
表79 土器類観察表（13）	13	表103 土器類観察表（37）	37
表80 土器類観察表（14）	14	表104 土器類観察表（38）	38
表81 土器類観察表（15）	15	表105 土器類観察表（39）	39
表82 土器類観察表（16）	16	表106 土器類観察表（40）	40
表83 土器類観察表（17）	17	表107 土器類観察表（41）	41
表84 土器類観察表（18）	18	表108 土器類観察表（42）	42
表85 土器類観察表（19）	19	表109 土器類観察表（43）	43
表86 土器類観察表（20）	20	表110 土器類観察表（44）	44
表87 土器類観察表（21）	21	表111 土器類観察表（45）	45
表88 土器類観察表（22）	22	表112 土器類観察表（46）	46
表89 土器類観察表（23）	23	表113 土器類観察表（47）	47
表90 土器類観察表（24）	24	表114 土器類観察表（48）	48

表115 土器類観察表 (49)	49	表164 土器類観察表 (98)	98
表116 土器類観察表 (50)	50	表165 土器類観察表 (99)	99
表117 土器類観察表 (51)	51	表166 土器類観察表 (100)	100
表118 土器類観察表 (52)	52	表167 土器類観察表 (101)	101
表119 土器類観察表 (53)	53	表168 土器類観察表 (102)	102
表120 土器類観察表 (54)	54	表169 打製石器一覧表	103
表121 土器類観察表 (55)	55	表170 磨製石器一覧表	103
表122 土器類観察表 (56)	56	表171 石錐一覧表	103
表123 土器類観察表 (57)	57	表172 刃器一覧表	103
表124 土器類観察表 (58)	58	表173 石包丁一覧表	103
表125 土器類観察表 (59)	59	表174 楕形石器一覧表	103
表126 土器類観察表 (60)	60	表175 R F一覧表 (1)	103
表127 土器類観察表 (61)	61	表176 R F一覧表 (2)	104
表128 土器類観察表 (62)	62	表177 剥片一覧表	104
表129 土器類観察表 (63)	63	表178 磨製石斧一覧表	104
表130 土器類観察表 (64)	64	表179 回石一覧表	104
表131 土器類観察表 (65)	65	表180 卸石一覧表 (1)	104
表132 土器類観察表 (66)	66	表181 卸石一覧表 (2)	105
表133 土器類観察表 (67)	67	表182 磨石一覧表	106
表134 土器類観察表 (68)	68	表183 砥石一覧表 (1)	106
表135 土器類観察表 (69)	69	表184 砥石一覧表 (2)	107
表136 土器類観察表 (70)	70	表185 砥石一覧表 (3)	108
表137 土器類観察表 (71)	71	表186 台石一覧表	108
表138 土器類観察表 (72)	72	表187 石磨一覧表	108
表139 土器類観察表 (73)	73	表188 軽石製品一覧表	108
表140 土器類観察表 (74)	74	表189 玉類一覧表	109
表141 土器類観察表 (75)	75	表190 石製品一覧表	109
表142 土器類観察表 (76)	76	表191 金属製品一覧表	109
表143 土器類観察表 (77)	77	表192 木製品一覧表 (1)	110
表144 土器類観察表 (78)	78	表193 木製品一覧表 (2)	111
表145 土器類観察表 (79)	79	表194 木製品一覧表 (3)	112
表146 土器類観察表 (80)	80	表195 木製品一覧表 (4)	113
表147 土器類観察表 (81)	81	表196 木製品一覧表 (5)	114
表148 土器類観察表 (82)	82	表197 木製品一覧表 (6)	115
表149 土器類観察表 (83)	83	表198 木製品一覧表 (7)	116
表150 土器類観察表 (84)	84	表199 木製品一覧表 (8)	117
表151 土器類観察表 (85)	85	表200 木製品一覧表 (9)	118
表152 土器類観察表 (86)	86	表201 木製品一覧表 (10)	119
表153 土器類観察表 (87)	87	表202 木製品一覧表 (11)	120
表154 土器類観察表 (88)	88	表203 過去の塗跡の調査一覧表	123
表155 土器類観察表 (89)	89	表204 層序別出土遺物点数	127
表156 土器類観察表 (90)	90	表205 ウィグルマッチング測定試料および処理	133
表157 土器類観察表 (91)	91	表206 単体測定試料および処理	133
表158 土器類観察表 (92)	92	表207 測定試料および処理	133
表159 土器類観察表 (93)	93	表208 測定試料および処理	134
表160 土器類観察表 (94)	94	表209 測定試料および処理	134
表161 土器類観察表 (95)	95	表210 試料No. 3546-1の放射性炭素年代測定、 暦年校正、ウィグルマッチングの結果	135
表162 土器類観察表 (96)	96		
表163 土器類観察表 (97)	97		

表211 単体試料の放射性炭素年代測定および 暦年較正の結果	135	表216 試料1 g当たりのプラント・オバール個数	151
表212 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果	138	表217 器種別の樹種集計	153
表213 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果	139		
表214 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果	140		
表215 花粉化石産出一覧表	144		

挿入写真目次

写真6 試掘坑土層及び出土遺物	129
写真7 産出した花粉化石	147
写真8 荒尾南遺跡B地区東部で検出した 水田のプラント・オバール	152
写真9 荒尾南遺跡B地区出土材の 光学顕微鏡写真（1）	159
写真10 荒尾南遺跡B地区出土材の 光学顕微鏡写真（2）	160
写真11 荒尾南遺跡B地区出土材の 光学顕微鏡写真（3）	161
写真12 荒尾南遺跡B地区出土材の 光学顕微鏡写真（4）	162

表目次

表25 方形周溝墓一覧	68	表46 土坑一覧表（1）	342
表26 挖立柱建物跡一覧	74	表47 土坑一覧表（2）	343
表27 挖立柱建物跡柱穴一覧	74	表48 土坑一覧表（3）	344
表28 溝状遺構一覧	85	表49 土坑一覧表（4）	345
表29 単独柱穴遺構一覧	85	表50 土坑一覧表（5）	346
表30 壓穴住居跡一覧表	112	表51 土坑一覧表（6）	347
表31 壓穴住居内柱穴一覧表（1）	113	表52 土坑一覧表（7）	348
表32 壓穴住居内柱穴一覧表（2）	114	表53 土坑一覧表（8）	349
表33 挖立建物跡一覧表	119	表54 土坑一覧表（9）	350
表34 挖立建物跡柱穴一覧表	119	表55 土坑一覧表（10）	351
表35 犁跡一覧表	125	表56 土坑一覧表（11）	352
表36 犁跡柱穴一覧表（1）	125	表57 土坑一覧表（12）	353
表37 犁跡柱穴一覧表（2）	126	表58 土坑一覧表（13）	354
表38 犁跡一覧表	337	表59 柱穴状小穴一覧表（1）	354
表39 犁跡柱穴一覧表（1）	337	表60 柱穴状小穴一覧表（2）	355
表40 犁跡柱穴一覧表（2）	338	表61 柱穴状小穴一覧表（3）	356
表41 溝状遺構一覧表（1）	338	表62 井戸跡一覧表	356
表42 溝状遺構一覧表（2）	339	表63 水田区画一覧表（1）	356
表43 溝状遺構一覧表（3）	340	表64 水田区画一覧表（2）	357
表44 溝状遺構一覧表（4）	341	表65 桁列一覧表	357
表45 溝状遺構一覧表（5）	342	表66 水制遺構一覧表	358

表67 土器類觀察表（1）

No	地区 道府 県	種 類	時 期	踏面分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		耕土	被 成	備考	説明
							外面	内面				
1	SZ050	d	IV-2 礁A-C	口徑9.0 底径7.6 高さ10.8 最大深10.3	口縫9.0 底縫7.6 高さ10.8 最大深10.3	100%	凹面(3条)、 底(2条・脚端部) 礁部完 存	凹面(3条)、 底(2条・脚端部) 礁部底 部完 存	やや密、底1mm以下の長 石を多く含む	良	24	108
2	SZ050	d	IV-2 礁A-A	口徑6.8 底縫6.3 高さ10.6 最大深10.1	口縫6.8 底縫6.3 高さ10.6 最大深10.1	100%	凹面(6条)、 底(3条)、 脚端部 礁部完 存	凹面(6条)、 底(3条)、 脚端部底 部完 存	やや密、底1mm以下の長 石、 礁部を傷 害する	良	24	108
3	SZ050	e	IV-2 礁A	口徑6.8 底縫6.3 高さ10.6 最大深10.1	口縫6.8 底縫6.3 高さ10.6 最大深10.1	100%	凹面(5条)、 底(4条)、 脚端部 礁部完 存	凹面(5条)、 底(4条)、 脚端部 礁部底 部完 存	やや密、底1mm以下の長 石、 雲母を多く含む	良	24	108
4	SZ050	d	IV-2 礁A1	口縫12.0 底縫6.5 高さ32.8 最大深25.3	口縫12.0 底縫6.5 高さ32.8 最大深25.3	100%	凹面(3条)、 底(2条)、 脚端部 礁部完 存	凹面(3条)、 底(2条)、 脚端部 礁部底 部完 存	やや密、底2mm以下の長 石を多く含む	良	24	107
5	SZ050	k	IV-2 礁A2	口縫14.8 底縫8.3 高さ43.0 最大深32.9	口縫14.8 底縫8.3 高さ43.0 最大深32.9	100%	凹面(7条)、 底(6条)、 脚端部 礁部完 存	凹面(7条)、 底(6条)、 脚端部 礁部底 部完 存	やや密、底2mm以下の長 石、 赤色酸化土粒を 多く含む	良	24	107
6	SZ050	e	IV-2 礁G	口縫5.7 底縫4.9 高さ9.1 最大深1.9	口縫12 底縫4 高さ9.1 最大深1.9	100%	2本組4重巻の上に 凹面、 底縫4 高さ9.1 最大深1.9	2本組4重巻の上に 凹面、 底縫4 高さ9.1 最大深1.9	やや粗、底1mm以下の長 石を多く含む	外面上に礁付着、 次沈成程、 口縫部分打 き込み、脚部打 り欠け	25	108
7	SZ050	d	IV-A	底縫4.7 高さ13.0	底縫4.7 高さ13.0	100%	底縫4.7 高さ13.0	底縫4.7 高さ13.0	やや密、底1mm以下の長 石を多く含む	普通	25	-
8	SZ050	f	IV-2 礁A2	口縫13.5 底縫5.0 高さ21.8 最大深17.0	口縫13.5 底縫5.0 高さ21.8 最大深17.0	100%	特有のちひり 凹面(4条)、 底縫4.5 高さ21.8 以上	特有のちひり 凹面(4条)、 底縫4.5 高さ21.8 以上	やや密、底1mm以下の長 石、 赤色酸化土粒を 多く含む	外面上に礁付着、 普通	25	107
9	SZ050	d	IV-2 礁A1	底縫5.0 高さ12.0 最大深11.0	底縫5.0 高さ12.0 最大深11.0	100%	底縫5.0 高さ12.0 最大深11.0	底縫5.0 高さ12.0 最大深11.0	やや密、底1mm以下の長 石、 赤色酸化土粒を 多く含む	良	25	108
10	SZ050	b	IV 礁A底部	底縫6.0 高さ13.2	底縫6.0 高さ13.2	100%	底縫6.0 高さ13.2	底縫6.0 高さ13.2	やや密、底1mm以下の長 石を多く含む	普通	25	-
11	SZ050	d	V-VII 礁C	高さ(3.8)	高さ(3.8)	100%	特有のちひり 凹面(2条)、 底縫4.0 高さ(3.8)	特有のちひり 凹面(2条)、 底縫4.0 高さ(3.8)	やや密、底1mm以下の長 石、 赤色を多く含む	外面上赤色	25	-
12	SZ050	a	IV 礁A1	高さ(3.0)	高さ(3.0)	100%	底縫(2条)、 脚端部 礁部完 存	底縫(2条)、 脚端部 礁部完 存	やや密、底1mm以下の長 石を多く含む	普通	25	-
13	SZ050	b	V-VII 礁C	高さ(6.5)	高さ(6.5)	100%	特有のちひり 凹面(2条)、 底縫4.0 高さ(6.5)	特有のちひり 凹面(2条)、 底縫4.0 高さ(6.5)	やや密、底1mm以下の長 石、 赤色を多く含む	内外面に礁付着、 2孔穿孔2方向	25	-
14	SZ050	d	IV-2 礁A2	口縫15.6 底縫5.0 高さ22.8 最大深18.1	口縫15.6 底縫5.0 高さ22.8 最大深18.1	100%	口縫15.6 底縫5.0 高さ22.8 最大深18.1	口縫15.6 底縫5.0 高さ22.8 最大深18.1	やや密、底1mm以下の長 石、 赤色酸化土粒を 多く含む	普通	25	107
15	SZ050	f	I	口縫13.2 高さ(4.9)	口縫13.2 高さ(4.9)	100%	特有のちひり 凹面(2条)、 底縫4.0 高さ(4.9)	特有のちひり 凹面(2条)、 底縫4.0 高さ(4.9)	やや粗、底2mm以下の長 石、 赤色酸化土粒を 多く含む	普通	25	-
16	SZ050	b	IV 礁	底縫6.5 高さ(3.2)	底縫6.5 高さ(3.2)	100%	底縫6.5 高さ(3.2)	底縫6.5 高さ(3.2)	やや密、底1mm以下の長 石を多く含む	普通	25	-
17	SZ050	n	VI 礁B1	口縫15.8 高さ(12.7)	口縫15.8 高さ(12.7)	100%	特有のちひり 凹面(2条)、 底縫4.0 高さ(12.7)	特有のちひり 凹面(2条)、 底縫4.0 高さ(12.7)	やや密、底1mm以下の長 石、 赤色を多く含む	外面上赤物付着、 内面礁付着	25	-
18	SZ050	a	V 礁A	高さ(5.3)	高さ(5.3)	100%	凹面(7条)、 底縫4.0 高さ(5.3)	凹面(7条)、 底縫4.0 高さ(5.3)	やや密、底1mm以下の長 石、 赤色を多く含む	普通	25	-
19	SZ050	a	V-VII 礁B底部	底縫6.5 高さ(5.1)	底縫6.5 高さ(5.1)	100%	底縫6.5 高さ(5.1)	底縫6.5 高さ(5.1)	やや密、底1mm以下の長 石、 赤色を多く含む	外面上礁付着、 底部二次沈成程	25	-
20	SZ051	c	IV 礁A1	口縫15.2 高さ(5.8)	口縫15.2 高さ(5.8)	100%	口縫15.2 高さ(5.8)	口縫15.2 高さ(5.8)	やや密、底1mm以下の長 石、 赤色を多く含む	普通	28	-
21	SZ051	d	IV 礁A2	口縫16.0 高さ(6.6)	口縫16.0 高さ(6.6)	100%	口縫16.0 高さ(6.6)	口縫16.0 高さ(6.6)	やや密、底1mm以下の長 石、 赤色を多く含む	普通	28	-
22	SZ051	d	IV 礁A2	高さ(5.0)	高さ(5.0)	100%	礁状或V刺文、 直縫文 3条(2本1組2脚)	礁状或V刺文、 直縫文 3条(2本1組2脚)	やや密、底1mm以下の長 石、 赤色酸化土粒を 多く含む	普通	28	-
23	SZ051	b	IV-2 礁B	口縫12.0 底縫7.6 高さ(30.1)	口縫12.0 底縫7.6 高さ(30.1)	100%	凹面(2条)、 底縫11 高さ(30.1) 以上	凹面(2条)、 底縫11 高さ(30.1) 以上	やや密、底1mm以下の長 石、 赤色酸化土粒を 多く含む	2穿孔1組2方向、 赤色有り	28	108
24	SZ051	a	V 礁	底縫8.0 高さ(4.3)	底縫8.0 高さ(4.3)	100%	口縫8.0 底縫8.0 高さ(4.3)	口縫8.0 底縫8.0 高さ(4.3)	密、 底1mm以下の長石、 石英、 礁部を傷 害する	2穿孔1組2方向、 赤色有り	28	108

2 第3章 調査の成果

表68 土器類觀察表（2）

No.	地区 遺構	層位	時期 層位分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整 外面	調整 内面	胎土	構成	備考	博認		
25	S2051	I	繩文 変容層	縦高(4.6)		貼付完全、朱痕(目)、 y?		やや粗、径1mm以下の長 石・雲母・+トを多く含む	普通		28	-	
26	S2051	a	VII 壺A5	口径12.4 縦高(4.3)		13?キ、山形文(貝?)、 直線文(2条)、 虎模(2枚)	直線文(5条)、山形 文(貝?)、直線文(4 条)、13?キ、輪縁 模、指捺印痕	粗、径1mm以下の長石 を多く含む	赤彩(山形文、内 外面)		28	109	
27	S2051	b	V～VII 壺H1	底径3.8 縦高(5.1)		底部完 存	13?キ、輪縁模痕、y?	やや粗、径1mm以下の長 石・+トを多く含む	良		28	-	
28	S2051	b	V1～VII 高杯	縦高(4.0)		爪底	~?押さえ、AC?	粗、径1mm以下の長 石・+トを多く含む	1穿孔1組3方向		28	-	
29	S2051	I	繩文 変容層	底径5.5 縦高(2.4)		底部完 存、+ト、貼付安突、 押し引き	+ト、輪縁模痕、指 捺印痕	粗、径2mm以下の長石 を多く含む	普通		28	-	
30	S2051	a	V1～VII A3a	口径15.0 縦高(11.3)		口縫3	口縫記~?13?キ、 +ト(網印)、のら (網印)、のら (網印)~?	やや粗、径2mm以下の長 石・+トを多く含む	口縫端部に打ち欠 き		28	109	
31	S2051	a	V～VII 壺C	口径12.4 縦高(10.1)		口縫3	13?キ、+?押 さえ	やや粗、径3mm以下の赤 色酸化土粒を多く含む	外間に保付着		28	-	
32	S2051	a	V 壺A1	口径10.9 底径3.3 縦高(3.4) 底厚17.2		口縫3	13?キ、+ト	やや粗、径2mm以下の長 石・+トを多く含む	外間に保付着		29	109	
33	S2051	a	V 壺A2a	口径12.0 縦高(4.2)		口縫3	13?キ、刺突文、+ト	やや粗、径1mm以下の長 石・+トを多く含む	外間に保付着		29	-	
34	S2051	b	V 壺B1b	口径11.0 縦高(5.3)		口縫3	13?キ、刺突文、+ト	やや粗、径1mm以下の長 石・+トを多く含む	外間に保付着		29	-	
35	S2051	a	V 壺A2a	口径16.8 縦高(6.4)		口縫1	13?キ、+ト	やや粗、径2mm以下の長 石・+トを多く含む	良		29	-	
36	S2051	b	V～VII 壺C	口径18.2 縦高(6.6)		口縫3	13?キ、+ト	やや粗、径2mm以下の長 石・+トを多く含む	普通		29	-	
37	S2051	a	V 高杯I	底径11.7 縦高(13.3) 2/4以上		~?13?キ、13?キ	13?キ、+ト、脚部 +ト、+?	やや粗、径1mm以下の長 石・+トを多く含む	1穿孔1組4方向		29	109	
38	S2051	a	VII 壺B1a	口径16.6 縦高(6.8)		口縫1	13?キ、+ト	やや粗、径1mm以下の長 石・+トを多く含む	外間に保付着、打 ち欠き		29	-	
39	S2051	a	V～VII 燒脚部	底径4.9 縦高(2.6)		底底1/4 以上	焼耗したのれ痕 不明、脚部内面 +ト、押さえ	やや粗、底1mm以下の長 石・+トを多く含む	良		29	-	
40	S2051	b	V～VII 手捏ねC	口径6.3 底径3.8 縦高(5.4)		口縫6 底部完 存	13?キ、+ト、脚部 +ト、+?	やや粗、+?押 さえ	普通		29	111	
41	S2051	a	V～VII 手捏ねD	底径3.6 縦高(6.5)		底部完 存	13?キ	13?キ、+ト	やや粗、底3mm以下の赤 色酸化土粒を多く含む	外間に保付着		29	-
42	S2051	I	繩文 深鉢	縦高(9.8)		磨擦	+?	やや粗、底3mm以下の赤 色酸化土粒を多く含む	穿孔有り		29	-	
43	S2051	I	IV 壺A2脚部	縦高(12.3)		波段(2+3段)、波状文(7 条)、波模(7条)、波状 文(7条)、+?	13?キ、+ト、脚部 +ト、+?	やや粗、底1mm以下の長 石・+トを多く含む	良		29	-	
44	S2051	I	IV 壺A	縦高(3.5)		4条の回転文、刺突文	+?	やや粗、底1mm以下のナットを 多く含む	良		29	-	
45	S2051	6	IV 壺底部	底径3.3 縦高(3.4)	4以上	+?	+?焼耗	やや粗、底1mm以下の長 石・+トを多く含む	普通		29	-	
46	S2051	b	I 壺	口径20.7 縦高(6.7)		13?キ	13?キ、沈鉢(手載竹筒) +?キ、+?	やや粗、底2mm以下の長 石・雲母・+トを多く 含む	普通		29	111	
47	S2051	b	VII 高M-05	口径28.0 縦高(5.5)		13?キ、焼耗につき調整 不明	多条沈鉢(4条、2条、4 条)、通乳文2条(?)、1 条	やや粗、底1mm以下の長 石を多く含む	普通		30	-	
48	S2051	a	VII 高M-02	口径14.8 縦高(2.4)		13?キ	多条沈鉢(4条、2条、4 条)、通乳文2条(?)、1 条	やや粗、底1mm以下の長 石を多く含む	良		30	-	
49	S2051	2	VII 高M-04d	縦高(3.8)		+?キ(焼耗)	沈鉢(7条)、山形文 (~?)、沈鉢(7条)	やや粗、底1mm以下の長 石を多く含む	普通		30	-	
50	S2051	2	V～VII 壺A1a	口径14.8 縦高(4.2)	13?キ	13?キ、竹管文	やや粗、底1mm以下の長 石を多く含む	良		30	-		
51	S2051	1	V～VII 壺B1c	口径14.6 縦高(4.2)	13?キ	13?キ、竹管文	やや粗、底1mm以下の長 石を多く含む	良		30	-		

表69 土器類観察表（3）

No	地区 遺構	層位	時期 層様分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		粘土	焼成	備考	傳承 層		
						外面	内面						
52	S2051	a	V～VI Ⅳ	口径14.8 器高(4.3) 底部完全 保存	12	口縁2 コナツ。内面 有字文。	コナツ。柄形子文。 輪縁み痕。内 面に焼付着 する。	灰。径1mm以下の長 石・石英・雲母・チー ルを多く含む。	良	普通	30	-	
53	S2051	a	V～VI Ⅳ	底径5.1 器高(1.5)	12	唇耗	唇耗	灰や黒。径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を多 く含む。	普通	外面に焼付着	30	-	
54	S2051	a	V～VI Ⅳ-A	器高(4.8)	12	直腹文、刺突文。 内面	内面	灰。径1mm以下の長 石・チー・ルを多く含む。	良	外面に焼付着	30	-	
55	S2051	2	V～VI Ⅳ-B	口径14.9 器高(2.7)	12	口縁4 コナツ。内面 有字文。	コナツ。内 面	灰。径1mm以下の長 石・石英・雲母を多く含む。	良	外面に焼付着	30	-	
56	S2051	3	VI Ⅳ-C	口径14.0 器高(3.4)	12	口縁3 コナツ。内面 有字文。	コナツ。内 面	灰。径1mm以下の長 石・石英・雲母・チー ルを多く含む。	良	普通	30	-	
57	S2052	a	VI～VII Ⅳ-C	器高(11.0)	12	口縁3 コナツ。内面 有字文。	コナツ。内 面	灰。径1mm以下の長 石・チー・ルを多く含む。	良	2穿孔1縫2方向	32	-	
58	S2052	a	VI～VII Ⅳ-C	器高(6.6)	12	口縁3 コナツ。内面 有字文。	コナツ。内 面	灰。径1mm以下の長 石を多く含む。	良	2穿孔1縫2方向、 内面に焼付着	32	-	
59	S2052	b	Ⅳ Ⅳ-C	口径20.0 器高(4.7)	12	口縁3 コナツ。内面 有字文。	コナツ。内 面	多条沈痕(2条)、5条、 4条、6条。 直腹文(7条)、3段	普通	普通	32	-	
60	S2052	b	VI～VII Ⅳ-C	口径19.4 器高(5.9)	12	口縁3 コナツ。内面 有字文。	コナツ。内 面	灰や黒。径1mm以下の長 石・チー・ル・赤色酸化土 粒を多く含む。	普通	外面に焼付着	32	-	
61	S2053	c	IV～V Ⅳ-A	口径14.0 器高5.4 底径(25.1) 最大径23.8	12	口縁3 底部1/4 未満	コナツ。内面 有字文。	コナツ。直腹文、 輪縁み痕。内 面	灰や黒。径1mm以下の長 石・石英・チー・ル・赤色 酸化土粒を多く含む。	普通	打ち欠き	34	110
62	S2053	c	IV～V Ⅳ-B	口径13.0 器高(5.1)	12	口縁3 コナツ。内面 有字文。	コナツ。直腹文、 直腹文(7条)、刺突文、 直腹文(7条)、内 面、直 状文。内 面	コナツ。直腹文直 状文。	普通	外面に焼付着	34	110	
63	S2053	1	IV～V Ⅳ-A2	口径17.6 器高(3.2)	12	口縁2 内面	内面	灰や黒。径1mm以下の長 石・雲母・赤色酸化土 粒を多く含む。	普通	普通	34	-	
64	S2053	c	V 曲环A 9	底径13.5 器高(4.6)	12	口縁3 底部1/4 以上	コナツ。内面 有字文。	コナツ。内面 有字文。	灰や黒。径1mm以下の長 石・雲母・赤色酸化土 粒を多く含む。	良	2穿孔1縫2方向	34	111
65	S2053	b	VI Ⅳ-C	口径25.8 器高(11)	12	口縁4 コナツ。内面 有字文。	コナツ。内面 有字文。	多条沈痕(14条)、 コナツ。	普通	外面に焼付着	34	169	
66	S2053	c	VI～VII Ⅳ-C	口径16.2 器高(6.3)	12	口縁5 (指)	コナツ。(指)	コナツ。直腹文直 状文。	普通	灰や黒。径1mm以下の長 石・雲母・赤色酸化土 粒を多く含む。	34	-	
67	S2053	b	VI～VII Ⅳ-B4	口径18.2 器高(7.4)	12	口縁2 内面	コナツ。内面 有字文。	コナツ。直腹文直 状文。	灰や黒。径1mm以下の長 石・雲母・赤色酸化土 粒を多く含む。	普通	外面に焼付着	34	-
68	S2053	b	VI～VII Ⅳ-B2	口径18.4 器高(4.2)	12	口縁1 内面	内面	コナツ。コナツ。指 腹正直。	良	灰や黒。径1mm以下の長 石・雲母・赤色酸化土 粒を多く含む。	34	-	
69	S2053	b	VI～VII Ⅳ-B2	口径25.2 器高(7.4)	12	口縁4 内面	内面	コナツ。直突文、指 腹正直、輪縁み痕。	良	外面に焼付着	34	111	
70	S2053	b	II Ⅳ-C	器高(6.7)	12	連突文。脇付斜帶。 貝	貝	摩耗のため調整不 整。	普通	灰や黒。径1mm以下の長 石・石英・雲母を多く含む。	34	111	
71	S2054	a	VI Ⅳ-C	器高(7.1)	12	口縁3 内面	内面	内面。押さえ、内 面	良	2穿孔1縫2方向	37	-	
72	S2054	c	調文 深鉢	器高(1.8)	12	貼付突帯	内面	内面。貼付突帯上 に条痕。(原体不明)	普通	灰や黒。径1mm以下の長 石・石英・チー・ルを多く含 む。	37	110	
73	S2054	c	調文 深鉢	器高(5.0)	12	貼付突帯	内面	内面。貼付突帯、輪 縁み痕。	普通	灰や黒。径1mm以下の長 石・石英・チー・ルを多く含 む。	37	110	
74	S2054	c	調文 深鉢	器高(2.7)	12	貼付突帯、輪 縁み痕。	内面	内面。貼付突帯上 に条痕。(原体不明)	普通	灰や黒。径1mm以下の長 石・石英・チー・ルを多く含 む。	37	110	
75	S2054	c	調文 深鉢	器高(4.0)	12	内面	内面	内面。貼付突帯上 に条痕。(原体不明)	普通	灰や黒。径1mm以下の長 石・石英・チー・ルを多く含 む。	37	110	
76	S2054	a	II Ⅳ-C	器高(4.0)	12	内面	内面	内面。貼付突帯、輪 縁み痕。	普通	灰や黒。径1mm以下の長 石・石英・チー・ルを多く含 む。	37	-	
77	S2054	c	調文 深鉢	器高(3.5)	12	貼付突帯、輪 縁み痕。	内面	内面。貼付突帯上 に条痕。(原体不明)	普通	灰や黒。径1mm以下の長 石・石英・チー・ルを多く含 む。	37	110	
78	S2054	c	調文 深鉢	器高(5.0)	12	貼付突帯、輪 縁み痕。	内面	内面。貼付突帯、輪 縁み痕。	普通	灰や黒。径1mm以下の長 石・石英・チー・ルを多く含 む。	37	110	
79	S2054	a	II Ⅳ-C	器高(5.3)	12	内面	内面	内面。貼付突帯、輪 縁み痕。	普通	灰や黒。径1mm以下の長 石・石英・チー・ルを多く含 む。	37	110	
80	S2054	j	調文 深鉢	器高(5.0)	12	貝殻条痕	内面	内面。貝殻条痕。	普通	灰や黒。径1mm以下の長 石・石英・チー・ルを多く含 む。	37	110	
81	S2054	s	調文 深鉢	器高(5.3)	12	貝殻条痕	内面	内面。貝殻条痕。	普通	灰や黒。径1mm以下の長 石・石英・チー・ルを多く含 む。	37	110	
82	S2054	a	調文 深鉢	器高(5.3)	12	貝殻条痕	内面	内面。貝殻条痕。	普通	灰や黒。径1mm以下の長 石・石英・チー・ルを多く含 む。	37	110	

表70 土器類觀察表（4）

No.	地区 遺構	層位	時期 層位分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	博認	閲覧	
						外面	内面						
83	S2054	a	縄文 深糸	器高(6.0)	+++, 指頭圧痕、条痕 瓶(二枚貝)	+++, 指頭圧痕、条痕 瓶(二枚貝)	やや粗、径3mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	普通	37	110		
84	S2054	b	VII 選A網部	器高(18.4)	刺突文(目)?、楕円輪、 指頭圧痕、ハ	刺突文(目)?、楕円輪、 指頭圧痕、ハ	粗、径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	普通	普通	37	-		
85	S2098	a	VII~VIII 高Hc4b	器高(7.8)	+++	多条沈縄、山形文、 ++	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	断面実測、外面に 保付着、瓶断面二 次焼成痕	40	-		
86	S2098	1	VII~VIII 高Hc4e	器高(3.0)	+++	多条沈縄(5本)、山形文、 ++	やや粗、徑2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	断面実測、瓶	40	-		
87	S2098	1	VII~VIII 高Hc4a	器高(3.6)	+++	++	やや粗、徑1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	断面実測、瓶	40	-		
88	S2098	a	VII~VIII 高Hc4b	器高(7.9)	++	多条沈縄(3本)、++	やや粗、徑2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	断面実測、瓶	40	-		
89	S2098	2	VII~VIII 高Hc4b 高	底径12.4 器高(10.0)	底部1/4 未溝	+++	++、粗、ハ	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	断面に二次焼成 痕	40	-	
90	S2098	2	VII~VIII 高Hc4a	口径11.8 底径11.2 最大径15.1	口縁8 底部充 存	+++	++、++瓶	やや粗、径1.5mm以下の 長石・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	I穿孔1組3方向	40	112	
91	S2098	a	VII~VIII 手捏ねC	口径8.9 底径4.4 器高(4.0)	口縁8 底部充 存	++(口目残る)	指頭圧痕、ハ	やや粗、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	口縫部分に打ち欠 き	40	117		
92	S2099	a	VII~VIII 高M32	口径20.4 器高(6.1)	口縁3	++	口唇部2条の沈縄、 ++	やや粗、徑1mm以下の長 石・雲母・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	内面に保付着、 良	42	112	
93	S2099	a	VII~VIII 變B	器高(11.5)	+++(のち)++	指頭圧痕、輪 み瓶、++(解剖?)	指頭圧痕、輪 み瓶、++(解剖?)	やや粗、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	42	-		
94	S2099	a	VII~VIII 變D2b	口径15.1 器高(2.5)	口縁1	+++(+)、ハ	+++(+)、ハ、++ 指頭圧痕、輪 み瓶	やや粗、徑1mm以下の長 石・雲母を僅かに含む	普通	内面に焼成物付 着	42	112	
95	S2099	a	VII~VIII 高M35	口径22.0 底径14.0 器高(18.3) 最大径22.8	口縁1 底部充 存	+++(+)、++	口唇部沈縄(2箇)、 多条沈縄(6条)、2 条・2条・2条(4条)、 連弧文、++、++	やや粗、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	I穿孔1組4方向	42	112		
96	S2099	a	VII~VIII D脚部	底径10.0 器高(4.6)	底部 2/4以上	++	指頭圧痕	やや粗、徑1mm以下の長 石・石英・雲母を僅かに 含む	普通	42	-		
97	S2099	2	VII 變A4	口径13.4 器高(4.2)	口縁1	+++(+)、ハ	+++(+)、ハ、輪 み瓶	やや粗、徑1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	断面に二次焼成 痕	42	-	
98	S2099	b	IV 變A1	口径11.8 器高(4.5)	口縁1	+++(2条)	回収文(2条)、輪耗著 しい	やや粗、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	42	-		
99	S2100	1	VII 變C2	口径13.8 器高(6.3)	口縁1	++、++	+++(+)指頭圧痕	やや粗、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	外面に保付着、 良	44	-	
100	S2100	a	VII 高H24	器高(2.2)	調整不明(++)	沈縄(8条)、山形文、 沈縄(8条)	沈縄(8条)、山形文、 沈縄(8条)	やや粗、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	44	-		
101	S2101	b	V~VI 變底部	底径4.4 器高(2.2)	底部 2/4以上	+++	輪耗	やや粗、徑1mm以下の長 石・雲母を僅かに含む	普通	外面に赤彩、 良	45	-	
102	S2102	d	V~VI 變D2~3	底径4.8 器高(13.2) 最大径13.4	底部充 存	+++(+)、++	指頭圧痕、ハ、++、 ++、輪耗み瓶	やや粗、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	49	112		
103	S2102	a	V~VI 變A	器高(5.9)	刺突文(良)?、直線文	++	指頭圧痕	やや粗、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	49	-		
104	S2102	a	V~VI 變底部	底径5.6 器高(6.9)	底部	+++	ハ	透、徑1mm以下の長石を 僅かに含む	普通	49	-	外面に赤彩、煤 付着	
105	S2102	d	V~VI 高H1b	口径8.3 器高(8.3)	口縁12	+++(+)、++	+++(+)、ハ、指頭 圧痕、輪耗み瓶	やや粗、徑2mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	49	112		
106	S2102	e	V~VI 變A底部	底径4.6 器高(2.9)	底部 1/4以上	++	指頭圧痕	やや粗、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	49	-		
107	S2102	a	V 變A網部	器高(8.9)	++、直線文、波状文、 直線文、++	++、指頭圧痕、輪 耗み瓶、++	透、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	49	-			
108	S2102	b	V 高H2	口径10.0 器高(1.9)	口縁2	刺突文、沈縄(6条)、刺 突文、沈縄(5条)	+++(+)、直 線文	やや粗、徑1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	49	-		
109	S2102	d	V~VI 高H2	口径20.0 器高(5.4)	口縁3	+++(+)、++	多条沈縄(3条)、++ ++	透、徑2mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	普通	49	-		
110	S2102	b	VII~VIII 高H4	器高(3.0)	撥耗につき調査不明	撥耗につき調査不明	撥耗につき調査不明	透、徑1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	普通	49	-		

表71 土器類觀察表（5）

No	地区 遺跡	層位	時期 層位分類	法(量)cm	喪葬率 (%)	調整		土	被 破	備考	辨認	
						外面	内面					
111	SB102	a	VI 高井切開 部	底径12.8 器高(6.0) 底部 1/4以上	15°± ±	??	??	やや重、底1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	1穿孔3綫3方向? 普通	49	—	
112	SB102	b	VI-VII 高井切開 部	器高(4.5)	磨耗のため調整不明	??	??	やや重、底2mm以下の長 石・黄英を僅かに含む	2穿孔3綫3方向? 普通	49	—	
113	SB102	5	V-VI 高井 部?	器高(2.7)	横椭。側突実	??	??	重、底1mm以下の長石 を僅かに含む	良	49	—	
114	SB102	a	VII 高井切開 部	口径12.5 器高(5.0)	口縁3	??、±	??、±	重、底1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	普通	49	—	
115	SB102	5	V-VI 高井切開 部	器高(3.1)	斜格子文? (貝)、直瀬文	??	??	やや重、底2mm以下の長 石を僅かに含む	普通	49	—	
116	SB102	c	VI-VII 高井切開 部	口径19.0 器高(11.9)	口縁2	指瀬直痕、±	指瀬直痕、~??(複 数の工具?)、輪縞模 様、??	やや重、底5mm以下の長 石・±?+?、赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に煤付着 普通	49	—	
117	SB102	a	VIII 腹側部	器高(14.8)	??	??、指瀬直痕、 輪縞模	??	やや重、底1mm以下の長 石・±?+?、赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に煤付着 普通	50	—	
118	SB102	b	IV 高井切 開部	口径9.0 器高(5.5)	口縁3	直瀬文(0条)、刺突実	???	やや重、底1mm以下の長 石・黄英を僅かに含む	良	50	—	
119	SB102	b	IV 高井切 開部	器高(3.3)	刺突実	??	??	やや重、底1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	50	—	
120	SB102	b	VI 高井切 開部	口径12.0 器高(3.0)	口縁2	???,押し引き、±	???,押.指瀬直痕、 輪縞模	やや重、底1mm以下の長 石を僅かに含む	外面に煤付着 普通	50	—	
121	SB102	a	VI-VII 高井切 開部	口径25.2 器高(4.8)	口縁3	???,押. ±	???,±	指瀬直痕、 輪縞模	やや重、底1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	50	—
122	SB102	b	IV 高井切 開部	口径14.0 器高(5.0)	口縁2	刺突实、±時のもの??	??、??	やや重、底1mm以下の長 石・黄英を僅かに含む	普通	50	—	
123	SB103	b	VI 高井切 開部	口径23.2 器高(10.1)	口縁8	???	???	やや重、底1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	53	113	
124	SB103	b	VI 高井切 開部	口径23.5 器高(8.2)	口縁10	??、???	??、???	やや重、底3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	53	—	
125	SB103	b	VI 沿岸部	口径17.1 器高(4.1)	口縁4	直瀬、??	??	やや重、底2mm以下の長 石を僅かに含む	良	53	—	
126	SB103	b	VI 沿岸部	口径19.4 器高(1.40)	口縁9	???	??、???	やや重、底1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	53	113	
127	SB103	b	VI 高井切 開部	器高(8.0)	???	???	???	やや重、???	1穿孔1綫3方向? 普通	53	—	
128	SB103	b	VI 高井切 開部	底径2.9 器高(1.19)	底部完 存	???	???	指瀬直痕、??+, ±、輪縞模	外面に煤付着 普通	53	114	
129	SB103	b	VI 沿岸部	口径14.8 器高(6.7)	口縁3	???,刺突、直瀬文、 刺突実、??	???	やや重、底2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	53	—	
130	SB103	b	VI 高井切 開部	底径3.3 器高(8.1)	底部完 存	??+,直瀬、刺突実、?? +,???,板縞	??+,直瀬、刺突実、?? +,???,板縞	やや重、底4mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	外面に煤付着 普通	53	—	
131	SB103	b	VI-VII 高井切 開部	口径16.4 底径7.8 器高(20.1 最大高19.1	口縁4 未調	??+,???,直瀬、 刺突実、??	??+,???,直瀬、 刺突実、??	やや重、底2mm以下の長 石・±?+?、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	53	114	
132	SB103	b	VI-VII 高井切 開部	器高(9.0)	直瀬(9条)、 直瀬文(11条)、 刺突文(11条)、 直瀬文(11条)、 刺突文	指瀬直痕、輪縞模	やや重、底2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	外面に赤彩 普通	53	—		
133	SB103	c	VI 腹?	口径17.9 器高(10.0)	口縁9	??	??	指瀬直痕、 輪縞模	やや重、底2mm以下の長 石・±?+?、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	53	115
134	SB103	b	VI 腹?	口径21.0 器高(5.4)	口縁6	口縁端部1条の直瀬、 ??+,直瀬文	???,???,輪縞模	やや重、底1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	口縁煤付着 普通	53	—	
135	SB103	a	V 高井切 開部	口径10.0 器高(5.4)	口縁6	直瀬(11条)、???	直瀬(11条)、 輪縞模	やや重、底1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	54	114	
136	SB103	a	V 高井切 開部	器高(4.4)	直瀬(4条×3帶)	??	??	やや重、底1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	外面に赤彩付着, 1穿孔1綫4方向	54	—	
137	SB103	b	V 高井切 開部	器高(8.0)	???	???	山形文、多条波浪(8 条)、???	やや重、底1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	54	—	
138	SB103	a	V 高井切 開部	口径23.8 器高(3.3)	口縁3	磨耗につき調整不明	磨耗につき調整不 明	底、底1mm以下の長 石・±?+?、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	54	—	
139	SB103	b	VI-VII 高井切 開部	口径13.0 器高(2.3)	口縁2	横羽状文(3段)、???	横羽状文(3段)、???	底、底1mm以下の長 石・±?+?、赤色酸化土 粒を僅かに含む	内面・外面とも赤 彩	54	—	

表72 土器類觀察表（6）

No.	地区 遺構	層位	時期 層相分類	法蓋(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	構成	備考	伸縮	回版
						外面	内面					
140	SH103	a	V 遺A1a	口径20.0 器高(5.1)	口縁1	++*, +*	++, 様別状況、頭 輪につき調整不明	やや密、径2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	良	54	-	
141	SH103	c	VI 遺B1b	口径16.8 器高(3.1)	口縁6	+++*, 押し引き、+*	+++*, +*, 指頭压 痕	やや密、徑1mm以下の長 石・雲母・+/-・赤色 酸化土粒を多く含む	普通	54	-	
142	SH103	c	VI~VII 遺C1b	器高(10.4)		+*	模様*	やや密、徑5mm以下の長 石・石英・+/-・赤色 酸化土粒を多く含む	普通	54	-	
143	SH103	c	VI~VII 遺C1b	底径8.0 器高(4.2)	底部充 存	+*	瓜形、+*	やや粗、徑5mm以下の長 石・石英・+/-・赤色 酸化土粒を多く含む	普通	54	-	
144	SH103	c	VI~VIII 遺C1b	口径17.0 器高(17.1)	口縁3	+++*, +*	口縁部+++*, +*	やや粗、徑5mm以下の長 石・石英・+/-・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通	54	115	
145	SH103	b	VI 高HCD2b	口径21.8 底径21.0 最大径21.4 以上	口縁7 底部2/4 以上	++, +*, +*	模様み底	やや密、徑5mm以下の長 石・石英・+/-・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通	2穿孔1組3方向、 打ち欠き有り	54	113
146	SH103	c	VI~VIII 遺A4	口径17.0 底径14.0 器高(36.7) 最大径25.0	口縁6 底部3/4 以上	+++*, +/(擦離 するが、脚部も+)	指頭压痕	やや密、徑2mm以下の長 石・石英・+/-・赤色 酸化土粒を多く含む	普通	54	-	
147	SH103	b	VII 高HCD4d	口径23.0 器高(5.1)	口縁2	+*	沈澱(8条)、山形文 (4)、波算(6条)、 山形文、赤麻(6条)	徑、徑1mm以下の長石 を僅かに含む	良	55	-	
148	SH103	a	VII 高HCD4d	口径22.0 器高(12.6)	口縁10	+*	沈澱(11条)、7条、赤 麻(4)、山形文、+/-、 模様	徑、徑1mm以下の長石・ 石英・+/-・赤色 酸化土粒を多く含む	2穿孔1組2方向、 外面に煤付着	55	113	
149	SH103	a	VI~VIII 遺D1b	底径2.2 器高(11.2)	底部 1/4以上	脱いき	++*, +/(擦離 するが)	やや密、徑5mm以下の長 石・石英・+/-・赤色 酸化土粒を多く含む	普通	55	-	
150	SH103	a	VI~VIII 遺D1b	器高(9.6)		+*	+*, +/(指頭压痕	やや粗、指頭压痕 の+/-)、+/-・赤色 酸化土粒を多く含む	普通	55	-	
151	SH103	a	VI~VIII 遺D1b	底径1.5 器高(12.8)	底部 2/3以上	+*	+/(指頭压痕	やや密、徑5mm以下の長 石・石英・+/-・赤色 酸化土粒を多く含む	外面に煤付着、 断面に二次焼成層	55	115	
152	SH103	a	VI~VIII 遺E3	口径16.4 底径8.4 器高(22.7) 最大径19.7	口縁8 底部1/4 未満	+*	指頭压痕、+、+/ +(脚部)	徑、徑2mm以下の長石 を僅かに含む	外外面に煤付着	55	115	
153	SH103	a	VI~VIII 遺E3	口径18.8 底径6.6 器高(34.6) 最大径21.0	口縁9 底部充 足半 底部下半リテ リラ(?)	+*	同沈澱(4条)、直線文、 山形文、赤麻文、+/-、 模様	やや密、徑5mm以下の長 石を僅かに含む	外面に赤彩付着、 底部にも赤彩	55	116	
154	SH103	a	VII 遺E5	口径15.0 器高(14.6) 最大径16.0	口縁12	+*	+/(?)	やや密、徑5mm以下の長 石・石英・+/-・赤色 酸化土粒を多く含む	外外面に煤付着	55	114	
155	SH103	a	VI~VIII 高HCE4c	口径20.4 器高(12.1)	口縁1	+*	沈澱(19条)、+、+/ +(?)、+/(?)、+/-	徑、徑1mm以下の長 石・石英・+/-・赤色 酸化土粒を僅かに含む	2穿孔1組2方向	55	113	
156	SH103	a	VI~VIII 高HCE4c	口径25.0 器高(8.7)	口縁2	磨耗につき調整不 明	沈澱(26条)、繩輪	やや密、徑1mm以下の長 石・石英・+/-・赤色 酸化土粒を多く含む	良	56	-	
157	SH103	c	VII 高HCE3c	器高(3.7)		+/(?)、沈澱(6条)、山形 文(4条)、沈澱(5条)	+/(?)、+/(?)	徑、徑1mm以下の長石を 僅かに含む	良	56	-	
158	SH103	b	VII 高HCE3	器高(4.5)		+/(?)	+/(?)、+/(?)	徑、徑1mm以下の長石を 僅かに含む	2穿孔1組2方向	56	-	
159	SH103	b	VI 高HCE4c	底径13.4 器高(13.2)	底部 2/4以上	+/(?)	+/(?)、+/(?)、指頭压 痕	やや密、指頭压痕 の+/-)、+/-・赤色 酸化土粒を多く含む	良	56	-	
160	SH103	a	VI~VIII 遺B1b	口径14.0 器高(3.2)	口縁3	+/(?)	+/(?)、押し引き、+*	+++*, +/(?)、指頭压 痕	徑、徑1mm以下の長石・ 石英・+/-・赤色 酸化土粒を僅かに含む	良	56	-
161	SH103	b	VI~VIII 遺B1b	口径15.0 器高(16.0) 最大径15.8	口縁4	+/(?)、+/(?)	+/(?)、+/(?)、指頭压 痕	やや粗、指頭压痕 の+/-)、+/-・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通	56	-	
162	SH103	a	VI~VIII 遺B1b	口径11.3 器高(7.1)	口縁1	沈澱(24条)	+/(?)	やや密、徑5mm以下の長 石・石英・+/-・赤色 酸化土粒を僅かに含む	良	56	114	
163	SH103	I	VI~VIII 遺D1b	底径1.4 器高(3.2)	底部充 存	+/(?)	+/(?)、指頭压痕、+/ +/(?)	徑、徑1mm以下の長石を 僅かに含む	良	56	114	
164	SH103	a	VII 遺A5	口径2.1 器高(4.2)	口縁2	横羽状文、+/(?)	+/(?)、指頭压痕、+/(?)	徑、徑2mm以下の長石・ 石英・+/-・赤色 酸化土粒を多く含む	内外面に煤付着	56	-	
165	SH103	b	VI~VIII 遺D1b	底径10.0 器高(6.9)	底部充 存	+/(?)	指頭压痕、+/(?)	やや密、徑5mm以下の長 石・石英を多く含む	普通	56	-	

表73 土器類観察表(7)

No	地区 遺構	層位	時期 層様分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 説明		
						外面	内面						
166	SB103	b	VI~VII 燒C脚部	口径5.1 器高(4.9)	底沿3/4 以上	指瀬压痕、 凹、 輪、 縫、 等	やや密、 径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	内外面に傷付着、 破断面に二次焼成	56	-		
167	SB103	a	VI~VII 燒D脚	口径16.8 器高(11.9)	口縁3 口縁3	ヨリテ、 口縁に押し引き。 ヨリテ、 指瀬压 痕	やや粗、 径1.5mm以下の長 石・雲母・等+等を多 く含む	普通	上下、内外面に保 持着	56	-		
168	SB103	b	VI~VII 燒C	口径11.8 底沿3.5 器高(11.9)	口縁6 底沿完 存	等+等、 輪、 縫、 等	やや密、 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	打ち欠き、煤付着	56	116		
169	SB103	2	VI~VII 燒H脚部	器高(4.3)	-	等+等、 等+等	等+等、 底沿1	密、 径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	良	打ち欠き、2穿孔1 横4方向、内外面 に煤付着、破断面 に二次焼成	57	-	
170	SB103	b	VI~VII 高H脚部	器高(2.7)	-	等+等	等	やや密、 径2mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	良	打ち欠き、	57	-	
171	SB103	b	V 高H脚B2	口径16.5 器高(3.2)	口縁2	ヨリテ、沈澱(2条)	ヨリテ	やや密、 径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	-	57	-	
172	SB103	1	VII 高H脚C4d	口径21.0 器高(6.0)	口縁1	-	ヨリテ等	(2線部)沈澱(2条)、 沈澱(9条)、 山形文、 沈澱(6条)、 山形文、 沈澱(6条)、 -ヨリテ	やや密、 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	-	57	-
173	SB103	a	VII 高H脚C4b	口径22.0 器高(5.1)	口縁2	ヨリテ	沈澱(2条)、ヨリテ	等、 径1mm以下の等+等・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	普通	-	57	-	
174	SB103	d	VII 高H脚C4d	器高(4.9)	-	沈澱(6条・8条)、 山形文	沈澱(6条・8条)、 山形文	等、 径1mm以下の長石・ 石英・赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	-	57	-	
175	SB103	b	VII 高H脚C4d	口径23.0 器高(8.6)	口縁1	ヨリテ	沈澱(5条・5条・4条・ 5条)、 山形文、 -ヨリテ	等、 径1mm以下の等+等・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	良	-	57	115	
176	SB103	a	高H脚C4d	口径12.0 器高(6.0)	口縁3	ヨリテ	多条沈澱(4条・11 条)、 山形文、 7条、 山形文、 5条)、 -ヨリテ	やや密、 径1mm以下の長 石・雲母・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良	-	57	-	
177	SB103	2	VI~VII 高H脚部	器高(7.5)	-	ヨリテ	ヨリテ、 等	やや密、 径1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	2穿孔1組2方向	57	-	
178	SB103	a	VI~VII 燒D脚	口径14.0 器高(3.0)	口縁2	ヨリテ等、 押し引き、沈澱 (1条)、 等	ヨリテ、 等+等、 指瀬压痕	等+等、 径1mm以下の長石・ 石英・等+等を多く含む	良	-	57	-	
179	SB103	b	VI 焼A2	口径15.4 器高(3.6)	口縁3	ヨリテ等、 側突、 直縫文	ヨリテ等、 指瀬压痕、 等+等、 等	やや粗、 径2mm以下の長 石・等+等・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に煤付着	-	57	-	
180	SB103	2	V 燒B1b	口径16.8 器高(3.3)	刺突文、 直縫文	ヨリテ等、 等	やや密、 径1mm以下の長 石・雲母・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	-	57	-		
181	SB103	c	V 直A	器高(1.6)	-	円形刺突文	-	やや密、 径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	-	57	-	
182	SB103	b	V~VII 直A	器高(5.0)	-	ヨリテ等、 直縫文	指瀬压痕	やや密、 径1mm以下の長 石・等+等・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	-	57	-	
183	SB103	1	V 直B1b	口径17.8 器高(9.0)	口縁3	腰凹痕、 直縫文、 刺突文	横羽状文、 指瀬压痕	やや密、 径1mm以下の長 石・等+等を僅かに含 む	普通	内部に赤彩有り	57	-	
184	SB103	b	V 直	器高(4.0)	-	刺突文、 沈澱(6条)、 等	-	やや密、 径1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	-	57	-	
185	SB103	c	鑄文 突尖袋	器高(2.3)	-	折り波なし(口縁部)、 等	ヨリテ等、 等	やや密、 径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	-	57	-	
186	SB103	a	VII 直A	器高(2.8)	-	(凹圓文+山形文)(2条)、 刺突文、 等+等	磨耗、 等	やや密、 径1mm以下の長 石・等+等を僅かに含 む	不 ^良	外面に赤彩	57	115	
187	SB103	F2	VI~VII 焼A2	口径17.6 器高(5.8)	口縁3	ヨリテ等、 直縫文、 刺突文、 等	ヨリテ等、 等	やや密、 径1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	外面に煤付着	58	-	
188	SB103	a	VI 直A	口径8.6 器高(5.8)	口縁1	ヨリテ、 刺突文、 等、 直縫文(6条)、 刺突文	ヨリテ等、 等	やや粗、 径1mm以下の等+等・ 赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	-	58	-	
189	SB104	a	VI~VII 高H脚部	底径14.0 器高(9.5)	底沿2/4 以上	等+等	等+等、 等	等、 径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	2穿孔1組2方向、 内外面に煤付着	60	-		
190	SB104	a	VII 焼A5	口径17.2 器高(4.2)	口縁2	腰凹痕(3条)	刺突文(具数)	やや密、 径1mm以下の長 石を僅かに含む	内外面に赤彩有り	60	-		
191	SB104	b	VI~VII 焼B2b	器高(4.2)	-	沈澱(1条)、 山形文、 沈澱(5条)、 刺突文、 沈澱(5条)、 刺突文、 沈澱(3条)	刺突文、 等	やや密、 径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	良	-	60	-	
192	SB104	a	VII 焼B1B	器高(3.0)	-	刺突文、 沈澱(2条)、 刺突文、 沈澱(1条)、 刺突文、 沈澱(3条)、 刺突文、 沈澱(3条)	刺突文、 等	やや密、 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	外面に赤彩付着	60	-		

表74 土器類觀察表（8）

No.	地区 遺構	層位	時期 層位分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	博認	
						外面	内面					
193	SB104	5	V 高坪脚部	底面17.9 周高(1.8)	沈綫(6条1組)、 中のち3-4	やや密。 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	60	117			
194	SB104	b	VI~VII 直C	口径14.0 周高(1.2)	口縁3	227°、 中のち3-4	227°、 中のち3-4	やや密。 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	60	116	
195	SB104 P4	2	VI~VII 側C脚部	底面5.0 周高(4.3)	底部充 存	指頭直痕。内 面	指頭直痕。内 面	やや密。 径1.5mm以下の長 石を僅かに含む	普通	打ち欠き	60	-
196	SB105	2	VI-3 變A2B	口径20.3 周高(6.6)	口縁12	227°、 内面	227°、 内面	やや密。 径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	外面に保付着	62	116
197	SB105	2	VI-3 變A2B	口径20.0 周高(14.7)	口縁2	内面、輪穂み瓶	内面、指頭直痕。内 面	やや粗。 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	外面に保付着	62	-
198	SB105	5	VI~VII 高坪脚 部?	周高(5.4)		227°、 中のち3-4	227°、 指頭直痕	やや粗。 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 多く含む	良	62	-	
199	SB105	b	VI~VII 高坪C3	周高(5.4)	口縁1	沈綫(14条)、 227°	沈綫(14条)、 227°	やや粗。 径4mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	外面に保付着	62	-
200	SB105	5	V~VI 高坪E3b	口径24.8 周高(2.9)	口縁1	磨耗につき調整不明	磨耗につき調整不 明	やや粗。 径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	62	-	
201	SB105	a	VI-3 直C脚部	器高(10.0)		山形文、直腹文、 227°	内面、指頭直痕、輪 穂み瓶	やや粗。 径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	外面に赤彩有り	62	-
202	SB106	5	V~VI 直C直脚	底面4.7 周高(5.3)	底部1/4 周高	227°	227°	やや密。 径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	外面に灰化物付着	64	-
203	SB107	a	V-3 直C直脚	口径22.0 周高(5.0)	口縁2	中のち3-4	中のち3-4	やや密。 径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	66	-	
204	SB107	b	V~ 高坪B3b	口径17.0 周高(8.0)	口縁2	刺突文。227°、直腹文 (6条)、内面	227°、 内面	やや密。 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	66	-	
205	SB108	d	V-2 高坪B2a	口径21.4 周高(5.6)	口縁1	波状文、直腹(2条)、 227°	波状文、直腹(2条)、 227°	やや密。 径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	外面に保付着	68	-
206	SB108	b	V-3 高坪B3a	口径22.0 周高(5.0)	口縁2	227°、 227°、 227°	227°、 227°、 227°	やや密。 径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	68	-	
207	SB108	b	IV 變B2	口径16.1 周高(3.0)	口縁2	227°、刺突文、 227°	227°、 227°	やや密。 径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	外面に保付着	68	-
208	SB108	a	直C 深鉢	周高(2.3)		貼付附帯、直腹(RD) 227°	227°	やや粗。 径2mm以下の長 石・石英を僅かに下す	普通	68	-	
210	SB109	b	VI~VII 高坪G3b	口径14.0 周高(5.2)	口縁1	沈綫(6条)、磨耗のため 不明	227°	やや密。 径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	71	-	
211	SB109	b	IV 變A2	口径16.4 周高(4.9)	口縁2	キザミ。 227°、 227°	227°、 227°	やや粗。 径1mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	71	-	
212	SB109	b	VI~VII 手捏G3	口径7.2 底面充 存	227°	227°、 指頭直痕	227°、 指頭直痕	やや密。 径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	口縁打ち欠き	71	-
213	SB109	b	直C 深鉢	周高(4.4)		条痕?	227°	やや粗。 径2mm以下の長 石・チートを僅かに 含む	普通	71	-	
215	SB110	a	VI~VII 直C2	周高(6.7)		沈綫、磨耗のため不明	227°、 指頭直痕、 輪穂み瓶	やや密。 径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	73	116	
216	SB110	a	IV 直脚部	周高(6.4)		227°、繩刻	227°	やや粗。 径1mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外面に保付有り	73	117
217	SB110	a	直C 深鉢?	周高(5.2)		条痕(二枚貝)	227°	やや粗。 径2mm以下の長 石・石英・雲母を多く 含む	良	73	-	
218	SB110 P1	I	V-2 高坪I	口径18.0 周高(3.4)	口縁1	磨耗のため不明	磨耗のため不明	やや密。 径1mm以下の長 石・チートを僅かに含 む	普通	73	-	
219	SB110	a	VI~VII 手捏C	口径18.4 周高(3.3)	口縁2	227°が残る	227°	やや密。 径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	口縁に打ち欠き有 り	73	-
220	SB110	a	VI~VII 變A2	口径18.4 周高(3.3)	口縁3	227°、指頭直痕	227°	やや密。 径1.5mm以下の長 石・葉母を僅かに含 む	普通	73	-	
221	SA003 P4	3	IV 變A2	口径22.0 周高(4.6)	口縁3	227°、刺突文、 227°の 227°	227°、 227°	やや密。 径1mm以下の長 石・雲母・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外面に灰化物付着	78	-
222	SA003 P4	c	IV 變A	周高(3.4)		227°のち227°、 刺突文	摩耗のため不明	やや密。 径1mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外面に保付着	78	-

表75 土器類観察表（9）

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 回数	
						外面	内面					
223	SA003 P4	r	IV 壺形部	器高(5.5)	直腹文(3条1組×2段), カ, 指捺压痕 波状文(2段), 3列のちび y			波, 径1mm以下の長石・ 雲母, ナットを僅かに含む	良		78	-
224	SA003 P4	b	IV 壺形部	底径6.0 器高(6.6)	底部1/4 以上	カ"	カ"↑, 指捺压痕	波, 径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	内外面に焼付着	78	-
225	SA003 P4	3	IV 壺形部	底径5.5 器高(7.1)	底部1/4 以上	カ"↑, ナット	カ"↑	波, 径1mm以下の長石・ 雲母を僅かに含む	良	外面上に炭化物付 着, 底部に穿孔	78	-
226	SD0471	b	VII 高脚C4d	器高(5.0)	13°↑	多条波痕, 山形文(2 分), 波筋は巡回形		やや歪, 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	良		81	-
229	SD0471	b	VI 壺形部	器高(4.6)	13°↑		カ"	やや歪, 径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	断面光面, 雜斑?	81	-
230	SD0471		VII 高脚C4d 脚部	器高(3.1)		13°↑	板ガ"	やや歪, 径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	2穿孔1組2方向, 外面上に焼付着, 破 断面に二次焼成痕	81	-
231	SD0471	b	IV 壺A1	器高(8.1)	回腹文(3本), 磨耗著し い	カ"↑底, 磨耗著し い	やや粗, 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	不良			81	-
232	SD0433 土器集中 区1	a	VI-1 鉢A1	口径14.0 底径8.5 最大径14.5	口縁8 底部3/4 以上	刺突文, 沈殿, 刺突文 y		やや歪, 径2mm以下の長 石・石英・ナットを僅かに 含む	外面上に炭化物付着		87	129
233	SD0433 土器集中 区1	a	VI-1 鉢A1	口径16.0 底径(7.6)	口縁5	刺突文, 沈殿, 刺突文, 磨耗著しい		やや粗, 径2mm以下の長 石・石英・ナットを僅かに 含む	普通		87	-
234	SD0433 土器集中 区1	a	VI-1 鉢A2	口径16.3 底径(7.1) 最大径16.8	口縁8 底部3/4 以上	ココロ", 刺突文(ロ縁と 鉢底), カ	ココロ", 指捺压痕,	やや歪, 径2mm以下の長 石・石英・ナットを僅かに 含む	外面上に焼付着		87	129
235	SD0433 土器集中 区1	a	VI-1 鉢A2	口径17.9 底径5.8 最大径19.8	口縁2 底部3/4 以上	刺突文, ココロ", カ, 指 捺压痕	ココロ", 指捺压痕, 板積み痕, カ	やや歪, 径3mm以下の長 石・石英・赤色酸化土粒 を僅かに含む	普通		87	-
236	SD0433 土器集中 区1	a	VI-1 鉢A2	口径18.7 底径(12.4) 最大径19.4	口縁2 底部完 存	ココロ", 刺突文, カ, イ	ココロ", イ, カ"	やや歪, 径2mm以下の長 石・石英・ナットを僅かに 含む	外面上に炭化物付着		87	-
237	SD0433 土器集中 区1		高脚B2脚 部	底径14.3 器高(16.6)		13°↑	磨耗のため調整不 明, 破片込み	やや歪, 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	1穿孔1組3方向, 打ち欠き		87	130
238	SD0433 土器集中 区1	a	VI-1 高脚B3a	口径26.8 底径(5.9)	口縁5	~13°↑	カ"~13°↑	やや歪, 径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		87	-
239	SD0433 土器集中 区1	a	VI-1 高脚B3b	口径27.8 底径(5.9)	口縁12	13°↑	カ"↑, ナット	波, 径1mm以下の長石・ 石英・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通		87	130
240	SD0433 土器集中 区1	a	VI-1 器台B1	底径13.4 器高(1.1)	底部 3/4以上	13°↑	カ", 13°↑, 板ガ"	やや歪, 径1mm以下の長 石を僅かに含む	1穿孔1組3方向, 脚部打込欠き有		88	-
241	SD0433 土器集中 区1	a	VI-1 器台B2?	底径12.6 器高(5.5)	3/4以上	~13°↑	~13°↑, イ, カ"	やや歪, 径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	1穿孔1組3方向		88	130
242	SD0433 土器集中 区1	a	VI-1 器台B1	底径14.5 器高(9.7)	底部1/4 以上	13°↑	カ"	やや歪, 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	1穿孔1組3方向, 脚部打込欠き有?		88	-
243	SD0433 土器集中 区1	a	VI-1 器台B1a	口径17.6 底径(10.8) 最大径17.8	口縁5	13°↑	カ"↑	やや歪, 径1mm以下のナ ット・赤色酸化土粒を僅 かに含む	1穿孔1組3方向		88	-
244	SD0433 土器集中 区1	a	VI-1 器台B1a	口径19.0 底径(5.5)	口縁5	カ"↑	波, 径1mm以下のナ ット・赤色酸化土粒を僅 かに含む	良		88	-	
245	SD0433 土器集中 区1	a	VI-1 器台B1a	口径19.5 底径(6.5) 最大径19.7	口縁5 底部3/4 以上	13°↑	カ"↑, カ"	波, 径2mm以下のナ ット・赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	1穿孔1組3方向	88	130
246	SD0433 土器集中 区1	c	VI-1 器台B1a	口径19.7 底径(6.0) 最大径17.0	口縁5	13°↑	カ"↑, カ"	波, 径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	1穿孔1組3方向		88	130
247	SD0433 土器集中 区1	a	VI-1 高脚B3b	口径25.8 底径13.5 最大径18.7	口縁11 底部1/4 以上	ココロ", タテタキ, 磨耗 著しい	ココロ", タテタキ, 磨耗 著しい	やや歪, 径4mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	口縫打込欠き有, 1穿孔1組3方向		88	129
248	SD0433 土器集中 区1	IV	VI-1 高脚B3b	口径25.8 底径12.4 最大径21.4	口縁5 底部1/4 以上	13°↑(脚部), 口縁 5~脚部は磨耗のため不 明, カ"↑	13°↑, カ"↑, カ"	やや歪, 径1mm以下の長 石・石英・ナット・赤色 酸化土粒を僅かに含む	1穿孔1組3方向		88	129

表76 土器類觀察表(10)

No.	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (3/12)	調整		胎土	構成	備考	伸展	回版		
						外面	内面							
249	上宮廁中 区1	a	VI-1 廁頭部	底径2.2 器高(7.4)	底部 1/4以上	~3.3+	指瀬正頃、△+?? ~?	やや密。径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通		89	131		
250	上宮廁中 区1	IV	VI-1 鉢D	口径12.6 器高(5.6)	口縁5	3+	△+??	やや密。径2mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通		89	181		
251	上宮廁中 区1	a	VI-1 廁Hb	口径8.6 器高(4.6) 最大径16.2	口縁5 底部2/4 以上	沈銘(2条)、漸耗の為調 整不明	△+??	やや密。径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通		89	—		
252	上宮廁中 区1	c	VI-1 器台部a	口径18.4 器高(10.4)	口縁12	3+	△+??	密。径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	1孔1皿3方向		89	130		
253	上宮廁中 区1	a	VI-1 壺A3	口径16.0 器高(21.6) 最大径22.9	口縁4	3.3??+、△+?? △+??、△+??	△+??、指瀬正頃、 △+??、△+??	やや密。径3mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	外面に煤付着		89	—		
254	上宮廁中 区1	a	VI-1 雙脚部	底径7.8 器高(0.4)	底部1/4 以上	密剝のため調整不明	密剝のため調整不明	やや密。径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良		89	—		
255	上宮廁中 区1	a	VI-1 壺II	口径8.8 底径8.4 器高(8.9) 最大径11.6	口縁6 底部完 存	3+	△+??	△+??、指瀬正頃、 △+??、△+??	密。径1mm以下の長石 を僅かに含む	良		89	131	
256	上宮廁中 区1	b	VI-1 壺B3	口径16.0 器高(22.8) 最大径21.0	口縁2	??(口縁)、△+??	△+??(口縁)、指瀬正 頃、△+??	やや密。径2mm以下の長 石・石英・△+??、赤色 酸化土粒を僅かに含む	外面に垢付着 ・内面に煤付着		89	131		
257	上宮廁中 区1	IV	VI-1 壺C	口径11.3 器高(18.8)	口縁6	??、△+??	??、△+??、△+??、 △+??、△+??	やや密。径2mm以下の長 石・石英・△+??、赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通		89	—		
258	上宮廁中 区1	b	VI-1 壺B4	口径18.0 器高(18.4)	口縁11	??、△+??	指瀬正頃、△+??	やや粗。径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 多く含む	外面に煤付着		90	131		
259	上宮廁中 区1	IV	VI-1 高杯II	口径9.9 底径12.0 器高(19.3) 最大径15.4	口縁4 底部2/4 以上	3+	△+??、△+??、 △+??、△+??	△+??、△+??、 △+??、△+??	やや密。径2mm以下の長 石・石英・△+??、赤色 酸化土粒を僅かに含む	外間に煤付着 ・1孔1皿3方向		90	—	
260	上宮廁中 区2	a	VI-1 鉢A3a	口径16.6 器高(11.4)	口縁3	△+??、利突文	△+??、△+??、 △+??、△+??	△+??、△+??、 △+??、△+??	外面に煤付着		90	—		
261	上宮廁中 区2	a	VI-1 壺A3	口径16.0 器高(11.4)	口縁4	△+??、利突文	△+??、△+??、 △+??、△+??	△+??、△+??、 △+??、△+??	内面に煤付着 ・1孔1皿3方向		90	131		
262	上宮廁中 区2	b	VI-1 鉢B2	底径4.5 器高(10.7)	底部完 存	△+??、指瀬正頃、 △+??	△+??、指瀬正頃	△+??、△+??、 △+??、△+??	密。径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良		90	131	
263	上宮廁中 区2	b	VI-1 雙A底部	底径4.5 器高(2.7)	底部完 存	△+??、△+??	△+??	やや密。径1mm以下の長 石・△+??を僅かに含む	良		90	—		
264	上宮廁中 区2	b	VI-1 壺E1	口径15.0 器高(7.6)	口縁3	??、漸耗著しい	△+??、△+??、 △+??	△+??、△+??、 △+??	やや密。径1mm以下の長 石・△+??を僅かに含む	普通		90	—	
265	上宮廁中 区2	a	VI-1 高H3a	口径30.0 器高(8.3)	口縁1	口縁端部に沈銘(1条)、 △+??	△+??	△+??、△+??、 △+??	△+??、△+??、 △+??	やや粗。径1mm以下の長 石・石英・△+??を僅かに含 む	良		90	—
266	上宮廁中 区2	a	VI-1 雙脚部	底径17.5 器高(5.1) 1/4以上	口縁5	△+??	△+??	△+??	△+??	△+??、△+??を僅かに含む	穿孔は不明		90	—
267	上宮廁中 区2	b	VI-1 廁頭部	底径7.4 器高(13.8)	底部1/4 以上	△+??、△+??	△+??	△+??	△+??	△+??、△+??を僅かに含 む	外面に煤付着		90	132
268	上宮廁中 区2	b	VI-1 雙脚部	器高(12.6)		△+??	△+??	△+??	△+??	△+??、△+??を僅かに含 む	内面に煤付着		90	—
269	上宮廁中 区2	a	VI-1 鉢E2	口径16.8 器高(8.0) 最大径17.0	口縁1	沈銘(1条)、利突文、△+?? 利突文	△+??、△+??、 △+??	△+??、△+??、 △+??	△+??、△+??、 △+??	△+??、△+??を僅かに含 む	外面に煤付着		90	—
270	上宮廁中 区3	b	VI-1 鉢BII	口径18.8 底径1.1 器高(14.5)	口縁8 底部1/4以上	△+??、△+??	△+??、△+??	△+??、△+??	△+??、△+??	△+??、△+??を僅かに含 む	普通		90	133
271	上宮廁中 区3	a	VI-1高 H3B	口径26.2 器高(6.5)	口縁2	坪口縁磨耗、△+??(△+??)	△+??、△+??	△+??、△+??	△+??、△+??	△+??、△+??を僅かに含 む	普通		90	—

表77 土器類観察表 (11)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 回数
						外面	内面				
SD0433	土器集中 区3	b	VI-1 高井B3b	口径23.8 底高(6.5)	口縁3	~7.5°+, +*	磨耗, ツバ+, +*	やや密, 径3mm以下の長 石・+ツ-, 赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	93	-
272	土器集中 区3	a	VI-1 高井B3b	口径28.7 底高(5.7)	口縁4	+のち+/-?	磨耗により調整不 明	やや密, 径2mm以下の長 石・+ツ-, 赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	93	-
SD0433	土器集中 区3	a	VI-1 高井B4	口径21.8 底高(9.3)	口縁3	18°+	磨耗のため調整不 明	やや密, 径5mm以下の長 石・+ツ-, 赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	93	132
274	土器集中 区3	b	VI-1 高井F	口径20.8 底径12.2 底高(2.0)	口縁10	3°+	+*, 指頭压痕, + ツ-, +ツ-底	径5mm以下の長石・ +ツ-, 赤色酸化土粒を 僅かに含む	1掌孔1縫3方向, 内外面に保付着, 2次焼成有り	93	132
275	土器集中 区3	b	VI-1 高井F	口径20.8 底径12.2 底高(2.0) 最大径20.8	口縁10 底部2/4 以上	+/-?	+*, 指頭压痕, + ツ-, +ツ-底	径5mm以下の長石・ +ツ-, 赤色酸化土粒を 僅かに含む	1掌孔1縫3方向, 内外面に保付着, 2次焼成有り	93	132
SD0433	土器集中 区3	a	VI-1 器台B1	直径13.0 底高(11.9)	口縁4 1/4本頭	+/-?	+/-?, +*	密, 径1mm以下の長 石を僅かに含む	1掌孔1縫3方向	93	132
276	土器集中 区3	a	VI-1 器台B1	直径13.0 底高(11.9)	底部 1/4本頭	+/-?	+/-?, +*	密, 径1mm以下の長 石を僅かに含む	1掌孔1縫3方向	93	132
277	土器集中 区3	a	VI-1 器台B2脚 部	底径12.2 底高(11.3)	底部 1/4本頭	+/-?	+/-?, +/-?, +*	やや密, 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	93	-
SD0433	土器集中 区3	a	VI-1 高井H3	口径27.1 底高(19.8)	口縁8	+/-?	+/-?	やや密, 径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	1掌孔1縫3方向	93	133
278	土器集中 区3	a	VI-1 高井H3	口径27.1 底高(19.8)	口縁8	+/-?	+/-?	やや密, 径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	93	133
SD0433	土器集中 区3	a	VI-1 器台B1a	口径19.4 底高(11.7) 最大径19.6	口縁4	18°+, 磨耗	磨耗のため調整不 明	やや密, 径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	94	133
279	土器集中 区3	a	VI-1 器台B1a	口径19.4 底高(11.7) 最大径19.6	口縁4	18°+, 磨耗	磨耗のため調整不 明	やや密, 径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	94	133
SD0433	土器集中 区3	a	VI-1 器台B1a	口径21.3 底高(11.9)	口縁5	+/-?	+/-?, +*-底	やや密, 径2mm以下の+ ツ-, 赤色酸化土粒を僅 かに含む	1掌孔1縫3方向	94	133
280	土器集中 区3	a	VI-1 器台B1a	口径21.3 底高(11.9)	口縁5	+/-?	+/-?, +*-底	やや密, 径2mm以下の+ ツ-, 赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	94	133
SD0433	土器集中 区3	a	VI-1 器台B1a	口径19.9 底高(4.9)	口縁2	18°+(カが残る)	18°+(カが残る)	やや密, 径1mm以下の長 石を赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	94	-
281	土器集中 区3	a	VI-1 器台B1a	口径19.9 底高(4.9)	底部 3/4L上	+/-?	+/-?	やや密, 径2mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を僅かに含む	普通	94	-
SD0433	土器集中 区3	b	VI-1 脚部B	底径8.6 底高(7.0)	底部 3/4L上	+/-?	+/-?	やや密, 径2mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を僅かに含む	普通	94	-
282	土器集中 区3	c	IV 脚B2	口径14.6 底高(4.9)	口縁1	+/-?. 脚突文、北端(1 条)、直線文(7条)	+/-?, +*-?	やや密, 径2mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を僅かに含む	外面に保付着, 口 縁+打ち欠き	94	-
SD0433	土器集中 区3	c	IV 脚B2	口径14.6 底高(4.9)	口縁1	+/-?. 脚突文、北端(1 条)、直線文(7条)	+/-?, +*-?	やや密, 径2mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を僅かに含む	外面に保付着, 口 縁+打ち欠き	94	-
283	土器集中 区3	a	VI-1 脚B2	口径16.4 底高(4.9)	口縁11	+/-?. 脚突文、北端(1 条)、直線文(7条)	+/-?	やや密, 径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	94	-
284	土器集中 区3	a	VI-1 脚B2	口径16.4 底高(4.9)	口縁11	+/-?. 脚突文、北端(1 条)、直線文(7条)	+/-?	やや密, 径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	94	-
SD0433	土器集中 区3	b	VI-1 脚B4	口径18.2 底高(6.7)	口縁3	+/-?	+/-?, +*-輪積 痕, 指頭压痕	やや密, 径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	94	134
285	土器集中 区3	b	VI-1 脚B4	口径18.2 底高(6.7)	口縁3	+/-?	+/-?, +*-輪積 痕, 指頭压痕	やや密, 径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	94	134
SD0433	土器集中 区3	a	VI-1 脚B2	口径16.0 底高(12.3)	口縁3	+/-?	+/-?, 指頭压痕	やや密, 径1mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を僅かに含む	外面に保付着	94	-
286	土器集中 区3	a	VI-1 脚B2	口径16.0 底高(12.3)	口縁3	+/-?	+/-?, 指頭压痕	やや密, 径1mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を僅かに含む	外面に保付着	94	-
SD0433	土器集中 区3	b	VI-1 脚B1a	口径7.3 底高1.3 最大径7.7	口縁12	18°+	+/-?, 指頭压痕	やや密, 径3mm以下の+ ツ-, 赤色酸化土粒を僅 かに含む	口縁外に保有り	94	133
287	土器集中 区3	b	VI-1 脚B1a	口径7.3 底高1.3 最大径7.7	底底无 存	18°+	+/-?, 指頭压痕	やや密, 径3mm以下の+ ツ-, 赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	94	133
SD0433	土器集中 区3	d	VI-1 脚E2	口径11.0 底高(9.3) 最大径12.8	口縁3	+/-?	+/-?, +*-輪積 痕, 指頭压痕	やや密, 径1mm以下の長 石を僅かに含む	外面に保付着	94	134
288	土器集中 区3	d	VI-1 脚E2	口径11.0 底高(9.3) 最大径12.8	口縁3	+/-?	+/-?, +*-輪積 痕, 指頭压痕	やや密, 径1mm以下の長 石を僅かに含む	外面に保付着	94	134
SD0433	土器集中 区3	b	VI-1 脚E4	口径12.4 底高(15.6)	口縁12	+/-?	+/-?, +*-輪積 痕, 指頭压痕	やや密, 径2mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を僅かに含む	良	94	134
289	土器集中 区3	b	VI-1 脚E4	口径12.4 底高(15.6) 最大径15.3	口縁12	+/-?	+/-?, +*-輪積 痕, 指頭压痕	やや密, 径2mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を僅かに含む	良	94	134
SD0433	土器集中 区3	b	VI-1 脚F1	口径9.6 底高(8.6) 最大径20.8	口縁11 底底无 存	+/-?	口縁の内面は+/-?, 脚部 の内面は指頭压痕	やや密, 径3mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を僅かに含む	口縁外に保有り	94	133
290	土器集中 区3	b	VI-1 脚F2	口径22.7 底高(18.4) 最大径26.8	口縁10	+/-?	+/-?, 脚突文	やや密, 径3mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を僅かに含む	口縁+打ち欠き, 脚 部下方に打ち欠き穴有り	95	134
SD0433	土器集中 区3	b	VI-1 脚F4	口径16.0 底高(18.0) 最大径20.7	口縁3	+/-?	+/-?, 轮积痕痕	やや密, 径1mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を僅かに含む	口縁+打ち欠き, 外面に保 付着	95	134
292	土器集中 区3	b	VI-1 脚F4	口径16.0 底高(18.0) 最大径20.7	口縁3	+/-?	+/-?, 轮积痕痕	やや密, 径1mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を僅かに含む	口縁+打ち欠き, 外面に保 付着	95	134
SD0433	土器集中 区3	b	VI-1 脚B1	口径16.2 底高(8.6) 最大径28.6 底底无 存	口縁12	+/-?	+/-?, 指頭压痕	やや密, 径3mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を多く含む	口縁+打ち欠き, 外面に保 付着	95	134
293	土器集中 区3	b	VI-1 脚B1	口径16.2 底高(8.6) 最大径28.6 底底无 存	口縁12	+/-?	+/-?, 指頭压痕	やや密, 径2mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を多く含む	口縁+打ち欠き, 外面に保 付着	95	134
SD0433	土器集中 区3-3周	b	VI 脚A3	口径16.8 底高(18.6)	口縁3	+/-?	+/-?	やや密, 径2mm以下の長 石・+ツ-+ツ-を多く含む	内外面に灰化物付 着	95	132

表78 土器類觀察表（12）

No	地区別	層別	時期別	被覆分類	法面(m)	残存率 (%)	調整		植生	種	備考	特徴
							外縁	内面				
295	S09433 土器集中区 2-3間	c	V1 波脚部	直壁9.8 底部(9.9) 以上	口徑17.0 高(7.6)	30%†、刺突文、直線文、 刻突文、波の内カサ 等	板竹† +指淵丘積、板竹†, +輪積み組	やや密、径2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	内面に煤付着	95	—	
S09433-t 土器集中区 4	b	V1-1 波脚部	口徑17.0 高(7.6)	口縁2	30%†、刺突文、直線文、 刻突文、波の内カサ 等	板竹†	被、径1mm以下の長 石・石英を僅かに含む	外面上に炭化物付着	96	—		
S09433-t 土器集中区 4	c	V1-1 A	直壁(6.9)						外面上に炭化物付着	96	—	
S09433-t 土器集中区 4	c	V1-1 波脚部	口徑17.2 高(7.9)	口縁2	口縁にキザミ、直線文、 刻突文、波、 等	指淵丘積、板竹†, +5%混生	やや粗、直径1.5mm以下の 長石・石英を僅かに含む	外面上に煤付着、口 縁打ち欠き?	96	—		
S09433-t 土器集中区 4	b	V1-1 波脚部	口徑16.1 底高(5.5) 最高16.7 最大幅15.7	口縁9 底部充 分	30%†、刺突文、波、直 線文(1条)、直線文(9條)、 指淵丘積	板竹†, +3%†、+2%†, +2%†	やや密、径2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	外面上に煤付着	96	135		
S09433-t 土器集中区 4	c	V1-1 波脚部	口徑26.4 高(6.5) 最高26.6	口縁4	3%†	板竹†	被、径1mm以下の赤色酸 化土粒を僅かに含む	良	96	—		
S09433-t 土器集中区 4	b	V1-1 波脚部	直壁5.9 底部高(7.4)	直壁充 分	3%†、+2%†	+2%†	やや密、径2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	底部外面上に植物織 痕	96	135		
S09433-t 土器集中区 4	a	V1-1 波脚部	直壁5.9 底部高(7.4)	直壁充 分	3%†、+2%†	+2%†	やや密、径2mm以下の赤色酸 化土粒を僅かに含む	外面上に煤付着、脚 部掘打欠き?	96	—		
S09433-t 土器集中区 4	b	V1-1 波脚部	直壁5.9 底部高(7.4)	直壁充 分	3%†、+2%†	+2%†	やや密、径2mm以下の赤色酸 化土粒を僅かに含む	外面上に煤付着、脚 部掘打欠き?	96	—		
S09433-t 土器集中区 4	b	V1-1 波脚部	口徑8.6 高(3.6)	口縁3	3%†	板竹†	やや密、径2mm以下のナ イフ・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	96	—		
S09433-t 土器集中区 4	c	V1-1 波脚部	口徑9.6 底高(3.9) 最高13.0 最大幅12.8	口縁2 底部1/4 以上	3%†	板竹†	やや密、径2mm以下のナ イフ・赤色酸化土粒を僅 かに含む	I穿孔1M3方向、 外面上に煤付着、 打ち残し	96	135		
S09433-t 土器集中区 4	b	V1-1 波脚部	口徑17.3 高(16.7) 最高21.2	口縁2	30%†、直線文(8條)刺 突文、波、 等	指淵丘積、板 竹†	やや密、径2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	外面上に煤付着、口 縁打ち欠き?	96	135		
S09433-t 土器集中区 4	c	V1-1 波脚部	口徑14.0 高(15.0)	口縁1	直線文(8条)、刺突文 等	板竹†、輪積み組、 波	やや密、径1mm以下の長 石を多く含む	外面上に炭化物付着	96	—		
S09433-t 土器集中区 4	b	V1-1 波脚部	口徑17.8 高(14.1)	口縁1 底部1/4 以上	3%†、沈溜(2条)、横繩(5 条)、刺突文、 等	指淵丘積、輪 積み組、波	被、径1mm以下の長 石・石英を僅かに含 む	外面上に煤付着、 打ち残し	97	135		
S09433-t 土器集中区 4	b	V1-1 波脚部	口徑16.5 底高(15.2) 最高21.6	口縁6	3%†、指淵丘積、 波	板竹†、指淵丘積、 波	やや粗、直径1.5mm以下の 長石・石英を僅かに含 む	内外面に煤付着	97	135		
S09433-t 土器集中区 4	b	V1-1 波脚部	直壁(9.7) 最高20.0		直線文、刺突文、 等	板竹†、輪積み組、 波	やや密、直壁4mm以下の長 石・石英を僅かに含 む	外面上に炭化物付着	97	—		
S09433-t 土器集中区 4-5間	c	V1-1 波脚部	口徑17.2 底高(10.1) 最高18.8 最大幅18.0	口縁2	30%†、直線文(6条)刺 突文、波、 等	板竹†、指淵丘積、 波	やや密、径3mm以下の長 石・石英を多く含む	外面上に煤付着	97	—		
S09433-t 土器集中区 4-5間	b	V1-1 波脚部	口徑10.3 底高(6.7) 最高6.7 最大幅10.0	口縁2 底部充 分	3%†	指淵丘積	やや密、径2mm以下の長 石・石英を僅かに含 む	内外面に無斑有 り、打ち欠き	97	135		
S09433-t 土器集中区 4-5間	c	V1-1 波脚部	口徑18.3 底高(8.2)	口縁3	3%†、直線文、刺突文、 等	指淵丘積、板 竹†	やや粗、径2mm以下の長 石・石英を僅かに含 む	外面上に煤付着	97	—		
S09433-t 土器集中区 4-5間	b	V1-1 波脚部	口徑27.9 高(18.2)	口縁5	3%†、+2%†	3%†、指淵丘積、 波	やや密、直径1.5mm以下の 長石・石英を僅かに含 む	外面上に無斑有 り、打ち欠き	97	136		
S09433-t 土器集中区 4-5間	b	V1-1 波脚部	直壁10.6 底高(7.9)	底部1/4 以上	3%†(=残存)	板竹†、 +2%†	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	二次改修有り、破 壊面、赤色化、 骨乳頭組成有り	97	136		
S09433-t 土器集中区 4-5間	c	V1-1 波脚部	直壁13.0 底高(15.0)	底部1/4 未満	3%†	板竹†、 +2%†	被、径2mm以下の長石 を僅かに含む	2穿孔1M3方向、 内外面とも煤付 着、破壊面二次改 修有り	97	136		
S09433-t 土器集中区 4-5間	b	V1-1 波脚部	口徑13.8 底高(13.9)	口縁1	3%†	3%†、板竹†、 +2%†	やや粗、直径1.5mm以下の 長石・石英を僅かに含 む	1穿孔1M3方向、 脚部打欠き	102	136		
S09433-t 土器集中区 4-5間	c	V1-1 波脚部	直壁15.0 底高(15.1) 最高15.1 最大幅18.6	口縁1	3%†(=が見える)	3%†、 +2%†	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	1穿孔1M3方向	102	—		
S09433-t 土器集中区 4-5間	b	V1-1 波脚部	直壁12.7	口縁1	3%†(=が見える)	3%†、 +2%†	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	1穿孔1M3方向	102	—		

表79 土器類觀察表 (13)

No	地区	遺構	層位	時期	器種分類	法寸(法cm)	残存率 (%)	調整		焼成	焼成	備考	焼成
								外面	内部				
318	S00433	土器集中区	c	VI-1	脚部	高7.8 器高(8.7)	~93%	~93%、~94%、~95%、~96%、輪縁み底	やや粗、径2mm以下の長石、+チリ、赤色陶化土粒を僅かに含む	1穿孔1組3方向、外面部に人為的な削り落とし、内面部2組より脚部に付着	普通	162	-
319	S00433	土器集中区	b	VI-1	脚部	底径7.2 器高(8.8)	底部 3/4以上	~94%、~95%	~94%、指潤正底	やや粗、径1mm以下の長石を僅かに含む	打ち欠き有り	162	-
320	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	底径7.3 器高(4.0)	底部 3/4以上	~94%	~94%	やや粗、径1mm以下の長石を僅かに含む	外面部に分離付着、脚部端部打ち欠き有り	162	143
321	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	底径5.9 器高(7.2)	底部2/4 頂部	~94% (半截竹管状)、~95%	指潤正底、~94%	やや粗、径2mm以下の長石を僅かに含む	普通	162	-
322	S00433	土器集中区	b	VI-1	脚部	底径7.8 器高(8.0)	底部2/4 以上	~94%	~94%、~95%	やや粗、径2.5mm以下の長石を多く含む	外面部に焼付着、他の面に二次的焼付、脚部端部打ち欠き	162	-
323	S00433	土器集中区	b	VI-1	燒4A	口径18.0 器高(8.0)	口縫2 ~94%	刺突文、~95%、直線文、~95%	~94%、輪縁み底、指潤正底、~94%	やや粗、径1mm以下の長石、+チリ、赤色陶化土粒を僅かに含む	口縫打ち欠き?	162	-
324	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	口径14.5 器高(11.0)	脚部 1/2 底部定 存	押し引き、~94%、~95%、~96%	~94%、~95%、指潤正底	密、径1mm以下の長石、+チリ、青白土を僅かに含む	外面部に焼付着	162	136
325	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	口径14.0 器高(11.0)	脚部 1/2 底部定 存	~94%、~95% (半截竹 管状)、刺突文、~94%	~94%、~95%、直線文(2周 10条)、刺突文、~94%	やや粗、径1mm以下の長石、+チリ、赤色陶化土粒を僅かに含む	外面部に化物付着	163	-
326	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	口径16.9 器高(11.1)	脚部 1/2 底部定 存	~94%、~95% (半截竹 管状)、刺突文、~94%	~94%、指潤正底、~94%	やや粗、径1mm以下の長石、+チリ、赤色陶化土粒を僅かに含む	外面部に化物付着	163	136
327	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	口径18.3 器高(10.0)	脚部1/2 底部定 存	~94%、~95% (半截竹 管状)、刺突文、~94%	~94%、直線文、刺突文、~94%	やや粗、径1.5mm以下の長石、+チリ、赤色陶化土粒を僅かに含む	外面部に焼付着、口縫端部打ち欠き	163	137
328	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	口径15.8 器高(10.7)	脚部 1/2 最大底17.4	刺突文、~94%、~95%、~96%	~94%、~95%、輪縁み底	やや粗、径1mm以下の長石、+チリ、赤色陶化土粒を僅かに含む	普通	163	137
329	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	器高(10.9)	~94%	~94%、指潤正底	~94%、指潤正底	やや粗、径2mm以下の長石、+チリ、赤色陶化土粒を僅かに含む	口縫打ち欠き?	163	137
330	S00433	土器集中区	b	VI-1	脚部	口径12.2 器高(16.4)	口縫5	~94%、~95%、~96%、~97%、~98%、~99% (半截竹 管状)、刺突文、~94%	~94%、指潤正底、~94%、~95%	やや粗、径1mm以下の長石、+チリ、赤色陶化土粒を僅かに含む	脚部の破断部に二次成旋痕、1穿孔1組3方向、外面部に付着	163	138
331	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	口径10.7 器高(9.9)	脚部1/2 以上	~94% (2条)、~95% (2条)、~96% (2条)	~94% (2条)、~95% (2条) (脚部)	密、径1mm以下の長石、+チリ、赤色陶化土粒を僅かに含む	2穿孔1組3方向、口縫端部、脚部端部とも打ち欠き?	163	137
332	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	口径11.4 器高(9.4)	脚部 1/2以上	~94% (3条)、~95% (3条)、~96% (3条)	~94%、~95% (脚部)	やや粗、径1mm以下の長石を僅かに含む	2穿孔1組3方向、内面部に付着する、口縫端部、脚部とも打ち欠き?	163	137
333	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	口径14.0 器高(17.2)	底部1/4 以上	~94%	~94% (脚部)、~95% (脚部)、指潤正底	密、径1mm以下の長石、+チリ、赤色陶化土粒を僅かに含む	2穿孔1組3方向	163	-
334	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	器高(9.3)	~94%	~94%、~95%	~94%、~95%	やや粗、径1mm以下の長石を多く含む	1穿孔1組2方向、外面部に焼付着、脚部端部とも打ち欠き?	163	-
335	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	口径17.8 器高(16.8)	脚部 1/2以上	~94% (2条)、~95% (2条)	~94%、~95% (脚部)、板縫	やや粗、径2mm以下の長石、+チリ、赤色陶化土粒を僅かに含む	1穿孔1組3方向	163	138
336	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	口径24.8 器高(20.6)	脚部 1/2以上	~94% (2条)、~95% (2条)	~94%、~95% (脚部)、~96%	やや粗、径1mm以下の長石、+チリ、赤色陶化土粒を僅かに含む	1穿孔1組3方向	164	138
337	S00433	土器集中区	a	VI-1	脚部	口径19.2 器高(13.5)	脚部 1/2以上	~94% (2条)、~95% (2条)	~94%、~95% (脚部)、~96%	やや粗、径1mm以下の長石、+チリ、赤色陶化土粒を僅かに含む	1穿孔1組3方向	164	138

表80 土器類觀察表(14)

No.	地区 遺構	層位	時期 器物分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	伸展 範囲
						外面	内面				
338	S00433 土器集中 区5	a	VI-1 高杯3脚 部	底径13.0 高さ(18.6)	底部1/4 未満	±3°, ±7°	±3°, ±7° 押さえ(脚 部), ±9°, ±7°	重。径1mm以下の長石を 僅かに含む	1穿孔1組3方向	良	104 137
339	S00433 土器集中 区5	a	VI-1 壺田a	口径12.8 高さ(14.0)	口縁6	±3°+	±3°+, ±7° 指淵压 板, 縦縫み板	やや密。径1.5mm以下の 長石を僅かに含む		良	104 138
340	S00433 土器集中 区5	a	VI-1 壺田a	口径2.2 底径2.5 最大径15.5	口縁5 底部完 存	±3°+(タテ→ヨコ→タテ)	±3°+, ±7° 指淵压 板, 縦縫み板	重。径1mm以下の長石・ 雲母を僅かに含む	口縁端部膨出所打 り欠き	良	104 139
341	S00433 土器集中 区5	a	VI-1 壺A2	口径16.3 底径14.1 最大径25.5 存	口縁1 底部完 存	±3°+, ±7°(脚部), ±9° の うらはき(脚部)	±3°+, ±7°+, ±9°+, ±7° 指淵压 板, 縦縫み板, ±9° 板ガム	やや密。径3mm以下の長 石・+7°+1°・赤色酸化土 粒を多く含む	脚部外面と口縁部 内面に赤彩	普通	104 138
342	S00433 土器集中 区5	a	VI-1 壺F1	口径10.0 高さ(11.3)	口縁2	±3°+, ±7° 沈痕, ±7°	±3°+, ±7°, ±7°, 板ガム, 指淵压板, ±9°, 縦 縫み板	重。径1mm以下の長石を 僅かに含む		良	105 -
343	S00433 土器集中 区5	a	VI-1 壺H	底径3.1 高さ(1.1)	底部完 存	±3°+	指淵压板, ±9°, ±7°	やや密。赤色酸化土粒を 僅かに含む	外面に保付着	普通	105 139
344	S00433 土器集中 区5	a	VI-1 壺A4	口径16.0 底径16.5 最大径22.0	口縁7 底部3/4 以上	±7°, 直線文(2帯), 刺 突文, ±7°	±7°, ±9°, 指淵压 板, 縦縫み板	やや密。径2mm以下の長 石・+7°+1°・赤色酸化土 粒を僅かに含む	穿孔有り。外面に 保付着	良	105 139
345	S00433 土器集中 区5	a	VI-1 壺A4	口径16.0 底径17.2 最大径22.3 存	口縁8 底部完 存	±7°, 直線文, 刺突文, 指淵压板, ±7°	±7°, ±9°, 指淵压 板, 縦縫み板	やや密。径2mm以下の長 石・+7°+1°・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に保付着	良	105 139
346	S00433 土器集中 区5	a	VI-1 壺B2	口径15.4 高さ(16.7)	口縁5	±3°+, ±7°	±3°+, ±7°, 指淵压 板	やや密。径2mm以下の長 石・+7°+1°を僅かに含む	外面に保付着	普通	105 140
347	S00433 土器集中 区5	a	VI-1 壺B2	口径15.8 高さ(16.3) 最大径19.5	口縁6	±3°+, ±7°	±7°, 指淵压板, 橋 縫み板	やや密。径1mm以下の長 石を僅かに含む	外面に保付着	良	105 140
348	S00433 土器集中 区5	a	VI-1 壺B4	口径25.0 高さ(6.7)	口縁6	±3°+, ±7°	±7°, ±9° 板ガム	重。径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	口縁部打ち欠き	-	106 -
349	S00433 土器集中 区5	b	VI-1 壺A4	口径18.6 高さ(16.4)	口縁5	刺突文, ±3°+, ±7°	±3°+, ±7°, 指淵压 板, ±9° のうらはき	やや密。径1mm以下の長 石を僅かに含む	(口縁のみ)、外面 に保付着	良	106 140
350	S00433 土器集中 区5	a	VI-1 壺A4	口径17.8 高さ(25.0) 最大径22.8	口縁6	±3°+, ±7° 直線文、刺突文, 脚突文	±3°+, ±7°, 縦縫み板, 指淵压板, ±7°	やや密。径1.5mm以下の 長石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む		良	106 140
351	S00433 土器集中 区5	a	VI-1 壺A3	口径17.5 高さ(25.5) 最大径23.8	口縁6	±3°+, ±7° 直線文(2帯), 刺 突文, ±7°	±3°+, ±7°, 指淵压 板, ±9° のうらはき	やや密。徑1mm以下の 長石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	外面に保付着	普通	106 139
352	S00433 土器集中 区5	a	VI-1 壺B4	口径20.9 高さ(30.6) 最大径26.5	口縁7	±3°+, ±7°	±3°+, ±7°, 指淵压 板, ±7°, ±9° のうらはき, 指 淵压板	やや密。徑3mm以下の長 石・+7°+1°・赤色酸化土 粒を僅かに含む	口縁部打ち欠き有 り、脚部打ち欠き、 断面二次焼成	良	106 141
353	S00433 土器集中 区5の南	b	VI-1 壺田a	口径15.3 高さ(13.0)	口縁11	±3°+(がく見える)	±3°+(がく見える), 板ガム(脚部)	やや粗。径1.5mm以下の 長石を僅かに含む		普通	106 -
354	S00433 土器集中 区5の南	b	VI-1 高杯2脚 部	器高(5.6)		±3°+, ±7°	±3°+, ±7°	やや密。径1mm以下の長 石を僅かに含む		良	106 -
355	S00433 土器集中 区5の南	a	VI-1 高杯2脚 部	底径9.8 高さ(8.6) 最大径13.7	底部2/4以上	±3°+, ±7°	±3°+, ±7°, ±7° 板ガム	やや密。径1mm以下の 長石を僅かに含む	1穿孔1組3方向 外側に保付着。斜 面火灼的凹損	良	106 -
356	S00433 土器集中 区5の南	b	VI-1 器田a	高さ(9.2)		±3°+	±3°+, 板ガム, ±7°	やや密。径1mm以下の長 石を僅かに含む	外面に保付着。1 穿孔1組3方向	普通	106 -
357	S00433 土器集中 区5の南	a	VI-1 壺田脚部	底径9.7 高さ(8.6) 最大径13.7	底部完 存	±3°+, ±7°	±3°+, ±7°, 指淵压 板	やや密。径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む		良	107 142
358	S00433 土器集中 区5の南	b	VI-1 壺H	底径3.2 高さ(10.9) 最大径17.0	底部3/4 以上	±3°+	±3°+, 指淵压 板, 縦縫み板, ±7°	重。径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	外面に保付着	良	107 -

表81 土器類觀察表 (15)

No	地区	被	時間	器皿分類	汎量(cm)	生存率 (%)	調整		崩土	被成	備考	標本	既観
							外側	内側					
359	S00433 土器集中 区5の南	b	VI-1 障壁B1a	口径21.2 底径12.0 器高14.4 最大深21.4	口縁5.8 底部2/4 以上	13%。崩落著しい	着耗のため調査不 明、続り込み	やや粗。径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	1章孔1組3方向、 脚部打ち欠き	107	142	
360	S00433 土器集中 区5の南	d	VI-1 直底B4	直径8.0 器高(8.4)	底部2/4 以上	-%	不明(剥離著しい)	やや粗。径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	-	107	-	
361	S00433 土器集中 区5の南	c	VI-1 腹脚B	直径7.3 底部完 存	直縫文、 契突文、ハ、 脚部に指痕压痕	-%	不明(剥離著しい)	やや粗。径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	内外とも煤付着 良	内外とも煤付着 良	111	141	
362	S00433 土器集中 区5の南	a	VI-1 障壁B1a	口径13.6 器高(9.6)	口縁3	13%+	薄	密。径1mm以下の石英 を僅かに含む	良	口縫部外側に煤 付着、打ち欠き	111	-	
363	S00433 土器集中 区5の南	d	VI-VII 直底C3-4 脚部	直径7.8	-	13%+(が見える)	やや粗。径2.5mm以下の 長石・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	2孔孔3細2方向	111	-		
364	S00433 土器集中 区5の南	d	VI-1 直底B4	直径8.5 器高(8.0)	底部2/4 以上	-%	輪積み底	やや粗。径1mm以下の長 石・ハ、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外面に炭化物付着	111	-	
365	S00433 土器集中 区5の南	a	VI-1 腹脚B	直径8.2 器高(5.9)	底部	-%	-%、+%	やや粗。径1.5mm以下の 長石・赤色酸化土粒を 僅かに含む	脚部 打ち欠 き、壊断面二次 打	111	143		
366	S00433 土器集中 区5の南	c	VI-1 手捏ねC	口径5.1 底径3.1 器高3.3	口縁6 底部完 存	+%	指痕压痕	13%+	やや密。径1mm以下の長 石を僅かに含む	打欠き	111	143	
367	S00433 土器集中 区5の南	b	VI-1 腹底B	直径8.0 器高(4.2)	1/4未溝	-%	-%	密。径1mm以下の長石 を僅かに含む	良	-	111	-	
368	S00433 土器集中 区5の南	d	IV 腹2	口径13.4 底径5.0 器高25.15 最大深18.2	口縁4 底部完 存	13%+、+%、 %、+%	13%+、+%、+%	密。径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	良	外側に炭化物付 着	111	141	
369	S00433 土器集中 区5の南	b	VI-1 腹4	口径17.8 底径5.0 器高(8.9)	口縁11	-%	-%	やや粗。径2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	-	111	141	
371	S00433	d	IV 高H4	口径20.0 器高(4.0)	口縁1	次崩(4条)。+%	+%-+%	やや粗。径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	-	112	-	
372	S00433	d	IV 直H4脚 部	直径14.0 器高(2.7)	底部 1/4未溝	-%	+%-+%	やや粗。径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外面に煤付着	112	-	
373	S00433	d	IV 底H4	直径5.3 器高(5.6)	底部 2/4以上	-%+-%	指痕压痕、+%	やや粗。径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	-	112	-	
374	S00433	d	IV 器H1	器高(19.0)	-%	直縫文、波状文(3 条)、斜格子文	+%-+%	やや粗。径1mm以下のナ イフを僅かに含む	普通	外側に煤付着	112	142	
375	S00433	d	VI-1 直底B3b	口径24.8 器高(7.7)	口縁10	-%	-%+%	やや粗。径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	-	112	-	
376	S00433	c	V 器部AI	口径16.0 器高(3.0)	口縫2	-%	-%	密。径3mm以下の長石・ 石英・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	-	112	-	
377	S00433	d	IV 器H5	直径8.0 器高(2.9)	底部 1/4以上	-%	-%	やや粗。径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を多 く含む	普通	-	112	-	
378	S00433	c	VI-1 障壁B1a	口径6.8 器高(4.1)	口縁6	-%+%	-%+%	やや密。径1mm以下のナ イフ・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	口縫部打ち欠き	112	-	
379	S00433	a	V 器A5	器高(4.1)	-	-	刺突文、+%	密。径3mm以下の石英・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	良	-	112	-	
380	S00433	a	VI-1 障壁B3a	口径15.4 器高(6.6)	口縫7 底部3/4 以上	33%+、契突文、沈痕(1 条)、直縫文(8条)、刺 突文、崩落著しい	-%+%	やや粗。径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	外側に煤付着	112	142	
381	S00433	b	VI 腹4	口径15.0 器高(22.9)	口縁4	+%	+%	やや粗。径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	外側に炭化物付 着	112	142	

表82 土器類觀察表(16)

No.	地区 遺構	層位	時期 層種分類	法面(cm)	残存率 (3/12)	調整		胎土	焼成	備考	博認
						外面	内面				
382	S00433	a	V～Ⅷ 裏E2	口径12.7 底高6.9 最大径14.9 最大径12.9	口縁6 底面1/4 未調	±27°, +9°	±27°, +9°	やや粗。径2mm以下の長 石・+ト+・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	外面に保付着、調 内面に保付着	112 142
383	S00433	a	VI-1 裏A2B	口径14.4 底高(5.2)	口縁3	わけ、刺突文、+ト+9° 沈線(1条)、直線文(6条) +ト+9°、+ト+9°	±27°, +9° 直線文(2条) +ト+9°、+ト+9°	やや粗。径2mm以下の長 石・+ト+・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	外面に保付着	113 -
384	S00433	b	VI-1 裏E2	口径10.4 底高(5.0) 最大径11.0	口縁1	+8°+9°, +9°	輪積み底、指頭江 瓶	やや粗。径3mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	良	113 -
385	S00434	a	II 裏	器高(2.2)	沈線(4条)、斜位の柔瓶	+9°	やや粗。径1mm以下の長 石・+ト+を僅かに含む	良	113 -		
386	S00433	a	VI-1 裏A3	口径16.8 底高(9.8)	口縁5	刺突文、+ト+9°、直線文、 +ト+9°(2条)	±27°, +9° 指頭江瓶	やや粗。径1mm以下の長 石・+ト+・赤色酸化土 粒を多く含む	良	打ち欠き	113 -
387	S00436	2	VI～Ⅷ 裏C	口径10.0 底高(8.8)	口縁2	+9°, +9°	+9°, 輪積み底、+ト+	やや粗。径1mm以下の長 石・+ト+を僅かに含む	普通	外面に被付物 事、打ち欠き	113 -
388	S00427	a	II 裏	器高(3.2)	柔瓶、遮遮文	+9°	やや粗。赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	115 -		
389	S00427	a	VII 裏E2c	口径12.6 底高(7.2)	口縁6	±27°, +9°	±27°, +9°, 3個1組 の円形刺突、+ト+9° 指頭江瓶	やや粗。径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	115 -	
390	S00427	a	VI～VII 裏H3	口径8.4 底高(7.5)	口縁12	+9°+9°	+9°, +9°, ±27°, +9° 指頭江瓶	やや粗。赤色酸化土粒を多 く含む	普通	115 -	
391	S00427	a	VI～VII 裏H2	口径14.7 底高(5.2)	口縁6	±27°, +9°, +9°	+9°	やや粗。径1mm以下の長 石・+ト+・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良	115 -	
392	S00427	a	IV 裏	器高(3.0)	波状文	+9°	やや粗。赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	115 -		
393	S00427	a	V 裏D	器高(7.6)	直線文(5条)、刺突文、 直線文。+ト+9°	+9°, 指頭江瓶、輪 積み底	やや粗。径1mm以下の長 石・+ト+・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良	115 -		
394	S00427	a	不明	底高(6.2)	柔瓶、端部刺突(巻き 貝?)	+9°, 刺突文(巻き 貝?)	やや粗。径3mm以下の長 石・右肩・+ト+を僅かに含 む	普通	115 143		
395	S00427	a	溝文 深鉢	底高(7.1)	柔瓶	+9°	やや粗。径2mm以下の長 石・+ト+を僅かに含む	普通	115 143		
396	S00427	k	溝文 深鉢	器高(4.5)	柔瓶、+ト+9°	+9°	やや粗。径1mm以下の長 石・+ト+を僅かに含む	普通	115 143		
397	S00427	a	溝文 深鉢?	器高(2.8)	+9°	+9°	やや粗。径3mm以下の長 石・+ト+を僅かに含む	普通	115 143		
398	S00427	a	I 不明	器高(4.6)	柔瓶、沈瓶	+9°	やや粗。径4mm以下の長 石・右肩・+ト+を僅かに含 む	普通	115 143		
399	S00431	a	VI～VII 裏E3	口径20.4 底高(6.8)	口縁2	+9°, 指頭江瓶	+9°, 指頭江瓶	やや粗。径2mm以下の長 石・+ト+を多く含む	良	内外間に保付着	117 -
400	S00431	b	VI～VII 裏B1B	口径16.4 底高(3.5)	口縁3	±27°, +9°, 指頭江瓶	±27°, +9°, +9°, 指頭江 瓶	やや粗。径1mm以下の長 石・雲母・+ト+・赤色酸 化土粒を多く含む	普通	外面に保付着、口 縁に打ち欠き	117 -
401	S00431	e	VI～VII 裏E3B	底高(5.5) 底高(5.2)	+9°	+9°, 指頭江瓶	+9°, 指頭江瓶	やや粗。径1.5mm以下の長 石・+ト+・赤色酸化 土粒を多く含む	普通	外面に保付着	117 -
402	S00431	a	VII 裏A4B2	器高(8.5)	擬圓錐(4条)、山形文、 擬圓錐(5条)、刺突文	+9°	やや粗。底純のため調整 が難しくなる	普通	117 -		
403	S00431	2	I 裏	器高(5.3)	沈瓶(3条)、+9°	+9°, 指頭江瓶	やや粗。径1.5mm以下の長 石・+ト+・赤色酸化 土粒を多く含む	良	117 -		
404	S00430	1	X 裏	口径15.1 底高(11)	口縁9	±27°, +9°, 330° 直	±27°, +9°, 指頭江 瓶	やや粗。径1mm以下の長 石・雲母・+ト+を多く含 む	普通	外面に保付着	119 143
405	S00430	b	VII 高M04	口径23.8 底高(5.0)	口縁1	+9°+9°	多条 沈瓶(3条)、山形文、 多条 拟圓錐(5条)、山形文、 多条 沈瓶(4条)、山形文、 多条 拟圓錐(3条)	やや粗。径1mm以下の長 石・雲母・+ト+を多く含 む	良	119 -	
406	S00430	b	VI～VII 裏B1a	口径15.6 底高(4.9)	口縁3	±27°, 刺突文、+9°	±27°, 指頭江瓶、 ±27°	やや粗。底純のため調整 が難しくなる	普通	外面に保付着	119 143

表83 土器類観察表 (17)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 回数
						外面	内面				
407	S00423	a	V～VI 窓R3a	口径24.9 高さ(3.0)	口縁2	13°±	13°±	やや密、径2mm以下の長 石・?+→・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通		121 -
408	S00423	b	高3C脚	器高(7.1)	底部1/4 以上	13°±	13°±	やや密、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		121 -
409	S00423	e	V～VI 窓H	器高(6.9)		13°±	13°±、指頭圧痕、 輪積み痕	密、径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	良		121 -
410	S00423	a	V～VI 窓F2	口径6.6 底径4.2 高さ2.3 最大径5.6	口縁2 底部1/4 以上	13°±	13°±、指頭圧痕、輪 積み痕	やや密、径3mm以下の長 石・?+→・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外面に焼付着	121 144
411	S00423	a	V～VI 窓E3a	口径16.1 器高(7.0)	口縁10	13°±、直線文、刺突文、 コサツ、?、?、?	13°±、指頭圧痕、輪 積み痕	やや密、径2mm以下の長 石・?+→・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外面に焼付着	121 143
412	S00423	b	V～VI 窓H	口径5.4 器高(5.9)	口縁12	13°±	13°±	やや密、径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を多 く含む	良	口縫部打ち欠き	121 -
413	S00423	f	V～VI 窓A3	口径15.6 器高(14.6)	口縁2 (9.2)、?、?	13°±、刺突文、直線文、 指頭圧痕	13°±、輪積み痕、 ?+→	やや密、径2mm以下の長 石・?+→・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外面に焼付着	121 -
414	S00423	b	V～VI 窓A3	口径17.3 器高(16.1)	口縁12	13°±、刺突文、直線文、 コサツ	13°±、?、?、?	やや密、径3mm以下の長 石・?+→・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	口縫部打ち欠き	121 -
415	S00423	b	IV 窓A	器高(5.4)		13°±、糸付の?+→	13°±、?、?	やや密、径1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	外面に焼付着	121 -
416	S00423	b	IV 窓A	底径5.0 高さ(6.7)	底部2/4 以上	?+→	?+→	やや密、径2mm以下の長 石・石英・雲母・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通	外面に焼付着	121 -
417	S00449	a	直文 深鉢	器高(7.2)		貼付錐帯、貼付錐帯上 押し引き、貝殻底痕	?+→	やや密、径2mm以下の長 石・?+→・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良	外面に焼付着	123 -
418	S00449	a	VI～VII 窓台B	口径8.7 高さ(2.0)	口縁5	13°±	13°±	やや密、径1mm以下の?+→ を僅かに含む	良	外面に焼付着	125 -
419	S00449	b	VII 窓D	器高(3.3)		13°±	13°±	密、径2mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに含 む	良		125 -
420	S00424	a	VI～I 窓R3a	口径24.7 底径13.0 高さ17.9 最大径5.1	口縁6 底部3/4 以上	?+→、13°±、指頭圧痕	?+→、13°±、輪積み 痕	密、径2mm以下の長石・ 雲母・?+→・赤色酸化 土粒を僅かに含む	良		125 144
421	S00419	a	VI～VII 窓D2a	口径8.8 高さ(5.3)	口縁3	13°±	13°±	密、径2mm以下の赤色 酸化土粒を僅かに含む	良	内面に、外面に焼付 着り、外面上に焼付	125 -
422	S00424	a	V 窓I1	器高(9.4)		13°±	?+→?痕、?X?、?、? ?	やや粗、径7mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	1穿孔1縫3方向	125 -
423	S00424	a	高3B脚	器高(13.9)		13°±	?+→?痕、?、?	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	2穿孔1縫3方向	125 -
424	S00424	a	V 窓A1b	口径9.4 器高(5.5)	口縁10	?+→、多孔芯縫(2条)、? 、摩耗なし	?+→、?+→、摩耗甚 い	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		125 145
425	S00424	a	V 窓A1a	口径11.4 器高(5.5)	口縁8	13°±、?+→、圓筒内面 摩耗なし	?+→、摩耗甚い	やや粗、径2mm以下の長 石・?+→・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外面に焼付着。二 次焼成底	125 -
426	S00424	a	II～III 窓	底径3.4 器高(5.9)	底部完 存	13°±		指頭圧痕	普通		125 145
427	S00424	a	VI～I 窓H3	口径8.1 底径1.9 高さ14.5 最大径14.9	口縁9 底部完 存	13°±、?+→?	?+→、?+→?痕、指頭 圧痕、輪積み痕	やや密、径1mm以下の長 石・?+→・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外面に焼付着。口 縫部打ち欠き2カ所?	125 145
428	S00424	a	VI～I 窓F	口径8.1 底径2.5 高さ11.2 最大径15.2	口縁11 底部完 存	13°±、?+→?	?+→、?+→?痕、指頭 圧痕、輪積み痕	やや密、径1mm以下の長 石・?+→・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	口縫部打ち欠き	125 145
429	S00424	a	VI～I 窓A3b	口径14.5 底径3.0 高さ8.8 最大径14.9	口縁11 底部完 存	?+→、刺突文、?、直 線文、?+→	?+→、指頭圧痕、 輪積み痕	やや密、径2mm以下の長 石・?+→・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	内外面に焼付着	125 145
430	S00424	a	VI～I 窓F	口径9.9 底径2.5 高さ4.4 最大径4.1	口縁10	?+→、指頭圧痕	?+→	密、径1mm以下の長石・ ?+→	良	口縫部打ち欠き	125 146
431	S00424	a	VI～I 窓A2b	口径14.0 器高(8.0)	口縁2	?+→、刺突文、直線文、 ?+→、?、?	?+→、指頭圧痕、 輪積み痕	やや密、径1mm以下の長 石・?+→・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通		125 -

表84 土器類觀察表 (18)

No	地区 道府 県	施 設 位	時 期	細分類	法量(m)	残存率 (%)	調整		施工	種 類	備考	付 記
							外層	内層				
432	S00424	a	VI-1 鉢B2	口径18.2 底径11.8 高さ11.6 最大幅18.7	口径10 底径6 高さ6 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、輪積み底	※ ※	やや密、底1mm以下の長 石、ナットを僅かに含む	良	底部穿孔	125 145
433	S00424	a	手捏ねC	口径5.1 底径(7.3) 最大幅5.1	口径7 底径6 高さ6 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、輪積み底、エ レベ	※ ※、※ ※	やや粗、径4mm以下の長 石を僅かに含む	普通	普通	125 146
434	S00425	a	VII 鉢B2	口径12.2 底径(9.1)	口径7 底径6 高さ6 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、※ ※	※ ※	やや密、径1mm以下の長 石、雲母を僅かに含む	良	外面に炭化物付着	125 -
435	S00424	a	VI 便脚B	直径8.4 底径(5.0) 最大幅8.4	口径7 底径6 高さ6 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、指揮圧痕、輪積み底、板 模	※ ※	やや密、径2mm以下の長 石、ナットを僅かに含む	普通	普通	125 -
436	S00424	a	VI-1 鉢A3	口径18.8 底径(11.6) 高さ11.6	口径7 底径6 高さ6 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、※ ※、指揮圧痕、板 模、摩耗有り	※ ※	やや粗、径4mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	外面に保有着	125 146
437	S00425	a	便B2	口径16.6 底径(5.2)	口径6 底径6 高さ6 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、※ ※	※ ※	やや密、径1mm以下の長 石、雲母、赤色酸化土 粒を多く含む	良	外面に炭化物付着	125 -
438	S00413	2	VI 蓋C1a	口径22.6 底径(6.2)	口径2 底径2 高さ2 底部完 存	100% ※ ※	※ ※	※ ※	やや密、径1mm以下の長 石、雲母、赤色酸化土 粒を僅かに含む	良	普通	127 -
439	S00413	2	VI 蓋C1b	口径5.5 底径(7.0)	口径3 底径3 高さ3 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、輪積み底	※ ※	やや密、径1mm以下の長 石、ナットを僅かに含む	良	普通	127 -
440	S00413	2	VI 蓋C2b	口径11.6 底径(11.0)	口径6 底径6 高さ6 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、輪積み底	※ ※	やや密、径1mm以下の赤色 酸化土粒を僅かに含む	良	外面に腐食着	127 -
441	S00416	a	VI-1 便E4	口径11.4 底径(11.9)	口径4 底径4 高さ4 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、※ ※、輪積み底、指 揮圧痕、板模	※ ※	やや密、径1mm以下の長 石、雲母を僅かに含む	普通	外面に炭化物付着	127 128
442	S00428	a	高VII 部	口径(5.0)	口径1 底径1 高さ1 底部完 存	100% ※ ※	※ ※	※ ※	やや密、径1mm以下の赤色 酸化土粒を僅かに含む	良	1孔孔1孔3方向	129 -
443	S00428	a	VII 鉢G	口径11.4 底径4.8 高さ6.6 最大幅11.5	口径2 底径2 高さ2 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、輪積み底、※ ※、指揮圧痕	※ ※、※ ※、輪積み底、ナット 、指揮圧痕	やや密、底1mm以下のナ ット、赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	普通	129 -
444	S00428	a	VII 高H2	口径19.0 底径(3.2)	口径1 底径1 高さ1 底部完 存	100% ※ ※	沈藻(2点)、※ ※	沈藻(2点)、※ ※	やや密、底1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	普通	129 -
445	S00415	b	便C2b	口径11.6 底径(12.7)	底径6 高さ6 底部完 存	100% ※ ※	※ ※	※ ※	やや密、底3mm以下の長 石、ナットを多く含む	普通	外面に炭化物付着	131 146
446	S00414	a	VI 蓋C2b	口径28.6 底径(17.6)	口径1 底径1 高さ1 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、※ ※	※ ※、※ ※	やや密、底1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	2孔孔1孔2方向	133 176
447	S00414	a	VI 蓋C2b	口径28.4 底径15.5 高さ6.0 最大幅28.6	口径9 底径9 高さ9 底部完 存	100% ※ ※	※ ※	※ ※、※ ※	やや密、底1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	2孔孔1孔2方向 、外表面に腐食着 、打ち次第(泡)	133 176
448	S00414	a	VI 便D1b	口径16.2 底径(4.3)	口径2 底径2 高さ2 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、押し引き、※ ※	※ ※、※ ※、指揮圧 痕	やや粗、底1mm以下の長 石、雲母、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	普通	133 -
449	S00414	a	VI-1~VI 手捏ねC	直径3.0 底径2.6 高さ2.6 底部完 存	口徑3 底徑3 高さ3 底部完 存	100% ※ ※	※ ※	※ ※、指揮圧痕	※ ※、※ ※、指揮圧痕	やや密、底1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	底部穿孔板	133 -
450	S00414	a	VI~VII 手捏ねC	直径4.0 底径3.0 高さ3.0 底部完 存	口徑4 底徑4 高さ4 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、指揮圧痕	※ ※、指揮圧痕	やや密、底1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	良	133 -
451	S00414	a	VI~VII 便脚B	底径8.0 高さ7.0 最大幅12.5	底径8 高さ8 最大幅12.5 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、指揮圧痕、輪 積み底	※ ※、指揮圧痕、輪 積み底	やや粗、底3mm以下の長 石、赤色酸化土 粒を多く含む	普通	内面に保有着	133 -
452	S00414	a	譲 深溝	口径(5.1)	柔軟(1)	柔軟(1)	柔軟(1)	柔軟(1)	柔軟(1)のため調査不 明	普通	普通	133 193
453	S00414	a	VI 蓋C2b	口径22.0 底径12.6 高さ16.3	口径2 底径2 高さ2 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、※ ※	※ ※、※ ※	やや密、底1mm以下の長 石、ナットを僅かに含む	良	2孔孔1孔2方向、 内外面に腐食着 、二次焼成痕	133 176
454	S00050	a	V 蓋C2b	口径20.7 底径(3.0)	口径7 底径7 高さ7 底部完 存	100% ※ ※	※ ※	※ ※	やや密、底2mm以下の長 石、ナットを僅かに含む	普通	普通	137 -
455	S00050	a	VI 便C4b	口径21.4 底径17.0 高さ16.3 最大幅21.4	口径3 底径3 高さ3 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、板けい、※ ※	※ ※、板けい	やや密、底1mm以下の長 石、ナットを僅かに含む	良	1孔孔1孔3方向	137 178
456	S00050	a	VI 蓋C2b	口径28.4 底径(16.6)	口径4 底径4 高さ4 底部完 存	100% ※ ※	※ ※、※ ※	※ ※、※ ※	やや密、底1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	1孔孔1孔3方向	137 178
457	S00050	1	IV A器	器高(3.1)	沈藻(2本1組)× 2	沈藻(2本1組)× 2	沈藻(2本1組)× 2	沈藻(2本1組)× 2	沈藻(2本1組)× 2	普通	普通	137 -

表85 土器類観察表 (19)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 説明	
						外面	内面					
462	SD0050	a	VII 高井C4d	口径30.9 器高(8.3)	口縁85 底縁2	+++, 13+	多条沈痕(9条, 6 条, 6条, 6条), 山 形文等	やや密, 径5mm以下の長 石, テートを多く含む	普通	打ち欠き, 外面に 赤色顔料付着	137 174	
463	SD0050	a	VII 高井C4d	口径32.0 器高(11.8)	口縁85 底縁2	+++	沈痕(10条), 山形 文, 沈痕(9条), 山 形文, 沈痕(5条), 剥 離	密, 径1mm以下の長石, 赤色顔化土粒を僅かに 含む	良		137 174	
464	SD0050	a	VII 高井G3c	口径9.0 器高(5.7)	口縁2 底縁2	多条沈痕(6条・5条・5条, 4条). 山形文(3段), 剥 離	剥耗のため不明	やや密, 径2mm以下の長 石, 石英, 赤色顔化土 粒を僅かに含む	底部穿孔 普通	底部穿孔	137 175	
465	SD0050	a	VII 高井C4d	器高(4.4)		++		やや密, 径3mm以下の長 石, 石英, 赤色顔化土 粒を僅かに含む	2穿孔1縫2方向, 外外面に焼付着	137 -		
466	SD0050	a	VII 高井D4b	底径12.5 器高(7.9)	底部1/4 未満	+++		やや密, 径1mm以下の長 石, 赤色顔化土粒を僅 かに含む	1穿孔1縫3方向, 内外面に焼付着	137 -		
467	SD0050	b	VII~VIII 高井E	口径29.3 器高15.9 最大径20.9	口縁3 底部1/4 未満	++	多条沈痕(3条, 3条, 7条, 3条, 3条), 剥 離文等	密, 径3mm以下の長石, 赤色顔化土粒を僅かに 含む	1穿孔1縫4方向 普通	1穿孔1縫4方向	137 174	
468	SD0050	a	VII 高井C4d	器高(4.8)		++	+++, 板+++, 23+	密, 径2mm以下の長石, 赤色顔化土粒を僅かに 含む	2穿孔1縫2方向 普通	2穿孔1縫2方向	137 -	
469	SD0050	a	VII 高井D4b	器高(5.6)		++	+++, 23+板	密, 径1mm以下の長石, 赤色顔化土粒を僅かに 含む	2穿孔1縫2方向, 良	2穿孔1縫2方向	137 -	
470	SD0050	b	VII~VIII 高井E	口径20.6 器高15.6 最大径20.7	口縁3 1/4未満	++	多条沈痕(5条, 5条, 4条, 6条), 剥離文 (1), 33+, 23+, 23+, 23+板	密, 径1mm以下の長石, 赤色顔化土粒を僅かに 含む	2穿孔1縫2方向 普通	2穿孔1縫2方向	137 175	
471	SD0050	b	VII 高井D3	口径19.8 器高(16.0)	口縁3	++	多条沈痕(21条)	やや密, 径2mm以下の長 石, テート, 赤色顔化土 粒を僅かに含む	1穿孔1縫4方向 普通	1穿孔1縫4方向	138 174	
472	SD0050	a	VII~VIII 高井E	底径14.1 器高15.6 最大径20.6	口縁3 底縁1/4 未満	++	多条沈痕(3条, 3条, 4条, 6条), 剥離文 (1), 33+, 23+, 23+, 23+板	やや密, 径2mm以下の長 石, 石英, 赤色顔化土 粒を僅かに含む	1穿孔1縫4方向 普通	1穿孔1縫4方向	138 175	
473	SD0050	a	VII~VIII 器台B2	口径12.8 器高(12.4)	口縁3	++	+++, 23+, 23+	やや密, 径2mm以下の長 石, 石英, 赤色顔化土 粒を僅かに含む	1穿孔1縫3方向 普通	1穿孔1縫3方向	138 -	
474	SD0050	a	V~VII 窓G4	口径11.0 底高定 存	口縁3 底縁2	++, 23+, 指頭压痕	+++, 指頭压痕, 23+, 23+, 23+, 指積み 板	やや密, 径3mm以下の赤 色顔化土粒を僅かに含 む	脚部打ち欠き, 外 面に焼付着	138 175		
475	SD0050	a	V~VII 窓G4	器高(3.8)			剥耗のため調整不 明	指積み板, 23+板, 指 頭压痕, 剥離等	やや密, 径2mm以下の長 石, 赤色顔化土粒を僅 かに含む	普通		138 -
476	SD0050	a	VII~VIII 窓A4	口径16.7 器高(4.4)	口縁2 底縁2	++	陶凹痕(4条), 條状浮 萍(1), 指頭压痕(1), 剥離(4条), 剥離	横羽吹文	やや密, 径1mm以下の長 石, 赤色顔化土粒を僅 かに含む	外表面赤彩 普通	138 -	
477	SD0050	a	VII 窓B2a	口径7.0 器高(5.0)	口縁3	++	山形文等, 剥離(10条), 剥離(1), 剥離(1), 剥 離(1), 剥離(1), 剥 離(4), 剥離(4), 剥 離(4)	+++, 23+, 指積み 板, 23+, 23+, 指頭 压痕	やや密, 径1mm以下の長 石, 赤色顔化土粒を僅 かに含む	口縫部打ち欠き 普通	138 -	
478	SD0050	a	VII~VIII 窓B2a	口径7.2 器高(4.4) 最大径12.1	口縁3	+++, 23+	剥耗のため調整不 明	前, 径3mm以下の長石, 赤色顔化土粒をいつつか い	口縫部打ち欠き 普通	138 175		
479	SD0050	a	VII~VIII 窓B3	口径10.2 器高(11.0)	口縁3	+++, 23+	+++, 指積み底, 指 頭压痕	やや密, 径1mm以下の長 石, 石英, 赤色顔化土 粒を僅かに含む	外表面に焼付着(脚 部下半)	138 -		
480	SD0050	b	VII~VIII 窓B3	口径7.2 器高(7.2)	口縁5	++	陶凹痕, 剥離等不 明	やや密, 径2mm以下の長 石, テート, 赤色顔化土 粒を僅かに含む	普通	138 -		
481	SD0050	a	VII~VIII 窓H1	底径4.4 器高(10.3) 最大径13.0	底部完 存	++	指頭压痕, 23+, 指 積み底	やや密, 径1mm以下の長 石, 赤色顔化土粒を僅 かに含む	普通	138 -		
482	SD0050	a	VII~VIII 窓G2a	口径10.0 器高(11)	口縁3	++	磨耗のため調整不 明	+++, 指積み底, 23+	普通	138 -		
483	SD0050	a	VII 窓A2	口径13.9 器高(6.6)	口縁3	++	剥離(1), 剥離文, 直 線文, 剥離(1), 剥 離(4), 剥離(4), 剥 離(4)	やや密, 直線文, 赤 色顔化土粒を僅かに含 む	外表面に焼化物付着 普通	139 -		
484	SD0050	I	VII 窓A2	口径17.1 器高(5.7)	口縁5	++	剥離(1), 剥離文, 直 線文, 剥離(4), 剥 離(4)	やや密, 直線文, 赤 色顔化土粒を僅かに含 む	外表面に焼化物付着 普通	139 175		
485	SD0050	a	VII~VIII 窓B2a	底径2.2 器高(4.8)	底部3/4 以上	++	+++, 指頭压痕	やや密, 径1mm以下の長 石, 赤色顔化土粒を僅 かに含む	内面に焼付着 普通	139 -		

表86 土器類觀察表(20)

No.	地区 遺構	層位	時期 層種分類	法面(cm)	残存率 (%)	調整	胎土	焼成	備考	伸縮 回数
488	S00442 土器龜中 区1a	1	VI-3 高H26b	口径11.0 底径14.2 器高8.9 最大径14.2	口縁1.0 底部2/4 以上	多条沈綬(9条), [オキ ナカ], ハサ	泥, 径5mm以下の長石・ チトベリを僅かに含む	1穿孔1組3方向	良	148 148
489	S00442 土器龜中 区1a	1	VI-3 高H1脚 部	底径10.6 器高(8.2)	底部1/4 以上	[オキ, ハサ]	摩耗につき調整不 明	やや密, 径1mm以下の長石・ チトベリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	1穿孔1組3方向	148 -
490	S00442 土器龜中 区1a	1	VI-3 壁D1b	口径25.0 底径(33.2)	口縁2	ヨリハツ, 押し引き, ハサ	ヨリハツ, 指頭圧痕, 輪縞み瓶, 破片	やや密, 径1mm以下の長石・ チトベリ・赤色酸化土 粒を多く含む	内外面に炭化物付 着	148 146
491	S00442 土器龜中 区1a	1	VI-3 壁B3	口径19.4 底径8.3 器高29.9 最大径24.0	口縁7 底部3/4 以上	ヨリハツ, 指頭圧痕, 輪縞み瓶, 摩耗著 しい	ヨリハツ, 指頭圧痕, 輪縞み瓶, 破片	やや密, 径1mm以下の長石・ チトベリ・赤色酸化土 粒を多く含む	外面に保付着	148 146
492	S00442 土器龜中 区1a	1	VI-3 壁B3	口径18.0 底径10.0 器高28.4 最大径24.4	口縁10 底部2/4 以上	[オキ], ハサ, 指頭圧痕, 輪縞み瓶, ハサ	[オキ], 指頭圧痕, 輪縞み瓶, 壁 軽着しい	やや粗, 径5mm以下の長石・ チトベリ・赤色酸化土 粒を多く含む	外面に保付着	148 147
493	S00442 土器龜中 区1a	1	VI-3 壁A2b	口径19.7 底径6.3 器高28.4 最大径24.8	口縁5 底部3/4 以上	ヨリハツ, 直線文(3期), 鉢突文, ハサ, ハ	ヨリハツ, 輪縞み瓶, 指頭圧痕	泥, 径5mm以下の長石・ チトベリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に炭化物付着	148 147
494	S00442 土器龜中 区1b	1	V 高H2脚 部	器高(G.5)		直線文, 摩耗のため調 整不明	摩耗のため調整不 明	やや粗, 径1mm以下の長 石・チトベリ・赤色酸化土 粒を多く含む	1穿孔1組4方向	149 -
495	S00442 土器龜中 区1b	1	VI-3 壁F1	口径9.0 底径9.2 器高12.0 最大径14.3	口縁11	[オキ], [オキ]	[オキ], 指頭圧痕, 輪縞み瓶	やや密, 径1mm以下の長 石・チトベリ・赤色酸化土 粒を多く含む	2穿孔1組2方向, 底部3穿孔	149 147
496	S00442 土器龜中 区1b	1	VI-3 窓G2a	口径14.0 底径9.9 器高12.5 最大径14.3	口縁9 底部4/5 充存	多条沈綬(5条), [オキ ナカ], ハサ, ハサ	多条沈綬(5条), [オキ ナカ], 指頭圧痕, 輪縞み瓶	やや密, 径2mm以下の長 石・チトベリ・赤色酸化土 粒を多く含む	外面に保付着	149 147
497	S00442 土器龜中 区1b	1	V 壁	器高(1.8)		[オキ], 摩耗のため調 整不明	[オキ]	やや密, 径1mm以下の長 石を僅かに含む	外面に赤彩	149 147
498	S00442 土器龜中 区1b	1	VI-3 壁C2	口径19.2 底径8.0 器高(35.0)	口縁6 底部完全 充存	[オキ], ハサ, 輪縞み瓶, 指 頭圧痕, ハサ	[オキ], ハサ, 指頭圧痕, 輪縞み瓶	やや密, 径1mm以下の長 石・チトベリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に保付着	149 -
499	S00442 土器龜中 区1b	1	IV 壁	底径5.0 器高(13.7)	底部充 存	昨日, 摩耗著 しい	指頭圧痕, 摩耗の ため調整不明	やや粗, 径2mm以下の長 石・チトベリを多く含む	普通	149 147
500	S00442 土器龜中 区2	1	VI-3 高H2c	口径22.6 底径15.4 器高17.7	口縁10 底部3/4 以上	[オキ], 板形, ハサ	[オキ], 板形, ハサ	泥, 径5mm以下の長石・ チトベリ・赤色酸化土粒を 僅かに含む	1穿孔1組2方向	150 148
501	S00442 土器龜中 区2	1	VI-3 高H2c	口径25.7 器高(1.1)	口縁10	[オキ], 摩耗著 しい	多条沈綬(4条), [オキ ナカ], ハサ, 摩耗著 しい	やや密, 径2mm以下の長 石・チトベリ・赤色酸化土 粒を多く含む	1穿孔1組3方向	150 148
502	S00442 土器龜中 区2	1	VI-3 高H2c	口径20.2 器高(5.0)	口縁11	指頭圧痕, [オキ]	[オキ](羽状)	泥, 径5mm以下の長石・ チトベリを僅かに含む	内面に保付着, 口 縫部に打ち欠き	150 148
503	S00442 土器龜中 区2	1	VI-3 壁D3	口径17.7 器高(5.2)	口縁3	[オキ], ハサ	[オキ], 指頭圧痕, 輪縞み瓶	やや密, 径2mm以下の長 石・チトベリ・赤色酸化土 粒を多く含む	外面に保付着	150 148
504	S00442 土器龜中 区2	1	VI-3 壁D1b	口径18.7 器高(4.1)	口縁6	[オキ], 押し引き, ハサ	[オキ], [オキ], ハサ, 指 頭圧痕	やや密, 径2mm以下の長 石・チトベリ・赤色酸化土 粒を多く含む	打ち欠き	150 -
505	S00442 土器龜中 区2	1	VI-3 雙脚部	底径0 器高(5.6)		底径0, [オキ]	[オキ], 指頭圧痕	やや密, 径1mm以下の長 石・チトベリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良	150 -
506	S00442 土器龜中 区3a	1	VI-3 高H2a	口径11.0 底径12.6 器高4.8 最大径12.6	口縁11 底部2/4 以上	[オキ]	[オキ], ハサ	やや密, 壁母を僅かに含む	2穿孔1組2方向	151 148
507	S00442 土器龜中 区3a	1	VI-3 高H2c	口径11.5 底径6.0 器高(6.2)		沈綬(7条), 山形文, 沈 綬(4条), 山形文, 沈綬(3 条), 鉢突文, 沈綬(5条), 器高(12.5), 壁突文, 沈綬(12条), 山形文, 沈 綬(3条), 山形文, 沈綬 (5条)	[オキ](羽状), 板形, ハ サ	泥, 径5mm以下の長石・ チトベリ・赤色酸化土粒を 僅かに含む	1穿孔1組3方向	151 149
508	S00442 土器龜中 区3a	1	VI-3 高H3脚 部	器高(6.4)		[オキ]	段り込み, [オキ, ハ サ]	泥, 径1mm以下の長石・ チトベリ・赤色酸化土粒を 僅かに含む	外面に保付着, 縫 縫部に二次焼成	151 -
509	S00442 土器龜中 区3a	1	VI-3 器台B3	底径15.4 器高(9.2)	底部	[オキ]	[オキ], 板形, ~オキ	泥, 径2mm以下の長石を 僅かに含む	外面に保付着	151 149

表87 土器類観察表 (21)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		断土	焼成	備考	特徴 回数	
						外面	内面					
510	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 縦底16.8 器高14.1 最大径19.5	口縁19.5 底部4	†+, †3+, † 板†+, † ※、残1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに含む				2穿孔1縫2方向 普通	151	149	
511	S00442 土器集中 区3a	I	V 器台A	器高(6.4)	‡+*	板†+		やや密、残1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含む	1穿孔1縫3方向 良	151	-	
512	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 縦底22 器高(22.2)	口縁18.2 底部12	指潤正直 板†+ ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	やや粗、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕		外面上に炭化物・保 持着	普通	151	-	
513	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 雙脚部 器高6.0	底径7.6 器高(6.0) 以上	†+, 残1mm以下 板†+	やや密、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕		外面上に炭化物・保 持着	普通	151	-	
514	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 雙E5	口縁17.8 底径8.2 器高21.0 最大径19.0	口縁10 底径21.0 器高2/4 以上	†+, 指潤正直 板†+ ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	やや密、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	外面上に炭化物付 着、破断面に二次 焼成痕	普通	151	149	
515	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 雙脚部	底径6.7 器高(9.2)	底部3/4 以上	†+, 残1mm以下 輪積み痕、 ※、輪潤痕	輪積み痕、 ※、輪潤痕	やや粗、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	打ち欠き 普通	151	-	
516	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 雙脚部	底径8.2 器高(5.5)	底径完 存	輪積み痕、 ※、輪潤痕	※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	※、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	内面に保付着 良	151	-	
517	S00442 土器集中 区3a	I	V 燒E5	口縁16.0 器高(5.4)	口縁5 底部3/4	‡+*, 利突穴、直線痕、 ※、輪潤痕	‡+*, 指潤正直、 板†+ ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	やや密、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	外面上に保付着 普通	151	-	
518	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 ※G2a	口縁18.2 底径5.8 器高14.6 最大径18.5	口縁12 底径完 存	†+のち‡+ ※、輪積み痕	†+のち‡+ ※、輪積み痕	※、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	外面上に保付着 普通	152	149	
519	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 ※G2a	口縁16.0 底径4.5 器高13.2 最大径16.2	口縁11 底径完 存	‡+、※、輪潤痕(底部) ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	輪積み痕、 ※、輪潤痕	やや密、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	外面上に保付着 普通	152	149	
520	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 ※G2a	口縁14.8 底径2.6 器高11.9 最大径15.3	口縁11 底径完 存	†+のち‡+ ※、輪積み痕	†+のち‡+ ※、輪積み痕	※、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	外面上に保付着 良	152	150	
521	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 ※G2a	口縁17.2 底径5.5 器高11.3 最大径17.5	口縁11 底径完 存	‡+、※ ※、輪積み痕	‡+、※、輪積み 板	やや密、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	外面上に保付着 良	152	150	
522	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 ※B	底径6.4 器高(21.7)	底径完 存	※目	※目、指潤痕	やや密、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	外面上に保付着 良	152	150	
523	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 ※H?	底径4.6 器高(9.9)	底径完 存	‡+*	‡+痕、※‡+ ※、輪潤痕	※、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	外面上に保付着 良	152	150	
524	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 ※F	口縁15.5 底径5.2 器高7.9 最大径15.9	口縁11 底部2/4 以上	輪積み痕、 ※、輪潤痕	輪積み痕、 ※、輪潤痕	やや密、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	普通	152	150	
525	S00442 土器集中 区3a	I	V 高F	底径8.5 器高(6.1)	底部2/4 以上	※	※、※押さえ	やや密、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	普通	153	-	
526	S00442 土器集中 区3a	I	VI~VI ※B脚	口縁8.0 底部2/4 以上	底部1/4 未満	‡+*	‡+痕、 ※	※、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	2穿孔1縫3方向 良	153	-	
527	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 雙脚部	底径8.2 器高(6.3)	以上	†+, ††+, ※、輪潤痕	†+, ††+, ※、輪潤痕	※、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	打ち欠き 普通	153	-	
528	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 雙脚部	底径7.5 器高(5.8)	以上	†+, ††+	†+, 指潤痕、 ※	※、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	打ち欠き 普通	153	-	
529	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 雙E3	口縁8.6 器高(13.5)	口縁6	‡+†+, ※	‡+†+, ※、輪積み 瓶	※、 ※、輪積み 瓶、 ※、輪潤痕	外面上に炭化物付 着	普通	153	150
530	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 雙C2	口縁18.0 器高(6.9)	口縁3	‡+†+, ※	‡+†+, ※、輪潤痕	※、 ※、輪積み痕、 ※、輪潤痕	外面上に保付着 普通	153	-	
531	S00442 土器集中 区3a	I	VI-3 雙脚部	底径7.4 器高(7.0)	底径完 存	※	‡+†+, ※	※、 ※、輪積み 瓶	外面上に保付着 良	153	-	
532	S00442 土器集中 区4	I	V~VI ※胴部	器高(4.8)		摩耗のため調整不 明	摩耗のため調整不 明	やや粗、 ※、輪積み 瓶	生駒西麓産 普通	153	-	

表88 土器類觀察表(22)

No.	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	神奈 開版	
						外面	内面					
533	土器集中区5	1	便脚部	V1	底径6.9 高さ(4.2)	口縫6.9 底径2/4以上	±	指淵正瓶	やや密。径2mm以下の長石・石英・+トーライトを僅かに含む	破断面に焼付着	153 -	
534	土器集中区5	1	手捏ねC	V1	口縫6.3 底径5.0 器高3.5 最大径6.6	口縫10 底部完 存	±	指淵正瓶、輪縫み瓶	やや密。径2mm以下の長石・石英・+トーライトを僅かに含む	口縫打ち欠き?	153 -	
535	土器集中区5	1	手捏ねC	V1	口縫5.5 底径5.6 器高3.3 最大径5.7	口縫5 底径6.6 器高3.0 存	±	輪縫み瓶、指淵正瓶	輪縫み瓶、指淵正瓶、±??	やや密。径6mm以下の右英・+トーライトを僅かに含む	口縫打ち欠き?	153 -
536	土器集中区5	1	V1-2-3 漆A1b	V1	口径16.0 高さ(6.2)	口縫12 底径5.4 以上	±	束縛(4条)、±??、直縫文	束縛(4条)、直縫文	透、径5mm以下の長石・+トーライトを僅かに含む	内面に赤彩普通	153 -
537	土器集中区5	1	V1-2-3 高环G1	V1	口縫12.3 底径11.2 器高12.8 最大径17.4	口縫12 底径5/4 以上	±??	±??、±??、±	透、径5mm以下の長石・+トーライトを僅かに含む	1穿孔1孔3方向、打ち欠き	153 151	
538	土器集中区5	1	V1-2-3 林B3	V1	口縫21 底径14.5 器高16.2 最大径21.6	口縫21 底径5/4 以上	±??、指淵正瓶、±??、±	指淵正瓶、±??、±	やや密。径2mm以下の長石・+トーライト、赤色酸化土粒を僅かに含む	底部に穿孔良	153 151	
539	土器集中区5	1	V1-2-3 漆A	V1	口縫(27.1)	直縫文、波状文、直縫文、 刺突文、草鶴文、ため調 整不規	±??、指淵正瓶	±??、±??、±	やや密。径2mm以下の長石・+トーライト、赤色酸化土粒を多く含む	底部と側部は接点不良なし	154 151	
540	土器集中区5	1	V1-2-3 便D1	V1	口縫18.0 底径18.5 器高33.2 最大径35.0	口縫7 底径5/4 以上	±??、刺突文、直縫文、 ±??、±??	±??、±??、±??、±??	やや粗。径7mm以下の長石を僅かに含む	外面に保付着普通	154 151	
541	土器集中区5	1	V1-2-3 高环G1	V1	口縫17.8 底径11.6 器高14.0 最大径17.8	口縫12 底径1/4 未調	±??	±??、±??、±	透、径1mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	1穿孔1孔3方向良	154 151	
542	土器集中区5	1	V1-2-3 便D1b	V1	口径16.6 器高(7.2)	口縫12	±??、押し引き、±??	±??、±??、±	透、径1mm以下の長石・右英・雲母を僅かに含む	良	154 151	
543	土器集中区5	1	V1-2-3 便D1b	V1	口縫16.0 器高(4.4)	口縫12	±??、押し引き、±??	±??、±??	透、径1mm以下の長石・右英・雲母・+トーライトを多く含む	外面に保付着普通	154 -	
544	土器集中区5	1	V1-2-3 便脚部	V1	口縫(4.7)	±??	指淵正瓶	±??	透、径1mm以下の長石・右英・雲母・+トーライトを多く含む	内面に保付着良	154 -	
545	土器集中区5	1	V1-2-3 便脚部	V1	底径6.0 器高(4.1)	底径3/4 以上	±??、指淵正瓶	指淵正瓶	やや密。径1mm以下の長石・+トーライトを僅かに含む	良	154 -	
546	土器集中区5	1	V1-2-3 便脚部	V1	底径6.6 器高(5.2)	底部完 存	±??、指淵正瓶	±??、±??	やや粗。径2mm以下の長石・+トーライト、赤色酸化土粒を多く含む	外面に保付着良	154 -	
547	土器集中区5	1	V1-2-3 便A	V1	底径6.5 器高(22.6)	底部完 存	直縫文(4条)、6条、刺 突文、±??、±??	指淵正瓶、±??	透、径1mm以下の長石を僅かに含む	内面に赤彩・煤付 着普通	155 -	
548	土器集中区5	1	V1-2-3 便B4	V1	口縫17.6 器高(0.8)	口縫5	±??、±??	±??、指淵正瓶、±??、輪 縫み瓶	やや密。透3mm以下の長石・+トーライトを僅かに含む	外面部全体に煤付着良	155 -	
549	土器集中区5	1	V1-2-3 便A	V1	底径6.1 器高(21.3)	底径3/4 以上	±??、刺突文	±??、指淵正瓶	やや密。透3mm以下の長石・+トーライト、赤色酸化土粒を多く含む	外面部に保付着良	155 152	
550	土器集中区5	1	V1-2-3 漆G3e	V1	口縫13.0 器高(5.3)	口縫7	±??	±??、±??	やや密。透1mm以下の長石・右英・雲母・+トーライトを僅かに含む	口縫部に打ち欠き?普通	155 -	
551	土器集中区5	1	VII-1 高H4d	VII-1	口縫27.9 器高(7.1)	口縫2	±??	貝による多条沈縫(12条)、山形文、 多条沈縫(5条)、蓋 形文、多条沈縫(3 条)、山形文、沈縫(1 条)、±??	貝による多条沈縫(12条)、山形文、 多条沈縫(5条)、蓋 形文、多条沈縫(3 条)、山形文、沈縫(1 条)、±??	やや密。透1mm以下の長石・右英・雲母・+トーライトを僅かに含む	内外面に煤付着良	155 -
552	土器集中区5	1	V1-3 便D脚部	V1	底径4.5 高さ(10.7)	底部完 存	±??、±??	±??、指淵正瓶	やや密。透1mm以下の長石・右英・雲母・+トーライトを多く含む	内外面に煤付着良	155 -	
553	土器集中区5	1	V1-3 便脚部	V1	底径5.2 器高(4.4)	底径2/4 以上	±??	±??、指淵正瓶	やや密。透2mm以下の長石・+トーライト、赤色酸化土粒を多く含む	外面部に保付着普通	155 -	
554	土器集中区5	1	V1 高脚I	V1	器高(8.5)	±??	±??、±??、±??	±??、±??、±??	やや密。透2mm以下の長石・右英・雲母・+トーライトを多く含む	1穿孔1孔3方向普通	155 -	

表89 土器類観察表 (23)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		出土	焼成	備考	特徴 回数
						外面	内面				
555	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 高36G2a	口径12.6 底径9.0 器高9.0 最大径12.8	口縁11 底部2/4 以上	↑*↑、摩耗著しい ↑*↑、	↑*↑、やや密、徑3mm以下の長 石・↑↑↑、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	2穿孔1縫3方向	156	152
556	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 高36C2b 器高(11.3)	口径31.0 底部(11.3)	口縁11	↑*↑	多条沈縫(6条)、↑ ↑↑↑、	密、徑1mm以下の長石・ ↑↑↑、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良		156 152
557	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 高均G1- 2	口径18.1 器高(7.6)	口縁8	↑*↑、↑↑↑	↑*↑、やや密、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	1穿孔1縫3方向	156	152
558	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 器均B3	口径20.0 底径13.6 器高(20.4) 最大径20.1	口縁2 底部2/4 以上	↑*↑	↑*↑、輪積み痕、↑ ↑↑↑	密、徑1mm以下の長石・ ↑↑↑、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	1穿孔1縫3方向 口縁打ち欠き↑	156 152
559	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 高36C2b	口径28.0 底径15.5 器高(19.0) 最大径28.1	口縁3 底部1/4 未溝	↑*↑	多条沈縫(6条)、↑ ↑↑↑、指測正痕、↑ ↑↑↑	密、徑1mm以下の長石・ ↑↑↑、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	1穿孔1縫3方向	156 152
560	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁11	口径10.0 底径8.2 器高(5.5) 最大径12.0	口縁8 底部完 存	↑*↑	↑*↑、指測正痕	密、徑1mm以下の長石・ ↑↑↑、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良		156 152
561	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁A4	口径14.6 器高(24.2)	口縁5	↑*↑、輪積 み痕状、直線文 章、横羽状文、 横羽状文、直線文、 刻文	↑*↑、↑*↑、輪積 み痕、直線文、 ↑↑↑、↑↑↑、↑↑↑	密、徑1mm以下の長石・ ↑↑↑、赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通		156 152
562	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁B2	口径18.6 底径5.3 器高(13.1) 最大径19.0	口縁11 底部完 存	↑*↑、↑*↑	↑*↑、↑*↑、輪積 み痕	密、徑1mm以下の長石・ ↑↑↑、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	脚部に打ち欠き、 底部に1穿孔	156 152
563	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁B2	口径17.4 器高(11.6)	口縁5	↑*↑	↑*↑、指測正痕、輪 積み痕	やや密、徑1mm以下の長 石・↑↑↑を僅かに含む	普通		157 154
564	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁B2	口径18.4 底径5.2 器高(13.3) 最大径25.5	口縁12 底部3/4 以上	↑*↑、↑↑↑	↑*↑、↑*↑、指測正痕、 ↑↑↑	やや密、徑1mm以下の長 石・↑↑↑、赤色 酸化土粒を多く含む	良	内外面に保付着、 脚部破面、二次 焼成痕	157 152
565	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁B2	口径20.4 底径7.5 器高(24.0) 最大径29.5	口縁12 底部3/4 以上	↑*↑↑↑、↑*↑	↑*↑↑↑、↑*↑、指測正痕 指測正痕	やや密、徑1mm以下の長 石・↑↑↑、赤色 酸化土粒を僅かに含む	良	内外面に燐付着	157 152
566	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁B2	口径18.4 器高(18.0)	口縁7	↑*↑↑↑、指測正痕、↑ ↑↑↑	↑*↑↑↑、指測正痕、 ↑↑↑、↑↑↑	やや粗、徑3mm以下の長 石・↑↑↑、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通		157 152
567	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁B4	口径16.0 底径7.0 器高(22.6) 最大径20.1	口縁5 底部3/4 以上	↑*↑↑↑、↑↑↑	↑*↑↑↑、↑↑↑、↑↑↑、 ↑↑↑、↑↑↑	やや密、徑1mm以下の長 石・↑↑↑を僅かに含む	良	外面に炭化物付着	157 152
568	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁脚部	口径4.4 器高(4.0)	口縁2	↑*↑↑↑	↑*↑↑↑、↑↑↑、↑↑↑、 ↑↑↑	やや密、徑1mm以下の長 石・↑↑↑を僅かに含む	良		157 -
569	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁脚部	底径8.0 器高(4.4)	指測正痕	↑*↑↑↑	↑*↑↑↑、↑↑↑	やや密、徑2mm以下の長 石・↑↑↑を僅かに含む	良	外面に燐付着	157 -
570	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁脚部	口径8.3 器高(3.6)	口縁3	↑*↑↑↑、↑↑↑	↑*↑↑↑、↑↑↑、指測正 痕	やや密、徑2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		158 -
571	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁A3b	口径16.0 器高(3.6)	口縁2	↑*↑↑↑、↑↑↑、 ↑↑↑	↑*↑↑↑、↑↑↑、輪積 み痕	やや密、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	外面に燐付着	158 -
572	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁B3- 4-C1	底径5.5 器高(12.1)	↑*↑↑↑	↑*↑↑↑、↑↑↑	やや密、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	1穿孔1縫3方向5/2 段交互配置にある	158 -	
573	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁11	口径12.0 器高(6.0)	口縁3	↑*↑、↑*↑↑↑	↑*↑、↑*↑↑↑	やや密、徑1mm以下の長 石・↑↑↑、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	内部に燐付着、口 縁部打ち欠き	158 154
574	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁B	底径3.9 器高(2.8)	↑*↑	↑*↑、↑*↑↑↑	↑*↑、↑*↑↑↑	やや密、徑1mm以下の長 石・↑↑↑、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	底部に1穿孔	158 -
575	SD0442 土器集中 区5	1	VII-3 壁B	底径3.9 器高(2.8)	↑*↑	↑*↑、↑*↑↑↑	↑*↑、↑*↑↑↑	やや密、徑1mm以下の長 石・↑↑↑、赤色酸化土 粒を僅かに含む	良		158 -

表90 土器類觀察表 (24)

表91 土器類觀察表 (25)

表92 土器類觀察表(26)

No.	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法面(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	神奈	岡版
						外面	内面					
619	S00422 H20	b	VI 高井脚部	底径8.8 高さ(9.3)	底部1/4 以上	±1°、指頭正瓶	±1°、内	やや密、径5mm以下の長石・ チトベリを僅かに含む	普通	1穿孔1組3方向 外面に煤付着、二 次焼成痕	164	—
620	S00422 H20	c	VI 高井脚部	底径12.7 高さ(13.5)	底部1/4 以上	±1°、摩耗著しい	±1°瓶、内	やや密、径3mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	1穿孔1組3方向	164	—
621	S00422 H20	2	VI 器台II	器高(13.1)		±1°	±1°、内・押さえ、 ビサ、±1°、内	やや密、径1.5mm以下の長 石・チトベリ、赤色酸化 土粒を僅かに含む	普通	1穿孔1組3方向	164	—
622	S00422 H20	b	VI 高井脚部	底径12.6 高さ(12.5)	底部2/4 以上	±1°、±1°	±1°、板け、内	やや密、径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	1穿孔1組3方向	164	—
623	S00422 H20	d	VI-3 高井脚部	器高(7.3)		±1°	±1°瓶、内目	やや密、径3mm以下の長 石・チトベリ、赤色酸化 土粒を僅かに含む	良	1穿孔1組3方向 外面に保付着	164	—
624	S00422 H20	b	VI 林A3a	口徑14.6 底径8.4 高さ(9.3) 最大径15.3	口縫12 底部完 存	±1°、内	±1°、輪積み瓶、 内	やや粗、径3mm以下の長 石・チトベリ、赤色酸化 土粒を多く含む	普通	外面に保付着	164	143
625	S00422 H20	d	V~VI 器台IIb	口徑17.0 器高(11.8)	口縫5	±1°目、±1°	±1°目	やや密、径1mm以下の長 石・チトベリ、赤色酸化 土粒を多く含む	普通		164	—
626	S00422 H20	b	V~VI 器台IIb	口徑18.3 底径11.4 高さ(11.6) 最大径18.3	口縫5 底部1/4 以上	±1°、内、指頭正瓶、摩 耗著しい	±1°、内、±1°、内 ±1°、輪積み瓶、 摩耗著しい	やや粗、径3mm以下の長 石・チトベリ、赤色酸化 土粒を僅かに含む	普通		164	144
627	S00422 H20	b	V~VI 器台IIa	口徑16.7 底径10.2 高さ(10.6) 最大径16.9	口縫5 底部3/4 以上	±1°	±1°、±1°、板け、 内	やや密、径2mm以下の長 石・雲母・チトベリを僅 かに含む	普通		164	144
628	S00422 H20	b	V~VI 器台IIa	口徑17.2 底径11.0 高さ(11.8) 最大径17.6	口縫4 底部3/4 以上	±1°、 摩耗著しい	±1°、内、指頭正瓶、 摩耗著しい	やや粗、径3mm以下の長 石・チトベリ、赤色酸化 土粒を僅かに含む	普通	1穿孔1組3方向	164	—
629	S00422 H20	2	VI-3 甕B4	口徑17.6 器高(10.6)	口縫3	刻文、内	±1°、内、指頭正瓶	やや粗、径3mm以下の長 石・チトベリ、赤色酸化 土粒を多く含む	普通	外面に保付着	165	—
630	S00422 H20	c	VI-3 甕A2B	口徑16.8 器高(9.8)	口縫3	±1°、内	±1°、内、指頭正 瓶	やや粗、径3mm以下の長 石・チトベリ、赤色酸化 土粒を僅かに含む	普通		165	—
631	S00422 H20	d	VI-3 甕A2b	口徑16.6 器高(11.7)	口縫3	±1°、内	±1°、内	やや密、径1mm以下の長 石・チトベリ、赤色酸化 土粒を多く含む	普通	外面に保付着	165	—
632	S00422 H20	b	VI-3 甕B2	口徑15.8 器高(16.7)	口縫4	刻文、直線文、 輪積み、板け	±1°、内、輪積み、 直線文、 板け	やや密、径2mm以下の長 石・チトベリ、赤色酸化 土粒を僅かに含む	普通	外面に保付着	165	158
633	S00422 H20	d	VI-3 甕A4	口徑20.4 器高(6.0)	口縫7	竹管文、擬圓筒(7条)、 ±1°	羽状文、竹管文、 内	やや密、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	外外面に赤付着	165	144
634	S00422 H20	2	VI-3 高井C脚 部	底径17.2 高さ(8.5)	底部2/4 以上	±1°	±1°、内	やや密、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	外外面に保付着、 1穿孔1組4方向	166	—
635	S00422 H20	2	VI-3 高井C3b	口徑2.4 底径14.9 高さ(12.1) 最大径22.2	口縫3	±1°、±1°	±1°、内、内、内、 内	やや密、径5mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	1穿孔1組4方向	166	129
636	S00422 H20	2	VI-3 高井C脚 部	底径12.3 器高(12.1)	底部完 存	±1°、内	±1°、内、±1°、内 のち±1°	やや密、±1°瓶、内 やや密、径1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	1穿孔1組3方向	166	—
637	S00422 H20	2	VI-3 高井C3b	口徑22.2 器高(16.5)	口縫5	±1°	±1°	やや密、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	2穿孔1組2方向	166	128
638	S00422 H20	2	VI-3 高井G3a	口徑18.0 底径11.3 高さ(19.2) 最大径18.4	口縫2	±1°	±1°、内、±1°、内 のち±1°	やや密、±1°瓶、内 やや密、赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	1穿孔1組3方向	166	128
639	S00422 H20	2	VI-3 器台II	底径15.5 器高(11.0)	底部1/4 未満	±1°、内	±1°、内、板け、 内	やや密、径1mm以下の長 石・チトベリを僅かに含 む	良	1穿孔1組3方向	166	—
640	S00422 H20	2	VI-3 高井C3a	口徑24.6 底径16.6 高さ(16.0) 最大径24.9	口縫2 14cm上	±1°	±1°、内、内 のち±1°	板け、内 やや密、径1mm以下の長 石・チトベリを多く含む	良	口縫端部に打ち欠き、 2穿孔1組2方向	166	146
641	S00422 H20	2	VI-3 甕A1b	口徑16.7 器高(9.0)	口縫7	擬圓筒(2条)、直 線文(7条)、 刻文、直線文(8 条)、 刻文、直線文(3 条)	羽状文、±1°、 ±1°、内 のち±1°	やや密、径1mm以下の長 石・チトベリを多く含む	普通		167	—
642	S00422 H20	2	VI-3 甕C	口徑10.6 器高(16.0)	口縫7	±1°、摩耗著 しい	±1°、内、 のち±1°	やや密、径2mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	側面打ち欠き	167	—

表93 土器類觀察表 (27)

No	地区 地番	施設 種別	時期 年月	種類分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		耕土	被成	備考	備註	
							外側	内面					
643	S00422 1002	2	VII-3 豪H	直径1.1cm 器高(1.1)	底部定 存	17.5	△↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶、輪積み瓶	やや密、径1.5mm以下の長 石・石英・△+→、赤色酸化 土粒を多く含む	良	施底有り	167	127	
644	S00422 1002	2	VII-3 林A	直径4.0cm 器高(1.6)	底部定 存	刺突文、輪積み瓶、△↑ 指瀬正瓶	輪積み瓶、指瀬正瓶、△↑ やや密、径3mm以下の長 石・石英・△+→を僅かに含む	普通	167	-			
645	S00422 1002	2	VII-3 底B1	口径14.1cm 底径(5.4)	口径10	17.5、15.5	△↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶、輪積み瓶	やや密、径3mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに食 む	良	167	128		
646	S00422 1002	2	VII-3 底A2	口径18.0cm 器高(7.8)	口径3	19.5↑↑↑、刺突文、△↑ 指瀬正瓶	△↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶、やや密、径3mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	167	-			
647	S00422 1002	2	VII-3 便A	口径18.8cm 器高(7.4)	口径5	19.5↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶	△↑↑↑、△↑↑ やや密、径1.5mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	167	-			
648	S00422 1002	2	VII-3 底D1b	口径18.0cm 器高(4.4)	口径2	19.5↑↑↑、刺突文、△↑↑ 指瀬正瓶	△↑↑↑、△↑↑ やや密、径3mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	167	-			
649	S00422 1002	2	VII-3 便B2	口径21.6cm 器高(4.6)	口径3	20.5↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶、輪積 み瓶、指瀬正瓶	△↑↑↑、△↑↑ やや密、径3mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	167	-			
650	S00422 1002	2	VII-3 便B4	口径17.0cm 器高(7.5)	口径3	20.5↑↑↑、指瀬正瓶、 輪積み瓶、板△↑ 指瀬正瓶	△↑↑↑、△↑↑ やや密、径3mm以下の長 石・石英を赤色酸化土 粒を多く含む	普通	167	-			
651	S00422 1002	2	VII-3 便B3	口径17.8cm 器高(5.2) 最大底厚2.4	口径8 底部1/4 未溝	20.5↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶、指瀬正瓶	△↑↑↑、△↑↑ やや密、径3mm以下の長 石・石英を赤色酸化土 粒を多く含む	普通	168	127	外間に煤付着、 口縁部打込み欠け		
652	S00422 1002	2	VII-3 便A3	口径21.3cm 器高(9.0) 最大底厚2.7	口径8 底部定 存	21.5↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶	△↑↑↑、△↑↑ やや密、径3mm以下の長 石・石英を赤色酸化土 粒を多く含む	普通	168	126	外間に煤付着、 口縁部打込み欠け		
653	S00422 1002	2	VII-3 便B4	口径21.8cm 器高(7.0)	口径2	21.5↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶、輪積 み瓶、指瀬正瓶	△↑↑↑、△↑↑ やや密、径3mm以下の長 石・石英を赤色酸化土 粒を多く含む	普通	168	-	外間に煤付着、 口縁部打込み欠け		
654	S00422 1002	2	VII-3 便E3	口径14.2cm 器高(6.2)	口径3	21.5↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶、板△↑ 指瀬正瓶	△↑↑↑、△↑↑ やや密、径3mm以下の長 石・石英を赤色酸化土 粒を多く含む	普通	168	126	外間に煤付着、 口縁部打込み欠け		
655	S00422 1002	3	VII-3 便B3	口径18.0cm 器高(3.7) 最大底厚2.8	口径6 底部1/4 以上	指瀬正瓶、△↑↑ 輪積み瓶	△↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶、△↑↑ やや密、径3mm以下の長 石・石英を赤色酸化土 粒を多く含む	普通	168	127	外間に煤付着、 口縁部打込み欠け		
656	S00422 1002	2	VII-3 便脚部	底径6.3cm 器高(4.4)	底部定 存	21.5↑↑↑、△↑↑↑ 指瀬正瓶	△↑↑↑、△↑↑↑ やや密、径3mm以下の長 石・石英を赤色酸化土 粒を多く含む	普通	168	-	打込み欠け		
657	S00422 1002	2	VII-3 便B3	底径5.3cm 器高(4.8)	底部定 存	21.5↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶	△↑↑↑、△↑↑ やや密、径3mm以下の長 石・石英を赤色酸化土 粒を多く含む	普通	168	129	難刻?		
658	S00422 1001	1	VII 高H05	口径17.0cm 器高(5.2)	口径1	19.5↑(△↑ 多条沈瓶(6条)、 波文瓦(1条)、多条 沈瓶(2条)、波文 瓦(1条)、多条沈瓶(2 条)、波文瓦(1条)、 多条沈瓶(5条))	△↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶、△↑ やや密、径3mm以下の長 石・石英を赤色酸化土 粒を多く含む	良	169	-			
659	S00422 HF19	2	VII 高H2C 脚部	底径14.2cm 器高(1.2)	底部1/4 以上	19.5↑↑ △↑↑↑、△↑↑ 多条沈瓶(3条)	△↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶、△↑ やや密、△+→、 多条沈瓶(3条)	△↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶、△↑ やや密、△+→、 多条沈瓶(3条)	普通	169	-	外間に煤付着、 二次焼成瓶	
660	S00422 1001	1	VII 高H2D	口径20.2cm 器高(5.1)	口径4	19.5↑、△+→、 多条沈瓶(3条)	△↑↑ △+→、 多条沈瓶(3条)	△↑↑ △+→、 多条沈瓶(3条)	良	169	-		
661	S00422 HF20	a	VII 高H3C	底径15.0cm 器高(2.5)	底部1/4 未溝	多条沈瓶(6条)、山形文、 多条沈瓶(6条)、山形文、 多条沈瓶(6条)	△↑↑ △+→、 多条沈瓶(6条)	△↑↑ △+→、 多条沈瓶(6条)	普通	169	-		
662	S00422 HF19	2	VII-W 高H2B	器高(8.3)	△↑↑ △+→、 指瀬正瓶	△↑↑ △+→、 指瀬正瓶	△↑↑ △+→、 指瀬正瓶	△↑↑ △+→、 指瀬正瓶	普通	169	-	1孔1皿3方向推 定、外間に煤付着、 二次焼成瓶	
663	S00422 HF20	b	VII-W 高H2C 脚部	器高(8.4)	△↑↑ △+→、 指瀬正瓶	△↑↑ △+→、 指瀬正瓶、△↑ △+→、 指瀬正瓶	△↑↑ △+→、 指瀬正瓶	△↑↑ △+→、 指瀬正瓶	良	169	-	2孔1皿3方向推 定、良	
664	S00422 HC19	2	VII 底G1B	口径16.4cm 器高(3.9)	口径2	22.5↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶	△↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶	△↑↑↑、△↑↑ 指瀬正瓶	普通	169	173		
665	S00422 HF20	1	VII-W 底G2B	器高(3.0)	△↑↑ △+→、 指瀬正瓶	△↑↑ △+→、 指瀬正瓶	△↑↑ △+→、 指瀬正瓶	△↑↑ △+→、 指瀬正瓶	普通	169	-		
666	S00422 HC19	3	VII 底G2	口径12.8cm 器高(4.8)	口径6	多条沈瓶(4条)、△↑↑ △+→、 指瀬正瓶	△↑↑ △+→、 指瀬正瓶	△↑↑ △+→、 指瀬正瓶	普通	169	-		

表94 土器類観察表(28)

No.	地区 遺構	層位	時期 層位分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	神宮	閑院	
						外面	内面						
667	S00422 BC18	1	V1~V4 便E4	口径16.5 底高(4.2)	口縁3	±21°、輪積み底	±21°、±1°	やや粗、径2mm以下の長石・トガを僅かに含む	表面に保付着	169	—		
668	S00422 BB19	1	V~VI 便K	底高(3.5)		±3°?	指頭圧痕、±2°??、 輪積み底	やや粗、径1mm以下の長石・トガ・、赤色酸化土粒を多く含む	普通	169	—		
669	S00422 BC18	1	V~VI 便A1	口径17.7 底高(0.8)	口縁6	±21°、キザミ、 底高(0.8) 条、中のち21°	±21°、±1°??、輪 積み底	やや粗、径1mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	表面に保付着	169	—		
670	S00422 BP19	d	V1~V4 便E4	口径13.7 底高(0.8)	口縁4	±1°、±2°	±1°	やや粗、径1mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	169	—		
671	S00422 BP20	b	V1~V4 便C	口径18.4 底高(8.0) 底高(29.0) 底部充 存	口縁5	±1°	±1°	やや粗、径10mm以下の長石・トガ・、赤色酸化土粒を多く含む	良	169	—		
672	S00422 HE1	d	V 便Tb6	口径16.4 底高(6.4) 底部充 存	口縁6	刺突文、±1°、±2°、 摩耗なし、 摩耗なし	±1°、±2°??、摩 耗なし	やや粗、径7mm以下の長石・赤色酸化土粒を多く含む	表面に保付着、口 縁部打ち欠き	170	157		
673	S00422 BP20	a	V1~V4 便E3	口径12.8 底高(4.0)	口縁4	指頭圧痕、±1°、 輪積み底	±1°、指頭圧痕、±1°	やや粗、径7mm以下の長石・トガ・、赤色酸化土粒を多く含む	普通	170	—		
674	S00422 BP20	b	V1~V4 便E3	口径12.6 底高(3.9)	口縁5	±21°、±1°、 輪積み底、 ±21°??、輪 積み底	±21°、輪 積み底、 ±1°、指頭圧痕	やや粗、径2mm以下の長石・トガ・、赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	170	—		
675	S00422 BP20	a	V1~V4 便E2	口径12.8 底高(4.7)	口縁2	±21°?	±21°、±1°	やや粗、径3mm以下の長石・トガ・、赤色酸化土粒を僅かに含む	表面に保付着	170	—		
676	S00422 BP20	b	V1~V4 便E6	口径14.6 底高(6.5)	口縁1	±1°、±2°、 摩耗なし、 摩耗なし	±1°、±2°、 摩耗なし	やや粗、径2mm以下の長石・トガ・、赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	170	—		
677	S00422 BB19	2	V1~V4 便A3	口径18.1 底高(5.1)	口縁2	±21°?	±1°	±21°、指頭圧痕	やや粗、 指頭圧痕	170	—		
678	S00422 BP20	a	V1~V4 便Tb6	口径16.6 底高(6.4)	口縁3	±21°、押し引き、 ±1°	±21°、 ±1°	やや粗、 指頭圧痕	やや粗、 指頭圧痕	170	—		
679	S00422 BP20	d	V1~V4 便Tb6	口径19.0 底高(4.3)	口縁5	±21°、押し引き、 指頭 底、 ±1°	±21°、 指頭圧痕、 ±1°	やや粗、 指頭圧痕	普通	170	—		
680	S00422 BB18	2	V1~V4 便C2	口径16.4 底高(6.8)	口縁1	±21°?、 ±1°	±21°、 輪積み底	やや粗、 指頭圧痕、 輪積み底	普通	170	—		
681	S00422 BC18	1	V1~V4 便B2	口径19.1 底高(6.4)	口縁6	±21°、 ±1°、 沈積(1条)、 ±1°	±21°、 ±1°	やや粗、 指頭圧痕、 沈積(1条)	表面に保付着、 普通	170	—		
682	S00422 BP19	2	V1~V4 便A3	口径18.1 底高(11.6)	口縁3	±21°?	±1°、 輪 積 底、 輪 積 底	±21°?、 ±1°、 輪 積 底、 輪 積 底	やや粗、 指頭圧痕、 輪積み底	表面に保付着	170	—	
683	S00422 BP20	b	V1~V4 便B4	口径18.6 底高(9.5)	口縁5	±21°、 ±1°、 刺突文	±21°、 輪積み底、 指頭圧痕、 ±1°	やや粗、 指頭圧痕、 輪積み底	普通	170	—		
684	S00422 BC16	a	V1~V4 便A4	口径23.0 底高(8.3)	口縁6	±21°?、 ±1°	±21°?、 ±1°、 輪 積 底、 輪 積 底	±21°?、 ±1°、 輪 積 底、 輪 積 底	やや粗、 指頭圧 痕	普通	171	—	
685	S00422 HE20	d	V1~V4 便R2	口径15.0 底高(1.8)	口縁3	±21°?、 ±1°、 ±1°	±21°?、 輪 積 底、 摩 耗 のた め調 不 明	±21°?、 輪 積 底、 摩 耗 のた め調 不 明	やや粗、 指頭圧 痕	普通	171	—	
686	S00422 BC19	2	V1~V4 便E3	口径13.7 底高(5.5) 底高2/4 以上	口縁3	±21°?、 ±1°、 ±1°?	±21°?、 輪 積 底、 指頭 底	±21°?、 輪 積 底、 指頭 底	やや粗、 指頭 底	表面に保付着	171	157	
687	S00422 BC18	21	V1~V4 便脚部	底径7.8 底高(1.4) 底高1/4 未溝	底部1/4 未溝	±1°、 ±1°?	±1°、 指頭圧痕	±1°、 指頭圧 痕	やや粗、 指頭 底	表面と断面、 煤付	171	—	
688	S00422 BP20	a	V1~V4 手捏ねE	口径4.5 底径1.7 底高2.5 最大径4.5	口縁1	±1°、 底高1/4 未溝	±1°、 指頭圧痕	±1°、 指頭 底	やや粗、 指頭 底	普通	171	173	
689	S00422 BP19	2	古代遺物 指根形	底径7.6 底高(4.4)	底部1/4 未溝	回転けず、 底部静止非切 回転けず	回転けず、 底部静止非切 回転けず	底、 底1mm以下の長石に含む	良	171	—		
690	S00422 BC20	21	V1~V4 便E	底径8.1 底高(21.8)	底部1/4 以上	±1°、 ±1°?	±1°、 ±1°?	やや粗、 指頭圧痕	普通	171	—		
691	S00422 BP20	a	講文 深鉢	底高(9.7)		貼付実筋、 底鉢	貼付実筋、 底鉢	やや粗、 底1mm以下の長石・石英・±1°を多く含む	普通	171	172		
692	S00422 BP19	2	講文 深鉢	底高(4.6)		±1°、 貼付実筋	±1°	やや粗、 底1mm以下の長石・石英・±1°を多く含む	普通	171	172		

表95 土器類觀察表 (29)

表96 土器類観察表(30)

No.	地区 遺構	層位	時期 器形分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	博認	回収
						外面	内面					
721	S00422 BG20	1	VII~VIII 高井C	器高(9.9)	13'+	13'、13'瓶	赤、径1mm以下の長石・ チリ・赤色酸化土粒を 僅かに含む	1穿孔1孔3方向	良	174	—	
722	S00422 HE19	2	VII 高井G3c	口径9.4 器高(4.5)	口縁2	多条沈(5条)、刺突文、 多条沈(4条)、刺突文、 多条沈(4条)	摩耗のため調整不 明	やや赤、径1mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	174	—	
723	S00422 HE20	a	VII 高井H94	口径14.4 器高(4.9)	口縁1	摩耗のため調整不明	赤線(1条)、多条沈(4条)、羽状文、 多条沈(3条)、羽状文、 多条沈(3条)、山形文、 多条沈(4条)	やや赤、径1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	174	—	
724	S00422 HF17	2	VII 高井G3c	口径12.1 器高(3.9)	口縁1	多条沈(5条)、山形文、 多条沈(3条)、刺突文、 多条沈(3条)、山形文、 多条沈(4条)	13'+	やや赤、径2mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	174	—	
725	S00422 HE18	2	VII 高井G3c	口径15.2 器高(2.7)	口縁1	多条沈(5条)、山形文、 多条沈(3条)、刺突文、 多条沈(3条)、山形文、 多条沈(1条)	摩耗のため不明	やや赤、径1mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	174	—	
726	S00422 HF16	2	VII 高井H95	器高(4.1)	13'+	多条沈(5条)、山形文、 多条沈(3条)、山形文、 多条沈(3条)	やや赤、径2mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	174	—		
727	S00422 HE16	2	VII~VIII 高井G2b	口径16.7 器高(6.4)	口縁1	多条沈(5条)、13'	13'	やや赤、径5mm以下の 長石・チリ・赤色酸化 土粒を多く含む	普通	174	—	
728	S00422 BG19	2	V~VII 壺脚部	器高(3.8)	13'+	縦刻	13'+	やや赤、径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	174	—	
729	S00422 BG19	2	V~VII 壺脚部	器高(2.9)	13'+	縦刻	13'+	やや赤、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	174	—	
730	S00422 BG20	1	VII~VIII 手捏ねC	口径5.9 底径4.0 器高6.0 最大径5.9	口縁1 底部充 存	13'++	指頭正直	13'++	やや赤、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	底部外側に難燃?	174	—
731	S00422 HE17	2	VII 高井G3	口径13.7 器高(5.5)	底部3/4 以上	13'+	13'、54'瓶、 カ	赤、径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに含 む	1穿孔1孔3方向	良	174	158
732	S00422 HE17	21	I 壺	器高(3.3)		沈線。+/-	+	赤、径1mm以下の長 石・チリを僅かに含む	良	174	—	
733	S00422 BG17	21	I 沈線系	器高(3.3)			+	やや赤、径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	174	—	
734	S00422 BG19	2	V~VI 壺F2	口径5.5 底径5.1 器高(1.5) 最大径17.1	口縁4 底部充 存	13'+	13'、板机。ブメ 機。+/-	やや赤、器高1mm以下 の長石・チリ・赤色酸化 土粒を僅かに含む	良	175	159	
735	S00422 HE19	2	VII~VIII 壺A4	口径20.4 器高(4.1)	口縁4	指頭四(4条)。ウチラ 羽状文(貝)、沈線(I 期)	羽状文(貝)、沈線(I 期)	やや赤、径1mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	175	—	
736	S00422 HE19	2	VII~VIII 壺A3	口径18.4 器高(4.7)	口縁2	闊頭四(3条)。+/-	羽状文。+/-	やや赤、径1mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外側に赤彩	175	—	
737	S00422 BG19	2	VII~VIII 壺A1b	口径15.6 器高(12.7)	口縁2	+/-、直線文、指頭正直。 +/-、直線文、刺突文、 直線文、刺突文、+/-	+/-、指頭正直、輪 模み痕	やや赤、器高5mm以下 の長石・チリ・赤色酸化 土粒を僅かに含む	普通	175	159	
738	S00422 BG20	2	VII~VIII 壺A3	口径18.4 器高(5.6)	口縁6	闊頭四(6条)。貼付帯 (2条)	横羽状文、沈線。+/-	赤、径1mm以下の長石・ チリ・赤色酸化土粒を 僅かに含む	外側に赤彩	175	159	
739	S00422 BG19	21	VII~VIII 壺A脚部	器高(11.3)		+/-、直線文(7条)、波状 文(2条)、直線文(7条)、 直線文(7条)	指頭正直、輪 模み痕	赤、径5mm以下の長石・ チリを僅かに含む	普通	175	—	
740	S00422 BG19	2	VII 壺E	口径19.6 器高(2.3)	口縁6	円形波文(2個)組。摩 耗のため調整不明	羽状文、摩耗のた め調整不明	やや赤、径1.5mm以下の 長石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	175	159	
741	S00422 BG19	2	VII~VIII 壺A	器高(17.0)		山形文、闊頭四(5条)。 +/-、指頭正直	+/-、指頭正直	やや赤、径2mm以下の長 石・チリを僅かに含む	外側に赤彩、煤付 着	175	—	
742	S00422 BG19	1	VII~VIII 壺A	口径12.4 器高(16.0)	口縁3	13'+	指頭正直。+/-、輪 模み痕	やや赤、径1mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	175	—	
743	S00422 BG19	2	VII~VIII 壺A脚部	器高(23.1)		直線文(2条)、羽状文。 +/-、直線文(2条)、山形文。 +/-、直線文(3条)、羽状文。 直線文(4条)、円形刺突 文。+/-	+/-、指頭正直。+/-、輪 模み痕	赤、径1mm以下の長石・ チリを僅かに含む	外側に赤彩	良	176	161

表97 土器類観察表 (31)

No	地区 遺物	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 回数
						外面	内面				
744	S00422 H619	2	V 鉢A2	口径15.8 器高(7.6)	口縁2 ハサ	ヨコナリ、刺突文、直縁文、 輪縁み底	ヨコナリ、輪縁み底	やや粗、径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		176 159
745	S00422 H619	2	VI 鉢A2	口径18.0 器高(7.7)	口縁5 ハサ	ヨコナリ、ハサ、指瀬江底、 輪縁み底	ヨコナリ、ハサ、指瀬江底、 輪縁み底	やや粗、径5mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		176 -
746	S00422 H661	1	V 甕A1	口径13.5 器高(8.2)	口縁8	ヨコナリ、刺突文、ハサ、直 縁文	ヨコナリ、ハサ、指瀬江底、 輪縁み底	やや粗、径1mm以下の長 石を多く含む	普通		176 -
747	S00422 H620	1	V~VI 甕A2	口径14.0 器高(5.6)	口縁9	ヨコナリ、直縁文、ハサ	ヨコナリ、輪縁み底、 指瀬江底、ハサ	やや粗、径2mm以下の長 石・+ナメル・赤色酸化 土粒を多く含む	普通		176 -
748	S00422 H661	b	VI~VII 甕B1	口径12.2 器高(5.6)	口縁2	ヨコナリ、刺突文、ハサ	ヨコナリ、ハサ、指瀬江 底	やや粗、径1mm以下の長 石・雲母・ナメルを多く 含む	普通	外面に焼付着	176 -
749	S00422 H618	2	VI~VII 甕B3	口径16.0 器高(5.9)	口縁3 ハサ	ハサ、指瀬江底	ハサ、指瀬江底	やや粗、径1mm以下の長 石・ナメルを多く含む	普通	外面に焼付着	176 -
750	S00422 H620	1	IV 甕A1	口径9.4 器高(7.4)	口縁2	ヨコナリ、刺突文、ハサ	ヨコナリ、輪縁み底、 指瀬江底	やや粗、径2mm以下の長 石・ナメルを僅かに含む	普通		176 -
751	S00422 H619	2	VI~VII 甕A3	口径18.0 器高(7.7)	口縁5	ヨコナリ、ハサ	ヨコナリ、ハサ	やや粗、径5mm以下の長 石・雲母・ナメル・赤色 酸化土粒を僅かに含む	良		176 -
752	S00422 H619	2	IV 甕B	口径17.9 器高(7.4)	口縁3	沈済(3条)、ナメル	ナメル	やや粗、径1mm以下の長 石を多く含む	普通	外面に焼付着	176 -
753	S00422 H619	2	VI~VII 甕C1	口径16.6 器高(4.1)	口縁4 ハサ	ハサ、指瀬江底	ハサ、輪縁み底、指 瀬江底	やや粗、径2mm以下の長 石・ナメルを僅かに含む	普通		176 -
754	S00422 H619	2	VI~VII 甕C2	口径15.7 器高(5.7)	ハサ	指瀬江底	ハサ、指瀬江底	やや粗、径3mm以下の長 石・ナメル・赤色酸化 土粒を僅かに含む	普通		177 -
755	S00422 H620	21	VI~VII 甕D2	底径9.4 器高(6.8)	底面完 存	ハサ、ナメル	指瀬江底、折り返 し	やや粗、径1mm以下の長 石・雲母を僅かに含む	良	外面に焼付着	177 -
756	S00422 H620	21	VI~VII 甕D3	底径14.5 器高(6.0)	底面1/4 以上	ハサ、ナメル	ハサ、指瀬江底、 折り返し	やや粗、径1mm以下の長 石・雲母を僅かに含む	良		177 -
757	S00422 H619	2	VI~VII 甕D4	口径21.7 器高(14.5) 以上	口縁3 ハサ	ハサ、ナメル	ハサ、ナメル	やや粗、径1.5mm以下の長 石・雲母・ナメル・赤色酸化 土粒を僅かに含む	普通	外面と底面の内面 に焼付着	177 -
758	S00422 H617	2	中世 甕	口径40.0 器高(8.0)	口縁2	ヨコナリ	ヨコナリ、沈済	やや粗、径1mm以下の長 石・雲母を僅かに含む	普通		177 -
759	S00422 H620	2	V 高円C4d	口径23.0 器高(9.9)	口縁1	ナメル、摩耗しき	多条 沈済(1条)、 山形文、多条 沈済 (12条)、ナメル	やや粗、径1mm以下の長 石・ナメル・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通		178 160
760	S00422 H619	2	V 高円C4d	口径15.0 底径2.2 器高(12.7) 最大径13.3	口縁5 底面完 存	ナメル	板付(のちナメル)	やや粗、径1mm以下の長 石・雲母・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良		178 160
761	S00422 H620	2	VI~VII 高円C 甕	口径8.1 器高(8.1)	ハサ	ハサ	ハサ	やや粗、径1mm以下の長 石・雲母を僅かに含む	普通	2穿孔1組2方向、 内外壁断面に焼付 着	178 -
762	S00422 H619	21	VI~VII 甕A1b	口径13.4 器高(3.4)	口縁2	円形刺突文、摩耗した め調整不明	羽状文(見舞によ る)、円形刺突文	羽状文(見舞によ る)、赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		178 -
763	S00422 H619	2	VI~VII 甕A1	口径12.0 器高(12.0)	ハサ	竹管文、直縁文(10条)、 波紋文、直縁文(10条)、 波紋文、直縁文	ハサ	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	外面に赤彩付着	178 -
764	S00422 H619	21	V~VI 甕B	底径4.8 器高(6.8)	底面完 存	ハサ	ハサ	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	底部穿孔	178 -
765	S00422 H661	21	VI~VII 手捏ねC	底径3.2 器高(3.5) 最大径3.3	口縁3 ハサ	ハサ、ナメル	ハサ、指瀬江底	ハサ、ナメル	良		178 -
766	S00422 H661	21	VI~VII 手捏ねC	底径3.2 器高(3.5) 最大径3.3	口縁3 ハサ	ハサ、ナメル	ハサ、指瀬江底	ハサ、ナメル	普通		178 -
767	S00422 H661	a	VI~VII 手捏ねC	口径4.3 底径2.9 器高(3.5) 最大径3.6	口縁3 ハサ	ハサ	ハサ、指瀬江底	ハサ、指瀬江底	普通	口縫部打ち欠き?	178 -
768	S00422 H618	2	V 壺A1b	口径17.5 底径5.3 器高(2.9) 最大径2.7	口縁6 ハサ	腕筒圓(3条)、波状文、 直縁文(7条)、波紋文、 直縁文(7条)、ナメル	腕筒圓(2条)、指瀬 江底、ナメル、輪縁み底	やや粗、径1.5mm以下の長 石・ナメルを僅かに含む	普通	外面に赤彩、焼付 着	178 160
769	S00422 H661	2	中世 青磁	口径16.3 器高(4.6)	口縁3	青文	青文	青	良		178 -
770	S00422 H620	d	VI~VII 手捏	器高(17.0)	ハサ	從文、通底文、直縁 文	ハサ	青、径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	良		179 162
771	S00422 H620	d	VI~VII 手捏	器高(14.5) 最大径18.5	ハサ	輪縁み底、ハサ	ハサ	青、径3mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	良	内部に焼付着、最 大幅の幅は幅	180 162

表98 土器類觀察表（32）

No.	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (3/12)	調整		胎土	焼成	備考	伸縮 回版
						外面	内面				
772	S00422 IJ20	e	V1～VII 漆A5	口径14.8 脚高(8.8)	口縁3	237°、-°、指頭圧痕 輪縫み痕	237°、-°、指頭圧痕 輪縫み痕	やや密、径5mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	181	-
773	S00422 IJ20	2	V1～VII 漆A3	口径16.1 脚高(4.4)	口縁3	輪凹面(3.0)、摩耗著 しい	羽状文、摩耗著し い	やや密、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	181	-
774	S00422 IJ20	2	V1～VII 漆A1	口径21.0 脚高(25.4)	口縁8	羽状文、羽突文、-°	237°、指頭圧痕	やや密、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	181	160
775	S00422 IJ01	2	IV 漆A2	口径17.0 脚高(6.7)	口縁2	237°、輪縫み痕、-°	237°、-°	やや密、径1mm以下の長 石・雲母を僅かに含む	普通	181	-
776	S00422 IJ20	n	V1～VII 高环G3	底径10.4 脚高(7.7)	底部3/4 以上	13°+	13°+、237°、指頭圧痕、-°	やや密、径1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	2穿孔1組2方向	181	161
777	S00422 IJ20	d	高环C2脚 部	底径10.0 脚高(11.3)	底部1/4 以上	13°+	13°+、-°、237°、指頭 圧痕	やや密、径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	2穿孔1組4方向、 脚部打ち欠き	181	-
778	S00422 IJ20	2	V 漆A3b	口径18.0 脚高(22.7)	口縁5	刺突文、237°、-°	237°、指頭圧痕、 237°	やや密、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	内外面に炭化物、 煤付着	181	161
779	S00422 IJ20	e	V1～VII 漆器B3	口径18.4 底径8.5 脚高11.8 最大径18.6	口縁6	13°+、摩耗著し い	13°+、-°、237°、指 頭圧痕、-°、摩耗著し い	やや密、径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	1穿孔1組3方向、 脚部打ち欠き	181	163
780	S00422 IJ20	2	V1～VII 漆A2?	口径6.6 脚高(2.3)	口縁3	237°	237°	やや密、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	181	-
781	S00422 IJ20	d	V1～VII 手挽ねC	口径4.3 底径3.2 脚高3.1 最大径4.7	口縁3 底部无 存	237°、指頭圧痕 237°	237°、指頭圧痕	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	181	-
782	S00422 IJ01	b	V1～VII 手挽ねC	口径4.6 底径3.1 脚高3.5 最大径4.9	口縁3 底部无 存	237°、指頭圧痕 237°	237°、指頭圧痕	やや密、径4mm以下の長 石・-°を僅かに含む	普通	181	-
783	S00422 IJ20	c	V1～VII 漆A1b	口径15.0 脚高(4.8)	口縁8	刺突文、-°、-°	237°、輪縫み痕	やや密、径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を多 く含む	普通	182	-
784	S00422 IJ20	b	V1～VII 漆B1a	口径10.0 脚高(2.6)	口縁1	-°	-°	やや密、径3mm以下の長 石を多く含む	普通	182	-
785	S00422 IJ20	2	V1～VII 漆A1a	口径16.2 脚高(5.4)	口縁8	円形刺文(3個)×3°、 摩耗のため凹凸不明	摩耗のため凹凸不明 やや密、石英、赤色酸化 土粒を僅かに含む	普通	182	160	
786	S00422 IJ20	2	VIII～IX 漆E	口径15.8 脚高(5.4)	口縁2	羽状文(貝)、-°	羽状文(貝)、-°	やや密、径3mm以下の長 石・-°を僅かに含む	普通	182	160
787	S00422 IJ20	e	V1～VII 漆A4	口径22.7 脚高(16.4)	口縁5	輪凹面(3.0)、 輪縫み痕、羽状文、 輪縫み痕(2枚)、 羽状文、輪凹面(4枚), 輪縫み痕	輪凹面、輪縫み痕、 羽状文、指頭圧痕、 輪縫み痕	やや密、径5mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	182	161
788	S00422 IJ20	d	V1～VII 漆A	器皿(13.7)	-°、-°、輪縫み痕、 直線文、刺突文、直線文、 羽状文、直線文、圓形 刺突文	237°、指頭圧痕、摩 耗により調査不明 やや密、-°	237°、指頭圧痕、摩 耗により調査不明 やや密、-°	やや密、径4mm以下の長 石・石英、赤色酸化土 粒を多く含む	普通	182	161
789	S00422 IJ20	e	V1～VII 漆A2b	口径18.6 脚高(6.7)	口縁3	237°、指頭圧痕、 刺突文、直線文、直線文、 -°	237°、指頭圧痕、 やや密、-°	やや密、径2mm以下の長 石・石英、-°を僅かに含 む	普通	182	-
790	S00422 IJ20	2	V1～VII 漆B1a	口径20.0 脚高(3.2)	口縁1	237°、押し引き、-°	237°、-°	やや密、-°	普通	182	160
791	S00422 IJ20	b	V1～VII 漆B2b	口径12.8 脚高(3.1)	口縁1	237°、-°	237°、-°、237°、 指頭圧痕、輪縫み痕	やや密、径3mm以下の長 石・石英、雲母を多く 含む	外面に煤付着	182	-
792	S00422 IJ20	2	V1～VII 漆脚部	底径9.8 脚高(6.5)	底部1/4 以上	-°、237°	237°	やや密、-°	内部に炭化物付 着、脚部打ち欠き	182	-
793	S00422 IJ20	b	V1～VII 漆脚部	底径7.8 脚高(5.5)	底部无 存	237°、摩耗著し い	237°、輪縫み痕	やや密、径3mm以下の長 石・石英、-°を多く 含む	内外面に煤付着	182	-
794	S00422 IJ20	c	V1～VII 漆脚部	底径5.7 脚高(4.6)	底部2/4 以上	-°	-°	やや密、径3mm以下の長 石を多く含む	打ち欠きヵ所有 り	182	-
795	S00422 IJ20	2	VII 漆A5	脚高(21.4)	山形文、直線文、輪 縫み痕	摩耗のため不明	やや密、径5mm以下の長 石を僅かに含む	外面に赤彩付着	182	-	

表99 土器類観察表 (33)

No	地区 遺構	層位	時期 層級分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 国際	
						外面	内面					
796	S00422 HL18	2	調査 変容部	器高(4.7)		貼付痕跡、柔軟(良)	++	やや粗、径3mm以下の長 石・石英・チト子を僅かに含む	普通		183 172	
797	S00422 HL18	21	I 蓋	器高(5.6)		削り出しの沈繩	磨耗	やや粗、径3mm以下の長 石・チト子を僅かに含む	普通	950と同一個体?	183 173	
798	S00422 HL18	21	I 蓋	器高(3.1)		沈繩	磨耗	やや粗、径1mm以下の長 石・チト子を僅かに含む	普通		183 173	
799	S00422 HL18	2	I 蓋	器高(3.5)		削り出しの沈繩?	+++#	やや粗、径3mm以下の長 石・チト子を僅かに含む	普通		183 173	
800	S00422 HL18	21	I 蓋	器高(4.0)		削り出しの沈繩?	磨耗	やや粗、径3mm以下の長 石・チト子を僅かに含む	普通	797と同一個体?	183 173	
801	S00422 HL18	21	I 蓋	器高(5.4)		沈繩、#?	剥落	やや粗、径1mm以下の長 石・石英・チト子を多く含む	普通		183 173	
802	S00422 HL18	21	I 蓋	器高(6.5)		削り出しの沈繩	磨耗のため調整不 明	やや粗、径3mm以下の長 石・石英・チト子を僅かに含む	普通		183 173	
803	S00422 HL18	21	I 蓋	器高(6.4)		#++(半截竹管)。沈繩	++#++#	やや粗、径3mm以下の長 石・石英・チト子を僅かに含む	普通		183 173	
804	S00422 HL18	2	I 蓋	器高(2.3)		沈繩	++	やや粗、径4mm以下の長 石・チト子を僅かに含む	普通		183 -	
805	S00422 HL18	2	V～VII 壺胴部	器高(3.6)		#?。繩跡	++	やや粗、径3mm以下のチ ト子・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		183 -	
806	S00422 HL18	21	V～VII 壺胴部	器高(3.7)		#?。繩跡	++	やや粗、径1mm以下の長 石・チト子・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		183 -	
807	S00422 HL18	2	IV? 壺胴部	器高(5.7)		#?、繩跡	++	やや粗、径1mm以下の雲 母・チト子・赤色酸化土 粒を多く含む	普通		183 -	
808	S00422 HL18	21	VI～VII 鉢D?	底径6.0 器高(2.3)		底部1/4 以上	++	磨耗のため調整不 明	やや粗、径1.5mm以下の 長石・チト子を僅かに含 む	普通		183 -
809	S00422 HL18	21	VI～VII 鉢D?	底径7.8 器高(3.3)		底部完 存	#?、細網状、#++	++	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	打ち欠き		183 -
810	S00422 HL18	21	VII 高井G3c	器高(2.3)		多条比縫。刺突文、多 条沈繩(3条)、刺突文、 多条沈繩(3条)、刺突文、 多条沈繩	#?	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		183 -	
811	S00422 HL18	2	V 壺A1a	口径6.6 器高(5.5)		口縁1	++。縫隙(4条)、摩 耗につき調整不明	摩耗につき調整不 明	やや粗、径4mm以下の長 石・チト子・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に赤彩		183 -
812	S00422 HL17	1	V～VI 壺脚部	底径6.2 器高(4.4)		底部1/4 未開	#?。++	#?#底、#?	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を多 く含む	外面に煤付着		183 -
813	S00422 HL18	2	VII 高井G3c	口径15.8 器高(7.0)		口縁4	刺突文、多条沈繩(3条), 刺突文、多条沈繩(3条), 羽状文、多条沈繩(3条), 刺突文、多条沈繩(3条), 羽状文、多条沈繩(3条)	#?。#?	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		183 -
814	S00422 HL18	21	VI～VII 壺A1b	口径6.8 器高(5.5)		口縁5	#?。刺突文、#?	#?。山形文、#?、 #?。指輪状痕	やや粗、径3mm以下のチ ト子を僅かに含む	普通		183 -
815	S00422 HL18	2	VI～VII 壺脚部	底径8.8 器高(5.5)		底部2/4 以上	#?。#?	#?。#?	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	内外面に煤付着		183 -
816	S00422 HL18	2	VI～VII 壺A3a	口径16.8 器高(5.8)		口縁3	#?#?。刺突文、沈繩(# 3)(5条)。#?。輪底み痕	#?#?。指輪状痕	やや粗、径5mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		183 -
817	S00422 HL18	2	VI～VII 壺G3b	口径9.0 器高(7.4)		口縁4	指輪状痕。#?。摩耗 著しい	指輪状痕、輪底み 痕、摩耗著しい	やや粗、径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		183 -
818	S00422 HJ19	21	VI～VII 壺脚部	底径6.8 器高(6.1)		底部1/4 以上	#?。#?	#?。#?#?	やや粗、径1mm以下の長 石・チト子を僅かに含む	外外面に炭化物付 着、打ち欠き		183 173
819	S00422 HJ17	c	VII 器台C	器高(4.4)			#?	輪底み痕	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	1穿孔3方向		183 -
820	S00422 HL18	2	VII 高井G3b	口径12.0 器高(6.0)		口縁5	#?。#?	多条沈繩(4条)、輪 底み痕、#?	やや粗、径2mm以下の長 石・チト子・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通		183 -

表100 土器類觀察表 (34)

No	地区 道府県	層 層厚	時期 播種分類	苗床率(cm) (3/12)	調整		耕土	種 種	備考	神奈 川県
					外側	内側				
821	S00422 HJ19	2	VI～VII 播種A5	口径10.0 高さ(3.5)	口縁1 33%*	33%*	透 透	透 透	普通	外側に根化物付着 透
822	S00422 HK18	21	VI～VII 播種A5	口径23.0 高さ(6.0)	口縁5 33%*	33%*	透 透	透 透	透	外側に赤鉄、口縁 部打ち欠き
823	S00422 HJ19	2	V 播種A	高さ(9.1)	透(横×2段、3段) 透(突) (目皿2段)	33%*	透 透	透 透	透	外側に赤鉄、底 部を多く含む
824	S00422 HK01	IV	IV 播種A1	高さ(4.5)	刺突穴	透	透 透	透 透	透	外側に赤鉄、底 部を多く含む
825	S00422 HK20	2	高さ I 播種A5	直径13.6 高さ(9.5) 未溝	底部1/4 33%*、直根穴	33%*	透 透	透 透	透	1穿孔1組3方向
826	S00422 HK02	1	V 播種A	高さ(11.7)	多め沈澱(3束)×4、摩 耗のため調節不順	指頭正規、33%*	透 透	透 透	透	1穿孔1組3方向?
827	S00422 HK01	2	V 播種B2	口径17.0 高さ(9.9)	口縁3 33%*	33%*	透 透	透 透	透	外側に赤鉄、底 部を多く含む
828	S00422 HK20	21	V 播種B2	口径8.0 高さ(3.0)	口縁2 33%*	33%*	透 透	透 透	透	外側に根化物付着 透
829	S00422 HK01	2	V 播種A2b	口径18.5 高さ(5.0)	口縁2 33%*	33%*	透 透	透 透	透	外側に赤鉄、底 部を多く含む
830	S00422 HK20	21	V 播種A	高さ(6.3)	33%*	33%*	透 透	透 透	透	外側に赤鉄、底 部を多く含む
831	S00422 HK01	21	V 播種B3a	口径27.8 高さ(4.3)	口縁4 33%*	33%*	透 透	透 透	透	外側に赤鉄、底 部を多く含む
832	S00422 HK20	21	V 播種B20	直径4.0 底部(20.7) 以上	33%*	33%*	透 透	透 透	透	外側に根化物付着 透
833	S00422 HK20	21	V 播種A2b	口径8.0 高さ(4.4) 底部(25.8) 最大幅(2.8)	口縁5 底部	33%*	33%*	透 透	透 透	外側に根化物付着 透
834	S00422 HK02	1	V 播種A	直径12.4 高さ(6.6) 以上	33%*	33%*	透 透	透 透	透	外側に赤鉄、底 部を多く含む
835	S00422 HK02	1	V 播種A	直径4.0 高さ(27.1)	底部完 成	透	透	透 透	透	外側に赤鉄、底 部を多く含む
836	S00422 HK20	2	VI～VII 播種G5c	口径12.0 高さ(3.8)	口縁2 33%*	33%*	透 透	透 透	透	R37と同一
837	S00422 HK20	2	VI～VII 播種G5c	底径14.0 高さ(1.0)	底部1/4 未溝	多め沈澱(4束) 山形穴、多め沈澱(1 束)、刺突穴、多め沈 澱(2束)、山形穴、多 め沈澱(6束)	33%*	透 透	透	R36と同一
838	S00422 HK01	21	VI～VII 播種G5c	底径9.2 高さ(4.8)	底部2/4 以上	33%*	33%*	透 透	透	1穿孔1組3方向
839	S00422 HK02	1	VI～VII 播種G5c	口径18.7 高さ(5.5)	口縁2 33%*	33%*	透 透	透 透	透	185 - 163
840	S00422 HK20	21	VI～VII 播種C4d	口径26.4 高さ(5.4)	口縁4 33%*	33%*	透 透	透 透	透	185 - 163
841	S00422 HK01	2	IV 播種A	高さ(11.9)	33%*	33%*	透 透	透 透	透	185 - 163
842	S00422 HK01	1	VI～VII 播種C5c	口径16.2 高さ(19.8) 最大幅26.8	口縁4 底部1/4 未溝	33%*	透 透	透 透	2穿孔1組2方向	185 - 163
843	S00422 HK02	1	VI～VII 播種G5c	直径12.2 高さ(5.5)	底部2/4 以上	33%*	33%*	透 透	透	185 - 163
844	S00422 HK01	2	VI～VII 播種b	口径16.0 高さ(10.3) 最大幅9.0	口縁4 底部1/4 未溝	33%*	33%*	透 透	透 透	186 - 164
845	S00422 HK01	21	VI～VII 播種A1	口径15.0 高さ(12.1)	口縁5 33%*	33%*	透 透	透 透	透	186 - 163

表101 土器類観察表（35）

No	地区 遺構	層位	時期 層種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		粘土	焼成	備考	特徴 国際
						外面	内面				
846	S00422 IK02	1	VI~VII 器部21a	口径8.8 器高(1.7)	口縁3 1±%	竹管文、棒状浮文、 刻文、 +	刻文、竹管 文、 +	やや密、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		186 -
847	S00422 IK20	21	VI~VII 器A3	口径14.6 器高(8.1)	口縁8 -	輪郭圓(4条)、 +	沈澱(3条)、 +	剥状文(2条)、 沈澱(3条)、 +	やや密、径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	186 164
848	S00422 IK02	1	VI~VII 器B2a	口径13.7 器高(19.8)	口縁3 -	沈澱(2条)、 +	+	粗面王瓶、 +	密、径3mm以下の長石・ 石英、 +	良	186 -
849	S00422 IK01	2	VI~VII 器B2a	口径14.0 器高(5.0)	口縁3 -	3±%、 +	-	円形刺突文	密、径3mm以下の長石・ 石英、 +	良	186 -
850	S00422 IK01	21	VI~VII 器B2a	口径14.0 器高(5.8)	口縁3 -	ハサ、 +	輪積み痕、 +	輪積み痕、 +	やや密、 +	普通	186 -
851	S00422 IK01	2	VI~VII 器H	器高(6.2)	口縁3 -	+	輪積み痕、 +	輪積み痕、 +	密、 +	良	186 -
852	S00422 IK20	2	VI~VII 器E1?	口径6.2 器高(1.7)	口縁2 -	刺突文、摩耗のため調 整不明	指頭王瓶、 +	指頭王瓶、 +	やや密、 +	外面にわずかに保 付着	186 -
853	S00422 IK01	2	VI~VII 器B2b	口径15.6 底部完 存 最大径22.1	口縁8 -	3±%、 +	1±%	3±%、 +	輪積み痕、 +	打ち欠き、外面に 保付着	186 164
854	S00422 IK20	21	VI~VII 器A7	口径11.0 器高(5.2)	口縁3 -	直線文、 +	直線文、 +	直線文、 +	やや密、 +	良	187 -
855	S00422 IK01	21	VI~VII 器C	口径14.8 器高(10.4)	口縁6 -	ハサ、 3±%、 +	輪積 み痕	ハサ、 +	輪積み痕、 +	普通	187 -
856	S00422 IK02	21	VI~VII 器A2	口径17.0 器高(5.5)	口縁5 -	3±%、 +	刺突文、 +	コサ?、 3±%、 +	輪 頂正瓶	普通	187 -
857	S00422 IK02	1	VI~VII 器A2	口径17.6 器高(9.0)	口縁11 -	刺突文、 +	コサ?、 +	輪積み痕、 +	やや密、 +	外面に保付着	187 165
858	S00422 IK01	2	VI~VII 器B2b	口径15.9 器高(7.2)	口縁10 -	3±%、 +	刺突文、 +	3±%、 +	指頭正瓶、 +	普通	187 164
859	S00422 IK01	4	VI~VII 器B2b	口径14.0 底部完 存 最大径22.8	口縁5 底部完 存	ハサ、 +	指頭王瓶、 +	ハサ、 +	輪積み痕、 +	普通	187 164
860	S00422 IK01	2	VI~VII 器B2b	口径19.2 器高(6.6)	口縁5 -	3±%、 +	指頭正瓶、 +	3±%、 +	指頭正瓶、 +	普通	187 -
861	S00422 IK20	21	VI~VII 器B4	口径16.1 器高(4.9)	口縁8 -	刺突文、 +	コサ?、 +	コサ?、 +	密、 +	普通	187 -
862	S00422 IK20	21	VI~VII 器A3	口径13.2 器高(9.8)	口縁5 -	3±%、 直線文、 刺突文、 摩耗新しい	コサ?、 +	輪積み痕、 指頭正瓶、 摩耗新 しい	やや密、 +	外面に保付着	187 -
863	S00422 IK01	1	VI~VII 器B3	口径16.2 器高(9.4)	口縁11 -	ハサ、 +	指頭正瓶、 +	ハサ、 +	指頭正瓶、 +	外面に保付着	187 -
864	S00422 IK20	2	溝文 深鉢	器高(4.6)	-	条底	+	粗、 +	粗、 +	外面に保付着	188 -
865	S00422 IK01	2	I 深鉢2	器高(4.6)	条底	刺繡	粗	粗、 +	粗、 +	不良	188 -
866	S00422 IK02	1	V 高所附	口径18.8 器高(3.9)	口縁3 -	3±%、 +	コサ?、 +	コサ?、 +	やや密、 +	良	188 -
867	S00422 IK02	1	V 邊脚	底部1/4 器高(4.3)	口縁4 -	3±%、 +	刺突文、 +	3±%、 +	輪積み痕、 +	普通	188 -
868	S00422 IK02	2	V 鉢A1	口径10.1 器高(5.1)	口縁4 -	3±%、 +	刺突文、 +	3±%、 +	やや密、 +	普通	188 -
869	S00422 IK02	2	V 鉢B2a	器高(3.6)	-	沈澱(2条)、 +	沈澱(3条)、 +	3±%、 +	やや密、 +	普通	188 -
870	S00422 IK02	2	V 邊A1a	口径22.1 器高(7.7)	口縁3 -	3±%、 +	3±%、 +	3±%、 +	やや密、 +	良	188 -
871	S00422 IK01	2	V~VI 高所F	口径15.6 底径2/4 以上	口縁3 1±%	3±%、 絞込み	やや密、 +	3±%、 +	1穿孔1孔3方向	良	188 165

表102 土器類觀察表 (36)

No.	地区 遺構	層位	時期 種類分類	法面(cm)	残存率 (3/12)	調整		胎土	焼成	備考	伸縮	回版
						外面	内面					
872	S00422 IL01	2	V 漆F1	口径12.0 底径6.4 高さ14.1 最大径19.9	口縁1 底縁1/4 以上	摩耗のため調整不明 ±±±、±±±	±±±、±±±	やや密、径1mm以下の長石・雲母・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	2穿孔、外面に赤彩・煤付着	188	165
873	S00422 IL01	2	VI～VII 高井B4	口径24.6 底径13.3 高さ22.1 最大径24.8	口縁6 底縁1/4 以上	±±± ±±±	±±±、±±±、±±±	やや密、径1mm以下の長石・雲母・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	2穿孔1組3方向	188	165
874	S00422 IL20	2	VI～VII 高井G26	口径12.7 底径8.8 高さ10.1 最大径13.6	口縁1 底縁1/4 以上	多角(正面(3条)、±±±、 ±±±、摩耗著しい ±±±)	±±±、±±±	やや密、径3mm以下の長石・±±±・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	1穿孔1組3方向	188	166
875	S00422 IL20	2	VI～VII 高井G3	口径11.2 底面(7.8)	底縁1/4 以上	±±± ±±±	摩耗のため調整不明 ±±±	やや密、径1mm以下の長石・±±±を僅かに含む	普通	1穿孔1組3方向	188	—
876	S00422 IL20	2	VI～VII 高井G3	器底(5.8)		±±± ±±±	±±±	やや密、径1mm以下の長石・±±±・赤色酸化土粒を僅かに含む	良		188	—
877	S00422 IL01	2	VI～VII 高井G5c	器底(6.3)		研究文、多角沈窓(2条)、 研究文、多角沈窓(2条)、 斐庭文、多角沈窓(5条)、 ±±±	±±±	やや密、径1mm以下の長石・±±±を僅かに含む	良		189	—
878	S00422 IL01	2	VI～VII 高井H2	口径11.5 底面(7.9)	口縁6	±±±、摩耗著しい ±±±	指頭压痕、輪縞み痕、 摩耗著しい	やや密、径2mm以下の長石・±±±・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通		189	—
879	S00422 IL01	2	VI～VII 高井H2	口径2.2 底径12.9 高さ16.0 最大径13.3	口縁1 底縁2/4 以上	±±± ±±±	指頭压痕、輪縞み痕、±±±、±±±	やや密、径1mm以下の長石・±±±・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	1穿孔1組3方向	189	165
880	S00422 IL01	2	VI～VII 高井G2b	口径25.8 底面(16.0)	口縁4	±±± ±±±	±±±、±±±、±±±	やや密、径2mm以下の赤色酸化土粒を多く含む	良	2穿孔1組2方向	189	—
881	S00422 IL02	1	VI～VII 高井C2脚 部	底径17.2 高さ(11.5) 未溝	底縁1/4	±±± ±±±	±±±、±±±	やや密、径1mm以下の長石・雲母・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	2穿孔1組2方向	189	—
882	S00422 IL02	1	VII～IX 器台C2	口径9.2 底面(5.1)	口縁7	±±±のち±±± ±±±	±±±のち±±±、±±±、±±±	やや密、径1mm以下の長石・±±±・赤色酸化土粒を多く含む	普通	内外面に赤彩?、1 穿孔1組3方向、打 ち欠き	189	—
883	S00422 IL02	2	VI～VII 鍾D?	底径3.6 底面(1.9)	±±± ±±±	±±±、指頭压痕	やや密、径1mm以下の長石を僅かに含む	良		189	—	
884	S00422 IL01	2	VI～VII 土製足	口径6.1 底面(0.9)	口縁12	摩耗のため調整不明 ±±±	摩耗のため調整不明 ±±±	やや密、赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	打ち欠き?	189	173
885	S00422 IL02	1	VI～VII 底縁C4d	口径33.6 底面(7.9)	口縁1	±±± ?	多角沈窓(14条)、 山形文、多角沈窓(5 条)、山形文、多角 沈窓(5条)、山形文、 多角沈窓(4条)、± ±±±	やや密、径1mm以下の長石・雲母・赤色酸化土粒を僅かに含む	良		189	—
886	S00422 IL02	2	VI～VII 鍾?	器底(3.2)		±±± ?	±±±	やや密、径1mm以下の±±±を僅かに含む	普通		189	—
887	S00422 IL02	1	VI～VII 鍾?	底径2.2 底面(3.8)	底部充 存	±±±、指頭压痕	指頭压痕	やや密、径1mm以下の長石を僅かに含む	普通		189	—
888	S00422 IL01	2	VI～VII 高井脚部	底面(9.6)		±±± ?	±±±	やや密、径3mm以下の長石・±±±・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	穿孔の数不明	189	—
889	S00422 IL01	2	VI～VII 最台脚 部	底径12.6 底面(7.7)	底部充 存	±±± ?	輪縞み痕、±±±、±±±、 ±±±	やや密、径1mm以下の長石・±±±を僅かに含む	良	1穿孔1組3方向	189	—
890	S00422 IL20	2	VI～VII 造A脚部	底面(5.5)		?	成段文、山形文(貝)、±±±、±±±	やや密、径1mm以下の長石を僅かに含む	普通	外面に赤彩	189	—
891	S00422 IL20	2	VI～VII 造A脚部	底面(6.9)		?	輪縞み痕、多角沈窓(5 条)、山形文、多角 沈窓(5条)、山形文(?)、 多角沈窓(5条)、± ±±±	やや密、径1mm以下の長石・雲母・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通		189	—
892	S00422 IL01	2	VI～VII 造A	底径4.0 底面(9.2) 未溝	底部1/4	底縫文、研究文、 ±±±、±±±	±±±、±±±	やや密、径1mm以下の長石・雲母・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	外面に赤彩	189	165
893	S00422 IL01	2	VI～VII 造2a	口径16.9 底面(5.8)	口縁10	?	±±±、輪縞み痕	やや密、径3mm以下の赤色酸化土粒を多く含む	普通		189	—
894	S00422 IL02	1	VI～VII 造A1b	口径18.2 底面(8.3)	口縁10	沈窓(2条)、±±±	±±±、±±±、輪縞 み痕、指頭压痕	やや密、径3mm以下の長石・雲母・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通		190	—
895	S00422 IL01	2	VI～VII 造B2a	口径13.3 底面(26.6)	口縁2	麻糸、摩耗著しい ±±±、±±±	輪縞み痕	やや密、径1mm以下の長石・±±±・赤色酸化土粒を多く含む	普通		190	166

表103 土器類觀察表 (37)

No	地区 遺跡	層位 層組	時期 層組分類	法量(cm)	残存率 (%)	調査		出土	被 成	備考	埠区 國版	
						外面	内面					
896	S00422 II-02	2	VI-VII 築3A	口径24.0 器高(4.7)	横縫浮文(3本組)、羽 状文	摩耗のため不明	やや密。径1mm以下の長 石、+ト+、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通		190	-	
897	S00422 II-01	2	VI-VII 築6	口径15.7 器高(5.8)	口縁2	13†††。ハ目	やや密	やや密。径1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	190	-	
898	S00422 II-01	2	VI-VII 築3A解説	器高(10.4)	直線文、刺突文、直線文、 竹管文、△ ³	指頭直痕、+ト+、輪 縞み痕	やや密。径1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	外面に赤彩	普通	190	-	
899	S00422 II-01	2	VI-VII 築2	口径19.6 器高(8.7)	口縁6	13†††。ハ目	+ト+、ヨリ+ト+、△ ³ 、 指頭直痕	やや密。径2mm以下の長 石、赤英、雲母、+ト+、 赤色酸化土粒を多く含 む	外面に煤付着 普通	190	166	
900	S00422 II-01	2	VI-VII 築2B	口径17.8 器高(9.4)	口縁1 (5.6)(3枚)	△+△+、指頭直痕、 輪縞み痕	やや密。径2mm以下の長 石、赤英、+ト+、輪 縞み痕	普通		190	-	
901	S00422 II-02	2	VI-VII 築3	口径17.8 器高(9.6)	口縁2	ハ目。△ ³ 、指頭直痕	や、△ ³	密。径2mm以下の長 石、雲母、+ト+を僅かに含 む	良	190	-	
902	S00422 II-01	2	VI-VII 築4	口径16.2 器高(7.3)	口縁4	+△ ³ 、指頭直痕、+ト+、輪 縞み痕	△+△+、輪縞み痕	やや密。径5mm以下の長 石、+ト+、赤色酸化土 粒を僅かに含む	良	190	-	
903	S00422 II-02	1	VI-VII 築4A	口径19.6 器高(6.2)	口縁2	13†††。ハ目、指頭直痕	13†††。ハ目。指頭直 痕	やや密。径1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	190	-	
904	S00422 II-02	2	VI-VII 築3	口径21.2 器高(5.0)	口縁4	ハ目。△ ³	△ ³	密。径2mm以下の長 石、石英、+ト+、赤色酸化 土粒を僅かに含む	良	190	-	
905	S00422 II-02	2	VI-VII 築4B	口径19.6 器高(6.2)	口縁3	指頭直痕、摩耗著し い	指頭直痕、摩耗著 い	やや密。径2mm以下の長 石、+ト+、赤色酸化土 粒を多く含む	普通	190	-	
906	S00422 II-01	2	IX	口径12.9 器高(3.0)	口縁1	13†††。沈底(1巣)。ハ目	△+△+、指頭直痕	やや密。径2mm以下の長 石、雲母を僅かに含む	外面に煤付着 普通	190	-	
907	S00422 I-001	2	VI-VII 築3C解説	器高(6.2)		△?。摩耗著し い	+△ ³ 痕。△+△+。ハ 目	やや密。径2mm以下の長 石、+ト+、赤色酸化土 粒を僅かに含む	2穿孔1孔2方向 外面部に煤付着。 次回発見。断面 にも煤付着	191	-	
908	S00422 II-02	2	VI-VII 築1B解説	底径11.9 器高(11.4)	底縫1/4 未溝	13††。摩耗著し い	摩耗著し い	やや密。径2mm以下の長 石、+ト+、赤色酸化土 粒を多く含む	1穿孔1孔3方向	191	-	
909	S00422 I-001	2	VI-VII 築3B	口径17.8 底径14.8 器高(13.2) 最大径18.2	口縁4 底縫4/4 以上	13†。△ ³	△ ³ 目。摩耗のため 調整不明	やや密。径2mm以下の長 石、雲母、赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に煤付着。1 穿孔1孔3方向	191	-	
910	S00422 I-001	2	VI-VII 手柄	器高(7.3)		+△ ³ 。刺突文	△ ³	やや密。径2mm以下の長 石、+ト+を多く含む	普通	191	-	
911	S00422 I-001	2	VI-VII 築	器高(6.5)		ハ目。△ ³ 。織割	△ ³ 、△+△ ³	やや密。径2mm以下の長 石、+ト+を多く含む	普通	191	-	
912	S00422 I-001	1	VI-VII 築2B	口径5.8 器高(11.0)	口縁1	多条沈底(1巣)、山形 多角沈底(2巣)、刺 突文、多角沈底(5巣)、 山形文、多角沈底(8巣) 多条沈底(8巣)	△ ³ 。指頭直痕	△ ³ 。指頭直痕	やや密。径1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	191	-
913	S00422 I-001	1	VI-VII 築2B	底径15.6 器高(11.8)	以上	13†	△ ³ 、△ ³ 目	やや密。径1mm以下の長 石、雲母、赤色酸化土 粒を僅かに含む	1穿孔1孔3方向	191	-	
914	S00422 II-02	2	VI-VII 築11	口径8.1 器高(7.0)	口縁8	摩耗のため調査不明	摩耗のため調査不 明	やや密。径2mm以下の長 石を僅かに含む	普通	191	-	
915	S00422 I-001	2	VI-VII 築9-1	底径3.6 器高(9.2)	底縫定 存	摩耗のため調査不明	指頭直痕。△ ³ 目。 輪縞み痕	やや密。径1mm以下の長 石、+ト+、赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に煤付着 普通	191	-	
916	S00422 II-02	2	VI-VII 土製壺	口径5.2 底径2.0 器高5.1	口縁12 底縫定 存	△ ³ 、△ ³ 目。	△ ³ 。△ ³ 目。 △ ³ 、△ ³ 目	やや密。径1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	191	173	
917	S00422 II-02	2	IX	器高(4.5)		△ ³ 、△ ³ 目	△ ³ 、△ ³ 目。 △ ³ 、△ ³ 目	密。径1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含む	外面に煤付着 普通	191	-	
918	S00422 I-001	2	VI-VII 築2	口径8.2 器高(4.2)	口縁10	△ ³ 、△ ³ 目	△ ³ 、△ ³ 目。	やや密。径1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	191	-	
919	S00422 I-001	2	II 築2	器高(3.2)		条痕	波状文。△ ³	やや密。径2mm以下の長 石を僅かに含む	普通	191	-	
920	S00422 I-001	2	VI-VII 築11	口径14.9 器高(6.9)	口縁5	△+△ ³ 。刺突文、直線文、 △ ³	△+△ ³ 。指頭直痕。 △ ³	やや密。径1mm以下の長 石、+ト+、赤色酸化土 粒を多く含む	普通	191	-	

表104 土器類觀察表 (38)

No	地区 遺構	層位	時期 層種分類	法縁(cm)	生存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	神奈 回数		
						外面	内面						
921	S00422 IM01	2	VI~VII 便A3	口径16.8 高さ(7.7)	口縁2	ヨリナリ。刺突文、ヨリナリ、指頭正直、 直腹文(6条)。刺突文、ヨリナリ、 直腹文(6条)。刺突文、 ヨリナリ	ヨリナリ。刺突文、ヨリナリ、指頭正直、 直腹文(6条)。刺突文、ヨリナリ、 直腹文(6条)。刺突文、 ヨリナリ	やや密。径3mm以下の長 石・ヨリナリを僅かに含む	普通		191	-	
922	S00422 IM02	1	VI~VII 高H3脚部	口径21.6 高さ(6.0)	口縁1	ヨリナリ、ヨリナリ	ヨリナリ、ヨリナリ	やや密。径3mm以下の長 石・ヨリナリを僅かに含む	普通	赤彩の可能性有り	192	-	
923	S00422 IM02	1	VI~VII 高H3脚部	底径12.4 高さ(16.0)	底部完 存	ヨリナリ	ヨリナリ、ヨリナリ	やや密。径5mm以下の長 石・ヨリナリを僅かに含む	普通	1穿孔1組2方向 背面に打たれ矢き有 り(2カ所)	192	-	
924	S00422 IM02	1	VI~VII 高H3脚部	底径12.1 高さ(16.0)	底部完 存	ヨリナリ	ヨリナリ、ヨリナリ	やや密。径3mm以下の長 石・ヨリナリを僅かに含む	普通	外間に煤付着。2 穿孔1組2方向	192	-	
925	S00422 IM02	2	VI~VII 高H3C2	口径21.9 底径14.4 高さ17.8 最大径22.0	口縁5 底径4.4 以上	ヨリナリ、ヨリナリ	ヨリナリ、ヨリナリ	やや密。径2mm以下の長 石・ヨリナリを僅かに含む	普通	2穿孔1組2方向	192	167	
926	S00422 IM02	1	VI~VII 高H3脚部	底径16.6 高さ(11.4)	底径4.0 以上	ヨリナリ	ヨリナリ、ヨリナリ、ヨリナリ 底	やや密。径3mm以下の長 石・ヨリナリを僅かに含む	普通	2穿孔1組2方向	192	-	
927	S00422 IM02	1	VI~VII 高H3脚部	底径16.9 高さ(11.0)	底部2/4 以上	ヨリナリ、ヨリナリ	ヨリナリ、ヨリナリ、ヨリナリ ヨリナリ、ヨリナリ	やや密。径3mm以下の長 石・ヨリナリ・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通	2穿孔1組2方向	192	-	
928	S00422 IM02	1	VI~VII 高H3C4d	口径22.3 底径15.5 高さ19.0 最大径23.5	口縁2 底径3/4 以上	ヨリナリ	多条沈縫(12条)。 ヨリナリ。山形文(~3)。 多条沈縫(3)。 刺突文、直腹文(3) 直腹文、山形文、 多条沈縫(1)。 ヨリナリ、ヨリナリ ヨリナリ	やや密。径3mm以下の長 石・ヨリナリ・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通	2穿孔1組2方向		192	166
929	S00422 IM02	a	VI~VII 便G3b	口径15.9 高さ(4.3)	口縁11	ヨリナリ、ヨリナリ	ヨリナリ、沈縫(2条)、ヨ リナリ	やや密。径4mm以下の長 石・ヨリナリ・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通		192	-	
930	S00422 IM02	1	VI~VII 便D1	口径13.7 高さ(5.3)	口縁1	ヨリナリ。刺突文、ヨリナリ	ヨリナリ、ヨリナリ、ヨリナリ 指頭正直	やや密。径2mm以下の長 石・ヨリナリ・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通		192	-	
931	S00422 IM02	1	VI~VII 高H3G3a	口径16.6 底径11.5 高さ10.1 最大径10.6	口縁4/4 底径1/4 以上	ヨリナリ、ヨリナリ、板ガラ、 ヨリナリ	ヨリナリ、ヨリナリ、板ガラ、 ヨリナリ	やや密。径4mm以下の長 石・ヨリナリ・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通	2穿孔1組2方向、 背面に打たれ矢き有 り(2カ所)	192	167	
932	S00422 IM02	1	VI~VII 便F	口径15.8	括付沈縫上、刺突文、 直腹文、刺突文、直腹文、 刺突文	ヨリナリ	やや密。径5mm以下の長 石・ヨリナリ・赤色 酸化土粒を僅かに含む	良		192	166		
933	S00422 IM02	1	VI~VII 高H3脚部	高さ(3.0)	ヨリナリ	ヨリナリ	やや密。径4mm以下の長 石を僅かに含む	良	外間に煤付着、被 覆面に煤付着	192	-		
934	S00422 IM02	1	VI~VII 手捏ねC	口径5.5 底径5.5 高さ0.1 最大径5.8	口縁5 底部完 存	ヨリナリ	ヨリナリ、ヨリナリ	やや密。径5mm以下の長 石・ヨリナリ・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通		192	-	
935	S00422 IM02	2	VII~IX 便F	高さ(3.3)	ヨリナリ	ヨリナリ	やや密。径1mm以下の赤色 酸化土粒を僅かに含む	良	外間に煤付着	192	-		
936	S00422 IM02	1	VI~VII 便G3b	口径12.3 高さ(6.5)	口縁8	多条沈縫(7条)、ヨリナリ ヨリナリ、輪縞み瓶	ヨリナリ、ヨリナリ、輪縞み 瓶	やや密。径5mm以下の長 石・ヨリナリ・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通	外間に煤付着	193	-	
937	S00422 IM02	2	VI~VII 透H1	透径5.9 高さ(12.0)	底部完 存	ヨリナリ	ヨリナリ、ヨリナリ、 ヨリナリ(下半)	やや密。径5mm以下の長 石・ヨリナリを僅かに含む	良		193	167	
938	S00422 IM02	1	VI~VII 便A3	口径14.0 高さ(4.8)	口縁10	刺突文、指頭正直、ヨリナリ ヨリナリ	刺突文、ヨリナリのち ヨリナリ	やや密。径5mm以下の長 石・ヨリナリを多く含む	良		193	167	
939	S00422 IM02	1	VI~VII 便A2	口径13.9 高さ(6.5)	口縁6	ヨリナリ	ヨリナリ、指頭正直、ヨリナリ ヨリナリ	やや密。径5mm以下の長 石・ヨリナリを僅かに含む	普通	外間に煤付着	193	-	
940	S00422 IM02	1	VI~VII 便脚部	底径9.2 高さ(6.5)	底部完 存	ヨリナリ、ヨリナリ	ヨリナリ、ヨリナリ	やや密。径5mm以下の長 石・ヨリナリ・赤色 酸化土粒を多く含む	普通		193	-	
941	S00422 IM02	1	VI~VII 便A2	口径18.0 高さ(9.9)	口縁1	直腹文、刺突文、ヨリナリ、 輪縞み瓶	輪縞み瓶、指頭正直、 輪縞み瓶	やや密。径5mm以下の長 石・ヨリナリ・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通	外間に煤付着	193	-	
942	S00422 IM02	1	VI~VII 便F	口径15.2 底径14.0 高さ16.2 最大径16.9	口縁6	ヨリナリ	ヨリナリ、ヨリナリ、指頭正直、 輪縞み瓶	やや密。径5mm以下の長 石・ヨリナリ・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通		193	167	
943	S00422 IM02	2	VI~VII 便E?	口径4.4 高さ(8.9)	口縁5	ヨリナリ、ヨリナリ、直腹文、 直腹文、直腹文、 ヨリナリ	ヨリナリ、ヨリナリ、指 頭正直、ヨリナリ	やや密。径5mm以下の長 石・ヨリナリ・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通	外間に煤付着	193	167	
944	S00422 IM02	1	VI~VII 便A2b	口径13.1 高さ(5.6)	口縁5	ヨリナリ、刺突文、直腹文、 直腹文、直腹文、 ヨリナリ	ヨリナリ、ヨリナリ、輪縞み 瓶	やや密。径5mm以下の長 石・ヨリナリ・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通		193	-	

表105 土器類観察表 (39)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 国別
						外面	内面				
945	S00422 IM02	1	VI～VII 便A4	口径17.3 器高(2.9)	口縁2	22+, 刺突文, +?	22+, +?	やや密、径2mm以下の長石・赤色酸化土粒を多く含む	普通	外面に焼付着	193 -
946	S00422 IM02	1	VI～VII 便A4	口径15.0 器高(8.6)	口縁3	22+, ハタ、指頭圧痕、刺突文(2箇)	22+, ハタ、指頭圧痕	やや密、径1mm以下の長石・+?・赤色酸化土粒を多く含む	普通	193 -	
947	S00422 IM02	1	VI～VII 便C2	口径14.5 器高(4.4)	口縁3	22+, 刺突文, ハタ, +?	22+, ハタ、指頭圧痕、輪積み痕	やや密、径2mm以下の長石・+?・赤色酸化土粒を多く含む	普通	193 -	
948	S00422 IM02	1	VI～VII 便B2	口径16.0 器高(4.5)	口縁3	22+, ハタ、指頭圧痕	22+, ハタ	やや密、径1mm以下の長石・雲母・+?を僅かに含む	普通	外面に焼付着	193 -
949	S00422 IM02	1	VI～VII 便B3	口径19.0 器高(16.7)	口縁3	22+, +?	22+, +?	やや密、径3mm以下の長石・+?・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	内部に焼付着	193 -
950	S00422 IM02	1	VI～VII 便A3	口径17.0 器高(12.8)	口縁5	22+, ハタ	22+, ハタ、指頭圧痕、輪積み痕	やや密、径2mm以下の長石・+?・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	外面に焼付着	193 168
951	S00422 IM04	1	V 高井B2c	口径18.0 底径11.9 器高(6.6) 最大径(8.4)	口縁2	+?	+?, +?	+?, +?, 32+	普通	穿孔1面3方向	194 168
952	S00422 IM02	2	VI～VII 舞台1脚部 B2	口径17.2 器高(11.5)	底部	+?	+?	+?瓶、スピナツ、板?	普通	穿孔1面3方向	194 -
953	S00422 IM01	2	VI～VII 舞台1脚 B2	口径14.2 器高(6.6)	口縁3	+?	+?, +?瓶、輪 積み痕	透、径1mm以下の長石・+?・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	1穿孔1面3方向	194 168
954	S00422 IM02	1	V 便A1b	口径10.4 底径8.8 器高(4.6) 最大径(5.2)	口縁2 底部	擬圓筒(2条+4条+4条)、刺突文(2段)、四形刺突文、+?	+?, +?, +?	透、径1mm以下の長石・+?・赤色酸化土粒を僅かに含む	赤彩、黒斑	1穿孔1面3方向	194 168
955	S00422 IM02	1	VI～VII 高井H	口径10.6 器高(4.8)	口縁3	+?	+?	やや密、径1mm以下の+?・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	外面に焼付着	194 169
956	S00422 IM02	2	VI～VII 高井H	底径13.0 器高(6.3)	底部 1/4以上	+?	+?	透、径1mm以下の長石・+?を僅かに含む	良	1穿孔1面3方向	194 -
957	S00422 IM02	2	VI～VII 便A3	口径21.0 器高(3.8)	縫合部(2条)、模状浮 突文、+?のちび?	+?	羽状文、沈泡(2条)、 +?のちび?	透、径1mm以下の長石・+?・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	内部に赤彩	194 -
958	S00422 IM02	1	VI～VII 便A3	口径21.2 器高(3.8)	口縁3	羽状文、+?	+?	透、径3mm以下の長石・+?・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	194 168	
959	S00422 IM02	2	VI～VII 便A5	口径22.4 器高(5.9)	口縁2	羽状文、+?	羽状文、草鞋(2条)、 +?のちび?	透、径3mm以下の長石・+?・赤色酸化土粒を多く含む	普通	194 -	
960	S00422 IM03	2	VI～VII 便A1b	口径14.3 器高(12.0)	口縁7	刺突文、+? 直線文(5条)、波突文(4条)、直線文(5条)、刺 突文、+?のちび?	+?, 輪積み痕、+?	透、径2mm以下の長石・+?・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	194 169	
961	S00422 IM02	1	VI～VII 便11	口径7.0 底径3.4 器高(2.3)	口縁4 底部完 成	+?, 輪積み痕	+?, 輪積み痕、+?	やや密、径2mm以下の長石・+?・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	194 169	
962	S00422 IM03	1	VI～VII 便A	口径4.6 器高(9.8)	口縁10	+?	+?, +?	やや密、径5mm以下の長石・+?を僅かに含む	普通	外面に灰化物付	194 -
963	S00422 IM03	1	VI～VII 便A	器高(9.8)	直線文、刺突文、直線 文、刺突文、直線文、 刺突文、+?のちび?	輪積み痕、指頭圧 痕、+?	透、径3mm以下の長石・+?を僅かに含む	良	外面に赤彩付着	194 -	
964	S00422 IM01	2	VI～VII 便	器高(4.6)	輪積のため調査不明	+?	+?	やや密、径1mm以下の長石を僅かに含む	普通	外面に難別有り	194 -
965	S00422 IM02	2	VI～VII 手縫	器高(4.7)	+?	+?	指頭圧痕、+?	やや密、径1mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	194 -	
966	S00422 IM02	1	VI～VII 糸A1	口径17.8 器高(11.9)	口縁2	22+, +?	32+, +?	透、径1mm以下の長石を僅かに含む	良	195 -	
967	S00422 IM02	2	VI～VII 糸A3	口径17.2 底径11.6 最大径(17.2)	口縁4	22+, +?	22+, +?	透、径4mm以下の長石・+?を僅かに含む	普通	195 -	
968	S00422 IM02	1	VI～VII 糸B2a	口径14.4 器高(6.5)	口縁3	+?	+?, +?	透、径4mm以下の長石・+?を僅かに含む	良	195 168	
969	S00422 IM02	1	VI～VII 手縫C	口径6.6 器高(3.9) 最大径(6.4)	口縁12 底部完 成	+?	+?	透、径1mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	195 173	

表106 土器類觀察表 (40)

No	地区 造形	層 位	時間 層分類	法量(cm)	生存率 (%)	調整		植土	被 覆	備考	補區 回復
						外側	内面				
970	S90422 I002	1	VI～VII 手掘れC	口径6.7 底径3.8 高さ3.2 最大幅7.5	口縁10 底径3/4 以上	++	++、指掘圧痕	やや密。径5mm以下の長 石、+/-+/-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	打ち欠き 普通	195	-
971	S90422 I003	1	VI～VII 鉢G	口径13.5 底径(5.6)	口縁2	++/+、+/-+/-、+/-	++/+、+/-	やや密。径1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	195	-
972	S90422 I002	1	VI～VII 鉢?	底径3.1 高さ(1.5)	底部完 存	+/-	透、底1mm以下	やや密。底1mm以下の長 石を良	良	195	-
973	S90422 I002	1	VI～VII 壁A底部	底径3.9 高さ(4.9)	底部完 存	+/-	透、底1mm以下	やや密。底1mm以下のカット を良	外側に煤付着 底5mmに含む	195	-
974	S90422 I002	b	V	口径10.0 底径6.5 高さ(16.2)	口縁2 底部完 存	++/+、+/-	++/+、+/-	やや密。径1mm以下の長 石を僅かに含む	外側に煤付着 底5mmに含む	195	169
975	S90422 I003	1	VI～VII 便座B	底径8.5 高さ(5.1)	底部完 存	+/-、+/-	指掘圧痕、+/-+/-	やや密。径5mm以下の長 石、+/-+/-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	押打、打ち欠き有 り、内面に煤付着	195	-
976	S90422 I002	1	VI～VII 便座C	底径9.0 高さ(6.3) 以上	底部3/4 以上	+/-	透	やや密。底5mm以下の長 石、+/-+/-を多く含む	普通 外面に煤付着、露 掘削打欠き?	195	-
977	S90422 I003	a	VII 便D3	口径16.0 底径(2.8)	口縁2	++/+、+/-	++/+、+/-、指掘圧痕	やや密。底1mm以下の長 石、雲母、+/-+/-、赤色 酸化土粒を僅かに含む	良	195	-
978	S90422 I004	1	VI～VII 便A3	口径17.0 高さ(14.0)	口縁3	++/+、+/-	++/+、+/-、指掘圧 痕	やや密。底1mm以下の長 石、+/-+/-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	外側に煤付着 底5mmに含む	195	-
979	S90422 I002	2	X 便	口径13.8 高さ(11.3)	口縁5	++、手抜竹管	++、指掘圧痕	やや密。底5mm以下の長 石、+/-+/-を僅かに含む	外側に炭化物付着 底5mmに含む	195	169
980	S90422 I003	2	譜文 便B2	口径32.0 高さ(15.0)	口縁2	附土帯帯、底底(貝)	+/-、編織み植	粗、底5mm以下の長石、 +/-+/-を多く含む	隙孔 不良	196	170
981	S90422 I001	2	譜文 便B3	底径(5.6)	素文突起、 磨耗著しき	磨耗著しき	やや密。底4mm以下の長 石、+/-+/-を多く含む	普通	196	172	
982	S90422 I003	2	IV 便B2	口径17.0 高さ(3.1)	口縁1	++/+、刺突文	++/+	やや密。底2mm以下の長 石、+/-+/-を多く含む	外側に煤付着 底5mmに含む	197	-
983	S90422 I003	a	VI～VII 鉢?	口径(4.6)	+/-	指掘圧痕	編織み植	やや密。底1mm以下の長 石、+/-+/-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	外側に炭化物付着 底5mmに含む	197	-
984	S90422 I003	a	VII 高井G3	高さ(1.5)	多条沈鉢(4条)、 菱形文、 多条沈鉢(5条)、 山形文、 多条沈鉢(2条)	+/-	多条沈鉢(4条)、 菱形文、 多条沈鉢(5条)、 山形文、 多条沈鉢(2条)	やや密。底1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	197	-
985	S90422 I003	1	VI～VII 高井C4	口径25.2 高さ(5.4)	口縁1	++/-、草茎著しい	多条沈鉢(13条)、 山形文、多条沈鉢 (10条)、山形文、 多条沈鉢(5条)	やや密。底5mm以下の雲 母、+/-+/-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	197	-
986	S90422 I003	1	VI～VII 高井C5	口径23.2 底径11.7 高さ19.7 最大幅23.5	口縁12 底径3/4 以上	++/+、板状+/-、指掘 痕	++/+、+/-	やや密。底1mm以下の長 石、+/-+/-を僅かに含む	外側に煤付着、 1穿孔1側方	197	169
987	S90422 I003	1	VI～VII 高井C6	底径4.4 高さ(2.4)	底部完 存	+/-	+/-	やや密。底5mm以下の長 石、+/-+/-を僅かに含む	外側に煤付着、露 打欠き?	197	-
988	S90422 I003	2	VI～VII 便D3	口径4.0 高さ(7.3)	口縁1	++/-	++/-	やや密。底1mm以下の長 石、+/-+/-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	打ち欠き 普通	197	-
989	S90422 I003	1	VI～VII 手掘れC	口径6.7 底径4.0 高さ(3.5) 最大幅6.8	口縁3 底部完 存	++/-	++/-	やや密。底3mm以下の長 石、+/-+/-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	打ち欠き? 普通	197	-
990	S90422 I004	1	VI～VII 手掘れC	口径6.5 底径4.0 高さ(3.5) 最大幅6.8	口径10 底部完 存	++	++/-	やや密。底1mm以下の長 石、+/-+/-を僅かに含む	穿孔は焼成前 良好	197	-
991	S90422 I003	1	VI～VII 土製品	底径(2.6)	+/-	+/-	沈鉢(8条)、+/-	透、底1mm以下の長 石、+/-+/-を僅かに含 む	普通	197	173
992	S90422 I003	2	VI～VII 高井C3	口径34.0 高さ(8.2)	口縁2	++/-	沈鉢(8条)、+/-	透、底1mm以下の長 石、+/-+/-を僅かに含 む	外側に炭化物付着 底5mmに含む	197	-
993	S90422 I003	1	VI～VII 便D3	口径13.7 高さ(2.3)	口縁3	++/-	++/-	やや密。底1mm以下の長 石、+/-+/-を僅かに含 む	普通 底5mmに含む	197	-
994	S90422 I003	1	VI～VII 便D3	口径20.6 高さ(9.4)	口縁5	コナリ、+/-、刺突文(二 叉状の工具)	コナリ、+/-、刺突文(二 叉状の工具)	透、底3mm以下の長石、 +/-+/-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	外側に炭化物付着 底5mmに含む	197	170

表107 土器類観察表 (41)

No	地区 遺構	層位	時期 層様分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		培土	焼成	備考	種別	国別
						外面	内面					
995	S00422 IM03	1	VI～VII 便C2	口径16.8 器高(4.8)	口縁2	刺突文、ツサツ。 内面	ツサツ。板ツサツ、指 頭圧痕	密、厚2mm以下の長石・ 石英、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	外面に焼化物付着	197	-
996	S00422 IM03	1	VI～VII 便D3b	口径13.0 器高(5.9)	口縁2	輪潤面(4条)、刺突文、 ツサツ、直線文(3条)	ツサツ+	密、厚1mm以下の長石・ 石英を僅かに含む	良	197	-	
997	S00422 IM03	2	VI～VII 銚A1	口径14.0 器高(7.1)	口縁2	ツサツ+、刺突文、ツサツ、直 線文(2条)	ツサツ+。 内面	やや密、厚1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外面に焼化物付着	197	-
998	S00422 IM03	1	Ⅴ 便B3	口径11.7 器高(2.4)	口縁2	ツサツ+。 内面	ツサツ+。 内面	やや密、厚1mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	外面に焼付着	197	-
999	S00422 IM03	2	Ⅴ 便B3	口径14.2 器高(3.1)	口縁1	ツサツ+。 内面	ツサツ+。 内面	やや密、厚1mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	外面に焼付着	197	-
1000	S00422 IM03	1	VI～VII 便C2	口径16.4 器高(18.0)	口縁5	ハサ	ハサ、輪潤み痕	密、厚2mm以下の長石・ 石英、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	外面に焼化物付着	197	170
1001	S00422 IM03	1	VI～VII 便脚部	底径4.7 器高(7.5)	底盤2/4 以上	ハサ	ハサ、ハサ+ハサ	やや密、厚1mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	外面に焼付着	197	-
1002	S00422 1002	2	VI～VII 高脚G3c	口径12.0 器高(4.2)	口縁2	刺突文、多条沈痕(11 条)、ツサツ	ツサツ+、 内面	密、厚1mm以下のツサツを 僅かに含む	良		198	-
1003	S00422 1002	2	VI～VII 高脚G3c	底径11.0 器高(4.2)	底盤1/4 未剥離	ツサツ+。 多条沈痕(5条)	ツサツ+。 内面	やや密、厚1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	良 不良	2穿孔1組(方向は 不明)	198	-
1004	S00422 1002	2	V 器台A1b	口径16.7 底径13.0 器高8.9 最大径16.8	口縁7 底盤完 存	摩耗のため調査不明	摩耗のため調査不明	やや密、厚1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	1穿孔1組3方向	198	170
1005	S00422 1002	2	V 器台A1a	口径20.3 器高(2.0)	口縁1	刺突文、円形浮文(1個) 組	ツサツ+ 内面	やや密、厚1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良		198	-
1006	S00422 1002	2	V～VI 便K	口径17.9 器高(11.1)	口縁9	ツサツ+。 摩耗著しい	輪潤み痕、ツサツ+ 内面	やや密、厚1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	良		198	170
1007	S00422 1002	2	V～VI 銚A1	口径17.0 器高(12.4)	口縁2	ツサツ+、刺突文、直線文、 輪潤面	ツサツ+。 内面	やや密、厚1mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	外面に焼付着	198	-
1008	S00422 1001	2	V～VI 便K	口径16.7 器高(4.6)	摩耗のため不明	摩耗のため不明	やや密、厚1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	普通		198	-	
1009	S00422 1002	2	VI～VII 便A2a	口径14.4 器高(5.3)	口縁2	ツサツ+、ハサ、指頭圧痕、 直線文、刺突文	ツサツ+。 内面	やや密、厚1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	外面に焼付着	198	-
1010	S00422 1002	2	V～VI便 A2a	口径15.8 器高(2.2)	口縁2	ツサツ+。 刺突文	密、厚1mm以下の長 石・石英・輪潤み痕	密、厚1mm以下の長石・ 石英を多く含む	良		198	-
1011	S00422 1002	2	VI～VII 便E3	口径12.1 器高(6.8)	口縁2	指頭圧痕、ツサツ+、 ツサツ+。 輪潤み痕	指頭圧痕、ツサツ+。 内面	やや密、厚1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良	1穿孔のみ	198	170
1012	S00422 1002	2	VI～VII 便E5	口径12.7 器高(6.6)	口縁3	ツサツ+。 ユビツサツ	ツサツ+。 内面	やや密、厚2mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	普通		198	171
1013	S00422 1001	2	調文 深鉢	器高(4.8)	磨耗	磨耗	やや粗、厚2mm以下の長 石・石英・ツサツを多く 含む	普通		198	-	
1014	S00422 1002	2	調文 深鉢	器高(3.6)	貼付突帯、 磨耗	貼付突帯、 磨耗	やや粗、厚2mm以下の長 石・石英・ツサツを多く 含む	普通		198	-	
1015	S00422 1002	2	調文 底部	器高(3.6)	磨耗	磨耗	やや粗、厚2mm以下の長 石・石英・ツサツを多く 含む	普通		198	-	
1016	S00422 HS19	a	調文 深鉢	器高(5.0)	貼付突帯上押し引き、 柔軟(且)	ツサツ、指頭圧痕	やや密、厚2mm以下の長 石・石英・ツサツを多く 含む	普通		199	172	
1017	S00422 HS19	2	調文 深鉢	器高(3.3)	磨耗	磨耗	やや粗、厚2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通		199	172	
1018	S00422 HQ17	2	調文 深鉢	器高(4.2)	柔軟(且)	ツサツ	やや粗、厚2mm以下の長 石・石英・ツサツを含む	普通	外面に焼付着	199	172	
1019	S00422 HQ20	2	調文 深鉢	器高(3.2)		ツサツ、柔軟(且)	やや粗、厚2mm以下の長 石・石英・ツサツを含む	普通		199	-	
1020	S00422 HW18	1	調文 安容透	器高(5.6)	柔軟、貼付突帯上押 し引き(且)	ツサツ	やや粗、厚2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通		199	172	
1021	S00422 HW20	2	調文 安容透	器高(4.0)	柔軟(且)、貼付突帯上 押し引き(且)	ツサツ	やや粗、厚2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通		199	172	
1022	S00422 HW19	2	調文 浅鉢	器高(6.7)		ツサツ	やや粗、厚2mm以下の長 石・石英・ツサツを多く 含む	普通		199	172	

表108 土器類観察表 (42)

No.	地区 遺構	層位	時期 器形分類	法面(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	伸縮 回版	
						外面	内面					
1023	S00422 BQ18	2	縄文 深鉢	口径28.0 器高(11.8)	口縁2	貼付常葉上押し引き、指掛け、けい 条痕(貝)	やや粗、径2mm以下の長 石、石英、+ト+を僅かに含む	普通		199 172		
1024	S00422 BQ17	2	改鉢	器高(3.2)	浮親文	++	やや粗、径3mm以下の長 石、石英を含む	普通		199 -		
1025	S00422 BS19	n	縄文 安昙窓	口径17.2 器高(4.2)	口縁2	縦耗	やや粗、径3mm以下の長 石、石英を含む	普通	生陶西窓?	199 172		
1026	S00422 BQ01	1	Ⅳ 變03	口径16.0 器高(3.6)	口縁2	けい、けい	32+++, +2+ +, 指 頭頂直板、輪縁み直	やや粗、径1mm以下の長 石、石英を僅かに含む	普通	外間に保付着	199 -	
1027	S00422 BQ17	b	中垂 深鉢	口径58.0 器高(27.2)	口縁3	22+++, 特特具	32+++, 指頭頂直板、 輪縁み直	透、径10mm以下の長石、 +ト+、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	199 -		
1028	S00422 IP01	2	縄文 深鉢	器高(5.8)	貼付常葉	縦耗	やや粗、径3mm以下の長 石、石英、+ト+、赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通		200 172		
1029	S00422 IP01	2	縄文 深鉢	器高(3.6)	条痕? 縦耗	縦耗	やや粗、径3mm以下の長 石、石英、+ト+を僅かに 含む	普通		200 172		
1030	S00422 IP02	2	縄文 深鉢	器高(4.4)	貼付常葉上(貝)、縦耗	縦耗	やや粗、径3mm以下の長 石、+ト+を僅かに含む	普通		200 172		
1031	S00422 IP01	2	縄文 深鉢	器高(5.3)	貼付常葉、条痕(貝)	指オサエ、けい	やや粗、径2mm以下の長 石、+ト+を僅かに含む	普通		200 172		
1032	S00422 BS02	n	縄文 深鉢	口径33.0 器高(7.2)	口縁2	貼付常葉、条痕(貝)	指オサエ、けい	やや粗、径1mm以下の長 石、+ト+を僅かに含む	良	200 172		
1033	S00422 BS20	2	縄文 深鉢	器高(4.4)	回復文、条痕(クワ)	+	やや粗、在1mm以下の長 石、+ト+を僅かに含む	普通		200 172		
1034	S00422 IP03	2	縄文 浅鉢	器高(5.1)	縦耗	縦耗	やや粗、在1mm以下の長 石、+ト+を僅かに含む	普通		200 172		
1035	S00422 IS01	2	縄文 浅鉢	器高(6.5)	けい、浮縫文	けい	透、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	外間に保付着	200 172		
1036	S00422 HP20	2	I 直	口径15.6 器高(4.3)	口縁2	尖筋、縦耗	縦耗	やや粗、径5mm以下の長 石、石英、+ト+を僅かに 含む	普通		200 -	
1037	S00422 BS02	k	V 變01b	口径16.0 器高(6.1)	口縁6	22+++, キザミ、けい	22+++, けい?	透、径1mm以下の長石を 多く含む	良	打ち欠き	200 171	
1038	S00422 IP01	2	直H14脚 部	底径7.0 器高(2.0)	底部1/4 未調	撲乳のため調整不明	+	透、径2mm以下の長石、 +ト+、赤色酸化土粒を 僅かに含む	穿孔有り		200 -	
1039	S00422 IR01	e	V 直H12脚 部	器高(5.5)	直復文(直角)、けい	けい	透、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	1穿孔1孔3方向	200 -		
1040	S00422 BS02	2	VI~VII 直H65脚 部	底径15.4 器高(9.5)	底部1/4 以上	多条沈(10条)、けい けい	透、径1mm以下の長石、 赤色酸化土粒を僅かに 含む	2穿孔1孔2方向	普通		200 171	
1041	S00422 IP02	2	高外02	口径19.0 器高(7.0)	口縁8	3+?	多条沈(4条)、けい	やや粗、在1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	口縫打ち欠き?	200 171		
1042	S00422 IP01	1	VI~VII 直H5Gc5 脚	器高(3.6)	刺突文、多条沈(11条)	22+++	やや粗、在1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	良		200 -		
1043	S00422 IP01	2	VI~VII 直H26 脚	口径13.4 器高(5.5)	口縁6	22+++, けい日	22+++, 輪縁み直	やや粗、在1mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		200 -	
1044	S00422 IP02	2	VI~VII 直H50 脚	底径5.0 器高(2.1)	底部完 存	12+、けい、輪刻	けい、けい	やや粗、在2mm以下の長 石、石英、+ト+、赤色 酸化土粒を多く含む	普通	外間に保付着	200 171	
1045	S00422 BS02	k	VI~VII 直A10脚 部	口径14.4 器高(5.5)	口縁12	擬凹頭(5条)、けい、直 輪縁直板、羽状文	透、径1mm以下の長石、 +ト+、赤色酸化土粒を 僅かに含む	内間に赤影		200 171		
1046	S00422 IS03	2	VI~VII 直A1脚 部	器高(5.7)	沈痕(3条)、透乳文、沈 痕(5条)、透乳文、沈痕 (3条)、けい	板けい?	透、径1mm以下の長石、 赤色酸化土粒を僅かに 含む	良		200 -		
1047	S00422 IP02	2	VI~VII 直B1脚 部	底径7.2 器高(29.9)	底部1/4 未調	+、擬凹頭直板、輪縁 み直板	22+++, 板けい?、け い、輪縁2版	やや粗、在3mm以下の長 石、+ト+を僅かに含む	普通		200 -	
1048	S00422 IP02	2	VI~VII 直B3脚 部	口径15.8 器高(16.6)	口縁3	22+++, けい、輪縁み直	22+++, けい、輪縁み直 板、けい、輪縁直板	やや粗、在3mm以下の長 石、+ト+、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通		200 -	
1049	S00422 IP02	2	VI~VII 直A1脚 部	器高(23.6)	直復文、山形文、直復文、 山形文、直復文、刺突	擬凹頭直板	やや粗、在1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	外間に赤影	良	200 -		
1050	S00422 IP02	2	VI~VII 直B1脚 部	底径4.2 器高(19.9)	底部完 存	けい、けい日	22+++, 指頭直板、透 輪縁み直、けい日	透、径1mm以下の長石、 +ト+、赤色酸化土粒を 僅かに含む	打ち欠き	200 -		
1051	S00422 IS02	2	古代 平瓦	器高(16.5)	碼目叩き	码目	やや粗、在1mm以下の長 石、+ト+を僅かに含む	普通		201 171		
1052	S00422 IS03	1	近世 行平舎	底径3.8 器高(4.8)	底部1/4 以上	施釉、回輪けい?	透釉	透、径1mm以下の長石を 僅かに含む	外間に灰灰、内 良と同一個体	201 -		

表109 土器類觀察表 (43)

No	地区 遺跡	層位 層級分類	時期	法寸量(m)	残存率 (%)	調整		土質	成土 度	備考	関連 図版
						外面	内面				
1053	SD0422 IS03	i	西世 行手彌	口径10.6 器高(4.9)	口縁4	施釉、回転竹 [†]	施釉、回転竹 [†]	砂、径1cm以下の長石を 僅かに含む	良	外面部に付着する 砂。精2.51%及 び3038と同 個体	201 —
1086	SK01617	z	譲文 深井	器高(5.3)		貼付安堵(安堵上押し引 き)、貝殻系陶	—	やや砂、径1cm以下の長 石、(英・ト)に	普通	—	210 120
1087	SK01679	1	Ⅴ 高井D2a	口径16.0 器高(3.0)	口縁1	口縁 [†] 、ハ	口縁 [†] 、ハ、相重压 痕	やや砂、径1cm以下の長 石、盤面に付着する 砂を僅かに含む	普通	外面部に付着する 砂。	210 —
1088	SK01668	b	Ⅴ 高井D5	口径18.2 器高(4.4)	口縁4	—	口縁部に多条沈 澗(2条、4条)、透 弧文、多条沈澗(3条、 透弧文、多条沈澗(5 条)、ハ	やや砂、径2mm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	—	212 117
1089	SK01669	1	Ⅴ 高井D5	口径19.2 器高(5.0)	口縁3	—	多条沈澗(5条)、 透弧文、多条沈 澗(2条)、透弧文、 多条沈澗(3条)、透 弧文、多条沈澗(2 条)、透弧文、多条 沈澗(5条)、ハ	やや砂、径1cm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	—	212 117
1090	SK01695	2	Ⅴ 高井D2	口径18.6 器高(5.2)	口縁3	—	多条沈澗(5条)、 透弧文、 —	やや砂、径1cm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	—	212 —
1091	SK01695	2	V 高井D2a	口径14.6 器高(3.7)	口縁1	柄突文、 [†] 透 [†]	透 [†]	やや砂、径1cm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	—	212 —
1092	SK01695	2	V 高井D2	口径21.8 器高(7.6)	口縁12	羽状文、 [†] 透	羽状文、 [†] 透	やや砂、径1cm以下の長 石、(英、雲母、赤母、 透弧文)を含む	良	内面部に付着する、 打ち欠き	212 118
1093	SK01695	b	V 高井D9	器高(7.4)	—	—	相重压痕	やや砂、径1cm以下の長 石、雲母を僅かに含 む	外面部に酸化物付 着、内面部に付着する	—	212 —
1094	SK01775	a	Ⅺ-3 高井D2	口径16.8 器高(5.4)	口縁9	—	多条沈澗(3条)、 透弧文、 —	やや砂、径1cm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	—	214 119
1095	SK01775	a	Ⅺ-3 高井D5	口径24.0 器高(5.9)	口縁5	—	—	やや砂、径1cm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	—	214 119
1096	SK01794	1	Ⅴ 透弧+G	口径15.8 器高(4.1)	口縁3	—、相重压痕、 [†]	—、 [†]	やや砂、径5mm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	口縫沿持ち欠き	216 —
1097	SK01794	1	Ⅴ 高井D2	口径15.0 器高(4.1)	口縁3	—	多条沈澗(3条)、 透弧文、 —	やや砂、径5mm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	—	216 —
1098	SK01794	a	Ⅴ 高井D6a	口径13.0 器高(4.1)	口縁1	摩耗につき調整不明	—、 [†]	砂、径1cm以下の長石、 赤色酸化土粒を僅かに 含む	普通	—	216 —
1099	SK01798	1	高井D2 透弧	底径10.8 器高(1.0)	底面1/4 以上	多条沈澗(3条)、羽状文、 多条沈澗(2条)、羽状文、 多条沈澗(3条)	— [†]	やや砂、径1cm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	—	218 —
1100	SK01802	2	VI 透弧D2	口径10.8 底径4.4 高さ9 最大径17.0	口縁3	—	—、沈澗(1条)	— [†] 、縮み痕、 相重压痕	やや砂、径1cm以下のナット を僅かに含む	外面部に付着する	220 128
1101	SK01807	1	IV 透A2	口径17.8 器高(8.9)	口縁3	柄突文、沈澗(1条)、 透弧文(2条)、 [†] 、 [†] 、 柄突文、 —	—、相重压痕 [†]	砂、径1cm以下の長石、 赤色酸化土粒、 5mm程のナットを僅かに含 む	普通	外面部に付着する 砂。	220 —
1102	SK01809	d	Ⅴ 高井C4e	口径18.0 器高(2.9)	口縁3	—	多条沈澗(3条)、 透弧11.0 底面1/4 未満	3条、径1cm以下のナットを 僅かに含む	透弧文+山形文の 可逆性有り	—	220 —
1103	SK01809	a	高井G3c 脚附	底径11.0 器高(1.0)	底面1/4 未満	—	多条沈澗(3条)、 透弧11.0 底面1/4 未満	砂、径1cm以下のナットを 僅かに含む	2穿孔1辺2方向	—	220 —
1104	SK01810	3	Ⅴ-3 高井D2	口径19.8 器高(4.0)	口縁4	—	多条沈澗(2条)、 透弧文、 —	やや砂、径1cm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	内面部に付着する 砂。	222 117
1105	SK01810	c	Ⅴ-3 高井D2	口径12.0 器高(3.3)	口縁3	—	多条沈澗(10条)、 透弧文、 —	やや砂、径1cm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	—	222 —
1106	SK01810	2	Ⅺ-3 高井D2	口径17.2 器高(5.2)	口縁3	—	多条沈澗(2条)、 透弧文、 —	やや砂、径1cm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	—	222 117
1107	SK01810	1	Ⅺ-3 高井D2	口径13.8 器高(3.0)	口縁2	—	多条沈澗(2条)、 透弧文、 —	やや砂、径1cm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	—	222 —

表110 土器類観察表 (44)

No.	地区 遺構	層位	時期 層位分類	法面(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	神宮 開版
						外面	内面				
1108	SK01810	e	VII-3 高井4号	口径19.8 深さ(5.4)	口縁2	±3°	多条沈窓(4条), ±3°, ±3° 多条沈窓(3条), 多条沈窓(2条), 漆弧文, 多条沈窓(2条)	やや密, 径1mm以下の長石を僅かに含む	良	内外面に煤付着	222 117
1109	SK01810	d	VII-3 高井5号	口径16.0 深さ(2.9)	口縁2	±3°	多条沈窓(3条), 多条沈窓(3条), 漆弧文, 多条沈窓(3条)	やや密, 径1mm以下の長石を僅かに含む	良		222 -
1110	SK01810	I	VII-3 高井5号	口径11.0 深さ(5.0)	口縁4	±3°	多条沈窓(2条), 多条沈窓(2条), 漆弧文, 多条沈窓(3条), 漆弧文, 多条沈窓(3条), ±3°	やや密, 径1mm以下の赤色酸化土粒子を僅かに含む	普通	口縫部打ち欠き2方向?	222 117
1111	SK01810	3	VII-3 窓J2	口径7.8 深さ(4.9)	口縁11	多条沈窓3条+漆 文帯, ±3°	±3°	やや密, 径5mm以下の長石, 赤色酸化土粒子を僅かに含む	普通	内外面に煤付着	222 118
1112	SK01810	2	VII-3 高井6号	口径18.1 深さ(9.8)	口縁4	±3°, ±3°	+++, 6条の多条沈窓, 3条の山形文, 3条の斜窓, 3条の多条沈窓, 2条の山形文, 6条の多条沈窓, ±3°	やや密, 径5mm以下の長石, 赤色酸化土粒子を僅かに含む	普通	1穿孔1縫3方向?	222 118
1113	SK01810	3	VII-3 高井6号 部	器高(4.2)		±3°	++	やや密, 径2mm以下の赤色酸化土粒子を僅かに含む	普通	2穿孔1縫2方向	222 -
1114	SK01810	3	VII-3 高井6号 部	底径12.8 器高(5.9)	底部2/4 以上	±3°	指頭江瓶, ±3°, ±3°	やや密, 径1mm以下の赤色酸化土粒子を僅かに含む	普通	1穿孔孔3万回, 内外面に煤付着(剥離した断面も), 二次焼成痕	222 -
1115	SK01810	3	VII-3 高井6号 部	底径12.8 器高(6.7)	底辺2/4 以上	±3°	+++, ±3°のち±3°, ±3°	やや密, 径1mm以下の赤色酸化土粒子を僅かに含む	普通		222 -
1116	SK01810	2	VII-3 高井6号 部	底径15.4 器高(6.1)	底部3/4 以上	±3°	±3°, ±3°のち±3°, ±3°	やや密, 径5mm以下の長石, 赤色酸化土粒子を僅かに含む	良	2穿孔1縫2方向	222 -
1117	SK01810	1	VII-3 窓H1	口径12.3 底径8.7 器高(8.9) 最大径(2.3)	口縁1	多条沈窓(4条), 漆弧文, 多条沈窓(2条), 漆弧文, 多条沈窓(5条), ±3°	±3°	やや密, 径2mm以下の赤色酸化土粒子を僅かに含む	普通	内外面に煤付着	222 118
1118	SK01810	3	VII-3 高井C4d	器高(4.5)		摩耗につき調査不明	多条沈窓, 漆弧文, 多条沈窓(2条), 漆弧文, 多条沈窓(5条), ±3°	やや密, 径1mm以下の長石, 赤色酸化土粒子を僅かに含む	普通		222 -
1119	SK01810	3	VII-3 窓E	口径18.6 器高(2.4)	口縁1	±3°, 円形浮文	羽状文	やや密, 径1mm以下の赤色酸化土粒子を僅かに含む	普通	口縫部打ち欠き?, 内外面に赤色酸化土粒子を含む	222 -
1120	SK01810	1	VII-2 窓B2	口径18.8 器高(6.1)	口縁5	±3°, ±3°のち±3°	±3°, ±3°のち±3°, 指頭江瓶	やや密, 径1mm以下の長石, 露母, ±3°を僅かに含む	普通	内外面に煤付着	222 118
1121	SK01810	3	VII-3 窓C2	口径14.6 器高(2.4)	口縁8	±3°, ±3°	±3°, ±3°, 指頭江瓶, ±3°	やや密, 径5mm以下の長石, 赤色酸化土粒子を僅かに含む	普通		222 -
1122	SK01810	2	VII-3 窓D2-3	器高(2.2)		-	指頭江瓶, ±3°, ±3°	やや密, 径1mm以下の長石を僅かに含む	普通	内外面に煤付着, 内外面に赤色酸化土粒子を含む	222 -
1123	SK01810	e	VII-3 手探ねC	底径4.4 器高(1.7) 最大径(1.7)	底辺1/4 以上	±3°	口径4.4 底径4.0 器高(1.7)	やや密, 径1mm以下の長石, 赤色酸化土粒子を僅かに含む	普通		222 -
1124	SK01810	1	VII-3 窓D2	口径15.0 器高(3.5)	口縁3	±3°, ±3°のち±3°	±3°, ±3°のち±3°, 指頭江瓶	やや密, 径1mm以下の長石, 露母, ±3°を僅かに含む	普通	外面に煤付着	222 -
1125	SK01810	c	VII-3 窓D2-3	器高(8.1)		-	±3°, 指頭江瓶	やや密, 径5mm以下の長石, 露母を多く含む	普通	口縫部打ち欠き?, 内外面に赤色酸化土粒子を含む	222 118
1126	SK01830	a	V 窓A2b	口径19.9 器高(5.5)	口縁5	±3°, 刺突文, 表面文 (5条)	輪積形柱, ±3°, 指頭江瓶	やや密, 径1mm以下の長石, 赤色酸化土粒子を僅かに含む	普通	内外面に煤付着, 外面焼成物付着	222 -
1127	SK01830	1	V 窓C4d	口径30.0 器高(7.7)	口縁1	±3°	多条沈窓(17条), 山形文(-), 多条沈窓(9条), 山形文, 多条沈窓(5条)	やや密, 径1mm以下の長石, 赤色酸化土粒子を僅かに含む	良		224 -
1128	SK01830	1	VI 窓B3	口径20.8 器高(4.3)	口縁4	±3°, ±3°	±3°, ±3°, 指頭江瓶	やや密, 径2mm以下の長石, 赤色酸化土粒子を僅かに含む	良	口縫部打ち欠き	224 -
1129	SK01830	1	V~VI 高井5号 部	器高(16.7)		±3°	±3°の箇, ±3°, ±3°, 指頭江瓶	やや密, 径2mm以下の長石, ±3°, 赤色酸化土粒子を僅かに含む	普通	1穿孔孔3万回	224 -
1130	SK01830	1	V~VI 塗剥部	底部充 存		-	±3°, 指頭江瓶	やや密, 径1mm以下の長石, 赤色酸化土粒子を僅かに含む	普通	外面に灰化物付着, 打ち欠き	224 -
1131	SK01830	1	VI 窓E	口径18.0 器高(12.2)	口縁4	輪積形柱, 指頭江瓶	±3°	やや密, 径2mm以下の長石, 赤色酸化土粒子を僅かに含む	良		224 -
1132	SK01831	1	V 窓A1b	底径(6.3)	口縁1	±3°	±3°, ±3°の箇	やや密, 径1mm以下の右表を僅かに含む	普通	1穿孔孔4万回方向?	224 -
1133	SK01831	1	V 窓B-B	器高(4.2)		±3°, 沈窓(3条), 円文 (赤鉄)	やや密, 径1mm以下の右表を僅かに含む	普通	内外面に赤色付着	224 -	

表111 土器類観察表 (45)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法董(cm)	残存率 (%)	調整		出土	焼成	備考	備註 国際	
						外面	内面					
1134	SK01832	1	V 器底A1a	口径14.2 器高(7.4)	口縁5 底部5	横状波文(左單位2条、右 指潤直底、(は)ト 金)、沈底(2条)、(は)ト 金)		密、径2mm以下の長石・ 石英を僅かに含む	良	1穿孔1縫3方向	226	121
1135	SK01832	1	V~VI 高脚B脚 部	器高(9.5)		(は)ト 金	は)ト瓶、指潤直底	やや密、径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	1穿孔1縫3方向	226	-
1136	SK01832	1	高脚B脚 部	器高(5.6)		(は)ト 金	指潤直底	密、径1mm以下の長石・ 石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良	1穿孔1縫3方向	226	-
1137	SK01832	1	V 器底B3	口径15.8 器高(3.4)	口縁5 底部5	3つテ 金	(は)ト 金、樹突文	ヨリ+、偏縫み瓶、 指潤直底	やや密、径5mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	226	-
1138	SK01832	1	VI~VII 樂脚部	底径7.3 器高(3.4)	底部5/4	輪縫み瓶	指潤直底	やや密、径5mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	脚部打ち欠き	226	-
1139	SK01832	1	V~IX 蓋E	口径15.6 器高(5.7)	口縁6	羽状文(目)、(ハ)	剥皮文(目)、(ハ)	密、徑2mm以下の長石・ 石英・雲母・赤色酸化 土粒を僅かに含む	良	226	121	
1140	SK01832	1	VI~VII 樂脚部	底径7.2 器高(11.3)	底部2/2 底部完 存	(は)ト 金	(は)ト 金	やや密、徑5mm以下の長 石・石英を多く含む	普通	226	-	
1141	SK01855	2	V 高脚B2	口径18.0 器高(6.0)	口縁10	(は)ト 金	(は)ト 金	やや密、徑2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	228	116	
1142	SK01855	1	VI 樂脚部	底径9.1 器高(6.0)	底部1/4 未調		指潤直底	密、徑2mm以下の長石・ 石英を僅かに含む	良	228	-	
1143	SK01855	2	VI 蓋C	口径8.8 器高(9.7)	口縁4	削耗のため調整不明	指潤直底、(ハ)	やや密、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	228	-	
1144	SK01855	1	V 器底B1	口径10.0 器高(3.4)	口縁3	(ヨリ)+、樹突文、(ハ)	(ヨリ)+、(ハ)リ	やや密、徑1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	228	-	
1145	SK01855	2	樂脚 深鉢	器高(3.4)		条痕(目)	(ハ)	やや粗、徑1mm以下の長 石・(ハ)リを僅かに含む	普通	228	-	
1146	SK01878	n	VI~VII 土製品	口径7.6 底径7.4 器高3.0		指潤直底	指潤直底	やや密、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土 粒を多く含む	良	打ち欠き?	230	119
1147	SK1860	n	VI 樂脚	口径15.7 器高(6.0)	口縁9	(ハ)ト 金	(ハ)ト 金	やや密、(ハ)ト 金以下の長石・石英・赤 色酸化土粒を僅かに含む	外面上面化物付 着、打ち欠き	231	119	
1148	SK1860	n	樂脚	器高(14.2)		(ハ)ト	(ハ)ト、指潤直底	やや密、徑1mm以下の長 石・(ハ)トを多く含む	外面上面化物付 着	231	-	
1149	SK1860	a	V 蓋A3	口径18.1 底径14.2 器高(6.2) 最大径14.0	口縁7 底部3/4 以上	3つテ 金、剥皮文、直線文 (10本)、(ハ)	(ヨリ)+、指潤直底、 (ヨリ)+、(ハ)リ 偏縫 み瓶	やや粗、徑1mm以下の長 石・(ハ)トを多く含む	内外面に偏伏着、 外面上面化物付着	231	119	
1150	SK1860	a	V 蓋A2b	口径14.8 器高(4.2)	口縁6	(ヨリ)+、樹突文、(ハ)	(ヨリ)+、(ヨリ)+、 指潤直底、(ハ)	やや粗、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	231	-	
1151	SK1860	b	V 樂脚部	底径4.0 器高(1.8)	底部3/4 以上	(ハ)ト 金	指潤直底	やや密、徑2mm以下の長 石・(ハ)ト・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	231	-	
1152	SK1860	a	V~3 器台A1b	器高(5.6)		摩耗のため不明	摩耗のため不明	やや密、徑1mm以下の長 石・(ハ)ト・赤色酸化土 粒を多く含む	1穿孔1縫3方向	231	-	
1153	SK1860	b	V~3 器台A1b	器高(6.1)		(ハ)ト 金	(ハ)ト、(ヨリ)+ 指潤直底、(ハ)	やや密、徑1.5mm以下の 長石・赤色酸化土 粒を僅かに含む	231	-		
1154	SK1860	a	V~3 器台A1b	底径12.0 器高(6.1)	以上	(ハ)ト 金	摩耗のため不明	やや密、徑1mm以下の長 石・(ハ)ト・赤色酸化土 粒を多く含む	1穿孔1縫3方向	231	-	
1155	SK1860	a	V~3 器台A1b	底径12.6 器高(9.4)	底部1/4 以上	(ハ)ト 金	摩耗のため不明	やや密、徑1mm以下の長 石・(ハ)ト・赤色酸化土 粒を僅かに含む	1穿孔1縫3方向	231	-	
1156	SK1860	V 高脚H	底径20.4 器高(13.3)	口縁3 底部5/4 以上	(ハ)ト 金	(ハ)ト、(ヨリ)+ 瓶、(ハ)ト、 摩耗著しい	(ハ)ト、(ヨリ)+ 瓶、(ハ)ト、 摩耗著しい	やや粗、徑1mm以下の長 石・石英・(ハ)ト・赤色 酸化土粒を多く含む	普通	1穿孔1縫3方向	231	119
1157	SK1860	b	I 底	底径2.0 器高(5.1)	底部完 存	沈底(2条)	(ハ)ト 金	やや密、指潤直底	やや密、徑2mm以下の長 石・(ハ)トを多く含む	普通	231	-
1158	SK1860	b	V 底	底径6.0 器高(9.4)	底部1/4 以上	摩耗のため不明	摩耗のため不明	やや粗、徑2mm以下の長 石・(ハ)トを僅かに含む	普通	231	-	
1159	SK01896	1	VI~VII 樂脚部	底径7.2 器高(3.4)	底部3/4 以上	(ハ)ト 金	(ハ)ト、指潤直底、摩耗 著しい	やや粗、指潤直底、摩 耗著しい	脚部打ち欠き	233	-	
1160	SK01963	a	VI 蓋A2	口径9.0 器高(5.5)	口縁4	(ハ)ト 金	(ハ)ト、指潤直底、摩 耗著しい	やや密、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	233	-	

表112 土器類觀察表 (46)

No.	地区 遺構	層位	時期 種類分類	法量(cm)	残存率 (3/12)	調整		胎土	焼成	備考	神宮	閑院	
						外面	内面						
1161	SK01563	a	V1 壁B4	口径12.8 高さ(6.1)	口縁2 底部元	2279 ⁺ 、輪積み底、指頭正頸、 ⁺ 、 指頭正頸、 ⁺	やや粗、径3mm以下の長 石・石英・赤色酸化土粒を 多く含む	内外面に焼付着 普通	233	-			
1162	SK01563	a	V1 壁A4	口径16.0 高さ(5.9)	口縁4	2279 ⁺ 、指頭正頸、 ⁺	やや粗、径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	233	-			
1163	SK01563	a	V1 牀A	底径1.8 高さ(7.9)	底部元 存	27 ⁺ 、刺突文、 ⁺ 、板付 輪積み底、 ^{2379⁺} 、 指頭正頸、 ⁺	やや粗、径4mm以下の長 石・石英・赤色酸化土粒を 多く含む	外面に焼付着 普通	233	-			
1164	SK01566	a	V1-VII 裏脚部	底径5.0 高さ(5.0)	底部元 存	輪積み底、指頭正頸	やや粗、径4mm以下の長 石・石英・赤色酸化土粒 を多く含む	普通	233	-			
1165	SK01566	a	VII 壁B3	口径16.4 高さ(11.6)	口縁11	27 ⁺ 、指頭正頚、 ⁺ 、輪 積み底、摩耗著しい 底	やや粗、径5mm以下の長 石・石英・赤色酸化土粒 を多く含む	普通	233	128			
1166	SK01587	I	V1-1 壁D3a	口径25.0 高さ(3.8)	口縁3	27 ⁺	27 ⁺	やや粗、径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	235	-		
1167	SK01587	I	V1-1 壁D1b	口径20.0 高さ(2.8)	口縁4	2279 ⁺ 、押しきり、沈殿 (2条)、 ⁺	やや粗、径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	外面に焼付物付着 良	235	-			
1168	SK01587	I	V1-1 壁D1a	口径18.7 高さ(4.8)	口縁9	沈殿(口縁端部)、 ^{27⁺}	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 多く含む	1穿孔1組3方向 普通	235	121			
1169	SK01589	a	V-3 高所B3b	口径18.8 高さ(3.0)	口縁3	27 ⁺	27 ⁺	やや粗、径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	236	-		
1170	SK01589	a	V-3 高所B3b	口径23.0 高さ(4.6)	口縁6	27 ⁺ 、摩耗著しい 底	やや粗、径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	236	-			
1171	SK01589	b	V-3 高所B3a	口径20.0 高さ(4.0)	口縁7	27 ⁺ 、摩耗著しい 底	やや粗、径5mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	1穿孔1組3方向 普通	236	120			
1172	SK01589	a	V-3 高所B3a	口径22.5 高さ(4.2)	口縁4	27 ⁺	27 ⁺ 、 ^{27⁺} 底、 ⁺	やや粗、赤色酸化土粒を 多く含む	1穿孔1組3方向 普通	236	120		
1173	SK01589	b	器台B1b	口径18.0 高さ(1.7)	口縁3	沈殿(3条)、 ^{27⁺}	27 ⁺	やや粗、径3mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	236	-		
1174	SK01589	a	V-3B 台A1b	口径18.8 高さ(2.3)	口縁8	27 ⁺	27 ⁺	やや粗、径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	236	-		
1175	SK01589	a	V-3 器台B1b	口径18.0 高さ(7.4)	口縁4	27 ⁺	27 ⁺ 底、 ^{27⁺}	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を 多く含む	1穿孔1組3方向 良	236	-		
1176	SK01589	a	V-3 底B	底径9.0 高さ(4.6)	底部元 存	27 ⁺	指頭正頸、摩耗著 しい底	やや粗、径1mm以下の長 石を多く含む	外面に焼付着 良	236	120		
1177	SK01589	a	V-3 底B	底径4.4 高さ(15.8)	底径3/4 以上	27 ⁺	27 ⁺	やや粗、径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	良	236	-		
1178	SK01589	a	V-3 底B1	口径14.0 高さ(1.6)	口縁3	2279 ⁺ 、輪積み底、 ^{27⁺} 輪積み底、 ⁺	やや粗、径6mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	胎土下部半塗村 良	236	121			
1179	SK01589	b	V-3 底B	底径4.2 高さ(3.7)	底径2/4 以上	27 ⁺	27 ⁺	やや粗、径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	良	236	-		
1180	SK01589	a	V-3 底A1	口径12.6 高さ(4.7)	口縁10	27 ⁺ 、刺突文、直縫文、 指頭正頸	やや粗、輪積み底、 ^{27⁺} 指頭正頸、 ⁺	外面に焼付着 良	236	-			
1181	SK01589	a	V-3 底A	底径4.0 高さ(9.0)	底部元 存	直縫文、刺突文、 ^{27⁺}	やや粗、指頭正頸、輪 積み底、 ⁺	やや粗、径6mm以下の赤 色酸化土粒を多く含む	内外面に焼付着 普通	236	120		
1182	SK01589	a	V-VI 壁C2	口径17.0 高さ(7.6)	口縁5	27 ⁺ 、 ^{27⁺}	27 ⁺	やや粗、径3mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	237	-		
1183	SK01589	a	V-3 壁B1	口径14.2 高さ(1.2)	口縁12	摩耗のため不明	27 [?]	やや粗、径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	237	121		
1184	SK01589	a	V-3 壁A2	口径7.5 高さ(6.8)	口縁7	2279 ⁺ 、刺突文、直縫文、 指頭正頸	やや粗、径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	237	-			
1185	SK01663	5	V-VI 壁A3	口径13.0 高さ(5.4)	口縁3	2279 ⁺ 、刺突文、直縫文、 指頭正頸	やや粗、径2mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	外面に焼付着 良	239	-			
1186	SK01663	5	V-VI 壁A3	口径9.0 高さ(5.2)	口縁2	2279 ⁺ 、刺突文、直縫文、 指頭正頸	やや粗、径2mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	外面に焼付着 良	239	-			
1187	SK01663	5	織文 深鉢	口径26.0 高さ(9.0)	口縁2	条痕	やや粗、径2mm以下の長 石を多く含む	内外面に焼付物付着 普通	239	111			
1188	SK01663	5	織文 深鉢	口径24.0 高さ(4.2)	口縁2	目録条痕、 ^{27⁺}	やや粗、径1mm以下の長 石・石英を多く含む	外面に焼付物付着 良	239	111			

表113 土器類観察表 (47)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	帰属	
						外面	内面					
1189	SK01663	5	縄文 深鉢	器高(6.6)	X	日盤条痕、#3'1?	X	やや粗、径1mm以下の長石・石英を多く含む	良	239	111	
1190	SK01663	5	縄文 深鉢	器高(7.3)	X	日盤条痕、#3'1?	X	やや粗、径1mm以下の長石・石英を多く含む	良	239	111	
1191	SK01663	3	I 直	口径5.0 底径5.9 器高(12.8) 最大径11.0	X	口径5.0 底径5.9 器高(12.8) 底部完全 存	沈痕、#4	沈痕(半纏竹管)、摩耗 のため調整不明	摩耗のため調整不明	やや粗、径2mm以下の長石・#7+を多く含む	底部に打ち欠き 普通	239 120
1192	SK01663	3	I 直	器高(9.9)	X	沈痕、#4	指潤直痕	やや粗、径5mm以下の長石・#7+を僅かに含む	普通	239	129	
1193	SK01663	5	縄文 深鉢	器高(3.9)	X	貼付突痕(安帶上に押し 引き)、日盤条痕	X	やや粗、径1mm以下の長石・#7+を多く含む	良	239	111	
1194	SK01663	5	縄文 深鉢	器高(4.7)	X	貼付突痕(文部)	X	やや粗、径1mm以下の長石・#7+を多く含む	良	239	111	
1195	SK01663	1 - II 直鉢	器高(2.8)	X	条痕	X	やや粗、径2mm以下の長石・#7+を多く含む	良	239	111		
1196	SK01663	5	縄文 安谷型	器高(9.2)	X	日盤条痕、貼付突痕(突 崩上に押し引き)、#4'	X	やや粗、径2mm以下の長石・#7+を多く含む	良	外面に保村着	239 111	
1197	SK01663	5	縄文 深鉢	器高(7.0)	X	貼付突痕(突崩上に右下 方向へ押し引き)、貝散 条痕	X	やや粗、径1mm以下の長石・石英を多く含む	良	239	111	
1198	SK01711	3	V 直	器高(4.1)	X	摩耗のため調整不明	摩耗のため調整不明	やや粗、径2mm以下の長石・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	241	-	
1199	SK01711	3	V 高H1脚 部	器高(9.3) 底部完 存	X	底部直 ³ 。直鉢文(4段)4段	#2'4'、#3'	やや粗、#1mm以下の長石・#7+を僅かに含む	1穿孔1組3方向	241	122	
1200	SK01764	3	縄文 深鉢	口径25.5 器高(6.0)	X	口縁2 条痕	条痕、#2'?'、#3'	やや粗、#2mm以下の長石・#7+を多く含む	普通	241	-	
1201	SK01792	3	V 高H1脚 部	底径7.3 器高(4.7)	X	底部完 存	#3'4'	やや粗、#1mm以下の長石・#7+を多く含む 赤色酸化土粒を多く含む	1穿孔1組3方向	243 121		
1202	SK01814	b	I 直	口径9.6 器高(3.9)	X	貼付突痕、沈痕(4条)、 沈痕(3条)。半截竹管	X	やや粗、#2mm以下の長石・#7+を多く含む 赤色酸化土粒を多く含む	普通	243	122	
1204	SK01872	3	縄文 深鉢	器高(4.2)	X	押上引き(口縁端部)、 貼付突痕、日盤条痕	X	やや粗、#2mm以下の長石・#7+を多く含む	普通	245	120	
1205	SK01872	3	縄文 深鉢	器高(4.2)	X	#4'、#5'	X	やや粗、#1mm以下の長石・#7+を多く含む	普通	245	120	
1206	SK01872	2	縄文 深鉢	器高(3.5)	X	貼付錐形、貼付錐形上 かずえ、条痕?	X	やや粗、#2mm以下の長石・#7+を多く含む 赤色酸化土粒を多く含む	普通	245	120	
1207	SK01881	2	V～VI 高H3脚 部	口径22.4 器高(3.2)	X	口縁1 波状文	#4'の#5'は#3'	やや粗、#1mm以下の長石を僅かに含む	普通	253	-	
1208	SK01881	2	VI-3 高H5-G 脚部	口径19.4 器高(6.0)	X	口縁2 #3'4'	#3'4'	波、#1mm以下の赤色酸 化土粒を僅かに含む	良	253	-	
1209	SK01881	2	VI-3 高H5-G 脚部	口径22.6 器高(4.4)	X	多系沈痕(11条)、#3'4'	#3'4'	やや粗、#2mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	253	-	
1210	SK01881	2	VI-3 高H5-G 脚部	口径29.6 器高(13.4)	X	口縁2 #3'4'	#3'4'	やや粗、#2mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	良	253	-	
1211	SK01881	2	V～VI 高H3脚 部	底径12.8 器高(14.6) 以上	X	底部1/4 #3'4'	#4'4'瓶、#4'	密、#1mm以下の石英・ 赤色酸化土粒を僅かに含 む	1穿孔1組3方向	253	-	
1212	SK01881	2	VI-3 高H5-G 脚部	口径33.6 器高(11)	X	口縁4 #3'4'	#3'4'	密、#1mm以下の石英・ 赤色酸化土粒を僅かに含 む	良	253	-	
1213	SK01881	2	VI-3 高H5-G 脚部	底径15.9 器高(7.9) 以上	X	口縁3/4 #3'4'	#3'4'瓶、#4'	密、#1mm以下の石英・ 赤色酸化土粒を僅かに含 む	1穿孔1組3方向 脚標部打ち欠き、 内外面に保村着	253	-	
1214	SK01881	2	VI-3 高H5-G 脚部	口径37.8 器高(10.6)	X	口縁2 #3'4'	#3'4'	密、#1mm以下の石英・ 石英を僅かに含む	良	253	-	
1215	SK01881	2	VI-3 高H5-G 脚部	口径26.9 底径15.5 器高(6.6) 最大径7.1	X	口縁1底 部3/4以上 #3'4'	#3'4'	密、#1mm以下の石英・ 赤色酸化土粒を僅かに含 む	1穿孔1組3方向	254 122		
1216	SK01881	2	VI-3 高H5-G 脚部	口径30.4 底径16.0 器高(10.6)	X	口縁2 #3'4'未 満	#3'4'	やや粗、#1mm以下の長石・ 石英を僅かに含む	1穿孔1組3方向	254 122		
1217	SK01881	2	VI-3 高H5-G 脚部	口径32.6 底径16.4 器高(20.0) 最大径3.1	X	口縁2 #3'4'以上	#3'4'	やや粗、#1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに含 む	1穿孔1組3方向 脚標部打ち欠き (二水焼成痕)	254 122		

表114 土器類觀察表 (48)

No.	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法面(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	博認
						外面	内面				
1218	SK01881	2	VI-3 高Hc3b	口縁31.6 底径16.5 高さ22.0 最大径32.0	口縁7 底盤1/4 以上	13'+	多条沈縫(4条), 1 4', 23'1楕, 指頭 压痕, ハラ	透, 径2mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに含む	良	2穿孔1組2方向	255 122
1219	SK01881	2	VI-3 高HgG1	口縁17.6 底径16.2 高さ21.6 最大径18.0	口縁3 底盤1/4 未満	13'+	13'4, 23'1楕, ハラ	透, 径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに含む	良	1穿孔1組3方向	255 123
1220	SK01881	2	VI-3 高Hc3b	口縁33.6 底径15.9 高さ21.6 最大径33.9	口縁9 底盤2/4 以上	13'+	多条沈縫(6条), 1 4', 23'1楕, ハラ	やや透, 径2mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含む	良	2穿孔1組2方向, 口縁部押痕部とも に打ち欠き?	255 123
1221	SK01881	2	VI-3 高Hg12	口縁12.3 底径12.8 高さ19.8 最大径17.5	口縁3 底盤2/4 以上	13'+	13'4, 23'1楕, 23'1 楕, 楔縫 み痕	やや透, 径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		255 123
1222	SK01881	2	VI-3 器台B2	口径19.0 高さ(5.3)	口縁5	多条沈縫(6条), 1 4'	13'+	やや透, 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	良		256 -
1223	SK01881	2	VI-3 器台B3	口縁20.4 底径15.1 高さ14.0 最大径20.6	口縁3 底盤2/4 以上	13'+	13'4, 23'1楕, 指 頭压痕, 23'1	透, 径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	1穿孔1組3方向	256 123
1224	SK01881	2	VI-3 器台B1脚 部	底径11.0 高さ(11.8)	底盤1/4 未満	13'4, ハラ	13'4, 23'1楕, 1 4', 23'1	やや透, 石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	1穿孔1組2方向	256 -
1225	SK01881	2	VI-3 器H2a	口縁13.0 高さ(6.3)	口縁3	13'+	13'4	やや透, 径1mm以下の長 石・ハラを僅かに含む	普通		256 -
1226	SK01881	2	VI-3 器H2a	口縁12.4 高さ(7.0)	口縁4	13'4, 13'4	13'4, 13'4	やや透, 径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	口縁部打ち欠き	256 -
1227	SK01881	2	VI-3 器B3	口縁17.2 高さ(7.2)	口縁6	23'4', ハラ	23'4', 指頭压痕, 13'4, ハラ	やや透, 径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		256 -
1228	SK01881	2	VI-3 器G2b	口径16.0 高さ(10.0)	口縁10	多条沈縫6条, 1 4'	13'4, 13'4	やや透, 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	外外面に塵付着	256 123
1229	SK01881	2	VI-3 器G2b	口縁16.4 高さ(11.5)	口縁11	多条沈縫(6条), 1 4'	13'4	やや透, 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	全体に煤着, 口 縁部打ち欠き	256 124
1230	SK01881	2	VI-3 器H2b	口縁9.0 高さ(9.1)	口縁10	多条沈縫10条, 1 4'	13'4, 指頭压痕	やや透, 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	良		256 123
1231	SK01881	2	VI-3 器H2b	口縁6.1 底径10.6 高さ10.1 最大径10.1	口縁5 底盤充 存	多条沈縫4条, 1 4'	13'4, 指頭压痕, 2 3'4	透, 径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに含む	良	口縁部打ち欠き	256 124
1232	SK01881	2	VI-3 器H	底盤1.6 高さ(7.5)	底盤充 存	13'4	指頭压痕, 楔縫 み痕, ハラ	透, 径2mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに含む	良		256 -
1233	SK01881	2	VI-3 器A1b	口縁16.5 底径9.9 高さ21.5 最大径24.6	口縁5 底盤2/4 以上	13'4, 指頭2条, 日形 浮文(1個2組)7方向, 23'1楕, 楔縫み痕, 指 頭压痕, 13'4	13'4, 羽状文, 23'4, 23'1楕, 楔縫み痕, 指 頭压痕, 13'4	やや透, 径5mm以下の長 石・石英を僅かに含む	良	口縁部打ち欠き, 脚部打ち欠き?	257 124
1234	SK01881	2	VI-3 器G3b	口縁11.0 底径10.0 高さ23.0 最大径20.0	口縁12 底盤1/4 未満	多条沈縫(11条), 1 4', 23'1楕, 多条沈縫(12条) 13'4	13'4, 23'1楕, 板 縫, 13'4, 23'1楕 み痕	透, 径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	2穿孔1組2方向	257 124
1235	SK01881	2	VI-3 器H-D	口縁4.7 底径3.7 高さ(5.3)	口縁10 底盤充 存	13'4	13'4	透, 径1mm以下の長石を 僅かに含む	良		257 124
1236	SK01881	2	VI-3 器H	底盤4.4 高さ(5.5)	底盤充 存	13'4	13'4, 指頭压痕	やや透, 径1mm以下の長 石・ハラを多く含む	普通		257 -
1237	SK01881	2	VI-3 器K2a2	口縁12.1 底径3.3 高さ(6.5)	口縁10 底盤充 存	23'4', 13'4, 刺突文 23'4	23'4', 指頭压痕, 13'4	やや透, 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	口縁部打ち欠き	257 125

表115 土器類観察表 (49)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴	国別	
						外面	内面						
1236	SK01881	2	VI-3 壁A4	口径22.7 底高8.2 器高(35.5) 最大径37.6	X/12	縫隙(2条)。指頭正直。 口縫1/2。 底部1/2。 未溝	縫隙(2条)。指頭正直。 口縫1/2。 底部1/2。 未溝	縫隙(2条)。指頭正直。 口縫1/2。 底部1/2。 未溝	密。縫1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに含む	口縫部打ち欠き有り	良	257	124
1239	SK01881	2	VI-3 壁A3a	口径16.0 底高5.0 器高(17.2)	X/12	口縫1/2 底部完 成	口縫1/2。 底部1/2。 未溝	口縫1/2。 底部1/2。 未溝	密。縫5mm以下のナットを 僅かに含む	良	258	125	
1240	SK01881	2	VI-3 壁C2	口径18.1 底高(8.0)	X/12	口縫1/2	口縫1/2。 指頭正直	口縫1/2。 指頭正直	やや密。径2mm以下の長 石・ナット・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	258	-	
1241	SK01881	2	VI-3 壁A3a	口径17.6 底高(13.0)	X/12	口縫1/2 底部1/2	口縫1/2。 底部1/2。 未溝	口縫1/2。 底部1/2。 未溝	やや密。径1.5mm以下の 長石・ナット・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	258	127	
1242	SK01881	2	VI-3 壁B2	口径16.6 底高(16.7)	X/12	口縫1/2	口縫1/2。 刺突文	口縫1/2。 刺突文	やや密。縫1mm以下の長 石・ナットを僅かに含む	良	258	-	
1243	SK01881	2	VI-3 壁B1	口径16.2 底高(16.9)	X/12	口縫10	口縫10。 輪積み直	口縫10。 輪積み直	密。縫1mm以下のナットを 僅かに含む	良	258	-	
1244	SK01881	2	VI-3 壁B2	口径16.6 器高(20.3)	X/12	口縫3	口縫3。 ナット	口縫3。 ナット。 輪積み直	やや密。縫2mm以下の長 石・石英・ナットを多く 含む	普通	258	125	
1245	SK01881	2	VI-3 壁A2b	口径17.5 底高(7.7)	X/12	口縫6	口縫6。 ナット	口縫6。 ナット。	密。縫1mm以下の長石・ ナット・赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	258	-	
1246	SK01881	2	VI-3 壁A3	口径20.0 底高(6.5)	X/12	口縫3	口縫3。 刺突文	口縫3。 刺突文	やや密。縫3mm以下の長 石を僅かに含む	普通	258	-	
1247	SK01881	2	VI-3 壁B2	口径18.4 器高(8.0)	X/12	口縫3	口縫3。 ナット	口縫3。 ナット。 輪積み直	やや密。縫1mm以下の長 石・ナット・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	258	-	
1248	SK01881	2	VI-3 壁D1b	口径18.7 器高(6.7)	X/12	口縫5	口縫5。 押し引き	口縫5。 押し引き。 指頭正直	やや粗。径1mm以下の長 石・雲母・ナットを多く 含む	普通	258	-	
1249	SK01881	2	VI-3 壁A4	口径17.8 底高9.0 器高(30.7) 最大径23.8	X/12	口縫1/2 底部2/4 以上	口縫1/2。 ナット。 指頭正直。 底部2/4 以上	口縫1/2。 ナット。 指頭正直。 底部2/4 以上	やや粗。径5mm以下の長 石・赤色酸化土粒を多 く含む	外面に埋付着 口縫部打ち欠き	良	259	125
1250	SK01881	2	VI-3 壁C2	口径19.4 底高9.3 器高(33.0) 最大径24.0	X/12	口縫5	口縫5。 ナット	口縫5。 ナット。 輪積み直	やや粗。縫2mm以下の長 石・石英・ナット・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通	259	125	
1251	SK01881	2	VI-3 壁A1	口径19.5 器高(29.0)	X/12	口縫5	口縫5。 ナット	口縫5。 ナット。 輪積み直	やや粗。縫2mm以下の長 石・石英・ナットを僅かに 含む	内外面に埋付着 打ち欠き	良	259	125
1252	SK01881	2	VI-3 壁脚部	器高(9.3)	X/12	ナット	ナット。 指頭正直	ナット。 指頭正直	やや粗。縫2mm以下の長 石・ナットを僅かに含む	打ち欠き?	良	259	-
1253	SK01881	2	VI-3 壁脚部	底径5.7 器高(6.8)	X/12	剥離不 明	剥離不 明。 指頭正直	剥離不 明。 指頭正直	やや粗。縫2mm以下の長 石・雲母・ナットを僅かに 含む	外面に埋付着。打 り欠き?	良	259	-
1254	SK01881	2	VI-3 壁脚部	底径9.0 器高(3.8)	X/12	底部1/4 未溝	底部1/4。 ナット	指頭正直	やや粗。縫2mm以下の長 石・雲母を多く含む	良	259	-	
1255	SK01881	2	VI-3 壁脚部	底径8.0 器高(4.1)	X/12	底部1/4 未溝	底部1/4。 ナット	指頭正直	やや粗。縫2mm以下の長 石を僅かに含む	普通	259	-	
1256	SK01881	2	VI-3 壁脚部	口径21.2 器高(25.7)	X/12	口縫12	口縫12。 押出	口縫12。 押出。 指頭正直。	やや粗。押出引。底部 2/4. ナット。	口縫端部打ち欠 き。柄部中央に打 り欠き穴?	良	260	126
1257	SK01881	2	VI-3 壁A1	口径18.6 底高9.0 器高(33.0) 最大径27.8	X/12	口縫2/4 以上	口縫2/4 以上。 ナット	口縫2/4。 ナット。 指頭正直	やや粗。押出引。 底部2/4. ナット。	外面に埋付着	良	260	126
1258	SK01881	4	IV 壁B	底径6.0 器高(21.0)	X/12	7.6. 6条の直線文の間 に5条の波状文。 (斜 横) 横位、傾位)	7.6. 6条の直線文の間 に5条の波状文。 (斜 横) 横位、傾位)	ナット。 指頭正直。 刺突文	やや粗。縫1mm以下の長 石・雲母・ナットを多く 含む	底部、底部に打 り欠き?、2穿孔1縫2 方向。	普通	260	127
1259	SK01881	6	IV 壁A	口径18.3 器高(19.6)	X/12	口縫3	ナット	ナット。 指頭正直。 刺突文	やや粗。縫2mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	打ち欠き?。内 外面全体に直線文 打付着	良	260	127
1260	SK01881	8	VII 壁A	器高(5.0)	X/12	剥離	剥離	剥離	やや密。縫2mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	260	-	
1261	SK01881	2	IV 壁A	器高(6.0)	X/12	333のち	333	333。 指頭正直	やや密。縫2mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	260	-	
1262	SK01881	8	IV 壁	器高(5.1)	X/12	波状文、直線文	波状文、直線文	波状文、直線文	やや密。縫2mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	260	-	

表116 土器類觀察表 (50)

No.	地区 遺構	層位	時期 層位分類	法面(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	伸縮	回版	
						外面	内面						
1265	SK01894	9	繩文 深鉢	器高(5.9)	+++, 条痕(二枚目)	+++	やや密。径1mm以下の長石+赤色酸化土粒を僅かに含む	良	266	-			
1266	SK01894	5	V 高坪A	器高(2.6)	+	+	やや密。径1mm以下の長石+チート。赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	266	-			
1267	SK01894	5	VI 高坪G1	底径10.0 器高(9.8)	底部2/4 以上	+++	やや密。径1mm以下の長石+チート。赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	266	-			
1268	SK01894	6	縄文 茂跡	口径32.8 底径14.1 器高17.0 最大径37.1	口縁2 内似状文	+++, 縄痕状文。刺	+++	やや密。径1mm以下の長石を僅かに含む	普通	266	177		
1269	SK01894	5	VI 高坪G2a	口径21.2 器高(9.0)	口縁1	+++, +++	やや密。径2mm以下の長石+チート	普通	266	-			
1270	SK01894	5	V 高坪G3a	口径23.6 底径13.8 器高14.2 最大径23.7	口縁3	++, ++	++, ++, 楕円 底, “ド”底, チート	やや密。径2mm以下の長石+チート。赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	266	178	1穿孔1組3方向	
1271	SK01894	5	VI 高坪G3b	口径27.7 器高(8.0)	口縁7	+++	やや密。径1mm以下の長石+赤色酸化土粒を僅かに含む	良	266	-			
1272	SK01894	5	VI~VII 高坪脚 部	底径12.6 器高(11.1)	底部1/4 木製	+++, 席耗著しい	粗面状痕。+++, 値	やや密。径2mm以下の長石+赤色酸化土粒を僅かに含む	脚脚部 打ち欠き 方向	266	-		
1273	SK01894	5	VI~VII 高坪1脚 部	底径10.1 器高(8.3)	底部1/4 木製	+++	粗面E底	やや密。赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	266	176	内面に保付着、二 次焼成痕	
1274	SK01894	5	VI~VII 高坪脚 部	器高(5.7)		+++	+++, +++, チート	やや密。径1mm以下の長石+チートを僅かに含む	普通	266	-		
1275	SK01894	a	VI~VII 脚部	底径6.5 器高(5.8)	底部3/4 以上	++押さえ, 3L++, ++	やや密。径1mm以下の長石+チート。赤色酸化土粒を僅かに含む	脚脚部 打ち欠き 良	266	181			
1276	SK01894	5	VI~VII 高坪脚 部	器高(16.2)		+++, ++, チート	+++, ショーフ底。++ 押さえ, ++	やや密。径1mm以下の長石+チート。赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	267	-	1穿孔1組3方向, 外間に保付着	
1277	SK01894	5	VI~VII 高坪脚 部	底径13.7 器高(14.5)	底部3/4 以上	+++	+++, 押さえ, チート	やや密。径1mm以下の長石+チートを僅かに含む	普通	267	-	1穿孔1組3方向, 脚脚部 打ち欠き 外間に保付着	
1278	SK01894	5	VI~VII 高坪脚 部	器高(12.5)		+++	+++, 押さえ, ++	やや密。径2mm以下の長石+チートを僅かに含む	普通	267	-	2穿孔1組3方向, 外外面に保付着	
1279	SK01894	5	VI 舞台Bia	口径18.7 底径15.6 最大径18.9	口縁3	+++, +++	+++, 押さえ, チート	やや密。赤色酸化土粒を僅かに含む	1穿孔1組3方向	267	178		
1280	SK01894	5	V 舞台Bia	口径20.4 底径17.4 最大径20.7	口縁3	+++, ++	+++, ショーフ底, 楕 円模様, チート, 押 さえ	やや密。径1mm以下の長石+チート。赤色酸化土粒を僅かに含む	1穿孔1組3方向	267	178		
1281	SK01894	5	VI 舞台Bia	口径19.8 器高(11.5)	口縁3	+++	+++, 押さえ, 押 せられ?	やや密。径1mm以下の長石+チート。赤色酸化土粒を僅かに含む	良	267	-		
1282	SK01894	5	V 舞台Bia	口径14.4 底径12.6 器高(9.5)	口縁12 底部2/4 以上	+++, 楕 円模様(2底)。+++, ++	+++, 楕 円模様, チート, 押 さえ, ++	やや密。径2mm以下の長石+チート。赤色酸化土粒を僅かに含む	脚脚部 打ち欠 き良	267	178	1穿孔1組3方向, 方向	
1283	SK01894	5	V 舞台Bia	口径17.8 器高(11.9)	口縁6	++, ++	++, 楕円模 状, 指 壓痕	やや密。径1mm以下の長石+チート。赤色酸化土粒を多く含む	普通	267	178	1穿孔1組3方向	
1284	SK01894	5	V 舞台Bia	口径18.6 器高(8.5)	口縁1	+++	+++, 楕円模 状, 指 壓痕	やや密。径1mm以下の長石+チート。赤色酸化土粒を僅かに含む	1穿孔1組3方向	267	-		
1285	SK01894	5	V 舞台Bia	口径16.0 器高(9.3)	口縁3	沈泡2条, ++	+++, ++	やや密。径1mm以下の長石+チートを僅かに含む	1穿孔1組3方向, 第二次焼成	268	178		
1286	SK01894	5	V 舞台Bia	底径14.2 器高(9.5)	底面1/4 未調	++, ++	++, エタニティ, 楕 円模様, 屋 根	やや密。径2mm以下の長石+チート。赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	268	-	1穿孔1組3方向	
1287	SK01894	5	V 底A5	口径22.6 器高(5.9)	口縁2	横羽状文, ++	横羽状文, ++	やや密。径1mm以下の長石+チート。赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	268	181		
1288	SK01894	5	V 底A5	口径18.8 器高(4.0)	口縁6	+++, ++	波状文, わのちら 横羽状文	やや密。径1mm以下の赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	268	179	内外面赤彩有り	
1289	SK01894	5	V 底A5a	口径15.7 器高(5.4)	口縁7	擬凹鈍6条, ++, 輪	擬凹鈍6条, ++, 輪	やや密。径1mm以下の長石+チートを僅かに含む	普通	268	179	内外面赤彩	

表117 土器類觀察表 (51)

No	地区 遺跡	層位	時期 階級分類	出土量 (cm)	生存率 (%)	調査		出土	焼成	備考	特徴
						外面	内面				
1290	SK01894	5	VI~VII 遺A2	口径14.2 底厚1.7 器高25.3 最大径26.5	口縁6 底部完 存	縫隙繩、直線文、波状文、 刺突文、 [△] サ 形	コサツ、指屈正瓶、 波状文、 [△] サ 形	やや密、径5mm以下の長 石・ [△] サ・赤色陶化土 粒を僅かに含む	良	268	179
1291	SK01894	5	V 遺A1a	口径26.7 底高(7.8)	口縁2	縫隙繩(3条)、 [△] サ	横羽伏文、 [△] サ	密、径1mm以下の長 石・黄英を僅かに含む	普通	268	—
1292	SK01894	5	VII 遺A1	口径20.6 器高(3.1)	口縁4	[△] サ	ササキ	やや密、径5mm以下の長 石・赤色陶化土粒を 僅かに含む	内外面赤彩	268	181
1293	SK01894	5	VII 遺A1鉢部	器高(22.0)		ササキ、縫隙繩6条、山形 文(△)、縫隙繩7条、刺 突文、 [△] サ、 形	ササキ、 [△] ササキ、指屈正瓶、 輪積み瓶	やや密、径2mm以下の長 石を僅かに含む	普通	268	179
1294	SK01894	5	VI~VII 遺A1鉢部	器高(5.5)		縫隙繩(4条+8条+7条)、 刺突文、 [△] サ	指屈正瓶	やや密、径1mm以下の長 石・黄英を僅かに含む	外面に煤付着	268	—
1295	SK01894	5	VI~VII 遺A1b	口径12.8 底高(7.7)	口縁5	刺突文、 [△] サ、 [△] サ、 形(2条×2)	刺突文、輪積み瓶、 指屈正瓶、 [△] サ	やや密、径2mm以下の長 石・黄英を僅かに含む	口縫部打ち欠き	269	179
1296	SK01894	5	VI~VII 遺B2c	口径10.4 器高(3.8)	口縁6	刺突文、 [△] サ	[△] サ	やや密、径2mm以下の長 石を僅かに含む	普通	269	184
1297	SK01894	5	VI~VII 遺B2c	器高(4.1)		ササキ、刺突文 波状文	波状文	やや密、径1mm以下の長 石・ [△] サ・赤色陶化土 粒を僅かに含む	普通	269	—
1298	SK01894	5	VI~VII 遺C	口径11.3 底厚4.0 器高22.8 最大径19.1	口縁6 底部完 存	コサツ、 [△] サのち [△] サ	コサツ、輪積み瓶、 指屈正瓶、 [△] サ	やや密、径5mm以下の長 石・ [△] サを多く含む	口縫部打ち欠き?	269	180
1299	SK01894	5	VI 遺C	底厚6.4 器高(14.0)	底部完 存	ササキ、 [△] サ	ササキ、 [△] サ、指屈正 瓶	やや密、径1mm以下の長 石・ [△] サを多く含む	底部から脚部下半 部煤付着、燒成に上 り	269	—
1300	SK01894	5	VI~VII 遺D1a	口径9.4 底高(7.8)	口縁1	ササキ、 [△] サ	[△] サ	やや密、径2mm以下の長 石・ [△] サを僅かに含む	口縫部打ち欠き	269	—
1301	SK01894	5	VI~VII 遺D2	口径10.0 器高(4.6)	口縁4	[△] サ、織目	[△] サ	やや密、径3mm以下の下 手を僅かに含む	普通	269	183
1302	SK01894	5	V~VI 遺E1	口径11.0 底厚4.8 器高14.2 最大径11.1	口縁2	コサツ、 [△] サ	コサツ、輪積み瓶、 指屈正瓶、 [△] サ、 [△] サ	やや密、 [△] サを僅かに 含む	普通	269	179
1303	SK01894	2	VI~VII 遺E1a	口径7.1 底厚3.1 器高15.9 最大径16.4	口縁1	波状2条、 [△] サ	波状2条、 [△] サ	やや密、指屈正瓶	良	269	180
1304	SK01894	5	VI~VII 遺E3	口径6.6 器高(13.2)	口縁12	[△] サ、輪積み瓶	[△] サ、輪積み瓶、指 屈正瓶	やや密、径1mm以下の長 石・赤色陶化土粒を僅 かに含む	口縫部打ち欠き?	269	180
1305	SK01894	5	VI~VII 遺E3	口径9.4 底厚4.0 器高15.5 最大径13.3	口縁3	コサツ、 [△] サ	コサツ、 [△] サ、指屈正 瓶	密、 [△] サを5mm以下の長 石・黄英・ [△] サ・赤色 陶化土粒を多く含む	普通	269	—
1306	SK01894	5	V~VI 遺J1	口径8.5 底厚4.2 器高11.1 最大径12.2	口縁8	コサツ、 [△] サ	コサツ、 [△] サ、指屈正 瓶	密、 [△] サを5mm以下の長 石・ [△] サ・赤色陶化土 粒を僅かに含む	外面に煤付着、打 ち欠き	269	180
1307	SK01894	5	VI~VII 遺J3a	口径17.6 器高(8.6)	口縁9	波状2条、 [△] サ、 [△] サ、直 線文、刺突文、 [△] サ	コサツ、指屈正瓶、輪 積み瓶、 [△] サ	やや密、径2mm以下の長 石・ [△] サを僅かに含む	口縫部打ち欠き	270	180
1308	SK01894	5	VI~VII 遺J2	口径18.0 器高(17.2)	口縁1	コサツ、 [△] サ、刺突文、 [△] サ	コサツ、 [△] サ、輪積み 瓶	やや密、 [△] サを5mm以下の長 石・ [△] サを僅かに含む	普通	270	—
1309	SK01894	5	V~VI 遺J1	口径8.0 器高(7.0)	口縁3	コサツ、刺突文、直線文、 [△] サ	コサツ、 [△] サ	やや密、 [△] サを5mm以下の長 石・ [△] サを僅かに含む	外面に煤付着	270	—
1310	SK01894	5	V~VI 遺J1	口径15.9 器高(7.0)	口縁1	コサツ、刺突文、直線文、 [△] サ	コサツ、 [△] サ、指屈正 瓶	やや密、 [△] サを5mm以下の長 石・ [△] サ・赤色陶化土 粒を僅かに含む	外面に煤付着	270	—
1311	SK01894	5	V~VI 遺J3a	口径16.0 器高(6.3)	口縁3	コサツ、刺突文、直線文、 [△] サ	コサツ、 [△] サ、輪積み瓶、 [△] サ	やや密、 [△] サを5mm以下の長 石・ [△] サを僅かに含む	普通	270	—
1312	SK01894	5	V~VI 遺J2	器高(6.1)		波状、 [△] サ、 [△] サ、刺突文、 [△] サ	波状、輪積み瓶、指 屈正瓶	やや密、 [△] サを5mm以下の長 石・ [△] サを僅かに含む	外面に煤付着	270	—
1313	SK01894	5	V~VI 遺J2	口径14.6 器高(6.9)	口縁7	コサツ、 [△] サ、刺突文、 [△] サ	コサツ、 [△] サ	やや密、 [△] サを5mm以下の長 石・ [△] サを多く含む	普通	270	—
1314	SK01894	5	VI~VII 遺J3	口径15.0 器高(6.7)	口縁3	コサツ、 [△] サ	コサツ、 [△] サ、輪積み瓶、 指屈正瓶	やや密、 [△] サを5mm以下の長 石・ [△] サを多く含む	普通	270	—

表118 土器類觀察表 (52)

No.	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	伸展	回版	
						外面	内面						
1315	S801894	5 便Aa	V 口径17.1 器高(6.7)	口縁2 伏文	22% ~ ~	刺突文、或 22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径2mm以下の長 石・ナット・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に保付着	普通	270	~	
1316	S801894	5 便Aa	V~VI 口径19.0 器高(6.8)	口縁3 伏文	22% ~ ~	刺突文、直 線文	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径1mm以下の長 石・ナット・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良	270	~	
1317	S801894	5 便Aa	V 口径17.8 器高(9.1)	口縁4 伏文	22% ~ ~	刺突文、直 線文	22% ~ ~	編縫み痕	やや粗。径4mm以下の長 石・ナットを僅かに含む	普通	270	~	
1318	S801894	5 便Aa	V~VI 口径19.0 器高(9.1)	口縁5 伏文	22% ~ ~	刺突文、直 線文	22% ~ ~	華美縫しい 縫	やや粗。径2mm以下の長 石・ナット・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に保付着	普通	270	~
1319	S801894	5 便C2	V 口径15.6 底径6.6 器高24.0 最大径29.6	口縁5 底部充 存	22% ~ ~	直線文、刺突文、 編縫み痕、 伏文	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径1mm以下の長 石・雲母・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に灰化物付着	普通	271	181
1320	S801894	5 便AaB	V 口径17.7 器高(16.3)	口縁11 伏文	22% ~ ~	刺突文、直 線文、 編縫み痕、 伏文	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径2mm以下の長 石・ナット・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	271	180	
1321	S801894	5 便Aa	V 口徑15.6 底径15.6 器高24.1 以上 最大径14.4	口縁10 底2/4 以上	22% ~ ~	刺突文、 編縫み痕、 伏文	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径1mm以下の長 石・ナット・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に保付着	良	271	177
1322	S801894	5 便Aa	V 口径21.0 器高(14.0)	口縁4 伏文	22% ~ ~	刺突文、直 線文、 編縫み痕、 伏文	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径5mm以下の長 石・ナットを多く含む	口縫部打ち欠き、 外面に保付着	普通	271	~
1323	S801894	5 便B3	V 口徑19.4 器高(4.0)	口縁2 伏文	22% ~ ~	指潮丘痕	22% ~ ~	指潮丘痕、 編縫み痕、 伏文	やや粗。径3mm以下の長 石・ナットを僅かに含む	普通	271	~	
1324	S801894	5 便Aa	V 口徑16.0 器高(3.2)	口縁9 伏文	22% ~ ~	刺突文、 編縫み痕、 伏文	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径1mm以下の長 石・ナットを僅かに含む	普通	271	~	
1325	S801894	5 VI~VII 便C	V 口徑10.8 器高(4.8)	口縁2 伏文	22% ~ ~	指潮丘痕、 編縫み痕、 伏文	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径4mm以下の長 石・ナット・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に保付着	普通	271	~
1326	S801894	5 便A	V 器高(5.7)	皮吹文(3本1組)、 直線文(3本1組) 指潮丘痕	22% ~ ~	指潮丘痕、 伏文	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	271	~	
1327	S801894	5 VII~VIII 便脚部	V 底径2.5 器高(6.0)	底部3/4 以上	22% ~ ~	指潮丘痕	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径1mm以下の長 石・ナット・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に灰化物付着	普通	271	~
1328	S801894	5 VI~VIII 便底部	V 底径5 器高(7.7)	底部充 存	22% ~ ~	磨耗のため調査不明	22% ~ ~	磨耗のため調査不 明、ナット	やや粗。径5mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	外面に赤鉄埋 外側	普通	271	~
1329	S801894	5 VII~VIII 便脚部	V 底径8.2 器高(4.8)	底部2/3 以上	22% ~ ~	指潮丘痕	22% ~ ~	指潮丘痕、 系痕	やや粗。径2mm以下の長 石・ナットを多く含む	脚板部打ち欠き	普通	271	~
1330	S801894	5 VII~VIII 便脚部	V 底径8.2 器高(6.5)	底部3/4 以上	22% ~ ~	指潮丘痕	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径3mm以下の長 石・ナットを僅かに含む	打ち欠き、外面に 保付着	普通	271	~
1331	S801894	5 VII~VIII 便脚部	V 底径1.1 器高(4.8)	底部充 存	22% ~ ~	指潮丘痕	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径5mm以下の長 石・ナットを僅かに含む	脚板部打ち欠き	普通	271	~
1332	S801894	5 VII~VIII 便脚部	V 底径4.0 器高(4.3)	底部2/4 以上	22% ~ ~	指潮丘痕	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径5mm以下の長 石を僅かに含む	普通	271	~	
1333	S801894	d 底部	V 底径6.3 器高(5.3)	底部充 存	22% ~ ~	指潮丘痕	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径2mm以下の長 石・ナットを僅かに含む	外面に保付着	普通	271	~
1334	S801894	5 VI~VIII 便C2	V 口徑30.0 器高(5.2)	口縁4 伏文	22% ~ ~	沈鉢2条(口縁端部)、 伏文	22% ~ ~	磨耗著しい	やや密。径1mm以下の長 石・ナット・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	271	~	
1335	S801894	5 手挽ねD	V 底径4.1 器高6.9	口縁4 底部充 存	22% ~ ~	指潮丘痕、 伏文	22% ~ ~	指潮丘痕、 伏文	やや密。径1.5mm以下の長 石・ナットを僅かに含 む	普通	272	~	
1336	S801894	5 手挽ねD	V 器高(2.8)		22% ~ ~	指潮丘痕	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	272	~	
1337	S801894	1 調文 深鉢	V 底径4.0 器高(8.9)	口縁1 伏文	22% ~ ~	貼付陽帯、柔瓶(二枚目) による 押し引き。	22% ~ ~	指潮丘痕	やや密。径1mm以下の長 石・ナットを僅かに含 む	普通	272	184	
1338	S801894	5 調文 深鉢	V 底径5.0 器高(5.0)		22% ~ ~	貼付陽帯(二枚目によ る押し引き)。	22% ~ ~	柔瓶?	やや粗。径2mm以下の長 石・ナットを僅かに含 む	普通	272	184	
1339	S801894	p 調文 深鉢	V 底径6.0 器高(6.3)	口縁2 伏文	22% ~ ~	柔瓶(二枚目)	22% ~ ~	柔瓶?	やや密。径3mm以下の長 石・ナットを僅かに含 む	外面に灰化物付着 着	普通	272	184
1340	S801894	7 調文 深鉢	V 底径4.3 器高(4.3)		22% ~ ~	押し引き、貼付突起上 等々、柔瓶(1回)、 柔瓶	22% ~ ~	磨耗著しい	やや密。径2mm以下の長 石を僅かに含む	普通	272	184	
1341	S801894	7 調文 深鉢	V 口徑38.0 器高(9.3)	口縁1 伏文	22% ~ ~	柔瓶	22% ~ ~	柔瓶	やや密。径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	272	184	

表119 土器類観察表 (53)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 国際	
						外面	内面					
1342	SK01894	7	縄文 深鉢	器高(9.5)		貼付縦帯、条痕(二枚目)††	††	やや粗、径3mm以下の長石・石英・††を多く含む	普通		272 184	
1343	SK01894	7	縄文 深鉢	器高(4.6)		貼付突帯、※?、条痕?††	††	やや粗、径2mm以下の長石を僅かに含む	普通		272 -	
1344	SK01894	7	縄文 深鉢	器高(4.4)		押し引き(二枚目)、条痕(二枚目)††	††	やや粗、径2mm以下の長石・††を僅かに含む	普通		272 184	
1345	SK01894	7	縄文 深鉢	器高(5.0)		貼付縦帯、条痕(二枚目、背面)	††	やや粗、径3mm以下の長石・石英・条痕・††を多く含む	普通		272 184	
1346	SK01894	4	縄文 深鉢	器高(3.7)		貼付突帯、磨耗	磨耗	やや粗、径2mm以下の長石を僅かに含む	普通		272 184	
1347	SK01894	5	縄文 深鉢	器高(3.0)		貼付突帯、条痕(二枚目)指オサエ	指オサエ	やや密、径3mm以下の長石・石英・††を僅かに含む	普通		272 184	
1348	SK01894	2	縄文 深鉢	器高(2.9)		貼付突帯、†††	††	やや粗、径5mm以下の長石・†††を僅かに含む	普通		272 184	
1349	SK01894	5	縄文 深鉢	器高(4.4)		貼付縦帯(二枚目)、塵 剥離著しい	†††††、磨耗著 い	やや粗、径3mm以下の長石・石英・†††を多く含む	普通		272 184	
1350	SK01894	5	縄文 深鉢	器高(4.3)		貼付縦帯、条痕?	指オサエ	やや粗、径4mm以下の長石・石英・†††を僅かに含む	普通		272 184	
1351	SK01894	7	縄文 浅鉢	器高(3.0)		浮雕文	浮き	やや粗、徑1mm以下の長石・雲母・†††を僅かに含む	普通		273 184	
1352	SK01894	4	縄文 深鉢	器高(3.3)		貼付縦帯	††	やや粗、徑2mm以下の長石・石英・†††を僅かに含む	普通		273 184	
1353	SK01894	6	縄文 深鉢	器高(4.7)		条痕(凹)、指オサエ	††	やや粗、徑1mm以下の長石・石英・†††を僅かに含む	普通	1mm程の礫がみら れる。赤彩?	273 184	
1354	SK01894	5	縄文 深鉢	器高(4.2)		††	††	やや粗、徑1mm以下の長石・石英・†††を僅かに含む	普通		273 184	
1355	SK01894	4	縄文 深鉢	器高(4.2)		貼付突帯上-ゼミ、††	††	やや粗、徑2mm以下の長石・†††を僅かに含む	普通		273 184	
1356	SK01894	5	I 蓋	器高(4.0)		本蓋文	磨耗	やや粗、徑3mm以下の長石・†††・赤色顔化土 粒を僅かに含む	普通		273 -	
1357	SK01894	5	II～III 蓋	器高(6.3)		廉状文、直線文、廉状文、 直線文	††??	やや粗、徑4mm以下の長石・石英・†††を僅かに含む	普通		273 -	
1358	SK01894	5	II～III 蓋	器高(3.7)		条痕(少?)	††	やや粗、徑2mm以下の長石・石英・雲母を僅かに含む	普通		273 -	
1359	SK01894	5	II 蓋C	器高(4.0)		条痕	††	やや粗、徑1mm以下の長石・石英・†††を僅かに含む	普通		273 -	
1360	SK01894	5	縄文 深鉢	底径6.0 器高(2.0) 以上		底部2/4 ††?	浮き	やや粗、徑2mm以下の長石・†††を僅かに含む	普通		273 -	
1361	SK01894	5	VI 底部分	口径14.2 器高(8.3)		口縁3	浮き	やや密、徑1mm以下の赤 色顔化土粒を僅かに含む	良		273 -	
1362	SK01894	5	VI～VII 底部分	口径12.4 器高(5.2)		口縁5	‡‡†?	‡‡†?、指頭压痕、 輪積み痕	良		273 -	
1363	SK01894	5	V 高付脚 部	器高(2.5)			波状文、††?	††?、モザイク	やや密、徑1mm以下の長石を僅かに含む	普通		273 -
1364	SK01894	5	VI 側D1b	器高(4.0)		††、押し引き、††	‡‡†?	やや密、徑1mm以下の長石・石英・雲母・†††を 僅かに含む	普通		273 -	
1365	SK01894	5	V～VI 側K	器高(4.5)		摩耗のため調整不明	摩耗のため調整不 明	やや粗、徑1mm以下の長石・雲母を多く含む	不良		生駒西巣座	273 -
1366	SK01894	5	IV 側B2	口径13.2 器高(4.0)		口縁7	‡‡†?、刺繍文、直線文、 直線文	‡‡†?、††、指頭压 痕	やや粗、徑1mm以下の長石・†††を多く含む	普通		273 -
1367	SK01894	6	VI 側D1b	口径14.8 器高(3.2)		口縁2	‡‡†?	やや密、徑1mm以下の長石・雲母・赤色顔化土 粒を僅かに含む	普通	外間に灰化物付着	273 -	
1368	SK01894	5	V～VI 側A3	口径18.8 器高(4.5)		口縁2	‡‡†?	やや密、徑1mm以下の長石・†††を僅かに含む	普通	外間に灰化物付着	273 -	
1369	SK01894	2	I 底部	底径7.0 器高(6.1)			††、輪積み痕	††、輪積み痕	やや粗、徑2mm以下の長石を僅かに含む	普通	二次焼成痕	273 -

表120 土器類觀察表 (54)

No.	地区 遺構	層位	時期 層位分類	法面(cm)	残存率 (%12)	調整		胎土	焼成	備考	博認 閲覧
						外面	内面				
1375	SP0085	2	VI~VII 壁部	底径7.7 高さ(4.6)	底面元 存	†*, 指頭江瓶	†*, 32°+, 指頭 江瓶	やや粗、径1mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	外面上に保付着	276 -
1376	NB001	4	IV 壁II	圓筒(35.3)	直筒文、波状文、縦位 波状文、32°+, †*	32°+, 指頭江瓶	やや粗、徑2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	打ち欠きの可能性 がある孔有り	普通	279 177	
1377	NB001	4	繩文 深鉢	圓筒(4.0)	†*, 摺捺文 き(二枚貝)	†*	やや粗、徑2mm以下の長 石・石英、雲母を僅かに 含む	普通	279 -		
1378	NB001	7	IV 壁II	圓筒(5.8)	32°+, 摺捺文	†*	やや粗、徑3mm以下の長 石・石英、雲母を僅かに含 む	良	1401と同一個体 か?	279 -	
1379	NB001	4	V~VI 壁Alb	口径12.6 高さ(6.2)	口縁12	22ホリ、ハリ、指頭江瓶, 輪縫み底	32°+, †*, †*	やや粗、徑2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	279 177	
1380	NB001	4	VI~VII 高片脚 部	圓筒(9.1)	†*	32°+	やや粗、徑1mm以下の長 石・石英、赤色酸化土 を僅かに含む	普通	2穿孔1横3方向	279 -	
1381	NB001	4	VI~VII 器台脚 部	圓筒(4.2)	†*, 摺耗著しい	摩耗のため調査不 明	やや粗、徑2mm以下の長 石・石英、赤色酸化土 を僅かに含む	普通	埋部打ち欠き、内 面に保付着、焼成 後穿孔	279 -	
1382	NB001	4	VI~VII 高片脚 部	圓筒(8.1)	†*	32°+, 32°+瓶, †*	やや粗、徑1mm以下の長 石・石英、赤色酸化土 を僅かに含む	普通	2穿孔1横3方向、 焼成後穿孔?(接 合部)	279 -	
1383	NB001	4	IV 壁?	底径6.2 高さ(8.8)	底部元 存	†*, 指頭江瓶	†*, 指頭江瓶	やや粗、徑2mm以下の長 石・赤色酸化土を僅 かに含む	普通	外面に保付着	279 -
1384	NB001	4	V~VI 壁A2	口径17.5 器高(11.2)	口縁1	22ホリ、刺突文、ハリ	32°+, 指頭江瓶, ハリ	やや粗、徑2mm以下の長 石・石英、赤色酸化土 を僅かに含む	普通	280 -	
1385	NB001	4	V~VI 高片脚 部	圓筒(12.4)	†*	指頭江瓶	32°+, 指頭江瓶, 32°+瓶, †*	やや粗、徑1mm以下の長 石・赤色酸化土を僅 かに含む	普通	2穿孔?	280 -
1386	NB001	4	VI~VII 壁B3	口径14.3 器高(11.1)	口縁3	†*, †*	†*, 32°+, 32°+, 指 頭江瓶, 輪縫み底	やや粗、徑4mm以下の長 石・赤色酸化土を僅 かに含む	普通	280 -	
1387	NB001	4	VI~VII 高片脚 部	口径8.5 器高(11.9)	口縁1	†*	†*, 指頭江瓶	やや粗、徑1mm以下の長 石・石英、赤色酸化土 を僅かに含む	普通	280 -	
1388	NB001	4	VI~VII 壁部	底径6.0 高さ(5.9)	底部元 存	†*, †*	指頭江瓶, †*	やや粗、徑3mm以下の長 石・赤色酸化土を僅 かに含む	普通	埋頭端部打ち欠 き?	280 -
1389	NB001	4	VI~VII 壁A4	口径17.0 器高(17.5)	口縁10	†*, †*	†*, †*, 指頭江瓶	やや粗、徑3mm以下の長 石・赤色酸化土を僅 かに含む	良	口縁部打ち欠き、 外面に保付着	280 177
1390	NB001	10	繩文 深鉢	圓筒(5.7)	貼付帯前(4の押し引 き), 目錆痕(二枚貝)	†*, 輪縫み底、指 頭江瓶	やや粗、徑2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	280 183		
1391	NB001	10	I 壺	圓筒(3.5)	貼付帯前、指による押 江	貼付帯前、指による押 江	やや粗、徑1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	280 183		
1392	NB001	10	繩文 深鉢	口径33.0 器高(7.0)	押し引き(端部)、柔瓶	磨耗	やや粗、徑3mm以下の長 石・石英を多く含む	普通	280 183		
1393	NB001	10	繩文 深鉢	圓筒(3.4)	貝殻条痕	磨耗	やや粗、徑2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	280 183		
1394	NB001	18	繩文 深鉢	口径28.0 器高(12.0)	口縁4	32°+	やや粗、徑1mm以下の長 石・石英を僅かに含む	良	外面に炭化物付着	280 183	
1395	NB001	16	繩文 深鉢	圓筒(6.5)	32°+, 口縁端部押(E~)†*	†*	粗、徑4mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	280 183		
1396	NB001	16	繩文 深鉢	圓筒(2.8)	貼付帯前、押し引き(二 枚貝), 磨耗	磨耗	やや粗、徑2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	281 183		
1397	NB001	10	繩文 深鉢	圓筒(4.6)	貼付帯前、押し引き(二 枚貝), 垂瓶(二枚貝)	垂瓶	やや粗、徑1mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	281 183		
1398	NB001	16	繩文 深鉢	圓筒(4.3)	†*(指頭江瓶)、貼付帯 前(二枚貝押し引き), †*, 垂瓶(二枚貝)	†*	やや粗、徑1mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	281 183		
1399	NB001	10	III 壺	圓筒(4.3)	貼付帯前, 刺突文, 指頭江瓶, †*	†*	粗、徑1mm以下の長 石を僅かに含む	良	281 -		
1400	NB001	10	I 壺	圓筒(3.2)	沈割(4条), †*	†*	やや粗、徑3mm以下の長 石を僅かに含む	良	281 -		
1401	NB001	17	III 壺	圓筒(3.5)	繩文, †*	†?	粗、徑2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	良	1378と同一個体 か?	281 -	
1402	NB001	10	I 壺	圓筒(3.2)	沈割(7条)	磨耗	やや粗、徑2mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通	281 -		
1403	NB001	10	I 壺	圓筒(12.5)	†*	指オサエ, †*	やや粗、徑1mm以下の長 石を僅かに含む	良	外面に炭化物有り	281 -	

表121 土器類觀察表 (55)

No	地区 遺跡	層位	時間 層位分類	法量(cm)	飛来率 (X/12)	調整		耕土	被 破	備考	測定 回数	
						外面	内面					
1404	NR001	17	縞文 深鉢	器高(17.3)	???	???	???	やや粗、径3mm以下の長石、石・黄英・+ト-1、赤色酸化土粒を多く含む	外面に煤付着普通	281	183	
1405	NR001	16	V 縞文 C?	口径14.9 器高(23.3)	口縁5	???	???	やや粗、板??、赤??、???	外面に煤付着普通	281	177	
1406	NR001	10	B 便II	器高(2.8)		縦位の条痕(二枚貝)	波状文、??	やや粗、径1mm以下の長石、石・黄英・+ト-1を多く含む	外面に煤付着普通	281	181	
1407	NR001	5	IV 便II	口径17.8 器高(5.0)	口縁2	???	???	やや粗、径1mm以下の長石、石・黄英・+ト-1を多く含む	外面に煤付着普通	281	181	
1408	NR001	4	IV 便2	口径15.4 器高(3.4)	口縁3	???	???	やや粗、波状文、赤色酸化土粒を多く含む	外面に煤付着普通	281	181	
1409	NR001	4	IV 便3	口径10.0 器高(3.3)	口縁4	???	???	やや粗、径1mm以下の長石、石・赤色酸化土粒を多く含む	外面に煤付着普通	281	181	
1410	NR001	4	IV 便4	口径11.6 器高(2.9)	口縁2	???	???	やや粗、徑1mm以下の長石、石・赤色酸化土粒を多く含む	外面に煤付着普通	281	181	
1411	NR001	6	VI~VII 便11	口径10.2 器高(6.5)	口縁3	???	???	やや粗、波状文、??、指頭丘痕、輪積み痕、縦條文	やや粗、径3mm以下の長石、石・赤色酸化土粒を多く含む	普通	281	
1412	NR001	4	IV 便5	器高(7.8)		直縞文、(?)本1組(2)、 波状文、波状文	???	やや粗、徑1mm以下の長石、石・黄英・+ト-1を多く含む	外面に煤付着普通	281	181	
1413	NR001	7	VI~VII 便6	器高(4.2)		直突文、直縞文、竹管文	???	やや粗、指頭丘痕	徑1mm以下の長石、石・赤色酸化土粒を多く含む	外面に赤色酸化土粒を多く含む	281	
1414	NR001	10	VI~VII 手絞	器高(3.8)		斜格子文	??	やや粗、波状文、赤色酸化土粒を多く含む	波状文、徑2mm以下の長石、石・黄英を多く含む	普通	281	
1415	NR001	4	古代 直縞文 深鉢	口径7.0 器高(19.5)	口縁1	???	???	やや粗、波状文、??、指頭丘痕、輪積み痕、縦條文	やや粗、徑3mm以下の長石、石・赤色酸化土粒を多く含む	普通	281	
1427	NR002	n	縞文 深鉢	器高(4.1)		条痕(二枚貝)	??	やや粗、徑2mm以下の長石、石・黄英・+ト-1を多く含む	不規則	286	286	
1428	SD0433	c	直縞文 C4d	口径27.8 器高(8.2)	口縁2	???	???	多条沈痕(11.、9.、5.、 2段)、2段の山形文、 (?)	徑5mm以下の長石、石・黄英・+ト-1・赤色酸化土粒を多く含む	普通	289	
1429	SD0433	c	VI~VII 手絞むC	口径5.6 直縞文4.2 器高(2.5)		直縞文定形	??	やや粗、徑1mm以下の長石、石・黄英を多く含む	不規則	289	289	
1430	SD0433	b	直縞文G3c 脚付	直径17.0 底部1/4 器高(2.3)	未満	多条沈痕(11.、7.、7.、 2段)山形文	???	直縞文(1mm以下)の長石、 石・黄英・+ト-1・赤色酸化土粒を多く含む	1穿孔1組3方向	289	289	
1431	ST057	a	VI 高脚B	口径28.0 器高(7.6)	口縁2	???	???	やや粗、徑5mm以下の長石、 石・黄英・+ト-1・赤色酸化土粒を多く含む	普通	289	289	
1432	SD0466	b	VI~VII 高脚B部	器高(3.9)		調整不明	???	調整不明	1穿孔1組3方向	289	289	
1433	ST057	b	高脚C4d	口径24.0 器高(7.0)	口縁1	???	???	沈痕(15条+7条+4 条)、山形文2段	やや粗、徑1mm以下の長石、 石・黄英・+ト-1・赤色酸化土粒を多く含む	普通	289	
1434	ST057	b	VI~VII 高脚B部	直径14.8 器高(14.9)	底部1/4 未満	???	???	沈痕(9条)、 (?)	直縞文(1mm以下)の長石を 石・黄英を多く含む	2穿孔1組3方向	289	
1435	ST057	b	VI 高脚G3c	口径33.2 底径15.5 器高(12.7)	口縁1 底部1/4 以上	直縞文、多条沈痕(5条、 3条、2条、2条、 3条)、波状文(6段)、 脚付、多条沈痕(3条、2条、 3条、6条)、山形 文(3段)、斜波文(2段)	2 不明	2 直縞文のため 不明	やや粗、徑1mm以下の長石、 石・黄英・+ト-1を多く含む	普通	289	289
1436	ST057	b	VI 高脚B4	口径14.6 器高(3.7)	口縁1	???	???	直縞文(?)、 (?)	直縞文、徑1mm以下の長石、 石・黄英を多く含む	良	289	
1437	ST057	a	VI~VII 便3	口径18.6 器高(18.7)	口縁3	???	???	直縞文、 (?)	やや粗、徑1mm以下の長石、 石・黄英・+ト-1を多く含む	外面に煤付着普通	289	
1438	ST057	a	VI 便3a	口径12.0 器高(7.6)	口縁1	直縞文につき調整不明	???	直縞文	直縞文(1mm以下)の長石を 石・黄英を多く含む	普通	289	
1439	ST057	b	IV 便3c	器高(1.5)		波状文、??	???	直縞文	直縞文(1mm以下)の長石、 石・黄英・+ト-1・赤色酸化土粒を多く含む	普通	289	
1440	SD0451	a	直縞 直縞B5	口径23.0 器高(5.0)	口縁3	???	???	多条沈痕(5条+6条+ 4条+5条)、山形 文(3段)	やや粗、徑1mm以下の長石、 石・黄英・+ト-1・赤色酸化土粒を多く含む	普通	290	
1441	SD0451	a	縞文 縞	器高(5.2)		貼付実物、??	???	やや粗、徑1mm以下の長石、 石・黄英・+ト-1・赤色酸化土粒を多く含む	普通	290	290	

表122 土器類觀察表 (56)

No	地区 道道	層 位	時期 層位分類	法量(m)	残存率 (%)	調整		施工	種 別	備考	師 匠
						外縫	内縫				
1442	S90453	b	古代 重基設置	高(1.7)	回転 ^{ナタリ}	回転 ^{ナタリ}	透かし ^{カスケード}	透、径1m以下の長石を 透かしに含む	透	つまみの徑2.0cm 良	290
1443	S90452	b	VI～VII 高脚部	底部2/4 高(7.0) 以上	透部 ^{ナタリ}	透部 ^{ナタリ}	指頭压痕 ^{コロリ}	透、指頭压痕、透 ^{ナタリ}	透や粗	透2m以下 普通	290
1444	S90452	I	古代 床脚開設部	口径14.0 高(3.4)	回転 ^{ナタリ}	回転 ^{ナタリ}		透、径1m以下の長石を 透かしに含む	透	透 良	290
1445	S90457	a	II ア	口径16.8 高(6.6)	ロ練 ^{ナタリ}	ロ練端部に刺突穴、ナタリ	摩耗のため不明	粗、径1.5m以下 透かしに含む	透	透 普通	290
1446	S90465	a	中世 古漁港	底厚7.7 高(3.0) 以上	透部3/4 ロ練 ^{ナタリ}	透部 ^{ナタリ}	回転 ^{ナタリ}	透、径2m以下 透かしに含む	透	透 普通	290
1447	S90465	a	中世 古漁港	口径29.5 高(4.9)	ロ練 ^{ナタリ}	回転 ^{ナタリ}	回転 ^{ナタリ}	透、径1m以下の長石を 透かしに含む	透	透 普通	290
1457	IK919	IV	調文 透跡	高(7.8)	透付突筋上、キサギ(ナ リ)、ナタリの打ち?			やや粗、透1m以下の長 石を多く含む	透	透 普通	294
1458	DT20	IV	調文 透跡	高(5.7)	透付突筋上、押し引き ^{ナタリ}			やや粗、透2m以下の長 石、石質を多く含む	透	透 普通	294
1459	DT20	IV	調文 透跡	高(6.1)	条痕 ^{ナタリ}			やや粗、透2m以下の長 石、石質を多く含む	透	透 普通	294
1460	暗渠	I	調文 透空部	器具(4.8)	透付突筋			やや粗、透3m以下の長 石、石質、ナタリを多く 含む	透	透 普通	294
1461	IW03	IV	I 透	口径9.0 高(3.0)	ロ練3 ^{ナタリ}	透 ^{ナタリ} 、沈鉢(3条)		やや粗、透2m以下の長 石、ナタリを多く含む	透	透 普通	294
1462	HD118	IV	I 透	高(4.6)	押し引き、条痕(貝)			粗、透3m以下の長石、 石質を多く含む	透	透 普通	294
1463	HD2	IV	II 透底部	底厚8.4 高(8.4)	底部完 存	3 ^{ナタリ}	指頭压痕	やや粗、透3m以下の長 石、赤色酸化土粒を多 く含む	透	底部焼成透穿孔 普通	294
1464	HD4	IV	II 透	器具(3.0)	器具 ^{ナタリ}		指頭压痕	やや粗、透1m以下の長 石、ナタリを多く含む	透	透 普通	294
1465	LJ02	IV	IV 透底2	口径15.8 高(14.9)	ロ練1 ^{ナタリ}	ナタリ、刺突穴、直線文 (4条)、ナタリ、波状文	透 ^{ナタリ} 、透 ^{ナタリ} 、指頭压 痕 ^{ナタリ}	やや粗、透1m以下の長 石、ナタリを多く含む	透	外面に炭化物付着 普通	294
1466	LJ04	IV	III～IV 透	器具(9.9)	器具 ^{ナタリ}		透 ^{ナタリ} 、透 ^{ナタリ}	やや粗、透1m以下の長 石、石質、ナタリを多く 含む	透	透 普通	294
1467	IP03	IV	IV 透壁脚部	器具(2.9)	ナタリ、枕突尖端			やや粗、透1m以下の長 石を多く含む	透	透 普通	294
1468	IP04	IV	V 透脚部	器具(4.2)	多条沈鉢(3条)、刺突穴、 直線文(3条)、条痕、 多条沈鉢(3条)、刺突穴、 多条沈鉢(3条)、刺突穴		指頭压痕	透、透1m以下の長石を 透かしに含む	透	透 普通	294
1469	IP02	IV	V 高脚部 透?	底厚6.2 高(3.4) 以上	底部1/4 器具(3.4)	透 ^{ナタリ} 、透 ^{ナタリ} 、波状文		やや粗、透1m以下の長 石、石質、ナタリを多く 含む	透	透 普通	294
1470	1602	IV	V 透A1B	口径30.2 高(3.5)	ロ練1 ^{ナタリ}	鏡面透(3条)、透 ^{ナタリ}	鏡面透、刺突穴、ナ タリ	やや粗、透2m以下の長 石、赤色酸化土粒を多く 含む	透	透 普通	294
1471	LJ01	IV	VI～VII 高脚部	器具(3.6)	3 ^{ナタリ}	3 ^{ナタリ}		やや粗、透2m以下の長 石、ナタリ、赤色酸化 土粒を多く含む	透	外側に煤化物着 普通	294
1472	1102	IV	V 透把手	器具(4.0)		透 ^{ナタリ}		やや粗、透1m以下の長 石、ナタリを多く含む	透	内側に煤化物着 普通	294
1473	1601	IV	V 高脚A1	口径21.7 器具(2.7)	ロ練2 ^{ナタリ}	ナタリのち ^{ナタリ}	透 ^{ナタリ} 、透 ^{ナタリ}	やや粗、透1m以下の長 石、石質、ナタリを多く 含む	透	透 普通	294
1474	E503	IV	VII 透壁脚部	底径14.0 器具(4.6)	底部1/4 器具(4.6)	3 ^{ナタリ} 、多条沈鉢(13条)、 刺突穴、多条沈鉢(10 条)、山形透、多条沈鉢 (10条)	透 ^{ナタリ} 、透 ^{ナタリ} 、 刺突穴、多条沈鉢(13条)、 山形透、多条沈鉢(10 条)	透、透1m以下の長石、 赤色酸化土粒を透かしに 含む	透	2穿孔1組4方向 普通	294
1475	HJ20	IV	VII 透壁脚部	底径15.6 器具(2.1)	底部1/4 器具(2.1)	3 ^{ナタリ} 、多条沈鉢(5条)、 刺突穴、多条沈鉢(5条)、 多条沈鉢(15条)	透 ^{ナタリ} 、透 ^{ナタリ} 、 刺突穴、多条沈鉢(5条)、 多条沈鉢(5条)	透、透1m以下の長石、 赤色酸化土粒を透かしに 含む	透	2穿孔1組4方向 普通	294
1476	IC02	IV	VII 透壁脚部	底径14.0 器具(4.2)	底部1/4 器具(4.2)	3 ^{ナタリ} 、多条沈鉢(14条)、 刺突穴	透 ^{ナタリ} 、透 ^{ナタリ} 、 刺突穴	透、透1m以下の長石、 赤色酸化土粒を透かしに 含む	透	1穿孔1組3方向 良	294
1477	IN03	IV	VII 透壁脚部	器具(2.5)		刺突穴、多条沈鉢(3条)、 透波文、多条沈鉢(3条)、 刺突穴、多条沈鉢(3条)、 透波文、多条沈鉢(2条)、 刺突穴、多条沈鉢(2条)		透、透1m以下の長石、 赤色酸化土粒を透かしに 含む	透	1穿孔1組3方向 普通	294
1478	IP04	IV	VII 透壁脚部	底径14.1 器具(2.8)	底部1/4 器具(2.8)	波状文、多条沈鉢(3条)、 透波文、多条沈鉢(3条)、 波状文、多条沈鉢(2条)、 透波文、多条沈鉢(2条)		透、透1m以下の長石、 赤色酸化土粒を透かしに 含む	透	2穿孔1組2方向 普通	294
1479	IA03	IV	VII 透壁脚部	器具(3.1)		3 ^{ナタリ} 、沈鉢		透、透1m以下の長石、 赤色酸化土粒を透かしに 含む	透	2穿孔1組2方向 良	294

表123 土器類観察表 (57)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		出土	焼成	備考	特徴 回数	
						外面	内面					
1480	IF04	IV	VI~VII 手捏	口径6.6 底径3.0 器高3.7 最大径3.9	口縁5 底部完 存	++	++	やや密。径3mm以下の長 石・+↑+・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通		294 -	
1481	IC04	IV	VI~VII 雙D脚部	底径6.6 器高(6.0)	底部2/4 以上	+↑		指頭圧痕	やや粗。径3mm以下の長 石・+↑+・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通	294 -	
1482	IC02	IV	VI~VII 雙脚部	底径8.0 器高(8.3)	底部1/4 未溝	+↑		指頭圧痕	密。径1mm以下の長石・ 石英を多く含む	良	手捏の可能性有 り	
1483	HA15	IV	VI~VII 高36Cfd	口径26.2 底径14.8 器高29.6 最大径26.6	口縁5 底径3/4 以上	+↑、+↓+	+↑、+↓+	やや粗。多条沈痕(4 點)、+↑+、多条 沈痕(5點)、山形文、 多条沈痕(5點)、+ ↓+、+↑+、+↓+	普通	外面上に埋付着、二 段孔1個、2脚孔1 個、22万円、口縁打 ち欠き?	295 182	
1484	IB02	IV	VII 高39D5	口径22.3 器高(6.5)	口縁2	+↑+		多条沈痕(2點)、多 条沈痕(4點)、+↑+、 多条沈痕(3點)、 酒匂文、多条沈痕(4 點)、進弦文、多条 沈痕(4點)、+↑+	やや密。径1.5mm以下 の長石・+↑+を僅かに含 む	良	295 -	
1485	埋罈	I	VI~VII 雙B3	口径19.9 底径9.5 器高33.9 最大径28.0	口縁8 底部3/4 以上		+↑	指頭圧痕、+↑	やや密。径1.5mm以下 の長石・+↑+・赤色酸化 土粒を多く含む	外面上に埋付着	295 182	
1486	IE03	IV	VII 高39D2脚 部	底径16.0 器高(4.5)	底部1/4 未溝	+↑、+↓+	+↑、+↓+	多条沈痕(4點)、進弦 文(1)、+↑+、進弦文、 多条沈痕(3點)、 酒匂文、多条沈痕(3點)、 酒匂文、多条沈痕(2點)、 +↓+	密。径1mm以下の長石・ +↑+・赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	295 -	
1487	DT20	IV	VI~VII 脚B1a	口径6.5 底径6.6 器高11.6 最大径12.9	口縁6 底部完 存	+↑、+↓+、+↑+	+↑、+↓+、+↑+	密。径3mm以下の長石・ 石英、赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通		295 -	
1488	IM03	IV	VI~VII 高杯型 土製品	器高(2.5)				指頭のため不明	やや密。径2mm以下の長 石・+↑+を僅かに含む	普通	1穿孔1個3方向?	295 -
1489	IM03	IV	VI~VII 脚E	口径11.9 底径7.7 器高6.6 最大径11.4	口縁7 底部完 存	+↑+	+↑+		やや密。径1mm以下の長 石・+↑+を僅かに含む	良	295 -	
1490	IC04	IV	VI~VII 手捺り?	器高(4.1)		+↑	+↑		指頭のため不明	打ち欠き	295 181	
1491	II02	IV	VI~VII 手捺り?	器高(4.1)		+↑	+↑	ハサ、貼付帯状の上に側 突文	密。径1mm以下の+↑+を 僅かに含む	良	295 -	
1492	IB03	IV	V~VI 蓋	器高(4.7)		+↑	+↑	摩擦のため不明	+↑、+↑	生駒内側産	295 -	
1493	埋罈	I	VI 蓋D1b	口径15.6 器高(21.7)	口縁3	+↑+	+↑+	押し引き、+↑	+↑+、指頭圧痕、 +↑	良	295 182	
1494	IS03	IV	VII 蓋D3	口径14.8 器高(5.6)	口縁5	+↑+	+↑+	指頭圧痕	やや密。径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化 土粒を多く含む	良	295 -	
1495	II03	IV	V~VII 土製品	口径17.0 器高(2.1)	口縁2	+↑+	+↑+	沈痕(8箇)。	やや密。+↑+以下の長 石・+↑+・赤色酸化土 粒を多く含む	赤彩有り	295 -	
1496	IM03	IV	VI~VII 脚E6	口径6.4 底径4.4 器高9.5 最大径10.3	口縁5 底部1/4 未溝	+↑+	+↑+	+↑+、+↑、指頭圧痕	指頭圧痕。+↑、輪 積み瓶	口縁部打ち欠き、 外面上に埋付着	295 -	
1497	IM04	IV	V~VII 雙脚部	器高(5.2)		+↑	+↑		前、径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	外面上に継割有り	295 -	
1498	西部	I	古墳実丸 皿	口径13.1 底径7.0 器高3.4 最大径13.4	口縁5 底径1/4 未溝	回転+↑、回転+↑+↑	回転+↑	回転+↑	密。径1mm以下の長石を 僅かに含む	灰輪つけかけ	295 -	
1510	SZ057	e	皿 脚B	口径5.1 器高(17.3) 最大径14.4	口縁3	+↑+、+↑	+↑+、+↑	摩耗のため 摩耗圓窓	やや密。径3mm以下の長 石・+↑+を多く含む	穿孔(脚部下半)	302 214	
1511	SZ057	b	皿 脚A1	器高(15.5)		直書き、被 摩耗有り	+↑、指頭圧痕、摩 耗有り	指頭圧痕、摩 耗有り	やや密。被3mm以下の長 石・+↑+を多く含む	普通	302 -	
1512	SZ057	a	皿 脚B1脚 皿	底径4.4 器高(5.6)	底部1/4 未溝	+↑+、摩耗	+↑+、摩耗	指頭圧痕、摩 耗有り	やや密。被3mm以下の長 石を僅かに含む	不良	302 -	
1513	SZ057	a	V 脚B2	口径6.5 底径3.8 器高5.8 最大径6.7	口縁10 底部完 存	+↑+、+↑	+↑+、+↑	指頭圧痕、輪 積み瓶	密。径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	302 216	
1514	SZ057	a	V 脚A?底 部	底径3.7 器高(6.4)	底部3/4 以上	+↑+、+↑	+↑	やや密。径1mm以下の長 石を僅かに含む	外面上に埋付着	普通	302 -	

表124 土器類觀察表 (58)

No.	地区 遺構	層位	時期 陶種分類	法面(cm)	残存率 (%)	調整	船上	構成	備考	博認 回版		
1515	S2057	f	台形土器	口径22.6 高さ(8.8)	口縁1	~ ^{15°} アラ、中、 ^{15°} リ、ハラ、指頭正直	西、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良好	黒頭(外)	302 216		
1516	S2057	e	高杯形	口径19.3 高さ(3.7)	ハラ	指頭正直	やや密	良	302	-		
1517	S2057	a	V 蓋AIIb	口径18.0 高さ(4.9)	口縁10	擬円錐? (口縁端部)、 横羽状文、摩耗のため調 整不明	横羽状文(口縁端部)、 摩耗のため調整不 明	西、径1mm以下の長石を 僅かに含む	不良	302	-	
1518	S2057	a	V 蓋BII	口径18.4 高さ(4.3)	口縁2	~ ^{15°} アラ、 ^{15°} モリ	やや密	普通	302	-		
1519	S2057	a	V 蓋AIIb	口径15.8 高さ(9.1)	口縁8	円形斜文(口縁端部)、 直線文、波状文、 ^{15°} リ	指頭正直、ほとん ど摩耗	やや密、径1mm以下の長 石、右側に僅かに含む	良	302 214		
1520	S2057	h	III-1 蓋AII	底径3.4 路路27.6 最大径21	底部元 存	底伏文+ ^{15°} (口縁端部)、 直線文(直線部)、波狀 文、複雜弦文(6筋)、 複雜弦狀貼付文、 ^{15°} リ	?	やや粗、径1mm以下の長 石を多く含む	回転乳孔(脚部上 平、未貫通)、穿 孔(脚部下平)	良好	302 213	
1521	S2057	b	III-1 蓋A	底径6.5 高さ(3.4)	?	~ ^{15°} アラ、押引き、 ^{15°} リ、沈 縫	ハラ、 ^{15°} アラ、指頭正直、 横羽状	西、径1mm以下の長石、 雲母を僅かに含む	内外間に堆積着	302 213		
1522	S2057	a	V 蓋C	口径11.5 高さ(3.6)	口縁2	~ ^{15°} アラ、 ^{15°} リ	~ ^{15°} アラ、 ^{15°} モリ、 ^{15°} リ、 指頭正直	やや密、赤色酸化土粒を僅 かに含む	口縫部打ち欠き	303	-	
1523	S2057	a	V 蓋A脚部	底径19.1 最大径25.6	?	波状文、直線文、 ^{15°} リ、 ?	ハラ、 ^{15°} アラ、指頭正直、 横羽状	やや密、直6mm以下の石 英、赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	303 214		
1524	S2057	n	V 蓋C	底径7.4 路路(21.1) 最大径24.5	底部3/4 摩耗著者	?	~ ^{15°} アラ、指頭正直、 横羽状	やや密、直2mm以下の石 英、赤色酸化土粒を僅 かに含む	不良	303 214		
1525	S2057	a	V 蓋AIIa	底径5.0	?	竹管文、沈縫	?	やや密、 ^{15°} アラ、摩 耗のため調整不 明	不良	303 216		
1526	S2057	b	V 蓋A脚部	底径6.8	?	直線文2帯、波状文(5条)	?	やや密、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	良好	303	-	
1527	S2057	a	V 蓋E	口径12.6 高さ(8.0)	口縁3	~ ^{15°} アラ、摩耗著者	~ ^{15°} アラ、指頭正直、 摩耗著者	西、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	穿孔有り	303	-	
1528	S2057	b	V 蓋A	口径15.8 高さ(11.0)	口縁6	~ ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 直線文、波状文(?)	?	西、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	普通	303	-	
1529	S2058	b	II 蓋B	口径4.4	?	沈縫	?	やや密、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 摩耗のため調整不 明	普通	305	-	
1530	S2058	n	IV 蓋D	口径5.4	?	竹管文	?	やや密、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	普通	305 215	-	
1531	S2059	a	V~VI 高杯形	口径5.6	?	?	?	やや密、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	良好	307	-	
1532	S2059	a	V~VI 高杯形	口徑(5.0)	?	?	?	やや密、直2mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	良好	307	-	
1533	S2059	b	V~VI 高杯形 部	口徑(5.5)	?	?	?	やや密、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	普通	307	-	
1534	S2059	b	V~VI 蓋AIIb	口徑14.9 高さ(4.2)	口縁2	擬圓錐(4条)、直線文、 ^{15°} リ ~ ^{15°} のち ^{15°} アラ	?	やや密、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	水彩?	307	-	
1535	S2059	a	X 蓋	口徑(3.1)	?	?	?	やや密、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	普通	307	-	
1536	S2060	I	V~VI 蓋AII	口径13.4 高さ(3.6)	口縁3	~ ^{15°} アラ、沈縫	?	西、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	外面に堆積着	310	-	
1537	S2060	I	V~VI 高杯形 部	口徑17.9 高さ(3.3)	口縁1	?	沈縫	?	やや密、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	普通	310	-
1538	S2060	a	V~VI 蓋BII	口徑15.0 高さ(3.1)	口縁1	竹管文(口縁端部)、摩 耗のため調整不 明	摩耗のため調整不 明	西、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	普通	310	-	
1539	S2060	a	V~VI 高杯形 部	口徑(9.3)	?	?	?	やや密、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	不良	1穿孔1組3方向	310	-
1540	S2060	n	V~VI 蓋合脚 部	底径16.5 高さ(3.1)	底部1/4 未満	?	摩耗のため調整不 明	?	西、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	良好	310	-
1541	S2060	c	V~VI 蓋B	底径24.0 以上	?	?	?	西、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直、摩耗の ため調整不明	普通	310	-	
1542	S2060	b	古代 頭部復原	口徑(8.2)	?	?	?	西、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	良好	310	-	
1544	S2061	a	V 蓋AII	口徑16.2 最大径10.8	口縁6	~ ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、直線文(口縁部)、 波状文、 ^{15°} リ	?	西、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	外面に堆積着	313 215	-	
1545	S2061	b	VI 蓋C2b	口徑22.9 高さ(10.3)	口縁9	多角次錐(?) (口縁部)、 ^{15°} ア ラ	?	西、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	口縫部打ち欠き	313 215	-	
1546	S2061	a	V 蓋BII	口徑19.8 高さ(3.2)	口縁1	波状文、摩耗のため調 整不明	摩耗のため調整不 明	西、 ^{15°} アラ、 ^{15°} リ、 指頭正直	普通	313 215	-	

表125 土器類観察表 (59)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	傳聞 困難	
						外面	内面					
1547	SZ061	d	V～VI 高部B3b 器高(4.1)	口径23.7 器高(4.1)	X/12	口縁3 付	付	やや密、径3mm以下の長石 を僅かに含む	普通	内面に焼付着	313 -	
1548	SZ061	c	V～VI 高部B3b 器高(9.5)					やや密、径3mm以下の長石 を僅かに含む	良	耳孔1組3方向、 脚部打ち欠き?	313 -	
1549	SZ061	b	VII 器高(7.8)	口径18.0 器高(7.8)	X/12	縫隙2? (口縁部)、付 口縁3	付	やや密、径3mm以下の長石 を僅かに含む	普通	1穿孔1組3方向	313 -	
1550	SZ061	a	VII～VIII 器A脚部	口径7.1 器高(7.0)	X/12			やや密、径3mm以下の長石 を僅かに含む	普通	外面上に焼付着	313 215	
1551	SZ061	a	V～VI 器高(10.2)			波状文、直線文、付	付、板けつ、付	やや密、径3mm以下の赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通	外面上に焼付着	313 -	
1552	SZ062	e	IV 器H11 器高(9.0)			付、直線文、波状文	付	やや密、径3mm以下の長石 を僅かに含む	普通	外面上に焼付着	316 215	
1553	SZ062	d	IV 器A 底径11.2 器高(4.0) 以上	底部3/4	付		付	やや密、径3mm以下の長石 を僅かに含む	良	外面上に焼付着	316 214	
1554	SZ062	b	V～VI 器A10 器高(4.0)	口径15.2 器高(4.0)	X/12	竹管文(口縁端部)、付	付	密、径3mm以下の長石を 僅かに含む	良	外面上に焼付着	316 -	
1555	SZ062	a	V～VI 器A2 器高(2.5)	口径16.0 器高(2.5)	X/12	付	直線文(口縁部)、付	付	やや密、径3mm以下の長石 を僅かに含む	良	外面上に焼付着	316 -
1556	SZ062	b	V～VI 器A20 器高(7.0)	口径13.0 器高(7.0)	X/12	付	付、直線文(口縁部)、 波状文(口縁部)	付、指頭正直、 輪積み直	やや粗、径2mm以下の長石 を僅かに含む	外面上に焼付着	316 -	
1557	SZ062	b	IV～V 器B 底径14.4 器高(6.6) 未満	底部1/4	付、付			密、径2mm以下の長石を 僅かに含む	外面上に焼付着。範 目瓶有り	316 213		
1558	SZ062	c	IV 器A2 器高(2.8)	口径7.3 底径4.7 器高(2.8)	X/12	凹彎・直線文、押引き・ 直線文、華軒繩	付、付、付	やや密、径3mm以下の長石 を僅かに含む	不良	外面上に焼付着	316 213	
1559	SZ062	a	IV 器B2 器高(2.8)			付、直線文(口縁部)、付	付	やや粗、径2mm以下の長石 を多く含む	外面上に焼付着	316 -		
1560	SZ062	a	V～VI 器A脚部	底径7.9 器高(5.5)	X/12	付	付	やや密、径3mm以下の長石 を僅かに含む	良	外面上に焼付着	316 -	
1561	SZ063	2	IV 器B 器高(3.8)	底径3.3 器高(3.8) 最大径2.9	底部1/4 以上	直線文、付、円形浮文	付	やや粗、径3mm以下の長石 を僅かに含む	良	外面上に焼付着	318 214	
1562	SZ064	a	V 高部B2b 器高(4.6)	口径24.0 器高(2.7) 最大径4.6	X/12	付、波状文、直線	付	やや密、径2mm以下の長石 を僅かに含む	普通	外面上に焼付着	320 -	
1563	SZ064	a	V～VI 器底部	底径7.8 器高(3.1)	X/12	磨耗のため調整不明	板けつ	磨耗著しい やや粗、径2mm以下の長石 を多く含む	外面上に焼付着	320 -		
1564	SZ066	1	IV 器	器高(6.3)		直線文(竹管)、付	付	やや粗、径3mm以下の長石 を僅かに含む	普通	外面上に焼付着	324 -	
1565	SZ066	c	V～VI 器A10	口径11.8 器高(5.7)	X/12	直線文、磨耗著しい		磨耗のため調整不明 やや粗、径2mm以下の長石 を多く含む	普通	外面上に焼付着	324 -	
1566	SZ067	2	IV 器B 器高(3.1)			付	付	やや密、径3mm以下の長石 を多く含む	普通	外面上に焼付着	326 -	
1567	SZ067	d	IV 高部A脚部	底径10.0 器高(4.4)	底部1/4 未満	付、付	指頭正直、付、付	指頭正直、付、付	密、径3mm以下の長石 を僅かに含む	普通	外面上に焼付着	326 -
1568	SZ067	2	IV 器D	器高(3.1)		竹管文、付	付	やや粗、径2mm以下の長石 を僅かに含む	普通	外面上に焼付着	326 265	
1569	SZ067	2	IV 器	底径7.8 器高(15.5) 最大径15.5	底部3/4 以上	付	指頭正直	やや粗、径2mm以下の長石 を多く含む	普通	外面上に焼付着	326 189	
1570	SZ067	2	IV 器A2	口径15.4 器高(15.5) 最大径15.6	X/12	直線文、付	付	やや粗、径2mm以下の長石 を僅かに含む	普通	外面上に焼付着	326 188	
1571	SZ068	e	IV 器A1	口径11 器高(7.1) 器高(24.9) 最大径23.3	X/12	凹彎、直線文、付、波状文	付	やや密、径2mm以下の長石 を多く含む	普通	外面上に焼付着	332 185	
1572	SZ068	9	IV 器A1	口径10.0 器高(25.5) 最大径23.3	底部完 存	凹彎(2条)、付	付	やや密、径2mm以下の長石 を多く含む	良	外面上に焼付着有り、 底部に牙有り	332 185	
1573	SZ068	4	IV? 器A	口径12.6 器高(4.3) 器高(16.8) 最大径15.6	X/12	付	やや密、磨耗著しい	やや粗、径2mm以下の長石 を多く含む	普通	脚部打ち欠き	332 185	
1574	SZ068	2	V 器A2	口径14.0 器高(2.2)	X/12	直線文、直線文、 直線文、付	付	やや粗、径2mm以下の長石 を多く含む	普通	外面上に焼付着	332 189	
1575	SZ068	b	V 器A1a	口径18.8 器高(2.3) 最大径19.2	X/12	輪積み(3条)	付	やや密、径2mm以下の長石 を多く含む	普通	外面上に焼付着、赤彩 円形浮文2つ	332 -	

表126 土器類観察表 (60)

No.	地区 遺構	層位	時期 層位分類	法面(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	伸縮	回版	
						外面	内面						
1576	S2068	d	V～VI 遺A1b	踏面(9.5)	100%	(+)、文様部4帯(直線 文8条、刺突文)	(+)、 (-)	やや密、径1mm以下の長 石・トナーを僅かに含む	書道	332	—		
1577	S2068	d	V 便B1a	口徑18.8 踏面(22.2) 最大径23.0	口縁3	(+)、 (-)	(+)、(-)、指潤圧 痕	やや粗、径3mm以下の長 石・トナーを僅かに含む	普通	332	—		
1578	S2068	a	V 便A1	口徑14.5 踏面(3.4)	口縁3	(+)、 (-)	(+)、(-)、直線文、波 状文(確定)	やや密、径1mm以下の長 石・トナーを僅かに含む	普通	332	—		
1579	S2068	e	V 便A2b	口徑14.5 踏面(9.5)	口縁3	刺突文、 波状文、直線文、 (-)	(+)、 (-)	やや密、径2mm以下の長 石・トナー・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	333	—		
1580	S2068	3	VI 遺A1b	口徑15.4 踏面(6.3) 最大径27.8	口縁2	(+)、 (-)	(+)、 (-)	やや密、径1mm以下の長 石・トナーを僅かに含む	円形浮文(口縁部 4ヶ所、胸部不明)	333	186		
1581	S2068	1	V～VI 高H-12	口径11 踏面(7.1)	口縁3	(+)、 明	磨耗のため調整不 明	やや密、径2mm以下の長 石・トナー	外面に付着	333	204		
1582	S2068	b	V 器台A1b	底径12.4 踏面(6.3)	底部3/4 以上	(+)、 (-)	(+)、 (-)	やや密、磨耗のため 調整不明	やや密、径4mm以下の長 石・トナー・赤色酸化土 粒を僅かに含む	1穿孔1組3両、 外面に付着	333	—	
1583	S2068	c	V～VI 遺A1b	口徑15.5 踏面(6.4)	口縁3	(+)、 (-)	(+)、 (-)	やや粗、径4mm以下の長 石・トナー	普通	333	—		
1584	S2068	b	V 便A2b	口徑15.0 底径(8.1)	口縁3	(+)、 (-)	刺突文(4ヶ), 直線文(4ヶ)、刺 突文(4ヶ)	(+)、 (-)	やや密、径3mm以下の長 石・トナー・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	333	—	
1585	S2068	a	V 便A2b	口徑16.1 踏面(1.0) 最大径22.0	口縁3	刺突文、 直線文(4ヶ)、刺 突文(4ヶ)	(+)、 (-)	やや密、径2mm以下の長 石・トナー・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	333	—		
1586	S2068	a	V～VI 林H-2	口徑16.7 底径5.5 最大径17.9	口縁3	(+)、 (-)	刺突文、 直線文、波状文	(+)、 (-)	やや密、径2mm以下の長 石・トナー・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外部打ち大きさで穿 孔?	333	186	
1587	S2068	1	V～VI 便	踏面(7.3)	(+)、 (5条)	(+)、 (-)	(+)、 (-)	やや密、 径3mm以下の長 石・トナー・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面に付着	333	—		
1588	S2068	a	VI～VII 手押A1d	口徑8.1 底径5.7 踏面6.3	口縁3	(+)、 (-)	直線痕、 輪輪み痕	(+)、 (-)	やや密、 径3mm以下の長 石・トナー・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	333	204	
1592	S2069	a	V～VI 便品	踏面(2.8)	(+)	磨耗のため調整不 明	普通	外面に剥離有り	普通	336	—		
1593	S2070	a	V 器台A1b	口徑17.0 底径5.4 踏面11.6 最大径17.4	口縁3	直線文(7.6+7条)	磨耗のため調 整不明、指潤圧 痕	やや密、 径3mm以下の長 石・トナー・赤色酸化土 粒を僅かに含む	1穿孔1組3方向	336	186		
1594	S2070	I	VI～VII 遺H-1	口徑8.8 踏面(8.9) 最大径15.4	底部完 存	(+)、 (-)	指潤圧痕、 (-)	やや密、 径1mm以下の長 石・トナーを僅かに含む	普通	336	—		
1595	S2070	a	V～VI 高H-12	口徑8.6 踏面(7.5) 最大径11.1	口縁3	(+)、 (-)	指潤圧痕、 (-)	やや密、 径3mm以下の長 石・トナー・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	336	204		
1596	S2070	a	V～VI 便B1	口徑17.2 踏面(10.0) 最大径18.6	口縁3	刺突文、 直線文、波状文	(+)、 (-)	やや密、 径3mm以下の長 石・トナー・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	336	—		
1597	S2071	2	IV 遺A2	口徑8.4 踏面(2.0) 最大径19.9	口縁12	刺突文(5条), 直線文(6条)、 波状文(6条)、 直線文(5条)、 波状文(5条)、 (-)	(+)、 (-)	(+)、 (-)、指潤圧 痕、直線文(5条)、 波状文(5条)、 (-)	やや粗、 径1mm以下の長 石・雲母・トナー・赤 色酸化土粒を多く含む	不良	339	186	
1598	S2071	1	V 遺A1b	口徑16.0 踏面(15.4) 最大径23.8	口縁4	(+)、 (-)	直線文(6条), 波状文(6条)、 直線文(6条)、 直線文(6条)、 (-)	(+)、 (-)、直線文、 指潤圧痕、直 線文、(-)	やや密、 径3mm以下の長 石・トナー・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	339	—	
1599	S2071	2	V 便A2b	口徑16.0 踏面(15.4) 最大径23.8	口縁3	(+)、 (-)	刺突文、 直線文(6条), 波状文(6条)、 直線文(6条)、 直線文(5条)、 (-)	(+)、 (-)、直線文、 指潤圧痕、直 線文、(-)	やや密、 径3mm以下の長 石・トナー・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	339	187	
1600	S2071	1	V～VI 林A2a	口徑10.8 踏面(7.0) 最大径12.9	口縁4	(+)、 (+)、 (-)	(+)、 (-)、直線文、 指潤圧痕、輪輪 み痕	(+)、 (-)、直線文、 指潤圧痕、輪輪 み痕	やや密、 径3mm以下の長 石・トナー・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	339	—	
1601	S2071	1	V～VI 遺H-3	口徑8.4 踏面(11.0) 最大径12.9	口縁4	(+)、 (+)、 (-)	(+)、 (-)、直線文、 指潤圧痕、輪輪 み痕	(+)、 (-)、直線文、 指潤圧痕、輪輪 み痕	やや密、 径3mm以下の長 石・トナー・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	339	187	

表127 土器類觀察表 (61)

表128 土器類觀察表 (62)

No.	地区 遺構	層位	時期 層位分類	法面(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	博認 回収
						外面	内面				
1634	S2084	1	V~VI 焼B2	口径15.4 底高(2.9)	口縁2	+++, +*	+++, +*	粗。径3mm以下の石英を 僅かに含む	普通	-	363 -
1635	S2084	1	V~VI 焼脚部	器高(11.3) 最大径17.0	-	+*	++*	やや粗。径3mm以下の石 英・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外面上に灰化物付着	363 -
1636	S2084	1	V~VI 焼脚部	器高(11.0) 最大径18.1	-	+*	++*	やや粗。径1mm以下の石 英・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良	-	363 -
1637	S2085	1	IV 高杯A	口径18.7 底高(11.2)	口縁4	回輪(6条)、+*+	+*+	やや粗。径2mm以下の石 英・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	穿孔有り	365 -
1645	SH010	1	V~VI 焼脚部	器高(3.0)	-	+*。キザミ。刺突文	+*	やや粗。径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	-	370 -
1649	S00575	c	V 焼A2	器高(2.8)	-	+++。キザミ	+*	やや粗。径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	-	372 -
1650	S00575	a	III 焼A	器高(5.3)	-	直線文	摩耗のため調整不 明	やや粗。径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	-	372 -
1651	S00672	1	V~VI 高杯B	口径24.3 底高(3.3)	口縁3	+*	+*	やや粗。径1mm以下の石 英・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	-	375 -
1652	S00672	1	VI 焼B2	口径10.6 底高(1.2) 最大径16.8	口縁1	摩耗のため調整不 明	摩耗のため調整不 明	やや粗。径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を多 く含む	普通	外面上に灰化物付着	375 212
1654	S00471	1	IV 高杯・鉢	口径34.0 底高(3.1)	口縁1	++*, 回輪(1条)	++*	やや粗。径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	-	380 -
1655	S00481	1	V 焼B	口径17.9 底高(2.9)	口縁1	+++。刺突文。+*	+++。+*	やや粗。径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	-	380 -
1656	S00481	1	V~VI 高杯B	口径24.8 底高(7.0)	口縁5	+*。+*+	+++。+*+	粗。径5mm以下の長石 +*を僅かに含む	普通	-	380 189
1657	S00519	1	V~VI 高杯B3a	口径14.4 底高(3.4)	口縁3	+*	+*	やや粗。径1mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	-	380 -
1658	S00521	1	V 焼A2	口径15.4 底高(6.2)	口縁3	刺突文。+++。+*。刺 突文。	+++。+*。+*	やや粗。径1mm以下の長 石・雲母・チート・赤色 酸化土粒を多く含む	不良	-	380 -
1659	S00549	1	III 焼A3	口径8.0 底高(28.8) 最大径21.0	口縁6	+*。キザミ。直線文5帶	++*, 指輪頂直	やや粗。径2mm以下の長 石・+*を僅かに含む	普通	底部打ち欠き有 (複合型)	382 192
1660	S00549	1	III 焼A3	口径8.2 底高6.6 底高29.1 存 最大径22.0	口縁12 底高2.2 底高(4.8) 直線文5帶(2×3)。+*	+++。波状文。キザミ。 +*。直線(4段)。直線文 5帶(2×3)。+*	+++。指輪頂頸。 +*。+*+。	やや粗。径2mm以下の長 石・+*を僅かに含む	普通	外面上に付着有。底 部本葉直	382 192
1661	SP0135	1	IV 焼A2	口径14.5 底高(3.1)	口縁1	+*。+*。波旋1条	+*	やや粗。径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	-	384 -
1662	SR113	1	V~VI 高脚B	器高(2.1)	-	+*	摩耗のため調整不 明	粗。径2mm以下の長石を 僅かに含む	普通	-	390 -
1663	SR113	1	V~VI 焼脚部	器高(4.3)	-	+*	摩耗のため調整不 明	粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	普通	内面上に灰化物付着	390 -
1664	SR113	1	V~VI 鉢	器高(3.0)	-	+*。直線文。列点文(+*)	+	粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	普通	-	390 -
1665	SR114	1	V~VI 焼A2b	器高(2.7)	-	+++。刺突文。+*	+++	粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	-	392 -
1666	SR115	P6	V~VI 焼脚部	器高(5.0)	-	波状文。直線文。+*+*	+*	粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	-	396 -
1667	SR115	P6	V~VI 焼A	器高(4.4)	-	直線文。列点文。+*	+	粗。径2mm以下の長石を 僅かに含む	良	-	396 -
1668	SR115	P6	V~VI 焼A	器高(8.7)	-	刺突文。直線文(+*)。	+*	粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	外面上に灰化物付着	396 -
1669	SR115	P6	V~VI 焼A	底高8.4 底高(4.8)	底部2/4 以上	+*	+*	粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	-	396 -
1670	SR115	P6	V~VI 焼脚部	器高(3.5)	-	++*	++*	粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	-	396 -
1671	SR115	P8	VI 器身B1a	底高13.4 底高(12.4)	底部2/4 以上	+*。指輪正直	+*。+*+*。指 輪正直	粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	1穿孔1組3方向。 保有者(外観全 体)。開瓶部打ち 欠き?	396 216	
1672	SR115	P8	V~VI 焼A1?	器高(2.8)	-	+++。刺突文(口縁部)。+* 波旋(2×1組)。+*	+++	粗。径2mm以下の長石を 僅かに含む	良	-	396 -
1673	SR115	P8	V~VI 焼脚部	底高2.2 器高(4.5)	底部3/4 以上	+*。指輪頂直	+*	粗。径2mm以下の長石を 僅かに含む	良	外面上に付着有。底 部瓶打欠き?	396 -
1674	SR115	P8	V~VI 焼C?	器高(4.8)	口縁1	+*	+*	粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	-	396 -
1675	SR115	P8	V~VI 焼脚部	底高7.7 底部先	-	摩耗のため調整不 明。+*。+*。指輪頂直	+*	粗。径2mm以下の長石を 僅かに含む	良	保有者(内面全 体)	396 -
1676	SR115	P8	V~VI 焼脚部	底高(6.6)	存	+++。摩耗のため調整不 明。+*。指輪頂直	+*	粗。径2mm以下の長石を 僅かに含む	良	外面上に付着有。内 面赤色顔料付着	396 -
1676	SR115-P8	1	V~VI 焼脚部	器高(3.8)	存	+++。摩耗のため調整不 明。+*。指輪頂直	+*	粗。径2mm以下の長石を 僅かに含む	良	-	396 -

表129 土器類観察表 (63)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		出土	焼成	備考	特徴 回数	
						外面	内面					
1677	SB115	1	VI~VII 甕部	底径5.6 高さ(1.7)	底部1/4 未満	++?	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	内面に焼付着	296	-	
1678	SB115	1	VI~VII 甕部	器高(6.3)		+	やや密、径1mm以下の長 石・雲母を僅かに含む	普通	外面上に焼付着	296	-	
1679	SP0128	1	V~VI 甕部	器高(3.2)		直縁文、波状文	剥離のため調整不明	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	296	-	
1682	SB118 P6	1	V~VI 高脚甕a	器高(2.6)	口縁1 未満	++?	磨耗のため調整不明	やや密、径2mm以下の長 石・+?を僅かに含む	普通	402	-	
1684	SB118 P6	1	V~VI 脚a2	器高(3.1)	口縁1	ヨコテ?、直縁文	ヨコテ?	やや密、径2mm以下の長 石・+?を僅かに含む	普通	402	-	
1685	SB120	1	IV 甕	器高(6.9)		波状文、+?、直縁文	++	やや密、径2mm以下の長 石・+英・赤色顔化土粒 を僅かに含む	普通	外面上に焼付着、 同個体?	405	-
1686	SB120	1	IV 甕II	器高(7.2)		直縁文、波状文、直縁文、 +?	やや密、径2mm以下の長 石・+英・赤色顔化土粒 を僅かに含む	普通	外面上に焼付着、 1678と同個体?	405	-	
1687	SB121 P1	1	VI~VII 高脚C-d	器高(5.5)	口縁1	++?	++?	密	1穿孔直3方向、 外面上に焼付着	410	-	
1688	SB121 P3	1	VI~I 高脚E-I	口径10.7 器高(7.7)	口縁2	ヨコテ?、摩耗のため 剥離	+?、指痕E瓶	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	410	-	
1689	SB121 P3	1	VI~I 甕部	底径5.2 器高(7.4)	底部1/4 未満	++?	++? (脚部)	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	内面に焼付着、威 廉面に二次焼成痕	410	-
1690	SB121 P13	1	VI~I 甕E	口径12.2 器高(5.2) 最大径17.0	口縁12 底部完 存	++?、+?	++?、板け?、指痕 压痕	やや粗、径2mm以下の長 石・+英・+?を多く含む	普通	外面上に焼付着物 有り	410	209
1691	SB121 P14	1	VI~I 高脚B4	口径21.5 器高(5.5)	口縁3	+?、摩耗のため 剥離	++?、摩耗のため 剥離	密、径2mm以下の長石を 僅かに含む	良	410	-	
1692	SB121 P14	1	VI~I 高脚B3a	口径21.7 器高(4.1)	口縁2	+? (一次剥離)、摩耗の ため剥離	摩耗のため調整不 明	密、径2mm以下の長石を 僅かに含む	良	410	-	
1693	SB121 P14	1	VI~I 甕	口径13.2 器高(1.0)	口縁3	+?、摩耗のため 剥離	+?、指痕E瓶、輪 積み痕、摩耗の ため剥離	やや粗、径2mm以下の長 石・+?を多く含む	不良 可能性有り	1690と同個体の 可能性有り	410	-
1694	SB121 P14	1	VI~I 高脚B2n	口径13.5 器高(1.1)	口縁3	摩耗のため 調整不明	輪積み痕、+? (痕 跡)	密、径2mm以下の長石を 僅かに含む	普通	1穿孔直3方向	410	209
1695	SB121 P14	1	V~VI 脚台B1	底径12.9 器高(3.4)	底部1/4 未満	++?	++?	密	1穿孔直3方向?	410	-	
1696	SB121 P14	1	VI~I 甕J1	口径8.1 器高(1.0)	口縁3 底部完 存	++?	++?、指痕压痕	密、径2mm以下の長石を 僅かに含む	普通		410	212
1697	SB121 P14	1	VI~I 脚台	器高(2.6)		+?、摩耗のため 剥離	摩耗のため調整不 明	密、径2mm以下の長石・ +? (多)・赤色顔化土 粒を多く含む	1686と同個体の 可能性有り	410	209	
1698	SD0657	1	VI~I 高脚B2	底径11.2 器高(7.4)	底部1/2 未満	摩耗のため 調整不明	摩耗のため調整不 明	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	1穿孔直3方向	410	-	
1699	SD0657	1	VI~I 高脚B3b	口径22.0 器高(11.1)	口縁2	+?、摩耗のため 剥離	+?、+? (痕)、摩耗 のため剥離	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	1穿孔直3方向	410	209
1700	SD0657	1	高脚B2	器高(8.1)		摩耗のため 調整不明	摩耗のため調整不 明	密、+? (多)・赤色顔化土 粒を多く含む	1穿孔直3方向、 脚部打ち欠き	411	-	
1701	SD0657	1	VI~I 甕底	底径3.4 器高(2.1)	底部1/4	+?	+?	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	411	-	
1702	SD0657	1	VI~I 脚B	底径1.5 器高(1.7)	底部完 存	摩耗のため 調整不明	摩耗のため調整不 明	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	不良	411	-	
1703	SD0657	1	VI~I 高脚B3b	口径24.0 器高(13.7)	口縁3	+?	摩耗のため 調整不明	やや粗、+? (痕)・ 摩耗のため 剥離	外面上に焼付着	411	-	
1704	SK02574	1	VI~I 高脚H3	口径8.2 器高(1.4)	口縁2 底径11.4 器高2/4 以上 最大径14.5	++?、+?	++?、+? (痕)	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	1穿孔直3方向	411	209	
1707	SD0383	1	VI~I 脚A3a	口径15.0 器高(5.5)	口縁2	ヨコテ?、直縁文、直縁文 (+?)、直縁文、+? 指痕压痕	ヨコテ?、+?	やや密、径2mm以下の長 石・+?を、赤色顔化土 粒を僅かに含む	焼付着(外・底部)	428	-	
1708	SD0383	1	VI~I 脚A3b	口径17.4 器高(7.7)	口縁2	ヨコテ?、直縁文、直縁文 (+?)、直縁文、+? 指痕压痕	ヨコテ?、+? 輪積み痕、+?	やや密、径1mm以下の長 石・赤色顔化土粒を僅 かに含む	焼付着	428	-	
1709	SD0383	1	VI~I 脚A3a	口径16.0 器高(6.3)	口縁2 底部完 存	ヨコテ?、直縁文、直縁文 (+?)、直縁文、+? 直縁文	ヨコテ?、+? 輪積み痕、+?	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	焼付着(外全体)	428	217	
1710	SD0383	1	VI~I 脚A3a	口径16.2 器高(6.8)	口縁2 底部完 存	ヨコテ?、直縁文、直縁文 (+?)、直縁文、+? 直縁文	ヨコテ?、+? 輪積み痕、+?	やや密、径2mm以下の長 石・赤色顔化土粒を僅 かに含む	焼付着	428	217	

表130 土器類觀察表 (64)

No.	地区 遺構	層位	時期 部種分類	法面(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	神宮	國版
						外面	内面					
1711	S00383	1	VI-1 高H9II	口径15.4 底径10.3 最大径15.6	口縁1 底縁3/4 以上	13°+ (3°)	13°+、(3°)、切 面部に一次調整の 跡、2cm以下の中石を 側面に含む	良	穿孔1組2方 向、 口縁部・脚部打 ち欠き?	428	207 217	
1712	S00383	1	VI-1 高H9I	口径14.3 底径10.2 最大径12.6	口縁9 底縁6 以上	13°+ (3°)	13°+ (3°)、切 面部に含む	良	穿孔1組3方 向、 脚部打ち欠き?	428	207 218	
1713	S00383	1	VI-1 器子田2a	底径12.8 高さ11.9	底部1/4 以上	13°+ (3°)	13°+9°、24°+瓶、1 3°(無芯)	良	穿孔1組3方向 赤色陶化土粒を側面に 含む	428	218	
1714	S00383	1	VI-1 高H9IIIa	口縁27.5 高さ3.2	口縁1	(3°)(一次調整の 跡が残る)	13°+ (3°)	良	穿孔1組3方向 2cm以下の中石を 側面に含む	428	-	
1715	S00383	1	VI-1 器合B3	口径14.9 底径12.0 最大径15.3	口縁12 底縁3/4 以上	13°+ (3°)	13°+ (3°)、切 面部に含む	良	穿孔1組3方向 赤色陶化土粒を側面に 含む	428	207 218	
1716	S00383	1	VI-1 器合B1a	口径18.4 底径14.4 最大径18.6	口縁11 底縁2/4 以上	13°+ (3°)	13°+ (3°)、瓶、輪み痕	良	穿孔1組3方向 2cm以下の中石を 側面に含む	428	207 218	
1717	S00383	1	VI-1 高H9II	口縁8.2 底縁2.3 最大径15.2	口縁12 底縁3/4 以上	13°+ (3°)	13°+ (3°)、切 面部直瓶	良	穿孔1組3方向 2cm以下の中石を 側面に含む	429	207 219	
1718	S00383	1	VI-1 窓脚部	底径4.0 高さ(10.2) 最大径13.6	13°+ (3°)	13°+ (3°)、切 面部(脚 部下半)	13°+ (3°)	良	穿孔1組3方向 2cm以下の中石を 側面に含む	429	219	
1719	S00383	1	VI-1 窓底部	底径4.0 高さ(2.5)	底部充 分	13°+ (3°)	13°+	良	側面に外側に 保付着	429	-	
1720	S00383	1	VI-1 窓A	口縁8.2 底縁2.0 最大径25.6	口縁11 底縁3/4 以上	13°+ (3°)	13°+ (3°)、切 面部直瓶	良	保付着(外 面全 体)、口縁部打 ち欠き	429	207 218	
1721	S00383	1	VI-1 窓A3	口縁15.5 高さ(22.0) 最大径24.8	口縁10 底縁4 以上	13°+ (3°)	13°+ (3°)、輪み痕	良	外面に保付着	429	218	
1722	S00383	1	VI 燒鉢部	高さ(8.7)		13°+ (3°)	13°+	良	側面に保付着	429	-	
1723	S00383	1	VI-1 銚A3	口縁15.9 底縁7.8 最大径17.0	口縁2 底縁2/4 以上	13°+ (3°)	13°+、刺 突文、直瓶文 (3°)、輪 み痕	良	小中組、穿 孔1組以下の中 石を側面に含む	429	225	
1724	S00383	1	VI-1 銚A3b	口縁14.8 高さ(6.7)	口縁4 底縁3 以上	13°+ (3°)	13°+、刺 突文、直瓶文 (3°)、輪 み痕正瓶	良	外面に保付着	430	-	
1725	S00383	1	VI-1 器子田2a	口縁17.6 底縁6.0 最大径17.9	口縁11 底縁2/4 以上	13°+ (3°)	13°+ (3°)、輪 み痕	良	穿孔1組3方向 2cm以下の中石を 側面に含む	430	207 219	
1726	S00383	1	VI-1 銚C	口縁16.3 底縁5.1 最大径15.8	口縁2 底縁2/4 以上	13°+ (3°)	13°+	良	戴打痕? (内)、口 縁部打ち欠き	430	207 219	
1727	S00383	1	VI-1 高H9F	口縁17.2 底縁10.9 最大径13.2	口縁8 底縁3/4 以上	13°+ (3°)	13°+ (3°)、輪 み痕	良	穿孔1組4方向 2cm以下の中石を 側面に含む	430	207 219	
1728	S00383	1	VI-1 高H9IIIa	口縁26.8 高さ(5.6)	口縁3 底縁3/4 以上	13°+ (3°)	13°+ (3°)、切 面部直瓶	良	口縁部打 ち欠き?	430	-	
1729	S00383	1	VI-1 器合B1a	口縁16.0 底縁11.2 最大径13.4	口縁12 底縁3/4 以上	13°+ (3°)	13°+ (3°)、24°+瓶	良	穿孔1組3方向 2cm以下の中石を 側面に含む	430	207 220	
1730	S00383	1	VI-1 高H9IIIa	口縁23.4 高さ(4.8)	口縁1 底縁3/4 以上	13°+ (3°)	13°+、直 瓶(1束?)	良	穿孔1組3方向 2cm以下の中石を 側面に含む	430	-	
1731	S00383	1	VI-1 高H9IIIb	口縁29.6 高さ(6.7)	口縁7 底縁3/4 以上	13°+ (3°)	13°+ (3°)、切 面部直瓶	良	穿孔1組3方向 2cm以下の中石を 側面に含む	430	207 219	
1732	S00383	1	VI-1 器合B1a	口縁19.0 底縁13.4 最大径19.6	口縁10 底縁3/4 以上	13°+ (3°)	13°+、33°+、輪 み痕	良	穿孔1組3方向 2cm以下の中石を 側面に含む	430	207 220	
1733	S00383	1	VI-1 窓A2	口縁18.2 高さ(6.8)	口縁7 底縁6 以上	13°+、2個1編6ヶ所の円 形透空	13°+、板 模様、輪 み痕正瓶	良	外面に保付着	431	207 220	
1734	S00383	1	VI-1 窓B1	口縁14.8 高さ(7.2)	口縁6 底縁3/4 以上	13°+ (3°)	13°+、摩耗 著者	良	摩耗のため圓形不 規則、輪 み痕正瓶	431	-	
1735	S00383	1	VI-1 窓C	口縁17.3 最大径25.2		13°+ (3°)	13°+、相 頭正瓶	良	相頭正瓶、輪 み痕正瓶、相 頭著者	431	207 220	
1736	S00383	1	VI-1 窓B1	口縁11.9 高さ(10.9)	口縁7	13°+ (3°)	13°+、13°+、相 頭正瓶	良	13°+以下の中石を 側面に含む	431	207 220	

表131 土器類観察表 (65)

No	地区 遺構	層位	時期 層様分類	法董(董)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 説明
						外面	内面				
1730	SD0383	1	VI-1 側面脚部	踏高(8.1)	1/2	++?	+	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	脚部打ち欠き、 1726と同一個体	431	267 220
1738	SD0383	1	VI-1 側面底部	底高(4.4) 踏高(6.0)	底部2/4 以上	++?	板付? (+?)	密、径1mm以下の長石・ チリを僅かに含む	黒斑有り	431	267 220
1739	SD0383	1	VI-1 窓HSa	口径8.6 踏高(5.0) 最大径(4.3)	口縁 底高(15.0)	++?	++?、++?、++?	密、径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	良	431	267 221
1740	SD0383	1	VI-1 窓A2	口径16.3 底高(12.7) 最大径(8.2)	口縁11 底高(26.7)	板付(4枚)? 良	板付(4枚)?、円形浮 文、縫合部上に網突起、 縫合部に相應位置	密、径2mm以下の長石を 僅かに含む	織物有り(口縁内 側)、口縁部打 欠き? 脚部打ち欠 き	431	267 220
1741	SD0383	1	VI-1 窓B2	口径17.4 底高(12.5)	口縁11	++?	++?、++?	指頭正彌 压痕	密、径2mm以下の長石を 僅かに含む	外面部に傷付着	432 221
1742	SD0383	1	VI-1 窓A4	口径18.0 底高(12.5)	口縁13	++?	++?	密、径1mm以下の長石・ 石英、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	432	—
1743	SD0383	1	VI-1 窓B4	口径19.3 底高(4.8) 踏高(33.0) 最大径(14.1)	口縁13 底高(26.7)	++?	++?	ね付?、++?	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	外面部に炭化物付着	432 221
1744	SD0383	1	VI-1 窓H3	口径7.3 底高(12.9) 踏高(3.4) 最大径(14.1)	口縁12 底高(26.7)	++?	++?	指頭正彌、 压痕	密、径1mm以下の長石・ 石英を僅かに含む	良	432 268 222
1745	SD0383	1	VI-1 器皿柱部	口径18.5 底高(12.0)	口縁5	摩耗のため調整不明	摩耗のため調整不 明	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	1穿孔1組3方向	432	—
1746	SD0383	1	高脚部脚 部	底径13.2 底高(11.7)	底部1/4 以上	++?	++?、++?底	密、径2mm以下の長石を 僅かに含む	1穿孔1組3方向	432	268 222
1747	SD0383	1	V 高脚部脚 部	口径11.9 底高(9.9)	底部2/4 以上	++?	ね付?、++?	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	1穿孔1組3方向	432	268 222
1748	SD0383	1	V~VI 窓B1	口径14.4 踏高(6.5)	口縁3	摩耗のため調整不明	++?	やや密、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	不良	433	—
1749	SD0383	1	V 窓B2	口径6.0 底高(8.8) 踏高(12.7)	口縁12 底高(26.8)	摩耗のため調整不明	++?、++? 指頭正彌	やや粗、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	不良	433	193
1750	SD0383	1	V 窓A1b	口径10.0 踏高(4.3)	口縁6	縫合縫(3条)、++?	羽状文(?)、刺突 文、++?	やや密、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	外面部に耐付着 普通	433	—
1751	SD0383	1	VI-1 窓A1	口径17.7 踏高(8.4) 踏高(9.9) 最大径(20.6)	口縁6	++?	++?、刺突文、 縫合文、++?	やや粗、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	434	222
1752	SD0383	1	VI-1 窓A4b	口径17.7 踏高(8.4) 踏高(9.9) 最大径(18.0)	口縁6	++?	刺突文、直縫文、 ++?	やや密、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	434	223
1753	SD0383	1	V 高脚部脚 部B2b	口径21.6 底高(13.8)	口縁3	++?	++?	密、 径2mm以下の長石を 僅かに含む	破断面に二次焼成	434	—
1754	SD0383	1	VI-1 器皿柱部	口径19.5 踏高(7.5)	口縁3	++?	++?	密、 径1mm以下の長石を 僅かに含む	1穿孔1組3方向、 脚部打ち欠き?	434	—
1755	SD0383	1	VI-1 高脚部脚 部	口径14.9 底高(10.0)	口縁6	++?	++?、++?	密、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	脚部打ち欠き?	434	221
1756	SD0383	1	VI-1 高脚部脚 部C1a	口径25.7 踏高(8.0)	口縁2	++?	++?	密、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	外面部に傷付着	434	—
1757	SD0383	1	VI-1 高脚部脚 部C1b	口径9.0 踏高(7.3)	口縁3	++?	輪積み痕、 ++?	密、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	434	—
1758	SD0383	1	高脚部	口径24.8 踏高(16.4)	口縁7	++?	++?	密、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	1穿孔1組3方向、 脚部打ち欠き?	434	222
1759	SD0383	1	高脚部脚 部	口径10.8 踏高(7.3)	底部1/4 未高	++?	指頭正彌、++?	密、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	1穿孔1組3方向、 脚部内面剥落	434	—
1760	SD0383	1	VI-1 窓A4b	踏高(7.2)	++?	++?、++?	++?	密、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	434	—
1761	SD0383	1	VI-1 窓A4b	底高(5.8) 踏高(2.1)	底高完 存	++?	輪積み痕、++?	密、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	外面部に耐付着	434	222
1762	SD0383	1	V 窓A1b	口径18.8 踏高(11.4)	口縁2	縫合縫(4条)	3条の沈鉢、横羽状 文	やや密、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	内外面に傷付着、 赤彩り有り(外)	435	—
1763	SD0383	1	VI 窓A2b	口径13.8 踏高(6.5)	口縁2	++?	++?、刺突文(口縁部)、 刺突文、++?	やや密、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	外面部に傷付着	435	223
1764	SD0383	1	VI 窓A4	口径19.8 踏高(5.8)	口縁2	++?	++?、刺突文、++?	密、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	内外面に炭化物付 着	435	—

表132 土器類観察表 (66)

No.	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	神宮	國版
						外面	内面					
1765	SD0383	1	VI 櫛A2b	口径16.4 高さ(3.4)	口縁2 ナット	ヨリワツ、判定文、直線文、ヨリワツ		やや粗。径1mm以下の長石、赤色酸化土粒を多く含む	良		435	—
1766	SD0383	1	VI 櫛A4	口径17.2 高さ(7.8)	口縁3 ナット	ヨリワツ、ハラ、沈澱(3条?)ヨリワツ、指淵压痕		径1mm以下の長石、ナットを多く含む	良	外面に保付着	435	223
1767	SD0383	1	VI 櫛A4	口径19.4 高さ(19.0) 最大径25.0	口縁2 ナット	ヨリワツ、沈澱(3条?)、ハラ		径1mm以下の長石、赤色酸化土粒を僅かに含む	良	外面に保付着	435	221
1768	SD0383	1	VI～VII 櫛脚部	底径2.0 高さ(4.5)	底部充 分	ナット		径1mm以下の長石を僅かに含む	良		435	223
1769	SD0383	1	VI～VII 櫛脚部	底径2.2 高さ(4.9)	底部充 分	ナット、指淵压痕		やや粗。径1mm以下の長石を多く含む	良		435	—
1770	SD0383	1	VI～VII 櫛脚部	底径2.6 高さ(5.2) 以上	底径1/4 高さ(4.0)	指淵压痕、ナット		径1mm以下の長石を僅かに含む	良		435	—
1771	SD0383	1	VI 邊輪部	口徑2.7 (7.4)	ナット			径1mm以下の長石を僅かに含む	良	外面に保付着	435	—
1772	SD0383	1	VI～VII 櫛脚部	底径2.8 高さ(5.4)	底部1/4 充 分	ナット、指淵压痕		やや粗。径1mm以下の長石を僅かに含む	良	外面に保付着	435	—
1776	SD0564	1	VI～VII 櫛脚部	底径3.0 高さ(4.6)	底部充 分	ヨリナカナリナット	ヨリナカナリナット	径1mm以下の長石を僅かに含む	普通		438	—
1777	SD0564	1	VI～VII 櫛脚部	底径3.0 高さ(3.6)	底径1/4 充 分	ナット、ヨリナカナリナット		径1mm以下の長石を僅かに含む	良		438	—
1778	SD0564	1	VI 櫛脚部	底径3.0 高さ(3.8)	底部充 分	ナット、ヨリナカナリナット		径1mm以下の長石、赤色酸化土粒を僅かに含む	良	外面に保付着	438	208 223
1779	SD0564	1	IV 壺A	高さ(4.9)	ナット、波状文(ナラ)	ナット		径1mm以下の長石を僅かに含む	良	外面に保付着	438	—
1780	SD0564	1	VI～I 高脚壺	器高(16.3)	ナット	ナット、ナラ、ヨリナカナリナット		やや粗。径1mm以下の長石、赤色酸化土粒を僅かに含む	良		438	208 223
1781	SD0564	1	VI～I 壺B2a	口径11 高さ(12.0)	口縁10	ナット、ナラ、ヨリナカナリナット、輪縫み瓶、指淵压痕、ナット	ナット、輪縫み瓶、指淵压痕、ナット	やや粗。径3mm以下の石英、ナットを僅かに含む	普通	外面に保付着	438	208 222
1782	SD0564	1	VI～I 壺B2a	口径17.4 高さ(6.8)	口縁1	ナット、ナラ	ナット、指淵压痕	やや粗。径2mm以下の長石を僅かに含む	良		438	—
1783	SD0564	1	VI～VII 鉢F	底径2.8 高さ(4.4)	底径1/4 充 分	ナット、指淵压痕		やや粗。径3mm以下の石英を僅かに含む	普通		438	—
1784	SD0564	1	VI～VII 鉢B	底径3.8 高さ(5.1)	底径2/4 充 分	ナット、輪縫み瓶	ナット	やや粗。径3mm以下の石英、赤色酸化土粒を僅かに含む	普通		438	—
1785	SD0564	1	VI～VII 壺D	底径3.2 高さ(5.4)	底部充 分	ヨリナカナリナット	ナット	やや粗。径2mm以下の石英、赤色酸化土粒を僅かに含む	普通		438	208 223
1786	SD0564	1	VI～I 鉢A3b	口径11.1 底径2.8 高さ(9.4) 最大径18.4	口縁3 ナット、ハラ、ヨリナカナリナット	ナット、ナラ、ヨリナカナリナット		やや粗。径1mm以下の長石、赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	外面に保付着	438	224
1787	SD0564	1	VI～I 鉢E	口径8.8 底径2.3 高さ(6.2) 最大径10.0	口縁1 ナット	ヨリナカナリナット	ヨリナカナリナット	径2mm以下の長石、赤色酸化土粒を僅かに含む	普通		438	208 223
1788	SD0564	1	VI～VII 器台B	底径11.8 高さ(5.3)	底部1/4 充 分	摩耗のため調査不明	摩耗のため調査不明	やや粗。径2mm以下の石英、赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	1穿 孔1組3方向、断面に二次焼成	438	—
1789	SD0564	1	V～VI 器台	口径17.8 高さ(2.0)	口縁1	擬凹縫状(3条)、摩耗のため調査不明	横羽状文(ナラ)、摩耗のため調査不明	やや粗。径1mm以下の長石を僅かに含む	普通		438	—
1790	SD0564	1	VI～I 壺A	器高(7.6)	ナット	直線文(シラ)、刺突文、ヨリナカナリナット	輪縫み瓶、指淵压痕	やや粗。径2mm以下の石英、赤色酸化土粒を僅かに含む	普通		438	—
1791	SD0564	1	VI～I 壺C	口径8.8 底径2.2 高さ(1.5)	口縁2 底部充 分	ヨリナカナリナット、指淵压痕、輪縫み瓶	ナット、指淵压痕、輪縫み瓶	径1mm以下の石英、赤色酸化土粒を僅かに含む	良	D部打ち欠きナラ	438	208 221
1792	SD0564	1	VI～I 壺C	口径12.5 底径4.4 高さ(4.0)	口縁12 底部充 分	ヨリナカナリナット(口縁部)、ナット、特に張帯文周辺(脚部)、特に2種の工具、ヨリナカナリナット(脚部)	ナット、中央部は板状、ナットは2種の工具、ヨリナカナリナット(脚部)	径1mm以下の長石を僅かに含む	良	複刻有り	439	208 225
1793	SD0564	1	VI～I 壺A脚部	底径4.0 高さ(30.3)	底部3/4 充 分	刺突文、直線文、ヨリナカナリナット	ヨリナカナリナット、指淵压痕	やや粗。径1mm以下の長石を僅かに含む	普通	外間に供物付着	439	208 224
1794	SD0564	1	V 高脚壺B	口径12.7 高さ(28.4)	口縁6 底部充 分	ヨリナカナリナット、ヨリナカナリナット	ヨリナカナリナット、板状	やや粗。径2mm以下の長石、赤色酸化土粒を多く含む	良	1穿 孔1組3方向、脚部打ち欠きナラ	439	208 224
1795	SD0564	1	VI～I 壺B2	底径8.4 高さ(27.1)	底部充 分	ヨリナカナリナット	ヨリナカナリナット、指淵压痕	やや粗。径2mm以下の長石、赤色酸化土粒を多く含む	普通		439	208 224
1796	SD0564	1	VI～I 壺解部	底径8.4 高さ(23.4)	底部充 分	ヨリナカナリナット	ヨリナカナリナット、摩耗のため調査困難	やや粗。径1mm以下の長石、赤色酸化土粒を多く含む	良		439	208 224

表133 土器類観察表 (67)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		出土	焼成	備考	傳説・國版
						外面	内面				
1797	SD0566	1	VI 櫛目B	底径11.6 器高(2.0)	底面1/4 以上	口縁3 付	口縁3 付	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	1掌1.8m3方向	444 -
1798	SD0566	1	VI 高H-B2b	口徑24.0 器高(2.7)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	外面に保付着	444 -
1799	SD0566	1	手縫E	底径2.9 器高(2.9)	底面 存	口縁3 付	口縁3 付	やや粗、径1mm以下の長 石・石粉を僅かに含む	普通	断面拡張している 部分は縫部打ち欠 け	444 225
1800	SD0566	1	VI 鋸E3a	口徑18.0 器高(7.2)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	外面に保付着	444 -
1801	SD0566	1	VI 鋸B1	口徑13.0 器高(5.9)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	444 -	
1802	SD0566	1	V 高H-B2a	器高(2.3)	直縫文、 刻文	直縫文、 刻文	直縫文、 刻文	沈縫(2.3)、ヨコテ 母を僅かに含む	良	444 -	
1803	SD0566	1	V 櫛目E	器高(5.1)	直縫文、 刻文	直縫文、 刻文	直縫文、 刻文	やや粗、径2mm以下の長 石・石粉を僅かに含む	良	外面に保付着	444 -
1804	SD0566	1	VI 鋸A1	口徑18.8 器高(4.6)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	やや粗、直縫文、直縫文 を僅かに含む	普通	外面に灰化物付着	444 -
1805	SD0566	1	VI 鋸B	底径9.9 器高(4.1)	底面1/4 以上	口縁3 付	口縁3 付	やや粗、指頭圧痕 を僅かに含む	良	444 -	
1806	SD0566	1	VI 鋸?	底径3.4 器高(1.6)	底面2/4 以上	口縁3 付	口縁3 付	やや粗、指頭圧痕 を僅かに含む	良	444 -	
1807	SD0566	1	VI 高H-B2d	口徑27.3 器高(6.7)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	やや粗、摩耗显著 を僅かに含む	普通	444 -	
1808	SD0566	1	VI 高H-B2b	口徑18.0 器高(4.5)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	やや粗、摩耗のため調整不 明	普通	444 -	
1809	SD0566	1	V 高H-B2b	口徑26.8 器高(4.0)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	沈縫、ヨコテ 母を僅かに含む	良	444 -	
1810	SD0566	1	VI 窓D3a	口徑10.7 器高(2.7)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	沈縫、刻文、 直縫文	良	444 -	
1811	SD0566	1	V 窓D1	口徑13.7 器高(3.7)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	摩耗のため調整不 明	普通	口縫部打ち欠き?	444 -
1812	SD0566	1	VI 窓D2	口徑11.1 器高(4.8)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	摩耗のため調整不 明	普通	444 -	
1813	SD0566	1	V 櫛E2	口徑18.1 器高(2.7)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	摩耗のため調整不 明	普通	444 -	
1814	SD0566	1	V~VI 鋸E2	口徑14.6 器高(2.3)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	モロコシ著 を僅かに含む	良	444 -	
1815	SD0566	1	VI 變A3	口徑19.3 器高(4.3)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	直縫文、刻文(?)	普通	外面に保付着	444 -
1816	SD0566	1	V 鋸A1	器高(3.8)	直縫文、 刻文	直縫文、 刻文	直縫文、 刻文	沈縫、ヨコテ 母を僅かに含む	普通	444 -	
1817	SD0566	1	V~VI 櫛E2	口徑15.6 器高(1.5)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	沈縫、刻文(口縫部・ 脚部)、直縫文(?)、 ヨコテ	指頭圧痕 を僅かに含む	444 225	
1818	SD0566	1	V~VI 櫛E3a	底径8.8 器高(18.0)	底面2/4 存	口縁3 付	口縁3 付	摩耗著 を僅かに含む	普通	内外面に灰化物付 着	444 217
1819	SD0566	1	V 櫛E3b	底径10.8 器高(17.0)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	モロコシ著 を僅かに含む	普通	外面に保付着	445 217
1820	SD0566	1	VI 窓C2	口徑14.4 器高(11.7)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	モロコシ著 を僅かに含む	普通	445 217	
1821	SB588	1	VI 鋸E3	口徑19.4 器高(2.7)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	直縫文	普通	449 -	
1822	SB588	1	V~VI 窓D3a	口徑14.0 器高(10.8)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	モロコシ著 を僅かに含む	普通	449 192	
1823	SB588	1	V~VI 窓D3b	口徑14.0 器高(3.8)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	直縫文	普通	449 -	
1824	SB588	1	V~VI 窓D3b	口徑17.9 器高(4.0)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	摩耗のため調整不 明	普通	449 -	
1825	SB588	1	V~VI 櫛E3	器高(19.5) 最大径23.3	直縫文(?)、山形文、 直縫文(6系)、山形文、 ヨコテ	直縫文(?)、山形文、 直縫文(6系)、山形文、 ヨコテ	直縫文(?)、山形文、 直縫文(?)	モロコシ著 を僅かに含む	普通	外面に彩有り	449 191
1826	SB588	1	IX 變	口徑14.0 器高(7.8)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	モロコシ著 を僅かに含む	普通	449 -	
1827	SB588	1	IX 變	口徑14.6 器高(4.0)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	モロコシ著 を僅かに含む	普通	449 -	
1828	SB588	1	V 櫛E1	口徑11.8 器高(3.3)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	モロコシ著 を僅かに含む	普通	449 -	
1829	SB588	1	V~VI 櫛E2	口徑12.2 器高(4.9)	口縁3 付	口縁3 付	口縁3 付	モロコシ著 を多く含む	普通	449 -	

表134 土器類観察表 (68)

No.	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法面(cm)	残存率 (3/12)	調整		胎土	焼成	備考	神宮	閑院
						外面	内面					
1830	SB588	I	IV～V 甕B	口径34.4 器高(11.6)	口縁6	±27°、+/-	±27°、+/-	やや密、径3mm以下の右 肩・ナット・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	外面に保付着	449	191
1831	SB588	I	VI 手捏E2A	口径7.0 底径3.0 器高(6.3) 最大径(6.0)	口縁2	±27°、+/-	±27°、+/-	やや密、径1mm以下のナ ット・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	外面に保付着	449	204
1835	SD0652	I	VII 壺E4A	口径9.2 底径7.7 器高(6.7)	口縁1	+/-	+/-	径2mm以下の長石を 僅かに含む	良	外間に保付着	457	210
1836	SD0652	I	V 手捏E2C	口径6.5 底径3.0 器高(6.3) 最大径(6.7)	口縁5 底部充 存	+/-、指頭江瓶	指頭江瓶	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	口縁部打ち欠き?	457	-
1837	SD0652	I	V 手捏E2C	口径6.3 底径3.8 器高(6.2) 最大径(6.7)	口縁5 底部充 存	+/-	指頭江瓶	やや密、径1mm以下の長 石・雲母を僅かに含む	普通	口縁部打ち欠き?	457	212
1838	SD0652	I	V 手捏E2C	口径6.6 底径3.1 器高(6.2) 最大径(6.8)	口縁1 底部充 存	13種1 +/-	指頭江瓶	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	457	212	
1839	SD0652	I	V 壺E2C	口径6.1 底径(4.6)	底部1/4 以上	+/-	+/-	径、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	457	-	
1840	SD0652	I	V 壺II	口径10.1 底径(8.4) 最大径(12.4)	口縁1	+/-、摩擦顯著	指頭江瓶、輪縫み 瓶、摩擦顯著	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	457	-	
1841	SD0652	I	VII 底底部	口径6.6 底径(6.6) 最大径9.6	底部充 存	+/-、複合凹凸に顯著な 底	指頭江瓶	やや密、径1mm以下の長 石・ナットを僅かに含む	普通	457	-	
1842	SD0652	I	V 手捏E2D	口径10.3 底径5.0 器高(6.2) 最大径10.6	口縁1 底部3/4 以上	+/-、指頭江瓶	+/-、指頭江瓶	やや密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	457	212	
1843	SD0652	I	VI～VII 高H3C・ 4C	器高(3.0)	+/-、摩擦顯著	沈底(11条)	+/-	径、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	457	-	
1844	SD0652	I	VI 器台II	口径16.4 器高(2.5)	口縁3	摩耗のため調査不明	+/-	やや密、径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を多く含 む	良	457	-	
1845	SD0652	I	VI 器台IIIc	口径15.9 器高(1.9)	口縁2	指頭瓶(2条)、+/-	+/-	やや密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	赤色酸化土粒(内 外)?	457	-	
1846	SD0652	I	VI 器台III	口径17.6 器高(5.6)	口縁2	+/-	+/-	やや密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	457	210	
1847	SD0652	I	V～VI 高H3B	器高(11.7)	+/-	+/-、+/-?	+/-	やや密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	1穿孔1組3方向	457	210	
1848	SD0652	I	V～VI 高H3C	器高(13.5)	+/-	+/-、+/-瓶	+/-	やや密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	1穿孔1組3方向、 外外面に摩擦有り	457	210	
1849	SD0652	I	V～VI 器台B	器高(7.6)	+/-	+/-、板状?	+/-	やや密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	457	-	
1850	SD0652	I	V～VI 高H3B	底径14.2 器高(4.5)	+/-	+/-	+/-	やや密、径2mm以下の長 石を僅かに含む	1穿孔1組3方向	457	-	
1851	SD0652	I	VI 器台B	器高(10.9)	+/-	+/-、+/-?	+/-	やや密、径2mm以下の長 石を多く含む	1穿孔1組3方向	457	-	
1852	SD0652	I	VI～VII 壺IIIa	口径7.6 器高(6.7)	口縁2	+/-?	+/-?	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	457	-	
1853	SD0652	I	VI～VII 壺E4A	底径2.3 器高(10.2) 最大径16.8	底部2/4 以上	+/-	指頭江瓶、輪 縫み瓶	やや密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	457	209	
1854	SD0652	I	VI 器D3	口径16.1 器高(9.2)	口縁2	+/-、+/-、直隣文、 指頭江瓶	+/-、+/-、直隣文、 指頭江瓶	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	457	211	
1855	SD0652	I	V～VI 壺E4A	器高(5.7)	+/-?	+/-?	+/-、指頭江瓶、輪 縫み瓶	やや密、径1mm以下の長石を 多く含む	良	457	-	
1856	SD0652	I	V～VI 壺A1	口径14.2 器高(5.1)	口縁2	輪縫の繩3条(口縁部)、 キザミ(口縁部)、沈 底(6条)?、沈底(6条)?、 輪縫状文?	+/-、指頭江瓶、輪 縫み瓶	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	458	-	
1857	SD0652	I	V～VI 甕E3	口径13.3 器高(3.3)	口縁2	+/-、+/-	+/-、+/-	やや密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	458	-	
1858	SD0652	I	VI 甕E3	口径18.2 器高(2.9)	口縁2	+/-のち+/-	+/-	やや密、径1mm以下の長 石・ナットを僅かに含む	外間に保付着	458	-	
1859	SD0652	I	V 壺II	口径12.2 器高(3.8)	口縁2	+/-、+/-	+/-、輪縫み瓶	やや密、径1mm以下の長 石・雲母を僅かに含む	普通	458	-	
1860	SD0652	I	V 壺II	口径17.9 器高(8.0)	口縁2	刺突文(口縁部・脚部)、 +/-、直隣文(+/-)、 輪縫状文?	+/-、指頭江瓶	やや密、径1mm以下の長 石を多く含む	普通	458	211	
1861	SD0652	I	V 甕E3	底径2.7 器高(9.2) 最大径11.3	+/-	+/-、指頭江瓶	+/-	やや密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	内外間に保付着、 脚部打ち欠き?	458	212	
1862	SD0652	I	VI 壺II	口径9.0 器高(5.7) 最大径11.3	口縁3	+/-	+/-、指頭江瓶	やや密、径2mm以下の長 石を僅かに含む	口縁部打ち欠き?	459	210	

表135 土器類観察表 (69)

No	地区 遺物	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		出土	焼成	備考	備註 国際	
						外面	内面					
1863	S00652	1	V～VI 鉢A2	口径12.8 高さ(2.6)	口縁12 口縁12 リ	刺突文(口縁部), 沈窓(～1cm), 相撲底窓 英を僅かに含む	やや密, 径4mm以下の石 英を僅かに含む	普通	内外面焼化物付着	459	210	
1864	S00652	1	V 鉢A1	口径14.1 高さ(6.5)	口縁2 口縁2 リ	ミツテ, 直線文, 刺突文, や, 相撲底窓 英を僅かに含む	やや密, 径2mm以下の長 石を多く含む	普通	外面焼化物付着	459	-	
1865	S00652	1	V 高坪13	口径12.0 底径1.4 器高9.7 最大径15.9	口縁2 口縁2 リ	ハ, 相撲底窓 英を僅かに含む	やや密, 径4mm以下の石 英を僅かに含む	普通	普通	459	212	
1866	S00652	1	V～VI 鉢A1	口径16.2 底径1.4 器高6.4	口縁1 口縁1 リ	ミツテ, 刺突文(～?), ハ, 直線文(リ), ハ, リ 英を僅かに含む	やや密, 径4mm以下の長 石を僅かに含む	普通	外面焼化物付着	459	-	
1867	S00652	1	V～VI 鉢A1	口径13.3 底径(7.5) 最大径18.7	口縁5 口縁5 リ	ミツテ, 刺突文, 直線文 2帯(木目状の文), ハ, リ のひら	ハ, 相撲底窓, 輪 積み瓶 英を僅かに含む	やや密, 径4mm以下の長 石を僅かに含む	普通	459	212	
1868	S00652	1	V～VI 鉢A3b	口径14.7 底径1.7 器高9.3 最大径16.7	口縁3 口縁3 リ	刺突文(リ), ハ, 直線文, リ, ハ(粗)	やや密, 径3mm以下の長 石を僅かに含む	普通	普通	459	212	
1869	S00652	1	V～VI 鉢A3a	口径17.7 高さ(6.7)	口縁3 リ	ミツテ, 刺突文(リ), 直線 文2帯(木目状の文), ハ, リ のひら	ハ, 相撲底窓, 輪 積み瓶 英を僅かに含む	やや密, 径4mm以下の長 石を僅かに含む	普通	外面焼化物付着	459	212
1870	S00652	1	V～VI 高坪13 器高(3.8)	口径18.2 リ	口縁1 リ	摩耗しているが(リ)モ リ	摩耗しているが(リ)モ リ	やや密, 径4mm以下の長 石を僅かに含む	普通	459	-	
1871	S00652	1	V 高坪C4b	器高(4.1)	リ	リ	リ	普通(4条)(リ) 普通(6条) リ	普通, 径3mm以下の石英を 僅かに含む	良	459	-
1872	S00652	1	V 高坪B部	器高(6.5)	リ	リ	リ	リ	やや密, 径5mm以下の長 石を僅かに含む	普通	459	-
1873	S00652	1	V～VI 高坪B3a	口径29.3 高さ(5.8)	口縁2 リ	リ	リ	普通, 径2mm以下の石英を 僅かに含む	良	459	-	
1874	S00652	1	V～VI 高坪B部	底径11.1 器高(11.6) 末溝	リ	のちリ	リ	リ	相撲底窓, ハ, リ	1穿孔1縫3方向, 輪打ち欠き2, 断面に二次焼成痕	459	210
1875	S00652	1	V～VI 高坪B部	口径15.5 器高(12.4) 以上	リ	リ	リ	リ	相撲底窓, ハ, リ	1穿孔1縫3方向	459	-
1876	S00652	1	V～VI 高坪13	口径29.3 器高(10.4)	口縁3 リ	リ	リ	リ	相撲底窓, 輪 積み瓶 英を僅かに含む	1穿孔1縫3方向, 良 外側に側付着, 輪 打孔為に欠損	459	211
1877	S00652	1	V～VI 高坪B部	器高(10.7)	リ	リ	リ	リ	相撲底窓, 輪 積み瓶 英を僅かに含む	1穿孔1縫3方向	460	-
1878	S00652	1	V～VI 高坪B部	器高(9.8)	リ	リ	リ	リ	相撲底窓, 不明な工 具痕	1穿孔1縫3方向	460	-
1879	S00652	1	V～VI 高坪B部	器高(11.1)	リ	リ	リ	リ	相撲底窓, ハ, リ	不穿孔1縫3方向	460	-
1880	S00652	1	V～VI 高坪B部	器高(10.0)	リ	リ	リ	リ	相撲底窓, ハ, リ	2穿孔1縫3方向, 内面 側に付着	460	-
1881	S00652	1	V～VI 高坪13	器高(8.1)	リ	のちリ	リ	リ	相撲底窓, ハ, リ	やや密, 径2mm以下の石 英を僅かに含む	460	-
1882	S00652	1	V 高坪B部	器高(7.1)	リ	リ	リ	リ	相撲底窓, ハ, リ	1穿孔1縫3方向?	460	-
1883	S00652	1	V 高坪B部	器高(5.4)	リ	リ	リ	リ	相撲底窓, ハ, リ	やや密, 径2mm以下の石 英を僅かに含む	460	-
1884	S00652	1	V 透底部	底径3.1 器高(11.4)	リ	リ	リ	リ	相撲底窓, ハ, リ	やや密, 赤色酸化土粒を僅 かに含む	460	-
1885	S00652	1	V 鉢A4	口径15.7 高さ(8.3)	リ	直線文2帯, ハ, リ 刺突文, ハ, リ	相撲底窓	やや密, 相撲底窓	やや密, 相撲底窓, 輪 積み瓶	460	210	
1886	S00652	1	V 透底部	口径15.8 高さ(7.5)	リ	リ	リ	リ	相撲底窓	やや密, 径2mm以下の長 石を僅かに含む	460	210
1887	S00652	1	V～VI 透底部	口径14.8 器高(5.1)	リ	円形浮文(口縁部), ハ リ	リ	リ	相撲底窓, ハ, リ	やや密, 径3mm以下の石 英, 赤色酸化土粒を僅 かに含む	460	-
1888	S00652	1	V～VI 曲胴部	器高(5.2)	リ	リ	リ	リ	相撲底窓	やや密, 径4mm以下の石 英, 赤色酸化土粒を僅 かに含む	460	-
1889	S00652	1	V 透底部	底径3.0 器高(5.5)	リ	リ	リ	リ	相撲底窓, ハ, リ	やや密, 径2mm以下の長 石を僅かに含む	460	212
1890	S00652	1	V 透底部	底径3.0 器高(3.3)	リ	リ	リ	リ	相撲底窓, ハ, リ	やや密, 径2mm以下の石 英を僅かに含む	460	-
1891	S00652	1	V～VI 透底部	底径7.8 器高(4.6)	リ	リ	リ	リ	相撲底窓	やや密, 径4mm以下の石 英を僅かに含む	460	-

表136 土器類觀察表 (70)

No	地区 遺構	層期 階級分類	法量(cm)	残存率 (V/12)	調整		駄土	堆成	備考	博認 回復
					外縁	内面				
1892	S00652	I	V~VI 焼却部	底径7.4 高さ(5.4)	底径完 存	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1893	S00652	I	V~VI 焼却部	底径6.9 高さ(4.6)	底径1/4 以上	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1894	S00652	I	V~VI 焼却部	底径5.8 高さ(3.8)	底径2/4 以上	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1895	S00652	I	IV 鉢C	口径11.0 高さ(0.7)	口縁3	刺突文, 3つリ。直瓶文。 少少 含む	刺突文, 3つリ。直瓶文。 少少 含む	刺突文, 3つリ。直瓶文。 少少 含む	刺突文, 3つリ。直瓶文。 少少 含む	刺突文, 3つリ。直瓶文。 少少 含む
1896	S00652	I	V~VI 鉢C	口径17.0 高さ(5.0)	口縁3	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1897	S00652	I	V~VI 鉢A2B	口径17.0 高さ(5.0)	口縁3	2つリ。刺突文, 直瓶文。 少少 含む	2つリ。刺突文, 直瓶文。 少少 含む	2つリ。刺突文, 直瓶文。 少少 含む	2つリ。刺突文, 直瓶文。 少少 含む	2つリ。刺突文, 直瓶文。 少少 含む
1898	S00652	I	V 焼却部	底径7.2 高さ(5.4)	底径完 存	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1899	S00652	I	VI~VII 手捏ねC	口径9.4 底径8.8 高さ(4.2)	底径2/4 以上	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1900	S00652	I	V~VI 焼却	口径23.4 高さ(6.4)	口縁2	刺突文, 少少 含む	刺突文, 少少 含む	刺突文, 少少 含む	刺突文, 少少 含む	刺突文, 少少 含む
1901	S00652	I	V~VI 高付鉢	口径23.8 高さ(3.5)	口縁1	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1902	S00652	I	VI~VII 手捏ねC	口径14.0 高さ(6.6)	口縁6	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1903	S00652	I	VI~VII 高付鉢	口径22.3 高さ(3.8)	口縁1	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1904	S00652	I	V~VI 壺III	口径8.7 高さ(5.7)	口縁1	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1905	S00652	I	VI~VII 壺II	口径9.2 高さ(5.7) 最大径10.2	口縁2	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1906	S00652	I	VI~VII 手捏ねC	口径8.7 高さ(6.0) 底径6.0	口縁1	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1907	S00652	I	VI~VII 壺III	口径12.3 高さ(10.9) 最大径13.9	口縁1	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1908	S00652	I	V 壺II	口径13.6 高さ(1.9)	口縁2	列点文	摩耗のため調査不 明	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1909	S00652	I	VI~VII 壺II?	口径13.1 底径10.8 高さ(23.4) 未調	口縁1/4	直瓶文, 山形文(少) 少少 含む	直瓶文, 山形文(少) 少少 含む	直瓶文, 山形文(少) 少少 含む	直瓶文, 山形文(少) 少少 含む	直瓶文, 山形文(少) 少少 含む
1910	S00652	I	VI~VII 壺IIII	口径17.5 高さ(17.3) 最大径26.7	口縁1	擬圓窓, 刺突文, 直瓶文	拟圓窓, 刺突文, 直瓶文	拟圓窓, 刺突文, 直瓶文	拟圓窓, 刺突文, 直瓶文	拟圓窓, 刺突文, 直瓶文
1911	S00652	I	V~VI 高付鉢	口径25.6 高さ(3.5)	口縁2	少少 含む	摩耗のため調査不 明	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1912	S00652	I	V~VI 高付鉢	口径6.4	口縁1	少少 含む	摩耗のため調査不 明	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1913	S00652	I	VI~VII 高付鉢C	口径7.0	口縁1	少少 含む	摩耗のため調査不 明	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1914	S00652	I	VI~VII 壺C	口径15.1 高さ(7.6)	口縁1	少少 含む	指頭圧痕, 輪縫み瓶	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1915	S00652	I	V~VI 壺II	口径17.8 高さ(9.4)	口縁1	列点文(口縁部), 少少 含む	直瓶文, 山形文(側面) 少少 含む	直瓶文, 山形文(側面) 少少 含む	直瓶文, 山形文(側面) 少少 含む	直瓶文, 山形文(側面) 少少 含む
1916	S00652	I	V~VI 壺IIII	口径14.4 高さ(3.9)	底径完 存	少少 含む	摩耗のため調査不 明	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1917	S00652	I	VI~VII 焼却部	底径8.2 高さ(3.8)	底径完 存	少少 含む	少少 含む	指頭圧痕, 3つリ	指頭圧痕, 3つリ	指頭圧痕, 3つリ
1918	S00652	I	VI~VII 焼却部	底径8.2 高さ(6.7)	底径2/4 以上	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1938	S00466	I	V~VI 高付鉢	口径26.0 高さ(6.4)	口縁1	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1939	S00466	I	VI~VII 壺IIII	口径18.0 高さ(2.2)	口縁2	擬圓窓(4条)	羽状文	少少 含む	少少 含む	少少 含む
1940	S00467	I	IV~V 壺IIII	口径26.6 高さ(6.4)	底径完 存	少少 含む	摩耗のため調査不 明	指頭圧痕	少少 含む	少少 含む

表137 土器類観察表 (71)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 国際
						外面	内面				
1941	SD0467	1	V~VI 鍋底部	口径9.9 器高(3.4)	底径9.9 底部完 存	付、付	指頭正頬	やや密、径1mm以下の長 石・石英・チリ・赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通	469	-
1942	SD0467	1	V 甕B1b	口径12.8 器高(4.9)	口縁4	刺突文、付	磨耗のため調整不 明	やや密、径1mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	469	-
1943	SD0467	1	V~VI 甕B2b	口径18.6 器高(4.5)	口縁3	刺突文、付付、付	付、径1mm以下のチリ・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	普通	469	-	
1944	SD0467	1	V~VI 甕底部	底径12.7 器高(4.0)	底径3/4 以上	付、付	付	やや密、径1mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	内外面黒斑有り	469	-
1945	SD0467	1	VI 器台B1	口径17.5 器高(9.0)	口縁7	13%、磨耗著しい	付、磨耗著しい	やや密、径1mm以下のチ リ・赤色酸化土粒を僅 かに含む	1穿孔1組3方向	469	189
1946	SD0467	1	VI 器台B1	口径17.5 器高(8.2)	口縁5	磨耗のため調整不 明	磨耗のため調整不 明	やや密、径1mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	469	-
1947	SD0467	1	V~VI 甕B1	口径13.6 器高(4.6)	口縁2	磨耗のため調整不 明	磨耗のため調整不 明	やや密、径3mm以下の長 石・チリを多く含む	普通	469	-
1948	SD0468	1	VI 甕B1a	口径9.0 器高(5.9)	口縁4	付付	付、付付	密、径1mm以下の長 石・チリを僅かに含む	内外面に煤付着	469	-
1949	SD0469	1	V 高身1脚 部	底径8.0 器高(4.7)	底径3/4 以上	付付	付付	やや密、径2mm以下の長 石・チリを僅かに含む	1穿孔1組3方向	469	-
1950	SD0469	1	V 甕A2b	口径14.0 器高(3.7)	口縁2	付付、刺突文、付、直 縫文(6条)	付付、付付	やや密、径3mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	469	-
1951	SD0475	1	V~VI 絹B2	口径12.9 底径5.3 最大径13.1	口縁3	33%付	指頭正頬、 ツメ板、付	33%付、指頭正頬、 ツメ板、付	底部孔有り	472	191
1952	SD0475	1	VI 器台B1a	口径21.0 器高(11.7)	口縁3	33%付、横位の付、縦位 の付、付	33%付、付付、付付、 付	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	1穿孔1組3方向	472	-
1953	SD0475	1	VI 器台B1a 脚部	底径11.4 器高(10.6)	底径3/4 以上	付	付、指頭正頬	やや密、径1mm以下の長 石・チリを僅かに含む	1穿孔1組3方向	472	-
1954	SD0475	1	VI 甕B1a	口径10.2 底径5.3 最大径10.5	口縁11 底径1/4 以上	縦位・横位の付	縦位・横位の付、 指頭正頬、輪縫2個、 付	やや密、径1mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良	472	-
1955	SD0475	1	V~VI 甕B2	底径3.1 器高(11)	底部完 存	付付	33%付、指頭正頬、 板付	33%付、指頭正頬、 板付	脚部孔有り	472	-
1956	SD0475	1	IV 甕B2	口径16.0 器高(4.7)	口縁3	33%付、刺突文、付	33%付、輪縫5個	やや密、径5mm以下の長 石・石英・チリを僅かに 含む	良	472	-
1957	SD0475	1	V~VI 甕A3	口径20.0 器高(6.5)	口縁3	33%付、指頭正頬、直縫 文(6条)、刺突文、付	33%付、指頭正頬、 付	やや密、径1mm以下の長 石・チリを僅かに含む	外面に煤付着	472	-
1958	SD0475	1	V 土製品	長6.4 幅3.4 厚さ1		付	波状文	やや密、波状文	外面に炭化物付着	472	-
1959	SD0476	1	VII~VIII 甕胴部	底径6.0 器高(2.8) 最大径23.4	底部完 存	付	指頭正頬、輪縫5個、 付	遊、径1mm以下の長石・ チリを僅かに含む	外面に煤付着	474	-
1960	SD0476	1	VII~VIII 甕胴部	底径5.8 器高(12.9) 最大径13.9	底部完 存	付	指頭正頬、直縫 文(6条)、刺突文、 指頭正頬	やや密、径1mm以下の長 石・チリを多く含む	普通	477	263
1962	SD0538	1	V 高身B2b	口径12.8		調整不明	調整不明	遊、径1mm以下の長石・ チリを僅かに含む	良	477	-
1963	SD0485	1	IV 甕B2	口径28.0 器高(2.0)	口縁1	付付、波状文	付付	やや密、径1mm以下の長 石・チリを僅かに含む	外面に炭化物付着	479	-
1964	SD0485	1	VII~VIII 甕胴部	底径7.0 器高(4.6)	底径2/4 以上	付、付	付	やや密、径1mm以下の長 石・チリを僅かに含む	内外面に煤付着	479	-
1965	SD0487	1	IV 甕A2	口径15.4 器高(5.6)	口縁3	付付、付、付	付付、付	やや密、径1mm以下の長 石・チリを僅かに含む	普通	483	-
1966	SD0490	1	V 高身B2b	口径20.2 器高(3.8)	口縁3	33%、磨耗著しい	33%、磨耗著しい	やや密、輪縫5個を 多く含む	外面に煤付着	483	-
1967	SD0490	1	V 器台B1	口径16.0 器高(3.8)	口縁8	円形浮文(6個4方 向)、33%、付	付付	やや密、円形浮文(6個4方 向)を多く含む	口縫部内部から縫 部に煤付着	483	-
1968	SD0490	1	V~VII 甕C	口径12.0 器高(7.6)	口縁3	付付、指頭正頬、 刺突文、付	付付、指頭正頬	やや密、径1mm以下の長 石・チリを僅かに含む	口縫部打ち欠き	483	-
1971	SD0506	1	V~VI 絹B3a	口径13.4 器高(7.6) 最大径15.0	口縁4	刺突文、付付、直縫文、 刺突文、付	付付、指頭正頬	やや密、直縫文(6個)・ 赤色酸化土粒を僅かに含む	外面に僅、炭化物 付着	483	-

表138 土器類觀察表 (72)

表139 土器類観察表 (73)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 回数	
						外面	内面					
1994 SD0495	1	V 器A	器高(8.0)	-	少少の付着	焼けたため調査不明	否、径3mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	不良	1穿孔1組3方向	494	-	
1995 SD0495	1	V1～V6 器A・B	底径5.0 器高(21.5)	底部2/4以上	少少の付着	少少、指頭圧痕	否、径4mm以下のチャートを僅かに含む	普通	494	-		
1996 SD0495	1	V1～VI 器B3a	口径15.0 器高(4.9)	口縁3	少少付着、少少の付着	少少、少少	否、径3mm以下の長石を僅かに含む	良	内外面に環付着	495	-	
1997 SD0495	1	V1～VII 器A3	口径17.0 器高(4.6)	口縁3	指頭凹面、少少の付着	少少、少少	やや否、径4mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	495	-		
1998 SD0495	1	V～VII 器B3a	口径13.6 器高(5.1)	口縁6	少少付着、少少の付着	少少、少少	否、径4mm以下の長石を僅かに含む	良	内外面に環付着	495	-	
1999 SD0495	1	V～VII 器B3a	口径13.7 器高(6.4)	口縁12	少少付着、少少の付着	少少、少少	否、径3mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	495	-		
2000 SD0495	1	V～VI 器B2a	口径17.0 器高(5.0)	口縁2	少少、少少の付着	少少、少少	やや否、径3mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	495	-		
2001 SD0495	1	V～VII 器B3a	口径13.6 器高(4.8)	口縁4	少少付着、少少の付着	少少、少少	やや否、径2mm以下の長石・少少・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	495	-		
2002 SD0495	1	V1～VII 器B3	器高(4.9)	-	少少	刺突突、少少	少少	否、径3mm以下の長石・少少を僅かに含む	良	495	-	
2003 SD0495	1	VII 器B2b	口径15.6 器高(7.1)	口縁3	指頭凹面(4箇)、少少の付着	少少、少少	やや否、径4mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	495	-		
2004 SD0495	1	V1～VII 器A・B	器高(8.6)	-	少少	円形斜文(2箇)	少少、輪縫み痕	否、径4mm以下のチャート・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	495	-	
2005 SD0495	1	V1～VII 器B底部	底径4.2 器高(8.8) 最大径16.5	底部完存	少少の付着	少少、少少	否、径3mm以下の長石・少少・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	495	191		
2006 SD0495	1	V1～VII 器B2a	口径8.7 器高(7.0)	口縁12	少少、少少の付着	少少、少少	否、径3mm以下の長石・少少・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	495	-		
2007 SD0495	1	V1～VII 器B底部	底径2.9 器高(2.5)	底部完存	少少の付着	輪縫み痕、少少	否、径3mm以下の長石・少少・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	495	-		
2008 SD0495	1	V1～VII 器B底部	底径4.6 器高(4.2)	底部完存	少少の付着	少少、少少の付着	やや否、径3mm以下の長石・少少・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	495	-		
2009 SD0495	1	V1～VII 器B2a	口径8.8 底径4.2 器高(17.3) 最大径12.6	口縁10 底径3/4以上	少少付着、少少の付着	タケ付着、少少の付着、輪縫み痕、指頭圧痕	否、径2mm以下の長石・少少・指頭圧痕(1箇)を僅かに含む	外側底面有り	495	199		
2010 SD0495	1	VII 器E3	口径10.6 底径4.0 器高(16.4) 最大径12.2	口縁5 底径3/4以上	少少による押正、少少の付着	少少による押正、少少の付着、少少の輪縫み痕、指頭圧痕	やや粗、径3mm以下の長石・少少・少少の付着	外側に環付着	495	190		
2011 SD0495	1	V1～VI 器A3	口径17.0 器高(3.2)	口縁2	少少付着、少少の付着	少少、少少	否、径3mm以下の長石・少少・少少の付着	外側に環付着	496	-		
2012 SD0495	1	V1～VI 器B2b	口径15.8 器高(3.4)	口縁3	少少付着(5箇)、少少付着、少少の付着	少少付着、少少の付着、指頭圧痕	やや否、径2mm以下の長石・少少・少少の付着	外側に灰化物付着	496	-		
2013 SD0495	1	V1～VI 器C2	口径18.0 器高(6.8)	口縁3	少少の付着	少少、少少	やや否、径2mm以下の長石・少少・少少の付着	普通	496	-		
2014 SD0495	1	V1～VI 器B2	口径15.0 器高(6.6)	口縁2	少少付着、少少の付着	少少付着、少少	やや否、径3mm以下の少少の付着	普通	496	-		
2015 SD0495	1	V1～VI 器A2	口径17.0 器高(5.0)	口縁2	少少付着、刺突突、直線文、少少の付着	少少、輪縫み痕、少少	やや否、径3mm以下の少少の付着	良	496	-		
2016 SD0495	1	V1～VI 手捏ね	底径3.5 器高(6.6) 最大径11.9	底部完存	少少の付着	輪縫圧痕、輪縫み痕	指頭圧痕	やや否、径3mm以下の少少の付着	普通	496	204	
2017 SD0495	1	V1～VI 器A3	口径20.1 器高(16.1)	口縁5	少少付着、刺突突、直線文、少少の付着	少少付着、少少の付着	やや否、径4mm以下の長石・少少・少少・赤色酸化土粒を多く含む	良	496	-		
2018 SD0513	1	V1～VI 器A2	器高(5.3)	-	少少付着	少少付着	やや否、径3mm以下の長石・少少・少少・赤色酸化土粒を多く含む	外側に環付着	496	-		
2019 SD0513	1	V1 器A3	口径19.8 器高(27.5)	口縁4	刺突突(2箇)、少少付着、直線文(2箇)、刺突突(2箇)、少少付着	少少付着、少少の付着	やや否、径3mm以下の長石・少少・少少・赤色酸化土粒を多く含む	外側に環付着	496	-		
2020 SD0515	1	V1 高H4C3b	口径26.0 器高(5.6)	口縁3	少少の付着	少少付着、多角沈縫(10箇)	やや否、径26mm以下の長石・少少・少少・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	496	-		
2021 SD0493	1	V1～VI 器B3	口径14.6 底径4.4 器高(8.9)	口縁2 底部2/4以上	少少付着	少少付着	否、径10mm以下の長石を僅かに含む	良	500	-		

表140 土器類觀察表 (74)

No	地区 遺構	層位	時期 ・層位分類	法面(m)	残存率 (%)	調整		前上	機械	備考	補闕	回復	
						外面	内面						
2036	S00493	1	V～VI 壁A3	口径19.0 高さ(7.7)	口縁3	付し、33°、ナ	付し、指潤正瓶	やや密。径3mm以下の長 石、石英、ナ-。赤色 酸化土粒を多く含む	良	500	-		
2037	S00493	1	V 高H35a	口径30.0 高さ(3.5)	口縁2	付し、指潤正瓶	付し	やや密。径3mm以下の 石英、ナ-。赤色酸化 土粒を多く含む	普通	500	-		
2038	S00493	1	V 高H35a	口径30.0 高さ(3.7)	口縁2	付し	付し	密。径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	500	-		
2039	S00493	1	V 高H35a	底径13.8 高さ(6.7)	底部1/4 未溝	付し	付し、磨耗のため調 整不明	やや密。径3mm以下の 石英、ナ-。赤色酸化 土粒を多く含む	普通	1穿孔1組3方向 外側に保付着	500	-	
2040	S00493	1	V 高H35a	底径8.6 高さ(5.3) 以上	底部2/4 未溝	付し	付し、磨耗著しい	やや密。径2mm以下の長 石、ナ-を僅かに含む	普通	外側に保付着	500	-	
2041	S00493	1	V～IV 底H35a	底径8.6 高さ(4.6)	底部1/4 未溝	付し、指潤正瓶	付し	やや密。径2mm以下の石 英、ナ-を多く含む	普通	500	-		
2042	S00493	1	V～VI 底H35a	底径13.1	付し	付しのち付し、ナ	付しのち付し、指潤正 瓶	やや密。底2mm以下の長 石、石英、ナ-を多く含 む	普通	外側赤彩有り。	500	191	
2043	S00493	1	V 底A1a	口径18.4 高さ(3.1)	口縁3	回織(4条)、付し、ナ	付し、付し、羽状文	やや密。様1mm以下のナ- 。赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	外側黒色の微粒に 上の円文、外側赤 彩による円文	500	191	
2044	S00493	1	VII 底E	口径18.4 高さ(6.3)	口縁1	羽状文、ナ	羽状文	やや粗。径5mm以下の長 石、雲母、赤色酸化 土粒を僅かに含む	普通	500	-		
2045	S00493	1	III～IV 底H35a	底径7.9 高さ(1.9) 以上	底部1/4	付し	付し	やや密。径3mm以下の長 石、石英、ナ-。赤色 酸化土粒を多く含む	普通	500	-		
2046	S00493	1	V～VI 焼A2b	口径16.4 高さ(4.6)	口縁3 或根拠(3条)	付し付し、刺突文、ナ	付し付し、指潤正瓶、ナ	やや密。底2mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	500	-		
2047	S00493	1	V～VI 底H35a	口径15.2 高さ(7.4)	口縁3	付し付し、刺突文、ナ	付し付し、指潤正瓶	やや密。底3mm以下の長 石、石英、ナ-。赤色 酸化土粒を多く含む	普通	口縫部打ち欠き	500	-	
2048	S00493	1	V～VI 底H35a	底径8.5 高さ(6.5) 以上	底部3/4	付し、ナ	付し、指潤正瓶	やや密。底3mm以下の長 石を僅かに含む	普通	500	-		
2049	S00493	1	V1～VII 壁B2	口径23.0 高さ(4.4)	口縁2	付し付し、ナ	付し付し、ナ	やや密。底2mm以下の石 英、ナ-。赤色酸化土 粒を多く含む	普通	500	-		
2050	S00493	1	V～VI 不明	底径4.8 高さ(4.2)	底部1/4 以上	付し付し	指潤正瓶	やや密。底3mm以下のナ- 。赤色酸化土粒を僅 かに含む	赤彩村付	500	-		
2052	S00501	1	V～VI 高H1	底径12.3 高さ(7.5)	底部1/4 未溝	付し、付し	付し、付し	やや密。底1mm以下の長 石を僅かに含む	1穿孔1組3方向	504	-		
2053	S00501	1	V～VI 底H35a	底径8.4	付し	付し付し	付し付し	やや密。底2mm以下の長 石を僅かに含む	親刻	504	-		
2054	S00524	1	III 底A1	口径6.9 底径(2.2) 最大膨大20.2	底部1/4 未溝	棒状浮文、沈澱(2条組) 付し付し、ナ	付し付し、ナ。ツメ瓶 形	やや密。底2mm以下の長 石、石英、ナ-を僅かに 含む	内面に炭化物付着	普通	506	188	
2055	S00587	1	V1～VI 底H35a	底径6.4 高さ(9.7)	底部3/4 以上	付し付し、ナ	付し付し(底部)、ナ、ナ	密。底3mm以下の長 石、ナ-を僅かに含む	普通	509	-		
2056	S00587	1	V1～VI 底H35a	底径6.6 高さ(7.4)	底部3/4 以上	付し付し、ナ	付し付し、ナ。指潤正瓶 形	やや密。底1mm以下のナ- 。赤色酸化土粒を多く 含む	普通	509	-		
2057	S00587	1	V1～VI 底H35a	底径6.6 高さ(10.2)	付し付し	付し付し	指潤正瓶、ナ、ナ。 横縞模様	やや密。底1mm以下のナ- 。赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	509	-		
2058	S00587	1	V1～VI 底H35a	底径4.8 高さ(3.8)	付し	付し	付し	やや密。底2mm以下の長 石、ナ-を僅かに含む	外側赤彩付着	509	-		
2059	S00587	1	V～VI 底H35a	底径12.5	付し付し	ナ、付し、直線文(6条), 波状文、直線文(6条), 羽状文、直線文(6条), 刺突文	指潤正瓶 磨耗	指潤正瓶 磨耗のため調 整不明	普通	509	-		
2060	S00587	1	V1～VI 底H35a	口径8.8 高さ(7.3)	口縁3	磨耗	磨耗のため調整不明	磨耗のため調整不 明	やや密。底1mm以下の長 石、石英、ナ-。赤色酸化 土粒を多く含む	普通	509	-	
2061	S00587	1	V1～VI 手付ねD	口径7.7 高さ(7.0)	口縁1	付し	付し、指潤正瓶、ナ	やや密。底1mm以下の長 石、ナ-を僅かに含む	普通	509	-		
2062	S00587	1	V 高H35b	口径23.0 底径15.0 器高(17.0)	底部1/4 以上 付し	付し付し 2×3.2条×2.2条×3, ナ	付しのち付し、ナ、付 し、ナ	やや密。底3mm以下の長 石、雲母を多く含む	1穿孔1組4方向	509	20		
2063	S00587	1	V～VI 高H35b	口径20.8 高さ(3.9)	口縁2	付し	付し	やや密。底3mm以下の長 石、ナ-を僅かに含む	普通	509	-		
2064	S00587	1	V 高H35b	底径12.0	付し	付し	付しのため調整不明	付しのため調整不 明	やや密。底1mm以下の長 石、石英、ナ-を僅かに 含む	2穿孔1組3方向	509	-	

表141 土器類観察表 (75)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		出土	焼成	備考	特徴	国別
						外面	内面					
2065	SD0587	1	VII 高5dG2b	口径19.0 底径12.4 高さ15.6 最大径19.0	口縁5 底部2/4 以上	多条沈継(6条), 沈 ⁺ 底 ⁺ , 沈 ⁺ ?	沈 ⁺ , 沈 ⁺ ?, 沈 ⁺	赤, 径9mm以下の赤色酸化土粒を僅かに含む	打ち欠き, 1穿孔1 縦3方向, 内外面 に焼付着	569	206	
2066	SD0587	1	VII 高5dG1	口径11.2 底径11.1 高さ8.2	口縁5 底部1/4 以上	沈 ⁺	沈 ⁺ , ハ, 沈 ⁺ , 沈 ⁺ ?, 沈 ⁺ ?	やや密, 径2mm以下の長 石・雲母・チリを多く 含む	1穿孔1縦3方向 普通	569	201	
2067	SD0587	1	V~VI 高5d12	口径10.0 底径8.2	口縁6	沈 ⁺	沈 ⁺ , ハ	やや密, 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	510	-	
2068	SD0587	1	VII~VIII 器台B1c	口径19.2 底径12.9 高さ15.3	口縁5 底部1/4 以上	四継(5条), 沈 ⁺	沈 ⁺ , 沈 ⁺ ?, 沈 ⁺ ?	やや密, 径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	2穿孔1縦3方向 普通	510	201	
2069	SD0587	1	VII 器台C1	口径8.9 底径3.1	口縁5	沈 ⁺	沈 ⁺ , 沈 ⁺ ?	やや粗, 径4mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	510	-	
2070	SD0587	1	V~VI 底5b1	口径17.1 底径17.1	口縁3	四継(2条), 沈 ⁺	剥伏文(少)	やや密, 径1mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外表面赤彩有り 普通	510	-	
2071	SD0587	1	V~VI 底5b1b	口径16.8 底径13.4	口縁3	四継(2条), 沈 ⁺	竹管文, 沈 ⁺	やや密, 径1mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	510	-	
2072	SD0587	1	V~VI 底5b1a	口径15.6 底径17.7	口縁12	直腹文(4条), 竹管文, 直腹文7条+側突文3箇, 竹 管文, 沈 ⁺	刺突文, 竹管文, ハ, 直腹文7条+側突文3箇, 竹 管文, 沈 ⁺	やや密, 径5mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外表面赤彩有り 普通	510	200	
2073	SD0587	1	V~VI 器A脚部	底径6.7 高さ10.0 最大径27.3	底部完 存	直腹文, 刺突文, 直腹文, 側突文, 直腹文, 刺突文, 焼耗著しい	ハのち ⁺ , 輪精 ⁺ , 直 ⁺ , ハ	やや粗, 径3mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を多く含む	外表面赤彩有り 普通	510	200	
2074	SD0587	1	V~VI 底底部	底径5.9 高さ10.8	底部3/4 以上	沈 ⁺ , ハ, 沈 ⁺ (底部)	ハ	やや粗, 径5mm以下の長 石・チリを僅かに含む	外表面に焼付着 普通	510	-	
2075	SD0587	1	V~VI 器A脚部	器高(6.1)	口縁3	直腹文(6条), 刺突文, 直腹文(6条), 端屈文, ハのち ⁺	刺突文, 直腹文, ハ, 直腹文(6条), 端屈文, ハのち ⁺	やや密, 径2mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を多く含む	外表面赤彩有り 普通	510	-	
2076	SD0587	1	V~VII 底底部	底径5.6 高さ10.0	底部完 存	直腹文(5.6) 直腹文(2.9)	ハ, ハ, 沈 ⁺ , 指捺压痕, ハ, ハ	やや密, 径5mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	底部調理? 普通	510	-	
2077	SD0587	1	VII 底5b1	口径16.3 底径6.2 高さ10.6 最大径24.3	口縁3 底径1/4 底面	沈 ⁺ , 指捺压痕, ハのち ⁺	沈 ⁺ , 指捺压痕, 板 ⁺ , 輪精 ⁺ , 直 ⁺	やや密, 径3mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を多く含む	外表面焼刻有り 普通	511	200	
2078	SD0587	1	VII~VIII 器皿2a	口径13.7 底径8.5	口縁3	沈 ⁺	沈 ⁺	やや密, 径1mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	511	-	
2079	SD0587	1	VII~VIII 器皿2c	口径15.8 底径10.8	口縁3	沈 ⁺ , ハ, 沈 ⁺	沈 ⁺ , 指捺压痕, 輪 精 ⁺ , 直 ⁺	やや密, 径3mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	511	-	
2080	SD0587	1	V 燒52a	口径14.4 高さ10.6 最大径21.0	口縁3	刺突文, ハ, 沈 ⁺ , 摩耗著	刺突文, ハ, 沈 ⁺ , 摩耗著	やや密, 径3mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外表面化物付着 普通	511	-	
2081	SD0587	1	VII 器皿C	口径12.0 高さ13.0 最大径13.0	口縁9	沈 ⁺ , 指捺压痕, ハ 輪精 ⁺ , 摩耗著	沈 ⁺ , 指捺压痕, 輪 精 ⁺ , 摩耗著	やや密, 径1mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	外表面に焼付着 普通	511	-	
2089	SD0664	1	V~VI 鉢5	底径3.3 高さ2.3	底部完 存	沈 ⁺	沈 ⁺	やや密, 径2mm以下の長 石・チリを僅かに含む	普通	516	-	
2090	SD0664	1	VII 器台B1	器高(5.6)	摩耗のため調整不明	摩耗のため調整不 明	モリのため調整不 明	モリ, 径1mm以下の長 石を僅かに含む	1穿孔1縦3方向, 脚部打ち欠き?	516	-	
2091	SD0654	1	V~VI 器皿B2b	口径21.3 底径3.3 高さ5.0	口縁5	沈 ⁺ , 摩耗著	沈 ⁺ , 摩耗著	やや密, 径1mm以下の長 石・雲母・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	516	-	
2092	SD0664	1	V~VI 器皿B2b	底径4.5 高さ2.5	底部完 存	摩耗のため調整不明	モリのため調整不 明	モリ, 径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	516	-	
2093	SD0664	1	V~VI 器皿A脚部	器高(4.1)	直腹文, 横羽伏文, 刺 突文	直腹文, 横羽伏文, 刺 突文	やや密, 径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	516	-		
2094	SD0653	1	VII~VIII 器皿2b	口径13.7 底径5.7	口縁3	直腹文(8条), ハ, 摩耗 著	ハ, 摩耗著	やや密, 径1mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通	516	-	
2095	SD0653	1	VII 器皿E	器高(3.9)	ハ	摩耗著	ハ, 指捺压痕, 摩 耗著	やや粗, 径1mm以下の長 石・雲母を僅かに含む	普通	516	-	
2096	SD0653	1	V 器皿B	底径3.0 高さ3.0	底部完 存	摩耗のため調整不明	モリ	やや密, 径1mm以下の長 石・雲母を僅かに含む	普通	516	-	
2097	SD0653	1	V 器台A1	器高(5.9)	沈 ⁺ , 摩耗のため調 整不明	沈 ⁺	密, 径1mm以下の長石 を僅かに含む	普通	516	-		
2098	SD0653	1	VII 器皿E	器高(3.3)	ハ	刺突文(少)	密, 径1mm以下の長石・ 雲母・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	516	-		

表142 土器類観察表 (76)

No.	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法面(cm)	残存率 (3/12)	調整		胎土	焼成	備考	神宮	閑院	
						外面	内面						
2099	SD0653	1	V1 便A4	口径16.5 器高(12.4 最大径21.0	口縁4 口縁(12.4 最大径21.0	輪切面？、刷突文、 ツバ、摩耗のため調 整不明 ツバのちり	輪切面？、刷突文、 ツバ、摩耗のため調 整不明 ツバのちり	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	外面に保付着	普通	516	211	
2100	SD0653	1	X 東	口径17.0 器高(16.5 最大径16.5	口縁5	ツバ？、ツバ	ツバ？、指輪正面	やや粗、径2mm以下の長 石・ツバを僅かに含む	外面に保付着	普通	516	194	
2104	SP0106	1	V～VI 便A2B	口径12.0 器高(12.7 最大径14.5	口縁3 口縁(12.7 最大径14.5	ツバ？、刷突文(口縁)、 ツバ？、押す、ツバ	ツバ？、刷突文(口縁)、 ツバ？、押す、ツバ	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を多 く含む	外面に保付着	普通	521	216	
2105	SP0106	1	V～VI 便A	底径8.4 器高(21.5 以上)	底部1/4	波状文、刷突文、直線文、 ツバ	波状文、刷突文、直線文、 ツバ	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	外面に保付着	普通	521	216	
2106	SK02129	1	V～VI 便A底部	底径6.6 器高(4.9 未溝	底部1/4	ツバ	ツバ	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	外面に保付着	良	521	—	
2107	SK02131	1	V～VI 高杯脚部	底径15.4 器高(18.8 以上)	底部3/4	ツバ？ 底	ツバ？、ツバ？、ツバ？ 底	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	1穿孔1縫3方向	普通	521	216	
2108	SK02131	1	V～VI 塊胴	器高(7.2) 未溝	—	ツバ	ツバ	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	外面に保付着	良	521	—	
2109	SK02131	1	V～VI 鉢A3a	口径14.0 底径9.0 器高(8.6 最大径14.9	口縁4 底充光	ツバ？、刷突文、 ツバ？、ツバ？ 底	ツバ？、刷突文、 ツバ？、ツバ？ 底	やや粗、径2mm以下の長 石を僅かに含む	外面に保付着	良	521	216	
2110	SK02131	1	V～VI 便A4	口径19.0 器高(7.6) 未溝	口縁2	ツバ？、ツバ	ツバ？、ツバ、指輪正面	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	521	—		
2111	SK02131	1	V～VI 塊脚部	底径8.0 器高(5.4) 未溝	底部充 存	ツバ	ツバ	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	521	216		
2112	SK02131	1	V～VI 塊胴	器高(12.6 最大径22.6	—	ツバ	ツバ	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	外面に保付着	良	521	—	
2113	SK01981	1	V～VI 便B4	口径18.0 器高(26.0) 未溝	口縁3	ツバ？ 底	ツバ？、ツバ？、ツバ？、 底	やや粗、径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	521	203		
2114	SK02134	1	V 蓋A1b	口径16.2 器高(1.9) 未溝	口縁2	輪切面(口). 摩耗顯著	横羽状文(具). 摩 耗顯著	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	524	—		
2115	SK02134	1	V～VI 高杯脚部	底径18.8 器高(2.8) 以上	—	ツバ？、 底	ツバ？、指輪正面	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	外面底部中央に少 しきな(縫5mm)穴(後 成後)	良	524	—	
2116	SK02161	1	V～VI 高杯脚部	器高(2.2) 未溝	—	—	—	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	524	—		
2117	SK01916	1	V 高杯A	底径13.0 器高(4.2) 未溝	底部1/4	ツバ？、ツバ？ 未溝	ツバ？、ツバ	やや粗、径1mm以下の長 石・ツバを僅かに含む	普通	2111と同一個体	普通	532	—
2118	SK01916	1	V 高杯A	器高(2.1) 未溝	—	ツバ？	ツバ？	やや粗、径1mm以下の長 石・ツバを僅かに含む	普通	2110と同一個体	普通	532	—
2119	SK01916	1	V 便A1	口径2.2 底径2.3 器高8.0 器底8.0 最大径8.0	口縁10 底部充 存	ツバ？、刷突文、ツバ？、 底 底	ツバ？、ツバ？、 底	やや粗、径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	内外間に保付着	普通	532	205	
2120	SK01923	1	V 高杯B5a	器高(26.0) 最大径26.0	口縁3	ツバ？、 底	ツバ？、 底	やや粗、径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	532	—		
2121	SK01925	1	V～VI 便A2	口径14.0 器高(5.0) 最大径16.4	口縁2	ツバ？、刷突文、ツバ？、 底 底	ツバ？、ツバ、指輪正 面	やや粗、径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	532	—		
2122	SK01925	1	V1 便A4	口径16.0 器高(4.2) 未溝	口縁2	ツバ？ 底	ツバ？、 底	やや粗、径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	532	—		
2123	SK01925	1	V1 便A2b	口径14.6 器高(6.7) 最大径15.9	口縁1	刷突文、ツバ？、 底	ツバ？、板？、 ツバ？、輪縁み縫	やや粗、径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	532	—		
2124	SK01925	1	V1 鉢B2	口径15.7 底径2.4 以上	口縁3	輪切底、 ツバ、輪縁み 縫	輪切底、 ツバ、輪縁み 縫	やや粗、径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を多く 含む	外面に保付着、底 部に穿孔有り	普通	532	203	
2125	SK01925	1	高杯B3-I 鉢形	器高(11.0) 未溝	—	ツバ？、 底	ツバ？底、磨耗著 しい	やや粗、磨耗著 しい	普通	532	—		
2126	SK01925	1	V1 高杯B3-I 鉢形	器高(12.1) 未溝	—	ツバ？ 底	ツバ？底、磨耗著 しい	やや粗、磨耗著 しい	普通	1穿孔1縫3方向	普通	532	—
2127	SK01925	1	V1 器台B1	器高(9.4)	—	ツバ？	ツバ？	やや粗、 底	良	532	—		
2128	SK01925	1	V1 器台B1	器高(9.7)	—	ツバ？、 底	板？？、 底	やや粗、 底	普通	1穿孔1縫3方向 脚部打丸欠き？	普通	532	—
2129	SK02001	1	V～VI 蓋B1	口径12.9 底径4.6 器高(25.0 最大径21.6	口縁6	輪切部にツバ、 脚部	輪切部は摩耗のため 調整不明、脚部 はツバ有り？	やや粗、 底	底部打丸有り？	普通	532	203	

表143 土器類観察表 (77)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	備註 国際
						外面	内面				
2130 SK02483	1	V～VI 窓B2a	口徑13.0 器高(4.6)	口縁5	++	++	やや密、径6mm以下の長石・石英を僅かに含む	打ち欠き	普通	良	533 -
2131 SK02148	1	V 器台B	器高(1.3)	口縁5	++	++	やや密、	密	普通	良	533 -
2132 SK02156	1	V～VI 窓B2脚部	器高(5.3)			摩耗のため調整不明	摩耗のため調整不明	やや密、	1穿孔1組3方向	良	533 -
2133 SK02156	1	V～VI 窓B2脚部	器高(7.8)			摩耗のため調整不明	++。++	やや密、	器内に刺突孔	良	533 -
2134 SK02156	1	V～VI 窓B1b	器高(1.7)			擬圓窓、摩耗のため調 整不明	++	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	良	533 -
2135 SK02158	1	V～VI 窓B1c	口徑26.8 器高(6.9)	口縁2	++	++	やや密、	普通	普通	良	534 -
2136 SK02158	1	V～VI 窓B1c	器高(14.5)			++	++。窓・++。窓 摩耗のため調整不明	やや密、	2穿孔2組3方向	普通	534 -
2137 SK02158	1	V～VI 窓B1c	口徑26.2 器高(21)	口縁3	++	++	やや密、	普通	2穿孔2組3方向	普通	534 224
2138 SK02158	1	V～VI 窓B2	器高(16.9) 最大径19.6	口縁3	++。窓、刻文。ハサ 窓頭部	++。窓、刻文。ハサ 窓頭部	やや密、	普通	外面に爆付着	普通	534 -
2139 SK02158	1	V～VI 窓B2脚部	器高(7.7) 未満			++。ハサ	指頭正窓	やや密、	爆付着(器内)	普通	534 -
2140 SK02158	1	V 器台C	器高(5.7)			++	ハサ	やや密、	普通	普通	534 -
2141 SK02191	1	III 窓	器高(3.7)			柔軟(ワ)	++	やや密、	普通	良	534 -
2142 SK02191	1	V 窓B2a	底径14.0 器高(5.6) 未満	直縫文(3条×4条)。ハサ	++。窓、輪縫み痕	直縫文(3条×4条)。ハサ	やや密、	普通	1穿孔1組4方向	普通	534 -
2143 SK02191	1	V 窓B2a	口徑22.0 器高(4.7)	口縁3		磨耗のため調整不明	磨耗のため調整不明	やや密、	普通	普通	534 -
2144 SK02191	1	V～VI 窓B1b	口徑13.3 器高(5.6)	口縁4	刻文、磨耗のため調 整不明	指頭正窓、輪縫み痕 磨耗のため調整不 明	やや密、	普通	普通	普通	534 -
2145 SK02191	1	V～VI 窓B2	底径8.0 器高(8.3)	底部完 存	ハサ	指頭正窓	やや密、	普通	外面赤彩有り	普通	534 -
2146 SK02205	1	V～VI 窓E	口徑16.0 器高(6.8)	口縁5	ハサ。ハサ	ハサ。ハサ	やや密、	普通	普通	普通	535 -
2147 SK02263	1	高井B3-a 脚部	器高(8.2)			++	ハサ	密、	普通	良	535 -
2148 SK02220	1	V 器台A1a	口徑15.6 器高(7.7)	口縁3	波状文、ハサ、直縫文	ハサ、ハサ、ハサ	やや密、	普通	1組1方向4穿孔	普通	535 203
2149 SK02220	1	V 窓D	底径8.8 器高(6.0) 最大径7.8	底部完 存	ハサ	++。窓、指頭正窓、 ハサ	普通、	普通	内外面に爆付着	普通	535 205
2150 SK02224	1	V 窓D	口徑13.7 器高(5.7)	口縁3	++。ハサ	++。ハサ	やや密、	普通	普通	赤彩有り	535 -
2151 SK02234	1	II～III 土製品	長2.1 幅2.2 厚2.1	底部2/4 以上	++。ハサ	++。ハサ	普通、	普通	普通	赤彩有り	535 205
2152 SK02238	1	V～VI 窓B2脚部	底径8.0 器高(5.3)	底部2/4 以上	++。ハサ	++。ハサ	普通、	普通	普通	普通	535 -
2154 SK02238	1	V～VI 窓B4	口徑15.8 器高(5.9)	口縁2	ハサ。ハサ。ハサ	ハサ。ハサ。ハサ	やや密、	普通	普通	普通	535 -
2155 SK02282	1	V～VI 窓B2	底径8.0 器高(2.8)	底部1/4 以上	ハサ	ハサ	やや密、	普通	普通	良	535 -
2156 SK02282	1	V～VI 窓B3	口徑17.8 器高(3.3)	口縁3	ハサ。指頭正窓	ハサ	やや密、	普通	普通	普通	535 -
2157 SK02282	1	V～VI 窓D1b	口徑20.0 器高(7.0)	口縁4	++。刻文。ハサ	++。ハサ。指頭正 窓	やや密、	普通	普通	普通	535 -
2158 SK02282	1	V 高井C1d	器高(5.6)	口縁3	磨耗のため調整不明	多条沈縫(8条)、刻 文(山形)、多条 輪縫、刻文(山形)、 多条沈縫(4条)、山形文	やや密、	普通	普通	普通	535 -
2159 SK02522	1	V～VI 窓A4	口徑16.3 器高(19.5) 最大径20.6	口縁12	++。刻文(口縁部)、 直縫文、刻文(脚部)、 ハサ	++。ハサ。指頭正窓	普通、	普通	良	536 211	

表144 土器類観察表 (78)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法面(cm) (X/12)	残存率 (X/12)	調整		船上	構成	備考	博認	
						外面	内面					
2160	S002/22	1	V~VI 鉢M44	口径12.3 周高(6.1) 最大径13.0	口縁1	→(相)。△???	→(相)。指頭圧痕、 輪縞み底	直、径2mm以下の長石を 僅かに含む	良	536	-	
2161	S002/22	1	V~VI 口径15.8 周高(4.9)	口縁4	縫隙(2条)。△モウ、摩 耗。経年	直、径3mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	赤色顔料付着(外)	良	536	-		
2162	S002/22	1	V~VI 口径20.4 周高(1.9)	口縁2	縫隙(2条)？。△モウ	直、径3mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	普通	536	-			
2163	S002/12	1	中里 山茶瓶	底径(6.9) 周高(2.1)	底部完 存	輪縞み底折り柄、模様 摩耗	直、径3mm以下の長石を 僅かに含む	墨付着(内)	536	230		
2165	SP093	1	V~VI 壺	-	-	→?	→?	直、径3mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	普通	541	-	
2167	SP095	1	V~VI 器台	壺面(2.8)	-	摩耗のため調査不明	摩耗のため軽調整不 明	やや直、径2mm以下の石 英・チリ・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	541	-	
2168	SP097	1	V~VI 壺A3	壺面(3.5)	-	△???	△???	やや直、径2mm以下の石 英・チリ・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	541	-	
2169	SP0100	1	V~VI 鉢底部	底径(6.6) 周高(3.2)	底部完 存	指頭圧痕	△?	やや直、径2mm以下の石 英・チリ・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	541	-	
2174	SP0160	1	V~VI 壺E4	口径6.0 周高(5.2)	口縁4	△???	△?	指頭圧痕	外側に保付着	542	-	
2175	SP0189	1	VI 壺B2	口径16.4 周高(6.4)	口縁5	△???	△???	やや直、径3mm以下の長 石を僅かに含む	普通	542	-	
2177	SP0194	1	V~VI 壺E4	口径14.4 周高(4.3)	口縁1	△???	△???	やや直、径3mm以下の長 石を僅かに含む	普通	542	-	
2178	SP0194	1	V~VI 器台B1	口径19.6 周高(2.5) 最大径20.0	口縁1	△???	△???	直、径2mm以下の長石・ チリ・赤色酸化土粒を 僅かに含む	外側に保付着 破断面二次焼成	542	-	
2180	ST077	1	II 壺A3	壺面(2.1)	-	△???	△???	直、径3mm以下の長石を 多く含む	不良	545	-	
2181	ST077	1	III-HC+D 壺B	壺面(7.1)	-	△???	△???	やや直、径3mm以下の長 石を多く含む	普通	1穿孔1組3方向	545	
2182	ST090	1	直井脚 部	壺面(6.8)	-	摩耗のため調査不明	△???	やや直、径3mm以下の長 石を僅かに含む	1穿孔1組3方向	545	-	
2183	ST0129	1	V~VI 壺底	底径(8.8) 周高(3.1)	底部1/4 未調 観察困難	△モウ、煤付着のため 観察困難	△???	やや直、径3mm以下の長 石を僅かに含む	普通	545	-	
2184	ST0129	1	V~VI 直井底部	底径(8.1) 周高(2.4)	底部完 存	摩耗。一部に△モウ	△?	やや直、径3mm以下の長 石を多く含む	不良	545	-	
2185	ST127	1	直井脚 部	壺面(5.3)	-	△???	△???	やや直、径3mm以下の長 石を僅かに含む	1穿孔1組3方向	545	-	
2186	ST130	1	X 直井	壺面(5.9)	-	△???	△???	やや直、径3mm以下の長 石を僅かに含む	普通	545	-	
2187	ST128	1	V~VI 壺B2	壺面(3.8)	-	直井文。摩耗有り	△???	やや直、径3mm以下の長 石を多く含む	不良	545	-	
2188	ST128	1	V~VI 直井脚部	壺面(5.6)	-	△モウ、直井文、直井文	△???	やや直、直井文有り	普通	545	-	
2189	ST132	1	V~VI 高井脚部	壺面(6.8)	-	一部に一次調整の△モウ	摩耗。直井文	やや直、径3mm以下の長 石・石英・雲母を多く 含む	1穿孔1組3方向9 方向	545	-	
2190	SD0625	1	V~VI 直井B1	底径(4.4) 周高(2.9)	底部完 存	△モウ、△モウ(底部)	△???	指頭圧痕	直、径1mm以下の石英 を僅かに含む	普通	545	-
2191	ST125	1	V~VI 直井B1	底径(7.7) 周高(2.9)	底部3/4 以上	△???	△???	指頭圧痕	直、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	545	-
2192	ST125	1	V~VI 直井B1	底径(4.4) 周高(6.8)	底部完 存	△???	△???	△???	やや直、径2mm以下の石 英・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	227	-
2193	ST125	1	V~VI 壺A2b	口径9.2 周高(3.0)	口縁2	△???	△???	△???	直、径3mm以下の長石を 僅かに含む	良	545	-
2194	ST125	1	V~VI 器台B	壺面(6.6)	-	△???	△???	△???	直、径3mm以下の長石を 僅かに含む	1穿孔1組3方向	545	-
2195	ST125	1	V~VI 器台B	壺面(9.6)	-	△???	△???	△???	直、径3mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	普通	545	-
2196	ST125	1	V~VI 高井脚部	壺面(7.2)	-	△???	△???	△???	直、径3mm以下の長石を 多く含む	外側に保付着	545	-
2197	ST125	1	V~VI 壺E11	口径9.7 周高(7.4) 最大径11.6	口縁3	摩耗のため調査不明	△???	指頭圧痕、輪縞み底	やや直、径2mm以下の石 英・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	545	-
2198	ST125	1	V~VI 壺A2	口径10.6 周高(4.7)	口縁3	△???	△???	△???	やや直、径2mm以下の石 英・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	545	-
2199	ST125	1	V~VI 直井A1a	口径12.0 周高(5.8)	口縁5	観測困難、△モウ、直井文、 △モウ	△???	指頭圧痕	直、径3mm以下の長石を 僅かに含む	外側面・赤色顔料 付着	545	-
2200	ST125	1	V~VI 壺A1a	口径18.6 周高(5.8)	口縁3	△???	△???	△???	直、径3mm以下の長石を 僅かに含む	1穿孔1組2方向	545	226
2201	ST125	1	V~VI 壺H	口径(16.0) 周高(14.7)	-	△モウ△???	△???	△???	直、径3mm以下の長石化 粧を僅かに含む	良	545	-

表145 土器類観察表 (79)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 国際
						外面	内面				
2202	ST125	1	VII-VIII 甕2	口径11.2 器高(4.3)	口縁2	摩耗のため調整不明	摩耗のため調整不明 赤色酸化土粒(少)を傷かに含む	良	良	545	-
2203	ST125	1	V~VI 甕底部	底径4.1 器高(2.4)	底部3/4	板付 ⁺ ?	板付 ⁺ ?	やや密、径3mm以下の石英・赤色酸化土粒を傷かに含む	普通	545	-
2204	ST125	1	X 甕	口径17.0 器高(2.5)	口縁3	ヨコテ ⁺ ハナ	ハナ、指揮圧痕	やや密、径3mm以下の石英・赤色酸化土粒を傷かに含む	普通	545	-
2205	ST125	1	VII-VIII 甕脚部	底径5.1 器高(2.5)	底部5/4	ハナ、指揮圧痕	ハナ、指揮圧痕	やや密、径3mm以下の石英・赤色酸化土粒を傷かに含む	良	545	-
2206	ST125	1	VII-VIII 甕6	底径15.4 器高(11.4) 最大径17.6	口縁2	ハナ	ハナ、指揮圧痕、 ⁺ 板付 ⁺ 、指揮圧痕	やや密、径3mm以下の石英・赤色酸化土粒を傷かに含む	良	546	226
2207	ST125	1	VII-VIII 甕脚部	底径5.3 器高(12.6) 最大径18.1	底部完存	ハナ	ハナ、ヨコテ ⁺ ハナ、輪積み痕	密、径3mm以下の石英を多く含む	外間に灰化物付着	546	227
2208	ST125	1	V-VII 甕脚部	口径(7.9)	-	ハナ、刺突文(カ)	ハナ(かなり精微)	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	良	546	-
2209	ST125	1	中世 常滑器	底径12.9 器高(7.1)	底部1/4	指揮圧痕 米溝	ミツテ	密、径3mm以下の石英・石英を多く含む	転用碗?	546	-
2210	ST125	1	VII-VIII 底底部	底径4.3 器高(2.5)	底部3/4	回転付 ⁺	回転付 ⁺	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	良	546	-
2211	ST133	1	中世 土器皿	口径6.6 底径2.7 最大径7.1	口縁6/8 底部1/4	指揮圧痕	ハナ	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	良	546	-
2212	ST133	1	VII-VIII 甕脚部	器高(8.3) 最大径6.0	ハナ	ハナ、ヨコテ ⁺ 、指揮圧痕	密、径3mm以下の石英・赤色酸化土粒を傷かに含む	普通	546	-	
2213	ST133	1	V-VII 甕	口径23.4 器高(4.6)	口縁2	ハナ	ハナ	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	良	546	-
2216	ST133	1	V 甕台B	器高(7.1)		ハナ	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	良	546	-	
2217	ST133	1	V~VI 甕2	口径17.5 器高(5.0)	口縁3	刺突文、直線文、波状文	指揮圧痕、ハナ、輪積み痕	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	良	546	-
2218	ST133	1	V~VI 甕脚部	底径7.8 器高(4.4)	底部1/4	ハナ	ハナ、指揮圧痕	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	良、内外面灰化物付着	546	-
2219	ST133	1	中世 山茶瓶	底径6.4 器高(2.0)	底部1/4	回転付 ⁺ 、削除系切り痕、凹削痕	回転付 ⁺ 。使用による摩耗	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	良	546	-
2220	ST130	1	V~VI 高脚甕2b	口径20.7 器高(4.3)	口縁6/8	ハナ(ヨコテ ⁺ ハナ)	ハナ	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	良	546	-
2221	ST139	1	V~VI 甕5	口径16.8 器高(2.8)	口縁2	ヨコテ ⁺ 。刺突文、ハナ	ヨコテ ⁺ 。ハナ、指揮圧痕	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	外間に灰化物付着	546	-
2222	ST139	1	V~VI 甕脚部	器高(2.4)		ハナ	ハナ	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	外間に灰化物付着	546	-
2223	ST139	1	V~VI 底底部	底径4.0 器高(1.5)	底部2/4	摩耗のため調整不明	摩耗のため調整不明	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	良	546	-
2224	ST139	1	V~VI 甕16	口径17.0 器高(2.1)	口縁6	キサザ(口縁部)、ハナ	ハナ	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	良	546	-
2225	ST142	1	V 甕84	口径17.8 器高(4.3)	口縁5	ハナ	ハナ、指揮圧痕	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	外間に灰化物付着	546	-
2227	ST069	1	X 高环	底径8.2 器高(7.0)	底部1/4	摩耗のため調整不明	ハナ痕、指揮圧痕	やや密、径3mm以下の長石・石英・赤色酸化土粒を傷かに含む	普通	547	-
2228	ST069	1	X 高环	器高(7.6)		ハナ	摩耗のため調整不明	やや密、径3mm以下の長石・石英を傷かに含む	普通	547	-
2229	ST061	1	X 高环	底径8.2 器高(6.6)	底部1/4	摩耗のため調整不明	ハナ痕、指揮圧痕	やや密、径3mm以下の長石・石英を傷かに含む	普通	547	-
2230	ST073	1	VII-VIII 甕2	口径5.4 器高(2.9)	口縁4	ハナ	刺突文	やや密、底石英・ハナを傷かに含む	普通	547	-
2231	ST072	1	IV 甕2	口径15.0 器高(2.9)	口縁2	ヨコテ ⁺ 。刺突文、直線文	ヨコテ ⁺	やや密、径3mm以下の長石・石英を多く含む	普通	547	-
2232	ST099	1	IV 甕C	口径22.1 器高(1.3)	口縁1	輪切痕、摩耗のため調整不	斜位輪切痕。摩耗のため調整不	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	普通	547	-
2233	ST099	1	V 甕33	器高(3.1)		摩耗のため調整不明	摩耗のため調整不明	密、径3mm以下の石英を傷かに含む	良	547	-
2234	ST083	1	IX 甕	口径13.2 器高(6.2)	口縁2	ハナ	ハナ、指揮圧痕	密、径3mm以下の長石・石英を傷かに含む	普通	547	-
2235	ST083	1	古代 須恵器环身	口径6.2 器高3.2 最大径9.6	底部2/4	回転付 ⁺ 、鋸齿状切り	回転付 ⁺	密、径3mm以下の長石を傷かに含む	普通	547	-

表146 土器類觀察表 (80)

No	地区 遺構	層位	時期 断片分類	法面(cm)	既存率 (X/12)	調整		培土 量	堆成 量	備考	説明
						外面	内面				
2236	ST083	1 古代 遺跡遺構	器高(5.6) 最大径10.7	回転†?, 斜波(2条), 斜波状	—	直, 径3cm以下の長石を 僅かに含む	直, 径3cm以下の長石を 僅かに含む	良	547	227	
2237	ST083	1 古代 遺跡遺構	器高(7.3) 最大径14.0	口縁1, 波状文, 斜波	—	直, 径3cm以下の長石を 僅かに含む	直, 径3cm以下の長石を 僅かに含む	普通	547	227	
2238	ST070	1 X 高井	器高(7.0)	摩耗のため調査不明	ジ「直, 厚」のため調査不明	直, 径3cm以下の長石, 赤色酸化土を僅かに含む	直, 径3cm以下の長石, 赤色酸化土を僅かに含む	普通	547	—	
2239	ST070	1 X 高井	底径9.2 器高(7.0) 未調	摩耗のため調査不明	ジ「直, 厚」のため調査不明	直, 径3cm以下の長石, 石英, 岩質を僅かに含む	直, 径3cm以下の長石, 石英, 岩質を僅かに含む	不良	547	—	
2240	ST070	1 壁 壁03	回転1,(5)	摩耗のため調査不明	摩耗のため調査不明	直, 径3cm以下の長石を 僅かに含む	直, 径3cm以下の長石を 僅かに含む	不良	547	—	
2241	ST070	1 V~VI 鉢A	底径4.4 器高(1.9) 未調	口縁1/4, 斜波	—	直, 径3cm以下の長石を 僅かに含む	直, 径3cm以下の長石を 僅かに含む	普通	547	—	
2242	ST070	1 V~VI 鉢A	口縁15.0 器高(6.3)	口縁1, 波状文	—	直, 径3cm以下の長石, 石英を僅かに含む	直, 径3cm以下の長石, 石英を僅かに含む	不良	547	—	
2243	ST070	1 V~VI 鉢A	口縁13.8 器高(4.3)	口縁1, 波状文	摩耗のため調査不明	直, 径3cm以下の長石, 石英を僅かに含む	直, 径3cm以下の長石, 石英を僅かに含む	普通	547	—	
2244	ST070	1 VI~VII 鉢B	口縫8.8 器高(5.6)	口縫4	摩耗のため調査不明	摩耗のため調査不明	直, 径3cm以下の長石, 赤色酸化土を僅かに含む	口縫部打ち欠き	547	—	
2245	S060598	1 V~VI 鉢A	口縫12.9 器高(4.0)	口縫2, 斜波文, 斜波文(3条)	—	直, 中央部, 径6cm以下の長石を僅かに含む	直, 中央部, 径6cm以下の長石を僅かに含む	普通	547	—	
2246	S060630	1 V~VI 高井桶脚部	口縫22.0 器高(3.3)	口縫1, 波状文	—	直, 径6cm以下の長石, 石英を僅かに含む	直, 径6cm以下の長石, 石英を僅かに含む	普通	547	—	
2247	S060630	1 V~VI 鉢B	口縫20.0 器高(4.6)	口縫2, 斜波文	—	直, 径5cm以下の長石, 指揮痕, 輪 模様を僅かに含む	直, 径5cm以下の長石, 指揮痕, 輪 模様を僅かに含む	外面に炭化物付着	547	—	
2248	S060631	1 高井桶脚部	口縫18.0 器高(4.8)	口縫3	摩耗のため調査不明	直, 径3cm以下の長石, 石英を僅かに含む	直, 径3cm以下の長石, 石英を僅かに含む	普通	547	226	
2249	S060631	1 腹台B	器高(10.0)	摩耗のため調査不明	板付?, 4°, 斜波	直, 径6cm以下の長石, 石英を僅かに含む	直, 径6cm以下の長石, 石英を僅かに含む	普通	548	—	
2250	S060631	1 V~VI 不明	器高(3.6)	—	—	直, 径6cm以下の長石, 石英, 赤色酸化土を僅かに含む	直, 径6cm以下の長石, 石英, 赤色酸化土を僅かに含む	普通	548	226	
2251	S060631	1 V~VI 高井桶脚部	底径13.7 器高(4.0) 以上	底径1/4	—	直, 径6cm以下の長石, 石英を僅かに含む	直, 微孔1組3方向	普通	548	—	
2252	S060631	1 V~VI 高井桶脚部	器高(3.3)	直, 斜波文(3条単位?), 斜波状文(7条)	指揮痕直	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	普通	548	—	
2253	S060631	1 V~VI 高井桶脚部	口縫16.9 器高(3.3)	口縫1, 斜波痕(2条各経部), 斜 波状文	—	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	背面赤色酸化付着	548	—	
2254	S060631	1 V~VI 塊脚部	底径6.6 器高(5.1)	底径1/4	—	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	外側面に炭化物付着	548	—	
2264	S0404 P1	1 VI~VII 鉢E4	口縫12.4 器高(4.3)	口縫2, 波状文	—	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	外面に炭化物付着	550	—	
2265	S0404 P1	1 VI~VII 鉢E5	口縫10.2 器高(5.0)	口縫2, 斜波	—	直, 指揮痕直	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	外面に炭化物付着	550	—	
2266	S050584	1 読文 変容部	器高(1.0)	直, 斜波文	直, 斜波文(2条), 摩耗のため調査不明	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	普通	554	—	
2267	S050584	1 II 器A	器高(4.9)	—	直, 斜波文	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	普通	554	—	
2268	S050577	1 V~VI 高井桶脚部	器高(3.9)	摩耗のため調査不明	摩耗のため調査不明	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	普通	554	—	
2269	S050577	1 V~VI 高井桶脚部	器高(4.7)	直, 斜波文, 扇形文	直, 斜波文, 扇形文	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英, 岩質を多く含む	普通	554	—	
2270	S050577	1 VI 腹台B	器高(9.1)	—	—	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	直, 微孔1組3方向	1穿孔1組3方向	554	—	
2271	S050577	1 VI~VII 塊脚部	口縫10.0 器高(4.8)	口縫2, 波状有り	直, 波状有り	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英, 岩質を多く含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英, 岩質を多く含む	不良	554	—	
2272	S050577	1 V 鉢A	器高(3.7)	直, 斜波文	直, 斜波文, 厚	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	普通	554	—	
2273	S050577	1 V~VI 塊脚部	底径2.4 器高(4.1)	—	—	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英を僅かに含む	不良	554	—	
2274	S050577	1 VI~VI 鉢A	口縫11.8 器高(6.6) 最大径13.4	口縫3, 波状文	直, 斜波文, 斜波文(2条), 指 揮痕直	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英, 岩質を僅かに含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英, 岩質を僅かに含む	外面に撹打着, 直, 指揮痕打ち欠き?	559	—	
2275	S050577	1 V~VI 鉢A	口縫12.9 器高(7.4) 最大径13.0	口縫12, 波状文	直, 斜波文, 斜波文(2条), 指 揮痕直	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英, 岩質を僅かに含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英, 岩質を僅かに含む	普通	559	193	
2276	S050577	1 V~VI 鉢B	口縫16.0 器高(4.8)	口縫2	—	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英, 岩質を僅かに含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英, 岩質を僅かに含む	普通	559	—	
2277	S050577	1 V 高井1脚 部	底径14.3 器高(10.4)	—	直, 斜波有り	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英, 岩質を僅かに含む	直, 微孔1組以下, 微孔, 石英, 岩質を僅かに含む	外面に撹打着	559	—	

表147 土器類觀察表 (81)

No	地区 地名	時期 層位	階層分類	法量(cm)	残存率 (%)	調査 外観	内面	粘土		機成	備考	剥離
								表面	裏面			
2278	SD0577	I	V 透1b	口径11.1 底径10.4 高さ22.0 最大幅16.6	100%	褐色(2条)、 或褐色(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)	刺突文、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2279	SD0577	I	Ⅳ 透C	口径12.4 底径12.1 高さ21.3 最大幅24.2	100%	褐色(2条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(2条)	刺突文、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2280	SD0577	I	V~VI 透1b	口径16.2 底径17.0 高さ17.0	100%	褐色(2条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)	刺突文、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2281	SD0577	I	VI~VII 透2	口径15.0 底径14.6 高さ14.6	100%	褐色(2条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)	刺突文、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2282	SD0577	I	Ⅲ 透A3	口径8.4 底径20.0 高さ12.0	100%	褐色(2条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)	刺突文、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2283	SD0577	I	Ⅷ~IX 透J1	口径7.2 底径5.5 高さ10.0 最大幅8.8	100%	褐色(2条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)	刺突文、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2284	SD0577	I	VI~VII 透J1a	口径5.7 底径5.8 高さ10.0 最大幅12.0	100%	褐色(2条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)	刺突文、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2285	SD0577	I	V~VI 透J1	口径17.2 底径9.0 高さ5.0	100%	褐色(2条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)	刺突文、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2286	SD0577	I	X 透D3	口径17.0 底径16.0	100%	褐色(2条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)	刺突文、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2287	SD0577	I	Ⅸ 透D3	口径17.0 底径14.1	100%	褐色(2条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)	刺突文、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2288	SD0577	I	VI~VII 透D3	底径8.3 高さ15.7	100%	褐色(2条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)	刺突文、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2289	SD0577	I	VI~VII 透D3	底径8.8 高さ16.0	100%	褐色(2条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)	刺突文、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2290	SD0577	I	VI~VII 透D3	底径9.7 高さ10.7	100%	褐色(2条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)、 或褐黄(5条)	刺突文、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm 、 \pm	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2291	SD0577	I	深2m 透E1	底径4.9 高さ4.9	100%	貼付薄葉、 刺突文、 1字	刺突文	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2292	SD0609	I	VI~VII 透E1	口径14.2 底径14.8	100%	刺突文、 1字	刺突文	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2293	SD0609	I	V~VI 透E3	口径23.0 底径14.4	100%	刺突文、 1字	刺突文	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2294	SD0609	I	V~VI 透E3	口径19.8 底径13.2	100%	刺突文、 1字	刺突文、 1字	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2295	SD0609	I	V~VI 透E3	底径4.3 高さ12.6	100%	刺突文、 1字	刺突文、 1字	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2296	SD0609	I	中世 折被層	口径1.7	100%	灰被	灰被	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2301	DE0600	I	V~VI 柱頭底部	直径4.4 底径3.0 以上	100%	刺突文、 1字	刺突文	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2302	DE0600	I	VI~VII 柱頭E6	底径2.8 高さ8.4 最大幅7.7	100%	刺突文、 1字	刺突文、 1字	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2303	DE0600	I	V~VI 柱頭E6	底径12.7 高さ7.8 最大幅16.1	100%	刺突文、 1字	刺突文、 1字	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2304	DE0600	I	V~VI 柱頭E6	口径22.4 底径16.5	100%	刺突文、 1字	刺突文、 1字	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2305	SD0600	I	V~VI 高さ30.0	口径26.3 底径16.1	100%	刺突文、 1字	刺突文、 1字	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2306	SD0600	I	V~VI 器台E6	口径17.3 底径14.4	100%	刺突文、 1字	刺突文、 1字	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2307	SD0600	I	V~VI 柱頭E6	口径19.2 底径12.5	100%	刺突文、 1字	刺突文、 1字	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2308	SD0600	I	V~VI 便B2	口径14.7 底径12.3 最大幅20.3	100%	刺突文、 1字	刺突文、 1字	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2309	SD0600	I	V~VI 便B2	口径14.7 底径17.6 最大幅20.3	100%	刺突文、 1字	刺突文、 1字	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2310	SD0600	I	V~VI 便B2	口径14.9 以上	100%	刺突文、 1字	刺突文、 1字	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層
2311	SD0600	I	V~VI 便B2	口径14.9 以上	100%	刺突文、 1字	刺突文、 1字	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層	褐色 輪積み層

表148 土器類観察表 (82)

No.	地区 遺構	層位	時期 器形分類	法面(cm) (X/12)	残存率 (X/12)	調整		胎土	焼成	備考	伸展 範囲
						外面	内面				
2311	SD0600	I	V~VI 燒脚部	口径7.0 底高(3.6)	底部完 存	††*, 指觸江瓶	††*, 指觸江瓶	やや粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	564	-
2312	SD0600	I	V~VI 燒脚部	底径7.3 以上	底高(4.0)	††*, 指觸江瓶、一次調 整††?	††*	やや粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	保付着(内・破壊 面も含む)、破壊 面に二次焼痕	564	-
2316	SD0633	I	VI~VII 鉢M	口径8.8 底高(4.7)	口縁2	††*, 指觸江瓶、内窓 口縁2	††*, 指觸江瓶、内窓	やや粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	普通	568	-
2317	SD0633	I	VI~VII 高H-C 鉢M	底高(5.8)		††*	††*	やや粗。径1mm以下の長 石・内窓を僅かに含む	2穿孔1組2方向	568	-
2318	SD0633	I	V 鉢J1	口径9.4 底高(8.3) 最大径16.3	口縁3	†*, ††*, 無†	††*, 指觸江瓶。輪 縁み鉢	やや粗。径1mm以下の雲母 を僅かに含む	良	568	227
2319	SD0633	I	VI~VII 燒脚部	底径7.0 底高(4.4)	底部完 存	††*	†*, 指觸江瓶	やや粗。径1mm以下の長石・ 雲母を僅かに含む	内外面に炭化物付 着、破壊面に二次 焼痕	568	-
2320	SD0634	I	V 盃A1b	口径12.3 底高(2.9)	口縁2	††*, 開口縫(2条)(口縁) 羽状文	††*, 開口縫(2条)(口縁)	やや粗。径1mm以下の長 石を含む	普通	568	-
2321	SD0635	I	V~VI 鉢E	口径16.0 底径9.4 最大径16.2 底高(6.9)	口縁10 底部完 存	††*	†*	やや粗。径2mm以下の長 石を多く含む	燒成前穿孔	568	227
2322	SD0635	I	VI 器台B	口径18.6 底高(2.7)	口縁2	††*, 開口縫(1条口縁) 開口縫	††*	やや粗。	良	568	-
2323	SD0635	I	V~VI 鉢A3a	口径14.8 底高(5.8) 最大径15.0	口縁2	††*, †*, 指觸江瓶、内窓文(6条) 刺突文	†*, キモチ? 9	やや粗。径1mm以下の長石を 含む	良	568	-
2324	SD0635	I	V~VI 燒A3	口径22.0 底高(7.4)	口縁1	††*, †*, 刺突文、直 縁文飾	†*, ††*	やや粗。径1mm以下の長 石を含む	普通	568	-
2331	SD0572	I	V~VI 高H-II	口径11.4 底高(3.9)	口縁11	摩耗のため調整不 明	摩耗のため調整不 明	やや粗。径2mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅かに 含む	外面に甕付着、口 縁は打ち大き、押 入人が為した欠損 か?	571	226
2332	SD0572	I	X 鉢H	底径14.0 底高(5.5)	底部1/4 未溝	†*, 指觸江瓶	指觸江瓶。輪縁少 く、内窓無	やや粗。径1mm以下の長石・ 石英を僅かに含む	良	571	-
2333	SD0572	I	VI 器台B	口径16.6 底高(4.5)	口縁1	開口縫、††*	板ワリ、摩耗有り	やや粗。径2mm以下の長石を 僅かに含む	良	571	-
2334	SD0572	I	VI 器台B	底高(9.7)		摩耗のため調整不明	††*瓶	やや粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	1穿孔1組3方向	571	-
2335	SD0572	I	IX 高坪	底高(7.9)		††*	††*瓶	やや粗。径1mm以下の長石・ 雲母を僅かに含む	外面に甕付着、輪 縁は打ち大き、押 入人が為した欠損 か?	571	-
2336	SD0572	I	V~VI 高坪脚部	底高(5.3)		摩耗のため調整不明	††*瓶、†*, 刺突 文	やや粗。径1mm以下の長石・ 赤色酸化土粒を僅かに 含む	1穿孔1組3方向	571	-
2337	SD0572	I	VI~VII 道K	口径14.0 底高(7.1)	口縁2	†*, †*, 指觸江瓶	†*, 指觸江瓶、Y1	やや粗。径2mm以下の長石・ 石英を僅かに含む	良	571	226
2338	SD0572	I	VI~VII 燒脚部	底径6.1 底高(4.1)	底部完 存	†*, 指觸江瓶	指觸江瓶	やや粗。径5mm以下の長石を 僅かに含む	良	571	-
2339	SD0572	I	VI 燒D3	口径14.0 底高(3.0)	口縁2	††*, †*	†*, 指觸江瓶、Y2	やや粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	571	226
2340	SD0572	I	VI 燒D3	口径13.5 底高(2.0)	口縁2	沈鉢(頸部)、†*	†*	やや粗。径1mm以下の長石・ 雲母を僅かに含む	外面に甕付着	571	-
2341	SD0572	I	V~VI 燒脚部	底高(4.8)		†*	指觸江瓶、††*	やや粗。径1mm以下の長石・ 雲母を僅かに含む	外面に炭化物付着	571	226
2342	SD0572	I	V~VI 燒脚部	底径13.3 底高(3.8)	底部1/4 以上	摩耗のため調整不明	指觸江瓶、††*	やや粗。径1mm以下の長石・ 雲母を僅かに含む	良	571	226
2343	SD0572	I	V~VI 燒脚部	底径9.8 底高(7.3)	底高(4.2) 以上	†*, 指觸江瓶、††*	†*, 指觸江瓶、††*	やや粗。径1mm以下の長石・ 雲母を僅かに含む	外面に炭化物付着	571	227
2344	SD0572	I	IX 燒	底高(5.7)		†*, †*	†*	やや粗。径1mm以下の長石を 僅かに含む	外面に炭化物付着	571	226
2345	SD0572	I	V~VI 燒脚部	底高(16.2)	底部完 存	†*, 錐文	指觸江瓶。板ワリ†	やや粗。底1mm以下の長 石・石英を僅かに含む	良	571	-
2348	SD0572	I	VI~VII 道D1	口径3.5 底高(3.5)	口縁2	††*, 摩耗のため調整 不明	††*, †*, ††*	やや粗。底1mm以下の長石を 僅かに含む	良	573	-
2349	SD0572	I	V 器台A1b	底高(6.7)		†*, 摩耗有り	††*瓶、輪縁少 く、内窓無	やや粗。底1mm以下の長 石・石英を僅かに含む	1穿孔1組3方向	573	-
2350	SD0680	I	V~VI 高坪II	底高(6.2)		††*	†*	やや粗。	外面に甕付着	573	-
2351	SD0680	I	VI 器台B	口径18.7 底高(2.1)	口縁1	†*	†*	やや粗。底1mm以下の長石を 僅かに含む	良	573	-
2352	SD0680	I	VI~VII 道D3	口径2.75		貼付(3本1組) 場合は不明	††*	やや粗。底1mm以下の長石を 僅かに含む	外面赤羽付着	573	-
2353	SD0572	I	VII 燒D3	口径14.4 底高(4.1)	口縁2	†*, ††*	††* (口縁部)、 †*	やや粗。底1mm以下の右 英を僅かに含む	普通	573	227

表149 土器類観察表 (83)

No	地区 遺構	層位	時期 層級分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 国際	
						外面	内面					
2354	SD0572	1	VII-VIII 甕脚部	口径14.5 器高(8.1)	X/12	強いけり・一部一次削 痕のへき存(口縁部)、 脚部(脚部)	強いけり・一部一 次削痕のへき存(口 縁部)、(脚部)	やや粗、径3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	573	-	
2380	SD0649	1	V-VII 甕脚部	器高(3.8)	X/12	摩耗のため調整不明	けり、指頭正直	やや粗、径2mm以下の長 石を僅かに含む	普通	580	-	
2381	SD0649	1	V-VII 甕脚部	底径8.1 器高(3.5)	X/12	底部3/4 以上	けりのちり	やや粗、径1mm以下の長 石・黄白石を僅かに含む	普通	580	-	
2382	SD0649	1	V-VII 甕脚部	底径8.6 器高(4.6)	X/12	底部1/4 以上	けり	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	普通	580	-	
2383	SD0649	1	V-VII 甕底部	底径5.0 器高(6.5)	X/12	底部3/4 以上	けり	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	580	227	
2384	SD0649	1	VII 甕A	底径6.8 器高(3.4)	X/12	直線文2帯。側突文、 輪幅み痕、指頭正直	指頭正直、ヨゼラ ン	脚部に打ち欠き、 外面部と内面部に保 持部を多く含む	脚部に打ち欠き、 外面部と内面部に保 持部を多く含む	普通	580	194
2385	SD0649	1	VII 甕B底部	口径15.2 器高(10.3) 最大径15.2 未満	X/12	けり。けり 口縁4 底部1/4	けり、摩耗のため調整不明(脚 部)	やや粗、径4mm以下の長 石・チリを僅かに含む	普通	580	194	
2386	SD0649	1	VII 甕B1	口径10.2 底径5.1 最大径21.1 未満	X/12	口縁4 底部3/4 以上	けり、輪幅み痕、指 頭正直、ヨゼラ ン	底部に打ち欠き、 外面部に保持部を多く含む	良	580	194	
2387	SD0649	1	V-VI 高脚部	口径27.8 器高(3.4)	X/12	摩耗のため調整不明	けり	やや粗、径2mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	581	-	
2388	SD0649	1	V-VI 甕A脚部	器高(4.4)	X/12	直線文(5条)、側突文、 直線文(10条)、側突文、 けり	指頭正直	やや粗、径2mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	581	-	
2389	SD0649	1	VII-VIII 甕底部	底径1.5 器高(2.6)	X/12	摩耗のため調整不明	摩耗のため調整不 明	やや粗、径1mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	581	-	
2390	SD0649	1	VII-VIII 甕脚部	底径6.6 器高(4.4)	X/12	底部2/4 以上	けり、指頭正直	底、径1mm以下の長 石・チリを僅かに含む	良	581	-	
2391	SD0649	1	VII-VIII 甕B3	口径18.8 器高(3.9)	X/12	けり	指頭正直	やや粗、径2mm以下の長 石・チリ・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	581	-	
2394	SD0381	1	I 甕	器高(5.2)	X/12	けりのちり。千歳竹管 による状態	指頭正直	底、径3mm以下の長石を 僅かに含む	良	592	226	
2395	SD0381	1	II 甕A1a	口径17.6 器高(4.5)	X/12	摩耗のため調整不明。 へきによる状態	けり、指頭正直	底、径3mm以下の長石を 僅かに含む	良	592	226	
2396	SD0381	1	II 甕A1b	器高(4.5)	X/12	摩耗のため調整不明。 へきによる状態	摩耗のため調整不 明	底、径3mm以下の長石を 僅かに含む	良	592	226	
2397	SD0381	1	II 甕A1b	口径28.4 器高(5.1)	X/12	けり引き(?)の押正・口 縁部	摩耗のため調整不 明。貝殻条板、指頭 正直	やや粗、径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	592	226	
2398	SD0381	1	II 甕A	口径22.0 器高(5.5)	X/12	強いけり(口縁部)、けり	けり、指頭正直	底、径3mm以下の長石を 僅かに含む	普通	592	226	
2399	SD0381	1	II 甕A1b	口径20.9 器高(1.7)	X/12	けり(?)、口縁、脚 部	指頭正直、貝殻条 板	やや粗、径2mm以下の長 石を僅かに含む	良	592	226	
2400	SD0381	1	II 甕C	口径24.6 器高(1.7)	X/12	けり、指頭正直、貝殻条 板	けり、指頭正直、貝殻条 板	底、径3mm以下の長石を 僅かに含む	普通	592	294	
2401	SD0381	1	IV 甕F	口径14.7 底径6.0 器高(6.6) 最大径20.8 未満	X/12	口縁3/4 底部1/4	口縁部3/4。けり、脚上 部突文、脚下部けり	口縁部3/4。けり、 脚上部突文、脚下部けり、 指頭正直	底、径1mm以下の長石・ 雲母・チリを僅かに含 む	普通	592	194
2402	SD0381	1	IV 甕B	口径22.8 器高(7.2)	X/12	けり	けり、脚上部突文、脚下部 けり	底、径1mm以下の長石・ 雲母・チリを僅かに含 む	良	592	-	
2403	SD0381	1	IV 甕B	口径21.8 器高(5.9)	X/12	けり	けり、側突文、けり、 指頭正直、けり	やや粗、径1mm以下の長 石・黄白石・チリを多く 含む	普通	592	-	
2404	SD0381	1	IV 甕A1	口径8.3 底径6.5 器高(6.9) 最大径22.0 未満	X/12	けり	摩耗のため調整不 明	底、径3mm以下の長石を 多く含む	良	592	226	
2405	SD0381	1	IV 甕A1	底径4.3 器高(6.6)	X/12	底部完 存	けり、けり	底、X/12以下のチャートを 多く含む	普通	592	195	
2406	SD0381	1	IV 甕B	底径3.9 器高(2.4)	X/12	けり、保持者で瓶頸困 難	けり、摩耗顯著	底、径2mm以下の長石・ 石英・赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	592	-	
2407	SD0381	1	IV 甕B	底径4.8 器高(3.4)	X/12	けり	指頭正直	底、径1mm以下の長石・ 石英・赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	592	205	

表150 土器類觀察表 (84)

No.	地区 遺構	層位	時期 器物分類	法量(cm)	残存率 (3/12)	調整		胎土	焼成	備考	神宮	閑院
						外面	内面					
2408	S00381	1	III~IV 最底部	底径2.2 高さ3.2	底部1/4 以上	±3°	/±3°	砂	やや粗。径2mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	底部外面木葉模有 り	592 -
2409	S00381	1	IV 壁C	口径15.3 高さ0.8	口縁3	±7°。相浦直瓶。/±3° 相浦直瓶。/±3°	相浦直瓶。/±3° 相浦直瓶。/±3°	砂	内外面に羅付着。 径1mm以下のチートを 多く含む	良	2398と同一個体	592 195
2410	S00381	1	IV 不明	底径9.0 高さ4.0	底部1/4 未溝	沈鉢。羽状文	津田瓶	砂	径2mm以下の長石を 僅かに含む	良		593 226
2411	S00381	1	V 壁A2b	口径12.6 高さ5.4	口縁3	±3°?。刺突文(口 縁部)。/±3°。刺突文(口 縁部)	±3°?。摩耗有り。 相浦直瓶。/±3°	砂	径2mm以下の長石を 僅かに含む	良	外面赤色顔料付着	593 226
2412	S00381	1	V 壁A2b	口径15.3 高さ3.2	口縁2	±3°?。/±3°。刺突文(口 縁部)	±3°?。摩耗有り。 相浦直瓶。/±3°	砂	やや粗。径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	外面赤色顔料付着	593 -
2413	S00381	1	V 壁A2b	口径17.0 高さ3.2	口縁2	±3°?。/±3°。刺突文(口 縁部)	±3°?。摩耗有り。 相浦直瓶。/±3°	砂	やや粗。径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	外面赤色顔料付着。 口様部打ち欠き?	593 -
2414	S00381	1	IV 壁D	口径17.6 高さ3.2	口縁2	±3°?。相浦(3条)	±3°?	砂	やや粗。径3mm以下の長 石・石英・チートを僅か に含む	普通		593 -
2415	S00381	1	IV 壁A1	口径17.1 最大径22.4	口縁3	±3°?。刺突のちけ。刺 突文	±3°?。相浦直瓶。	砂	やや粗。径1mm以下の長 石・雲母・チート・赤色 酸化土粒を多く含む	普通	外面に保付着。	593 195
2416	S00381	1	IV 壁A1	口径17.3 底径10.2 高さ22.9	口縁5	±3°?。/±3°。刺突のちけ。刺 突文	±3°?。/±3°	砂	やや粗。径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	外面赤色顔料付着。 底部穿孔有り	593 195
2417	S00381	1	V~VI 鉢A1	口径15.8 高さ7.2	口縁1	±3°?。刺突文、直瓶文 (9条)。刺突文。/±3°?	±3°?。/±3°?。相 浦直瓶	砂	やや粗。径1mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外面に保付着。	593 -
2418	S00381	1	V~VI 鉢A1	口径14.8 底径6.6 高さ6.0 最大径15.8	口縁9 底部充 分	±3°?。直瓶文。/±3°? 直瓶文(9条)。直瓶文。 相浦直瓶。/±3°	±3°?。相浦直瓶。 直瓶文。/±3°	砂	やや粗。径1mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	外面に保付着。	593 199
2419	S00381	1	V~VI 鉢A1	口径15.0 高さ15.8	口縁5	±3°?。刺突文。/±3°? 刺突文。/±3°	±3°?。相浦直瓶。	砂	やや粗。径1mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	外全面に保付着。	593 197
2420	S00381	1	V~VI 直瓶B部	口径16.0 高さ10.7	-	-	相浦直瓶。/±3°?	砂	やや粗。径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	1穿孔1組3方向	593 -
2421	S00381	1	V~VI 直瓶B部	口径12.3	-	-	-	砂	やや粗。径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	1穿孔1組3方向	593 -
2422	S00381	1	V 直瓶B2a	口径18.3 高さ3.1	口縁2	±3°?。/±3°?。モルタル 有り	±3°?。相浦直瓶。	砂	径3mm以下の長石を 僅かに含む	良		593 226
2423	S00381	1	V 直瓶B2b	口径23.3 高さ4.0	口縁5	摩耗のため調査不明	±3°?。相浦直瓶。	砂	径3mm以下の長石・ 石英を僅かに含む	良		593 226
2424	S00381	1	V 直瓶B2b	口径22.3 底径13.8 高さ13.6 最大径23.1	口縁4 底部未 溝	±3°?	±3°?。相浦直瓶。 摩耗のため調査不明	砂	径3mm以下の長石・ 石英を僅かに含む	良	1穿孔1組4方向	593 226
2425	S00381	1	V~VI 直瓶B部	器高9.0	-	-	相浦直瓶。	砂	やや粗。相浦直瓶。	良	1穿孔1組3方向	594 -
2426	S00381	1	V 直瓶B部	底径11.2 高さ14.0	底部1/4 以上	±3°?	±3°?。相浦直瓶	砂	やや粗。径1mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良	1穿孔1組3方向	594 -
2427	S00381	1	V 直瓶B2b	口径27.2 高さ6.2 最大径28.0	口縁3	±3°?。摩耗著しい。	±3°?。摩耗著しい。	砂	やや粗。径3mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外面赤色有り	594 -
2428	S00381	1	V~VI 直瓶B2b	口径22.0 高さ3.5	口縁1	±3°?	±3°?	砂	やや粗。径3mm以下の長 石・チートを僅かに含む	良		594 -
2429	S00381	1	V~VI 直瓶B2b	口径28.4 高さ6.5	口縁9	±3°?	±3°?	砂	やや粗。径3mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	口様部打ち欠き?	594 198
2430	S00381	1	V~VI 直瓶B2b	口径29.9 高さ24.0	-	-	-	砂	やや粗。径3mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良		594 -
2431	S00381	1	V~VI 直瓶B2b	口径22.4 高さ6.8	口縁3	±3°?	±3°?。斜落が著 しい。	砂	やや粗。斜落が著 しい。	普通	1穿孔1組3方向	594 -
2432	S00381	1	V 直瓶B2b	口径16.7 底径10.8 高さ11.3 最大径17.2	口縁8 底部4 未溝	±3°?。摩耗のため 調査不明	±3°?。斜落が著 しい。	砂	やや粗。径2mm以下のチ ート・赤色酸化土粒を多 く含む	普通	1穿孔1組3方向	594 198
2433	S00381	1	V~VI 直瓶B2b	口径23.2 底径13.2 高さ18.4 最大径23.7	口縁5 底部2/4 以上	±3°?。直瓶(2条)	輪縫み瓶。±3°?瓶	砂	やや粗。径2mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通		594 199
2434	S00381	1	V~VI 直瓶B2b	口径20.0 高さ3.6	口縁2	±3°?	±3°?。/±3°?。/±3°?	砂	やや粗。径3mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	良		594 -
2435	S00381	1	V~VI 直瓶B2b	口径19.8 高さ3.6	口縁1	±3°?。/±3°?。/±3°?	±3°?	砂	やや粗。径3mm以下の長 石・チート・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通		594 -

表151 土器類観察表 (85)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		出土	焼成	備考	特徴 回数	
						外面	内面					
2436	Sd0381	1	V 高井B脚部	底径11.9 器高(6.0)	底部完 存	直面文(4条・5条)。 竹、 輪郭線	やや密、 径1mm以下の長石、 +ト。赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	1穿孔1縫3方向	594	199	
2437	Sd0381	1	V 高井B脚部	底径14.5 器高(6.0)	底部1/4 未溝	13° 直面文(4条)。	竹、 輪郭線	密、 径1mm以下の長石、 +ト。赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	内外面に環付着	594	-
2438	Sd0381	1	V 高井B3a	口徑22.8 底径14.0 器高(6.0)	口徑11 底部1/4 以上	波状文(4条)。 竹、 輪郭線	竹、 13°、 波のち 竹	密、 径1mm以下の長石、 +ト。赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	1穿孔1縫3方向	594	201
2439	Sd0381	1	V 高井B3a	口徑25.1 底径14.5 器高(6.0)	口徑2/4 以上	13° 直面文(4条)。 竹、 輪郭線	竹、 波のち 竹	やや密、 径1mm以下の長石、 +ト。赤色酸化土粒を 僅かに含む	普通	1穿孔1縫3方向、 口縫部・脚部打磨、 欠き?	594	199
2440	Sd0381	1	V~VI 漆A1b	口徑14.5 器高(2.0)	口縫7	竹、 円形突文、 凹形 浮出(口縫部5ヵ所?)	竹	密、 径1mm以下の長石、 +ト。赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	595	-	
2441	Sd0381	1	V 器台A1b	口徑14.7 器高(6.0)	口縫8	13° 輪郭線(口縫 部?)	竹、 輪郭線	密、 径1mm以下の右英、 +ト。多く含む	良	1穿孔1縫3方向?	595	226
2442	Sd0381	1	V~VI 漆合脚部	底径13.5 器高(1.0)	底部1/4 以上	13° 直面文(4条)。	摩耗者、部分的 に指痕江漬残存	密、 径1mm以下の長石、 赤色酸化土粒を多く 含む	良	595	-	
2443	Sd0381	1	V 器台A1b	底径12.6 器高(6.0)	底部1/4 未溝	13° 直面文(4条)。	竹、 輪郭線	密、 径1mm以下の長石、 +ト。僅かに含む	1穿孔1縫3方向	595	-	
2444	Sd0381	1	V 器台A1b	底径11.6 器高(6.4)	底部1/4 未溝	13° 直面文?	指痕江漬。摩耗有 り	密、 径1mm以下の長石、 +ト。僅かに含む	1穿孔1縫3方向	595	-	
2445	Sd0381	1	V 漆A1a	口徑1.0 器高(1.0)	竹管文、 竹?	摩耗のため調整不 明	密、 径1mm以下の長石を 僅かに含む	2438と同一個体の 可能性有り	595	-		
2446	Sd0381	1	V~VI 漆A1b	口徑12.5 器高(2.0)	口縫3	竹管文(口縫部)。竹	竹、 13°	密、 径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	595	-	
2447	Sd0381	1	V 漆A脚部	底径17.1 器高(6.0)	底部1/4 未溝	13° 直面文(4条)。	指痕江漬。	やや密、 径2mm以下の長石、 +ト。僅かに含む	普通	595	-	
2448	Sd0381	1	V 器台A1b	口徑17.2 底径2.2 器高(1.0)	口縫3 底部2/4 以上	13° 直面文(4条)。	竹、 板??、 輪郭線	密、 径1mm以下の長石、 赤色酸化土粒を僅かに 含む	1穿孔1縫3方向	595	198	
2449	Sd0381	1	IV 漆C	器高(9.4)	漆工具による押引き (隙間)直面文(4条)、 側面の研究文(4条)	++、 指痕江漬、 一部調整	やや密、 径1mm以下の長 石、+ト。僅かに含む	良	595	226		
2450	Sd0381	1	V~VI 漆A脚部	器高(14.8) 最大径25.3	直面文(5条)、 直面文、 直面文、 直面文、 波状文、 竹	摩耗者、 輪郭著 し	やや密、 径5mm以下の長 石、+ト。赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面赤色有り	595	-		
2451	Sd0381	1	V 漆B底部	底径3.9 器高(16.0)	底部完 存	輪郭み底、 摩耗著 し	指痕江漬。+ト、輪 郭み底	やや粗、 底5mm以下の長 石、+ト。赤色酸化土 粒を多く含む	普通	595	-	
2452	Sd0381	1	V~VI 漆F2	口徑10.8 器高(14.9) 最大径15.3	口縫12	13° 直面文(5条)。	指痕江漬、 摩耗有 り	やや密、 径1mm以下の+ト を僅かに含む	不良	595	194	
2453	Sd0381	1	V 漆A	口徑3.4	竹、 直面文(5条)、 波状文、 摩耗著 し	指痕江漬、 摩耗有 り	やや密、 径5mm以下の長 石を僅かに含む	良	595	-		
2454	Sd0381	1	V 漆A3	口徑15.3 器高(3.0)	口縫2	摩耗のため調整不 明、 波状文(5条)。	波状文 +ト	密、 径5mm以下の長 石、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	595	-	
2455	Sd0381	1	V 漆A2b	口徑18.9 器高(3.0)	口縫1	列文、 直面文、 波状文、 竹	密、 波状文、 +ト	密、 径5mm以下の長石 を多く含む	良	595	-	
2456	Sd0381	1	V~VI 漆E2	口徑13.3 器高(3.5)	口縫2	13° 直面文(5条)。	指痕江漬、 摩耗有 り	やや密、 径1mm以下の+ト を僅かに含む	普通	596	-	
2457	Sd0381	1	V 漆E2b	口徑17.0 器高(6.0)	口縫5	刺突文、 列文、 直面文、 波状文、 竹	やや粗、 指痕江漬、 +ト	やや粗、 径2mm以下の長 石、+ト。赤色酸化土 粒を多く含む	普通	596	-	
2458	Sd0381	1	V 漆E2b	口徑19.9 器高(14.5) 最大径25.1	口縫9	直面文、 列文、 波状文、 竹	波状文3+ト、 直面文、 コロナ、 指痕江漬	密、 径5mm以下の長 石、+ト。赤色酸化土 粒を多く含む	外面に焼付着	596	200	
2459	Sd0381	1	V~VI 漆E2b	底径4.1 器高(6.0)	底部1/4 以上	竹	+ト、指痕江漬	密、 底5mm以下の長石 を僅かに含む	外面に焼付着	596	-	
2460	Sd0381	1	V 漆E2b	底径5.5 器高(7.0)	底部完 存	竹	+ト、指痕江漬、 焼付着	やや粗、 底5mm以下の長 石、+ト。赤色酸化土 粒を多く含む	内外面に焼付着	596	-	
2461	Sd0381	1	V 漆E2b	口徑9.0 器高(5.4)	口縫3	刺突文、 竹	竹、 13° +ト	やや粗、 指痕江漬、 +ト	外面に灰化付着	596	-	
2462	Sd0381	1	V 漆E2b	口徑10.0 器高(6.0)	口縫3	刺突文(2条)、 直面文、 竹	竹、 13° +ト	やや密、 底5mm以下の長 石、+ト。赤色酸化土 粒を多く含む	普通	596	-	
2463	Sd0381	1	V 漆E2b	口徑21.0 器高(8.5) 最大径28.4	口縫11 底部完 存	13° 直面文(5条)。	竹、 13° +ト、 板??	やや密、 底5mm以下の長 石、+ト。含む	灰化付着	596	199	
2464	Sd0381	1	V~VI 漆E2	口徑13.9 器高(4.6) 最大径14.4	口縫3	刺突文、 直面文、 刺突文、 竹	竹、 指痕江漬	やや密、 底5mm以下の長 石、+ト。赤色酸化土 粒を多く含む	普通	596	-	

表152 土器類観察表 (86)

No.	地区 遺構	層位	時期 断層分類	法面(cm)	残存率 (3/12)	調整		胎土	焼成	備考	神宮	閑院
						外面	内面					
2465	S00381	1	VII 鉢A3a	口径17.0 脚高(0.1) 最大径17.1	口縁3 (ワリ)、側突文、直突文	ヨリヨリ、刺突文、直突文 ヨリヨリ、側突文	直突文、直突文、側突文、 底部充存	泥、径1mm以下の長石・ 石英・ナメを多く含む	良	外面に焼付着	596	-
2466	S00381	1	V～VI 鉢A3a	口径16.0 脚高(7.8)	口縁3 (ワリ)	ヨリヨリ、直突文、刺突文、 底部充存	直突文、直突文、側突文、 底部充存	やややや、径3mm以下の長石・ 石英・ナメ・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	外外面に焼付着	596	-
2467	S00381	1	VI～VII 鉢A3a	口径11.0 脚高(0.1) 最大径11.7	口縁7 底部充存	ヨリヨリ、(口縁部)、(ワリ側 面)	ヨリヨリ、(口縁部)、(ワリ側 面)	やややや、径1mm以下のナ メ・赤色酸化土粒を多く 含む	赤色顔料、外面上に 焼付着	596	199	
2468	S00381	1	VI 鉢C	口径11.7 底径4.9 脚高(4.4) 最大径12.5	口縁6 輪縁み附、ナメ、相撲圧 痕	輪縁み附、ナメ、相撲圧 痕	やややや、径1mm以下の長石・ 石英を多く含む	良	外外面に焼付着	596	199	
2469	S00381	1	V～VI 鉢A	底径3.3 脚高(2.0)	底部充存	ナメのち部分的にナメ ナメのち部分的にナメ	泥、径1mm以下の長石・ 石英を多く含む	良	外外面に焼付着	596	-	
2470	S00381	1	VI～VII 鉢A4a	口径12.4 脚高(4.4)	口縁3	ナメ。	ナメ	やややや、径3mm以下の長石・ 石英・ナメ・赤色酸化土粒を 多く含む	良	外外面に焼付着	596	-
2471	S00381	1	V～VI 鉢A2	口径11.5 脚高(5.4)	口縁2	ヨリヨリ、刺突文、ナメ	ヨリヨリ、相撲圧痕、 ヨリヨリ、輪縁み附	やややや、径1mm以下の長石・ 石英・ナメ・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	外外面に焼付着	596	-
2472	S00381	1	V～VI 鉢B	口径18.3 脚高(8.8)	口縁3	ナメ	ナメ	やややや、径1mm以下の長石・ 石英・ナメ・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	外外面に焼付着	596	-
2473	S00381	1	VII 高井G3b	口径11.8 脚高(5.5)	口縁4	ヨリヨリ、多条渦波8条、ナ メ	ヨリヨリ、ナメ	泥、径1mm以下の長石・ 石英・ナメ・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	外外面に焼付着	597	-
2474	S00381	1	VII 高井G3c	口径18.0 脚高(6.2)	口縁1	北坂(2条)、羽突文(2条)、 北坂(2条)、山形文(2条)、 北坂(2条)、斜格子文(2条)、 沈繩(3条)、山形文(2条)、 沈繩(3条)、斜格子文(2条)、 山形文(2条)	ナメ	泥、径1mm以下の長石・ 石英を多く含む	良	外外面に焼付着	597	205
2475	S00381	1	VII 高井G4d	口径24.0 脚高(7.0)	口縁1	ナメ	多条 沈繩(15条)、山 形文、多条 沈繩(2条)、 差形文、多条 沈繩(3条)、山 形文、多条 沈繩(3条)、 山形文(2条)	泥、径1mm以下の長石・ 石英・ナメ・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	外外面に焼付着	597	-
2476	S00381	1	VII 高井G4d	口径15.8 脚高(8.4)	口縁1	ナメ	多条 沈繩(18条)、山 形文、多条 沈繩(6条)、 差形文、多条 沈繩(4条)、 差形文、多条 沈繩(6条)、山 形文、多条 沈繩(6条)	泥、径1mm以下の長石・ 石英・ナメ・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	外外面に焼付着	597	-
2477	S00381	1	VI 器台B1	口径17.8 脚高(1.1) 最大径18.0	口縁2	ヨリヨリ、ナメ	ヨリヨリ、ナメ、板ナメ	泥、径1mm以下の長石・ 石英・ナメ・赤色酸化土粒を 多く含む	良	1穿孔1組3方向	597	-
2478	S00381	1	VII 高井G2	口径6.0 脚高(3.1)	口縁5	磨耗のため調査不明	ナメ	やややや、径1mm以下の長石・ 石英・ナメ・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	1穿孔1組3方向	597	-
2479	S00381	1	V 高井B	脚高(4.1)	口縁1	ナメ	ナメ	泥、径1mm以下の長石を 多く含む	良	1穿孔1組2方向	597	226
2480	S00381	1	V～VI 高井B1	口径12.2 底径12.6 脚高(18.1) 最大径18.1	口縁3 底部充存/4 以上	ヨリヨリ、 底部充存/4 以上	ヨリヨリ、 底部充存/4 以上、相撲圧痕、ナメ	やややや、径2mm以下の長石・ 石英・ナメ・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	1穿孔1組3方向	597	198
2481	S00381	1	V～VI 高井B1	口径18.8 底径12.5 脚高(12.3)	口縁5 底部充存/4 以上	ナメ	ナメ	泥、径1mm以下の長石・ 石英・ナメを多く含む	良	外外面に焼付着	597	198
2482	S00381	1	V～VI 高井脚部 芯	脚高(6.3)	口縁1	ナメ	板ナメ	泥、径1mm以下の長石を 多く含む	良	1穿孔1組3方向 外外面に焼付着	597	-
2483	S00381	1	V～VI 高井脚部 芯	脚高(8.8)	口縁1	ナメ	ナメ	泥、径1mm以下の長石を 多く含む	良	2穿孔1組3方向	597	-
2484	S00381	1	VII～VIII 高井G3b 脚部	底径16.8 脚高(10.2) 未満	底部1/4	ナメ	泥、径1mm以下の長石・ 石英・ナメ・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	2穿孔1組2方向	597	-	
2485	S00381	1	V～VI 高井脚部 芯	脚高(6.5)	底部2/4 以上	ナメ	泥、径1mm以下の長石・ 石英・ナメ・赤色酸化土粒を 多く含む	良	1穿孔1組3方向	597	-	
2486	S00381	1	VII～VIII 高井G3b 脚部	底径13.2 脚高(5.6) 底部充存	底部1/4	ナメ	泥、径1mm以下の長石・ 石英・ナメ・赤色酸化土粒を 多く含む	普通	2穿孔1組2方向	597	-	
2487	S00381	1	VII 高井G2b	脚高(1.5) 以上	底部3/4	ナメ	泥、径1mm以下の長石を 多く含む	良	1穿孔1組3方向	597	-	
2488	S00381	1	V 高井脚部	底径5.0 以上	底部1/4	ナメ	泥、径1mm以下の長石を 多く含む	普通	穿孔無し	597	-	

表153 土器類観察表 (87)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm) (X/12)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	傳説 国際
						外面	内面				
2489	S06381	1	V~VI 窓A1 部	底径4.2 器高(12.5)	底部2/4 以上	18°±	指頭正直、左“+”右 “-”、赤色酸化土 粒を僅かに含む	やや密、径2mm以下の長 石・+/-を僅かに含む	普通	1穿孔1孔3方向	597 198
2490	S06381	1	V 窓A1b	口径18.8 器高4.0	口縁5	擬圓文、磨耗のため調 整不明	羽状文、磨耗のた め調整不明	やや密、径3mm以下の長 石・+/-を僅かに含む	普通	598 -	
2491	S06381	1	V 窓A1b	口径15.2 器高(4.0)	口縁3	“+”、竹管文、指頭正直 磨耗著しい	“+” 磨耗著しい	やや粗、径7mm以下の長 石・+/-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	598 -	
2492	S06381	1	V~VII 窓A1	器高(2.6)	円形浮文	“+”、比翼文(3条)、3個 の円形浮文	-	やや密、径2mm以下の長 石・+/-を僅かに含む	普通	598 -	
2493	S06381	1	VI~VII 窓A3	口径16.6 器高(5.2)	口縁6	指頭正直、左“+”右 “-”	“+”、指頭正直	密、径3mm以下の長 石・+/-、赤色酸化土粒を 僅かに含む	良	内面磨刻	598 197
2494	S06381	1	V~VI 窓A1b	口径17.0 器高(2.9)	口縁5	指頭正直、左“+”右 直圓文(10条)、刺突文、直 圓文(10条)、刺突文、 直圓文、刺突文、直圓文、 刺突文、左のち“+/-”	指頭正直、左“+”右 直圓文(10条)、刺突文、直 圓文(10条)、刺突文、 直圓文、刺突文、直圓文、 刺突文、左のち“+/-”	やや密、径3mm以下の長 石・+/-を僅かに含む	普通	外間に埋付着	598 196
2495	S06381	1	VII 窓A1b	器高(3.6)	竹管文、突部上に擬圓 文(3条)	竹管文、突部上に擬圓 文(3条)	摩耗のため調整不 明	密、径1mm以下の長石・ 石英を僅かに含む	良	598 -	
2496	S06381	1	V~VI 窓A1b	器高(4.2)	沈澱(8条)、刺突文、沈 澱(7条)、竹管文	指頭正直	やや密、径1mm以下の長 石・+/-を多く含む	普通	598 -		
2497	S06381	1	V~VI 窓A1b	口径15.8 器高(5.6)	口縁5	“+/-”	“+/-”	やや密、径2mm以下の長 石・+/-を僅かに含む	普通	598 -	
2498	S06381	1	VII 窓A5	口径15.6 器高(3.2)	口縁8	30°±、-/+	30°±、羽状文、-/+	密、径1mm以下の長石・ 石英を僅かに含む	良	598 -	
2499	S06381	1	VI~VII 窓B1	口径12.4 器高(4.3)	口縁10	“+/-”	“+/-”	やや密、径3mm以下の長 石・+/-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	599 -	
2500	S06381	1	VI~VII 窓B1	口径17.0 器高(3.8)	口縁2	“+/-”	“+/-”	密、径3mm以下の長石・ 石英を僅かに含む	良	599 -	
2501	S06381	1	VI~VII 窓B2	口径15.8 器高(6.9)	口縁8	“+” 磨耗著しい	“+”、輪積み底、指 頭正直、磨耗著し い	やや粗、径3mm以下の長 石・+/-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	脚部打ち欠き、肩 孔有り	599 -
2502	S06381	1	VI~VII 窓B1	口径15.0 器高(17.2)	口縁7	30°±、指頭正直、左“+/-”	30°±、輪積み底、指 頭正直	やや密、径3mm以下の長 石・+/-を僅かに含む	良	日瓶有り	599 196
2503	S06381	1	VI~VII 窓B1	口径14.6 器高(15.5)	口縁6	“+/-”	“+/-”、指頭正直、左“+/-”	やや密、径3mm以下の長 石・+/-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	外間に埋付着	599 196
2504	S06381	1	V~VI 窓B2a	口径14.6 器高5.7 最大径24.7	口縁5 底部5/4 以上	“+/-”	“+/-”、輪積み底、指 頭正直	やや密、径1mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	599 197	
2505	S06381	1	V~VI 窓B3	口径11.8 器高(13.4) 最大径23.6	口縁4	“+/-”、-/+	“+/-”、輪積み底、指 頭正直	やや密、径2mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	外間に埋付着	599 -
2506	S06381	1	V~VI 窓B2a	口径14.9 器高(12.3)	口縁10	30°±、-/+のち“+/-”	15°±、-/+“+/-”、指 頭正直、左“+/-”	やや密、径2mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	599 196	
2507	S06381	1	VI~VII 窓B2a	口径15.2 器高(11.8)	口縁8	“+/-”、-/+“+/-”、-/+ のち“+/-”	“+/-”、-/+“+/-”、指 頭正直	密、径5mm以下の長 石・石英・赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	内面磨刻有り	599 -
2508	S06381	1	VI~VII 窓B	底径4.8 器高(14.1)	底部完 存	輪積み底、-/+、-/+”	-/-	やや密、径4mm以下の長 石・+/-を僅かに含む	普通	600 -	
2509	S06381	1	VI~VII 窓B	底径6.0 器高(19.0) 最大径24.8	底部完 存	“+/-”、輪積み底、磨耗著 い	“+/-”、指頭正直	やや密、径7mm以下の長 石・+/-を多く含む	普通	外間に埋付着	600 196
2510	S06381	1	V~VI 窓B	底径6.6 器高(17.0) 最大径26.7	底部3/4 以上	“+/-”、輪積み底、指頭正 直	“+/-”、指頭正直、輪 積み底	やや密、径5mm以下の長 石・+/-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通	600 -	
2511	S06381	1	VI~VII 窓B	底径6.4 器高(19.9)	底部3/4 以上	“+/-”	“+/-”、指頭正直	密、径3mm以下のナットを 僅かに含む	良	外間に埋付着、	600 -
2512	S06381	1	VI~VII 窓C	口径13.3 器高(27.5)	口縁12 底部1/4 未調	“+/-”、-/+”	“+/-”、-/+”、指頭正直	密、径4mm以下の長石・ 石英・+/-、赤色酸化土 粒を多く含む	普通	打ち欠き	600 196
2513	S06381	1	VI~VII 窓B3a	口径14.0 器高(4.8) 最大径22.4	口縁12 底部完 存	30°±、-/-	30°±、-/-、指頭正 直	やや密、径3mm以下の長 石・+/-、赤色酸化土 粒を多く含む	普通	口縫部打ち欠き?	600 195

表154 土器類觀察表 (88)

表155 土器類観察表 (89)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		出土	焼成	備考	特徴 国別
						外面	内面				
2539	SD0381	1	V~VI 便B3	口径15.6 高さ(5.2)	口縁2 +++, 輪積み底、 内側	+++, 輪積み底、 指頭丘底、 +++, ++	+++, 指頭丘底、 +++, ++	やや粗、 底3mm以下 の長石・ +チリ・赤色 酸化土粒 を多く含む	普通	603	-
2540	SD0381	1~+	V~VI 便B2	口径20.1 高さ(26.3)	口縁5 ++	树突文、 ++、++ ++	++、指頭丘底、 ++	やや粗、 底3mm以下 の長石・ +チリ・赤色 酸化土粒 を多く含む	普通	603	-
2541	SD0381	b	V~VI 便A4	口径17.3 高さ(11)	口縁3 ++	ヨコツ、直線文、 树突文、 ++	ヨコツ、指頭丘底、 ++、輪積み底	やや粗、 底2mm以下 の長石・ +チリ・赤色 酸化土粒 を多く含む	普通	603	-
2542	SD0381	11	V~VI 便B3	口径17.0 高さ(17.4) 最大径21.6	口縁2 ++	ヨコツ(口縁部)、直 線文(4条+3条)、 树突文(+)、 ++	ヨコツ(口縁部)、 ++、輪積み底	やや粗、 底1mm以下 の長石・ +チリ・赤色 酸化土粒 を多く含む	普通	603	-
2543	SD0381	10	VI 便A4	口径16.0 高さ(6.0) 最大径20.2	口縁3 ++	直線文、 ++	++、輪積み底、 指頭丘底、 ++	底、 底3mm以下 の長石・ +チリ・ を多く含む	良	603	-
2544	SD0381	12	V~VI 便B1	口径19.9 高さ(14.1) 最大径25.6	口縁2 ++	树突文、 ヨコツ、 ++	ヨコツ、 ++、輪積み底、 指頭丘底、 ++	やや粗、 底3mm以下 の長石・ 石英・ 赤色酸化土 粒を多く含む	普通	603	-
2545	SD0381	b	V~VI 便B2	口径13.4 高さ(22.9) 最大径19.0	口縁6 ++	++、 指頭丘底、 ++	++、 ++	やや粗、 底3mm以下 の長石・ +チリ・赤色 酸化土 粒を多く含む	普通	603	202
2546	SD0381	1	V~VI 便C1	口径(4.2)	++	++	++	粗、 径1mm以下 の長石・ 石英・ +チリを多く含む	良	604	-
2547	SD0381	2	VI~VII 便E5	口径10.9 高さ(6.0)	口縁6 ++	ヨコツ(口縁部)、 ++(脚部)、 ++	ヨコツ(口縁部)、 ++(脚部)、 ++	内面に 底面円文有り	普通	604	-
2548	SD0381	c	V~VI 便C1	口径(3.8)	++	++	++、 指頭丘底(台部)	やや粗、 底1mm以下 の雲母・ +チリを含む	外間に保付着	604	-
2549	SD0381	b	V~VI 便D2	口径(5.3)	++	++	++、 指頭丘底	粗、 底1mm以下 の長石・ 石英・ 雲母・ +チリ を多く含む	脚部打 ち欠き?	604	-
2550	SD0381	17	V~VI便 便D1	口径2.4 高さ(5.0)	口縁1 ++	ヨコツのち押し引、 茎 刺突(口縁部)++(脚部)	ヨコツ(口縁部)、 ++(脚部)、 ++(脚部)	粗、 径1mm以下 の長石・ 雲母・ +チリ を多く含む	普通	604	-
2551	SD0381	b	V~VI 便C1	底径4.0 高さ(11.5)	++	++(脚部)、 指頭丘底(台部)	++(脚部)、 指頭丘底(台部)	粗、 底1mm以下 の長石・ 雲母・ +チリ を多く含む	良	604	-
2552	SD0381	1	V~VI 便C1	底径7.2 高さ(8.0)	++	板状、 ++、 輪積み底、 指頭丘底	板状、 ++、 輪積み底、 指頭丘底	粗、 底1mm以下 の長石・ 雲母・ +チリ を多く含む	普通	604	-
2553	SD0381	a	VII 便B3	口径14.0 高さ(5.0)	口縁1 ++	++、 輪積み底、 指頭丘底	++、 輪積み底、 指頭丘底	やや粗、 底1mm以下 の長石・ 石英・ 雲母を 含む	良	604	-
2554	SD0381	a	VII 便B3	口径14.0 高さ(5.0)	口縁5 ++	ヨコツ(口縁部)、 ++(脚部)、 ++(脚部)	ヨコツ(口縁部)、 ++(脚部)、 ++(脚部)	粗、 底1mm以下 の長石・ 雲母・ +チリ を多く含む	普通	604	-
2555	SD0381	a	VII 便B3	口径15.8 高さ(5.0)	口縁6 ++	ヨコツ、 ++	ヨコツ、 ++、 指頭丘底	やや粗、 底1mm以下 の長石・ 石英・ 雲母を 含む	普通	604	201
2556	SD0381	a	VII 便B3	口径15.4 高さ(4.7)	口縁5 ++	ヨコツ、 ++	ヨコツ、 ++、 指頭丘底	やや粗、 底1mm以下 の長石・ 石英・ 雲母を 含む	普通	604	-
2557	SD0381	a	VII 便B3	口径14.5 高さ(5.3)	口縁2 ++	ヨコツ、 ++	ヨコツ、 ++、 指頭丘底	やや粗、 底1mm以下 の長石・ 石英・ 雲母を多く 含む	普通	604	-
2558	SD0381	c	VII 便C3	底径7.2 高さ(9.7)	底部完 存	ヨコツ(口縁部)、 ++(脚部)、 指頭丘底(台部)	ヨコツ(口縁部)、 ++(脚部)、 指頭丘底(台部)	粗、 底1mm以下 の長石・ 石英・ 雲母・ +チリ を多く含む	普通	604	201
2559	SD0381	a	VII 便C3	口径11.0 高さ(3.7)	口縁1 ++	ヨコツ(口縁部)、 ++(脚部)	ヨコツ(口縁部)、 ++(脚部)、 ++(脚部)	粗、 底1mm以下 の長石・ 雲母・ +チリ を多く含む	普通	604	-
2560	SD0381	a	VII 便C3	口径11.9 高さ(16.7) 最大径16.7 8	口縁3 ++	ヨコツ、 ++	ヨコツ、 ++、 指頭丘底	やや粗、 底1mm以下 の長石・ 雲母を 含む	普通	604	201
2561	SD0381	a	VII 便C3	口径13.7 高さ(9.6)	口縁5 ++	ヨコツ、 ++	ヨコツ(口縁部)、 ++(脚部)、 指頭丘底(台部)	やや粗、 底3mm以下 の長石・ 石英・ 雲母を多く 含む	普通	604	202
2562	SD0381	2	VII 便C3	口径14.8 高さ(12.6)	口縁2 ++	ヨコツ、 ++	ヨコツ、 ++、 ++(++)、 指頭丘底	やや粗、 底1mm以下 の長石・ +チリ・ 赤色酸化土 粒を多く含む	普通	604	-
2563	SD0381	3	V~VI 便F	口径10.8 高さ(4.4)	口縁2 ++	ヨコツ、 ++	ヨコツ、 ++、 指頭丘底	やや粗、 底1mm以下 の長石・ +チリ・ 赤色酸化土 粒を多く含む	普通	605	-
2564	SD0381	2	V~VI 便E6	口径12.8 高さ(9.6)	口縁1 ++	ヨコツ、 ++、 輪積み底	ヨコツ、 ++、 輪積み底	やや粗、 底1mm以下 の長石・ +チリ・ 赤色酸化土 粒を多く含む	普通	605	-
2565	SD0381	10	V~VI 便C1	底径7.2 高さ(7.2)	底径3/4 以上	++、 輪積み底	++、 輪積み底、 指頭丘底	粗、 底3mm以下 の長石・ +チリ・ 赤色酸化土 粒を多く含む	良	605	-
2566	SD0381	1	V~VI 便C1	底径7.0 高さ(6.0)	底部完 存	++	指頭丘底、 ++	指頭丘底	内面に保付着	605	-
2567	SD0381	a	V~VI 便C1	口径6.8 高さ(6.8)	指頭丘底	指頭丘底、 ++	指頭丘底、 ++	粗、 底1mm以下 の長石・ +チリ・ 赤色酸化土 粒を多く含む	外間に保付着	605	201

表156 土器類観察表（90）

No.	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法面(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	神奈 開版
						外面	内面				
2568	SD0381	2	V1~V6 手捏ねB	口径4.4 底径4.3 器高4.7	口縁5.0 底部充 存	指頭圧痕、輪積み 板。	やや密、径1mm以下のけ ードを僅かに含む	良	内外面に焼付着	605	204
2569	SD0381	b	V~V1 手捏ねB	口径6.7 底径6.6 器高6.7 最大径7.1	口縁6.7 底部充 存	±“フ”のV字板付 ⁺ 、板付 ±“フ”的ち板付 ⁺	やや粗、径1mm以下の長 石・石英を僅かに含む	普通		605	204
2570	SD0381	1	V1~V6 手捏ねC	口径6.6 底径6.6 器高6.7 最大径6.8	口縁6.6 底部充 存	輪積み板、指頭圧痕	やや密、径1mm以下のけ ードを赤色酸化土粒を僅 かに含む	良	605	—	
2571	SD0381	2-d	V~V6 土製品	長3.8 幅3.7 厚3.2	±?		やや粗、径1mm以下の長 石・ケードを僅かに含む	普通		605	204
2572	SD0381	1	V1~V6 土製品	高さ(1.5)		磨耗のため調査不明	磨耗のため調査不明	やや密、径2mm以下の長 石・ケードを僅かに含む	普通	605	204
2573	SD0381	d	IX 林	口径12.4 底径12.4 器高6.6 最大径13.6	口縁11 底部充 存	±“フ”(底部) ±“フ”	やや粗、径2mm以下の赤 色酸化土粒を僅かに含 む	普通		605	201
2574	SD0381	a	VII~IX 便器	口径9.6 器高(6.4)	口縁5	±“フ”、±“?	やや粗、指頭圧 痕板。	やや粗、径1mm以下の長 石・ケードを僅かに含む	普通	605	204
2575	SD0381	1	VII 便	口径17.4 器高(5.2)	口縁5	羽状文(?)、磨耗著し 羽状文(?)、磨耗著し [?]	やや粗、指頭圧痕板を僅 かに含む	普通		605	—
2576	SD0381	1	古代 便器遺跡	口径15.7 器高(2.8)	口縁6	凹切げ ⁺	凹切げ ⁺	やや粗、径1mm以下のケードを 僅かに含む	自然焼付着	605	—
2577	SD0381	a	古代 便器遺跡	底径2.6 器高(2.7)	底部3/4 以上	凹切げ ⁺ 、～切り	ロクロワ ⁺	やや粗、径1mm以下の長石を 僅かに含む	観察有り	605	—
2578	SD0381	d	中世 片口林	器高(2.2)		沈捺(?)口縫端部)、指 頭圧痕	やや粗、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良		605	—
2579	SD0381	a	V 便入側部	器高(9.0)		±“フ”複数文(3条1組)、 ±“?”一部に指頭 痕複数文(3条1組) 法面	やや密、指1mm以下 の長石を僅かに含む	普通	外面に焼付物付着	606	226
2580	SD0381	a	IV 便A	底径6.6 器高(16.9) 以上	底部2/4 ⁺		指頭圧痕、±“?”	やや粗、指1mm以下 の長石を僅かに含む	焼成後穿孔	606	—
2648	JJ12	I	織文 深鉢	器高(4.0)		貼付端座上に押庄、条 板	磨耗により調査不 明	やや粗、指2mm以下の石 英・ケード、赤色酸化土 粒を多く含む	普通	619	—
2649	JS01	V	織文 深鉢	口径10.0 器高(6.3) 最大径10.7	口縁1	±“フ”、±“?” ±“?”、輪積み板	±“?”、輪積み板	やや密、指2mm以下の石 英・ケード、赤色酸化土 粒を多く含む	普通	619	229
2650	FS10	IV	織文 深鉢	器高(8.0)		柔直	磨耗のため調査不 明	やや粗、指1mm以下 の長石を僅かに含む	不良	619	—
2651	JB11	IV	II 便A1a	口径40.6 器高(8.5)	口縁3	貝殻多孔	磨耗のため調査不 明	やや粗、指1mm以下 の長石を多く含む	3653と同一個体 か?	619	228
2652	FS12	IV	II 便A1b	器高(2.2)		ホダミ、摩耗のため調 査不明	貝殻多孔	やや粗、指4mm以下 の長石を多く含む	不良	619	—
2653	JAI1	IV	II	器高10.1 便A1底部 器高(3.9)	底部3/4 以上	便A1のため調査不 明	便A1のため調査不 明	やや粗、指1mm以下 の長石を多く含む	2651と同一個体 か?	619	228
2654	JG12	IV	IV 便D	口径15.0 器高(3.6)	口縁1	±“?”、±“?”	指頭圧痕	やや粗、径1mm以下 の長石を僅かに含む	良	619	—
2655	JG12	a	III 便A5	口径4.4 器高(9.7)	口縁3	±“?”、±“?”、 沈澱(頸部)	±“?”、±“?”、 ±“?”、±“?”	やや粗、指1mm以下 の長石を多く含む	良	619	—
2656	JJ13	IV	II 便B	器高(2.2)		?	波状文、±“?”	やや粗、指1mm以下 の長石を僅かに含む	普通	619	—
2657	JG12	a	IV 便A5	器高(2.6)		波状文	摩耗著しい	やや粗、径1mm以下 の長石を僅かに含む	良	619	—
2658	JD08	IV a	III 便A3	口径7.6 器高(2.9)	口縁1	波状文	±“?”、±“?”	やや粗、指3mm以下の長 石・赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通	619	—
2659	JF11	IV	IV 便D	口径20.0 器高(3.5)	口縁1	±“?”、±“?”	±“?”、±“?”	やや粗、径1mm以下 の長石・ケードを僅かに 含む	普通	619	215
2660	JK10	IV	IV 便D	口径22.0 器高(2.8)	口縁1	±“?”、±“?”	±“?”、±“?”	やや粗、径1mm以下 の長石・ケードを僅かに 含む	普通	619	—
2661	JJ11	IV a	IV 便D	口径22.0 器高(3.1)	口縁1	±“?”のもの	±“?”のもの	やや粗、指4mm以下 の石英・ケードを僅かに 含む	普通	619	—
2662	JH13	a	IV 便B	口径20.0 器高(4.1)	口縁4	±“?”、刺突	±“?”、±“?”	やや粗、径1mm以下 の長石を僅かに含む	良	619	—
2663	JH13	a	IV 便B	口径19.4 器高(5.7)	口縁3	刺突文、±“?”	±“?”、±“?”	やや粗、指5mm以下 の石英を僅かに含む	良	619	—
2664	FS12	IV	IV 林C	口径14.6 底径12.3 器高12.3 最大径15.0	口縁3 直線文(?)、 直線文(?)、 刺突文、±“?”	刺突文(?)、直 線文(?)、 直線文(?)、 刺突文、±“?”	指頭 圧痕	やや粗、指5mm以下 の長石を僅かに含む	良	619	229

表157 土器類觀察表 (91)

No	地区 構造	層 位	時期 層別分類	法長(cm)	堆存率 (G/12)	調整		耕土	被 成	備考	辨 別	
						外面	内面					
2665	JF11	IV	IV Ⅳ-B	器高(5.7)	-	→サ。點付環帯に3Cの押 印。指揮正	サ。指揮正	前、後3m以下の長石。 +サ。赤色酸化土を僅 かに含む。	普通	619	215	
2666	J009	IV	IV Ⅳ-B	器高(5.0)	-	→サ	3Cサ。指揮正	前、後3m以下の長石。 +サ。赤色酸化土を僅 かに含む。	普通	619	-	
2667	JK11	IV	IV Ⅳ-a	器高(6.4)	-	→サ。點付環帯にキサ マー。樹皮文。等	サ。サ。指揮正	前、後2m以下の長石。 +サ。僅かに含む。	普通	619	-	
2668	FT15	IV	IV Ⅳ-B	器高(4.7)	-	→サ。竹管文	サ	前、後1m以下の長石。 +サ。僅かに含む。	普通	619	-	
2669	JN08	IV	III → IV Ⅳ-B	口径19.4 器高(6.2)	口縁4	鉄突文(サ)かみも、サ。 輪縫端部。(サ)	ササ。サ。ササ。	やや重。後2m以下に長い 長石を僅かに含む。	普通	外面に煤付着	620	206
2670	KN01	V	IV Ⅳ-A	口径17.8 器高(4.8)	口縁4	鉄突文(サ)かみも、サ。 輪縫端部。(サ)	サ。サ。サ。	やや重。後3m以下の長石。 +サ。僅かに含む。	普通	620	-	
2671	KK03	V	IV Ⅳ-A	口径17.8 器高(4.8)	口縁3	鉄突文(サ)かみも、サ。 輪縫端部。(サ)。横 筋痕有。	サ。サ。サ。	やや重。後3m以下のサ ー。僅かに含む。	普通	620	229	
2672	JH06	IV	IV Ⅳ-B	口径19.8 器高(19.3) 最大底径21.4	口縁2	コサ。ササ。のちササ	ササナ。サ。指揮正	やや重。後3m以下の右 側。(サ)を多く含む。	普通	620	-	
2673	J111	IV	IV Ⅳ-B	底径4.4 器高(6.1)	底部3/4 以上	→サ。4C↑↑↑↑	サ	やや重。後2m以下の長 石。+サ。サを僅かに含む。	普通	620	-	
2674	JL13	IV	IV Ⅳ-B	口径16.0 器高(6.1)	口縁2	3Cサ。鉄突文。サ。輪 縫端部。(2条)	3Cサ。指揮正。ホ	やや重。後1m以下の左 側。(サ)を多く含む。	普通	620	-	
2675	JC11	IV	IV Ⅳ-B	口径17.2 器高(3.2)	口縁1	3Cサ。列点文	3Cサ	後2m以下の長石を 僅かに含む。	良	620	-	
2676	JB07	III	IV Ⅳ-B	口径14.0 器高(1.9)	底部3/4 以上	-	サ	やや重。後1m以下のサ ー。僅かに含む。	普通	620	-	
2677	FT12	IV	V Ⅴ-A	口径15.0 器高(4.1)	口縁3	3Cサ。樹皮文(ロ繩部)。 輪縫点文。輪縫正。等	サ。指揮正。ホ	やや重。後1m以下の長石 を僅かに含む。	普通	外面に煤付着	620	229
2678	KK03	V	V Ⅴ-A	口径16.8 器高(3.0) 最大底径19.0	口縁6	3Cサ。鉄突文。繩文2 種類。サ。ホ。一部 にサ(底部)。	3Cサ。サ。サ。	後2m以下の長石を 僅かに含む。	普通	外面に煤付着	620	229
2679	JA10	IV	V Ⅴ-A	口径18.9 器高(5.5) 最大底径19.1	口縁1	3Cサ。鉄突文。直輪 文。サ。	3Cサ。サ。指 揮正。	やや重。後1m以下の長 石を僅かに含む。	普通	外面に煤付着	620	-
2680	JA12	IV	V Ⅴ-A	口径19.4 器高(5.3) 最大底径20.0	口縁2	3Cサ。直輪文(サ)。列 点文。等	サ。サ。	後1m以下の左の長石。 +サ。赤色酸化土を僅 かに含む。	脚部打ち欠き有	620	-	
2681	JQ08	V	VI Ⅵ-A	口径17.6 器高(6.6)	口縁1	沈痕(2個)。3Cサ。サ。	3Cサ。サ。	後3m以下の長石を 僅かに含む。	煤付着	621	-	
2682	J009	IV	V → VI Ⅵ-A	口径15.4 底径2.0 器高(9.7)	底部2/3 底端完 存	鉄突文。ササ。直輪文。 鉄突文。サ。サ。	3Cサ。指 揮正。	やや重。後2m以下の長 石。+サ。赤色酸化土 を多く含む。	良	621	-	
2683	JB10	IV	V Ⅴ-A	口径14.4 器高(4.6)	口縁3	3Cサ。直輪文2種(サ)。 列点文。等	3Cサ。3Cサ。	密。後1m以下の長石を 僅かに含む。	脚部打ち欠き有	621	-	
2684	JK16	a	V → VI Ⅵ-A	口径11.7 器高(5.0) 最大底径13.3	口縁2	3Cサ。鉄突文(サ)。ハ シテ痕文(サ)。鉄突文 (サ)。ホ	3Cサ。サ。	後1m以下の長石。 +サ。サを僅かに含む。	脚部打ち欠き有	621	-	
2685	JS14	IV	VI Ⅵ-A	口径13.5 器高(6.8)	口縁3	サ。直輪文。鉄突文。 サ。	サ。サ。指 揮正。輪縫痕	やや重。後1m以下の長 石。+サ。サを僅かに含 む。	普通	外面に煤付着	621	-
2686	FT12	IV	V → VI Ⅵ-A	口径15.0 器高(5.3)	-	3Cサ。鉄突文	3Cサ	やや重。後1m以下の長 石を僅かに含む。	普通	621	-	
2687	JA12	IV	V → VI Ⅵ-A	底径3.0 器高(1.9)	底部完 存	-	板縫サ	後1m以下の長石を 僅かに含む。	外面に煤付着	621	-	
2688	JB17	IV	V → VI Ⅵ-A	底径3.6 器高(2.7)	底部2/4 以上	-	サ	やや重。後4m以下の長 石。+サ。赤色を含む。	普通	621	-	
2689	JC17	IV	V Ⅴ-A	底径4.4 器高(3.3)	-	摩耗のため調整不 明	サ	やや重。後1m以下の長 石を僅かに含む。	普通	621	-	
2690	JF08	IV	V → VI Ⅵ-A	底径3.7 器高(6.9)	底部2/4 以上	指揮正	サ。指 揮正	やや重。後2m以下の長 石。+サ。サを僅かに含 む。	普通	外面に煤付着。底 部骨孔有り	621	-
2691	JB10	IV	V Ⅴ-A	口径13.9 底径4.1 器高(8.6) 最大底径14.1	口縁3	サ。鉄突文。3Cサ。 鉄突文(サ)。	サ。サ。	後2m以下の右の長 石。+サ。赤色酸化土 を僅かに含む。	良	621	216	
2692	JJ09	IV	V → VI Ⅵ-A	口径17.0 器高(6.9)	口縁3	サ。鉄突文。3Cサ。 鉄突文	3Cサ。サ。	やや重。後3m以下の長 石。+サ。赤色酸化土 を僅かに含む。	普通	621	-	
2693	JW12	IV	V → VI Ⅵ-A	口径16.8 底径4.2	口縁2	3Cサ。サ。直輪文3 種(サ)。鉄突文(サ)。	3Cサ。サ。	やや重。後3m以下の長 石。+サ。サを僅かに含 む(底 部周辺)。	脚部打ち欠き有	621	-	

表158 土器類觀察表 (92)

No.	地区 遺構	層位	時期 陶器分類	法面(cm)	残存率 (%)	調整		出土	構成	備考	神宮	國版
						外面	内面					
2094	JN08	IV 跡K1	V	口径15.6 底高(8.8)	100	刺突文、ヨコテ、ハサ 口縁6	ヨコテ、ハサ 指顎圧痕、輪積み 板	やや密、径2mm以下の長 石、右夷文・ナメ・赤色 酸化土粒を多く含む	普通	外面漆・原化村 着	621	-
2095	JS15	IV 跡K2	V	口径19.0 底径(2.0) 高さ(6.2) 最大径(8.8)	100	ヨコテ、ハサ、直腹文、柄 刺突文、輪積み板、柄 蓋	ヨコテ、ハサ、直腹文、柄 刺突文、輪積み板、柄 蓋	やや密、径2mm以下の長 石、右夷文・ナメ・赤色 酸化土粒を多く含む	普通	打ち欠き	621	205
2096	JA12	IV 跡E	VI～VII 手形2B	口径19.6 底径(5.7)	100	ヨコテ、ハサ、直腹文、柄 刺突文、輪積み板、柄 蓋	ヨコテ、ハサ、直腹文、柄 刺突文、輪積み板、柄 蓋	やや密、径2mm以下の長 石、右夷文・ナメ・赤色 酸化土粒を多く含む	良	621	-	
2097	J009	IV 手形2B	V～VI 底高(5.7)	底径15.6 底高(5.7)	100	底部充 存	ヨコテ、指顎圧痕 輪積み板	やや密、径2mm以下の長 石、ナメ・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	内面赤彩有り	621	-
2098	JS14	IV 跡E	V～VI 底高(5.7)	口径19.6 底径(5.7)	100	ヨコテ、ハサ、直腹文、柄 刺突文、輪積み板、柄 蓋	ヨコテ、ハサ、直腹文、柄 刺突文、輪積み板、柄 蓋	やや密、径2mm以下の長 石、右夷文・ナメ・赤色 酸化土粒を多く含む	普通	621	206	
2099	JN09	IV 跡E3	V～VI 底高(5.7)	口径15.6 底径(10.6) 高さ(10.6) 最大径(15.0)	100	ヨコテ、ハサ、直腹文、柄 刺突文、輪積み板、柄 蓋	ヨコテ、ハサ、直腹文、柄 刺突文、輪積み板、柄 蓋	やや密、径1mm以下の長 石、ナメ・赤色酸化土 粒を多く含む	普通	底部穿孔有り	621	-
2100	JA12	IV 跡E	VI～VII 底高(5.7)	口径11.0 底径(7.6) 器高(6.9) 最大径(11.3)	100	ヨコテ、ハサ、板押、ヨコテ底 部	ヨコテ、ハサ、板押、ヨコテ底 部	やや密、径2mm以下の長 石を多く含む	良	621	-	
2101	JS13	IV 跡D9底 部	V～VII 底高(4.3)	口径11.0 底径(4.3)	100	ヨコテ、ハサ、板押、ヨコテ底 部	ヨコテ、ハサ、板押、ヨコテ底 部	やや密、径2mm以下の長 石を多く含む	良	621	-	
2102	JS13	IV 跡D9底 部	V～VII 底高(4.3)	底部充 存	100	ヨコテ、指顎圧痕	ヨコテ、指顎圧痕	やや密、径2mm以下の長 石、ナメ・赤色酸化土 粒を多く含む	良	621	-	
2103	JL13	IV 高岡B1	V	口径14.9 底高(2.9)	100	ヨコテ、ハサ	ヨコテ、ハサ	やや密、径2mm以下の長 石を多く含む	普通	622	-	
2104	JL12	a 高岡B2b	跡高(3.7)	100	比擬(2条)、摩耗のため 調査不明	比擬(2条)、摩耗のため 調査不明	やや密、径2mm以下の長 石を多く含む	普通	622	-		
2105	JD11	IV 高岡B2b	V	口径18.9 底高(3.6)	100	ヨコテ、摩耗のため調査不 明	ヨコテ、摩耗のため調査不 明	やや密、径2mm以下の長 石を多く含む	普通	622	-	
2106	JD12	IV 高岡B1b	V	口径18.9 底高(4.0)	100	ヨコテ、ハサ	ヨコテ、ハサ	やや密、径2mm以下の長 石を多く含む	良	622	-	
2107	JG17	a 高岡B2b	跡高(3.7)	口径18.9 底高(3.8)	100	ヨコテ、指顎圧痕、摩耗 顯著	ヨコテ、指顎圧痕、摩耗 顯著	やや密、径2mm以下の長 石を多く含む	良	622	-	
2108	JB10	IV 高岡B2b	V	口径20.2 底高(4.0)	100	ヨコテ、摩耗のため調査不 明	ヨコテ、摩耗のため調査不 明	やや密、径2mm以下の長 石を多く含む	良	622	-	
2109	JN09	IV a 高岡B2a	V	口径18.8 底高(4.7)	100	ヨコテ、ハサ	ヨコテ、ハサ	やや密、径2mm以下の長 石を多く含む	普通	622	-	
2110	KS01	V 跡高(3.7)	V～VI 底高(3.7)	口径18.9 底高(12.7)	100	ヨコテ、ハサ	ヨコテ、ハサ	やや密、底部充 存	1穿孔1組3方向	622	228	
2111	JB10	IV 高岡B3b	V	口径12.2 底高(12.2) 未満	100	ヨコテ、摩耗のため調査不 明	ヨコテ、摩耗のため調査不 明	やや密、径2mm以下の長 石を多く含む	外面赤色顔料付 良?	622	-	
2112	JR13	IV 高岡B2b	V	口径19.8 底高(3.9)	100	ヨコテ、被伏状	ヨコテ、被伏状	摩耗のため調査不 明	普通	622	-	
2113	FR14	IV 高岡B2b	V	口径21.4 底高(4.2)	100	波状文、浅縫(2条)、摩 耗のため調査不明	波状文、浅縫(2条)、摩 耗のため調査不明	やや密、径2mm以下の長 石を多く含む	普通	622	-	
2114	JN09	IV 高岡B2a	V	口径12.8 底高(4.4) 最大径(12.8)	100	ヨコテ、波状文(4条)、摩 耗著	ヨコテ、波状文(4条)、摩 耗著	やや密、径2mm以下の長 石を多く含む	普通	622	-	
2115	JN15	IV 高岡B1	V	口徑12.3 底高(3.9)	100	底部充(4.0)	ヨコテ、ハサ	やや密、底部充(4.0)	1穿孔1組3方向	622	-	
2116	JL16	IV 高岡B1	V～VI 底高(4.0)	底高(1.7) 底高(4.0)	100	ヨコテ、摩耗のため調査不 明	ヨコテ、摩耗のため調査不 明	やや密、底部充(4.0)	一部内面赤彩有り	622	-	
2117	KS01	V 高岡B2b	V	口徑25.6 底高(4.3)	100	ヨコテ、摩耗著	ヨコテ、摩耗著	やや密、底部充(4.3)	普通	622	-	
2118	JN05	I 高岡B2b	V～VI 底高(4.0)	口徑22.0 底高(4.5)	100	ヨコテ、摩耗のため調査不 明	ヨコテ、摩耗のため調査不 明	やや密、底部充(4.5)	普通	622	-	
2119	JA12	IV 高岡B2b	V	口徑27.6 底高(7.5)	100	ヨコテ、摩耗著	ヨコテ、摩耗著	やや密、底部充(7.5)	普通	622	-	
2120	FT12	IV 高岡B2b 部	V	ヨコテ(6条1組3帶)、摩耗 顯著	ヨコテ、摩耗顯著	やや密、赤色酸化土粒を 多く含む	1穿孔1組3方向	623	-			
2121	PS09	IV 高岡B2b 部?	V	ヨコテ(7.5)	100	摩耗のため調査不明	ヨコテ、摩耗のため調査不 明	やや密、底部充(7.5)	1穿孔1組3方向	623	-	
2122	JN08	IV a 高岡B2b 部?	V	ヨコテ(5.5)	100	ヨコテ、直腹文(3条)(6-2-6 条)	ヨコテ、直腹文(3条)(6-2-6 条)	やや密、底部充(5.5)	一部	623	-	
2123	JK14	IV 高岡B2b 部	V	ヨコテ(27.6) 底高(10.3)	100	ヨコテ、直腹文(5条)×4 摩耗著	ヨコテ、直腹文(5条)×4 摩耗著	やや密、底部充(10.3)	1穿孔1組3方向	623	-	
2124	JG07	IV 高岡B2b	V	ヨコテ(8.3)	100	沈痕、ヨコテ	ヨコテ、ヨコテ	やや密、底部充(8.3)	普通	1穿孔1組4方向	623	-

表159 土器類観察表 (93)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		出土	焼成	備考	特徴 説明	
						外面	内面					
2725	FT12	IV	V 高井B脚 部?	底径12.9 器高(3.0)	底21.4 未溝	付 ³ 、直縁文2周	付 ³ 、直 ¹ 筋、付 ¹	やや密、 赤色酸化土粒を 僅かに含む	反転有孔、1耳孔1 側面4方向?、外孔 に焼付着	623	-	
2726	JC10	IV	V 高井B脚 部?	底径12.6 器高(3.8)	底部1/4 以上	付 ³ 、直 ¹ 筋	指潤直筋、付 ¹	密、 底1mm以下 の長石を 僅かに含む	1耳孔1筋3方 向、良 焼成面に二次焼成 痕	623	-	
2727	JJ16	IV	V~VI 高井B脚部	器高(5.2)		摩耗のため調整不明	摩耗のため調整不 明	やや密、 底1mm以下 の長石を 僅かに含む	普 通	623	-	
2728	JN16	#	V~VI 高井B脚部	底径7.8 器高(5.1)	以上	付 ³ 、直 ¹ 筋、付 ¹	付 ³ 、直 ¹ 筋、付 ¹	やや密、 底1mm以下 の長石を 多く含む	普 通	623	-	
2729	JA11	IV	V~VI 高井B脚 部?	器高(10.4)		摩耗のため調整不明	付 ³ 、直 ¹ 筋	やや密、 底1mm以下 の長石を 僅かに含む	普 通	1耳孔1筋3方 向	623	
2730	JA11	IV	V~VI 高井B脚	底径12.1 器高(11.7)	底部2/4 以上	摩耗のため調整不明	付 ³ 、直 ¹ 筋	やや密、 底1mm以下 の長石を 僅かに含む	普 通	1耳孔1筋3方 向	623	
2731	JF13	IV	V~VI 高井B脚 部?	器高(6.7)		付 ³ 、直 ¹ 筋	付 ³ 、直 ¹ 筋	底1mm以下 の長石を 僅かに含む	1耳孔1筋3方 向?	623	-	
2732	JS14	V~VI 高井B脚 部?	底径9.4 器高(8.2)	底部3/4 以上	付 ³ 、直 ¹ 筋、付 ¹	付 ³ 、直 ¹ 筋、付 ¹	やや密、 底3mm以下 の赤 色酸化土粒を 多く含む	普 通	1耳孔1筋3方 向	623	-	
2733	JL20	V	V~VI 高井B脚 部?	底径11.9 器高(13.2)	底部1/4 以上	付 ³ 、直 ¹ 筋、 摩耗のため 調整不明	付 ³ 、直 ¹ 筋、 摩耗のため 調整不明	やや密、 底1mm以下 の長石を 僅かに含む	1耳孔1筋3方 向	623	-	
2734	JR10	IV	V~VI 高井B脚 部?	底径11.5 器高(13.7)	底部2/4 以上	付 ³ 、直 ¹ 筋	付 ³ 、直 ¹ 筋	底1mm以下 の長石を 僅かに含む	1耳孔1筋3方 向	623	-	
2735	JL20	V	V~VI 高井B脚 部?	底径11.4 器高(6.7)	底部1/4 未溝	付 ³ 、直 ¹ 筋	付 ³	密、 底1mm以下 の長石を 僅かに含む	一部?、1耳孔1筋 3方向	623	-	
2736	JJ14	IV	V 高井B脚 部?	口径25.5 底径15.2 器高22.6 最大径26.5	口縁1/4 底部1/4 以上	付 ³ 、直 ¹ 筋、 直縁文、付 ¹	付 ³ 、直 ¹ 筋、 直縁文、付 ¹	やや密、 底1mm以下 の長石、 石英、赤色酸化土 粒を僅かに含む	外面赤彩有り、1 耳孔1筋4方 向	623	206	
2737	JB13	IV	V 高井B脚 部?	底径11.6 器高(6.7)	底部1/4 未溝	付 ³ 、直 ¹ 筋	付 ³ 、直 ¹ 筋	やや密、 底1mm以下 の長石を 僅かに含む	普 通	1耳孔1筋4方 向、 脚部外外面に 焼付着	623	-
2738	JH13	IV	VII 高井C4d	口径34.6 器高(4.0)	口縫1	摩耗のため調整不明	多条沈綱、山形文	密、 底1mm以下 の長石、 赤色酸化土粒を 僅かに含む	1耳孔1筋4方 向	624	-	
2739	擾乱	IV b	VII 高井C4d	口径31.9 器高(8.9)	口縫1	付 ³	直縁文(1条)、山 形文(4条)、直縁文(5 条)、斜子文(4条)、 直縁文(5条)、山形 文(4条)、直縁文(4 条)	直縁文(1条)、山 形文(4条)、直縁文(5 条)、斜子文(4条)、 直縁文(5条)、山形 文(4条)、直縁文(4 条)	外間に焼付着	良	624	-
2740	JS08	V 上	VII 高井C4d	器高(5.1)		付 ³	多条沈綱、羽状2 筋(?)、多条沈綱 (5条)、羽状2筋 (5条)、多条沈綱	密、 底1mm以下 の長石を 僅かに含む	良	624	-	
2741	JF11	IV	VII 高井C4d	器高(2.6)		多条沈綱、山形文	付 ³	密、 底1mm以下 の長石を 僅かに含む	良	624	-	
2742	FT12	IV	VII 高井C11	口径13.6 器高(7.6)	口縫2	付 ³ 、直 ¹ 筋、竹管文、沈綱(2条)	付 ³ 、指潤直筋	密、 底1mm以下 の赤色酸 化土粒を 多く含む	黒斑有り	624	230	
2743	JW20	V	VII 高井C11	器高(3.8)		付 ³ 、竹管文、沈綱	付 ³	密、 底1mm以下 の赤色酸 化土粒を 僅かに含む	良	624	-	
2744	JQ05	IV	V~VI 高井C12	口径12.8 器高(6.7)	口縫3	付 ³ 、直 ¹ 筋	付 ³ 、指潤直筋	密、 底1mm以下 の長石、 石英が付 着する	良	624	-	
2745	JS07	IV	V~VI 高井C13	口径16.6 器高(7.6)	口縫2	付 ³	付 ³	密、 底1mm以下 の長石を 僅かに含む	良	624	-	
2746	KO08	III	VI~VII 高井C12	口径9.7 器高(2.7)	口縫5	付 ³	付 ³ 、一部に 焼成 のものが付着 している	密、 底1mm以下 の長石を 僅かに含む	口縫部打ち欠き?	624	-	
2747	JS14	IV	VI 高井C13	口径8.6 器高(8.0)	口縫3	付 ³	口縫3多条沈綱(2条)、 多条沈綱(6条)、山形文、 多条沈綱(2条)、 多条沈綱(2条)、 沈綱(1条)、 直縁文(2条)、 多条沈綱(2条)、 菱形文(2条)、 直縁文(2条)、 多条沈綱(2条)、 菱形文(2条)、 直縁文(2条)、 多条沈綱(2条)	やや密、 底1mm以下 の赤 色酸化土粒を 僅かに含 む	普 通	624	296	
2748	擾乱	IV	VII 高井C-D 脚部?	器高(11)		付 ³	付 ³ 、付 ¹	密、 底1mm以下 の長石、 石英が付 着する	1耳孔1筋3方 向(複 合)、 外外面に 焼付着	624	-	
2749	擾乱	I	VII 高井C-D 脚部?	底径10.4 器高(6.1)	底部3/4 以上	付 ³	付 ³ 、付 ¹	やや密、 底1mm以下 の赤 色酸化土粒を 多く含む	内間に 焼付着	624	-	
2750	FS12	IV	V 高井C1脚 部?	口径12.4 器高(7.7)	底部2/4 以上	付 ³	付 ³ 、指潤直筋	やや密、 底1mm以下 の長石、 石英が付 着する	1耳孔1筋3方 向	624	-	
2751	JA13	IV	V 器台2	口径17.1 器高(10.2)	口縫1	瓶頸(2条)、円筒形文、 付 ³	摩耗のため調整不 明	密、 底1mm以下 の長石、 赤色酸化土粒を 僅かに 含む	普 通	1耳孔1筋3方 向	624	-

表160 土器類觀察表 (94)

No.	地区 遺構	層位	時期 層位分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	神宮	國版
						外面	内面					
2752	JB13	IV	V 器台A1-2	縦高(5.5)	100% 次段2箇、直 [?] ?	2279 [?] 、直 [?] ?	2279 [?] 、直 [?] ?	やや密。径5cm以下の長石を僅かに含む	普通		624	-
2753	JE08	33	V 器台A1	縦高(7.5)		2279 [?] 、直 [?] ?	2279 [?] 、直 [?] ?	密。径10mm以下の長石・石英・チリ・赤色酸化土粒を多く含む	良		624	-
2754	JS14	IV	V 器台A2	口径14.8 底径13.0 縦高(10.0) 最大径15.4	口径3 底部2/4以上	2279 [?] 、直 [?] ?	2279 [?] 、直 [?] ?	やや密。径5cm以下の長石を僅かに含む	普通	1穿孔1組3方向	624	-
2755	JM20	V	VII 器台B1	口径22.0 縦高(3.2)	口径1	横刃削 [?] 、直 [?] ?	187 [?]	密。径1mm以下の長石を僅かに含む	良		625	-
2756	JU11	IV	VII 器台B1	口径19.9 縦高(2.8)	口径2	直 [?] ?	187 [?]	密。径1mm以下の長石を僅かに含む	良		625	-
2757	JL20	V	VII 器台脚部	底径13.0 縦高(3.3)	底部1/4以上	直 [?] ?	187 [?] 、沈鉢	密。径1mm以下の長石を僅かに含む	1穿孔1組3方向 赤色酸化土粒付着(外)	625	-	
2758	JM20	V	VII 器台脚部	底径12.9 縦高(3.9)	底部2/4以上	直 [?] ?	摩耗のため調査不明	不 [?]	密。径1mm以下の長石を僅かに含む	1穿孔1組3方向	625	-
2759	JE19	IV	V 器台A	器高(8.3)		摩耗のため調査不明	2279 [?]	やや密。径2cm以下の長石を僅かに含む	不良	1穿孔1組3方向	625	-
2760	JAI1	IV	VII 器台B1a	口径16.3 底径13.5 縦高(11.8) 最大径16.7	口径9 底部1/4以上	摩耗のため調査不明	摩耗のため調査不明	やや密。径1cm以下の赤色酸化土粒を僅かに含む	1穿孔1組3方向	625	-	
2761	JS07	IV	VII 器台B1a	口径14.5 底径11.5 縦高(14.8)	口径9 底部1/4以上	2279(2箇)、直 [?] ?	2279 [?] 、直 [?] ?	密。径1mm以下の長石を多く含む	1穿孔1組3方向	625	-	
2762	JL20	V	VII 器A1b	口径16.0 縦高(4.4)	口径4	傾い直縫(口縫端部)、直 [?] ?	187 [?] 、指壓压痕	密。径1mm以下の長石を僅かに含む	良		625	-
2763	荒乱	I	V~VI 器A1b	口径13.8 縦高(3.2)	口径4	直 [?] ?	直 [?] ?	やや密。径1mm以下の長石・チリ・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通		625	-
2764	JL08	IV a	V~VI 器B1b	口径12.6 縦高(5.0)	口径9 口縫(5.0)	2279 [?] 、横刃直縫文直縫 (X記) 直 [?] ?	2279 [?] 、直 [?] ?	やや密。径2cm以下の長石・チリ・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通		625	-
2765	JP09	IV	V 器B1b	口径17.6 縦高(4.0)	口径4	横刃削(2箇)、削耗著しい	直縫文、磨耗著しい	やや密。径1mm以下の長石・チリを僅かに含む	普通	外側に保付着	625	-
2766	JG06	IV	V~VI 器A1b	口径20.4 縦高(5.3)	口径4	直 [?] ?	直縫文、直突文、指壓压痕	やや密。径1mm以下の長石を多く含む	普通		625	-
2767	荒乱	I	V~VI 器A1b	口径17.2 縦高(5.0)	口径6	横刃削(2箇)、直 [?] ?	指壓压痕、直 [?] ?	やや密。径2cm以下の長石・チリ・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通		625	-
2768	JS14	IV	V~VI 器A2	口径15.7 縦高(3.9)	口径2	横刃削(2箇)、円形浮文、削耗著しい	竹管文、直突文、指壓压痕	やや密。径1mm以下の長石・チリ・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通		625	-
2769	JE19	IV	V~VI 器A1b	口径18.0 縦高(3.8)	口径3	横刃削(2箇)、直 [?] ?	横刃削(2箇)、直 [?] ?	やや密。横刃削(2箇)、直 [?] ?	普通		625	-
2770	JH14	IV	V~VI 器A1b	口径16.5 縦高(3.1)	口径3	刺突文(?)、直 [?] ?	刺突文(?)、直 [?] ?	やや密。径1mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通		625	-
2771	JH11	IV	V 器A1b	口径24.0 縦高(2.8)	口径4	竹管文、刺突文 [?] 、摩耗のため調査不明	刺突文(?)、直 [?] ?	不 [?] 、密。径2cm以下の長石を僅かに含む	普通		625	-
2772	JAI3	IV	V 器A1b	口径20.0 縦高(4.0)	口径3	横刃削(2箇)。摩耗のため調査不明	横刃削文、立文系 [?]	やや密。径1mm以下の長石・雲母を僅かに含む	良		625	-
2773	JE13	IV	V 器A1b	口径19.9 縦高(4.1)	口径3	横刃削(2箇)、直 [?] ?	横刃削文、直突文、直 [?] ?	密。径1mm以下の長石を僅かに含む	不良		626	-
2774	JH07	IV	V 器A1b	口径17.8 縦高(4.0)	口径5	横刃削(2箇)、直 [?] ?	直突文 [?] 、直 [?] ?	やや密。径1mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	山縫部内部赤彩有り	626	-
2775	JS14	IV	V 器A1b	口径21.0 縦高(5.2)	口径3	横刃削(3箇)、直 [?] ?	直 [?] ?	やや密。径1mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	内部赤彩有り	626	-
2776	JAI1	IV	V~VI 器A1b	口径18.8 縦高(2.3)	口径6	横刃削(5箇)、直 [?] ?	横刃削文(貝具) [?]	やや密。径1mm以下の長石を僅かに含む	普通	内部赤彩有り付着	626	-
2777	PS14	IV	V~VI 器A1b	縦高(14.7)		直縫文、波状文、直縫文、摩耗のため調査不明	直縫文、直 [?] ?	やや密。径1mm以下の長石を僅かに含む	不良		626	230
2778	JAI0	IV	V 器A1b	縦高(5.1)		直縫文、直 [?] ?	横縫み底、摩耗削 [?]	やや密。径1mm以下の赤色酸化土粒を僅かに含む	普通		626	-
2779	FS14	IV	V~VI 器A1b	器高(8.8)		直縫文、波状文、摩耗のため調査不明	板 [?] ?	やや密。横2cm以下の長石を僅かに含む	普通		626	-
2780	JB16	IV	V 器A1b	器高(4.3)		灰付安楽、巻葉上に擬似同縫	摩耗のため調査不明	やや密。径1mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	外側赤色酸化土粒付着	626	-
2781	JS11	I ~ III	V~VI 器A1b	器高(6.9)		直 [?] ?	直 [?] ?	やや密。赤色酸化土粒を多く含む	良		626	-

表161 土器類觀察表 (95)

表162 土器類観察表 (96)

No	地区 遺構	層位	時期 層級分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		出土	焼成	備考	標識 回収	
						外底	内面					
2809	FT12	IV	V1 最底部	底径2.4 高さ6.5	底部充 分	ヨコ 幅2.4 深さ6.5	ハラ、ミツナガ 等、縫合部 のみ直	底1cm以下 の長石を 僅かに含む	良		628	-
2810	JH14	IV	V1~V4 最底部	底径3.0	底付陶文、 指頭圧痕(3条)	ヨコ 幅3.0	ハラ、ミツナガ 等、縫合部 のみ直	底1cm以下 の長石を 僅かに含む	良		628	-
2811	JR20	IV	V~V1 最底部	底径2.1 高さ6.5	底部充 分	ヨコ 幅2.1 高さ6.5	ヨコナガ、摩 耗のため調 整不鮮明	底1cm以下 の長石を 僅かに含む	普通	外側に保付着	628	-
2812	JA10	IV	V~V4 最底部	底径3.4 高さ3.0	底径3.4/4 以上	ヨコ 幅3.4 高さ3.0	指頭圧痕	やや歪、 底1cm以下 の長石を 僅かに含む	良	横筋痕、横筋面に 保付着(底部外端)	628	-
2813	JL12	IV	V 最底部	底径9.4 高さ6.0	底径3/4 以上	ヨコ 幅9.4 高さ6.0	指頭圧痕	やや歪、 底1cm以下 の長石を 僅かに含む	良	打光欠き、外側に 保付着	628	-
2814	FT10	IV	V~V4 最底部	底径6.7 高さ4.3	底径1/4 未溝	ヨコ 幅6.7 高さ4.3	ヨコナガ	やや歪、 底1cm以下 の長石を 僅かに含む	良		628	-
2815	JA13	IV	V 隻A2	口径16.0 高さ8.2	口縁8	ヨコナガ [?] 、直 縫文(6条)? [?] 直縫文 [?] 、瓶型	ヨコナガ、直 縫文(6条)? [?] 直縫文 [?] 、瓶型	底、径2cm以 下の長石、 赤色酸化土粒を 僅かに含む	良		628	-
2816	FT12	IV	V~V1 隻A2B	口径17.2 高さ9.1	口縁3	ヨコナガ [?] 、刺突文(口縁部) [?] 直縫文、ナガ	ヨコナガ [?] 、刺突文(口縁部) [?] 直縫文、ナガ	底、径2cm以 下の赤色酸 化土粒を僅かに 含む	良		628	-
2817	JC10	IV	V~V1 隻A2B	口径15.2 高さ6.1	口縁3	ヨコナガ [?] 、刺突文、直縫文 (ナガ)、ナガ	ヨコナガ [?] 、刺突文、直縫文 (ナガ)、ナガ	底、径2cm以 下の長石を 僅かに含む	良		628	229
2818	JC13	IV	V 隻A1	口径16.0 高さ6.0	口縁3	ヨコナガ [?] 、刺突文(口縁部) [?] 直縫文(ナガ)、波状文	ヨコナガ [?] 、刺突文(口縁部) [?] 直縫文(ナガ)、波状文	底、径1cm以 下の長石を 僅かに含む	良		628	-
2819	FT12	IV	V~V1 隻A2B	口径15.7 高さ5.5	口縁3	ヨコナガ [?] 、刺突文、直縫文 (ナガ)、ナガ	ヨコナガ [?] 、刺突文、直縫文 (ナガ)、ナガ	やや歪、 底2cm以下の 石英を僅かに 含む	普通		628	229
2820	FS12	IV	V 隻A2B	口径13.2 高さ5.5	口縁3	ヨコナガ [?] 、列点文、直縫文、 有り、指頭圧痕	ヨコナガ [?] 、ナガ [?] 、直縫文 有り、指頭圧痕	やや歪、 底4cm以 下の石英・ ナガ [?] 、赤色 酸化土粒を 僅かに含む	普通		629	229
2821	FS12	IV	V 隻A2B	口径13.4 高さ5.1	口縁3	沈縫。列点文、摩利縫 等	沈縫。列点文、摩利縫 等	やや歪、 底2cm以下の 石英、石英・ 赤色酸化土 粒を多く含む	不良		629	-
2822	FS14	IV	V 隻A2B	口径12.6 高さ6.7	口縁3	ヨコナガ [?] 、刺突文(口縁部) [?] 直縫文(ナガ)、ナガ	ヨコナガ [?] 、刺突文(口縁部) [?] 直縫文(ナガ)、ナガ	やや歪、 底2cm以下の 石英・ナガ [?] 、 多くの多く含む	不良		629	-
2823	JK11	IV a	V 隻A2B	口径14.4 高さ4.8	口縁4	刺突文、ヨコナガ [?] 、ナガ	ヨコナガ [?] 、刺突文、 ナガ	やや歪、 底2cm以下の 石英・ナガ [?] 、 赤色酸化土 粒を多く含む	普通	口縫部保付着	629	-
2824	JH15	IV	V 隻A2a	口径17.5 高さ3.3	口縁3	ヨコナガ [?] 、刺突文、 波状文	ヨコナガ [?] 、刺突文、 波状文	やや歪、 底5cm以 下の長石、 ナガ [?] 、 赤色酸化土 粒を僅かに 含む	普通	外表面化物附着	629	-
2825	FS11	IV	V~VI 隻A2B	口径12.7 高さ4.9	口縁4	ヨコナガ [?] 、刺突文 [?] 、直 縫文(ナガ)、 摩利縫等	ヨコナガ [?] 、 直縫文(ナガ)、 摩利縫等	やや歪、 底3cm以 下の長石 を僅かに含む	普通		629	-
2826	JN15	IV	V 隻A2B	口径14.7 底径25.2 高さ26.9	口縁8	ヨコナガ [?] 、刺突文、直縫文、 波状文、ナガ	ヨコナガ [?] 、刺突文、直縫文、 波状文、ナガ [?] 、ナガ	やや歪、 底6cm以 下の長石、 ナガ [?] 、 赤色酸化土 粒を僅かに 含む	普通		629	-
2827	FS12	IV	V 隻A2B	口径17.2 高さ10.1	口縁3	ヨコナガ [?] 、刺突文、直縫文 (ナガ)、列点文、ナガ	ヨコナガ [?] 、ナガ [?] 、 指頭圧痕	やや歪、 底4cm以 下の長石 を僅かに含む	不良		629	-
2828	FP03	IV	V~VI 隻A3	口径16.4 最大径23.3	口縁3	ヨコナガ [?] 、刺突文(口縁部) [?] 、 直縫文(ナガ) [?]	ヨコナガ [?] 、ナガ [?] 、 指頭圧痕、 縫合部(直縫文)	底、 ヨコナガ [?] 、 ナガ [?] を多く含む	外表面化物附着		629	229
2829	JT14	IV	V~VI 隻A2B	口径12.8 高さ16.0	口縁8	刺突文。ヨコナガ [?] 、直縫文 (ナガ)、刺突文、ナガ	ヨコナガ [?] 、ナガ [?] 、 (板)	やや歪、 底5cm以 下の長石、 石英・ナガ [?] 、 赤色酸化土 粒を多く含む	外表面化物附着、 打光欠き2ヶ所有り		629	-
2830	JH10	IV	V 隻A2B	口径18.6 高さ5.2	口縁3	ヨコナガ [?] 、刺突文、摩利縫 等	ヨコナガ [?] 、刺突文、摩利縫 等	やや歪、 底5cm以 下の長石、 ナガ [?] を多く含む	普通		629	-
2831	FS12	IV	V 隻A2B	口径14.2 高さ9.3	口縁3	ヨコナガ [?] 、刺突文、直縫文 (ナガ)、ナガ	ヨコナガ [?] 、刺突文、直縫文 (ナガ)、ナガ	やや歪、 底3cm以 下の長石 を多く含む	不良		629	229
2832	JL20	V	V~VI 隻A2B	口径15.9 高さ7.1	口縁3	ヨコナガ [?] 、刺突文(口縁部) [?] 、 直縫文(ナガ) [?]	ヨコナガ [?] 、ナガ [?] 、 指頭圧痕	底、 ヨコナガ [?] 、 ナガ [?] を 僅かに含む	外表面に保付着		630	229
2833	FT14	IV	V 隻A2B	口径14.8 高さ6.2	口縁2	直縫文(ナガ)、列点文、 摩利縫等	直縫文(ナガ)、 列点文、摩利縫 等	やや歪、 底3cm以 下のナガ [?] 、 赤色酸化土 粒を僅かに 含む	普通		630	-
2834	FT12	IV	V 隻A2B	口径12.9 高さ9.2	口縁3	直縫文2帶(ナガ)、刺突文、 列点文、ナガ	ヨコナガ [?] 、 直縫文(ナガ)	やや歪、 底3cm以 下の石英、 赤色酸化土 粒を僅かに 含む	普通		630	-
2835	FT12	IV	V~VI 隻A2B	口径12.9 高さ5.2	口縁3	ヨコナガ [?] 、 直縫文(ナガ)	ヨコナガ [?] 、 直縫文(ナガ)	やや歪、 底3cm以 下の石英、 赤色酸化土 粒を僅かに 含む	普通		630	-
2836	JH10	IV	V~VI 隻A2B	底径1/4 高さ3.3	口縁2	ヨコナガ [?] 、 ナガ	ヨコナガ [?] 、 ナガ	底、 ヨコナガ [?] 、 ナガを 僅かに含む	外表面に保付着		630	-
2837	JH10	IV	V~VI 隻A2B	口径17.9 高さ8.7	口縁3	ヨコナガ [?] 、 直縫文、ナガ	ヨコナガ [?] 、 直縫文、ナガ	底、 ヨコナガ [?] 、 ナガを 僅かに含む	外表面に保付着		630	-
2838	JH15	IV	V~VI 隻A3	口径13.9 高さ3.6	口縁2	ヨコナガ [?] 、 直縫文、ナガ	ヨコナガ [?] 、 直縫文、ナガ	やや歪、 底2cm以 下の長石、 ナガ [?] 、 赤色酸化土 粒を僅かに 含む	外表面に供物付着		630	-

表163 土器類観察表 (97)

No	地区 遺構	層位	時期 層様分類	法量(cm)	残存率 (X/12)	調整		出土	焼成	備考	特徴 国際
						外面	内面				
2839	JK08	IV a	V~VI 焼A3	口径9.6 高さ(7.1)	X/12	ヨコナリ、刺突文、ハサ	ヨコナリ、指頭正規	やや密、径4mm以下の長石・石英・赤色酸化土粒を多く含む	普通	630	-
2840	FSII	IV	V~VI 焼A3	口径17.2 高さ(3.1)	口縁1 口縁2	ヨコナリ+刺突文(口縁部)、ヨコナリ	やや密、径3mm以下の長石・石英+多を僅かに含む	外面に炭化物付着	普通	630	-
2841	FT12	IV	VI 焼A4	口径17.8 高さ(7.6)	口縁3	ヨコナリ、沈綻(3条)、ハサ	ヨコナリ、輪積み痕	やや密、径2mm以下の長石・石英を僅かに含む	普通	630	-
2842	JC09	IV a	V~VI 焼A2b	口径15.7 高さ(5.1)	口縁2	刺突文、ハサ、直線文、ヨコナリ	ヨコナリ、指頭正規	やや密、径1mm以下の石英+赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	630	-
2843	JN15	IV	V 焼A2b	口径16.0 高さ(7.2)	口縁12	ヨコナリ、刺突文、直線文、ヨコナリ	ヨコナリ、指頭正規、ヨコナリ、ハサ	やや粗、径3mm以下の長石・石英+ハサ+赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	630	-
2844	JS14	IV	V~VI 焼A3	口径15.7 高さ(5.5)	口縁3	ヨコナリ、ハサ	ヨコナリ、指頭正規、ヨコナリ	やや密、径2mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	630	-
2845	JJ13	IV	V~VI 焼A3	口径15.9 高さ(17.2) 最大径22.4	口縁4	ヨコナリ、刺突文、ハサ	ヨコナリ、指頭正規、ヨコナリ、ハサ	やや密、径3mm以下の長石・石英+ハサ+赤色酸化土粒を僅かに含む	外面に炭化物付着	630	-
2846	JAI0	IV	V 焼A2b	口径14.7 高さ(6.8)	口縁4	ハサ、指頭正規	ハサ、指頭正規、輪積み痕、摩耗痕	やや粗、径1mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	脚部打ち欠き	630	-
2847	JN08	IV	V~VI 焼A3	口径13.9 高さ(5.1) 最大径5.2	口縁8	ヨコナリ、刺突文、ハサ	ヨコナリ、ハサ	やや密、径2mm以下の長石・石英+赤色酸化土粒を僅かに含む	外面に炭化物付着	631	-
2848	JB12	IV	V~VI 焼A2b	口径13.4 高さ(6.1) 最大径17.9	口縁11	ヨコナリ+刺突文(口縁部)、ハサ	ヨコナリ、指頭正規	やや粗、径4mm以下の長石・石英+赤色酸化土粒を僅かに含む	外面に炭化物付着	631	228
2849	JS13	IV	V~VI 焼A4	口径18.0 高さ(18.3)	口縁3	ヨコナリ+刺突文(ハサ)、直線文、刺突文、ハサ	ヨコナリ、ハサ、指頭正規	やや密、径1mm以下の長石・石英+ハサ+赤色酸化土粒を多く含む	外面に炭化物付着	631	-
2850	FS11	IV	V~VI 焼A4	口径21.5 高さ(12.3)	口縁3	ハサ、摩耗痕	ハサ、指頭正規、摩耗痕	やや密、径5mm以下の長石・石英+赤色酸化土粒を僅かに含む	外面に摩耗着	631	-
2851	FT12	IV	V~VI 焼A2b	口径20.0	ハサ	ハサ	ハサ	やや密、径5mm以下の石英を僅かに含む	外面に摩耗着	631	-
2852	JB10	IV	V 焼A1b	口径21 高さ(4.6)	口縁2	ハサ、刺突文、ハサ	ハサ、ヨコナリ?	やや密、径1mm以下の長石を僅かに含む	外面に炭化物付着	631	-
2853	JC13	IV	V 焼A1b	口径19.8 高さ(6.6)	口縁5	ヨコナリ+刺突文(口縁部)、ハサ、直線文	ヨコナリ、ハサ、指頭正規	やや密、径1mm以下の長石を僅かに含む	良	631	-
2854	JB12	IV	V~VI 焼B2	口径15.9 高さ(5.5)	口縁3	ヨコナリ+刺突文(口縁部)、ハサ、指頭正規	ヨコナリ、指頭正規	やや密、径3mm以下の石英+赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	631	-
2855	JA12	IV	V~VI 焼A4	口径21.0 高さ(6.8)	口縁3	ハサ、刺突文、ハサ	ハサ、ヨコナリ?	やや密、径1mm以下の長石を僅かに含む	良	631	-
2856	JT14	I II III	V~VI 焼C2	口径20.0 高さ(2.9)	口縁2	ヨコナリ、ハサ	ヨコナリ、沈綻、ハサ	やや密、径3mm以下の長石・石英+赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	631	-
2857	JB09	IV	V 焼B1b	口径19.9 高さ(22.1) 最大径29.8	口縁4	刺突文、ヨコナリ、ハサ	ヨコナリ、指頭正規	やや密、径3mm以下の長石・石英を多く含む	外側に摩耗着	631	266
2858	JA12	IV	V~VI 焼B2	口径15.1 高さ(6.5) 最大径20.6	口縁3	ハサ、ハサ	ハサ、ヨコナリ?、指頭正規、ハサ?	やや密、径1mm以下の長石を僅かに含む	外面に摩耗着	632	-
2859	JF08	IV	V~VI 焼B3	口径21.0 高さ(5.5)	口縁8	ヨコナリ、ハサ、指頭正規	ヨコナリ、ハサ、指頭正規	やや密、径2mm以下の長石・石英を多く含む	外面に摩耗着	632	-
2860	JL20	V	VI 焼B2	口径16.2 高さ(16.3) 最大径17.2	口縁2 口縁4 口縁5	刺突文(口縁部)、ハサ+ハサ、ヨコナリ(脚部)、ヨコナリ、直線文、刺突文	ヨコナリ、ヨコナリ、輪積み痕、ハサ	やや密、径1mm以下の長石・石英を多く含む	外面に摩耗着	632	229
2861	KT02	IV	VI 焼B2	口径18.2 高さ(16.1)	口縁4	ヨコナリ、直線文、直線文、刺突文、ヨコナリ	ヨコナリ、指頭正規、ハサ	粗、径5mm以下の長石・石英+ハサ+赤色酸化土粒を多く含む	普通	632	-
2862	JH08	IV	VI 焼B2	口径15.9 高さ(12.3) 最大径21.9	口縁3	ヨコナリ+直線文(6条)、ヨコナリ、刺突文、ハサ	ヨコナリ、ハサ、指頭正規、輪積み痕	やや密、径2mm以下の長石・石英+ハサ+赤色酸化土粒を多く含む	普通	632	-
2863	JL20	IV	V~VI 焼E4	口径13.7 高さ(3.4) 最大径17.6	口縁2	ハサ、ヨコナリ?	ハサ、ヨコナリ?	やや密、径2mm以下の長石を僅かに含む	外面に摩耗着	632	229
2864	FT12	IV	V~VI 焼B3	口径13.9 高さ(3.4)	口縁6	ヨコナリ、沈綻、ハサ、指頭正規	ハサ、ヨコナリ?	やや粗、径3mm以下の長石・石英+赤色酸化土粒を僅かに含む	良	632	-
2865	FS12	IV	V~VI 焼E4?	口径12.6 高さ(8.7)	口縁4	ヨコナリ、ハサ、ヨコナリ?	ヨコナリ、ハサ、指頭正規	やや密、径4mm以下の長石を僅かに含む	良	632	-
2866	JAO9	IV	X 焼	口径14.0 高さ(2.7)	口縁2	ヨコナリ、ハサ	ヨコナリ、輪積み痕	やや密、径1mm以下の長石を僅かに含む	外面に炭化物付着	632	-

表164 土器類観察表 (98)

No.	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm) (X/12)	残存率 (X/12)	調整		船上	焼成	備考	標識 固版
						外底	内面				
2867	E001	IV	X 甕	口径11.0 高さ(4.3)	口縁2	227g、-	227g、指頭正底	やや長。径25mm以下の長石を 多く含む	良		632 -
2868	E002	IV	X 甕	口径4.3 高さ(6.5)	口縁3	227g、-	227g、-	やや長。径35mm以下の長石を 多く含む	良		632 -
2869	E009	III	V 甕	口径15.4 高さ(3.8)	口縁3	227g、-	227g、227g、指 頭正底	やや長。径25mm以下の長石を 多く含む	外間に灰化物付着		632 -
2870	E002	IV	V 甕	口径17.0 高さ(4.7)	口縁2	227g、- (脚部)	227g、板ガラ (脚部)	やや密。径25mm以下の長石を 多く含む	普通		632 -
2871	JP15	a	VI~VII 甕BIIb	口径13.1 高さ(4.5)	口縁5	227g、-	227g、指頭正底	やや密。径15mm以下の長 石、雲母、+ト-を多く含む	良		633 -
2872	複乱	I	VI~VII 甕BIIb	器高(2.6)	口縁1	押し引き。227g、指頭 正底。-	227g、-	やや粗。径15mm以下の長 石、雲母、+ト-を多く含む	普通		633 -
2873	JAI0	IV	V~VII 甕CIIb	器高(4.1)	-	-	-	やや密。径15mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	外間に灰化物付着		633 -
2874	JH14	IV	V~VII 甕B?	口径50.0 高さ(6.8)	口縁1	編み底、壊耗のため 調査不明	壊耗のため調整不 明	やや粗。径35mm以下の長 石、+ト-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	普通		633 -
2875	FT12	IV	V~VI 甕F	口径12.5 高さ(3.8)	口縁1	沈縫(2条)。227g、-	227g、- (編み底)	やや粗。径15mm以下の長石を 多く含む	不規則打ち欠き?		633 -
2876	JB10	IV	VI~VII 甕BII	口径12.0 高さ(6.5) 最大径16.3	口縁11	-	-	やや粗。径15mm以下の長石を 多く含む	良		633 229
2877	JL13	IV	V~VII 甕EII	口径13.0 高さ(3.5)	口縁3	227g、-	227g、- (指 頭)。227g、-	やや密。径25mm以下の長 石、+ト-、赤色酸化土 粒を僅かに含む	外間に灰化物付 着		633 -
2878	FS12	IV	VI~VII 甕BII	口径11.6 高さ(7.4) 最大径13.8	口縁1	壊耗のため調査不 明	+ト-、編み底、摩 耗顯著	やや密。径25mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	不良		633 -
2879	FS12	IV	VI~VII 甕BII	口径12.0 高さ(14.3) 最大径17.9	口縁1	+ト-、摩耗顯著	+ト-、指頭正底。摩 耗顯著	やや密。径25mm以下の長 石、赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		633 -
2880	FT12	IV	V~VI 甕A底部?	底径4.9 高さ(5.1)	底盤2/4 以上	-	-	やや粗。径15mm以下の長石を 多く含む	内外間に媒付着、 破断面に二次焼成 痕		633 -
2881	JC13	IV	V~VI 甕A底部	底径4.2 高さ(6.1)	底盤2/4 以上	-	-	やや粗。径15mm以下の長石、 赤色酸化土粒を僅かに 含む	外間に灰化物付着		633 -
2882	JC10	IV	V~VI 甕B底部	底径4.5 高さ(3.2)	底盤2/4 以上	-	-	やや粗。径15mm以下の長石を 多く含む	媒付着(外表面全 体)		633 -
2883	JB15	IV	V~VI 甕B底部	底径4.7 高さ(2.5)	底部充 存	壊耗のため調査不 明	壊耗のため調整不 明	やや粗。+ト-、+ト-以下の長 石、雲母、+ト-、赤色 酸化土粒を僅かに含む	普通		633 -
2884	JH14	IV	V~VI 甕CIIb	底径5.7 高さ(3.1)	底盤定 位	+ト-	+ト-押さえ?、指頭 正底	やや粗。径15mm以下の長石を 多く含む	良		633 -
2885	FS11	IV	V~VI 甕CIIb	底径6.8 高さ(5.4)	底盤2/4 以上	-	-	やや密。径25mm以下の長石を 多く含む	内外面に媒付着		633 -
2886	JG19	IV	V~VI 甕CIIb	底径6.6 高さ(2.5)	底部充 存	+ト-	壊耗のため調査不 明	やや密。径25mm以下の長石、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		633 -
2887	JC11	IV	V~VI 甕CIIb	底径6.8 高さ(4.6)	底盤3/4 以上	+ト-、指頭正底	+ト-	やや粗。径15mm以下の長石を 多く含む	内外面に媒付着		633 -
2888	JB10	IV	V~VI 甕CIIb	底径6.2 高さ(5.3)	底盤2/4 以上	+ト-、摩耗顯著	+ト-、摩耗顯著	やや粗。径15mm以下の長石を 多く含む	一部-、脚側部打 欠き		633 -
2889	JH14	IV	V~VI 甕CIIb	底径6.2 高さ(5.3)	底盤定 位	+ト-	編み底、指 頭正底	やや密。径25mm以下の長石、 赤色酸化土粒を僅 かに含む	普通		633 -
2890	FT12	IV	V~VI 甕CIIb	底径4.8 高さ(4.3)	底盤1/4 以上	+ト-、指頭正底	+ト-	やや粗。径15mm以下の長石を 多く含む	破断面に二次焼成 痕		633 -
2891	J020	IV	V~VI 甕CIIb	底径5.5 高さ(4.3)	底盤3/4 以上	+ト-	+ト-	やや密。径25mm以下の長石を 多く含む	良		633 -
2892	FS10	IV	V~VI 甕CIIb	底径7.1 高さ(5.1)	底盤3/4 以上	+ト-、指頭正底	+ト-、編み底	やや密。径25mm以下の長石 を多く含む	破断面に二次焼成 痕		633 -
2893	JL16	IV	V~VI 土製品	器高(3.6)	壊耗のため 調査不 明	-	壊耗のため調査不 明	やや密。+ト-、+ト-を 多く含む	普通		634 -
2894	JR10	IV	V~VI 土製品	器高2.3	壊耗のため 調査不 明	-	壊耗のため調査不 明	やや密。+ト-を 多く含む	普通		634 205
2895	JG14	a	V~VI 土製品	器高1.8	-	-	-	やや密。+ト-を 多く含む	良		634 -
2896	JR13	IV	中世 土製品	長1.9 幅1.9 厚み1.0	+ト-	+ト-	+ト-	やや密。+ト-を 多く含む	普通		634 -
2897	JL20	V	中世 土鍾	長さ(2.8)	壊耗のため 調査不 明	-	壊耗のため調査不 明	やや密。+ト-を 多く含む	良		634 -
2898	E101	IV	中世 土製品	長さ(3.5)	壊耗のため 調査不 明	-	壊耗のため調査不 明	やや密。+ト-を 多く含む	良		634 -

表165 土器類観察表 (99)

No	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		出土	焼成	備考	特徴 状況
						外面	内面				
2899	FT16	IV	中世 土製品	1.0 長径3.8	-	-	-	やや密、径1mm以下の長石を僅かに含む	普通	634	-
2900	JDB8	IV	V～VI 土製品	器高(2.2)	-	-	-	やや密、径1mm以下の長石・チリ・赤色酸化土粒を僅かに含む	良	634	205
2901	JR10	IV	VI～VII 土製品	器高(2.0)	-	-	-	密、径1mm以下の長石を僅かに含む	良	634	-
2902	JC11	IV	古世 土製品	器高(3.1)	-	-	-	密、径1mm以下の長石を僅かに含む	良	634	-
2903	JP20	IV	V～VI 土製品	長5.7 幅3.8 厚2.4	-	++	++	やや密、径1mm以下の長石を僅かに含む	外間に灰化物付着	634	-
2904	JH14	IV	不明 器高(1.8) 未調	器高1.8 器高(2.2)	多角錐形、山形文	摩耗のため調整不明	初、径1mm以下の長石を僅かに含む	良	634	230	
2905	FS19	a	V 酒樽部?	器高13.4 器高(5.8)	土壇(1.4) 未調	土壇、指頭圧痕、摩耗	摩耗のため調整不明	やや密、径2mm以下の長石を含む	普通	634	-
2906	JQ10	IV	V～VI 不明	器高(3.9)	-	-	-	密、径1mm以下の長石・チリを含む	赤鉄有り?	634	-
2907	JR10	IV	V～VI 土製品	器高(3.8)	-	++	++	やや密、径1mm以下の長石・チリを含む	普通	634	-
2908	JL13	IV	V～VI 不明	器高(2.4)	口縁(浮文)	磨耗のため調整不明	密、径1mm以下の長石・チリを含む	普通	634	-	
2909	JH20	IV	V～VI 不明	底径3.0 器高(2.4)	底部充 有	指頭圧痕	++ ++	やや密、径2mm以下の長石を僅かに含む	口縁部打ち欠き?	634	-
2910	JL16	IV	V～VI 手挽ねD	底径3.8 器高(2.7)	底部充 有	++	++、指頭圧痕	やや密、径1mm以下の長石・チリ・赤色酸化土粒を僅かに含む	外間に赤彩付着?	634	205
2911	JN08	IV	VI～VII a 手挽ねB	口径6.6 器高(3.9) 最大径3.7	口縁(6.6) 器高(3.9) 底部充 有	++、指頭圧痕	++、指頭圧痕	やや密、径2mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	634	-
2912	JC11	IV	VI～VII 手挽ねD	底径2.4 器高(2.2) 以上	底部2/4 以上	++	++	密、径1mm以下の長石を僅かに含む	良	634	-
2913	JAI1	IV	VI～VII 手挽ねD	底径3.5 器高(4.4)	++	++、指頭圧痕、輪 積み瓶	++、指頭圧痕、輪 積み瓶	やや密、径1mm以下の長石を僅かに含む	普通	634	-
2914	KD08	III	V～VI 不明	器高(3.9)	(+)、穿孔(焼成前)	+ (上半)と(下半)の接合部 + (上半)との接合部(下 半)、指頭圧痕(下 半)	+(上半)との接合部(下 半)、指頭圧痕(下 半)	密、径2mm以下の長石を僅かに含む	良	634	229
2915	JB17	IV	VI～VII 不明	器高(7.4)	++、直線文	指頭圧痕	やや密、径1mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	634	229	
2916	JR13	IV	X 壺坪	器高(4.6)	++、指頭圧痕	指頭圧痕、輪積み 瓶	やや粗、径1mm以下の長石を僅かに含む	脚揚部打ち欠き?	634	-	
2917	GS01	IV	X 壺坪	底径3.0 器高(7.7)	摩耗のため調整不明 以上	摩耗のため調整不明 以上、指頭圧痕	やや密、径1mm以下の長石を僅かに含む	普通	634	-	
2918	JQ15	IV	V～VI a 壺	口径14.0 器高(2.4)	口縁2	コロナ、沈澱、++	コロナ、++	やや密、径1mm以下の長石・雲母・赤色酸化土粒を僅かに含む	外間に媒材着	634	-
2919	擾乱	I	X 壺	口径16.1 底径(3.9)	口縁1	コロナ、++	コロナ	やや粗、径1mm以下の雲母・チリを僅かに含む	良	634	-
2920	JJ14	IV	X 壺	口径18.9 器高(5.0)	口縁1	コロナ、++	コロナ、++	やや密、径1mm以下の長石・雲母を僅かに含む	普通	634	-
2921	JN16	IV	X 壺	口径15.0 器高(5.4)	口縁2	コロナ、++、~	コロナ	やや粗、径3mm以下の長石・赤色酸化土粒を僅かに含む	普通	634	-
2922	JJ14	IV	古代 須恵器杯 盤	口徑12.3 器高(4.2)	口縁1	回転++、回転~	回転++	密、径1mm以下の長石を僅かに含む	良	634	-
2923	TR01	IV	古代 須恵器杯 盤	底径4.5 器高(3.0)	以上	回転++、~	回転++	密、径1mm以下の長石を僅かに含む	良	634	-
2924	KS03	IV	古代 須恵器杯 盤	口径11.5 底径3.8 最大径12.7	口縁2/4 以上	摩耗のため調整不明	摩耗のため調整不明	やや密、径2mm以下の長石を僅かに含む	良	634	-
2925	擾乱	I	須恵器ハ シワ	口径10.6 器高(5.4)	口縁3	++	++	密、径1mm以下の長石を僅かに含む	良	634	-
2926	KN03	IV	古代 須恵器盤	器高(5.7)	波状文、++	++	++	密、径2mm以下の長石を僅かに含む	良	634	-
2927	JG15	IV	古代 須恵器盤	器高(4.9)	波状文、++	++	++	密、波状文、摩耗のため調整不明	良	634	-
2928	KA07	IV	古代 須恵器盤	器高(5.7)	土壇、波状文、摩耗のため調整不明	++	++	密、波状文、摩耗のため調整不明	良	634	-
2929	FT12	IV	古代 須恵器平 盤	口径5.9 器高(3.9)	口縁2	回転++	回転++	密、径1mm以下の長石を僅かに含む	良	634	-
2930	0406	IV	古代 須恵器 瓶	口径7.7 器高(1.6)	口縁4	回転++	回転++	密	全面に自然釉	良	-

表166 土器類観察表 (100)

No.	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法縫(cm)	残存率 (%)	調整		胎土	焼成	備考	伸縮 範囲
						外縫	内縫				
2931	K906	IV	古代 瓦	器高(1.6)	-	-	-	透、径1mm以下の長石を 多く含む	良 墨付着?	635 230	
2932	J114	IV	古代 瓦	器高(0.7)	-	-	-	透、径1mm以下の長石を 多く含む	良	635 -	
2933	JG14	IV	古代 瓦	器高(5.5)	-	-	-	透、径1mm以下の長石を 多く含む	良	635 -	
2934	FT16	IV	古代 瓦	器高(4.4)	-	-	-	小や粗、径2mm以下の石 多量含む	普通	635 -	
2935	JJ14	IV	古代 清潔型鍋	器高(2.9)	"	"	"	小や粗、径2mm以下の長 石、石英、赤色酸化土 粒を多く含む	普通	635 -	
2936	K069	IV	灰陶陶器 皿	底径5.7 器高(1.0)	底部2/4 以上	回転け?	回転け?	透、径1mm以下の長石を 多く含む	良	635 -	
2937	亂	III	古代 灰陶陶器 皿	底径5.7 器高(1.5)	底径1/4 以上	?"(底部)	回転け?	透	漆状のものが付着 (%)	635 -	
2938	JH16	IV	灰陶陶器 皿	底径5.5 器高(3.8)	底径1/4 以上	回転け?	回転け?	透、径1mm以下の長石を 多く含む	良	635 -	
2939	JG14	n	古代 灰陶陶器 皿	口径15.8 底径8.0 器高(3.8) 最大径16.0	口縫1 底縫2/4 以上	回転け?, 回転け? 口縫部	回転け?	透、径2mm以下の長石を 多く含む	施釉焼けかけ	635 -	
2940	亂	I	中世 片口鉢	底径13.4 器高(5.1)	未調	?"	"	透、径2mm以下の長石を 多く含む	良	635 -	
2941	FT14	IV	古代 灰陶陶器 皿	底径5.2 器高(1.9)	底部3/4 以上	回転け?	回転け?	透、径1mm以下の長石を 多く含む	墨書、自然釉	635 -	
2942	拂土	中世 山茶碗	底径5.5 器高(2.2)	底部1/4 以上	回転け?。回転赤切り痕	回転け?	透、径1mm以下の長石を 多く含む	墨書	635 230		
2943	JE13	IV	中世 片口鉢	器高(3.8)	"	"	"	透、径1mm以下の長石を 多く含む	良	635 -	
2944	K906	IV	中世 山茶碗	口径14.9 底径5.9 器高(8.0) 最大径15.3	口縫1 底縫2/4 以上 充存	回転け?, 回転赤切り痕。 施釉	回転け?	透、径1mm以下の長石を 多く含む	墨書	635 230	
2945	K903	IV	中世 山茶碗	底径5.8 器高(2.3)	底部3/4 以上	回転け?。回転赤切り痕。	回転け?	透、径2mm以下の長石を 多く含む	墨書	635 230	
2946	FT15	IV	中世 山茶碗	底径5.8 器高(1.6)	底部3/4 以上	回転け?。回転赤切り痕。	回転け?	透、径1mm以下の長石を 多く含む	墨書	635 -	
2947	K906	IV	中世 山茶碗	底径5.2 器高(1.6)	底部1/4 以上	回転け?。回転赤切り痕。	回転け?	透、径1mm以下の長石を 多く含む	墨書	635 230	
2948	K504	IV	中世 山茶碗小 皿	底径5.6 器高(1.3)	底部1/4 以上 充存	回転け?。回転赤切り痕。 使用による 摩耗	回転け?	透、径1mm以下の長石を 多く含む	良	636 -	
2949	亂	I ~ III	中世 山茶碗小 皿	底径4.6 器高(1.5)	底部1/4 以上	回転け?。回転赤切り痕。	回転け?	やや粗、径1mm以下の長 石を多く含む	普通	636 -	
2950	K905	IV	中世 山茶碗小 皿	口径5.1 底径4.4 器高2.6 最大径6.0	口縫1/2 底部1/4 以上 充存	回転け?。回転赤切り痕。 施釉	回転け?。"?	透、径2mm以下の長石を 多く含む	自然釉付着(外)	636 -	
2951	FS16	IV	中世 山茶碗小 皿	口径5.8 底径5.6 器高2.6 最大径5.1	口縫1 底縫3/4 以上	回転け?。回転赤切り痕。	回転け?	やや粗、径2mm以下の長 石を多く含む	自然釉付着(内)	636 -	
2952	JF16	IV	中世 山茶碗小 皿	口径5.4 底径5.1 器高2.9 最大径5.3	口縫5 底部3/4 以上	回転け?。摩耗のため調 整不明。	回転け?。摩耗のた め調整不明。	やや粗、石英を多く含む	普通	636 -	
2953	0403	IV	中世 山茶碗小 皿	口径5.9 底径5.0 器高2.0 最大径5.6	口縫5 底部3/4 以上	回転け?。回転赤切り痕。	回転け?。静止け?	透	良	636 -	
2954	KT02	IV	中世 山茶碗小 皿	口径5.6 底径5.8 器高2.4 最大径7.9	口縫4 底部3/4 以上	回転け?。回転赤切り痕。 ダマ	回転け?。摩耗のた め調整不良。	透、径1mm以下の長石を 多く含む	自然釉(内外)	636 -	
2955	K903	IV	中世 山茶碗小 皿	口径5.3 底径5.0 器高1.9 最大径7.5	口縫5 底部1/4 以上 充存	回転け?。回転赤切り痕。	回転け?	やや粗、径1mm以下の長 石を多く含む	良	636 -	
2956	K902	IV	中世 山茶碗小 皿	口径5.1 底径5.7 器高2.6 最大径5.4	口縫1 底部2/4 以上	回転け?。回転赤切り痕。 ダマ	回転け?。静止け?	透	良	636 -	
2957	0402	IV	中世 山茶碗小 皿	底径5.7 器高(1.8)	底部1/4 以上	回転け?	使用による摩耗	透、径1mm以下の長石を 多く含む	良	636 -	
2958	JH20	IV	中世 山茶碗	底径5.7 器高(1.9)	底部3/4 以上	回転け?。回転赤切り痕。	透、摩耗のため調 整不良。	透、径1mm以下の長石を 多く含む	普通	636 -	
2959	0401	IV	中世 山茶碗	底径5.1 器高(2.1)	底部3/4 以上	回転け?。回転赤切り痕。 施釉	透、摩耗として利用 する	有機物付着(内 外)、墨か?	良	636 -	

表167 土器類観察表 (101)

No	地区 遺構	層位	時期 層種分類	法量(cm)	残存率 (%)	調整		出土	焼成	備考	等級 国際
						外面	内面				
2960	KQ01	IV	中世 山茶網	底径1.8 高さ1.8	底部1/4 以上	回転 ⁺⁺ 、回転 ⁺ 、切削痕	回転 ⁺⁺	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	636	—
2961	JF02	IV	中世 山茶網	底径2.9 高さ2.9	底部完全 存	回転 ⁺⁺ 、回転 ⁺ 、切削痕	回転 ⁺⁺	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	636	—
2962	JJ06	V	中世 上 山茶網	底径6.3 高さ6.3	底部2/4 以上	回転 ⁺⁺ 、回転 ⁺ 、切削痕	回転 ⁺⁺	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	636	—
2963	KH03	IV	中世 山茶網	底径7.1 高さ4.4	底部3/4 以上	回転 ⁺⁺ 、回転 ⁺ 、切削痕	回転 ⁺⁺	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	636	—
2964	桜乱	I ~ III	中世 山茶網	底径6.7 高さ4.2	底部完全 存	回転 ⁺⁺ 、回転 ⁺ 、切削痕	回転 ⁺⁺	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	自然抽引着(PD)	636	—
2965	KP01	IV	中世 山茶網	底径7.1 高さ4.0	底部1/4 以上	回転 ⁺⁺	回転 ⁺ 、切削痕	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	636	—
2966	OM03	V	中世 上 山茶網	口径15.8 底径7.6 厚さ2.2 最大径16.1	口縁2/3 底部3/4 以上	回転 ⁺⁺ 、回転 ⁺ 、切削痕	回転 ⁺⁺	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	降灰付着	636	—
2967	KS04	IV	中世 山茶網	口径16.8 底径7.2 厚さ2.2 最大径17.0	口縁2/3 底部1/4 以上	回転 ⁺⁺ 、回転 ⁺ 、切削痕	回転 ⁺⁺	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	自然抽引着(内外)	636	—
2968	OM03	IV	中世 山茶網	口径17.2 底径7.2 厚さ4.7 最大径17.5	口縁2/3 底部2/3 底部完全 存	回転 ⁺⁺ 、回転 ⁺ 、切削痕	回転 ⁺⁺ 、コロ ⁺⁺	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	636	—
2969	JB06	III	中世 山茶網	口径15.6 底径8.4 厚さ5.2 最大径15.8	口縁2/3 底部1/4 以上	回転 ⁺⁺ 、切削痕、貼付 高台、回転 ⁺ 、切削痕	回転 ⁺⁺	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	636	—
2970	KQ01	III	中世 丸瓶	底径5.1 高さ(2.4)	底部1/4 以上	回転 ⁺⁺ 、回転 ⁺ 、切削痕	回転 ⁺⁺	密	良	636	—
2971	JH20	IV	中世 甕	底径13.8 高さ(2.0)	底部1/4 未満	回転 ⁺⁺	++	密	良(手ぬりによる施釉 施) 施	636	—
2972	桜乱	III	近世 志野皿	口径11.2 底径6.5 厚さ2.1 最大径11.6	口縁2/3 底部1/4 以上	回転 ⁺⁺ 、コロ ⁺⁺ (底部) 回転 ⁺ 、切削痕	回転 ⁺⁺	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む	施釉有り 良	636	—
2973	桜乱	IV	近世 丸瓶	口径9.2 底径5.5 厚さ2.5 最大径9.5	口縁2/3 底部1/4 以上	回転 ⁺⁺	回転 ⁺⁺	密	施釉有り 良	636	—
2974	KI01	IV	中世 青磁	底径5.0 高さ(2.0)	底部1/4 高台 未満	回転 ⁺⁺	—	密	良	636	—
2975	JF19	IV	中世 青磁	器高(2.5)	回転 ⁺⁺	回転 ⁺⁺	密	良	636	—	
2976	JC10	IV	中世 青磁	器高(2.3)	回転 ⁺⁺ 、運舟文	回転 ⁺⁺	密	良	636	—	
2977	桜乱	III	中世 青磁	器高(3.7)	回転 ⁺⁺	回転 ⁺⁺	密、径1mm以下の雲母を 僅かに含む	良	636	—	
2978	KH01	IV	中世 白磁	器高(1.7)	—	—	密	良	636	—	
2979	OM02	IV	中世 白磁	口径14.4 器高(4.8)	口縁2	回転 ⁺⁺ 、回転 ⁺⁺ (コロ)	回転 ⁺⁺	密	良	636	—
2980	JH19	IV	中世 四足壺	器高(5.2)	—	++	++	普通 施有り	636	—	
2981	JH04	V	中世 常滑窯	器高(3.2)	—	++	++	やや密、径1mm以下の長 石を僅かに含む	良	636	—
2982	KL05	IV	中世 壺底不明	器高(5.8)	—	++	++	密、径1mm以下の長石を 僅かに含む、種々の程の 継ぎ1個含む	良	636	—
2983	J019	IV b	中世 常滑窯	器高(7.0)	—	++	++	密、径2mm以下の長石を 僅かに含む	良(集 合に自然抽引着 (内))	636	—
2984	JR17	IV a	中世 土製品	長2.1 幅2.2 厚2.1	—	++	—	密	良	636	—
2985	JB19	IV	近世 土製品	器高(2.1)	—	—	—	密	良	636	—
2986	JG20	IV b	中世 山茶網	口径6.9 底径6.6 最大径7.3	口縁3/4 以上	指彫压痕	指彫压痕	密	良	637	—
2987	GS01	IV	中世 山茶網	口径8.8 底径3.4 厚さ1.5 最大径8.0	口縁3 底部1/4 未満	指彫压痕	指彫压痕	やや密	普通	637	—

表168 土器類觀察表 (102)

No.	地区 遺構	層位	時期 器種分類	法面(cm)	残存率 (3/12)	調整		胎土	焼成	備考	神宮	回版
						外面	内面					
2988	KQ06	IV	中世 土師皿	口径8.5 底径4.0 器高2.0 最大径9.0	口縁2 底部1/4 以上	口縁2 底部1/4 以上	指頭圧痕、手押ね	指頭圧痕	泥、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	637	-
2989	JB16	IV	中世 土師皿	口径8.5 底径4.0 器高1.5 最大径9.0	口縁3 底部1/4 以上	口縁3 底部1/4 以上	??	??	泥、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	637	-
2990	GT02	IV	中世 土師皿	口径11.7 器高(2.2)	口縁2	??、指頭圧痕	??	泥	普通		637	-
2991	JG16	IV	中世 土師皿	口径13.7 器高(3.3)	口縁3	??	??	泥、径1mm以下の長石・ 石英を僅かに含む	良	637	-	
2992	JE12	IV	近世 菊皿	口径13.8 器高(2.2)	口縁2	回転けずり	回転けずり	泥、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	637	-	
2993	JF13	IV	近世 湯桶	器高(3.8)	??	??	??	泥、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	637	-	
2994	KM04	V	中世 天目茶碗	器高(5.9)	回転けずり	回転けずり	回転けずり	泥	良		637	-
2995	JG16	IV	中世 天目茶碗	口径10.9 器高(5.0)	口縁1	回転けずり	回転けずり	泥	良	637	-	
2996	JG15	IV	近世 汁碗	底径6.0 器高(5.0)	底部2/4 以上	回転けずり	回転けずり	泥	良	637	-	
2997	KK04	IV	近世 脚付茶碗	口径10.1 底径5.4 器高6.6 最大径10.4	口縁1 底部充 存	回転けずり、軸用窓々 研磨有り(底部)	回転けずり	泥 脚付着(外)	良	637	-	
2998	KN04	V	近世 折縁鉢	底径6.8 器高(2.8)	底部充 存	回転けずり、回転けずり (底部)	回転けずり	泥、径1mm以下の長石を 僅かに含む	良	637	-	
2999	FS19	IV	近世 折縁鉢	口径13.0 器高(2.3) 最大径13.3	口縁2	回転けずり	回転けずり	泥	自然輪付着(内外)	637	-	
3000	0401	IV	中世 折縁深皿	口径28.0 器高(3.3)	口縁1	??	??	泥、径1mm以下の長石を 僅かに含む	施釉有り	637	-	

表169 打製石器一覧表

No.	遺構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	分類	側縫形状	欠損状況	先端角 (°)	備考	博認 国版
1591	SZ068-02	d	下呂石	(25.0)	11.1	5.6	(1.7)	B4	直縫	先端部欠損 角度不明		333 231	
1775	SD0383	a	チャート	41.0	18.5	6.0	4.5	B4	外縫	完形	41	主要剥離面を残す	436 —
1919	SD0653	1	チャート	37.5	14.0	6.0	2.6	A4	有肩	完形	56		463 231
2226	ST063	1	チャート	40.5	16.0	5.8	(2.7)	B4	外縫	先端部, 基部欠損	38	主要剥離面を残す	547 231
2325	SD0634	a	チャート	26.5	14.5	3.8	1.2	B4	有肩	基部欠損	34		570 231
3001	F508	III	チャート	(19.6)	11.3	3.5	(0.8)	B2	直縫	先端部欠損	37		638 231
3002	JB15	IV	下呂石	26.5	15.0	4.0	1.0	B1	有肩	完形	45	主要剥離面を残す	638 —
3003	JA10	IV	チャート	30.0	16.5	4.0	2.0	B1	有肩	完形	43	主要剥離面を残す	638 —
	KK03	V	チャート	25.0	15.0	3.5	0.8	B1	直縫	完形	40		— —
	JM07	III	砂岩	38.0	28.6	3.8	5.9	A1	直縫	完形	47	磨製石器の未製品の可能 性あり	— —

表170 磨製石器一覧表

No.	遺構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	側縫形状	欠損状況	先端角 (°)	備考	博認 国版
487	SD0050	a	泥岩	30.0	22.1	3.5	2.4	外縫	完形	75	有孔 1	139 231
1590	SZ068	e	泥岩	34.5	23.5	3.5	3.5	外縫	完形	74	有孔 1 両側から穿孔	333 231

表171 石錐一覧表

No.	遺構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	錐部			欠損状況	備考	博認 国版
								長さ (mm)	幅 (mm)	断面形			
3064	JB15	IV	チャート	(47.6)	14.5	11.0	(6.3)	25	3	三角形	上部欠損		638 —

表172 刃器一覧表

No.	遺構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	分類	刃部		欠損状況	備考	博認 国版
									形態	数			
3005	JPO7	IV	砂岩	91.6	60.0	20.0	130.1	A1	直縫	1	完形		638 —

表173 石包丁一覧表

No.	遺構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	分類	刃部		欠損状況	備考	博認 国版
									形態	位置			
2587	SD0381	b	泥岩	(66.3)	49.5	3.7	(15.7)	—	不明	1	側縫部欠損		607 231

表174 楊形石器一覧表

No.	遺構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	分類	階段状剝離		欠損状況	備考	博認 国版
									数	位置			
457	SD0414	a	下呂石	29.0	29.1	16.0	13.0	—	2	上・下	あり	自然面を残す	134 —

表175 RF一覧表(1)

No.	遺構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	分類	刃部		素材 形状	欠損状況	備考	博認 国版
									位置	長さ(mm)				
SD0381	1 ホルンフェルス	49.1	172.0	21.3	269.0	側縫	146	横長	完形			— —		
SD0422	2	泥岩	(62.6)	41.2	6.0	(146.0)	側縫	66	縱長	上部欠損				
SD0422	2	泥岩	(46.8)	52.6	9.2	(57.1)	末端	51	横長	上部欠損				
SD0422	2	凝灰岩	(77.9)	106.4	20.4	(190.9)	側縫	106	横長	上部欠損				
SD0422	2	凝灰岩	(62.1)	44.1	14.9	(43.0)	側縫	54	縱長	上部・下部欠損				
SD0422	21	ホルンフェルス	(134.7)	69.2	21.0	312.9	側縫	90	縱長	上部欠損				
SD0588	c	泥岩	48.5	29.2	5.3	7.7	側縫	29	横長	側縫部欠損				
SM02189	2	泥岩	86.8	49.3	18.3	78.6	末端	60	横長	側縫部欠損				
NB0091	4	下呂石	17.1	27.4	3.4	5.4	側縫	6	横長	完形				

表176 RF一覧表（2）

№	遺構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	刃部		素材 形状	欠損状況	備考	補図	図版
								位置	長さ(mm)					
PT17	IV	チャート	21.6	38.7	16.7	30.2	側縁	39	横長	完形	自然面を残す			
FT11	IV	ホルンフェルス	84.0	(33.2)	13.7	(51.5)	末端・側縁	30・58	縦長	側面欠損				
FT11	IV	ホルンフェルス	73.7	(28.0)	10.7	(29.4)	側縁・末端	67・25	縦長	側面欠損				
FT11	IV	ホルンフェルス	(46.5)	29.5	7.1	(16.0)	末端	26	縦長	上部欠損				
FT11	IV	ホルンフェルス	82.3	(24.5)	10.3	(16.7)	側縁	53	縦長	側面欠損				
FT11	IV	ホルンフェルス	(46.5)	22.2	9.0	(8.7)	側縁	34	縦長	上部・下部欠損				
FT11	IV	ホルンフェルス	34.9	(20.3)	5.6	(4.1)	側縁	22	縦長	側面欠損				
JB10	IV	ホルンフェルス	(71.0)	46.1	24.7	(81.8)	側縁	60	縦長	上部・下部欠損				
J111	IVa	泥岩	48.2	(59.2)	8.9	(38.1)	側縁	40	横長	側縁欠損				

表177 剥片一覧表

№	遺構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	素材形状	自然面の有無	備考	補図	図版	
								形状					
SZ073	a	砂岩	40.3	56.7	4.0	13.4	横長	あり					
SH101	a	チャート	36.2	33.2	21.0	17.6	縦長	あり					
SD0381	d	下呂石	37.1	18.4	8.4	4.4	縦長	あり	縫合剥離あり				
SD0422	1	ホルンフェルス	30.5	44.6	9.0	15.3	横長	なし					
SD0422	2	サスカイト	70.3	59.7	6.7	28.5	縦長	あり					
SD0422	21	サスカイト	67.6	53.0	16.5	69.0	縦長	あり					
SD0494	1	サスカイト	27.9	15.5	3.5	1.6	縦長	あり					
SD0559	c	石英	27.2	38.1	9.3	10.2	横長	あり					
SD0652	e	泥岩	23.0	48.6	5.1	6.1	横長	なし					
SD01894	5	砂岩	73.0	61.4	12.7	57.0	縦長	あり					
SD01921	a	泥岩	23.6	11.4	1.4	0.6	縦長	なし					
SP0100	d	安山岩	18.0	17.8	7.0	1.9	縦長	あり					
FT06	IV	泥岩	31.0	23.0	6.6	4.0	縦長	あり					
FT11	IV	ホルンフェルス	30.0	18.7	4.9	3.4	縦長	あり					
JE12	IV	結晶片岩	19.5	48.9	6.4	7.7	横長	なし	石製品				
JH20	III	チャート	39.1	32.1	12.1	22.8	縦長	あり					
JH20	IV	泥岩	24.6	41.9	13.3	16.7	横長	あり					
JQ07	III	チャート	24.1	16.9	3.1	1.1	縦長	なし					
JQ12	IV	チャート	28.5	30.6	3.9	3.8	縦長	なし					

表178 磨製石斧一覧表

№	遺構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	形状	刃部		欠損状況	備考	補図	図版
								形状	形態	幅(mm)				
1066	SD0422	1	ハイドロクライド	144.8	55.0	30.5	424.4	大型始刃	外縁	54	上部欠損後、戴打整形	203	231	
2586	SD0381	a	泥岩	(56.2)	12.1	9.6	(13.2)	縛平片刃	直縁	10	上部欠損	667	231	
3006	FT17	IV	ハイドロクライド	(113.0)	(80.0)	(43.0)	(51.7)	大型始刃	不明	—	下部欠損	638	—	
3007	JF06	IV	ハイドロクライド	(86.0)	(58.9)	41.0	(341.6)	大型始刃	不明	—	下部欠損	638	231	
3008	JR08	V上	安山岩	63.0	(52.0)	(37.0)	(127.6)	大型始刃	外縁	31	上部欠損	639	—	

表179 凹石一覧表

№	遺構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	形状	戴打痕の位置		欠損の有無	備考	補図	図版
								形状	位置	面				
1502	IM02	IV	砂岩	90.4	72.5	33.5	293.8	橢円形	平面面に2ヶ所	なし		296	231	

表180 叩石一覧表（1）

№	遺構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	形状	戴打痕の位置		欠損の有無	備考	補図	図版
								形状	位置	面				
370	SD0433	e	砂岩	230.9	84.9	46.6	1023.0	長楕円形	側縁部	なし	111	—		
486	SD0050	a	砂岩	130.1	65.4	35.0	287.1	長楕円形	下部	なし	139	—		

表181 叩石一覧表（2）

No.	遺構名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	形状	敲打痕の位置	欠損の有無	備考	博認 国版
1067	SD0422-03	I	ハイアロクラストイド	95.0	41.0	35.1	232.1	長楕円形	上部・下部	なし		263 231
1068	SD0422-08	I	砂岩	212.2	89.2	103.5	2101.7	不整形	上部・下部	なし		263 231
1069	SD0422	I	凝灰質砂岩	90.8	30.8	33.3	134.1	長楕円形	上部・下部	なし		263 231
1070	SD0422	a	砂岩	(136.9)	63.1	44.0	(584.6)	長楕円形	下部	あり	被熱あり	294 —
1071	SD0422-09	I	砂岩	159.0	81.4	40.5	664.3	長楕円形	上部・下部	なし	側面に純面あり	204 —
1426	NB001	4	砂岩	74.5	64.5	36.8	201.8	不明	側縁部	なし		284 —
1505	II01	IV	砂岩	160.8	69.2	32.0	442.1	長楕円形	側縁部	なし		296 —
1604	S2071	I	ホルンフェルス	189.0	81.5	61.2	1270.0	長楕円形	上部・下部	なし	側面に純面あり	340 —
1616	S2073	3	安山岩	176.9	81.8	36.5	560.3	長楕円形	側縁部	なし		345 231
1921	SD0652	a	砂岩	129.0	65.0	45.0	512.9	不整形	上部・下部	なし		463 —
1973	—柄		砂岩	(157.6)	60.5	80.0	(846.7)	長楕円形	側縁部	あり	縁辺に純面あり	480 231
2029	SD0495	I	安山岩	149.2	94.8	93.0	1959.4	楕円形	上部・下部	なし		497 231
2086	SD0587	a	砂岩	155.5	41.2	51.3	499.0	長楕円形	側縁部	なし	側面に純面あり	512 231
2315	SD0690	1	砂岩	153.0	111.0	37.0	1856.7	扁平円形	側縁部・下部	なし	平坦面に純面あり	565 —
2590	SD0381	2	花崗閃緑岩	105.9	65.8	49.2	422.0	不整形	上部・下部	なし		667 —
2591	SD0381	2	凝灰質砂岩	209.0	97.5	77.2	1956.0	不整形	上部・下部	なし		667 —
3010	SD0381	a	安山岩	275.0	92.5	79.0	3025.0	長楕円形	側縁部・下部	なし		639 —
3011	FT14	IV	砂岩	134.0	59.0	39.0	415.3	長楕円形	上部・下部	なし	側面に純面あり	639 —
3012	JH15	IV	砂岩	(153.0)	146.5	62.0	(1673.5)	不整形	下部・側縁部	あり		640 —
S2089	2	花崗岩	104.3	122.0	94.8	1600.0	楕円	下部	なし		—	—
SB099	b	砂岩	28.0	15.0	11.0	358.2	不明	側縁部	あり		—	—
SD0381	2	砂岩	(185.0)	(92.7)	61.7	(1171.1)	不整形	側縁部	あり		—	—
SD0381	c	砂岩	98.6	73.8	41.0	380.0	楕円形	下部	なし		—	—
SD0381	b	砂岩	137.7	72.0	57.2	791.4	不整形	下部	なし		—	—
SD0381	1	砂岩	131.7	60.8	41.5	417.0	長楕円形	側縁部	なし		—	—
SD0381	2	砂岩	209.0	91.0	83.1	1709.0	不整形	側縁部	なし		—	—
SD0381	5	砂岩	(117.7)	(42.1)	(36.4)	(184.5)	不明	側縁部	あり		—	—
SD0475	1	砂岩	87.7	60.8	28.5	261.9	長楕円形	下部	なし		—	—
SD0490	2	砂岩	94.7	28.0	26.8	110.4	長楕円形	下部	なし		—	—
SD0587	b	砂岩	(112.5)	56.8	39.0	(360.7)	長楕円形	下部	なし		—	—
SD0652	3	砂岩	121.4	56.4	51.6	528.8	長楕円形	下部	なし		—	—
SD0652	d	砂岩	163.0	68.3	45.8	639.2	長楕円形	側縁部	なし		—	—
SD0652	d	砂岩	162.0	51.0	63.6	844.5	長楕円形	上部・下部	なし		—	—
SB0184	5	砂岩	190.0	80.2	35.5	543.5	不整形	側縁部	なし		—	—
SB01925	1	砂岩	75.0	50.8	19.0	91.0	不整形	側縁部	なし		—	—
SB02324	6	砂岩	103.0	59.5	32.3	335.5	不整形	側縁部	なし	被熱あり	—	—
SP0196	3	砂岩	168.0	67.9	61.5	1275.6	長楕円形	側縁部	なし		—	—
ST094	a	花崗閃緑岩	123.0	67.3	47.1	575.1	楕円形	側縁部	なし		—	—
FS11	IV	チャート	94.5	89.4	57.6	607.4	楕円形	下部	なし		—	—
J007	III	砂岩	75.4	46.0	(26.0)	(113.9)	不整形	側縁部	あり		—	—
JF-016・17	a	凝灰質砂岩	60.6	46.0	22.9	89.6	不整形	下部	なし		—	—
JF-016・17	a	砂岩	104.5	66.0	42.0	388.6	不整形	側縁部	なし		—	—
JH16	IV	砂岩	(124.6)	67.5	65.5	(645.1)	不整形	上部・下部	あり		—	—
JH07	IV	砂岩	(79.4)	(45.3)	(24.6)	(163.4)	不明	側縁部	あり		—	—
JJ13	IV	砂岩	(110.3)	33.8	34.6	(108.2)	長楕円形	下部	あり		—	—
JK09	IV	砂岩	77.1	69.0	62.2	555.6	不整形	下部	なし		—	—
JL09	IV	砂岩	97.4	104.1	50.0	639.1	不整形	側縁部	なし		—	—
JQ09	IV	砂岩	(47.2)	(32.8)	(12.7)	(33.5)	不明	側縁部	あり		—	—
JH10	IV	砂岩	(79.3)	51.5	29.8	(163.4)	不明	側縁部	あり		—	—
S-708・09	1	砂岩	135.5	62.0	44.3	577.0	長楕円形	上部・下部	なし		—	—
—柄	I	閃緑岩	130.4	64.0	33.2	507.5	楕円形	側縁部	なし		—	—

表182 磨石一覧表

%	道構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	形状	鏡面数	欠損の有無	備考	補足	説明
1593	JL01	IV	砂岩	17.5	7.2	6.2	(510.4)	橢円形	2	あり		296	—
3069	JH08	IVa	安山岩	(115.1)	68.8	53.9	(726.0)	橢円形	2	あり		639	—
	一括		安山岩	88.3	78.7	57.8	611.3	橢円形	2	なし	上部・下部に鏡面痕あり	—	—
	一括	1	安山岩	(89.7)	(26.8)	43.0	(207.1)	橢円形	2	あり	複数あり	—	—

表183 砥石一覧表(1)

%	道構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	形状	鏡面数	欠損の有無	備考	補足	説明
71	SZ03	b	砂岩	162.0	107.5	45.1	1171.5	不整形	3	あり			
72	SZ03	c	砂岩	(75.5)	(49.5)	20.0	(660.7)	長方形	1	あり			
73	S00422	z	霞紋岩	(86.8)	42.5	28.2	(198.1)	長方形	4	あり			
209	S0108	a	霞灰質砂岩	(94.1)	53.9	16.9	(64.1)	長方形	4	あり			
214	S0109	b	霞灰質砂岩	(94.9)	36.5	20.7	(77.0)	長方形	4	あり			
456	S00414	a	霞灰質砂岩	44.0	22.2	16.7	27.7	長方形	6	なし			
1072	S00422	2	砂岩	(295.5)	109.8	104.4	(3911.4)	不整形	1	あり			
1073	S00422-07	2	砂岩	(114.0)	89.7	52.9	(956.6)	不整形	2	あり			
1074	S00422	2	砂岩	169.4	160.5	49.0	4008.2	不整形	1	なし			
1075	S00422	1	砂岩	339.5	293.2	143.4	1550.0	扁平四角形	2	なし			
1076	S00422	1	砂岩	197.5	60.2	(26.3)	(313.6)	不整形	2	あり			
1077	S00422-05	2	砂岩	198.5	(161.8)	81.2	(3781.2)	扁平四角形	3	あり			
1078	S00422	1	砂岩	(123.0)	85.0	47.5	(805.3)	不整形	2	あり			
1079	S00422-04	d	砂岩	(170.5)	131.1	90.7	(2460.6)	不整形	4	あり			
1080	S00422-08	1	砂岩	(71.7)	(31.5)	12.0	(43.2)	不整形	2	あり			
1081	S00422	2	霞灰質砂岩	(113.0)	28.2	27.8	(100.8)	長方形	4	あり			
1082	S00422	2	霞灰質砂岩	62.1	45.5	19.2	42.3	不整形	3	なし			
1083	S00422-06	2	砂岩	(159.8)	(105.4)	72.3	(1517.2)	不整形	2	あり			
1084	S00422	2	霞灰質砂岩	129.8	23.5	23.8	106.3	長方形	4	なし			
1499	HC20	IV	霞灰質砂岩	(46.8)	27.0	15.9	(25.9)	長方形	4	あり			
1500	H116	IV	霞灰質砂岩	46.0	37.0	37.5	(120.9)	不整形	3	あり			
1501	HB16	IV	霞灰質砂岩	(52.6)	21.7	22.3	(31.6)	長方形	4	あり			
1504	ET02	IV	砂岩	65.71	(48.2)	27.5	(198.2)	不整形	2	あり			
1506	I001	IV	砂岩	111.5	65.5	85.0	804.1	不明	2	なし			
1589	SZ068	d	砂岩	147.0	83.0	22.5	382.5	扁平四角形	2	なし			
1623	SZ078	1	砂岩	154.0	84.0	26.0	467.5	不整形	3	なし			
1653	S00672		砂岩	160.0	70.0	53.0	650.0	長方形	4	なし			
1969	S00490	1	砂岩	(137.0)	120.0	35.0	(679.3)	長方形	3	あり			
1970	S00490	1	砂岩	249.5	(162.5)	65.0	(2560.0)	不整形	2	あり			
2024	S00498	a	砂岩	(99.1)	(47.5)	47.0	241.1	不明	2	あり			
2028	S00495	1	砂岩	(118.5)	(106.5)	59.1	(838.2)	不整形	1	あり			
2051	S00499	1	砂岩	(131.8)	(77.5)	53.8	(724.5)	不整形	2	あり			
2087	S00567	c	砂岩	(214.5)	(156.3)	98.9	(3866.2)	不整形	3	あり			
2088	S00567	c	砂岩	(194.0)	107.8	141.0	(3050.1)	不整形	1	あり			
2262	ST09	n	霞灰質砂岩	60.0	59.0	35.5	144.0	不整形	2	なし			
2313	S00605	n	砂岩	236.5	107.0	48.0	1213.4	不整形	4	なし			
2314	S00606	n	霞灰質砂岩	110.0	79.0	67.5	661.4	不整形	2	なし			
2588	S00381	c	砂岩	137.8	(128.0)	75.6	(1762.3)	不整形	1	あり			
2589	S00381	b	砂岩	66.5	37.5	25.0	83.5	長方形	6	なし			
2592	S00381	1	砂岩	183.9	155.2	98.2	4563.5	不整形	2	なし			
3013	J113	IV	砂岩	(49.2)	(68.1)	54.9	(271.9)	不明	1	あり			
3014	JN13	IV	砂岩	(112.6)	(76.1)	88.3	(857.0)	不整形	1	あり			
3015	JN17	IV	霞灰質砂岩	(52.5)	53.2	19.5	(77.6)	長方形	2	あり			
3016	JH14	IV	霞灰質砂岩	80.0	31.5	32.5	76.6	長方形	4	なし			
3017	JT11	IV	霞灰質砂岩	62.0	48.0	21.0	136.5	不整形	2	なし			
3018	JF-H16-17	d	霞灰質砂岩	(116.0)	(63.0)	21.0	(193.1)	不整形	1	あり			
3019	JH16	IV	砂岩	(118.8)	45.1	20.2	(155.6)	不整形	4	なし			
3020	TP57		砂岩	160.0	(32.0)	34.0	(215.9)	長方形	3	あり			
3021	J113	IV	砂岩	134.1	114.2	40.6	823.3	不整形	1	なし			
3022	FS12	IV	砂岩	(122.0)	88.2	23.0	(463.7)	長方形	3	あり			
3023	JH19	IV	安山岩	(117.0)	(65.0)	(44.0)	(489.6)	不整形	3	あり			
3024	Q005	IV	ホルンブックス	132.5	70.0	19.0	282.0	長方形	2	なし			
3025	TS		砂岩	(980.0)	1190.0	900.0	(2178.9)	不整形	3	あり			
3026	JM08	IVa	砂岩	146.6	145.4	52.3	1852.5	不整形	1	なし			
3027	JH13	IV	砂岩	238.0	135.0	54.0	1721.2	不整形	3	なし			
3028	TS	I	霞灰質砂岩	158.9	107.2	96.8	2253.1	不整形	1	なし			
3029	PS12	IV	砂岩	213.0	110.0	60.0	2016.1	不整形	4	なし			

表184 砥石一覧表（2）

%	遺物名	種別	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	形状	砥面数	欠損の有無	備考	博認	国版	
S0059	e	砂岩	(135.0)	67.0	(57.0)	(756.9)	不整形	2	あり		—	—	—	
S0053	e	ホルンフェルス	(76.4)	(35.6)	(32.5)	(116.1)	不明	1	あり		—	—	—	
S0059	2	砂岩	(36.5)	(14.1)	(12.1)	(11.2)	不明	1	あり		—	—	—	
S0061	a	砂岩	(60.9)	30.3	20.7	(106.5)	不整形	2	あり		—	—	—	
S0061	a	砂岩	45.6	37.4	39.8	89.9	楕円形	1	なし		—	—	—	
S0079	1	砂岩	130.0	62.6	46.6	607.0	不整形	1	なし		—	—	—	
S0082	5	砂岩	(61.0)	29.1	(13.0)	(16.9)	不明	1	あり		—	—	—	
S0082	4	砂岩	(44.3)	(26.7)	(9.6)	(14.4)	不明	1	あり		—	—	—	
S0099	b	砂岩	109.2	52.4	23.1	204.5	不整形	1	なし		—	—	—	
S0100	a	砂岩	190.0	65.8	56.4	(377.6	長楕円形	1	なし		—	—	—	
S0102	d	凝灰質砂岩	88.1	41.2	26.1	123.2	不整形	2	なし		—	—	—	
S00050	a	砂岩	(64.0)	(43.2)	(28.5)	(82.2)	不明	1	あり		—	—	—	
S00381	c	凝灰質砂岩	57.3	40.0	12.1	45.9	不整形	1	なし		—	—	—	
S00381	e	砂岩	79.5	57.1	15.8	(147.2	不整形	1	なし		—	—	—	
S00381	a	閃紋岩	113.7	80.3	50.6	708.1	不整形	1	なし		—	—	—	
S00381	z	砂岩	(226.0)	129.7	(103.0)	(298.6)	不整形	1	あり		—	—	—	
S00381	z	砂質凝灰岩	177.0	54.4	21.1	(89.2)	長楕円形	2	あり		—	—	—	
S00381	1	砂岩	(110.6)	101.8	69.0	(841.2)	不明	1	あり		—	—	—	
S00381	1	砂岩	(84.4)	(66.7)	(30.6)	(307.6)	不明	1	あり		—	—	—	
S00422	c	砂岩	(67.4)	(56.5)	(15.0)	(74.1)	不明	1	あり		—	—	—	
S00422	b	砂岩	88.5	52.5	(24.0)	(87.0)	不整形	1	あり		—	—	—	
S00422	2	凝灰岩	(73.3)	(62.5)	(29.0)	(209.5)	長方形	2	あり		被熱あり	—	—	
S00422	b	砂岩	(79.0)	28.1	29.2	(128.3)	長楕円形	1	あり		—	—	—	
S00422	1	砂岩	(79.2)	55.5	19.5	(157.6)	不整形	2	あり		—	—	—	
S00422	1	ホルンフェルス	(51.1)	(41.0)	(28.2)	(78.7)	不明	2	あり		—	—	—	
S00422	2	砂岩	(133.8)	56.9	31.1	(37.5)	楕円形	1	あり		—	—	—	
S00422	2	砂岩	146.7	53.5	42.0	(413.9	長楕円形	1	なし		側面に磨打痕あり	—	—	
S00422	2	砂岩	186.0	101.5	88.0	1920.3	不整形	3	なし		—	—	—	
S00422	2	砂岩	169.6	61.3	32.6	592.8	長楕円形	2	なし		—	—	—	
S00422	2	砂岩	159.0	82.8	46.7	964.0	長楕円形	4	なし		—	—	—	
S00422	2	凝灰岩	63.4	(28.4)	11.6	45.2	長方形	4	あり		—	—	—	
S00422	c	砂岩	157.0	59.1	47.8	833.6	楕円形	2	なし		側面に磨打痕あり	—	—	
S00422	04	砂岩	182.9	160.0	76.8	3596.0	不整形	1	なし		—	—	—	
S00422	04	砂岩	(49.0)	(38.0)	14.7	(22.2)	不明	1	あり		被熱あり	—	—	
S00422	05	2	砂岩	142.9	139.1	105.5	91525.7	扁平形	3	なし		—	—	—
S00422	06	5	閃紋岩	(177.0)	128.5	53.1	(2190.5)	扁平円形	1	あり		—	—	—
S00443	b	凝灰岩	(27.9)	(19.4)	(1.6)	(3.8)	不明	2	あり		—	—	—	
S00492	2	凝灰質砂岩	91.8	52.7	25.9	129.0	不整形	1	なし		—	—	—	
S00495	b	砂岩	(91.0)	(64.8)	(55.8)	(383.5)	不明	1	あり		—	—	—	
S00556	c	砂岩	(44.0)	(34.3)	(19.6)	(34.8)	不明	1	あり		—	—	—	
S00572	b	凝灰岩	(75.5)	51.3	27.2	(122.2)	長方形	2	なし		塊状	—	—	
S00597	a	砂岩	(116.8)	112.6	75.5	(138.7)	不整形	1	あり		—	—	—	
S00597	d	砂岩	(165.0)	95.7	85.0	(1818.3)	不明	1	あり		—	—	—	
S00652	3	砂岩	(239.0)	114.0	69.0	(2400.0)	長楕円形	1	なし		—	—	—	
S00652	a	砂岩	(26.9)	(42.2)	(26.0)	(48.0)	不明	1	あり		—	—	—	
S00652	g	ホルンフェルス	143.8	50.0	38.5	557.9	長楕円形	1	なし		—	—	—	
S00652	g	砂岩	40.7	49.6	31.3	80.7	楕円形	2	なし		—	—	—	
S001798	b	砂岩	(86.7)	59.5	(36.5)	(199.4)	不整形	1	あり		被熱あり	—	—	
S001809	c	閃紋岩	(49.3)	(44.8)	43.0	(137.4)	長方形	1	あり		側面に磨打痕あり	—	—	
S001871	1	砂岩	73.0	63.2	37.1	198.2	不整形	2	なし		側面に磨打痕あり	—	—	
S001872	1	砂岩	113.3	54.9	33.6	286.7	不整形	2	なし		—	—	—	
S001894	5	閃紋岩	(42.0)	(33.1)	(18.4)	(8.8)	不明	2	あり		—	—	—	
S001925	1	砂岩	149.4	63.2	68.5	932.7	楕円形	2	なし		側面に磨打痕あり	—	—	
S002092	a	凝灰質砂岩	198.9	95.0	69.2	1802.0	不整形	2	なし		—	—	—	
S002322	b	砂岩	76.8	55.0	(31.4)	(178.7)	不整形	1	あり		被熱あり	—	—	
S002324	b	凝灰岩	37.3	24.8	(14.5)	(28.3)	長方形	5	あり		—	—	—	
S002327	1	閃紋岩	88.7	68.6	52.4	454.8	楕円形	2	なし		—	—	—	
S002393	1	砂岩	330.0	125.0	86.6	4200.0	長楕円形	1	なし		—	—	—	
S002536	b	砂質凝灰岩	(40.0)	(30.4)	10.5	(24.9)	不整形	2	あり		—	—	—	
S002536	b	砂質凝灰岩	(30.8)	(23.4)	13.9	(9.8)	不整形	2	あり		—	—	—	
S00669	a	凝灰質砂岩	(132.5)	(130.2)	(92.1)	(1382.4)	不明	2	あり		—	—	—	
S125		砂岩	(62.9)	(13.1)	(8.3)	(7.5)	不明	1	あり		—	—	—	
S125		泥岩	(72.9)	(19.1)	(13.8)	(20.2)	不明	1	あり		—	—	—	
S125		砂岩	(90.4)	(18.4)	(15.2)	(26.5)	不明	1	あり		—	—	—	
N0001	4	凝灰岩	58.5	37.4	(18.6)	(8.5)	不明	1	あり		—	—	—	
F006	IV	砂岩	108.7	36.9	20.4	113.2	不整形	1	なし		—	—	—	
F110	IV	砂岩	(10.9)	(23.7)	16.8	(8.5)	不整形	2	あり		—	—	—	
F110	IV	凝灰質砂岩	(74.6)	(61.4)	(30.3)	(188.0)	不明	1	あり		—	—	—	
FT16	IV	砂岩	(125.5)	(65.8)	44.9	(343.3)	不整形	1	あり		—	—	—	
I603	IV	砂岩	113.9	66.9	40.7	393.4	不明	1	なし		—	—	—	
I602	IV	砂岩	124.2	95.0	44.8	788.5	楕円形	2	なし		—	—	—	

表185 砥石一覧表(3)

No.	道構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	形状	平坦面数	欠損の有無	備考	補足	図版
EK01	IV	砂岩	118.9	52.9	30.0	258.0	不整形	2	なし			—	—
JA11	IV	砂岩	(43.3)	(30.0)	20.8	(28.2)	不整形	1	あり			—	—
JA11	IV	砂岩	(30.0)	(20.0)	17.4	(13.5)	不整形	1	あり			—	—
JA11	IV	凝灰質砂岩	65.0	37.0	19.6	46.8	鶴円形	2	なし			—	—
JC10	IV	砂質凝灰岩	41.9	40.4	10.5	30.6	不整形	1	なし			—	—
HF-H6+17	a	砂質凝灰岩	40.7	33.8	20.5	44.7	不整形	1	なし	赤色顔料付着		—	—
HF-H6+17	a	砂質凝灰岩	(20.1)	(20.1)	10.8	(14.9)	不整形	3	あり			—	—
He-H3-15	b	凝灰質砂岩	102.0	56.0	36.0	808.2	不明	2	なし			—	—
JK12	IV	砂岩	(29.5)	(31.0)	(19.9)	(16.6)	不明	1	あり			—	—
JK13	IV	砂岩	250.0	154.5	69.1	3280.0	鶴円形	1	完形			—	—
JK13	IV	砂岩	90.0	(65.5)	(19.5)	(151.4)	鶴円形	1	あり			—	—
JK16	IV	砂岩	(121.8)	(94.1)	(62.0)	(59.6)	不明	1	あり	板熱あり		—	—
JL14	IV	砂岩	(115.6)	72.5	72.0	(322.6)	長樽円形	1	あり			—	—
JN07	IV	砂岩	(150.0)	63.9	61.4	(1057.3)	長樽円形	2	あり	側面に敲打痕あり		—	—
JW07	IV	凝灰岩	36.0	33.3	30.7	63.5	長方形	5	なし			—	—
JN10	IV	砂岩	73.0	(45.4)	9.7	(45.3)	鶴円形	2	あり			—	—
JN20	IV	砂岩	(123.9)	(76.1)	(29.7)	(326.1)	長方形	3	あり			—	—
JH07	III	砂岩	(160.2)	(43.2)	(22.0)	(203.8)	不明	1	あり			—	—
JH07	IV	砂岩	(123.5)	(60.3)	44.9	(582.4)	不明	1	あり			—	—
JH09	IV	砂岩	(66.1)	31.4	29.1	(120.5)	長方形	4	あり			—	—
JR13	IV	砂岩	(55.0)	29.7	17.8	(30.7)	不明	1	あり			—	—
JS07	IV	凝灰質砂岩	45.1	44.2	29.3	78.8	不整形	4	なし	〔團状〕		—	—
JS14	IV	砂岩	(91.1)	(48.6)	(34.3)	(224.7)	不明	2	あり			—	—
JT14	IV	砂岩	(60.8)	(98.5)	(32.6)	(214.3)	不明	3	あり			—	—
KF05	IV	ホルンフェルス	(97.9)	(56.2)	8.5	(87.6)	長方形	4	あり	〔團状〕		—	—
KH09	IV	凝灰岩	(62.7)	(49.3)	28.5	(93.1)	長方形	3	あり			—	—
KI01	IV	凝灰質砂岩	(57.0)	(28.1)	(12.2)	(26.2)	不明	1	あり			—	—
KN01	V	泥岩	(63.0)	21.5	14.0	(21.3)	不明	1	あり			—	—
KN01	V	泥岩	(26.9)	(17.4)	(2.7)	(4.3)	不明	1	あり			—	—
KN01	V	泥岩	(56.4)	(16.1)	(11.4)	(12.6)	不明	1	あり			—	—
KN01	V	泥岩	(71.6)	(14.5)	(9.2)	(12.2)	不明	1	あり			—	—
KR03	IV	砂岩	(93.0)	(83.1)	(52.3)	(780.7)	不明	2	あり			—	—
KI01	IV	凝灰質砂岩	(66.2)	52.0	(25.4)	(195.1)	鶴円形	1	あり			—	—
OA03	IV	砂岩	91.1	50.9	41.1	221.0	鶴円形	1	なし			—	—
一括	IV	凝灰質砂岩	(77.4)	78.3	20.4	(180.6)	不整形	1	あり	板熱あり		—	—
乱丸	a	砂岩	150.7	59.1	45.4	786.6	長樽円形	1	なし			—	—

表186 台石一覧表

No.	道構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	形状	使用面数	欠損の有無	備考	補足	図版
SB109	a	砂岩	(345.0)	119.5	94.8	(5384.8)	長樽円形	3	あり	板熱あり		—	—

表187 石罈一覧表

No.	道構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	形状	平坦面数	欠損の有無	備考	補足	図版
SB0577	a	紅珊瑚石	49.5	23.8	3.2	5.7	底面	1	49	あり		560	231

表188 軽石製品一覧表

No.	道構名 地区名	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	形状	平坦面数	欠損の有無	備考	補足	図版
1774	SD0383	a	軽石	55.0	31.0	33.0	15.9	不整形	1	なし		436	—
SZ052	a	軽石	(30.0)	(29.8)	(16.8)	(2.7)	不整形	1	あり			—	—
SD0584	a	軽石	33.4	23.4	11.3	3.1	不整形	1	なし	なし		—	—
SD0587	a	軽石	(17.8)	(14.6)	(7.9)	(0.5)	不整形	1	なし	あり		—	—
FS10	IV	軽石	25.2	14.4	12.9	0.9	不整形	1	なし			—	—
IP04	IV	軽石	(28.5)	(20.8)	(16.9)	(4.1)	不整形	1	あり			—	—
JA08	IVa	軽石	(29.0)	(21.4)	(15.7)	(2.2)	不整形	1	あり			—	—
JA14	IV	軽石	(50.4)	(50.2)	(26.2)	(19.0)	不整形	2	あり			—	—
JA14	IV	軽石	(25.4)	(34.3)	(25.1)	(7.1)	不整形	1	あり			—	—
JA14	IV	軽石	(39.6)	(14.6)	(8.03)	(0.9)	不整形	1	あり			—	—
JG06	IV	軽石	40.3	29.7	18.0	3.5	不整形	1	なし			—	—
KM02	IVb	軽石	26.8	15.2	13.3	1.2	不整形	1	なし			—	—

表189 玉類一覧表

No.	遺構名 地区名	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	孔径 (mm)	欠損の有無	備考	博認	国版
2581	SD0381	3	小玉	ガラス	6.9	6.6	4.3	0.2	2	なし		607	232
2582	SD0381	a	管玉	瑪瑙	8.2	7.8	12.0	1.1	2	なし		607	232
2583	SD0381	4	小玉	ガラス	7.5	7.2	6.2	0.4	2	なし		607	232
2584	SD0381	6	小玉	ガラス	5.9	5.3	5.1	0.2	2	なし		607	232
2585	SD0381	2	小玉	ガラス	5.7	5.0	5.2	0.2	1	なし		607	232
	JP08	IV'a	小玉か	ヒスイ	(26.4)	(17.2)	(8.5)	(3.9)	なし	あり		—	—

表190 石製品一覧表

No.	遺構名 地区名	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	形状	備考	博認	国版
455	SD0414	a	石棒	青銅鉛	(109.6)	54.5	19.1	(172.4)	板状		133	—
1065	SD0422-03	d	不明石製品	ホルンフェルス	86.5	26.5	18.0	48.6	長楕円形		263	—
1085	SD0422-03	b	石棒	黒色片岩	(133.9)	45.4	21.9	(201.8)	棒状		265	232
1370	SK01894	5	石棒	黒色片岩	308.0	62.8	25.3	1290.1	棒状		273	232
NB001	7	石棒	黒色片岩	(57.0)	(43.7)	24.3	(72.3)	棒状	欠損あり		—	—
JP-B16・17	a	石棒	結晶片岩	(79.2)	(44.3)	20.6	(98.0)	棒状	石棒の頭部 剥離板・截断板あり 欠損あり		—	—

表191 金属製品一覧表

No.	遺構名 地区名	層位	器種	材質	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	質量 (g)	欠損状況	備考	博認	国版
1062	SD0422	2	雅音箇	鋼	2.5	0.1	2.5	3.0	完存		262	—
1203	SK01872	a	圓鏡	鋼	5.5	6.3	1.6	6.3	完存		245	232
1501	HA15	IV	古鏡(寛永通宝)	鋼	2.5	2.5	1.1	3.1	完存	背面に「文」の文字	291	—
1508	HI19	IV	古鏡(寛永元宝)	鋼	2.4	2.4	0.7	1.9	一部欠損		291	—
1509	HB20	IV	古鏡(元豐通宝)	鋼	2.4	2.3	0.9	2.6	完存		297	—
1543	ST060	1	鍔先	鉄	(19.5)	14.8	0.5	162.6	先端一部欠損		310	—
1920	SD0653	a	圓鏡	鋼	2.3	0.4	1.0	3.3	完存		463	232
2211	ST125	1	古鏡(元祐通宝)	鋼	4.9	1.5	0.0	3.9	完存		546	—
2212	ST125	1	古鏡(元祐通宝)	鋼	4.7	1.3	5.2	3.2	完存		546	—
2263	ST136	1	圓鏡(戰国)	真鍮	5.8	1.2	1.2	4.4	完存		548	232
2593	SD0381	b	不明石製品	鉄	6.8	0.4	2.6	(12.4)	一部欠損	火打金か	607	—
3030	JB07	IV	圓鏡	銅	3.2	0.4	0.7	2.9	完存		643	232
3031	JB16	IV	刀子	鉄	(11.2)	2.0	0.4	19.1	先端部・基部欠損		643	—
3032	PS12	IV	環管	真鍮	7.2	1.0	0.1	14.5	完存		643	—
3033	JD20	IV	環管(首節)	銅	4.6	1.6	1.2	6.7	次元が少し欠損		643	232
3034	JC11	IV	環管(吸口)	真鍮	5.8	1.0	0.05	3.5	完存		643	—
3035	TP35	III	鏡版	銅	3.0	(2.5)	0.3	11.6	欠損		643	—
3036	TP42	IV	釘	鉄	9.1	0.8	0.5	7.9	先端部や延長部・頭部が崩壊		643	—
3037	KT12	IV	釘	鉄	(3.0)	0.7	0.5	2.9	先端部一部欠損		643	—
3038	JB11	IV	鉢玉	鉄	1.2	1.2	1.2	9.0	完存		643	—
3039	KL01	IV	鉢玉	鉄	0.8	0.8	0.8	12.6	完存		643	—
3040	JJ13	IV'a	鉢玉	鉄	1.1	1.1	1.1	8.7	完存		643	—
3041	JJ12	IV	鉢玉	鉄	1.0	1.0	1.0	2.9	完存		643	—
3042	JJ09	IV	雅音箇	銅	1.9	0.1	2.0	1.7	完存		643	—
3043	K607	IV	古鏡(元豐通宝)	銅	4.2	1.4	4.3	3.6	完存		644	—
3044	JJ20	III	古鏡(光祐通宝)	銅	4.2	1.5	4.2	3.7	完存		644	—
3045	K105	IV	古鏡(承平元年)	銅	4.7	1.3	4.6	2.9	一部欠損		644	—
3046	K104	IV	古鏡(寛永通宝)	銅	4.6	1.4	4.6	3.3	完存		644	—
3047	KJ02	IV	古鏡(不明)	銅	—	1.6	—	1.6	1/2欠損		644	—
3048	JG19	IV	古鏡(元祐通宝)	銅	3.5	1.5	3.4	3.2	完存		644	—
3049	ST069	a	古鏡(聖宋元宝)	銅	4.6	1.4	4.5	2.9	完存		644	—
3050	TP44	III	古鏡(治平元年)	銅	2.4	2.4	1.3	3.2	完存	行書	644	—
3051	KT02	IV	古鏡(嘉祐元年)	銅	4.9	1.3	4.9	3.7	完存		644	—
3052	KC07	IV	古鏡(皇宋通宝)	銅	2.8	2.5	0.5	2.9	完存		644	—
ST087	I	古鏡(熙寧元年)	銅	2.5	2.4	0.7	2.9	完存		—	—	
JK17	IV	古鏡(熙寧元年)	銅	2.5	2.5	0.8	3.2	完存		—	—	

表192 木製品一覧表（1）

No.	遺構名 地区名	層位	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	形態・特徴	木取り	樹種	標 目	標 記
226	SP0076	a	柱桟	(35.1)	8.8	9.0	上面は欠損している。表面に縱方向の加工痕あり。側面が下部に残っている。下端部に伐採痕があり。	芯持ち材		78	238
227	SH005-P1	-	柱桟	23.7	15.4	13.9	1/2分割材を成形して柱の大きさを揃える。表面に縱方向の加工痕あり。上端部は欠損。下端部に伐採痕があり。	芯持ち材		78	238
454	SD0414	a	竿	26.6	1.6	1.9	削りだし棒材。上面に削れがあり、上端部は丸く加工している。表面は平らで断面が三角形。	板目		133	236
1054	SD0422	b	曲物	(15.9)	0.9	(6.3)	円筒形と思われるが、右半分は欠損している。左側面に剣穴、左側面に一部削れあり、蓋の持ち手を付ける一对の穴があり。入れ子状の容器。	逆板目		202	236
1055	SD0422	I	不明製品	(6.6)	1.0	3.2	下端部は欠損。表面に加工痕がある。下端部に丸穴が開く。薄く加工している。無気孔。	板目		202	-
1056	SD0422	2	番串か人形	(14.3)	0.8	2.5	上端部は欠損。下端部は尖らせており。側面に細かい加工がある。断面は長方形。	板目		202	236
1057	SD0422	2	棒	(10.2)	(0.1)	(0.9)	右端部は欠損。側縁部に面削りがある。左側に穿孔が2ヶ所ある。横木の先端。表面美しい範囲が変化している。	板目		202	236
1058	SD0422	a	縦円柱の柄	5.9	0.8	5.9	円筒をしていて、下端部に付くと見われる部分が欠損している。側面を細かく加工している。断面は長方形。縦円柱の柄のグリップか。野生中堅。	板目		202	236
1059	SD0422	2	横縫の尻よけ	(12.8)	1.1	10.3	右端部が欠損。左側面が方形の穿孔。中央部に円形の穿孔があり。薄く加工している。側縁部は面削りをしている。側皮止用も同一削れのものと思われる。	板目		202	234
1060	SD0422	2	栓	9.5	3.4	3.9	上面は断面平面とも長方形で、面削りがある。下端部は一段跳ねとなる。下端部に楔が本木入っている。	板目		202	236
1061	SD0422	-	栓	7.4	2.7	3.0	上面断面平面ではなく長方形で、舟型削る加工がある。栓を抜くときこじ縁を削り去り、下部には底端に向かう細かい加工があり。断面がほぼ円形をしている。容器の底の栓。	芯持ち材		202	236
1063	SD0422	2	不明製品	(8.8)	1.2	2.4	上下両端部は欠損。中央に表面からの穿孔。(径0.7~1.0mm)が1ヶ所ある。側縁部には斜面削り加工がある。穿孔より上部は斜めに加工され上部が細くなる。	板目		202	241
1064	SD0422	2	大型檜	14.5	1.8	14.8	平面形はほぼ円形。一部欠損。断面は右側が薄くなっている。	板目		202	236
1263	SK01881	3	農具素材	63.5	3.9	14.8	右側の側面は直線的だが、左側縁は欠損によるものか、刃端が激しい。農具素材の分割材。	板目	アカガシ亜 属	261	-
1264	SK01881	4	農具素材	63.8	6.2	14.2	右側縁は直角で加工されているのにに対し、左側縁は斜めに加工されている。上端部には切断痕があり、下端部を側面削りで加工している。ミカン類り分割材で尾端に調整加工痕。	板目	アカガシ亜 属	261	-
1371	SK01894	5	分割材	102.6	6.1	8.5	上部は欠損している。枝打ち痕有り。みかん類材。	逆材		274	241
1372	SK01894	5	杭	(85.8)	5.6	8.45	1/6分割材の杭。枝打ち痕有り。上部は欠損している。下端部は加工して尖らせている。	芯去り材		274	241
1373	SK01894	5	杭	(93.5)	6.2	6.4	上端部は欠損している。下端部は加工し斜めにしていて、上端にひとまわり大きさを小さくする加工があり、芯持ち丸太。	芯持ち材	杉	274	-
1374	SK01894	5	建築部材	133.5	6.1	6.2	全体に細かい縦方向の加工がある。農木材の軸用品。上下両端部を加工し尖らせてある。乃こぼれ痕がある。	芯持ち材	杉	274	-
1416	MR001	最下層	杭	321.6	7.0	6.7	下端部に縦から加工痕あり尖っている。全体に崩皮が付着している。	芯持ち材		282	241
1417	MR001	4	農具素材	123.1	12.1	26.0	上下両端部に切断痕あり。右側縁に楔痕あり。右側面に崩皮が残る。表面に加工痕あり。分割材板。	板目		282	237
1418	MR001	8	加工材	234.3	19.5	17.2	伐採木、3方向からの伐採痕が明顯に残っている。鉄の部分も斧で切っている。	芯持ち材		283	241

表193 木製品一覧表（2）

No.	遺構名 地区名	層位	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	形態・特徴	木取り	樹種	種 固版
1419	NB001	4	曲物底板	(18.8)	1.1	(4.2)	側面に加工痕あり。釘あとあり。右側は欠損している。	柾目		284 236
1420	NB001	4	梯子	(33.0)	8.6	11.6	正面・側面にチョウナの加工痕が残っている。上下両端部は欠損しており、1段のみ残っている。梯子の脚欠損。	柾目		284 240
1421	NB001	5	たも持か	43.1	1.8	1.9	枝払い、全体に細かい加工があるが、弓としては加工が甘いのでたも持と思われる。下端部には加工があり丸みを持ち、上端部は欠損している。右側縁が平らで左側縁が丸みを持ち断面は錐錠型。	芯持ち材	カヤ	284 236
1422	NB001	7	棒材	6.3	2.2	2.5	上下両端部は欠損している。くぎ穴のある丸棒。	芯持ち材		284 -
1423	NB001	-	道具素材	98.3	7.7	17.1	みかん削材。下端部に切断痕あり。上部は欠損している。	芯去り材		284 -
1424	NB001	9	弓	(83.5)	3.2	3.6	枝払い。全体に細かい加工がある。弓はず部分が欠損している。使用して剥いてある。	芯持ち材		284 235
1425	NB001	7	輪かんじき 田下駄	(21.4)	1.4	5.4	輪かんじき田下駄の様子。左右両端部は欠損している。両面に加工痕あり。	柾目		284 -
1448	SK01898	b	板材	10.1	6.8	1.0	板材を利用し、先端を尖らせる。	板目	高野マキ	291 -
1449	SK01898	2	杭	(10.5)	4.6	4.3	上下両端部は欠損している。枝払い痕あり。	芯持ち材		291 -
1450	SK01898	1	建築部材	(60.0)	5.9	6.2	上端部は欠損している。芯持ち丸木材であるが、先端をぼぞ伏に加工している。全体に粗度が残る。加工痕に刀こぼれがあり。鉄のチョウナで加工している。	芯持ち材		291 -
1451	SK01898	1	杭	(70.1)	6.3	6.1	下端部は欠損している。上端部は平らに切断されている。枝払い痕有り。	芯持ち材		291 -
1452	SK01898	1	杭か	(15.1)	4.2	4.0	上端部欠損。下端部は折れている。	芯持ち材		291 -
1453	SK01898	1	杭	(9.0)	3.3	3.2	上部は欠損し、下端部先端のみ残存。	芯持ち材		291 -
1454	SK01898	1	杭	83.8	7.8	8.6	刀こぼれがあり。鉄削用か。下端部は加工し尖らせている。一部に粗度が付着している。枝払い痕あり。	芯持ち材		291 -
1455	SK01898	1	杭	(29.3)	4.2	4.2	上端部は欠損している。下端部の先端は3方向からの加工で尖らせている。枝払い痕有り。	芯持ち材		291 -
1456	SK01898	-	杭	(54.5)	3.5	3.7	上端部は欠損している。下端部先端は加工して尖らせている。表面に削痕残る。枝払い痕有り。加工痕に刀こぼれ痕あり。鉄のチョウナで加工している。	芯持ち材		291 -
1618	SZ075	3	柱根	33.0	3.0	3.0	上部欠損	芯持ち材		348 239
1638	SB008	1	柱根	30.0	10.0	10.0	上部削り。先端部欠損。表面に当たり痕。	芯持ち材		368 238
1639	SB008	1	柱根	42.0	12.0	12.0	上部削り。先端部欠損。表面に当たり痕。	芯持ち材		368 238
1640	SB008	1	柱根	34.0	14.0	14.0	上部削り。先端部欠損。	芯持ち材		368 238
1641	SB008	1	柱根	(31.9)	10.8	12.6	底部は両方向からの削り。やや安る。削り面に刀こぼれ痕あり。	芯持ち材	ヒキキ科ア スナロ属	368 236

表194 木製品一覧表（3）

No.	遺構名 地区名	層位	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	形態・特徴	木取り	樹種	博物館	出版
1642	SH008	1	柱材	(38.2)	(14.0)	(14.0)	底部を平らに削る。上部は欠損。底面に刃こぼれ痕あり。	芯持ち材	ヒノキ科ア スナロ属	368	238
1643	SH008	1	柱材	(32.7)	11.7	10.7	柱材。柱底部を両方から削りやや尖る。	芯持ち材	ヒノキ科ヒ ノキ属	368	239
1644	SH008	1	柱材	(25.4)	(11.4)	(11.0)	上部は欠損し、底部は三方向から削る。全体的に欠損が多い。底部の削り面に刃こぼれ痕あり。	四分割以 下削り出し	ヒノキ科ア スナロ属	368	239
1646	SH010	1	柱根	(36.4)	13.2	13.8	表面を面取り。下端は不整方向からの削り。	芯持ち材	トネリコ属 トネリコ節	370	238
1647	SH010	1	柱根	28.4	13.8	15.6	表面は面取り加工。下端は不整方向から削り。中心をやや尖らせる。	芯持ち削 り出し	トネリコ属 トネリコ節	370	238
1648	SH010	1	柱根	34.1	13.6	15.1	胴部を面取り (14面)。底部は鋸い角度により中心をやや尖らせる。	芯持ち材	トネリコ属 トネリコ節	370	238
1680	SB115-P9	1	柱根	25.1	9.8	10.0	胴部の中央部から下部にかけて、1部斜面を残す。階段状切断痕。	芯持ち材	コナラ属ア カガシ低風	397	239
1681	SB115-P2		柱根	69.4	11.8	15.4	表面中央より下端にかけて加工痕が明瞭に残り、縱方に削る。底面は平らに加工する。	芯持削り 出し	コナラ属ア カガシ低風	397	238
1682	SP0127	1	柱根	(55.8)	11.0	11.0	表面はチャウナ風で2.5~3.0cmの幅で面取りしている。底部は3方向から斜めに加工している。健姫部材。柱根が塗る。	芯持削り 出し	サカキ	397	238
1705	SA004	-	柱根	(16.5)	9.3	11.1	5面体に加工。下端部は4方向からの加工である。	芯持ち材		416	239
1706	SA004	-	柱根	22.2	9.5	9.9	縱方向の加工で表面を丸く加工。下端部は4方向からの加工で先端がやや丸みを帯びる。	芯持ち材	コナラ節	416	239
1773	SD0583	r	板材	83.5	2.8	14.4	扁平な板材である。加工痕は不明瞭ながら部分的に残存する。みらん削り材。構造物が健姫部材の板材。	板目	ケヤキ	436	240
1832	SD0588	b	桧扁材	5.76	0.35	2.3	薄く加工している。一部に黒け痕あり。左上面に穿孔あり。下端部、裏面上面は欠損している。古代。	板目		450	236
1833	SD0588	d	製材板	3.5	0.4	(4.9)	況上け断欠品。薄い板。一部穿孔あり。	板目	アカガシ低 風	450	241
1834	SD0588	d	桐材	21.8	2.5	2.4	上端部を一段細く削っている。全体に縦かい加工あり。本体との繋ぎの柄。カセの再利用。断面は円形。	板目		450	236
1922	SD0652	d	曲物	(36.85)	0.7	5.5	曲げ物の側板と思われる。	邊板目		463	236
1923	SD0652	e	又鉤	(20.0)	0.6	4.3	表面が端は、上部から下部にかけて溝曲する。表面右端は上部から下部まで直角である。又鉤の刀先。	板目	コナラ属ア カガシ低風	463	-
1924	SD0652	3	机	13.3	4.3	4.5	下端を斜めに加工している。	芯持ち材	コナラ属ア カガシ低風	463	-
1925	SD0652	5	笄柄	76.8	3.5	6.0	直柄鍔である。頭部の上端は丸みを帯びている。握り基部の下端は縱方向に削て丸みを帯びさせている。頭部に方形の装着孔が1個ある。頭部を縱方向に削っている。	板目	コブナ属ア カガシ低風	463	-
1926	SD0652	3	博・盤	46.9	高さ 4.0	(11.0)	長辺に平行に脚がついている。上端と下端を斜めに加工している。内面は口縁部から中央部にかけて縦やかに溝曲している。	板目	モチノキ属	463	-
1927	SD0652	3	硯盤	(25.2)	0.6	(14.5)	側縁部は丸みを帯びている。表面はヤリガンナで斜め方向に削っている。薄く上げた硯盤。	板目	コナラ属ア カガシ低風	464	-

表195 木製品一覧表（4）

No.	遺構名 地区名	層位	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	形態・特徴	木取り	樹種	種 固版	
1928	SD0652	1	袖み縫	(8.5)	0.4	(5.1)	両端に突起がつく。刃部は欠損している。表面に、特に裏面にヤリサンダ痕が確認されている。薄く加工している。	板目	アカガシ亜 属	464	234
1929	SD0652	5	鉈跡	7.3	0.6	4.4	側縫部を斜めに加工している。鉈跡の一例。	板目	コナラ属ア カガシ亜属	464	—
1930	SD0652	6	残材	8.1	3.4	4.1	横腹材の細い丸太材で上端を斜めにそぞうに削り、下端は不整方向から削って尖らせている。端材・残材。	芯持ち材	コナラ属コ ナク館	464	—
1931	SD0652	4	棒材	20.6	3.7	4.2	下端に粗度が残っている。上端を切断し、下端を縱方向に削っている。	芯持ち材	コナラ属ア カガシ亜属	464	—
1932	SD0652	h	杭	94.4	3.4	2.5	芯打ち丸太で広い範囲に横皮が残っている。上下両端を丸らない程度に斜めに加工する。	芯持ち材		464	—
1933	SD0652	h	杭	103	4.0	4.5	下端部は加工して尖らせている。縱方向の加工があり、打ちしている。上端部は自然木を残している。側面や裏面に刀物痕がある。	芯持ち材		464	—
1934	SD0652	l	籠	(12.1)	(2.6)	(16.2)	籠2本単位。横1本送り。1本越えて本編み。残存状況は悪く。			464	237
1935	SD0652	e	横組	15.0	4.4	3.0	丸太材を使用し、柄を丸く削りだす。	芯持ち材		465	235
1936	SD0652	i	有頭棒	17.0	2.0	1.0	上部を有頭状に加工してある。下部は欠損しており、下部から中央部の少し上まで化粧。	芯持ち材		465	241
1937	SD0652	h	曲柄鍬	(47.5)	2.5	(9.4)	輪郭と刃部の形は明瞭である。軸部の断面形は薄鋸形、刃部の断面は山形である。刃部にいくぶん薄く加工されている。軸部の刃端部は弧を描くよう加工されている。表面の輪郭部上の左側縫と、右側縫は斜めに削り段をつけている。表面裏面に取り加工痕が見られる。	板目	コナラ属ア カガシ亜属	465	233
1959	SD0475	—	農具素材	(91.8)	5.15	16.3	上面は欠損。表面裏面に加工あり。下端部を裏裏両面から加工している。長さを擴べて切断しておらず一本鎌の利製品と思われる。	板目	クヌギ属か コナラ属	473	237
2017	SD0495	3	鉈跡	(11.45)	1.9	4.55	全体的に拡化している。加工痕あり。泥よけの断欠品。	板目	アカガシ亜 属	496	—
2018	SD0495	—	柱樁	(23.2)	(12.1)	14.3	1/4分割材を成形して丸柱にしたもの。全面が拡化している。上端部は欠損している。下端部には2方向から欠損痕あり。裏面には縱方向の加工痕があり。	芯おり材	栗か —	496	238
2019	SD0495	3	壁・床材	(71.2)	3.55	15.85	上下両端部は欠損している。全面に縱方向の加工あり。裏裏両面に刀物痕有り。左側がやや厚みあり。分割材。	板目		496	—
2020	SD0495	4	板材	(23.1)	0.8	(5.8)	表面から裏面にかけて化粧している。鍼の可能性あり。	板目	ヒノキ	496	—
2021	SD0495	4	棒材	(33.5)	1.4	1.5	断面がやや丸みをもった細い角柱状の棒状材である。裏面は面取りしている。	板目	モモ属	496	—
2022	SD0495	4	棒材	(34.5)	1.1	1.4	断面がやや丸みをもった細い角柱状の棒状材である。裏面は面取りしている。	板目	モモ属	496	—
2023	SD0495	4	板材	26.5	0.5	9.5	幅の狭い台形状を呈し、中心より左側に直径3mm程の5対の孔を有する板材である。板の厚さは5mm程と薄い。	板目	コナラ属ア カガシ亜属	497	240
2024	SD0495	4	建材材か	(72.4)	(4.4)	(29.8)	表面は焼けで炭化し、先端の一端が溝状な削りを施す。裏面は縦やかな字型を呈し、丁寧な削りを施す。	板目	ヒノキ科ア スナロ属	497	—
2025	SD0495	3	直柄平鍬	(19.2)	4.6	(9.1)	全体的に欠損部が多く、形状は不確実である。柄穴は残存状況は良好で直径3.8cmを測る。	板目	コナラ属ア カガシ亜属	497	233
2026	SD0495	4	柱材	32.2	4.6	8.7	丸太材を利用した柱材である。上、下部とも欠損し、一部に削り痕を有す。	芯持ち材	ブナ科タリ 属クリ	497	236

表196 木製品一覧表（5）

No.	遺構名 地区名	層位	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	形態・特徴	木取り	樹種	標目	図版
2027	SD0495	4	祭祀具か棒材	(28.0)	2.1	3.4	全体的に焼成している。上部及び下部が欠損する。横穴を呈していることから祭祀具かもしれない。	芯持ち材	ヒノキ科ア ヌラガ属	497	236
2082	SD0587	c	床か壁板	67.0	2.95	12.4	全周にチョウナの加工があり、側面には縦目や斜加工がある。上端部には両面からの加工がある。とじあわせの方型の背丸が2ヶ所ある。高床式倉庫のとじあわせ穴付切床か壁板。	透板目		512	240
2083	SD0587	9	刈払具未製品	(40.8)	2.7	15.0	上面の柄の部分が欠損している。上部の断面は長方形、途切れから薄くなり、下端部は断面が三角形、上面と側面に縦目や斜加工あり。下端中央先端部を突出させている。	板目	アカガシ亜 風	512	234
2084	SD0587	8	甲冑未製品	(36.6)	4.5	17.2	下端部は欠損している。上端部は両面から加工し斜めになっている。上端部と同じ柄で2つ段で等間隔に作り出している。左側が早く、裏面を頭ませて断面がCの字状になっている。儀式用の木製甲冑の未成品か削り残き。細めのチョウナを使用して加工している。	絞目	ケヤキ	512	235
2085	SD0587	b	建築部材	(84.9)	2.4	(4.6)	表面に連續した丁寧な加工痕あり。刃こぼれ痕あり。鉄のチョウナで加工している。下端部は欠損している。上端部左は丸く加工し、上部右には抉りがある。	板目		512	240
2101	SP0111	1	柱根	(22.9)	(9.7)	13.2	下面に工具痕がみられる。	芯持削り 出し	ツブライジ	520	239
2102	SP0118	1	柱根	(50.7)	13.0	14.6	表面下端をわざかに加工しているが、ほぼ白木である。下端2本差方向から削り、平底にて仕上げている。	芯持ち材	ヒノキ	520	238
2103	SP0119	1	柱根	(41.6)	10.3	13.5	丸太材を用いたものの表面の加工が明瞭ではない。底は3方向から削りして平底にしている。	芯持削り 出し	ヒノキ	520	236
2152	SK02324	5	横隠	15.0	6.0	3.0	中央部に柄を取り付けるための円形の穴があいている。上部と右側が欠損。左側に凹の穴があり。	絞目		535	233
2164	SK02522	3	残材	10.2	0.4	10.2	扁平な板材で平面台形をなしている。下端と右側面の一部は焼成化している。	板目	ヒノキ	536	
2166	SP0093	-	礎板	33.6	6.4	14.3	上面と表面に広い範囲に煤が付着している。裏面は煤がありとんど付着していない。両側面に縦目や斜加工あり。上下両端部に切断痕あり。	絞目		541	239
2170	SP0096	-	礎板	22.3	5.1	13.7	刀こぼれあり。鉄のチョウナで加工している。面取りした柱を分割し下端部を2方向から加工して尖らせ軸用。	芯去り・ 辺材		541	239
2171	SP0142	-	柱根	50.2	11.0	12.4	上部は欠損している。底しょくによるためか中心部が空洞になっている。底部に2方向からの切断痕が確認できる。	芯持ち材		541	239
2172	SP0144	-	柱根	(11.0)	3.4	8.3	1/2分割材。上端部は欠損している。下端部には切断痕あり。	芯持ち材		541	239
2173	SP0146	2	杭	(10.9)	4.5	5.7	下端部は欠損している。上端部に加工あり。分割杭の断面。	-		541	-
2176	SP0172	-	柱根	(21.6)	4.8	5.6	上部は欠損している。下端部には2方向からの切断痕あり。柱の通常サイズ。	芯持ち材		542	239
2179	SP0196	-	柱材	(28.1)	10.9	12.2	柱上部は欠損し、底部は二方向から削りを施し、先端は丸る。所見面は刀こぼれの痕が確認できる。	芯持ち材	バクメサク ク属	542	239
2255	ST139	1	分割材	15.0	3.7	8.5	上部の右側面をL字状に加工している。裏面は内溝している。	板目	カツラ属	548	-
2256	SD0629	1	その他の加工 材	17.2	5.1	11.0	裏面は内溝している。	板目	ヒノキ	548	-
2257	SD0631	1	棒材	(18.0)	2.8	4.4	断面が複雑形で上端にいくにつれ加工して変らしている。裏面は平滑である。裏面は平坦である。	板目	ヒノキ	548	-

表197 木製品一覧表(6)

No.	遺構名 地区名	層位	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	形態・特徴	木取り	樹種	種 固	固 板
2258	SS893	1	柱 機	(21.1)	11.0	13.0	表面は面取り。底面部は扇形状からの削り。	芯持削り出し	コナラ属アカガシ亜属	548	239
2259	SS894	1	杭	(27.7)	9.3	12.7	底面部は4方向からの削り。全体を面取り。底部右側が最も急な角度で削られる。	芯持削り出し	コナラ属アカガシ亜属	548	239
2260	SD0777	a	容器底板	24.1	0.6	(3.7)	扁平な板材で上下端を斜めに丸みしながら加工している。下部には縦状の压痕が残る。曲物の底板が欠損したものか。	柾目	ヒノキ	548	-
2261	SD0594	a	その他の加工材	25.6	2.5	2.7	断面が方形を呈する加工材である。一端は炭化している。中ほどを一段深く切り下げ、端部は一端を台形状に加工している。	柾目	イチイガシ	548	-
2292	SD0577	-	皿下駄	50.7	1.9	8.7	上端部は欠損している。4ヶ所に穿孔があり、上部3ヶ所は方形の穿孔で、下部1ヶ所の穿孔は半円形。表面を丁寧に加工している。輪かんこき皿下駄の見象せ台に転用している。表面に刃物痕、表面側線に面取りあり。	板目	杉	560	235
2293	SD0577	c	衣笠	5.1	1.3	5.3	円形をしており、全周側縁部は面取りしている。断面は丸方型。側面に斜矢穴8ヶ所(中空部)に向かって入る。平面中央部には穿孔(径0.3cm)がある。	道桿目		560	236
2295	SD0577	b	木鍵の柄	40.2	3.0	(7.0)	下端部に鍵かん加工で持ち手を作り出している。下端部はよく削り出している。頭を切って数箇所に沿う直前の段階。側面は炭化している。下端部以外の断面はほぼ長方形。	柾目		560	234
2336	SD0634	a	多又鍔	35.0	17.0	1.0	上部、下部を欠損している。	柾目		570	234
2327	SD0633	c	有頭棒	33.0	2.0	2.0	上部を有頭状に加工してある。下部は欠損。	板目		570	241
2328	SD0636		角材	(8.3)	3.8	7.3	柾目厚板の分割材で、上下両端部は欠損している。	柾目	ヒノキ	570	-
2329	SD0635	4b	植物箱	41.4	1.5	12.6	大型の指物箱。表面の右側縁部、右側面、裏面は一部炭化している。左側部の右側縁に方形孔が1個あり、孔内面は平行方向の溝に彫がっている。下端部は斜めに加工し、中央部は回む。	板目	ヒノキ	570	-
2330	SD0635	c	板材	108.0	3.3	11.3	厚みのある扁平な材で上部を削り出して柄状に加工している。下端は欠損している。	板目	ヒノキ	570	240
2346	SD0572	e	鍔未製品	(40.4)	1.2	5.7	下部へいくほど薄くなっている。右側面は薄く加工している。形態柄孔鍔。鍔の未製品か。	柾目	イチイガシ	572	233
2347	SD0572	a	直柄平鍔	(33.6)	3.0	(21.7)	柄孔周囲は、明瞭な段作をなしで削りしている。(A型揚鉤)。浮起部分の頭は上が高く下が長い尖った舟形である。(A型)。丸い浮起部分は、外周を直面所面取りしている。着柄角度6度7度0度程度と考えられる。	柾目	コナラ属アカガシ亜属	572	233
2355	SD0572	1	杭	(30.7)	1.75	3.1	下端を斜めに加工した杭。上端は欠損している。	柾目	ヒノキ	573	-
2356	SD0680	3	杭	17.6	1.5	1.8	下端を斜めに加工。	柾目	ヒノキ	573	-
2357	SD0680	4	杭	(23.7)	3.5	3.8	不整方向から削り出した杭材で、上端は炭化している。側面から削り加工し、多角柱状である。下端は使用によるためか摩耗している。	柾目	ヒノキ	573	-
2358	SD0680	4	籠	(18.3)	(3.6)	(19.8)	籠材は3本単位である。一本重の1本を口縁で捻り、他の2本の籠材の間に差し込んで処理している。下部は籠材を寄せて2本にしてある。籠材の口縁を横に複数して処理している。	-		574	237
2359	SD0680	⑦	編織製品	5.7	2.25	8.0	二重に折れ曲がった状態で出土した。籠材2本、模様1本で、2本組え2本潜り2本逆立て袋状に編んでいる。	-		574	237

表198 木製品一覧表（7）

No.	遺構名 地区名	部位	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	形態・特徴	木取り	樹種	標本 番号	図版
2360	SW002		削り出し棒	(35.9)	1.7	2.5	上端に切断のためと思われる加工痕あり。削り出し棒。	板目	スギ	575	—
2361	SW002		矢板	45.0	2.3	22.4	下部の右側面と左側面を縱方向に削り尖らせている。表面は刃物痕が複数ある。矢板加工。	板目	ヒノキ	575	—
2362	SW002		板材	59.2	1.8	5.1	断面が扁平な台形を呈する長い木材。下端を表面の2方向から削り尖らせている。上端は欠損している。表面は刃物痕が多く残る。棒の材・構造部材。	板目	ヒノキ	575	—
2363	SW002		杭	(52.8)	3.3	3.2	下部を縱方向に削って尖らせている。中央部から下部にかけて精度が残っている。材の中心は円形孔があいている。鰐がある。	芯持ち材	タラノキ	575	—
2364	SW002		棒材	26.8	1.9	2.0	芯持ち材。下部を縱方向に削っている。鰐がある。	芯持ち材	タラノキ	575	—
2365	SW002		杭	13.8	2.0	2.1	先端を削った芯持ち材で下部を縱方向に削っている。材の中心は鰐がある。	芯持ち材	タラノキ	575	—
2366	SW002		棒材	(10.5)	2.0	1.8	芯持ち材で鰐がある。	芯持ち材	タラノキ	575	—
2367	SW002		建築部材	(32.8)	2.2	5.2	断面台形の細長い板材で、下端を粗く削りにぶく尖らせている。上端は欠損している。上端に1方向で加工材の厚みが薄くなる。表面は平滑で丁寧に面取り加工している。	板目	ヒノキ科	575	—
2368	SW002		矢板	(44.1)	1.7	10.0	扁平な板材で平面三角形に加工している。上端は欠損し、下端の三角形部分を段をつけて削り加工している。中央近辺の左右に円形孔を1つづつあけている。右側には直径1.6cmの非整形成円形孔で、左側は厚6mmの円形孔が貫通している。両側面には加工痕が残る。	板目	スギ	576	—
2369	SW002		分割材	(46.5)	3.2	2.3	上部より下部を縦に削り加工している。	芯持削り 出し	スダジイ	576	—
2370	SW002		矢板	49.4	3.3	15.4	厚みのある板材で下端を削って尖らせている。表面は平滑に仕上げている。	板目	スギ	576	—
2371	SW002		矢板	51.5	4.0	8.2	厚みのある直角形の断面で下端を二辺から削って尖らせている。上端は欠損している。表面は複数の凹凸が著しい。	板目	ヒノキ	576	—
2372	SW002		板材	75.0	2.1	5.7	下端を斜めに加工している。下部の左側面と右側面を平滑に加工している。	板目	ヒノキ	577	—
2373	SW002		矢板	39.9	1.3	9.2	扁平な板材で下端を尖らせている。左側面に長方形孔が開通させ、右側近には径0.6cmの円形孔を1箇所あけている。長方形孔は右端側面に削り加工が多い。鰐の痕跡がかもしれない。表面は複数の凹凸が著しい。	板目	ヒノキ	577	—
2374	SW002		杭	56.0	3.4	4.9	周縁方向から比較的鋭的に先端を作り出す。	芯持材	コナラ属アカガシ直属	577	—
2375	SW002		杭	61.6	4.7	5.9	表面と裏面を縱方向から削り尖らせている。	芯持材	コナラ属アカガシ直属	577	—
2376	SW002		分割材	55.5	5.4	11.2	右側面の中央部と下部を縦方向に削っている。表面に斜め方向の刃物痕がある。分割材。	板目	スダジイ	577	—
2377	SW002		桟	(46.2)	1.8	5.3	表面は縦方向に削っている。表面は緩やかに溝曲している。	板目	ヒノキ	578	—
2378	SW002		棒材	(30.5)	5.1	6.2	上端・下端ともに欠損している。上端に刃物痕が残る。	芯持削り 出し	セカキ	578	—
2379	SW002	—	加工材	(87.0)	4.0	5.4	太・多角形の柱を縦に削って杭や横木材に転用している。表面・側面に多角形の柱を加工した後の縦方向の加工痕がある。裏面に縦に削った痕跡が残る。	板目		578	241

表199 木製品一覧表(8)

No.	遺構名 地区名	層位	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	形態・特徴	木取り	樹種	種 固	固 液
2392	SD0649	c	椅子 (腰掛)	48.0	14.0	8.0	半分で割れていて接合できない。	芯去り材		581	237
2393	SD0649	7	形代	23.0	5.0	0.5	鳥居の形代か。表面に漆剤がある。上部を菱形に削り出してある。	板目		581	236
2594	SD0381	4	作業台	(24.6)	5.5	13.9	柱の上端部分の受け口を作業台として再利用している。左側の背面に削った所にも柱と直交する材がかかるで柱と接着している。下端部は腐化している。両面と先端部に加工痕が残る。	芯持ち材		608	237
2595	SD0381	4	平鉄	(49.1)			鍛造起部と柄が接着された状況で出土している。平鉄は後起部のみでは接着している。鍛造部も欠損が大きいが、平鉄頭は上部が円形、下部が方形にならか、削りだしの痕跡は部分的に欠損しているが、ほぼ完形。柄には磁力での繋ぎがあり加工があり断面はほぼ円形。上下両端部は明らかに削り出されている。柄と鍛造部をまとめたための材を入れられる跡がある。	杁目 (柄) 板目 (鍛起部)		608	233
2596	SD0381	4	棒状板	(20.4)	1.2	3.1	上下両端部は欠損。表面は平で側縁は面取りしている。裏面には部分的に無げあり。細い棒状板。	板目	杉	608	-
2597	SD0381	4	桿材	(22.9)	0.7	1.8	上下両端部は欠損。断面三角形。	板目		608	-
2598	SD0381	3	板材	42.8	1.5	2.9	下端は一部欠損。下端部は先端を尖らせている。上端部にL字型の切り込みがある。断面はほぼ長方形。板目板。	板目		608	241
2599	SD0381	4	握しものか	21.35	0.5	3.7	表面にヤリカナナの面成形があり。左側縁を薄く加工している。上端部を斜めに加工し、左上部にL字型の切り込みを入れる。下端部と裏面裏面部は欠損している。削り具に沿った削りの跡がある。	本杁目		608	236
2600	SD0381	4	矢板	(63.7)	2.25	8.65	櫛板か(床板)。下端部を削らせて床板に転用したもの。もともとは握しものかで、裏面に加工されたものと思われる。加工痕が多数ある。表面の刃込みは届の裏受け刃。	板目		608	-
2601	SD0381	4	右輪	19.1	1.9	17.3	表面に斜めのチョウガ痕。裏面に縦方向のサウカ痕がある。上面は括弧をよくして加工され、下端部は斜めに加工されている。左右両端部は真っ直ぐに加工されている。	板目		608	240
2602	SD0381	4	桿材か	(40.3)	1.3	3.4	上下両端部は欠損。幅の狭い板で下部に狭くあけた穴がある。裏面に加工痕が残る。側縁部は面取りしている。	板目		608	-
2603	SD0381	4	たも忤の柄	(6.45)	1.15	1.8	上端部は欠損。一部削り痕あり。縫から加工がある。持ち手の先端。柄を握る部分。	芯持ち材		608	236
2604	SD0381	9	農具準備品	53.6	3.7	18.9	断面は丸みを帯びた長方形をしている。中央部が凹んでいる。表面は削る跡が細かく残る。裏面は縦方向の加工がある。側面に加工あり。農具準備品。先端の丸みは鋸の丸鋸跡を作っている。	板目	アカガシ重 風	608	234
2605	SD0388	d	木包丁	(14.9)	1.2	4.0	上端部は真っ直ぐに加工し、下端部には裏面からの加工で刃を削いでいる。穿孔が左側に2つ右側に2つある。左表面は一部欠損している。刃部には使用痕がある。	逆杁目		609	234
2606	SD0389	e	泥輪	(19.6)	0.9	(6.1)	上端部と右側部欠損している。左上面には穴がある。表面には幅の狭いチョウガの加工がある。	板目		609	234
2607	SD0381	f	農具素材	21.4	1.7	(7.6)	上端部は欠損。薄く加工している。左右両端を両面から加工している。削れこみ。芯持ち材。	板目		609	234
2608	SD0390	a	田下駄	(27.3)	2.2	10.1	表面裏面に縦方向の加工がある。中央部に方形の穿孔が2つあり、上部と下部にも穿孔が1つずつある。上下両端部は欠損している。輪郭線。じき田下駄の茎のせせば。	板目		609	235
2609	SD0381	k	四ツ又鉗	26.2	3.15	15.7	四ツ又。左側の刃が欠損している。表面は上面に細かい加工がある。上部中央の長方形の穿孔は縫めに入っている。断面は薄解剖形。弥生時代中頃。	板目		609	233
2610	SD0381	3	丸太・加工材	46.0	24.0	24.0	上部・下部削り。	芯持ち材		609	239

表200 木製品一覧表（9）

No.	遺構名 地区名	部位	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	形態・特徴	木取り	樹種	標目	図版
2611	SD0381	k	丸ぶり	36.5	1.8	6.6	裏面に加工あり。中央部に方形の穿孔を両面から削って作っている。下端部には「字」字状の抉りを6つ入れている。断面は下端部が表面からの削りで薄く尖っている。裏面取りをしている。弥生時代後期～古墳時代前期のもの。	紐目	609	234	
2612	SD0381	a	樋	73.0	9.9	22.5	裏面に加工痕がある。左側は斜めに立ち上がる。上下面端部は欠損している。大型櫛の未成品。木抜きの方形の穴が中央に2つある。	板目	610	236	
2613	SD0381	7	樋・櫛	95.0	20.0	6.0	右側を欠損。	芯去り材	610	—	
2614	SD0381	3	柱桟	22.0	12.0	12.0	1/4残存か。底面以外のほとんどを欠損。	芯持ち材	611	—	
2615	SD0381	2-a	鍔	48.0	21.0	7.0	未完成。	紐目	611	234	
2616	SD0381	b	床材	17.9	5.8	19.0	断面は方形。上面と下面に横方向の刃物痕を複数。整形板材で床材か。	逆板目	コウヤマキ	611	239
2617	SD0381	d	樹皮縁	2.9	0.2	3.3	樹皮で作った留具で、巻いた状態である。	—	611	—	
2618	SD0381	h	鍔	(22.8)	1.5	(7.0)	柄孔跡は、身の周囲から柄孔に向けて徐々に厚みを増す。刃端部は、薄く加工。	紐目	コナラ属アカガシ板漬	611	233
2619	SD0381	e	杭	(13.6)	4.8	4.8	上下両端部は欠損。杭の先端部で方向からの加工で尖らせている。先端部が欠損。	芯持ち材	611	—	
2620	SD0381	2-a	横架材	140.0	20.0	10.0	下端部を欠損。	芯持ち材	611	240	
2621	SD0381	e	杭	(34.1)	3.1	3.2	上端部は欠損。部分的に樹皮が残る。下端部は加工して先端を尖らせている。	芯持ち材	611	—	
2622	SD0381	e	端材	27.1	2.1	2.6	断面は三角形をしている。縱方向の加工がある。	逆板目	611	—	
2623	SD0381	e	杭	(36.9)	4.7	4.9	上端部は欠損。下端部は加工して先端を尖らせている。先端部の加工が上位にまで行われている。	芯持ち材	612	—	
2624	SD0381	a	鍔	(50.1)	5.8	18.4	断面は方形で、やや丸みをもつ。裏面右端には、整形のためか削り痕が両側面に残る。上下端部は欠損。ミカシ原木製品と思われる。	紐目	コナラ属クヌギ原木	612	237
2625	SD0381	b	繊放し	(46.1)	3.9	6.8	右側と上部は欠損している。凸部をつくり出している。左側に抉りあり。	逆板目	612	240	
2626	SD0381	—	柱材	52.7	4.85	5.45	縱方向の加工がある。丸い柱を1/6に分割したもので、断面は三角形を呈する。柱を解体したもの。	芯去り材	612	—	
2627	SD0381	e	杭	(10.8)	(3.4)	(4.6)	上下両端部は欠損している。西面に加工痕がある。一部に樹皮残存か。	芯持ち材	612	—	
2628	SD0381	b	角材	(9.1)	2.3	3.6	上端部は欠損している。下端部は斜めに加工している。両端部も斜めに加工し、断面は台形をしている。	逆板目	612	—	
2629	SD0381	d	扶材	16.0	1.2	1.9	下端部は欠損している。裏面に縱方向の加工があり。上端部は面取りをして丸みを帯びている。断面はほぼ正方形をしていている。	板目	612	—	
2630	SD0381	e	杭	(11.1)	2.6	3.2	上下両端部は欠損している。杭の先端部。	逆板目	612	—	
2631	SD0381	e	杭	(25.3)	4.1	4.4	上下両端部は欠損している。下端部を加工して尖らせている。枝を括っている。	芯持ち材	613	—	

表201 木製品一覧表（10）

No.	遺構名 地区名	層位	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	形態・特徴	木取り	樹種	種 固版
2632	SD0381	e	杭	(33.3)	4.9	4.8	溝曲した杭。上下両端は欠損している。	芯持ち材		613 -
2633	SD0381	e	杭	(24.1)	3.8	4.5	先端部尖らせる。側面の一部に加工痕か、下端部に先端を尖らせる加工がある。全條に樹皮が付着している。	芯持ち材		613 -
2634	SD0381	e	杭	(26.3)	4.5	4.5	上端部は欠損。下端部は加工して先端を尖らせている。先端部は欠損。	芯持ち材		613 -
2635	SD0381	e	柱の横木受け かき	(40.5)	5.9	10.0	自然木を利用した柱の横木受けか。上下両端部は欠損している。	芯持ち材		613 240
2636	SD0381	e	杭	(49.6)	5.5	5.4	上下両端部は欠損。一部端部に欠損。一部に樹皮が残る。下端部は加工して尖らせている。枝は払わず。	芯持ち材		613 -
2637	SD0381	e	杭	(41.0)	4.1	3.9	上端部は欠損。下端部を加工して尖らせている。先端部は欠損している。枝は払わず。	芯持ち材		613 -
2638	SD0381	e	杭	(27.4)	5.0	5.0	上端部は欠損。下端部を加工して尖らせている。枝を払う。	芯持ち材		614 -
2639	SD0381	e	杭	(44.1)	5.5	6.6	上端部は欠損。一部に樹皮が残る。下端部は加工して尖らせている。先端部は欠損している。	芯持ち材		614 -
2640	SD0381	e	杭	(45.8)	6.2	5.4	上端部は欠損。樹皮が多く残っている。先端部は加工して尖らせている。万こぼれ痕有。先端部は欠損している。	芯持ち材		614 -
2641	SD0381	e	杭	(27.1)	5.1	5.7	上下両端部は欠損。	芯持ち材		614 -
2642	SD0381	e	杭	(11.1)	3.1	3.8	上端部は欠損。下端部は加工して尖らせている。先端部は欠損している。	芯持ち材		614 -
2643	SD0381	e	杭	(36.8)	4.9	5.2	上端部は欠損。下端部は加工して先端を尖らせている。先端部は欠損し、樹皮が残存。	芯持ち材		614 -
2644	SD0381	e	杭	(33.25)	6.9	7.4	丸木村の杭。上下両端部は欠損。一部に樹皮が残る。下端部には加工がある。	芯持ち材		614 -
2645	SD0381	e	杭	(24.4)	4.8	4.7	上端部は欠損。下端部は加工して先端を尖らせている。先端部は欠損し、樹皮が残存。	芯持ち材		614 -
2646	SD0636		杭	28.2	3.8	3.8	上端部は欠損している。下端部の先端は3方向からの加工で尖らせている。枝払い有り。	柾目 ヒノキ		618 -
2647	SD0636		杭	(64.0)	6.4	6.4	上端部は欠損している。下端部の先端は3方向からの加工で尖らせている。枝払い有り。	柾目 ヒノキ		618 -
3053	KJ02	IV	大足	(17.6)	1.2	2.7	大足の様。下部に段状の抉りを加工している。断面は左側が厚く、右側にいくにつれて薄くなる。	柾目 ヒノキ		645 -
3054	JN20	V	堅杵	(45.2)	8.8	9.3	全体的に丁寧な仕上げを施し、剥離及び剥き部が欠損している。全体的な長さは110cm程であろう。	芯持ち材 ツバキ科ツバキ属		645 235
3055	一括	III	器具部材	35.1	1.3	4.3	扁平な板材で平面形は長方形である。大小の円孔と、くぎ止め穴が7箇所穿たれている。下端左側で若干くびれしている。表面は平滑である。	柾目 ヒノキ		645 241
3056	一括	c	椅子 (籐)	(9.0)	1.2	6.0	椅子の脚か、祭器具・儀器の可能性あり。扁平な板材で平面形は扇形。表面に加工痕はみられない。	柾目 スギ		645 -
3057	JN19	IVb	職機部材その他の	3.0	0.7	5.4	脚輪で円形の半分が欠損している。円形の端部が薄く、中央部が厚い。中央部に貫通した穴がある。	柾目		645 236

表202 木製品一覧表（11）

No.	遺構名 地区名	層位	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	形態・特徴	木取り	樹種	博物 館	図版
3058	JS16	IV	曲物	15.0	6.0	0.5	丸2対(2つ)、口に度が過ぎてある。上部に釘孔があり、木釘が挿入されている。	板目		645	236
3059	TP44-2		鉤物	36.2±0.0	1.4	(4.6)	扁平な平板で上端が欠損している。左下部に径1.3cmの円孔があげられている。下端は歯取りしている。羽物容器の側板。	板目	ヒノキ	645	—
3060	GT01	V	柱根	32.0	12.3	14.1	表面は全体的に面取りをしている。底部は多方向から削っている。	芯持削り出し	コナラ属アカガシ属風	646	239
3061	GT01	V	柱根	17.2	10.3	9.8	丸太材の下端を手彫方向から削って鍔く実らせている。表面は摩滅している。	芯持ち材	コナラ属アカガシ属風	646	239
3062	一括		杭	73.1	(3.9)	8.9	下部は縱方向に削り出している。表面に刃物痕がみられる。	芯持ち材	ヒノキ	646	—
3063	0A02		板材	(13.7)	0.5	1.4	縦平で細長い板材で、上端をまっすぐに加工し下端は欠損している。表面に刃物痕が認められる。構造部材か道具の側板か。	板目	ヒノキ	646	—
3064	JH14	IV	その他の加工材	24.8	2.0	2.0	断面三角形で横やかに彎曲した平面板材。端を尖らせ上げても削ってくびれさせている。上端から下端にかけて徐々に鍔くなっている。	板目	ヒノキ	646	—
3065	KN01	IVb	端材	14.9	2.5	9.2	上下両端部を斜めに切断しており、刃こぼれ痕が有る。	板目		646	—
3066	TP41		組み縁	3.9	0.7	2.1	断面形は、「ㄅ」の字状である。表面は平滑である。	板目	ヒノキ	646	—
3067	JH20	■	残欠品	17.5	3.6	4.5	中央部は方形状に隆起している。組みの様工あり。補子が構造物の残欠部。	芯持削り出し	カヤ	646	—
3068	一括		有孔板材	(41.3)	2.5	9.0	厚みのある板材で上下端欠損している。下部には長方形の穴が開けられている。	板目	ヒノキ	647	—
3069	JF13	IV	中近世・遼唐 下駄	21.4	2.3	8.6	表面の前縁部分に指穴がある。裏表の形は円形である。前表は前縁の中間に1孔あり、後表は前縁部分右側縁に1個と左側縁に1個ある。台の平面形には端丸長方形で裏の形は台と同じである。16世紀以前の遼唐下駄で鼻緒の穴は台と同様である。	板目	スギ	647	—
3070	一括		棒材	(60.9)	3.5	3.2	下部は上部より細い。	芯持ち材	シイ属	647	—
3071	一括		棒材	(46.3)	3.5	3.8	上部は下部より細い。まばらに樹皮が残る。	芯持ち材	スグジイ	647	—
3072	複数	a	丸棒 (さじ)	(21.6)	1.8	1.9	先端部は欠損している。鍔方向の加工がある削り出し棒。先端は加工して尖らせている。	板目		647	—

第4章 桧遺跡

第1節 調査に至る経緯

1 調査に至る経緯

桧遺跡は、大垣市桧町に所在する（図1）。今回の発掘調査は、国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所（以下「岐阜国道事務所」という。）による東海環状自動車道（養老JCT～大垣西IC）建設に伴い実施した。東海環状自動車道は、東名・名神高速道路、中央自動車道、東海北陸自動車道などを、環状にネットワーク化することを目的とし、銳意建設が進められている自動車道である。

桧遺跡は、市道高屋・桧線の建設計画に伴い平成7年度の試掘・確認調査で、古墳時代初頭・古代から中世の遺物が確認された。

東海環状自動車道が当該地に建設されることになり、平成17年度に岐阜国道事務所と県教育委員会の間で、過去の調査成果に基づき、事業予定地の発掘調査が必要であることを確認し、工事計画による道路敷、調整池堰堤部分など工事により埋蔵文化財に影響が及ぶ範囲の60m²の発掘調査を実施することになった。

2 調査の経過と方法

当遺跡の調査では、まず世界測地系の座標に基づいて5m×5mのグリッドを設定し、そのX軸とY軸の交点に調査坑を設定した（図649）。施工予定地における遺跡の様相を把握するため、広範囲に点在させるように、4m×2mの大きさの調査坑を7か所設定した。さらに、最も桧遺跡の中心部に近いと考えられる調査坑4の東部で4m×1mの拡幅を行った。

次に、重機による掘削を行い、基本層序を確認後1層ずつはずし、その都度遺構検出及び写真撮影を行った。その後、壁面の土層断面実測を行った。出土遺物は層ごとに取り上げた。それぞれの検出面で遺構は確認できなかっただめ、最終掘削到達面を図化した。その後補足調査を行ったが遺構・遺物ともに確認できなかっただけで、以下、発掘調査日誌から抜粋して調査経過を記述する。

11月20日 桧遺跡発掘調査開始。重機による表土掘削作業及び人力による遺構検出作業。

11月21日 I、II層から中近世陶器少量出土。

11月22日 各調査坑のIII層で、噴砂痕跡を確認。

11月24日 調査坑1と2で黒色土層下部に暗灰色とオリーブ黒色土の混在層を確認。

11月27日 調査坑2の黒色土層下部から摩耗した土師器片が多く出土。

11月29日 最終掘削面の図化後、補足調査。遺物の出土が認められず、調査終了。

整理作業は平成20年度に実施した。

理事長 高木正弘（平成18年度）

副理事長 高橋宏之（平成18年度） 中島正和（平成18年度）

	伊藤克己（平成18年度）
常務理事兼センター所長	田口久之（平成18年度）
経営課長	後藤智（平成18年度）
調査部長	川部誠（平成18年度）
担当調査課長	大熊厚志（平成18年度）
担当調査員	河合洋尚（平成18年度）

第2節 遺跡の環境

1 過去の桧遺跡の調査

当遺跡の地理的環境や歴史的環境については、荒尾南遺跡第2章を参照されたい。ここでは、過去に実施された桧遺跡の発掘調査についてまとめる。当遺跡は、桧集落の北、杭瀬川の西の橋築神社周辺に位置し、海拔6～7mの水田にあたる。大垣市教育委員会の現地踏査により、遺物が広範囲に濃密に認められた。確認した遺物の多くは灰釉陶器・山茶碗で、古代末から中世にかけての集落の存在が推定できる遺跡である。当遺跡の150m南には不破郡条里が確認できる。この条里は北に対して5度内外西偏する。

当遺跡の発掘調査は、大垣市教育委員会による1995年の市道高屋・桧線建設に伴う試掘確認調査(1)を初見とする。当遺跡と荒尾南遺跡にまたがる事業計画地内に22か所のトレンチを設定し、範囲確認調査を実施している(大垣市教育委員会1997b)。

1996年の試掘確認調査(2)では、古代、中世、近世以降の遺構と遺物を確認した。調査地の地形は南東に向かって緩やかに下がる地形で、遺構・遺物も少なく、この土地を活発に利用したとは考えにくく、当遺跡の周縁部に当たるとしている(大垣市教育委員会1998a)。

また前年の試掘確認調査を受けて、市道高屋・桧線の東部3,000m²の本発掘調査を実施している(3)。この調査では、調査区東半に古代、西半に中世の遺構の分布を確認している。特に古代では、掘立柱建物跡と軸を一致する大溝を確認している。また、300点を超える緑釉陶器が出土し、一般的な集落ではないと思わせるような資料を確認している。さらにこの掘立柱建物は被災しており、周囲の出土遺物には被熱痕が認められた(大垣市教育委員会1998b)。

1997年の本発掘調査(4)では、平安、鎌倉、室町、近世以降の遺構を確認している。鎌倉期のものが主で、SD113から東に遺構が集中する。室町期は図中の(3)と時期をほぼ同じくする。さらに、桧集落と橋築神社を結ぶ、近世以降の宮道を確認している。この地は微高地に当たり、東西に向かってやや下がり、周辺部は低湿地となる(大垣市教育委員会2000)。

1998年の本発掘調査(5)では、古代、中世前期、中世後期の遺構、遺物を確認している。中世後期のものが主で、(3)(4)とはやや様相が異なる。SD170は屋敷地を区画する溝で、この溝以西では遺構密度が極少となる。さらに西は1995年の試掘確認調査により本発掘調査対象範囲外となっている(大垣市教育委員会1999)。2001年の試掘確認調査(6)では、3か所のトレンチ調査を実施している。遺構は確認できなかつたが、第2トレンチ5層から摩滅した弥生末～古墳初頭の土器片が出土した。



図648 過去の検遺跡調査地と今回の調査地

表203 過去の検遺跡の調査一覧表

調査年次	調査種類	調査原因	調査面積 (m ²)	遺構	遺物	備考	番号
1995 試掘確認調査	市道高屋・松 原建設	300	壁状遺構・ピット・土坂 鐵道	灰釉陶器・山茶柄、 かわらけ・瓶器・釘、 鉄製・ふいご羽口・土罐 等・土	・検査坑西端コトレンチ分本発掘調査対象外に認定	(1)	
1996 試掘確認調査	土地造成	130	足跡状遺構・溝状遺構(近 世以降) 打ち込み杭群(中世) ピット(古代)	近世陶器・山茶柄、 灰釉陶器・土罐・鉄製、 ふいご羽口	・既高地から緩やかに下がる地形で、活発に利用し た痕跡なし=遺跡の周縁部	(2)	
1996 本発掘調査	市道高屋・松 原建設	3000	井戸・溝状遺構(中世以 降) 庭立柱跡物跡3棟・井戸・ 溝状遺構(古代)	灰釉陶器・土瓶器・ 山茶柄・綠釉陶器・罐、 墨書き土器・ハラ墨土器・石臼、 ふいご・羽口・陶片	・調査区東側に古代・西半に中世の遺構が分布 ・既立柱跡物跡は南北大通りと南北方向が一致 ・既立柱跡物跡は火葬にあつた可能性有 ・遺泊関連遺構を確認=発堀期間は短く、規模は小 さい ・可能性が高 ・緑釉陶器が多く出土 ・古墳は一般的な集落ではない可能性が高い	(3)	
1997 本発掘調査	市道高屋・松 原建設	2600	坑状遺構(平安) (度成模・ピット・土坂 (鍵合) 土坑(室町) 宮殿・土坑(近世以降)	山茶柄(南都系第5形式多 様) 伊勢型器・墨書き土器・箸 下駄・鉄製鋏先	・鍵合跡のSD133から西にピット群展開。東に遺構は ほと んどう。 ・平安~10世紀年度調査対象とは不同時期 ・近世以降(室町)は斜面と植生地と植生地を結ぶ 既高地に当たり。東西はやや低湿地=埋没河川と 関連? ・宮殿は所々古代~中世遺物=既没流域の可能性大	(4)	
1998 本発掘調査	市道高屋・松 原建設	1000	周囲に埋めぐる方形状 模(古代) (度成模・土坂・ピット (中世前期) 庭立柱跡物跡・溝状遺構、 土坑・ピット列 (中世後期)	灰釉陶器・須恵器、 綠釉陶器、 山茶柄・土瓶器、 伊勢型器・瓦質土器、 漆器・編物・曲物・箸、 鉄鋏	・古代~中世の全遺構の主軸方位が一致 ・平安~10世紀の調査より中世後期遺構の比率が 多くなる ・SD170は屋敷地を区画する構 ・区画構造は既やかに下がる低湿地で、遺構密度 減少	(5)	
2001 試掘確認調査	住宅建設	27	なし	弥生土器・土師器	・トレンチ3ヶ所 ・第2トレンチから撲滅した土器片(弥生末~古墳初) 出土 ・検査線の広がりの希薄な部分。荒尾南遺跡と間連 か?	(6)	
2002 試掘確認調査	土地造成	18	土坂・ピット(古代末)	灰釉陶器・土師器皿、 土罐・鉄製品	・トレンチ3ヶ所 ・2トレンチで古代末遺物包含層に既と塹からなる 層を確認=平安~10世紀年度調査と一致 ・中世の遺構は未確認 ・遺跡範囲はさらにも北に広がる可能性高い	(7)	
2003 試掘確認調査	土地造成	18	ピット・土坑(中世) ピット・土坑(古代)	灰釉陶器・土師器皿、 青磁・山茶柄・柱根	・トレンチ3ヶ所 ・中世の面と古代の面を確認=平安~10世紀年度調査と一致 ・遺跡範囲はさらにも北に広がる可能性高い	(8)	

のことから、この地は当遺跡の周縁部で、遺構・遺物が希薄な部分であると結論づけている。さらに、出土した土器の様相から、西に位置する荒尾南遺跡との関連を指摘している（大垣市教育委員会2002）。2002年の試掘確認調査（7）では、2か所のトレンチ調査を実施し、古代の遺構面を確認している。また、第2トレンチでは、古代の遺物包含層に炭と焼土からなる層を確認している。これは、南に隣接する調査地（3）と一致し、当遺跡が北に広がるとしている（大垣市教育委員会2004a）。

2003年の試掘確認調査（8）では、2か所のトレンチ調査を実施している。中世と古代の面を確認し、南に隣接する調査地（4）と一致する。このことから当遺跡が北に広がるとしている（大垣市教育委員会2004b）。

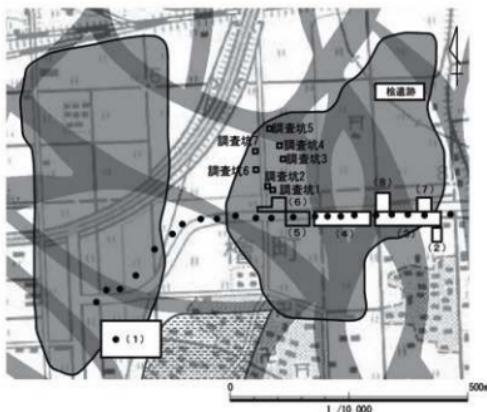


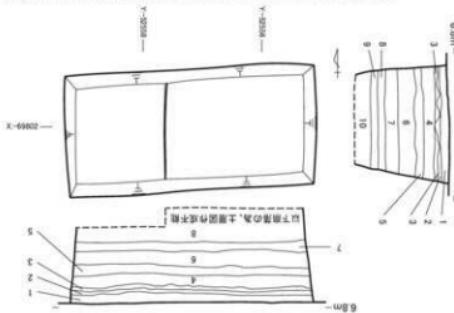
図649 調査坑設定図

第3節 基本層序

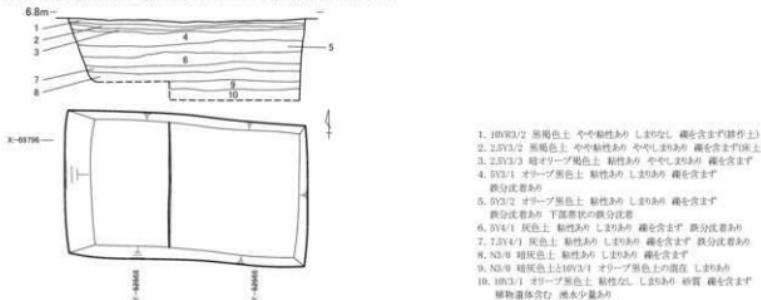
当遺跡は杭瀬川右岸の海拔6～7mに位置する。自然堤防の後背湿地に当たり、比較的安定した層序を示す。この地より南東、北西に向かって緩やかに上がる。基本層序は今回調査した調査坑の土層堆積をもとにⅠ層からⅤ層を設定した。

- Ⅰ層 近代以降の耕地整理に伴う盛土、床土、耕作土である。
- Ⅱ層 暗オリーブ灰色土～オリーブ黒色土。中世のものと思われる土師器皿が出土した。酸化鉄の沈着が認められる。
- Ⅲ層 オリーブ黒色土～灰色土。粘性がある。大垣市教育委員会の調査では、この層中で中世の遺構を確認している。

TP01 各層で造積検出したが造積が確認できなかつたので、最終剖面図を平面図に表した。



TP02 各層で造積検出したが造積が確認できなかつたので、最終剖面図を平面図に表した。



TP03 各層で造積検出したが造積が確認できなかつたので、最終剖面図を平面図に表した。

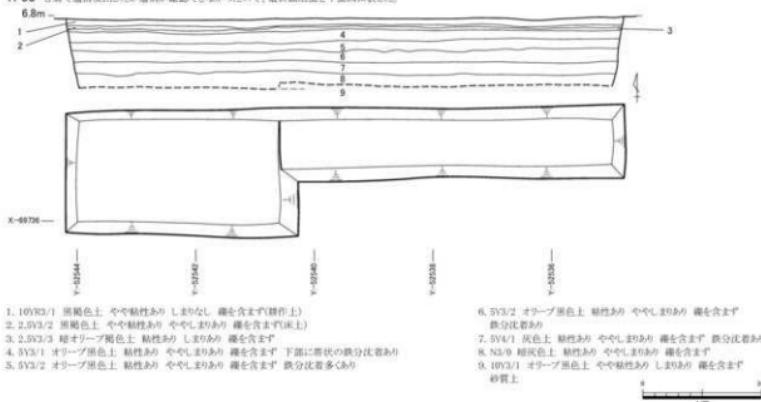
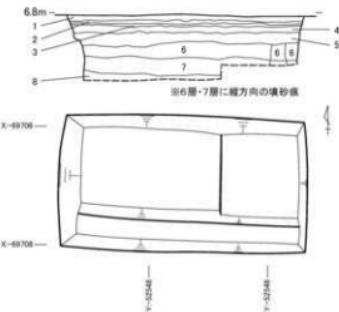


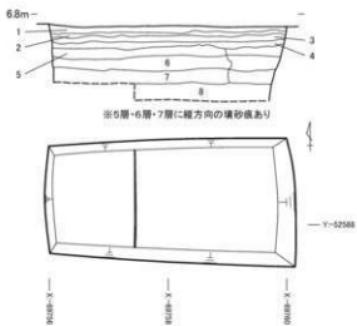
図650 試掘坑壁面土層断面図（1）

TP04 各層で遺構検出したが遺構が確認できなかつたので、最終剖面図を平面図に表した。



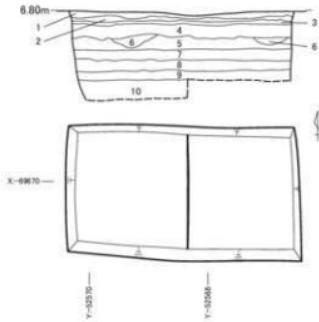
1. 10Y3/2 黒褐色土 やや粘性あり しまりなし 繩を含まず (耕作土)
2. 2.5Y3/2 黑褐色土 やや粘性あり ややしまりあり 繩を含まず (床土)
3. 2.5Y3/3 緑オリーブ褐色土 粘性あり ややしまりあり 繩を含まず
4. 5Y3/2 オリーブ黒色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず 肥分沈着あり
5. 5Y3/2 オリーブ黒色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず 肥分沈着あり 下部帶状の肥分沈着
6. 5Y4/1 灰色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず 肥分沈着少しい
7. 7.5Y4/1 灰色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず 肥分沈着あり 下部に行くにつれて減る
8. N3/0 紅灰色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず

TP06 各層で遺構検出したが遺構が確認できなかつたので、最終剖面図を平面図に表した。



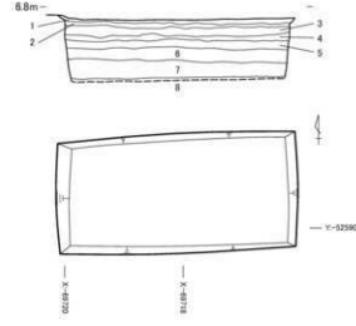
1. 10Y3/1 黒褐色土 やや粘性あり しまりなし 繩を含まず (耕作+床土)
2. 2.5Y3/3 緑オリーブ褐色土 やや粘性あり ややしまりあり 繩を含まず
3. 5Y3/2 オリーブ黒色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず 肥分沈着少しい
4. 5Y3/2 オリーブ黒色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず 肥分沈着が多い 下部帶状の肥分沈着あり
5. 5Y4/1 灰色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず 肥分沈着少しい
6. 7.5Y4/1 灰色土 やや緑色 粘性あり しまりあり 繩を含まず 肥分沈着が少ない
7. N3/0 紅灰色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず
8. 10Y3/1 オリーブ黒色土 やや粘性あり しまりあり 砂質 繩を含まず

TP05 各層で遺構検出したが遺構が確認できなかつたので、最終剖面図を平面図に表した。



1. 10Y3/1 黒褐色土 やや粘性あり しまりなし 繩を含まず (耕作土)
2. 2.5Y3/2 黑褐色土 やや粘性あり ややしまりあり 繩を含まず (床土)
3. 2.5Y3/3 緑オリーブ褐色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず
4. 5Y3/2 オリーブ黒色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず 肥分沈着が多い
5. 5Y4/1 灰色土 やや緑色 粘性あり しまりあり 繩を含まず 肥分沈着が多い
6. 5Y3/2 オリーブ黒色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず
7. 5Y4/1 灰色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず
8. 7.5Y4/1 灰色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず 肥分沈着が少ない
9. N3/0 紅灰色土 やや粘性あり しまりあり 繩を含まず
10. 10Y3/1 オリーブ黒色土 やや粘性あり しまりあり 砂質 繩を含まず 酸性土質であり

TP07 各層で遺構検出したが遺構が確認できなかつたので、最終剖面図を平面図に表した。



1. 10Y3/1 黒褐色土 やや粘性あり しまりなし 繩を含まず (耕作土+床土)
2. 2.5Y3/3 緑オリーブ褐色土 やや茶色 やや粘性あり ややしまる 繩を含まず
3. 5Y3/2 オリーブ黒色土 粘性あり しまりあり 肥分沈着が多い
4. 5Y3/2 オリーブ黒色土 粘性あり しまりあり 肥分沈着が多い 下部帯状の肥分沈着あり
5. 5Y4/1 灰色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず 肥分沈着が少ない
6. 7.5Y4/1 灰色土 やや緑色 粘性あり しまりあり 繩を含まず
7. N3/0 紅灰色土 粘性あり しまりあり 繩を含まず
8. 10Y3/1 オリーブ黒色土 やや粘性あり しまりあり 砂質 繩を含まず



図651 試掘坑壁面土層断面図（2）

- IV層** 暗灰色土～暗灰色とオリーブ黒色土の混在層。調査坑1と2で暗灰色土とオリーブ黒色土の混在層を確認したが、その他の調査坑では確認できず、V層直上に暗灰色土が堆積する。大垣市教育委員会の調査では、IV層の上面で古代の遺構を確認している。
- V層** オリーブ黒色土。砂質で、湧水を伴う。この層は0.5m以上堆積しており、この層では遺構・遺物ともに確認できなかった。植物遺体を多く含む。

第4節 遺構と遺物

1 遺構・遺物の概要

今回の調査では、明確な遺構は確認できなかった。しかし、第3節でも述べたが、調査坑1と2においてV層上層で暗灰色土とオリーブ黒色土の混在層を確認した（図650）。そのため水田の存在を想定して調査を進めたが、平面的にも、調査坑壁面においても畦畔等を確認することはできなかった。

出土した遺物は、古墳時代、中世、近世のものがある。近世のものはI層から出土しており、耕地整理時に混在して運ばれてきたものの可能性が高い。また、I層中からは、中世の土師器皿、山茶碗も出土した。II層からは、中世の土師器皿が7点出土した。IV層からは、土師器が出土している。S字状口縁台付甕のC・D類と思われる口縁部片や台部片があり、古墳時代前期と思われる。また、IV層中からは砥石や板状木製品も出土した。以下に層序別の出土遺物点数を示す。なお、点数は接合前の破片数である。

表204 層序別出土遺物点数

調査坑番号	出土遺物				備考
	I層	II層	III層	IV層	
1	近世陶器1、土師皿1	—	—	—	IVb層確認
2	近世陶器1	—	砥石1	土師器131、板状木製品3	IVb層確認
3	近世陶器1、土師皿1	土師皿3	—	—	
4	土師皿1、山茶碗2	土師皿7	—	—	
5	—	—	—	土師器1	
6	近世陶器1	—	—	土師器9	
7	近世陶器1、土師皿1	—	桃核1	板状木製品2	

近世陶器 5点出土した。すべてI層からの出土である。実測に足る遺物は出土していない。

山茶碗（1） 2点出土した。調査坑4のI層から、南部系1点（6-3）と北部系1点が出土した。土師皿 14点出土した。4か所の調査坑で出土しており、広い範囲に存在の可能性が考えられる。

土師器（2～5） 141点出土した。調査坑2からの出土が群を抜く。S字状口縁台付甕のC・D類など、古墳前期に比定できる遺物がほとんどを占める。どの遺物も磨滅が激しく、二次堆積の可能性が高い。

砥石（6） 1点出土した。調査坑2のIIIb層出土である。表面にこげ、断面に赤色被熱痕が認められる。

板状木製品 5点出土した。調査坑2の3点、調査坑7の2点はそれぞれ同一個体の可能性が高い。丸木を平面加工したと思われる痕跡が微かに残る。

2 出土遺物

3073は南部系の山茶碗である。高台が潰れ、底部内面中央を指撫する。第5形式から第6形式と思われる。3074はS字状口縁台付甕の口縁部で、口縁端部を横へつまみ出す。外面二段目には縦方向の刷毛目が認められる。頸部は沈線が回るものと思われる。S字状口縁台付甕のC類若しくはD類と思われる。3075は甕の口縁部で、強く外反する。口縁端部上面に面を持ち、内面の縦方向半分の位置に水平な段を持つ。口縁端部はやや肥厚する。S字状口縁台付甕から宇田型甕への移行期のものと思われる。3076は台付甕の台部で、器壁が厚い。台上部1/3まで斜方向の刷毛目が認められる。内面は縦方向の指撫でで調整する。3077はS字状口縁台付甕の台部で、裾部に向かって緩やかに外反する。外面に刷毛目は認められず、内面は横方向の撫での後折り返す。3078は手持ち砥石で、砥面は4面ある。最も広い面には先端の尖ったものを研いだと思われる研ぎ溝が残る。側面の砥面の状況から金属製品を研いだものの可能性が考えられる。この砥石は強く被熱する。平面的には黒い焦げ、割れ面では赤色の被熱痕跡が認められる。

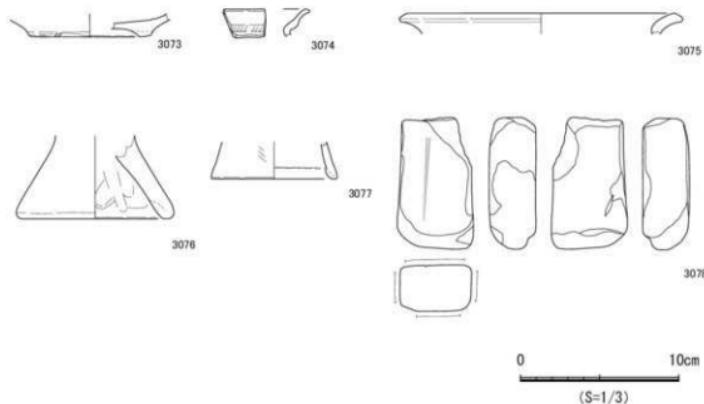


図652 出土遺物実測図

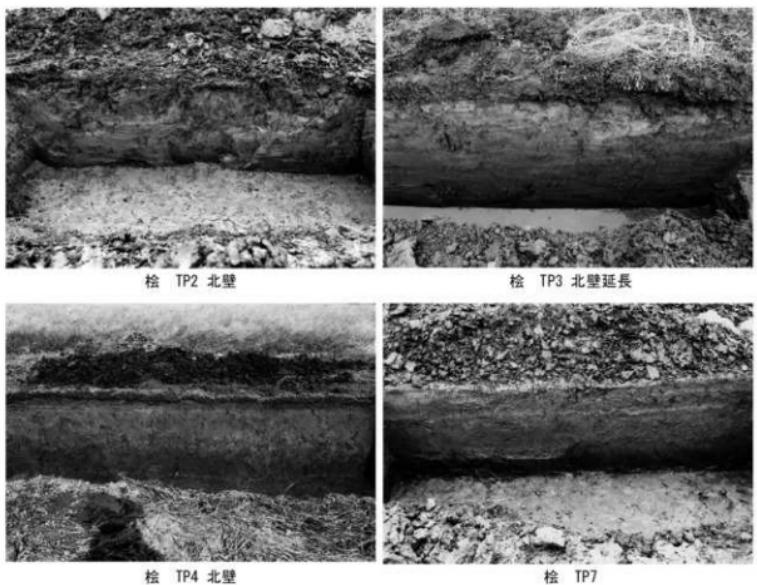


写真6 試掘坑土層及び出土遺物

第5節 まとめ

今回の調査では、明確な遺構は確認できなかった。また、桧遺跡の主体とされる時期の土器もほとんど出土しなかった。これは、今回の調査地の南、市道高屋・桧線建設に伴う大垣市教育委員会の範囲確認調査結果と一致する（大垣市教育委員会1997b）。また、平成10年度に大垣市教育委員会が実施した本発掘調査における調査地中央部で確認した南北方向のSD170以西では、遺構や遺物が希薄になったこととも一致する（大垣市教育委員会2000）。このことから、今回の調査地は桧遺跡の周縁部で、遺構や遺物が極めて希薄な部分であると言えよう。

また、調査坑2・5・6におけるIV層からの磨滅した土師器の出土については調査坑1・2の南、静里排水路を挟んだ部分で平成13年に大垣市教育委員会が実施した試掘確認調査の結果と一致する（大垣市教育委員会2002）。このことについて大垣市教育委員会は、西に展開する荒尾南遺跡との関連を想定している。国道21号を挟んで西に展開する荒尾南遺跡の中央部東寄りでは、弥生末～古墳初頭の遺物の他に古墳時代前期の遺物も確認され、その出土遺物は今回当調査地で出土した土師器と時期がほぼ一致する（当該報告書「荒尾南遺跡」第3章参照）。さらに荒尾南遺跡の中央部には東西方向の旧河道が想定され、この旧河道は調査地の南に約80mの位置に至る（大垣市教育委員会1997a）。これらのことから、今回の調査地は荒尾南遺跡の周縁部若しくは、旧河道によって荒尾南遺跡の遺物がもたらされた地と考えることができる。今回の調査地は旧河道に挟まれる後背湿地で、東と西に広がる荒尾南・桧遺跡よりもさらに低湿な場所で、人が利用するにはあまり芳しくない土地柄であった可能性が考えられる。そのため、遺構が認められず、出土遺物は二次堆積の様相をなすのではなかろうか。こう考えると、旧河道に近い調査坑1・2で確認したIV b層は、低湿に加え、洪水あるいは水による何らかの力が働いて攪拌された痕跡ととらえることができるのである。

今回の調査で、桧遺跡は西ではなく南北に展開する可能性を指摘した大垣市教育委員会の調査と一致する結果となり、桧遺跡の西限が平成10年度調査のSD170に求められる可能性がより高まったと言えよう。

参考文献

- 1997a 大垣市教育委員会『大垣市遺跡詳細分布調査報告書（II） 平成2年度』大垣市文化財調査報告書第21集
- 1997b 大垣市教育委員会『大垣市埋蔵文化財調査概要 平成7年度』大垣市文化財調査報告書第30集
- 1998a 大垣市教育委員会『大垣市埋蔵文化財調査概要 平成8年度』大垣市文化財調査報告書第32集
- 1998b 大垣市教育委員会『大垣市埋蔵文化財調査概要 平成9年度』大垣市文化財調査報告書第34集
- 2000 大垣市教育委員会『大垣市埋蔵文化財調査概要 平成10年度』大垣市文化財調査報告書第36集
- 2002 大垣市教育委員会『大垣市埋蔵文化財調査概要 平成13年度』大垣市文化財調査報告書第40集
- 2004a 大垣市教育委員会『大垣市埋蔵文化財調査概要 平成14年度』大垣市文化財調査報告書第41集
- 2004b 大垣市教育委員会『大垣市埋蔵文化財調査概要 平成15年度』大垣市文化財調査報告書第42集

第5章 自然科学分析

第1節 分析の概要

本節では、次節以降に記載する自然科学分析を実施した経緯と結果、及び若干の考察を述べる。

1 放射性炭素年代測定（第2節）

分析の理由 平成21年度に検出した掘立柱建物跡（SH008）は、出土遺物が乏しく、正確な年代がつかめていないため、年代測定をする必要があった。その結果、SH008の時期は弥生時代中期末～後期初頭であり、方形周溝墓がさかんに造られた時期を過ぎ、まわりに集落が展開し始める時期に建てられたことが判明した。

平成19年度に検出した掘立柱建物跡（SH010）は層位的に弥生時代終末期と判断できる水田跡より古いと判断できた。またこの建物跡は水田跡と接した時期の祭祀にかかる建物である可能性が高いと指導調査員から指摘されたが、出土遺物がなく、建物跡の時期を明確にするためには年代測定を行う必要があった。その結果、SH010の柱3点のうち、P2のN0.8482、P7のN0.8485の2点は弥生時代後期に相当し、P6のN0.8484は弥生時代中期から後期に相当すると判明した。ただいまも最外年輪以外の部位であるため、木材の枯死・伐採年より年代が古くなっている可能性がある。

SW002の杭は荒尾南遺跡の水制遺構より出土したものである。この遺構は明確な時期決定ができないため、年代測定を行う必要があった。また荒尾南遺跡は水田や排水溝など、取水・排水と関わる遺構が多く、遺跡の性格を考える上で、水制遺構の具体的な時期特定が望まれると判断した。その結果、SW002の杭は3世紀中頃～4世紀後半の範囲を示し、弥生時代末～古墳時代前期に相当することが判明した。

またB地区西部の自然流路であるNR001の遺跡立地分析のためB地区西部でトレンチ調査を行った。いくつかの旧河道ができ、それらが埋没していく過程がみうけられ、旧河道の埋没がいつの頃のものなのか年代を知るために出土した流木N0.50306を試料として年代測定を行った。その結果、N0.50306は縄文時代晚期前葉～中葉に相当することが判明した。

2 花粉分析（第3節）

分析の理由 弥生時代の当遺跡周辺における植生を復元することにより、集落の環境、食料獲得基盤、木製品・住居の建築部材との関係を明らかにできると判断し、考古学的成果とからめて、遺跡の有機的な実態を復元する目的で分析を行った。試料を採取した箇所はB地区方形周溝墓（弥生中期）、SD0381、B地区水田域東部で図6の1、2、3の地点である。

その結果、弥生時代中期の方形周溝墓周溝埋土からは花粉化石が産出しなかった。弥生時代後期の遺跡周辺ではスギ林とアカガシ亜属を中心とした照葉樹林が優勢であった。SD0381はイネ科、カヤツリグサ科を主体にオモダカ属、ミズアオイ属、キカシグサ属などが生育する水位の低い湿地ないし水溜まり状であることが判明した。またこの時期にはソバ栽培が行われていたと考えられる。

3 プラント・オパール分析（第4節）

分析の理由 B地区東部で検出した水田について、科学分析においても水田が営まれたことを表すことで、考古学的成果の妥当性を高められると判断し、土壤中にイネの生育を示すプラント・オパールの存在を確認するため分析を行った。試料を採取した箇所は図11の3、4、5の地点である。その結果、水田耕作土と思われる土層から15,000個を超えるイネのプラント・オパールが得られた。V層は北壁で2,400個、耕作土は北壁と西壁から6,000個を超えるイネのプラント・オパールが得られた。これにより分析結果からも水田跡であると判断できる。

4 木製品の樹種同定（第5節）

発掘調査では、多くの木製品が出土した。このうち本書に掲載した木製品については、木製品の器種による木材利用の選択や、他遺跡との比較を試みるために樹種同定を実施した。その結果、全体では針葉樹のヒノキが27点と最も多く、次いで広葉樹のアカガシ亜属が17点検出された。

第2節 放射性炭素年代測定

1 はじめに

荒尾南遺跡は岐阜県大垣市に所在する。荒尾南遺跡の発掘調査により弥生時代～古墳時代にかけてと思われる木製品について加速器質量分析法（AMS法）による放射性炭素年代測定を行った。分析は株式会社パレオ・ラボのAMS年代測定グループ（伊藤茂・尾崎大真・丹生越子・廣田正史・小林紘一・Zaur Lomtatidze・Ineza Jorjoliani・中村賢太郎）が担当した。

2 試料と方法

平成21年度に検出した掘立柱建物（SH008）を構成する柱材3点の情報、調製データは表205・206の通りである。

No. 3546-1の柱材は年輪数が64年強と多かったため、ウィグルマッチングを試みた。最も外側には樹皮直下の最外年輪では無いものの樹皮に近いと考えられる部分が確認でき、そこを1年目とし、1～5年目、21～25年目、41～45年目の3箇所（PLD-15282～15284）をウィグルマッチング用に採取した。試料No. 3544-1の柱材は、樹皮に近いと考えられる部分を2年輪分採取した（PLD-15285）。

試料No. 3545-1の柱材は、部位不明ではあるが残っていた中では外側の3年輪分を採取した（PLD-15286）。

平成19年度に検出した掘立柱建物跡（SH010）の柱3点（遺物No. 8482・8484・8485、PLD-9995～9997）の情報、調製データは表207の通りである。

いずれも炭化していない生の木材である。掘立柱建物の柱は最外年輪が確認できなかつたため、残存している限りで最も外側を採取した。

表208は木製品で、SW002の杭（PLD-12420）の情報、調製データである。

樹皮は確認できなかつたが、木取が丸木であるため、木製品の表面は最外年輪あるいはそれに近い部位と考えられた。最外年輪に近いと考えられる部位をそれぞれ採取した。

B地区西部の自然流路であるNR001から出土した流木（No. 50306）の情報、調製データは表209のとおりである。

断割部で見られた堆積物のうち、下位の7層と上位の3層から試料が採取された。7層の試料(No.1、PLD-12417)は木材で、最外年輪を含む5年輪を採取した。3層の試料(No.2、PLD-12418)は樹木の葉である。

試料は調製後、加速器質量分析計(バレオ・ラボ、コンパクトAMS:NEC製 1.5SDH)を用いて測定した。得られた¹⁴C濃度について同位体分別効果の補正を行った後、¹⁴C年代、曆年代を算出した。

表205 ウィグルマッティング測定試料および処理

測定番号	遺跡・試料データ	採取データ	前処理データ
PLD-15282		採取位置: 1-5y 試料の性状: 最外年輪以外で樹皮に近い部分	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)
PLD-15283	試料No. 3546-1 試料の種類: 生材(針葉樹、芯持ち丸木、年輪数64+α年) 状態: dry	採取位置: 21-25y	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)
PLD-15284		採取位置: 41-45y	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)

表206 単体測定試料および処理

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-15285	試料No. 3544-1	試料の種類: 生材(針葉樹、削り出し、偏芯) 試料の性状: 最外年輪以外で樹皮に近い部分を2年輪分 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)
PLD-15286	試料No. 3545-1	試料の種類: 生材(針葉樹、芯持ち丸木) 試料の性状: 部位不明、外側3年輪分 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)

表207 測定試料および処理

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-9995	グリッド: JF20 遺構: D0205 層位: 1 遺物No. : 8482 その他: 挖立柱建物の柱, D43座標取上	試料の種類: 生材 試料の性状: 最外以外部位不明 状態: wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N) サルフィックス
PLD-9996	グリッド: JF20 遺構: D0210 層位: 1 遺物No. : 8484 その他: 挖立柱建物の柱, D43座標取上	試料の種類: 生材 試料の性状: 最外以外部位不明 状態: wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N) サルフィックス
PLD-9997	グリッド: JF20 遺構: D0212 層位: 1 遺物No. : 8485 その他: 挖立柱建物の柱, D43座標取上	試料の種類: 生材 試料の性状: 最外以外部位不明 状態: wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N) サルフィックス

表208 測定試料および処理

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-12420	遺物No. : 25161-a	試料の種類: 生材(杭, 丸木) 試料の性状: 最外年輪に近い部分 状態: wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N) サルフィックス

表209 測定試料および処理

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-12417	調査区: B2地点 位置: 断割部 層位: 7層 試料No. : 1	試料の種類: 生材 試料の性状: 最外年輪, 5年輪分 状態: wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N) サルフィックス
PLD-12418	調査区: B2地点 位置: 断割部 層位: 3層 試料No. : 2	試料の種類: 生の植物遺体(葉) 状態: wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N) サルフィックス

3 結果・考察

(1) 平成21年度に検出した掘立柱建物跡 (SH008)

表6に同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比 ($\delta^{13}\text{C}$)、同位体分別効果の補正を行って曆年較正に用いた年代値、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した14C年代、14C年代を曆年代に較正した年代範囲、ウィグルマッチング結果を、表7に単体試料の測定結果を、図1にウィグルマッチング結果を、図2に単体試料の曆年較正結果をそれぞれ示す。曆年較正に用いた年代値は下1桁を丸めていない値であり、今後曆年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて曆年較正を行うために記載した。

14C年代はAD1950年を基点にして何年前かを示した年代である。14C年代 (yrBP) の算出には、14Cの半減期としてLibbyの半減期5568年を使用した。また、付記した14C年代誤差 ($\pm 1\sigma$) は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の14C年代がその14C年代誤差内に入る確率が68.2%であることを示す。

なお、曆年較正、ウィグルマッチング法の詳細は以下のとおりである。

曆年較正とは、大気中の14C濃度が一定で半減期が5568年として算出された14C年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の14C濃度の変動、及び半減期の違い (14Cの半減期5730±40年) を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

14C年代の曆年較正には0xCal4.1 (較正曲線データ:Intcal09) を使用した。なお、 1σ 曆年代範囲は、0xCal1の確率法を使用して算出された14C年代誤差に相当する68.2%信頼限界の曆年代範囲であり、同様に 2σ 曆年代範囲は95.4%信頼限界の曆年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に曆年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は14C年代の確率分布を示し、二重曲線は曆年較正曲線を示す。それぞれの曆年代範囲のうち、その確率が最も高い年代範囲については、表中に下線で示してある。

測定では、得られた年輪数が確認できる木材について、1年毎或いは数年分をまとめた年輪を数点用意し、それぞれ年代測定を行う。個々の¹⁴C年代値から暦年較正を行い、得られた確率分布を年輪幅だけならしてすべてを足し合わせることにより最外年輪の確率分布を算出する。この確率分布より年代範囲を求める。

ウイグルマッチング法について記す。試料の年代を得る上での問題は¹⁴C年代値から暦年較正を行う際に較正曲線に凹凸があるため単一の測定値から高精度の年代を決定するのが難しいという点である。ウイグルマッチング法では複数の試料を測定し、それぞれの試料間の年代差の情報を用いて試料の年代パターンと、較正曲線のパターンが最も一致する年代値を算出することによって高精度で信頼性のある年代値を求めることができる。

ウイグルマッチングを行った試料No. 3546-1は、 1σ 暦年代範囲において4-8calAD(5.5%)および20-50calAD(62.7%)、 2σ 暦年代範囲において1calBC-65calAD(95.4%)の範囲を示した。この結果は、春成・今村編(2004)や西本豊弘編(2006、2007、2009)を参照すると、弥生時代後期に相当する。試料No. 3544-1は、 1σ 暦年代範囲において20-67calAD(68.2%)、 2σ 暦年代範囲において36-31calBC(0.9%)、22-11calBC(2.6%)および2calBC-80calAD(91.9%)の範囲を示した。試料No. 3545-1は、 1σ 暦年代範囲において28-39calAD(11.4%)、50-85calAD(54.5%)および110-113calAD(2.2%)、 2σ 暦年代範囲において21-126calAD(95.4%)の範囲を示した。単体で測定した試料No. 3544-1と3545-1の暦年代範囲も3546-1と重複しており、掘立柱建物の柱材が伐採されたのは紀元前1世紀末から紀元後1世紀後半(弥生時代後期相当)の可能性が高い。

表210 試料No.3546-1の放射性炭素年代測定、暦年較正、ウイグルマッチングの結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年較正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	¹⁴ C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	¹⁴ C年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
PLD-15282 試料No. 3546-1	-25.80 \pm 0.13	1974 \pm 20	1975 \pm 20	5AD(68.2%) 56AD	38BC(10.2%) 10BC 3BC(85.2%) 71AD
PLD-15283 試料No. 3546-1	-25.27 \pm 0.11	1985 \pm 20	1985 \pm 20	20BC(6.2%) 13BC 1BC(62.0%) 54AD	41BC(95.4%) 64AD
PLD-15284 試料No. 3546-1	-26.50 \pm 0.12	2015 \pm 21	2015 \pm 20	44BC(65.2%) 5AD 13AD(3.0%) 16AD	85BC(0.9%) 80BC 54BC(94.5%) 53AD
			最外試料年代	4AD(5.5%) 8AD 20AD(62.7%) 50AD	1BC(95.4%) 65AD

表211 単体試料の放射性炭素年代測定および暦年較正の結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年較正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	¹⁴ C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	¹⁴ C年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
PLD-15285 試料No. 3544-1	-26.09 \pm 0.10	1963 \pm 20	1965 \pm 20	20AD(68.2%) 67AD	36BC(0.9%) 31BC 22BC(2.6%) 11BC 2BC(91.9%) 80AD
PLD-15286 試料No. 3545-1	-26.26 \pm 0.11	1935 \pm 20	1935 \pm 20	28AD(11.4%) 39AD 50AD(54.5%) 85AD 110AD(2.2%) 113AD	21AD(95.4%) 126AD

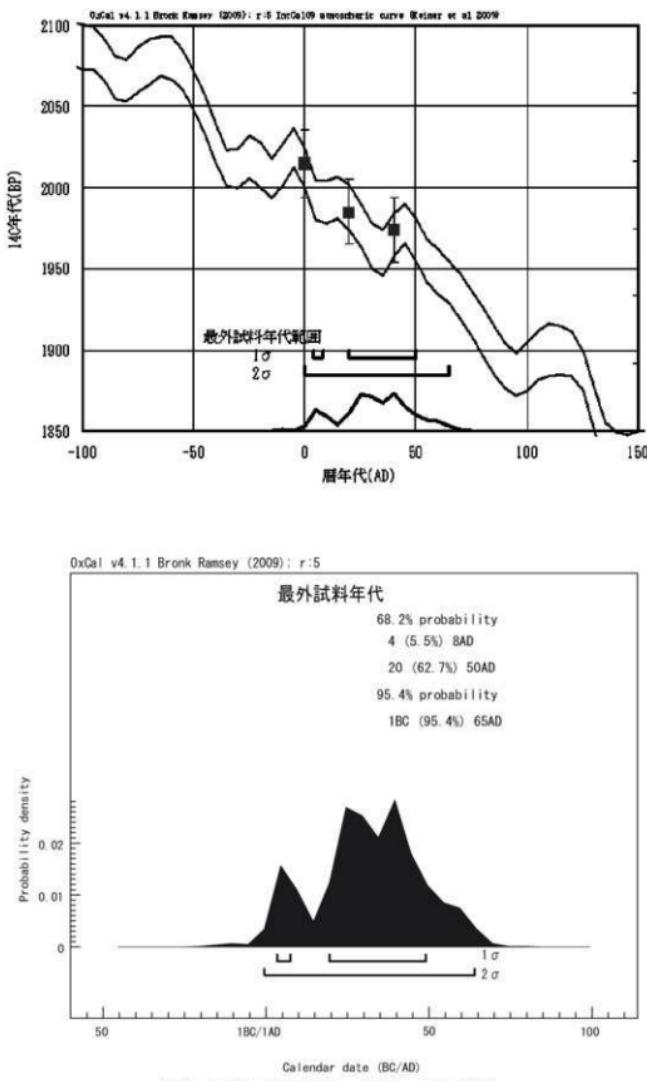


图653 試料No.3546-1のウィグルマッチング結果

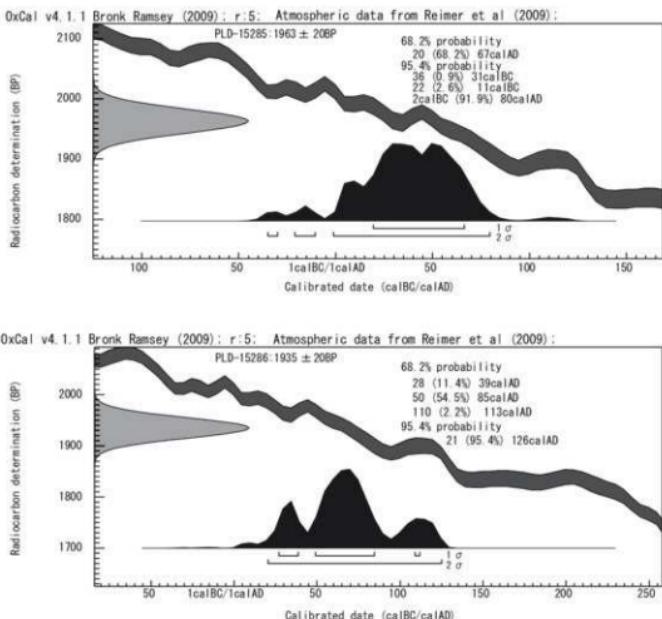


図654 単体試料の曆年較正結果

(2) 平成19年度に検出した掘立柱建物跡 (SH010)

表212に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比 ($\delta^{13}\text{C}$)、同位体分別効果の補正を行って曆年較正に用いた年代値、慣用に従って年代値、誤差を丸めて表示した14C年代、14C年代を曆年代に較正した年代範囲を、図655に曆年較正結果をそれぞれ示す。曆年較正に用いた年代値は年代値、誤差を丸めていない値であり、今後曆年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて曆年較正を行うために記載した。

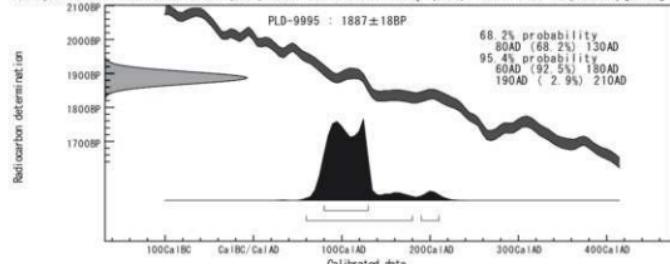
試料について、同位体分別効果の補正及び曆年較正を行った。 2σ 曆年代範囲 (95.4%の確率でこの範囲に年代が収まるることを意味する) に着目して遺構ごとに測定結果を整理する。また、14C年代および曆年較正結果と考古学的編年との対応関係（西本編、2007）を参照し、今回の測定結果と考古学的編年との対応関係について述べる。

掘立柱建物の柱3点のうち、D0205のNo. 8482とD0212のNo. 8485 (PLD-9995・9997) の 2σ 曆年代範囲はよく一致し、1世紀中頃から3世紀前半の範囲を示した。これは弥生時代後期に相当する。D0210のNo. 8484 (PLD-9996) は、上記の2点に比べ古く、紀元前1世紀中頃から1世紀末の範囲を示した。これは弥生時代中期から後期に相当する。ただし、掘立柱建物の柱は、いずれも最外年輪以外の部位であるため、木材の枯死・伐採年より年代が古くなっている可能性がある。

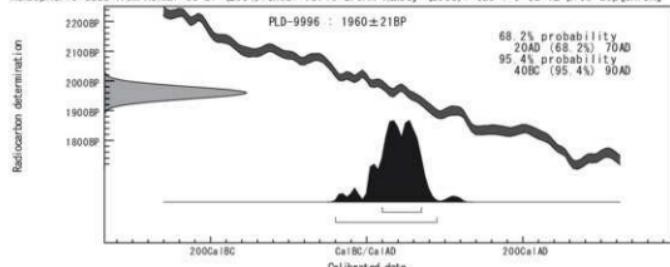
表212 放射性炭素年代測定および曆年較正の結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	曆年較正年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代を曆年代に較正した年代範囲 1σ 曆年代範囲	2σ 曆年代範囲
PLD-9995 (遺物No. : 8482)	-33.18 \pm 0.13	1887 \pm 18	1885 \pm 20	80AD (68.2%) 130AD	60AD (92.5%) 180AD
PLD-9996 (遺物No. : 8484)	-30.10 \pm 0.12	1960 \pm 21	1960 \pm 20	20AD (68.2%) 70AD	40BC (95.4%) 90AD
PLD-9997 (遺物No. : 8485)	-30.81 \pm 0.17	1884 \pm 20	1885 \pm 20	80AD (68.2%) 130AD	60AD (89.9%) 180AD

Atmospheric data from Reimer et al (2004): OxCal v3.10 Bronk Ramsey (2005): cub r:5 sd:12 prob usp[chron]



Atmospheric data from Reimer et al (2004): OxCal v3.10 Bronk Ramsey (2005): cub r:5 sd:12 prob usp[chron]



Atmospheric data from Reimer et al (2004): OxCal v3.10 Bronk Ramsey (2005): cub r:5 sd:12 prob usp[chron]

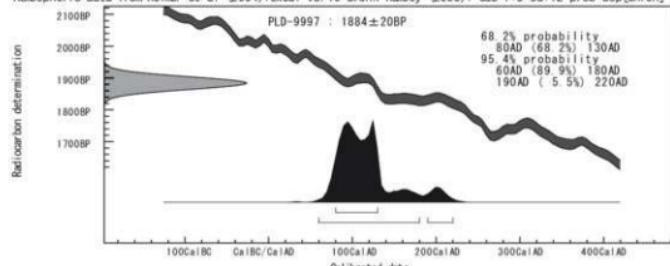


図655 曆年較正結果

(3) SW002の杭

表213に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（ $\delta^{13}\text{C}$ ）、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値、慣用に従って年代値、誤差を丸めて表示した14C年代、14C年代を暦年代に較正した年代範囲を、図656に暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は年代値、誤差を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

SW002の杭は、240–353calAD(92.5%)および368–380calAD(2.9%)で、3世紀中ごろ～4世紀後半の範囲を示した。これは弥生時代末～古墳時代前期に相当する。

なお、採取部位が最外年輪に近いと考えられるため、今回得られた暦年代範囲は素材である木材の伐採年をほぼ示していると言える。

表213 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年較正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-12420 遺物No. : 25161-a	-24.92 \pm 0.19	1742 \pm 20	1740 \pm 20	252AD(11.2%) 264AD 275AD(57.0%) 333AD	240AD(92.5%) 353AD 368AD(2.9%) 380AD

OxCal v4.0.5 Bronk Ramsey (2007); r:5; IntCal04 atmospheric curve (Reimer et al 2004)

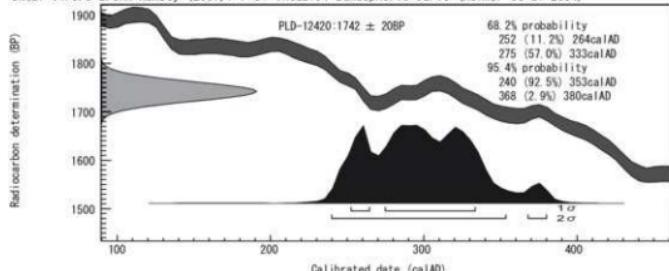


図656 暦年較正結果

B地区西部の自然流路であるNR001から出土した流木 (NO. 50306)

表214に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（ $\delta^{13}\text{C}$ ）、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値、慣用に従って年代値、誤差を丸めて表示した14C年代、14C年代を暦年代に較正した年代範囲を、図657に暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は年代値、誤差を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

14C年代はAD1950年を基点にして何年前かを示した年代である。14C年代 (yrBP) の算出には、14Cの半減期としてLibbyの半減期5568年を使用した。また、付記した14C年代誤差 ($\pm 1\sigma$) は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の14C年代がその14C年代誤差内に入る確率が68.2%であることを示すものである。

試料について同位体分別効果の補正及び曆年較正を行った。 2σ 曆年年代範囲に着目すると、7層から採取された試料No. 1は1125-979calBC(95.4%)、3層から採取された試料No. 2は1009-896calBC(95.4%)の範囲を示した。小林謙一(2008)が示した縄文土器編年と曆年較正結果との対応関係を参照すると、2試料の曆年年代範囲はいずれも縄文時代晚期前葉～中葉に相当する。

表214 放射性炭素年代測定および曆年較正の結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	曆年較正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	14C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	14C 年代を曆年年代に較正した年代範囲	
				1σ 曆年年代範囲	2σ 曆年年代範囲
PLD-12417 試料No. : 1	-25.70 \pm 0.16	2873 \pm 20	2875 \pm 20	1111BC(5.7%) 1103BC 1082BC(11.1%) 1065BC 1056BC(51.5%) 1008BC 1082BC(11.1%) 1065BC 1056BC(51.5%) 1008BC	1125BC(95.4%) 979BC
PLD-12418 試料No. : 2	-31.57 \pm 0.22	2793 \pm 21	2795 \pm 20	976BC(68.2%) 909BC	1009BC(95.4%) 896BC

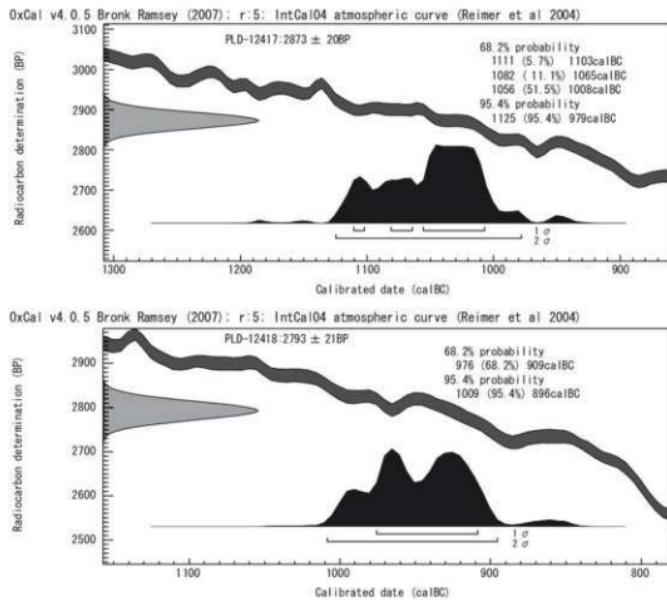


図657 曆年較正結果

参考文献

- Bronk Ramsey, C. 1995『Radiocarbon Calibration and Analysis of Stratigraphy』The OxCal Program. Radiocarbon, 37, 425-430.
- Bronk Ramsey, C. 2001『Development of the Radiocarbon Program OxCal』Radiocarbon, 43, 355-363.
- 小林謙一2008『縄文時代の暦年代』縄文時代の考古学2 歴史のものさし, 257-269, 同成社.
- 中村俊夫2000『放射性炭素年代測定法の基礎』日本先史時代の14C年代, 3-20.
- 西本豊弘編2006『新弥生時代のはじまり第1巻 弥生時代の新年代』143p, 雄山閣.
- 西本豊弘編2007『新弥生時代のはじまり第2巻 縄文時代から弥生時代へ』185p, 雄山閣.
- 西本豊弘編2009『新弥生時代のはじまり第4巻 弥生農耕のはじまりとその年代』162p, 雄山閣.
- 春成秀爾・今村峯雄編2004『弥生時代の実年代 炭素14年代をめぐって』253p, 学生社.
- Reimer, P.J., Baillie, M.G.L., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J.W., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Buck, C.E., Burr, G.S., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kaiser, K.F., Kromer, B., McCormac, F.G., Manning, S.W., Reimer, R.W., Richards, D.A., Southon, J.R., Talamo, S., Turney, C.S.M., van der Plicht, J. and Weyhenmeyer, C.E. (2009) IntCal09 and Marine09 Radiocarbon Age Calibration Curves, 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 51, 1111-1150.
- Bertrand, C.J.H., Cutler, K.B., Damon, P.E., Fairbanks, R.G., Kromer, B., McCormac, G., Manning, S., Remmeli, S., Stuiver, M., Talamo, S., Taylor, F.W., J. and Weyhenmeyer, C.E. (2004) IntCal04 terrestrial radiocarbon age calibration, 0-26 cal kyr BP. Radiocarbon, 46, 1029-1058.

第3節 荒尾南遺跡方形周溝墓埋土及び、大溝埋土、水田の花粉分析

1 はじめに

荒尾南遺跡の弥生時代中期および後期の古植生および古環境を推定する目的で、花粉化石群集の検討を行った。分析は株式会社パレオ・ラボの新山雅広が担当した。

2 試料

花粉化石群集の検討は、試料1～5の合計5試料について行った。各試料の簡単な記載は、次の通りである。試料1(方形周溝墓下層)は灰色細砂質粘土で褐鉄鉱が認められる。試料2(大溝埋土上層)は黒褐色細砂混じり粘土で草本遺体を含む。試料3(大溝埋土下層)は黒色未分解質草本質泥炭。試料4(北壁IV層)は灰色粘土。試料5(北壁耕作土)は灰色粘土で植物根を含む。時代については、試料1が弥生時代中期、試料2、3が弥生時代後期、試料4、5が弥生時代後期末と考えられている。なお、試料4、5については、プラント・オバール分析も行われた。

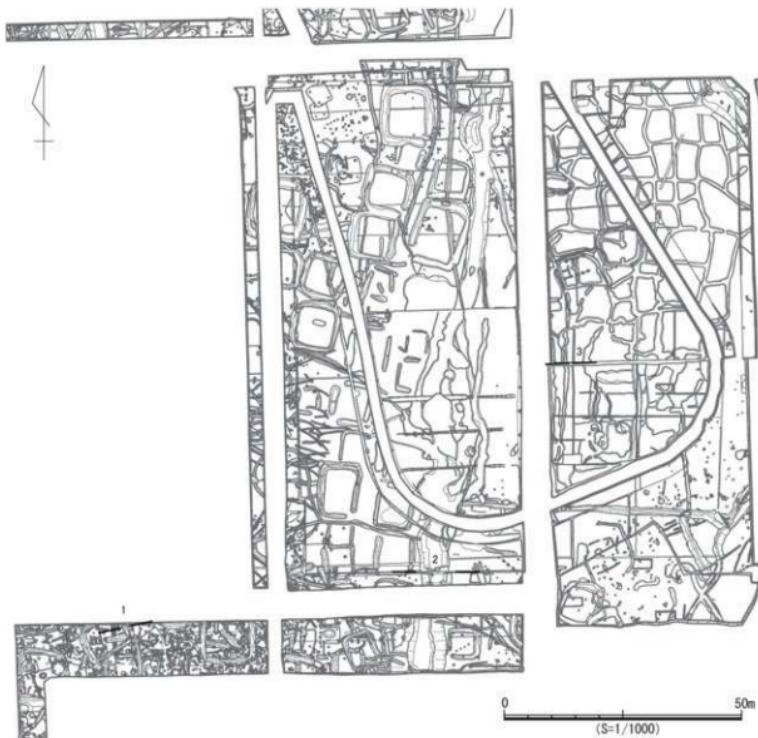


図658 調査区全体図（図中の1～3は試料採取位置を示す）

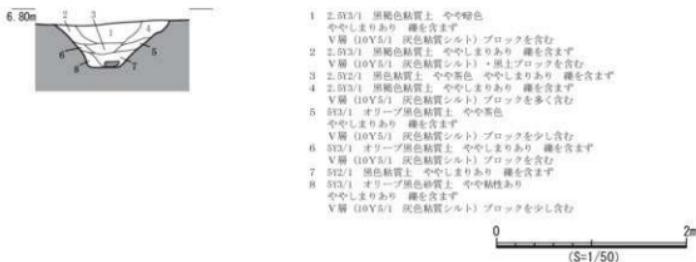


図659 方形周溝基土層（試料1採取場所）

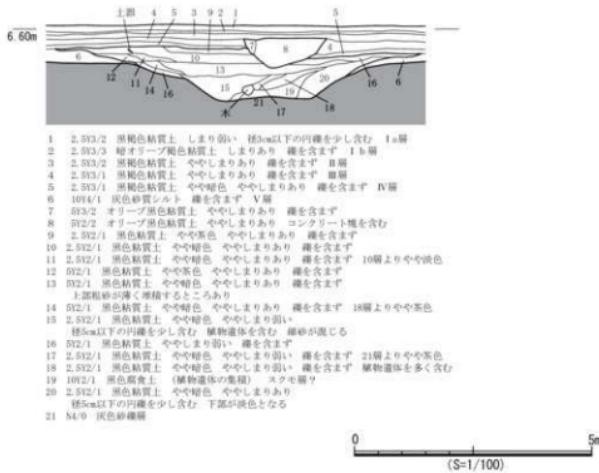


図660 大溝埋土層（試料2・3採取場所）



図661 北壁土層（試料4・5採取場所）

3 方法

花粉化石の抽出は、試料約2~3gを10%水酸化カリウム処理（湯煎約15分）による粒子分離、傾斜法による粗粒砂除去、フッ化水素酸処理（約30分）による珪酸塩鉱物などの溶解、アセトトリス処理（冰酢酸による脱水、濃硫酸1に対して無水酢酸9の混液で湯煎約5分）の順に物理・化学的処理を施すことにより行った。なお、フッ化水素酸処理後、重液分離（臭化亜鉛を比重2.1に調整）による有機物の濃集を行った。プレパラート作成は、残渣を蒸留水で適量に希釈し、十分に攪拌した後マイクロビペットで取り、グリセリンで封入した。検鏡は、プレパラート全面を走査し、その間に出現した全ての種類について同定・計数した。その計数結果をもとにして、各分類群の出現率を樹木花粉は樹木花粉総数を基準とし、草本花粉およびシダ植物胞子は花粉・胞子総数を基準として百分率で算出した。ただし、クワ科、マメ科は樹木と草本のいずれをも含む分類群であるが、区別が困難なため、ここでは便宜的に草本花粉に含めた。なお、複数の分類群をハイフンで結んだものは分類群間の区別が困難なものである。

表215 花粉化石産出一覧表

科名	学名	出現率				
		1	2	3	4	5
樹木						
シキミ科	<i>Filicaceae</i>	-	1	-	-	-
オオバコ科	<i>Aristolochiaceae</i>	-	3	10	1	1
ツガ科	<i>Tsuga</i>	-	1	2	-	-
ツツジ科被子植物未定属	<i>Ericaceae</i> subgen. <i>Hameliaxylon</i>	-	1	1	-	-
ツツジ科被子植物未定属	<i>Ericaceae</i> subgen. <i>Oxydioxylon</i>	-	3	10	1	1
マツ科(不明)	<i>Pinus</i> (Unknown)	-	3	10	1	1
シラカシ科	<i>Sciadopitys</i>	-	3	4	5	5
シラカシ科	<i>Cephaelis</i>	-	17	60	92	74
イチイ科イヌガヤ科ヒノキ科	<i>T. - C.</i>	-	18	31	16	9
イチイ科	<i>Selaginella</i>	-	1	-	-	1
イチイ科	<i>Hypolepis</i>	-	1	-	-	-
リュウゼツラン科	<i>Pterocarya-Juglans</i>	-	-	1	1	1
カルム科	<i>Juglans</i>	-	-	1	-	-
カルム科アサガオ科	<i>Ceratonia - Olea</i>	-	15	6	10	14
カバノキ科	<i>Betula</i>	-	4	3	10	0
ハクモクレン科	<i>Alnus</i>	-	1	2	-	-
ブナ科	<i>Fagus</i>	-	8	11	15	14
コナラ科コナラ属	<i>Quercus</i> subgen. <i>Lobatae</i>	-	8	23	30	18
コナラ科コナラ属	<i>Quercus</i> subgen. <i>Cyclobalanopsis</i>	-	79	27	62	67
クリ科	<i>Castanea</i>	-	9	4	4	4
シノブ科	<i>Castanopsis</i>	-	15	7	22	15
シノブ科ヤクシキ属	<i>Ulmus</i> subgen. <i>Ileovis</i>	-	2	1	2	2
シノブ科ヤクシキ属	<i>Ulmus</i> subgen. <i>Aphananthe</i>	-	1	4	5	2
シノブ科ヤクシキ属	<i>Ulmus</i> subgen. <i>Prunifolia</i>	-	-	1	-	-
シノブ科ヤクシキ属	<i>Daphniphyllum</i>	-	1	-	-	-
アカガシ科	<i>Mitchella</i>	-	-	1	-	-
アカガシ科	<i>Lindernia</i>	-	-	1	-	-
トチノキ科	<i>Acacia</i>	-	1	-	2	-
ブドウ科	<i>Vitis</i>	-	-	1	-	-
ウラジロ科	<i>Aralia</i>	-	-	1	-	-
ガマズミ科	<i>Vaccinium</i>	-	-	1	-	-
草本						
ガマ科	<i>Fimbristylis</i>	-	1	-	3	4
オモダカ科	<i>Equisetum</i>	-	4	4	4	2
イネ科	<i>Gramineae</i>	-	97	81	191	146
ホリセリグサ科	<i>Cyperaceae</i>	-	26	85	46	32
ホリセリグサ科	<i>Hostoaceae</i>	-	4	4	1	1
クワ科	<i>Roraceae</i>	-	-	1	21	10
クシギ科	<i>Rumex</i>	-	1	-	-	-
リリクシル科テラウタニギカラ属	<i>Polygonaceae</i> sect. <i>Polygonaria</i> <i>Reichenbachia</i>	-	1	1	4	-
リリクシル科	<i>Fagopyrum</i>	-	1	-	1	-
アカサトイセ科	<i>Chenopodiaceae</i> - <i>Amaranthaceae</i>	-	1	-	-	3
アカサトイセ科	<i>Caryophyllaceae</i>	-	1	-	-	-
キンポウゲ科	<i>Rununculaceae</i>	-	-	-	-	1
アンソナツ科	<i>Cruciferace</i>	-	9	-	5	6
アサガオ科	<i>Labiatae</i>	-	1	-	-	-
ツリフネモチウツ科	<i>Impatiens</i>	-	23	22	-	-
キカシグサ科	<i>Rotala</i>	-	1	-	4	3
キカシグサ科	<i>Malpighiaceae</i>	-	2	4	2	2
オミナエシ科	<i>Patrinia</i>	-	-	1	-	-
オミナエシ科	<i>Xanthium</i>	-	-	-	-	1
ヨウラントウ科	<i>Asteraceae</i>	-	25	27	17	8
ヨウラントウ科	<i>other Tubuliflorae</i>	-	3	-	3	-
タングボ科	<i>Liguliflorae</i>	-	2	-	1	-
シダ植物						
单子叶植物	<i>Mossiatae</i> spore	-	10	3	8	9
三子叶植物	<i>Triletae</i> spore	-	1	-	2	1
樹木花粉	<i>Arborescent pollen</i>	0	217	218	300	240
草本花粉	<i>Nonarborescent pollen</i>	0	164	170	320	233
シダ植物孢子	Spores	0	11	3	10	10
花粉・胞子总数	Total Pollen & Spores	0	392	396	630	473
平均花粉	Unknown pollen	0	6	6	9	10

T. - C. は Taxaceae - Cupressaceae - Cephaelidaceae

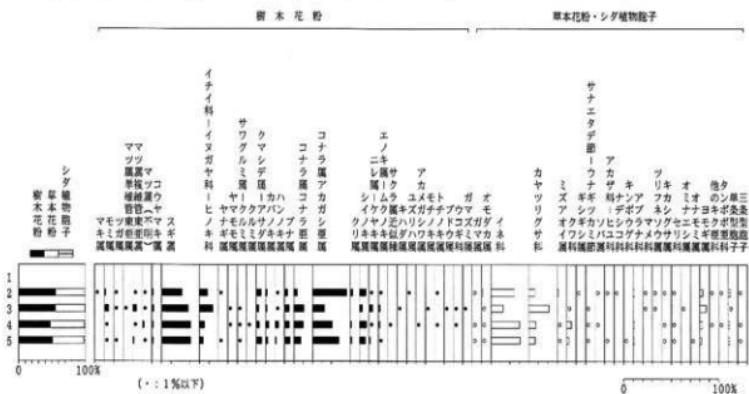
4 花粉化石群集の記載

全試料で同定された分類群数は、樹木花粉32、草本花粉22、形態分類で示したシダ植物胞子2である。以下に、各試料の花粉化石群集を記載する。

方形周溝墓下層(試料 1)：花粉・胞子化石は全く産出しなかった。

大構埋土(試料2、3)：樹木花粉の占める割合は、約55%である。いずれの試料もスギ属、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科、アカガシ亜属が高率な傾向であるが、下層(試料3)はスギ属が最も高率であり(約28%)、上層(試料2)はアカガシ亜属が最も高率である(約36%)。いずれの試料でも比較的目立つのは、モミ属、クマシデ属-アサダ属、ブナ属、コナラ亜属、シノキ属などであり、低率ながらも下層ではヤマモモ属、キハダ属、モチノキ属、上層ではマキ属、ユズリハ属なども出現する。草本花粉は、下層ではカヤツリグサ科が約21%で最も高率であり、次いでイネ科(約13%)、ヨモギ属(約7%)の順に出現する。他に、オモダカ属、ツリフネソウ属などが低率で出現する。上層は、イネ科が増加して約25%と最も高率である。次いで、カヤツリグサ科が出現するが、約7%に減少する。他に、ヨモギ属が約3%、ガマ属、オモダカ属、ミズアオイ属、ギシギシ属、ソバ属、アブラナ科、キカシグサ属などが概ね1%以下で出現する。

北壁(試料4、5)：樹木花粉の占める割合は、50%前後で大溝試料よりも若干低率である。いずれの試料もスギ属が最も高率であり(30%程度)、次いでアカガシ亜属が出現する(25%前後)。比較的目立つのは、コナラ亜属(10%程度)、シノキ属・ブナ属・クマシデ属—アサダ属・イチイ科—イヌガヤ科—ヒノキ科(5%前後)である。他に、カバノキ属、ハンノキ属、クリ属などがいずれの試料からも出現し、IV層(試料4)では低率ながらもヤマモモ属、サクラ属近似種、アカメガシワ属なども出現する。草本花粉は、イネ科が30%程度で最も高率である。やや目立つのは、カヤツリグサ科、クワ科、ヨモギ属であり、ガマ属、オモダカ属、ミズアオイ属、アブラナ科、キカシグサ属などが概ね1%以下で出現する。また、IV層ではソバ属も1%未満で出現する。



(樹木花粉は樹木花粉総数、草本花粉・孢子は地花粉・孢子数を基準として百分率で算出した)

図662 花粉化石分布図

5 察考

[弥生時代中期の古植生および古環境(試料1)]

花粉・胞子化石が全く産出しなかったため、推定することができなかった。花粉化石は、水成堆積物である場合には良好に保存されるが、土壤のような酸化条件下では化学的風化により分解・消失し、更にバクテリアによる触害も受ける。従って、検討した試料は、少なくとも水成環境で安定して堆積したものとは考え難い。つまり、方形周溝墓周溝には、水が溜まっていた可能性が高い。なお、方形周溝墓周溝埋土は、これまでしばしば花粉化石群集の検討を行ったが、花粉化石が保存されていないことが多い。例えば、愛知県朝日遺跡(第14次)では、弥生時代中期の複数の方形周溝墓周溝の埋土が検討されたが、多くの周溝は花粉化石の保存状況が非常に悪かった(新山、2006)。

[弥生時代後期の古植生および古環境(試料2～5)]

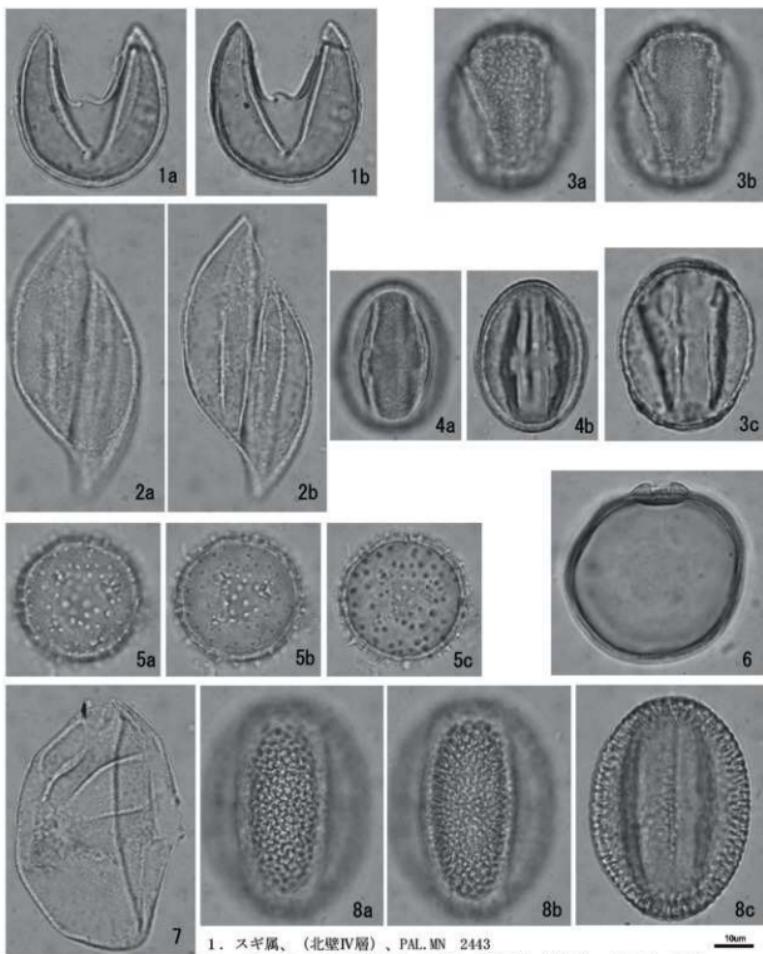
比較的多産する分類群の出現率に多少の差は見られるが、いずれの試料も概ね類似した組成と考えられる。すなわち、スギ属ないしアカガシ亜属が最も高率であり、イチイ科一イヌガヤ科ヒノキ科、クマシデ属一アサダ属、ブナ属、コナラ亜属、シイノキ属が比較的の高率である。このことから、遺跡周辺では、スギ林とアカガシ亜属を主とし、シイノキ属などを交えた照葉樹林が優勢であったと考えられる。なお、本遺跡では、既に花粉・大型植物化石が検討されており(新山、1998)、花粉分析の結果から、弥生時代前期～戦国時代(前半)にかけて、照葉樹林とスギ林が成立していたと考えられている。また、大型植物化石の検討では、弥生時代後期の流路内シルト層からイチイガシ果実が出土しており、この時期に成立していた照葉樹林がイチイガシを中心としたものであったことが予想される。

草本類については、イネ科やカヤツリグサ科が繁茂し、乾き気味の場所には、ヨモギ属が繁茂していたと考えられる。大溝は、下層(試料5)堆積期にはカヤツリグサ科が多く、上層(試料4)堆積期にはイネ科が多く繁茂していたようである。各試料の堆積環境については、いずれの試料もオモダカ属、ミズアオイ属、キカシグサ属といった抽水植物が出現することから、水位の低い湿地ないし水溜り状であったと考えられる。また、これら抽水植物は、水田にしばしば雑草として生育する分類群であり、イネ科の高率出現も考慮すると、水田が存在していた可能性が考えられる。8地点北壁IV層(試料4)・耕作土(試料5)が水田層であったか否かについては、プラント・オーバル分析の結果により、明らかになるであろう。なお、栽培状況については、大溝埋土上層、8地点北壁IV層からソバ属が産出したことから、ソバ栽培が行われていたと考えられる。これは、水田脇や水田の隣接地にソバの栽培地が存在していたことや水田の裏作として栽培されていた可能性が考えられる。

6 おわりに

弥生時代中期の方形周溝墓周溝埋土は、水成環境で安定して堆積したものではないと考えられた。なお、花粉化石が産出しなかったため、古植生の推定はできなかった。

弥生時代後期の遺跡周辺では、スギ林とアカガシ亜属を主とした照葉樹林が優勢であったと考えられた。大溝や北壁IV層・耕作土は、イネ科、カヤツリグサ科を主体にオモダカ属、ミズアオイ属、キカシグサ属などが生育する水位の低い湿地ないし水溜り状であり、北壁IV層・耕作土については水田層の可能性が考えられた。また、この時期には、ソバ栽培が行われていたと考えられた。



1. スギ属、(北壁IV層)、PAL.MN 2443
2. イチイ科—イヌガヤ科—ヒノキ科、大溝埋土(下層)、PAL.MN 2446
3. コナラ属コナラ亜属、(北壁IV層)、PAL.MN 2440
4. コナラ属アカガシ亜属、大溝埋土(上層)、PAL.MN 2445
5. オモダカ属、(北壁IV層)、PAL.MN 2441
6. イネ科、(北壁IV層)、PAL.MN 2442
7. カネツリグサ科、大溝埋土(下層)、PAL.MN 2447
8. ソバ属、(北壁IV層)、PAL.MN 2444

写真7 産出した花粉化石

10μm

引用文献

- 新山雅広1998『荒尾南遺跡の花粉化石群集』岐阜県文化財保護センター調査報告書 第26集, 荒尾南遺跡; 大垣環状線建設工事に伴う緊急発掘調査報告書, 86~90, 図版16~17, 財団法人 岐阜県文化財保護センター.
- 新山雅広1998『荒尾南遺跡から出土した大型植物化石』岐阜県文化財保護センター調査報告書 第26集, 荒尾南遺跡; 大垣環状線建設工事に伴う緊急発掘調査報告書, 92~93, 図版19~20, 財団法人 岐阜県文化財保護センター.
- 新山雅広2006『朝日遺跡（第14次）の花粉化石群集』埋蔵文化財調査報告書54; 朝日遺跡（第13・14・15次）, 255~262, 名古屋市教育委員会.

第4節 荒尾南遺跡B地区東部のプラント・オパール分析

1 はじめに

プラント・オパールとは、根より吸収された珪酸分が葉や茎の細胞内に沈積・形成されたもの（機動細胞珪酸体や単細胞珪酸体などの植物珪酸体）が、植物が枯れるなどして土壤中に混入して土粒子となったものを言い、機動細胞珪酸体については藤原（1976）や藤原・佐々木（1978）など、イネを中心としたイネ科植物の形態分類の研究が進められている。また、土壤中より検出されるイネのプラント・オパール個数から稲作の有無についての検討も行われている（藤原 1984）。このような研究成果から、近年プラント・オパール分析を用いて稲作の検討が各地・各遺跡で行われている。

荒尾南遺跡B地区東部において行われた発掘調査で弥生時代後期末の水田遺構が確認されつつあり、プラント・オパール分析においてそれを支持する結果が得られるか検討する目的で土壤試料が採取された。以下にはこの土壤試料について行ったプラント・オパール分析の結果を示し、発掘調査において示された水田遺構を支持するかどうか検討した。分析は株式会社パレオ・ラボの鈴木茂が担当した。

2 試料と分析方法

分析用試料は耕作土とそれを挟む上下2層の3点について、B地区東部の北壁と西壁およびKM3-5ラインの3地点より採取された計9試料（仮試料番号4～12）である。各試料について、北壁のIV層（試料番号4）は黒褐色粘土質シルト、耕作土（試料5）は暗オリーブ灰色のシルト質粘土、V層（試料6）も暗オリーブ灰色のシルト質粘土である。西壁のIV層（試料7）は黒褐色の泥炭質シルト、耕作土（試料8）およびV層（試料9）は暗オリーブ灰色のシルト質粘土である。KM3-5ラインのIV層（試料10）はオリーブ黒色のシルト、耕作土（試料11）はオリーブ黒色のシルト質粘土、V層（試料12）はオリーブ黒色の粘土である。プラント・オパール分析はこれら9試料について以下の手順にしたがって行った。

秤量した試料を乾燥後再び秤量する（絶対乾燥重量測定）。別に試料約1 g（秤量）をトルビーカーにとり、約0.02 g のガラスピーブ（直径約40 μm）を加える。これに30%の過酸化水素水を約20～30cc加え、脱有機物処理を行う。処理後、水を加え、超音波ホモジナイザーによる試料の分散後、

沈降法により $10\mu\text{m}$ 以下の粒子を除去する。この残渣よりグリセリンを用いて適宜プレパラートを作成し、検鏡した。同定および計数はガラスピーブズが300個に達するまで行った。

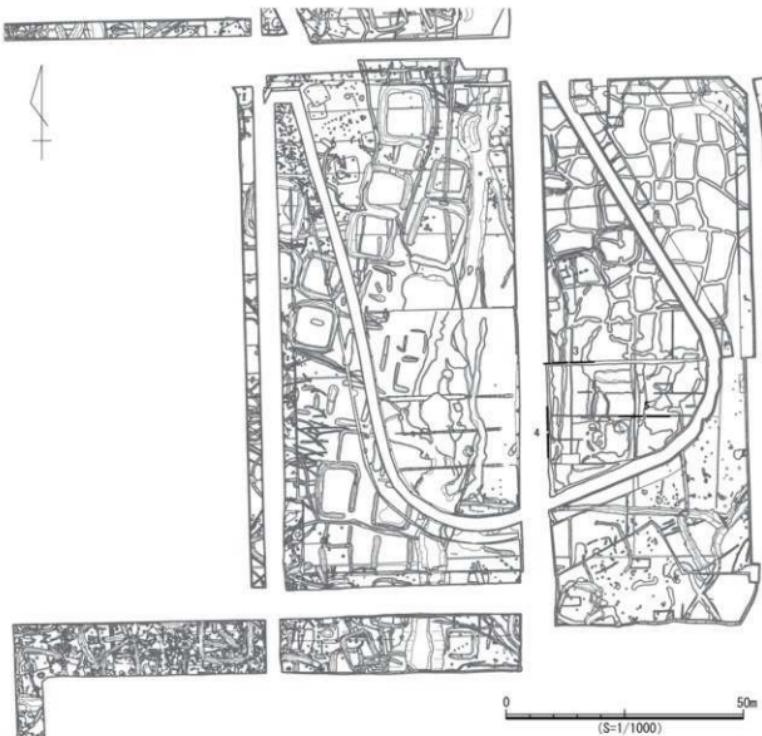


図663 調査区全体図 (図中の3～5は試料採取位置を示す)



図664 北壁土層 (試料4・5採取場所)

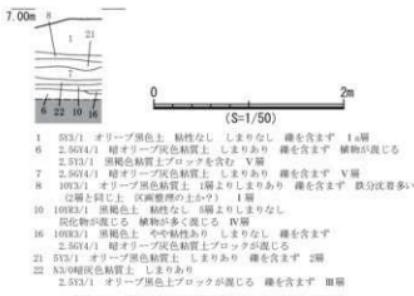
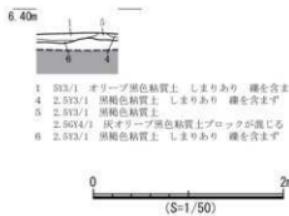


図665 西壁土層(試料 6 ~ 9 採取場所)

図666 KM3-5ライン土層
(試料10採取場所)

3 分析結果

同定・計数された各植物のプラント・オパール個数とガラスピーズ個数の比率から試料 1 g 当りの各プラント・オパール個数を求め (表216)、それらの分布を図667に示した。以下に示す各分類群のプラント・オパール個数は試料 1 g 当りの検出個数である。

検鏡の結果、試料 9, 11, 12 の 3 試料を除く 6 試料よりイネのプラント・オパールが検出された。すなわち、IV 層は 3 地点の全試料より 15,000 個を超えるイネのプラント・オパールが得られた。耕作土は北壁と西壁の 2 地点より 6,000 個超えるイネのプラント・オパールが検出された。また V 層は北壁試料より 2,400 個のイネのプラント・オパールが得られた。

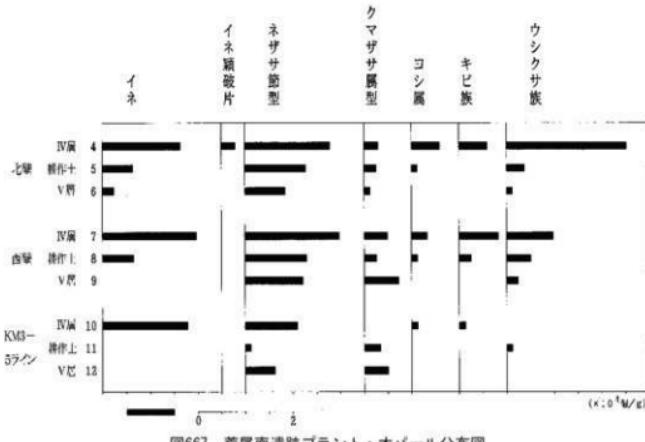


図667 荒尾南遺跡プラント・オパール分布図

表216 試料1g当たりのプラント・オバール個数

試料番号	層位	イネ (個/g)	イネ頸片 (個/g)	ネザサ節型 (個/g)	クマザサ属型 (個/g)	ヨシ属 (個/g)	キビ族 (個/g)	ウシクサ族 (個/g)	不明 (個/g)
4	IV層	16,300	3,000	17,800	3,000	5,900	5,900	25,300	7,400
5	耕作土	6,400	0	12,700	2,500	1,300	0	3,800	6,400
6	V層	2,400	0	8,400	1,200	0	0	1,200	2,400
7	IV層	19,800	0	19,800	4,900	3,300	8,200	9,900	11,500
8	耕作土	6,500	0	12,900	2,600	1,300	2,600	5,200	5,200
9	V層	0	0	12,200	7,300	0	0	2,400	7,300
10	IV層	17,800	0	11,000	0	1,400	1,400	0	11,000
11	耕作土	0	0	1,200	3,500	0	0	1,200	1,200
12	V層	0	0	6,300	5,000	0	0	0	5,000

4 稲作について

上記したように、6試料よりイネのプラント・オバールが検出された。ここで検出個数の目安を示すと、イネのプラント・オバールが試料1g当り5,000個以上という高密度で検出された地点から推定された水田址の分布範囲と、実際の発掘調査とよく対応する結果が得られている（藤原 1984）。こうしたことから、稲作の検証としてこの5,000個を目安に、プラント・オバールの産出状態や遺構の状況をふまえて判断されている。

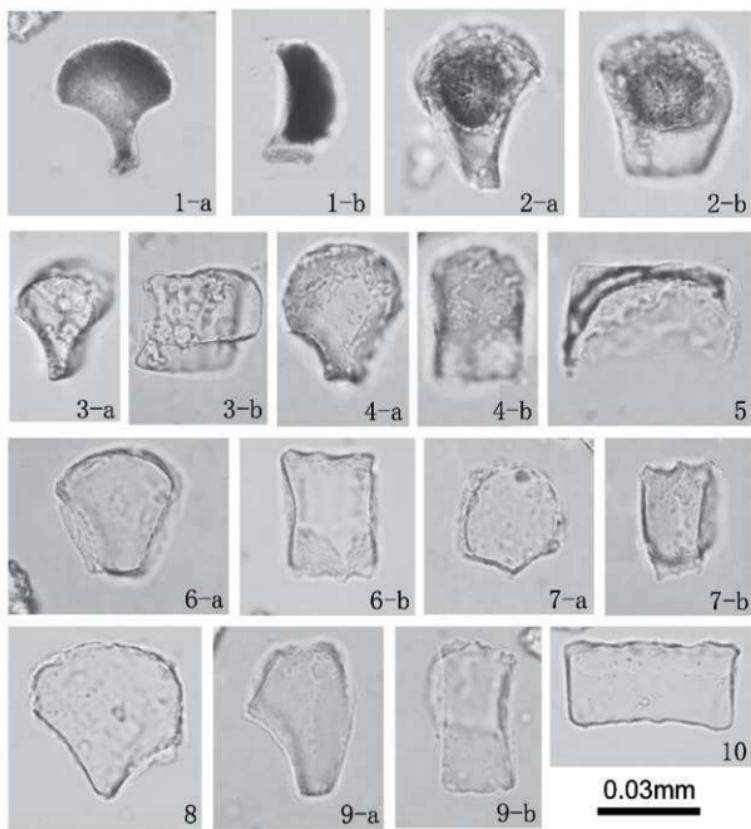
荒尾南遺跡B地区東部で検出したIV層試料については3地点とも5,000個をはるかに越えるイネのプラント・オバールが検出されており、IV層準における稲作の可能性は高いと判断される。

耕作土試料についても北壁と西壁の2地点で5,000個を越えるイネのプラント・オバールが得られており、検出個数からは稲作が行われていた可能性は高いと判断される。しかしながらKM3-5ラインの耕作土試料からイネのプラント・オバールは検出されず、KM3-5ラインの耕作土層準における稲作の可能性は低いと判断されよう。

V層試料については西壁とKM3-5ラインの2地点からイネのプラント・オバールは得られず、唯一観察された北壁試料でも2,400個と5,000個に達していない。こうしたことからB地区東部のV層層準における稲作の可能性は低いとプラント・オバール分析からは判断されよう。

引用文献

- 藤原宏志1976『プラント・オバール分析法の基礎的研究(1)』—数種イネ科植物の珪酸体標本と定量分析法—. 考古学と自然科学, 9, p.15-29.
- 藤原宏志1984『プラント・オバール分析法とその応用—先史時代の水田址探査』—考古学ジャーナル, 227, p.2-7.
- 藤原宏志・佐々木彰1978『プラント・オバール分析法の基礎的研究(2)』—イネ(*Oryza*)属植物における機動細胞珪酸体の形状—. 考古学と自然科学, 11, p.9-20.



1～4. イネ (a: 断面、b: 側面) 1 :No.4、2 :No.5、3 :No.6、4 :No.10

5. イネ頸部破片 No.4

6. ネザサ節型 (a: 断面、b: 側面) No.8

7. クマザサ属型 (a: 断面、b: 側面) No.9

8. ヨシ属 (断面) No.10

9. ウシクサ族 (a: 断面、b: 側面) No.5

10. キビ族 (側面) No.4

写真8 荒尾南遺跡B地区東部で検出した水田のプラント・オバール

第5節 荒尾南遺跡B地区出土木製品の樹種同定

1 はじめに

荒尾南遺跡は大垣市荒尾町から桧町にかけて所在する弥生時代前期から古墳時代前期の遺跡であり、桧遺跡に隣接する。ここではB地区から出土した木製品78点の樹種同定を行なった。なお、一部の樹種同定に際し、独立行政法人森林総合研究所木材特性研究領域の能城修一氏にご指導いただいた。切片採取は株式会社パレオ・ラボ黒沼保子と小林克也が、同定および本文作成は黒沼が行った。

2 試料と方法

試料は、B地区から出土した杭、加工材、柱材を中心とする木製品・加工木78点である。すべてPEG含浸法による保存処理済みである。

方法は、試料採取箇所の表面を水で湿らせた後、剃刀を用いて試料の3断面（横断面・接線断面・放射断面）から切片を採取し、ガムクロラールで封入してプレパラートを作製した。これを光学顕微鏡で観察・同定し、写真撮影を行った。

3 結果

樹種同定の結果、針葉樹ではモミ属、コウヤマキ、スギ、ヒノキ、ヒノキ科、カヤの6分類群、広葉樹ではツヅラジイ、スダジイ、シイ属、イチイガシ、コナラ属アカガシ亜属（以下アカガシ亜属と呼ぶ）、コナラ属クヌギ節（以下クヌギ節と呼ぶ）、コナラ属コナラ節（以下コナラ節と呼ぶ）、ケヤキ、カツラ属、マタタビ属、サカキ、モチノキ属、タラノキ、トネリコ属トネリコ節（以下トネリコ節と呼ぶ）の14分類群、その他に樹種不明の樹皮とタケ亜科があり、合計22分類群が確認された。器種別に集計したものを表217に示す。

表217 器種別の樹種集計

樹種	繖	棒状具	柱	柱根	建築部材	杭	板材	加工材	編組製品	樹皮	総計
モミ属							2				2
コウヤマキ							1				1
スギ						2	3				5
ヒノキ	1		2			4	6	14			27
ヒノキ科						1					1
カヤ							1				1
ツヅラジイ		1									1
スダジイ						1	1	1			3
シイ属						1					1
イチイガシ							2				2
コナラ属アカガシ亜属	2			6		5	4				17
コナラ属クヌギ節							1				1
コナラ属コナラ節							1				1
ケヤキ					1						1
カツラ属							1				1
マタタビ属								1			1
サカキ			1				1				2
タラノキ						4					4
モチノキ属							1				1
トネリコ属トネリコ節		3									3
樹皮									1	1	1
タケ亜科								1			1
総計	2	1	4	9	1	18	7	33	2	1	78

以下に、同定された分類群の木材組織の特徴を記載し、光学顕微鏡写真を図版に示す。

(1) モミ属 *Abies* マツ科 写真9 1a-1c(No. 613)

仮道管および放射組織からなる針葉樹である。早材から晩材への移行は緩やかである。放射組織でじゅず状末端壁がみられる。分野壁孔は小型のスギ型で、1分野に1～4個存在する。

モミ属は暖帯から温帯にかけて生育する常緑高木で、ウラジロモミ・シラベ・トドマツなど約5種ある。材は柔軟で加工容易であるが、割れやすく狂いが出て保存性が低い。

(2) コウヤマキ *Sciadopitys verticillata* (Thunb.) Siebold et Zucc. コウヤマキ科 写真9 2b-2c(No. 51)

仮道管と放射組織からなる針葉樹である。横断面の観察は行えなかったが、放射断面から晩材部の幅は比較的狭いと思われる。分野壁孔は窓状である。

コウヤマキは暖帯上部から温帯に生育する常緑針葉高木である。耐朽性、耐湿性が強く、強靭で微香がある。

(3) スギ *Cryptomeria japonica* (L.f.) D.Don スギ科 写真9 3a-3e(No. 682)

仮道管、放射組織、樹脂細胞からなる針葉樹である。早材から晩材への移行はやや急か穏やかで、晩材部の幅は広い。樹脂細胞は主に晩材部に散在する。分野壁孔は大型のスギ型で、1分野に通常2個並ぶ。

スギは暖帯・温帯下部に生育する。材は比較的軽軟で切削加工は容易、保存性は中庸で、割裂性は大きい。

(4) ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* (Siebold et Zucc.) Endl. ヒノキ科 写真9 4a-4c(No. 58)、5a-5c(No. 633)

仮道管、放射組織、樹脂細胞からなる針葉樹である。早材から晩材への移行は緩やかである。樹脂細胞は主に晩材部に散在する。分野壁孔は中型のトウヒ型～ヒノキ型で、1分野に2個存在する。

ヒノキは温帯から暖帯に分布する。材は加工容易で割裂性は大きく、耐朽性、耐湿性は著しく高く狂いが少ないのである。

(5) ヒノキ科 *Cupressaceae* 写真9・10 6a-6c(No. 679)

仮道管、放射組織、樹脂細胞からなるが、材の腐朽により分野壁孔の形が確認できなかったため、ヒノキ科までの同定とした。

(6) カヤ *Torreya nucifera* Sieb. et Zucc. イチイ科 写真10 7b-7c(No. 5)

仮道管と放射組織からなる針葉樹である。横断面の観察は行えなかった。仮道管壁に2本対になつたらせん肥厚がある。分野壁孔は小型のヒノキ型で、1分野に1～4個存在する。

カヤは暖帯から温帯に分布する常緑高木である。材は木理直通、硬堅、緻密で、弹性・耐久力が強く水湿にも強い。

(7) ツブラジイ *Castanopsis cuspidata* (Thunb.) Schottky ブナ科 写真10 8a-8c(No. 475)

環孔性の放射孔材で、年輪の始めの道管は単独でやや大きいが接線方向に連続しない。晩材部では、徐々に径を減じた小型で薄壁の小道管が集團をなして火炎状に配列する。軸方向柔組織はいびつな線状である。道管の穿孔は単一となる。放射組織は単列の同性で、集合放射組織がみられる。

ツブラジイは暖帯に分布する常緑高木である。材はやや重硬で割裂性・乾燥は中庸、耐久性は著し

く低い。

- (8) スダジイ *Castanopsis sieboldii* (Makino) Hatus. ex T. Yamaz. et Mashiba ブナ科 写真10 9a-9c (No. 681)

環孔性の放射孔材で、年輪の始めの道管は単独でやや大きいが、接線方向に連続しない。晩材部では、徐々に径を減じた小型で薄壁の小道管が集団をなして火炎状に配列する。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管の穿孔は單一である。放射組織は単列の同性である。

スダジイは福島県・新潟県佐渡以南の暖帯に生育する常緑高木である。材はやや重硬で割裂・乾燥・耐朽性は中庸だが、狂いが出やすい。

- (9) シイ属 *Castanopsis* ブナ科 写真10 10a-10c (No. 688)

環孔性の放射孔材で、年輪の始めの道管は単独でやや大きいが接線方向に連続しない。晩材部では、徐々に径を減じた小型で薄壁の小道管が集団をなして火炎状に配列する。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管の穿孔は單一である。放射組織は単列で同性である。

シイ属は暖帯に分布する常緑高木で、スダジイとツブライジがある。ツブライジには集合放射組織があり、スダジイにはみられない。本試料は小片で、集合放射組織の有無が確認できなかつたため、シイ属とした。

- (10) イチイガシ *Quercus gilva* Blume ブナ科 写真10 11a-11c (No. 59)

円形で大型の道管が単独で散在し、やや放射方向に配列する放射孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。穿孔は單一である。放射組織は同性で、単列のものと広放射組織がある。

イチイガシは関東地方以西の太平洋側に分布する常緑高木である。材はきわめて堅硬、弾性強く強韌で、水湿に強い。

- (11) コナラ属アカガシ亜属 *Quercus* subgen. *Cyclobalanopsis* ブナ科 写真10・11 12a-12c (No. 56)、13a (No. 637)

円形でやや大型の道管が単独で放射方向に配列する放射孔材である。軸方向柔細胞はいびつな線状となる。道管の穿孔は單一となる。放射組織は同性で、単列のものと広放射組織がある。

アカガシ亜属は主に暖帯に分布する常緑高木で、アカガシ、ハナカガシ、ツクバネガシ、アラカシなど8種がある。イチイガシ以外は木材組織からは識別困難なため、イチイガシを除いたアカガシ亜属とする。材はきわめて堅硬、弾性強く強韌で、水湿に強い。

- (12) コナラ属クヌギ節 *Quercus* sect. *Aegilops* ブナ科 写真11 14a-14c (No. 4)

年輪界のはじめに大型の道管が並ぶ環孔材で、晩材部では急に径を減じた円形で厚壁の小道管が単独で放射方向に配列する。軸方向柔組織はいびつな線状である。道管の穿孔は單一となる。放射組織は単列同性のものと広放射組織とが存在する。

クヌギ節は暖帯に生育する落葉高木で、クヌギ・アベマキがある。材は全体的に重硬である。

- (13) コナラ属コナラ節 *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科 写真11 15a-15c (No. 627)

年輪界のはじめに大型の道管が並ぶ環孔材で、晩材部では急に径を減じた薄壁で角張った小道管が火炎状に配列する。軸方向柔組織はいびつな線状である。道管の穿孔は單一となる。放射組織は同性で、単列と広放射組織の2種類がある。

コナラ節は温帯下部および暖帯に分布する落葉高木で、カシワ・ミズナラ・コナラ・ナラガシワが

ある。材は全体的に重硬である。

(14) ケヤキ *Zelkova serrata* (Thunb.) Makino ニレ科 写真11 16a-16c(No. 50)

大型の道管が年輪界のはじめに1列に並び、晩材部では小道管が集団をなして接線状から斜線状に配列する環孔材である。道管の穿孔は單一となる。小道管の内壁にはらせん肥厚がみられる。放射組織は異性で、上下端の細胞に大きな結晶をもつ。

ケヤキは温帯下部に分布する落葉高木で、肥沃地や溪畔によく生育する。材は重硬で狂いがない。

(15) カツラ属 *Cercidiphyllum* カツラ科 写真11 17a-17c(No. 630)

ほぼ単独で角張った道管が年輪内で密に分布する散孔材である。道管の穿孔は30本程度の横棒からなる階段状で、道管末尾にらせん肥厚がみられる。放射組織は1~2細胞幅で、平伏細胞と方形細胞からなる異性である。

カツラは温帯から暖帯に分布する落葉高木で、軽軟で韌性があり、加工容易な材である。

(16) マタタビ属 *Actinidia* マタタビ科 写真11・12 18a-18c(No. 716)

年輪界のはじめに中型の道管が配列し、晩材部へ向けて徐々に径を減じながら単独で散在する半環孔材である。道管の穿孔は單一である。放射組織は1~5列幅程度の異性である。

マタタビ属は温帯から暖帯に分布する落葉のつる性木本で、サルナシ、マタタビなど4種がある。

(17) サカキ *Cleyera japonica* Thunb. ツバキ科 写真12 19a-19c(No. 480)

小径でやや角張った道管がほぼ単独で年輪内に均等に分布する散孔材である。道管の穿孔は20段程度の階段状となる。放射組織は異性ではなく1列である。

サカキは温帯から亜熱帯に分布する常緑の小高木である。材は硬く強靭、割裂は困難である。

(18) モチノキ属 *Ilex* モチノキ科 写真12 20a-20c(No. 634)

小型の道管が放射方向に数個複合して散在する散孔材である。道管の穿孔は20段程度の階段状である。道管相互壁孔は対列~階段状、放射組織は多列でほぼ同性である。

モチノキ属は熱帯から温帯に分布する常緑または落葉の高木または低木である。日本には23種があるが、大きく常緑性のモチノキ亜属と落葉性のウメモドキ亜属に分けられる。

(19) タラノキ *Aralia elata* Seem. ウコギ科 写真12 21a-21c(No. 678)

年輪界の始めにやや大型の道管が数列並び、晩材部では小道管が単独もしくは数個複合して接線状に配列する環孔材である。道管の穿孔は單一である。放射組織は3~5列幅の異性で、不完全な精細胞がみられる。

タラノキは温帯から暖帯に分布する落葉低木である。材は強度中庸である。

(20) トネリコ属トネリコ節 *Fraxinus sect. ornus* モクセイ科 写真12 22a-22c(No. 61)

年輪界に沿って大型の道管が1~3列並ぶ環孔材で、晩材部では非常に厚壁の小道管が単独もしくは放射方向に2~3個複合して散在する。軸方向柔組織は周囲状となる。道管の穿孔は單一で、放射組織は同性で1~3列である。

トネリコ節は温帯に分布する落葉高木で、トネリコ、アオダモなど7種がある。材は中庸~やや重硬、切削加工は容易で保存性も中庸である。

(21) 樹皮 Bark 写真12 23a(No. 53)

師細胞および師部放射組織からなる二次細胞および周皮で構成される樹皮である。樹皮は対象標本

が少なく、同定には至っていない。

(22) タケ亜科 Gramineae subfam. Bambusoideae イネ科 写真12 24a(No. 715)

柔細胞と維管束で構成される単子葉類で、維管束が柔細胞中に散在する不育中心柱がある。組織がつぶれているが、厚壁の維管束鞘が確認できる。

タケ亜科はタケ・ササの仲間で12属が含まれるが、桿の組織のみから属や種を識別することは難しい。二次肥大成長を行わないため木本とはいえないが、高く成長するために木材のように用いられる。割裂性が非常に大きい。

4 まとめ

器種別にみると、鉢は2点ともアカガシ亜属で木取りは柾目取りである。棒状具は1点検出されているが、ヒノキで木取りは芯無削出である。建築部材は柾目取りのケヤキであった。柱材はヒノキ、ツラジイ、アカガシ亜属、サカキ、トネリコ節が検出され、木取りは大半が芯持丸木であった。柱根はすべてアカガシ亜属で、木取りは芯持丸木であった。柱根および柱材に使われている樹種は比較的大木になるものが多く、材質も重硬なものが多いように思われる。

杭材はスギ、ヒノキ、ヒノキ科、スダジイ、シイ属、アカガシ亜属、タラノキの7分類群が確認され、木取りはタラノキ、スダジイを含むシイ属がすべて芯持丸木、アカガシ亜属が芯持丸木と柾目材、ヒノキやスギの針葉樹類は板目材と、樹種によって木取りが異なっていた。杭材には身近な材を用いることが多いため、これらの樹種が遺跡周辺に生育していたものと推測される。

板材はスダジイが1点ある他はすべてヒノキであった。木取りは板目、柾目、追柾目、割材など様々であった。加工材はモミ属、コウヤマキ、スギ、ヒノキ、カヤ、スダジイ、イチイガシ、アカガシ亜属、クヌギ節、コナラ節、カツラ属、サカキ、モチノキ属の13分類群が確認された。木取りは板目、柾目、追柾目、芯無削出、芯持丸木、角材、割材があるが、樹種ごとの傾向は見られなかった。

編組製品はマタタビ属とタケ亜科が1点ずつ検出された。マタタビ属は丸木状のまま使用されていたが、タケ亜科は組織が崩れており、おそらく割裂したものと思われる。編組製品に用いられる素材としては木本、草本、蔓植物、タケ亜科、シダ類などがあり、必要に応じて割裂して利用される。マタタビ属は林内および林縁によく生育する樹種であり、編組製品への利用が確認されている遺跡としては、地域は異なるが、弥生時代前期～古墳時代初頭の鳥取県の青谷上寺地遺跡などがある（鳥取県埋蔵文化財センター、2005）。

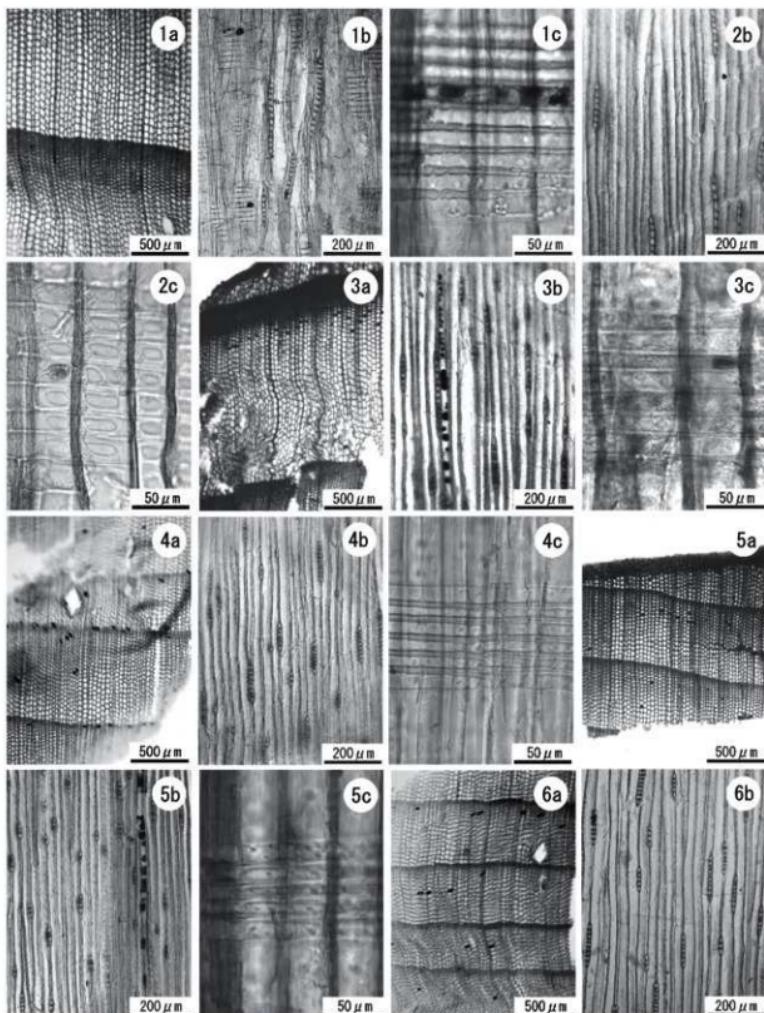
全体では針葉樹のヒノキが27点と最も多く、次いで広葉樹のアカガシ亜属が17点検出された。広葉樹が16分類群と多く検出されているが、ほとんどが1～2点程度の検出である。イチイガシを含むアカガシ亜属およびツラジイ、スダジイを含むシイ属は常緑高木であり、遺跡周辺の主要な森林構成要素であったと思われる。モチノキ属やサカキも常緑広葉樹林内に生育する常緑の低木～小高木である。また、ヒノキを中心とする針葉樹は丘陵地に、トネリコ節は湿潤な環境に生育するなど生育環境が異なっていることから、遺跡周辺の様々な場所から用途に応じて伐採を行ったと推測される。

なお、今回の樹種同定ではアカガシ亜属が、イチイガシとイチイガシ以外のアカガシ亜属に分類することができた。これまでに行われた本遺跡の自然科学分析では、花粉分析や樹種同定でアカガシ亜属が多く検出されており、種レベルで同定可能な大型植物遺体（種子）ではイチイガシが多く検出さ

れていた（新山, 1998）。今後、樹種同定においてもアカガシ亜属の中でイチイガシが識別可能となり、周辺植生と植物利用の関わりがより解明されるようになると思われる。

引用文献

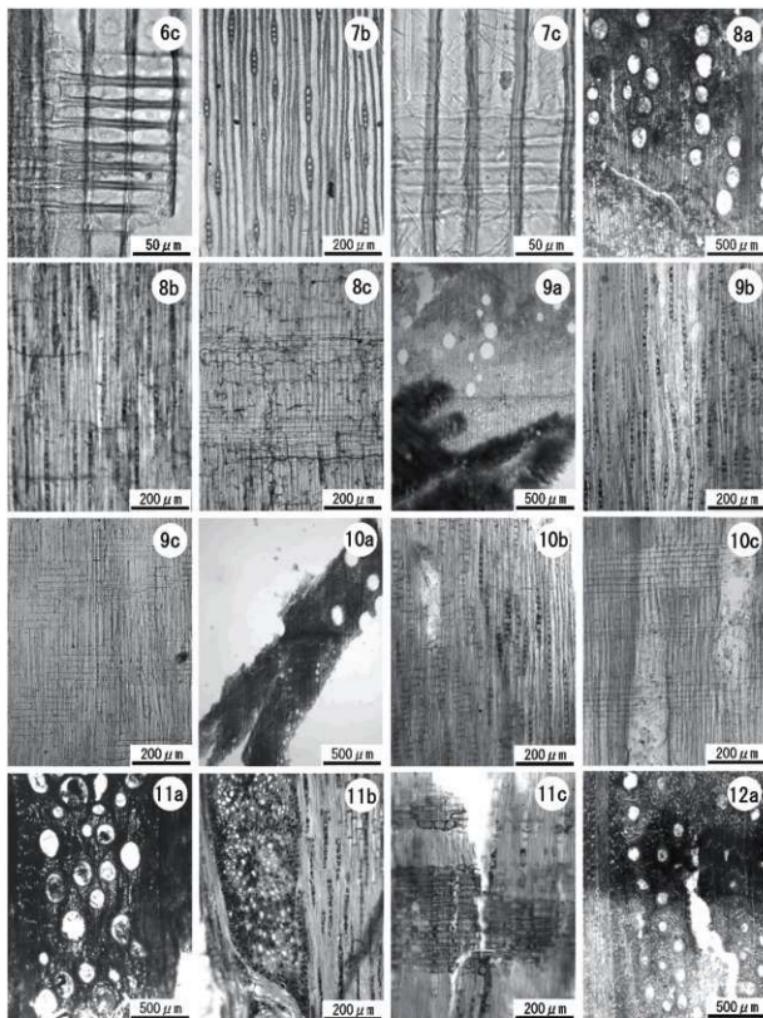
新山雅広1998、岐阜県文化財保護センター編『荒尾南遺跡、（荒尾南遺跡の花粉化石群集86-91）』鳥取県埋蔵文化財センター2005『青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告書1（木製容器・かご、158p）』



1a-1c. モミ属 (No.613) 2b-2c. コウヤマキ (No.51) 3a-3c. スギ (No.682) 4a-4c. ヒノキ (No.58)
5a-5c. ヒノキ (No.633) 6a-6b. ヒノキ科 (No.679)

a:横断面、b:接線断面、c:放射断面

写真9 荒尾南遺跡B地区出土材の光学顕微鏡写真（1）

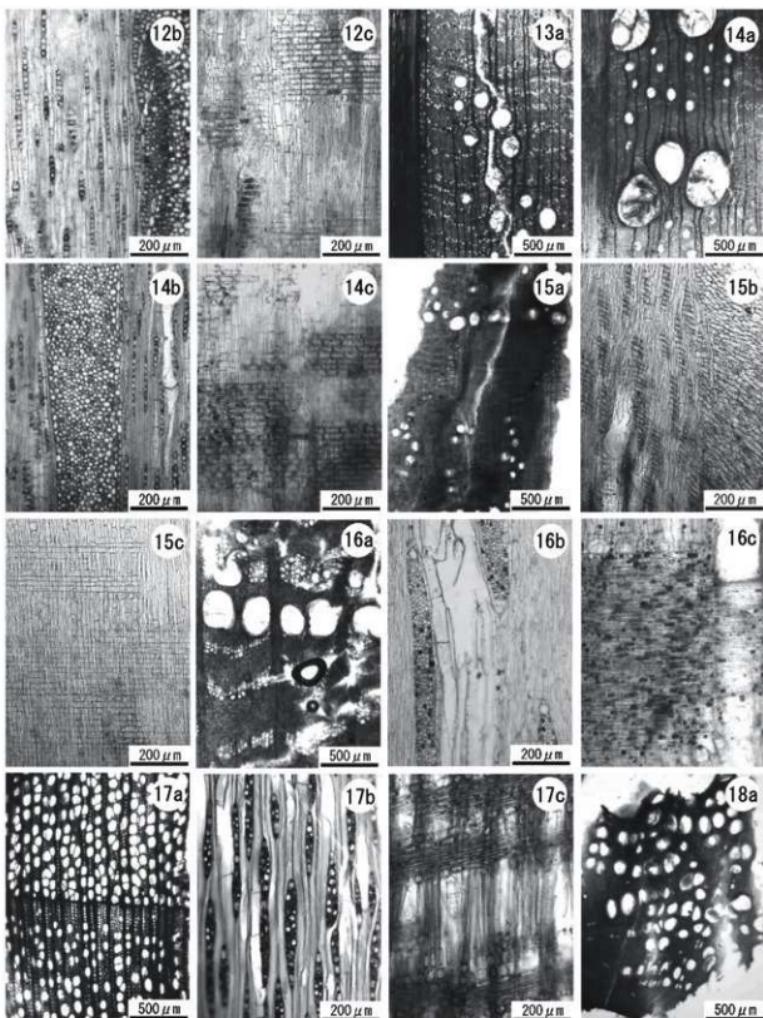


6c. ヒノキ科 (No.679) 7b-7c. カヤ (No.5) 8a-8c. ツブラジイ (No.475) 9a-9c. スダジイ (No.681)

10a-10c. シイ属 (No.688) 11a-11c. イチイガシ (No.59) 12a. コナラ属アカガシ亜属 (No.56)

a:横断面、b:接線断面、c:放射断面

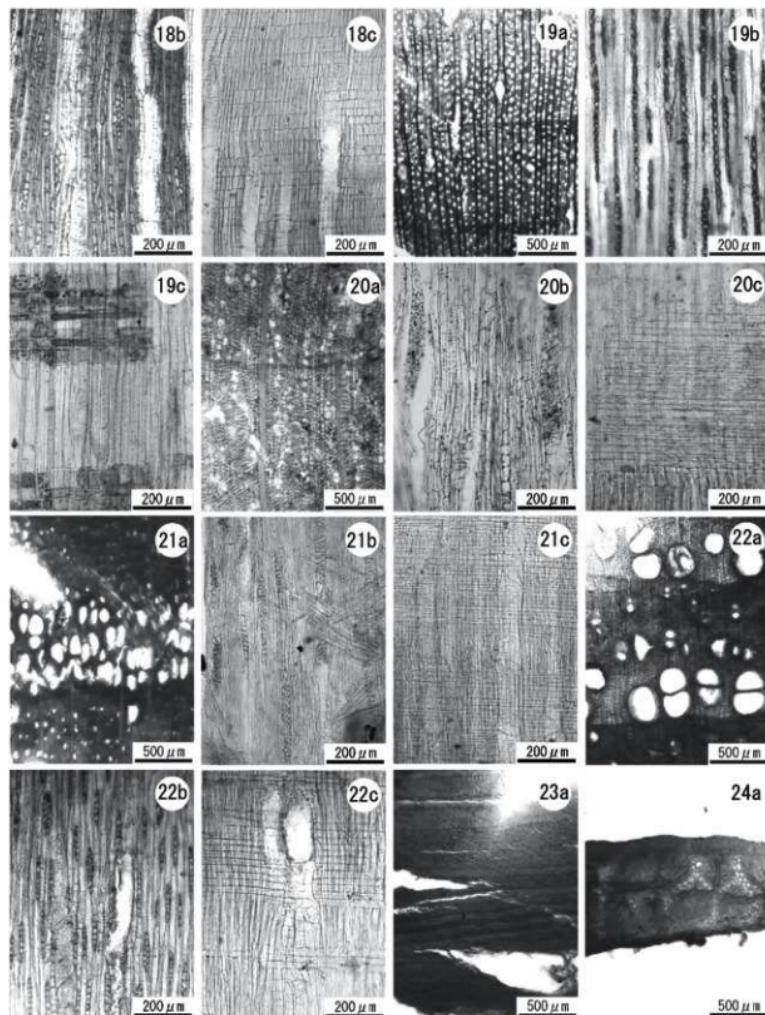
写真10 荒尾南遺跡B地区出土材の光学顕微鏡写真 (2)



12b-12c. コナラ属アカガシ亜属 (No.56) 13a. コナラ属アカガシ亜属 (No.637) 14a-14c. コナラ属
クヌギ節 (No.4) 15a-15c. コナラ属コナラ節 (No.627) 16a-16c. ケヤキ (No.50) 17a-17c. カツラ属 (No.630)
18a. マタタビ属 (No.716)

a:横断面、b:接線断面、c:放射断面

写真11 荒尾南遺跡B地区出土材の光学顕微鏡写真 (3)



18b-18c. マタタビ属 (No.716) 19b-19c. サカキ (No.480)

20a-20c. モチノキ属 (No.634) 21a-21c. タラノキ (No.678)

22a-22c. トネリコ属トネリコ節 (No.61) 23a. 樹皮 (No.53)

24a. タケ亜科 (No.715)

a:横断面、b:接線断面、c:放射断面

写真12 荒尾南遺跡B地区出土材の光学顕微鏡写真 (4)

第6章 総括

第1節 遺構・遺物の検討

ここではA地区報告書の報告を受けて、新たに加わった遺構・遺物や検討すべき遺構・遺物について、述べる。

1 繩文時代晚期

繩文時代晚期の確実な遺構は認められなかつたが、少量ながらも繩文時代晚期後半の資料がB地区西部でえられた。なかでも注目すべきはSK01894出土の鉢（図1268）である。大洞C式の新しい時期に相当すると考えられ、文様構成や刺突文をもつ点からみて石川県を中心とする日本海側からの搬入品である可能性が高い。類似する資料は一宮市馬見塚遺跡の例がよく知られており、東海地方ではこれに続く3例目である¹⁾。464は半完存品で、遺存状況もよく、今後の基準資料となりうるものである。近くから石棒（39610）が出土している。464に伴うものか断定できないが、土器だけではなく石製品にも今後注目する必要がある。

2 弥生時代～古墳時代

I期

繩文時代晚期と同様、I期の資料が断片的だが、B地区西部から出土した。一部、土坑から出土した事例も認められるが、確実にI期となる遺構は確認できなかつた。土器では799が興味深い資料である。遠賀川系土器に類似するが、口縁端部の形状、文様の位置や胎土が赤褐色を呈するなど、本来の遠賀川系土器とは異なる特徴が多く認められる。口縁端部の形状は1232などのように繩文時代晚期終末と考えられる資料の形状と類似する²⁾。本来の遠賀川系土器とは異なるものの、遠賀川系土器に似せて製作された可能性がある。類似する事例として金剛坂式があげられるが、金剛坂式の資料にはあてはまらない。799はいわゆる垂流遠賀川系土器の1つと考えられるが、金剛坂式とは別型式となりうる可能性がある。滋賀県には繩文時代晚期終末～弥生時代前期にかけて独自の変容壺が認められるので、こうした資料も含めて、検討すべき資料の1つであろう。

II期～IV期

ここでは周溝墓について概観する。弥生時代中期の周溝墓35基を新たに確認した（図669）。そのうち30基が東部に位置し、多くがA地区でI群とした列状に南北に伸びる墓域の延長上にある。II期の周溝墓がA地区より、まとまりをもって確認できた。

II期の周溝墓は計9基（SZ058, 064, 065, 066, 072, 074, 075, 079, 080）を数え、東部の南半分に集中する。当初、I群とした周溝墓はIII期の墓域として設定したものであるが、他の時期も認められる。III期の周溝墓はB地区ではSZ057を北限にして、南限はSZ063である。SZ063より南側にも列状に周溝

1) 石川氏、久田氏のご教示

2) 石川氏のご教示

墓が位置するが、多くがII期の周溝墓である。これらII期の周溝墓は、四隅切れであることや平面形が長方形で周囲にあるIII・IV期の周溝墓より一回り規模が小さいことに特徴がある。III期のSZ057、IV期のSZ071と重複関係があつて、SZ057より先行するSZ058、SZ071より先行するSZ072にも同様の傾向を認めることができる。また、A地区から続く中央の空白域の両側に配置される傾向も共通していることから、I群は一部を除いて、II～III期にかけて設営されたと考えられる。II期の周溝墓は他の時期と重複する周溝墓がすでに述べたように2基のみで、III期周溝墓の南限付近にあたることからII期とIII期の墓域はI群のなかでは、それほど重複していなかった可能性がある。課題はA地区と同様、列状に設営された理由である。A地区では中央の空白域を墓道?として検討したが、B地区ではI群周溝墓の東側の1列が空白域とSD0381に挟まれた位置にある。これらが南北に連なる。空白域とさらにSD0381によって周溝墓の設営が規制されているようみえる。結果としての空白域となる墓道?と埋めようのない空白域のSD0381とでは規制といつても、そのもつ意味は違う。問題はSD0381と周溝墓の先後関係にある。SD0381がII期以前に掘削したのであれば、II期に始まる周溝墓の設営がSD0381によって規制されたことになるが、II期以降の掘削であればSD0381がすでにある周溝墓を避けて掘削されたことになる。大溝からはI期の資料も出土するが、その出土量はわずかでI期に掘削したとは考えられない。II期の資料が比較的多く認められるが、圧倒的にV～VII期の資料が多いため、II期から掘削したとも断定できない。仮にV期以降にSD0381が掘削されて、大溝の掘削範囲に周溝墓が分布しているとするなら、SD0381掘削に伴う周溝墓の損壊によって、SD0381内から周溝墓から伴出すべき供獻土器が出土する可能性がある。しかし、これまでその痕跡を示す資料は確認していないので、SD0381の掘削開始時期を明確にできない。先後関係の判断は難しい。現状ではSD0381の掘削時期はV期よりさかのぼって周溝墓と同時期に存在した可能性があると考えたい。参考したいのが、中央の

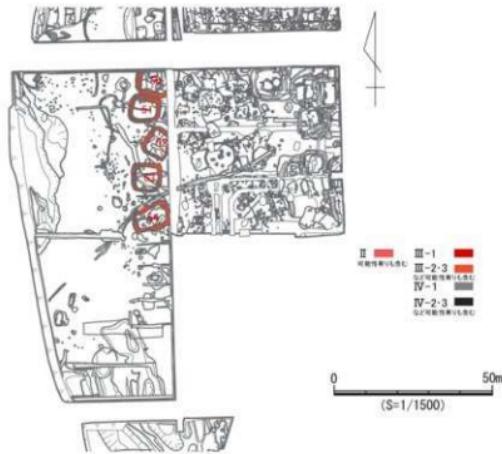


図668 B地区西部方形周溝墓位置図(数字は遺構番号)

墓道？の空白域とは別にSD0381西側に隣接する周溝墓が途切れるA・B・Cの空間である。Bは堆積が安定していないので判断は控えるが、重要なのはAとBである。Aは中央の空白域と大溝が最も接近する空間にあたり、大溝を西側に拡張している。ここに周溝墓が位置していないのは何らかの意図があると考えられる。また、これよりSZ058を境にして南側にII期の周溝墓が分布する。CもSD0381を西側へ大きく拡張した空間にあたる。掘削した時期はV期以降であるが、周囲には削平された周溝墓の痕跡が認められないので、掘削以前から周溝墓がない空間であった可能性がある。こうした周溝墓の認められない空間とSD0381の拡張、さらには中央の空白域の関係は、結論を導き出せないが、場の利用として何らかの関係をもっていた可能性がある。

III期の周溝墓はすでに述べた通り、I群に分布し計8基(SZ055～057、059～063)を数える。そのなかで最初に構築されたのがSZ057である。規模も最も大きい。その後、周囲のIII期の周溝墓が構築されると考えられる。

IV期の周溝墓は計18基が相当する(SZ050～054、SZ068～071、073、076～078、081～085)。西部に位置するSZ050～054の5基はA地区西端にあるSZ004から続いて南北に並ぶようにみえるが、その軸となる方向がさまざまである。A地区と軸となる方向がそろいのはSZ050・051と考えられる。東部では比較的、軸をそろえた配置が認められる(SZ068～071・073、SZ076～078・081)。III期周溝墓のように列状のような配置とはならず塊状のような分布を示すが、軸の方向はII期やIII期の周溝墓と類似する。その一方で、東部南端に位置するSZ082～085はやや前述のIV基周溝墓とは軸の方向が異なる。とくにSZ082、085において顕著である。北側にはIV基周溝墓が認められることから、別の意図で構築されたとも考えられる。南側については今後、整理作業を進めるので、その成果をまって検討したい。

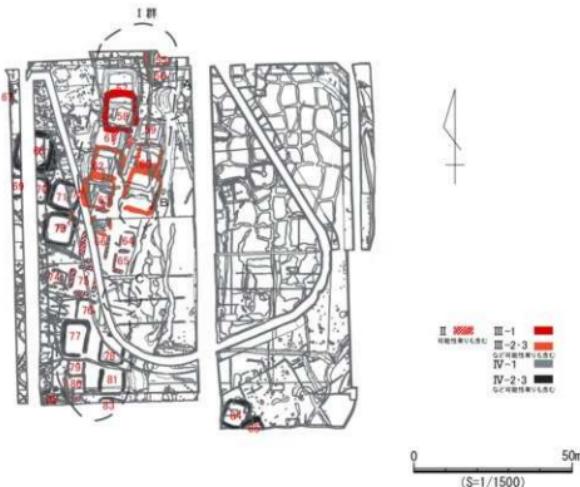


図669 B地区東部方形周溝墓位置図(数字は遺構番号)

V～VII期

集落が展開する時期にあたる。A地区では、周溝墓が展開する弥生時代中期から集落が展開するV期後半までの間、すなわちV期前半の遺構・遺物が希薄であった。今回報告するB地区でも同様の傾向を示す。SD0381からV期前半の土器資料が出土したので、遺跡の利用としての空白期はないと考えられるが、明確な遺構が認められないのが現状である。今後の課題としたい。ここでは、A地区の時期区分した資料のなかで、断片的であったVI-3期及びVII-3期に新たに良好な資料がえられたので、これについて報告する。また、西部南側にある構造遺構についてふれる。

SK01881

SK01881から一括資料が出土した。高坏、器台、甕、鉢の特徴からVI-3期に相当する。まず、VI-3期に特徴的な器種について述べる。高坏はC3類（1215・1216・1220）が認められる。なかでも、口縁部内面を肥厚した部位に多条沈線を施すC3b類（1220）の出土量が多い。坏底部面が比較的平坦でその幅がやや広く、坏部の側面が台形状を呈する。脚部は付根から円錐形となり、強く内湾しないことに特徴がある。坏部の大きさに比して、脚部は低脚なことも特徴としてあげられる。沈線がさらに多条化し、他の文様と組み合わさるVII-1期の直前段階に位置づけられる。1215は脚部がやや長脚で透孔付近からやや内湾する。VI-1期からの系譜をもつ資料である。器台B3類（1223）は脚部が付根から円錐形に開き、透孔付近からわずかに内湾する。甕は口縁端部を痕跡的に直立させるA4類（1249）、口縁部がくの字に屈折するがわずかに内湾するC2類（1250）がある。1256はS字甕A類で甕D1b類にあたる。鉢A3a類（1239）は口頭部が長くなる。これらがVI-3期に特徴的な器種と考えられる。口縁端部を強く屈曲させる甕A1類（1257）、鉢A2類（1237）はVI-1期に多いと考えていたが、VI-3期まで残ることが明らかとなった。一方で、頭部直下の文様の簡略化が認められる。同様にVI-1期から継続するものとして高坏I類（1221）、鉢B類（1243）がある。1221は脚裾部が強く外反し、VI-1期までの資料と酷似している。壺はこれまで良好な資料が確認できなかったが、1229、1231、1233、1238などほぼ器形が判明する資料がえられた。1229は壺G2類でVII-1期にかけて盛行する器種である。1234も壺G類だが、脚台付でこれまでの出土例では確認できない少数例である。1231、1230とともに壺H2類で、口頭部の内湾が進む。1229と同様、VII-1期にも同様の資料がみられる。壺A1類の1233は口縁部が強く外反し、端部を下方に拡張する。内面には羽状文、胴部には波状文がある。V期の資料にも類似するが、口縁部がやや短く端部下方が内傾する、胴部がやや下膨であるなどから前段階に系譜をもつ資料がVI-3期まで残るのであろう。1238は口縁部が強く屈折して開く壺M4類で、羽状文の施文が顯著な資料である。これまで、口縁部の断片的な資料が出土するのみで、時期決定できなかった資料である。本資料で壺A4類の所属時期がおさえられた。1235は小型の精製鉢で鉢D類にあたる。小型の鉢はVI-1期から認められる。以上のように、これまでVI-3期の資料のほかに、壺A類やG類が加わることが確認できた。また、甕A1類、鉢A2類のようにVI期前半の器種も文様に退化傾向を認めつつも、VI-3期まで残ることが明らかになったと考えられる。

SK01810

口縁部が大きく開き、坏底部の狭い高坏D類（1106・1110・1108・1112）が認められることから、VII-3期の資料と判断した。これらの高坏は内面加飾の比率が高く、1110、1112のように多条沈線が多段化して、山形文や連弧文など他の文様と組み合う。多条沈線と他の文様が組み合う資料はVII-1期

VI-3期 SK01881

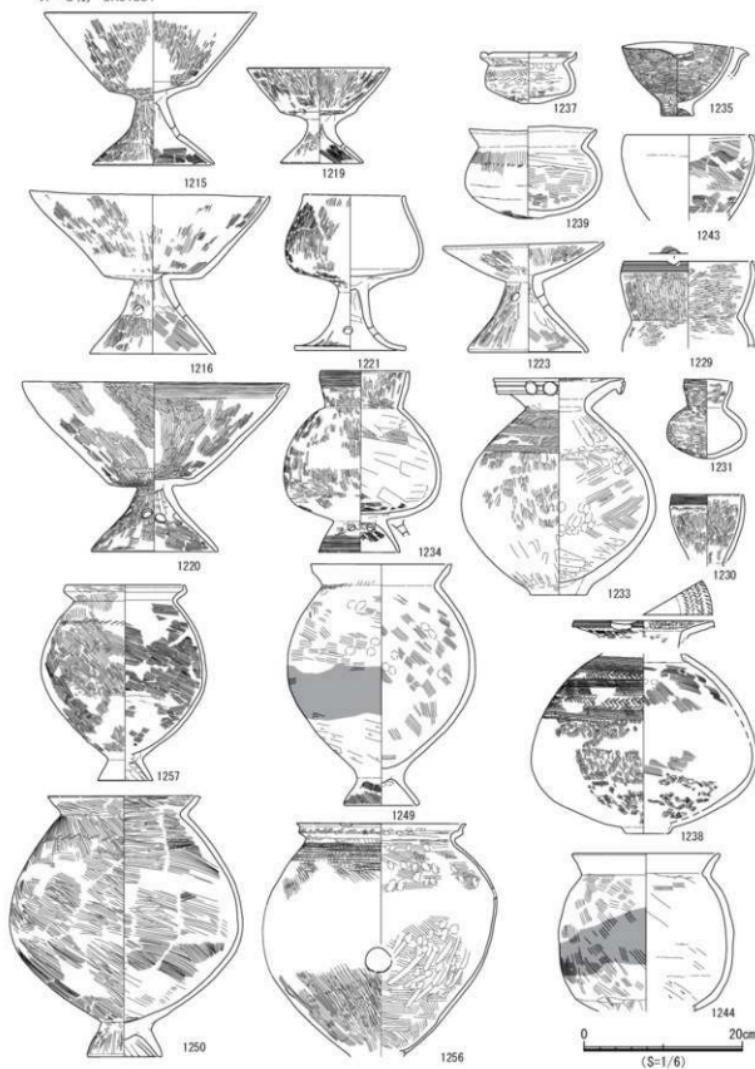


図670 VI-3期の土器 (SK01881出土)

から認められるが、他の文様との間を埋める多条沈線が少条となる。さらに連弧文を施す資料が増える。その文様構成が壺J類（1111）や鉢（1117）にも採用され、高環の文様が他の器種へと拡散する傾向が認められる。1119は二重口縁壺で内面には羽状文がある。甕を除く器種の加飾が著しいのが、VII-3期の特徴の1つと考えられる。甕はC2類（1121）が継続して認められ、S字甕B類であるD2b類も継続して伴うことが明らかとなった。

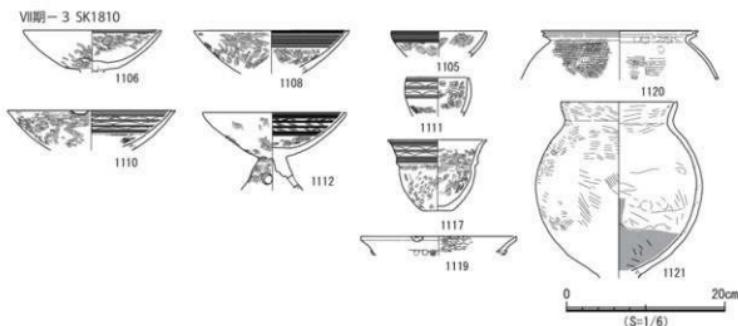


図671 VII-3期の土器（SK01810出土）

東部南側にある溝について

西側の溝について述べる。東部は北西隅に竪穴住居跡が密集する。その範囲はSB120がやや離れた位置にあるのでこれを除くと、SB116までが密集する範囲の南限と考えられる。SB116の南側へ約25m離れて、東西の伸びるSD0475が位置する。東端はSD0381へつながり、集落域を区画する溝の可能性が高い。SD0475より南側は周溝墓を避けるようにして、多くの溝が認められ、竪穴住居跡や他の施設がほとんど認められない地域である。SD0475よりさらに南側に約37m離れて東西に伸びるSD0493があり、東端はSD0381につながる。SD0493は溝両側に竪穴住居跡が顕著に認められないで、SD0475と同様に集落域との関わりを想定できないが、場を何らかの目的で区画した可能性がある。SD0493の南に隣接して位置するSD0495は東西に伸びる溝で、その南側に竪穴住居跡が密集することが平成18年度の発掘調査によって明らかとなっており、集落域を区画する溝と考えられる。これら3条の溝に挟まれた空間は竪穴住居跡が分布しないが、無数の溝状遺構が認められるので、何らかの目的で利用したことは明らかである。細かくみるとSD0493とSD0495の間は溝状遺構の分布が希薄のため、溝状遺構が集中するのはSD0475とSD0493の間と考えられる。この間で検出した溝状遺構は掘り込みが浅く、東西方向に直線的に伸びるもののが大半を占める。そのなかに弧状となるものがあり、円形にめぐるSD0490例の一部の可能性がある。SD0490は溝が円形にめぐり、南端はSD0493につながる。内部には柱穴など施設の構築を示す根柢は確認できなかったが、何らかの目的があつて円形に溝をめぐらしたことは明らかである。また、西側に溝3条が伸び、SK02331へつながる。何か特殊な場の利用が考えられる。溝内からの遺物の出土はわずかにとどまったが砾石2点が出土した。砾石の出土が内部の利用形態を考える上で、重要な意味をもつ可能性がある。これまでこのような円形の溝と砾石出土の事例がないので、現状では言及をさけるが、今後の資料の増加によって改めて検討すべき事例であ

る。

東側の溝と周辺にある遺構について述べる。SD0381の東側にあって、東西に伸びるSD0588と南北に伸びるSD0653・SD0654に囲まれた地域は遺構分布が希薄な地域である。そのなかにはSB121がある。SB121はこの場に1軒のみで、これまで報告した住居跡のなかで唯一、平地型の可能性が高い住居跡である。他の堅穴住居跡が密集する地域と比べると場の利用目的が異なる可能性がある。さらに西側にはSH008があり、その関係にも注意しておく必要がある。また、北西側にはSD0381から分岐した後、再度合流するSD0577の両側には遺構分布の少ない地域がある。SD0381より東側は水田城を除くと遺構の密度が低い。そのため、集落の縁辺ともみてとれるが、SB121及びSH008の存在からすると、SD0381西側にある堅穴住居跡の密集域とは別の目的をもって場を利用した可能性があり、遺構密度が低いことに何か意味があるとも考えられる。また、SD0654から北へ続くSD0649からは鳥形木製品(2393)が出土したことでもSB121の役割を考える上で重要である。SD0381と集落との関わりは、荒尾南遺跡全体を理解する上で重要な鍵となることは間違いない。今後も検討を進めたい。



図672 東部堅穴住居跡・溝状遺構位置図

第2節 遺構及び遺物包含層出土石器の分布について

B地区で出土した石器類のうち、今回報告するのは、305点である。ここでは、遺構及び遺物包含層中で出土した石器を5mグリッド毎にカウントし、分布傾向を把握したい。

小型剥片石器類 打製石鏃はB地区東部に分布する。石材はチャート主体であり、大きさは有茎のタイプでも4cm前後と小さめである。形態的には両側縁に明瞭な肩と逆刺を有し、茎を除く平面形が五角形となるいわゆる五角形鏃、もしくは側縁が外彫か直線的になり基部にわずかな抉りの入るものが多い。打製石鏃は、弥生時代中期前葉から中葉前半にかけて長大化・大型化する傾向にある。また、中期後葉には小型化し、肩が丸まる傾向を示す¹⁾。荒尾南遺跡出土の打製石鏃は比較的小型で側縁が有肩・直線的になることから、中間の時期である弥生時代中期中葉後半の時期のものと考えられる。打製石鏃が分布するB地区東部北側にはIII期の周溝墓が位置し、遺構の時期とも一致する。

石錐、刃器、楔形石器については、それぞれ1点と少なく、有用な分布傾向を得られなかつた。また、R.F.・剥片については、B地区東部・西部に散漫な分布を示す。

磨製石器類 磨製石斧は散漫な分布であったが、石棒類はB地区西部に多い。石棒類は黒色片岩・結晶片岩・ホルンフェルス製の小・中型の石棒であることから、縄文時代晩期後半以降のものと考えられる。B地区では縄文時代晩期の遺構は残存しなかつたが、縄文時代晩期後半の土器が出土している。また、A地区的北西側では縄文時代晩期の住居跡(SB001)を確認していることから、荒尾南遺跡の西側には弥生時代以前の集落・墓域が広がっていた可能性がある。

玉類 玉類はB地区東部南側大溝付近に集中する。玉類が出土した場所は、周溝が廻る単独の住居跡(SB121)と水田を区画する溝(SD0652)が大溝に直交する位置にある。祭祀的な意味合いも推定できるが、溝埋土出土のため、移動した可能性もあることから断定はできない。

石鏃 明確な位置を示せなかつたが、玉類が出土した付近の溝SD0577から1点出土している。

磨石・軽石製品 B地区東部・西部に散漫な分布を示し、有用な分布傾向を得られなかつた。

叩石・砥石 砥石は器種別点数の割合では、53.4%と多い。砥石全体ではB地区東部・西部に散漫な分布を示す。しかしながら、福井県周辺で産出する凝灰岩に質感が類似する角柱状の手持ち砥石はB地区西部に分布を示す。このタイプの砥石は古代以降の可能性が高く²⁾、B地区西部の第一面の水田遺構の時期とも一致する。また、鉄製工具の刃先によると考えられるV字状の溝が入る砥石や明瞭な光沢面のある砥石は、大溝の西側及び西部河川跡の東側を中心に入分布する。住居域に近接した水場を利用し、鉄製工具の刃先を整えるために利用した可能性がある。叩石も砥石と同様の分布を示す。叩石は縄文時代のものに比べ、大ぶりで、亜円礫や長楕円礫の端部及び側縁部上方に敲打痕を有する。叩石の用途は不明であるが、砥石の中には砥面に敲打痕を残すものや、その敲打痕の上に新たな砥面が形成されているものが存在することから、叩石を利用し、砥石の研磨面を再生した可能性がある。

1) 西村勝広『荒尾平野における有茎五角形石鏃について(岐阜)』『第7回例会発表要旨集 弥生時代の再検討—器種・製作技術・石材一』中部弥生研究会による。

2) 堀木真美子氏の御教示による

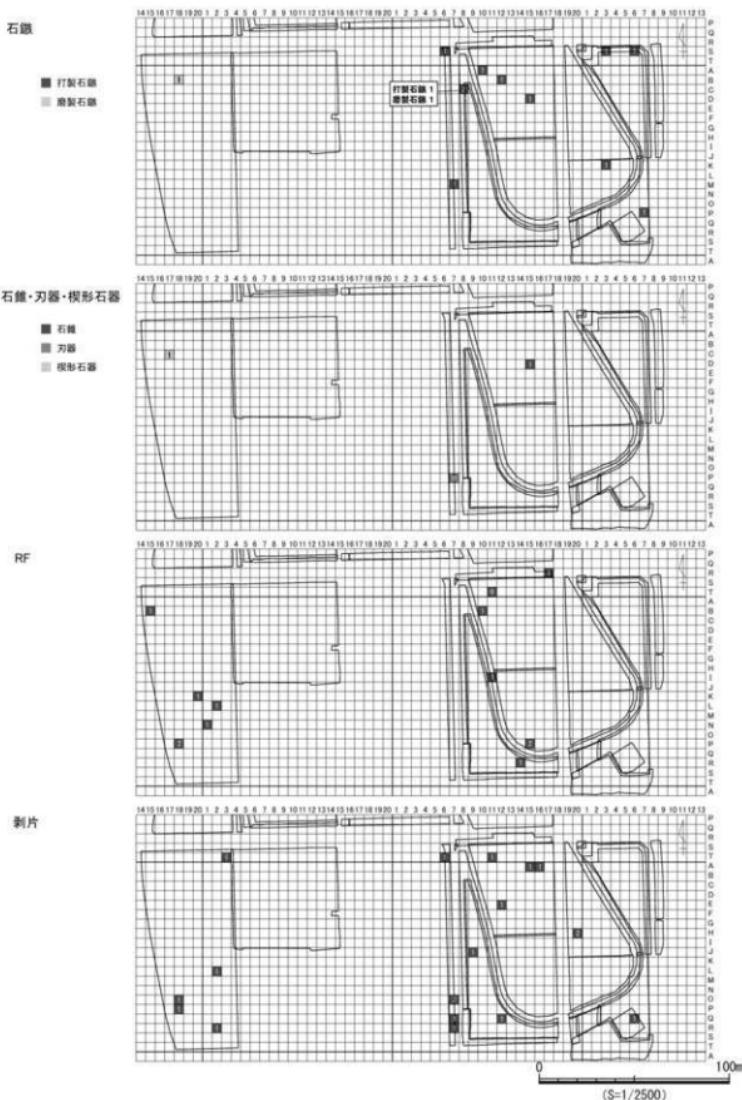
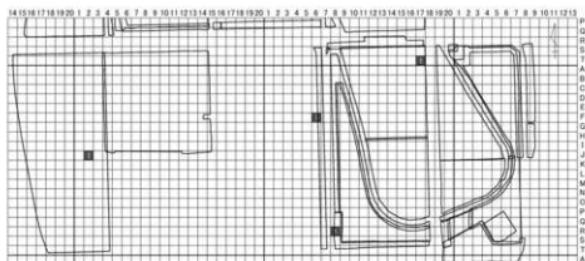


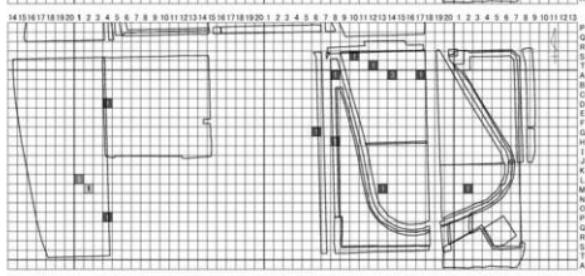
図673 石器出土状況図（1）

磨製石斧

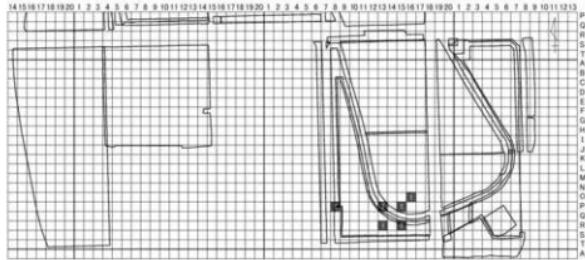


凹石・磨石・鉈石

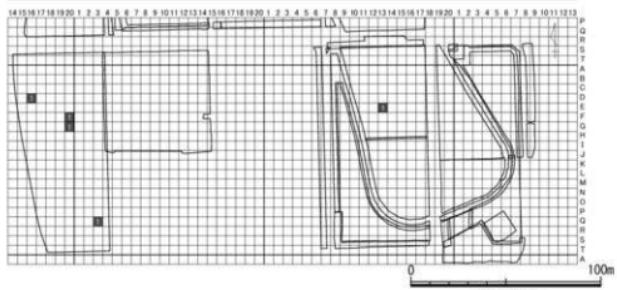
■ 凹石
■ 磨石
■ 鉈石



玉類



石製品



(S=1/2500)

図674 石器出土状況図（2）

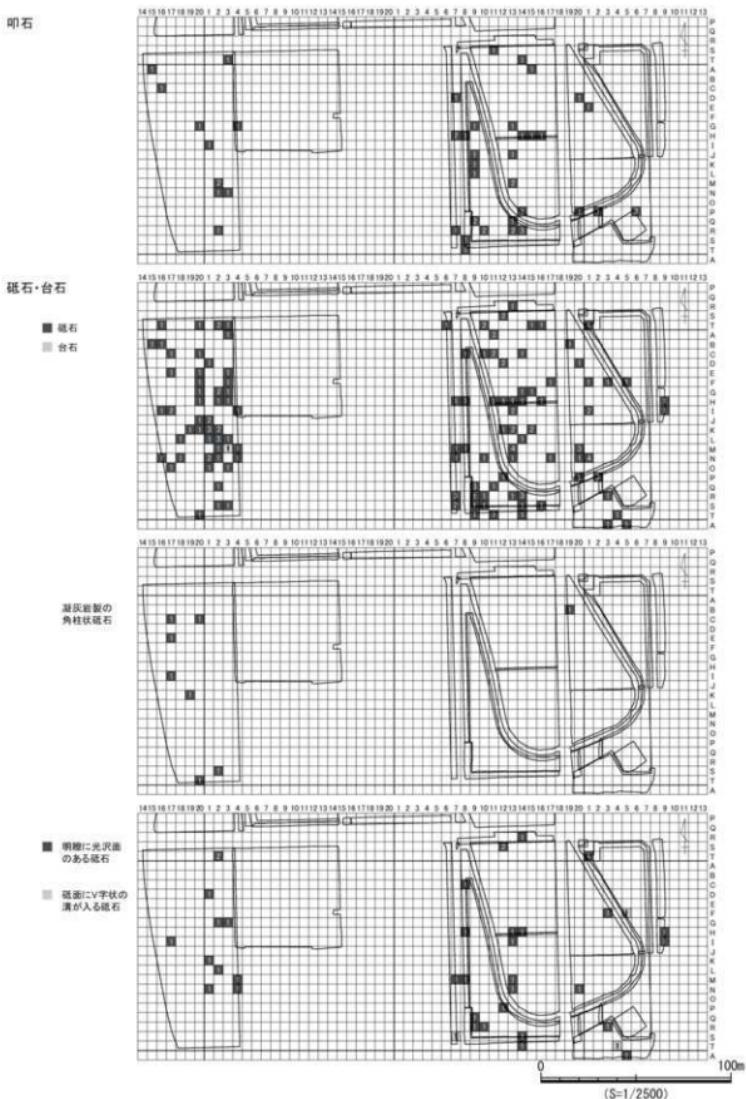


図675 石器出土状況図（3）

参考文献

- 愛知県史編さん委員会2007『愛知県史 別編 窯業2 中世・近世 漢戸系』
- 赤塚次郎2002「総説 土器様式の偏差と古墳文化」『考古資料大観2 弥生・古墳文化 土器II』小学館
- 石川日出志・武末純一2003「総説 弥生早期から中期の土器」『考古資料大観1 弥生・古墳時代 土器I』小学館
- 大垣市教育委員会1990『大垣市埋蔵文化財調査概要 昭和63年度』大垣市文化財調査報告第16集
- 大垣市教育委員会1993『岐阜県大垣市遺跡詳細分布調査概要報告書(II) 平成2年度』大垣市文化財調査報告第21集
- 大垣市教育委員会1994『大垣市埋蔵文化財調査概要 平成4年度』大垣市文化財調査報告第23集
- 大垣市教育委員会1997『曾根八千町遺跡』大垣市埋蔵文化財調査報告第6集
- 大垣市教育委員会1997「桧・荒尾南遺跡試掘立会調査」『大垣市埋蔵文化財調査概要 平成7年度』大垣市文化財調査報告第30集
- 大垣市教育委員会1998a『大垣市埋蔵文化財調査概要 平成8年度』大垣市文化財調査報告第32集
- 大垣市教育委員会1998b『大垣市埋蔵文化財調査概要 平成9年度』大垣市文化財調査報告第34集
- 大垣市教育委員会2000『大垣市埋蔵文化財調査概要 平成10年度』大垣市文化財調査報告第36集
- 大垣市教育委員会2001『大垣市埋蔵文化財調査概要 平成11年度』大垣市文化財調査報告第38集
- 大垣市教育委員会2001『荒尾南遺跡I』大垣市埋蔵文化財調査報告書第10集
- 大垣市教育委員会2003『荒尾南遺跡II』大垣市埋蔵文化財調査報告書第13集
- 大垣市教育委員会2004『東町田遺跡』大垣市埋蔵文化財調査報告書第14集
- 大垣市教育委員会2008『荒尾南遺跡III』大垣市埋蔵文化財調査報告書第18集
- (財)岐阜県文化財保護センター1998『荒尾南遺跡』岐阜県文化財保護センター調査報告第26集
- 早野浩二2002「東海・中部地方の土器」『考古資料大観3 弥生・古墳時代 土器III』小学館
- 中野晴久1995「生産地における編年について」『常滑焼と中世社会』小学館

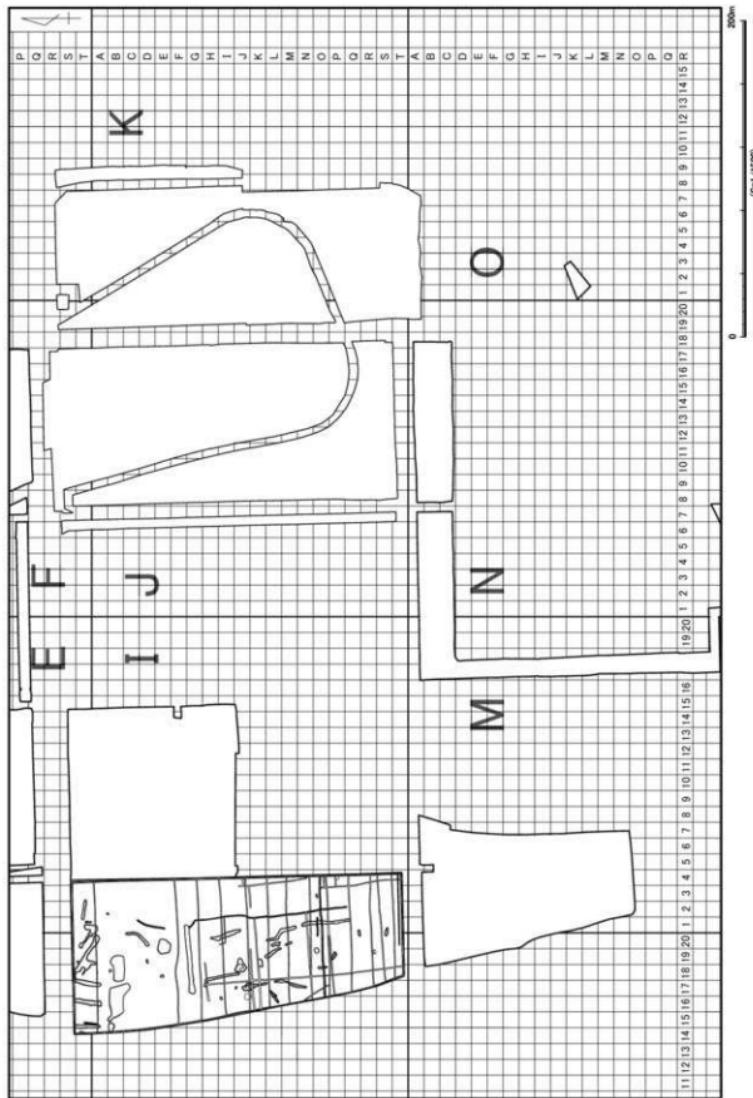


図676 調査区全体図①面

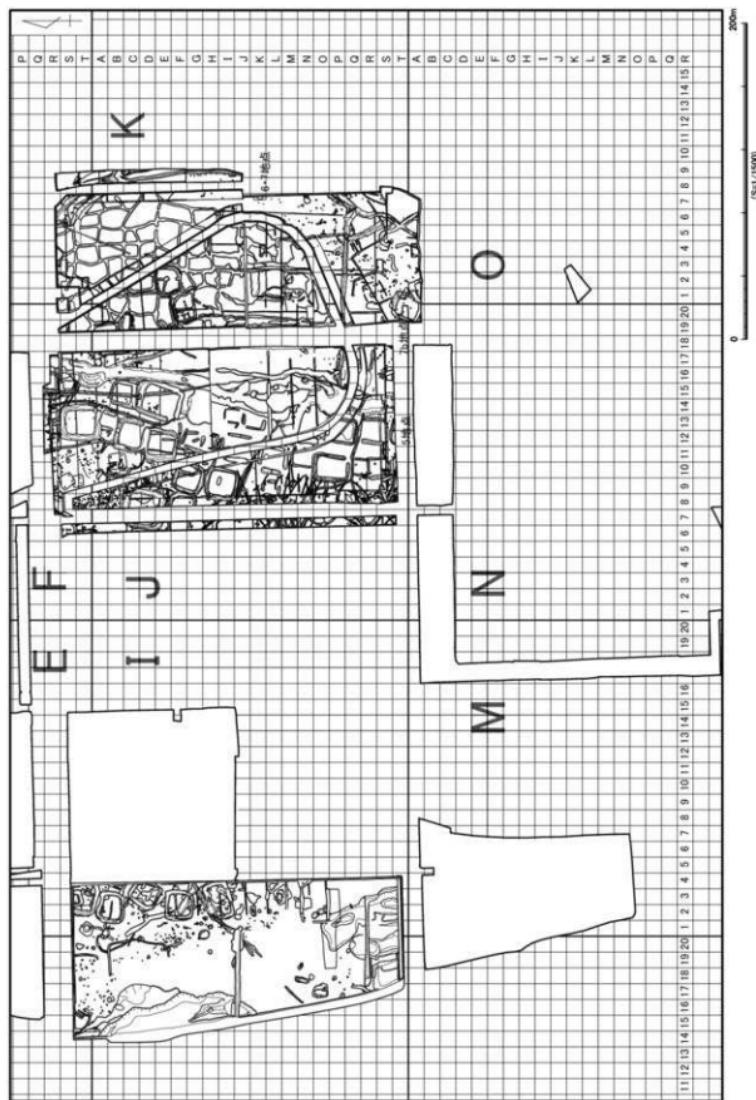


図677 調査区全体図②面

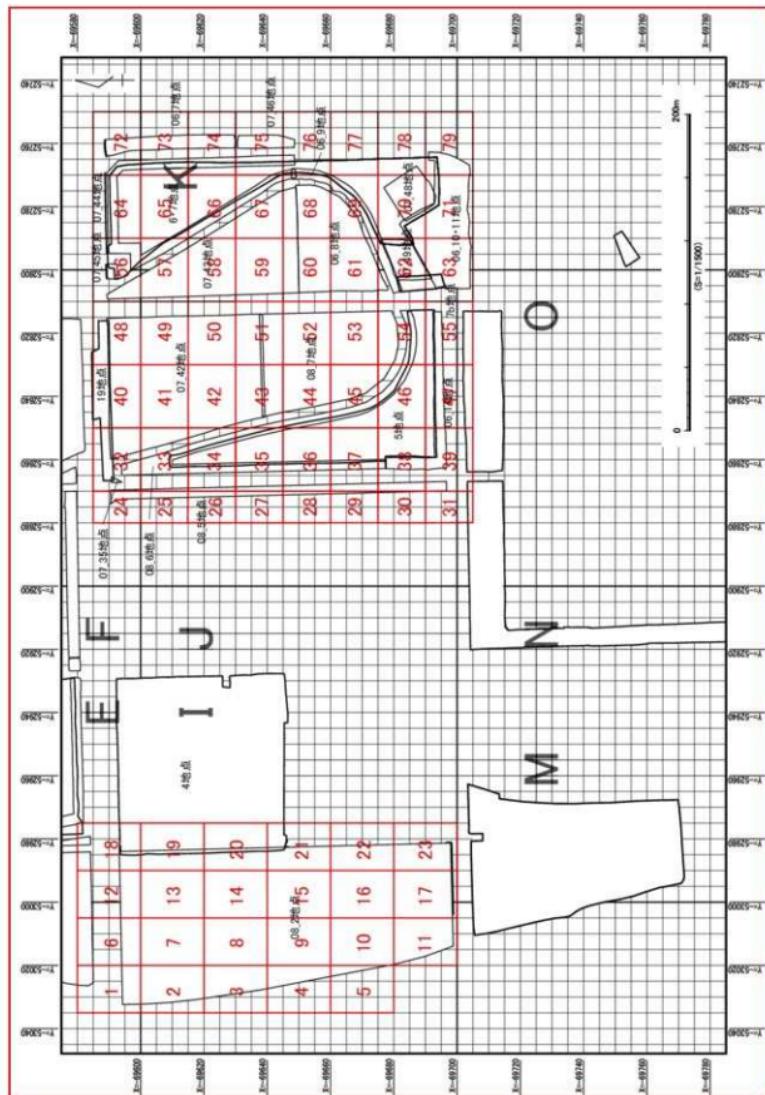


図678 造構全体図割付図

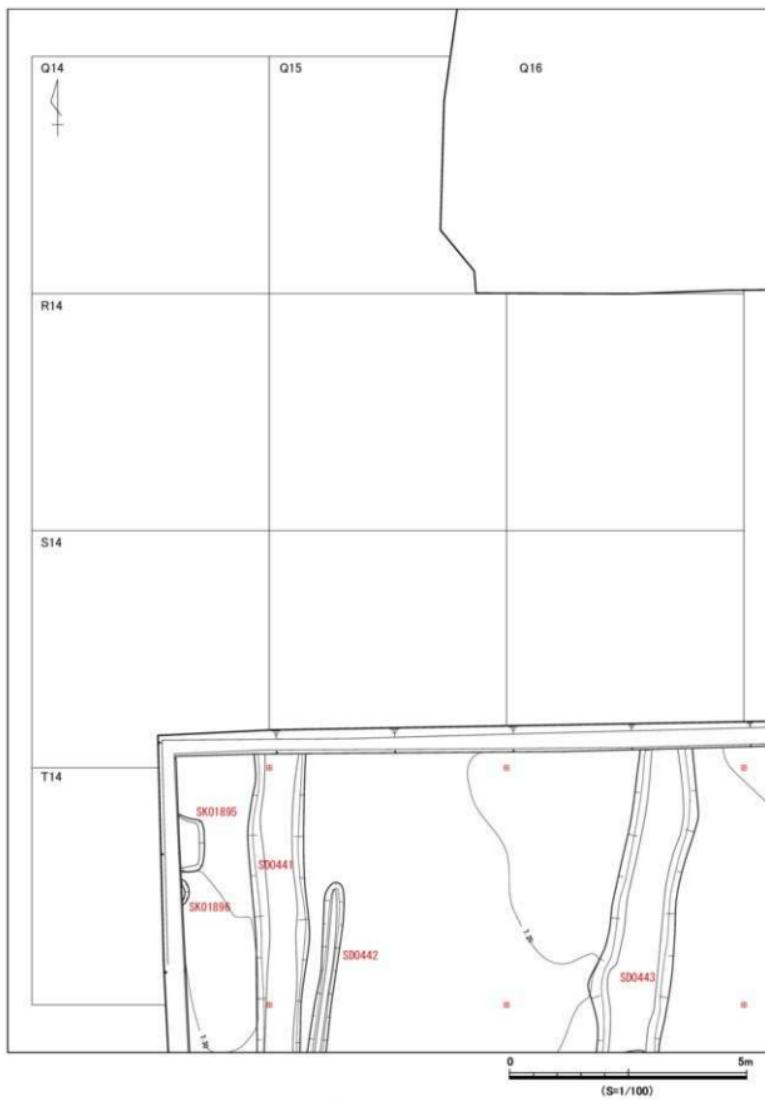


図679 ①面遺構全体図分割図 1

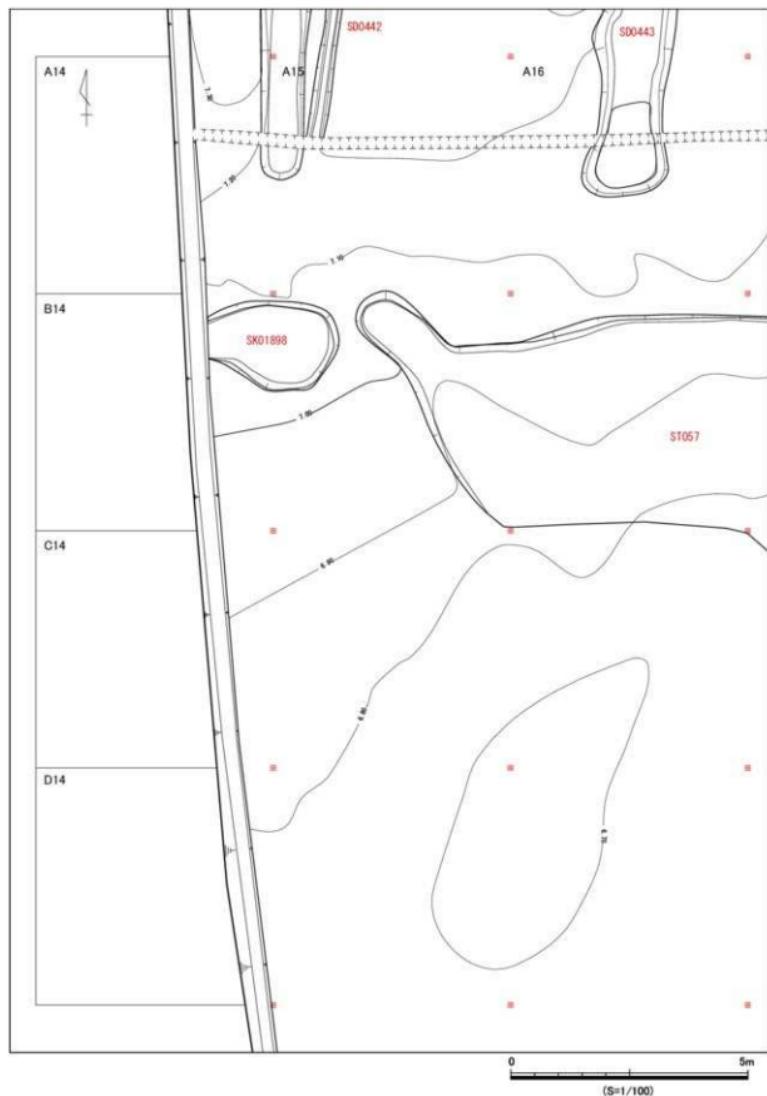


図680 ①面遺構全体図分割図 2



図681 ①面遺構全体図分割図 3



図682 ①面造構全体図分割図 4

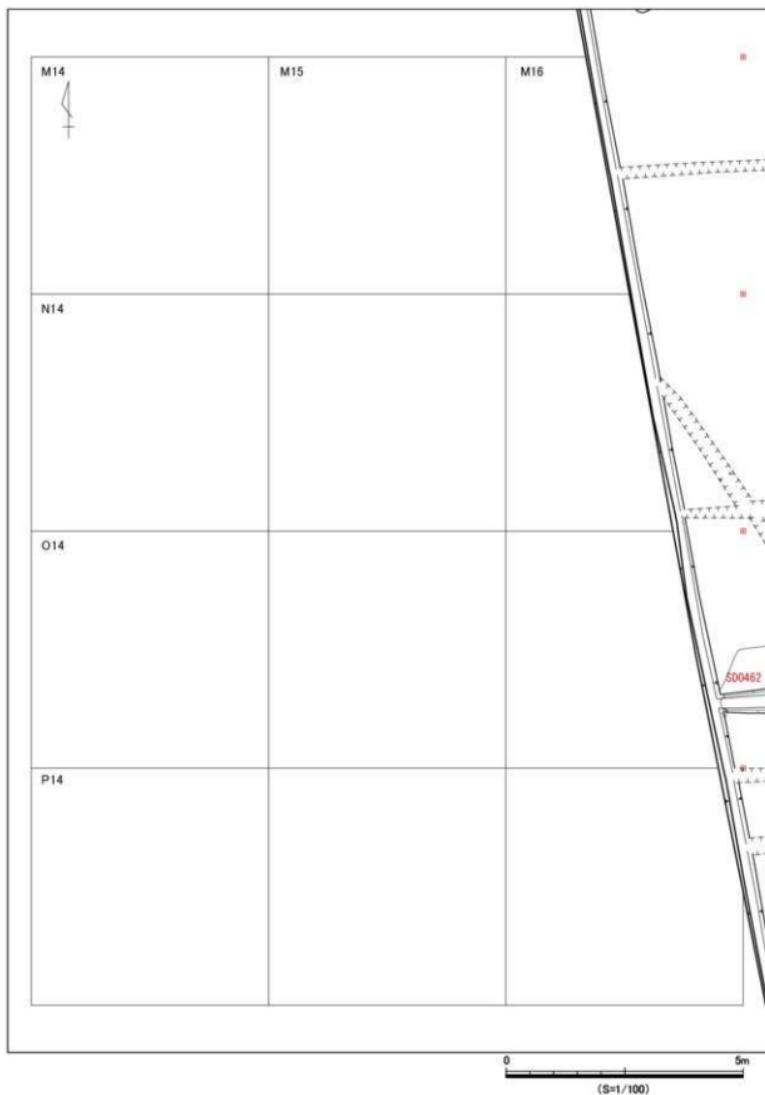


図683 ①面遺構全体図分割図 5

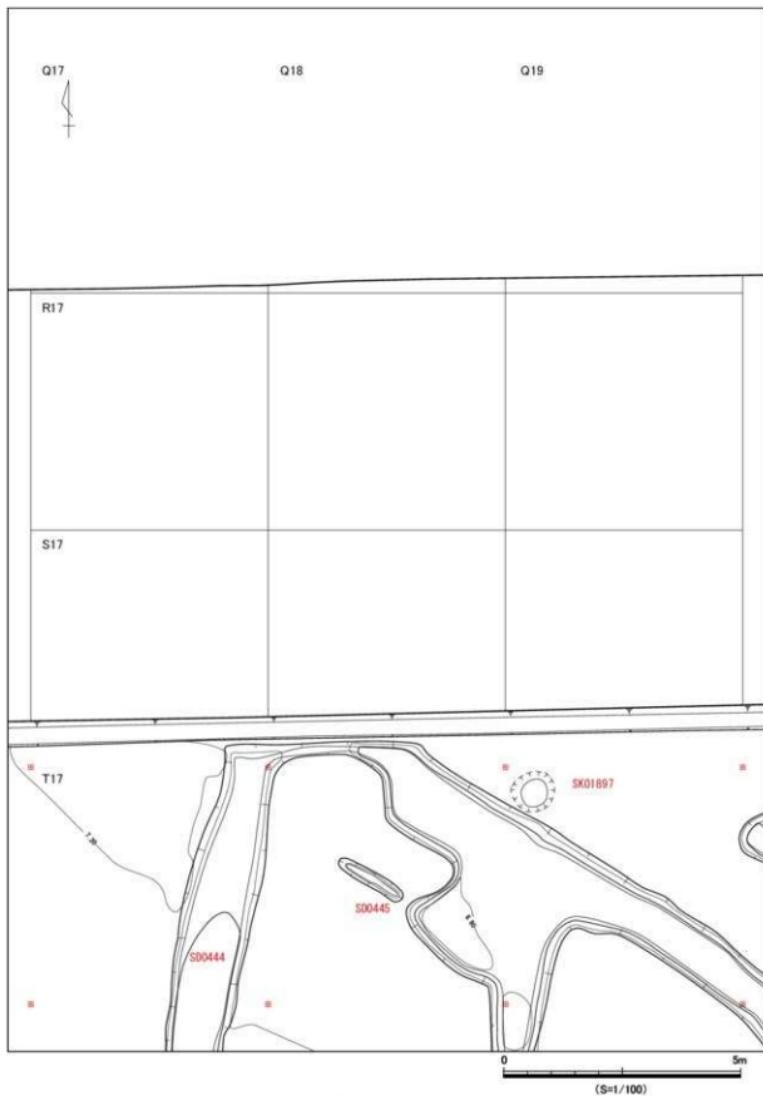


図684 ①面遺構全体図分割図 6

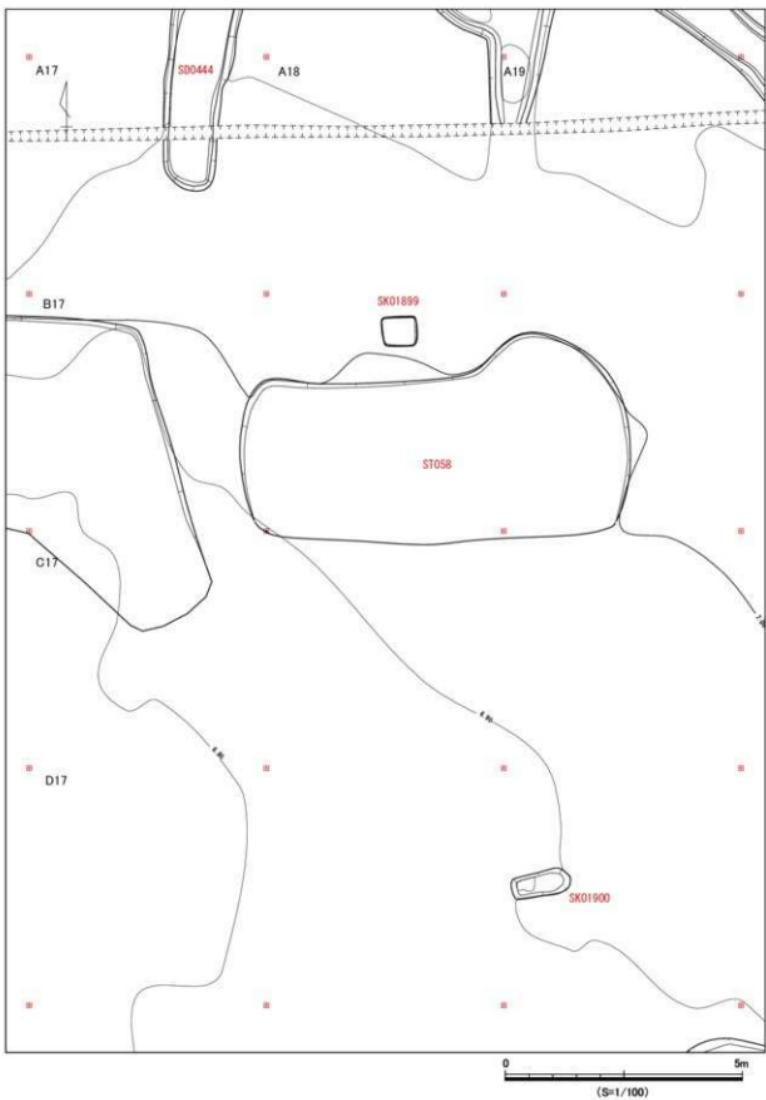


図685 ①面遺構全体図分割図 7

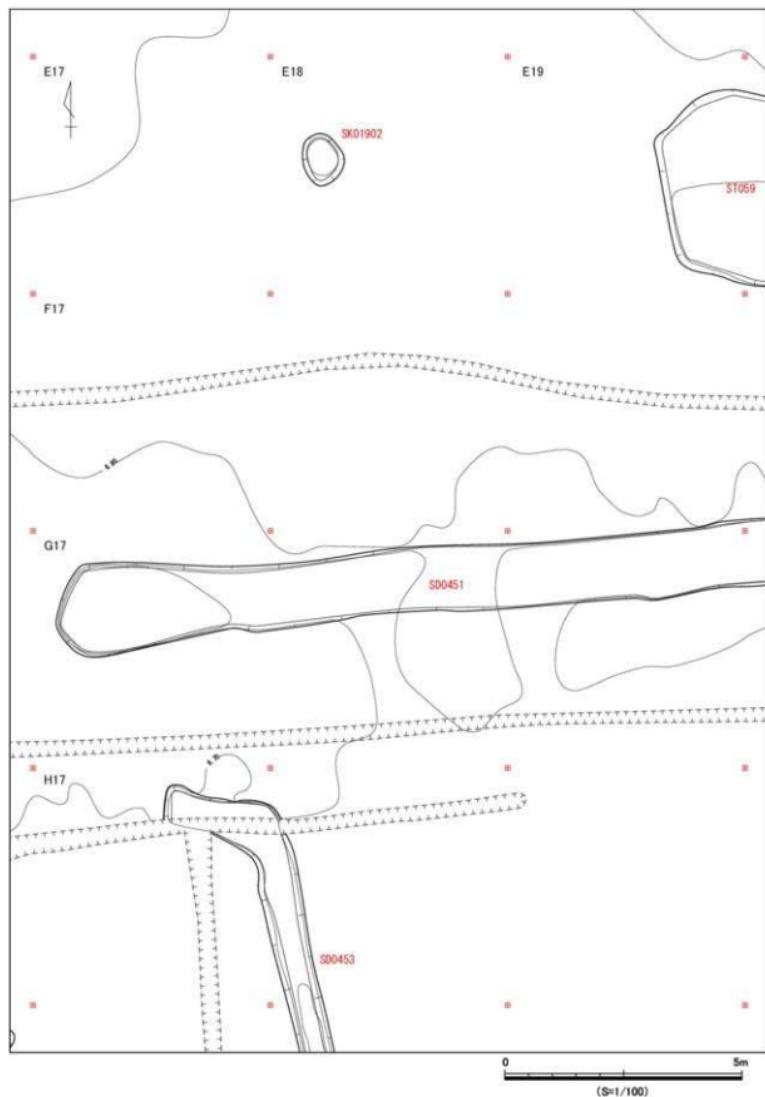


図686 ①面造構全体図分割図 8

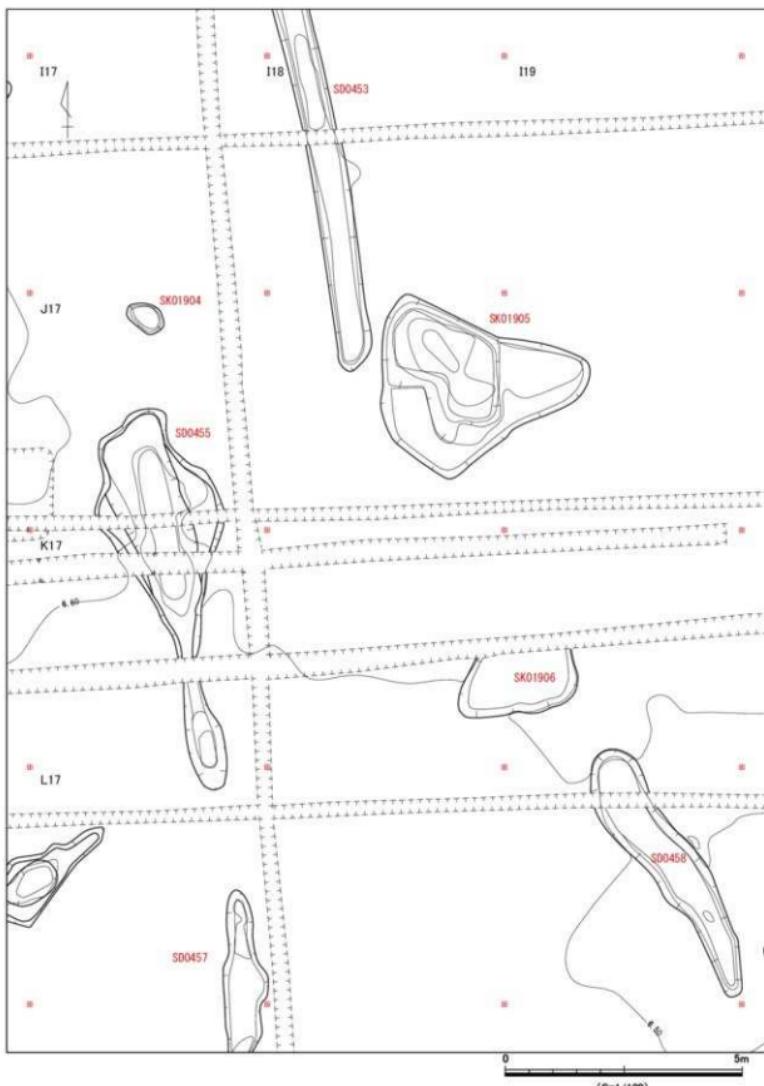


図687 ①面造構全体図分割図 9

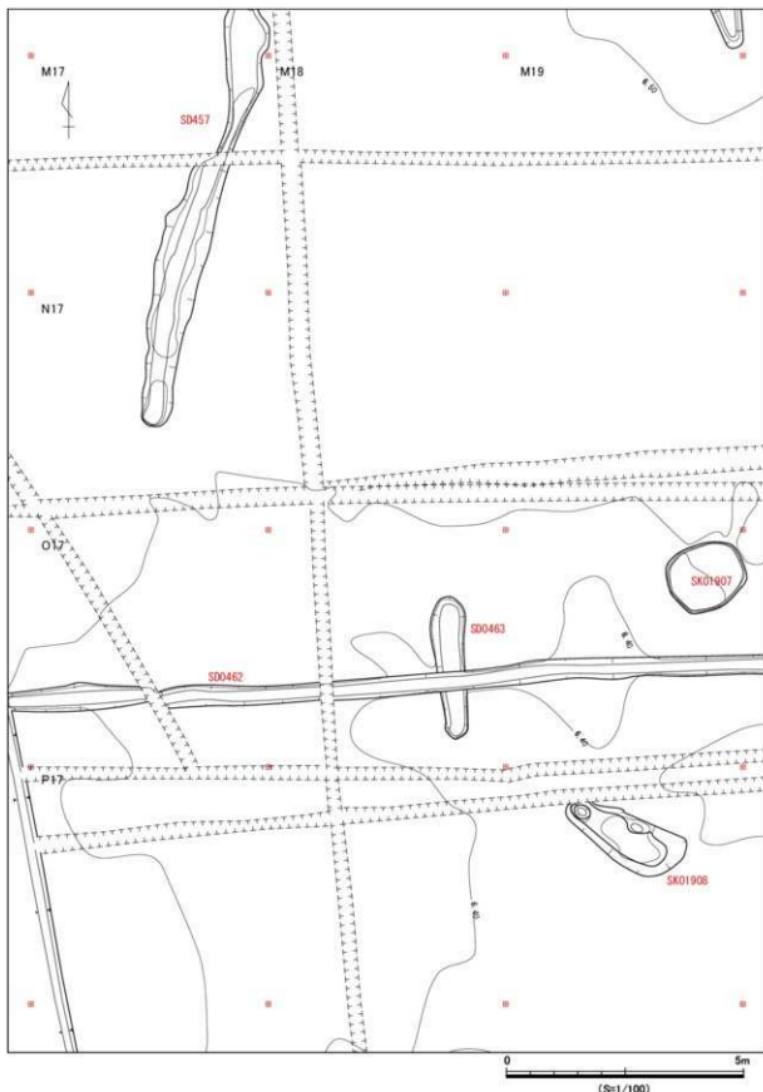


図688 ①面遺構全体図分割図10



図689 ①面造構全体図分割図11

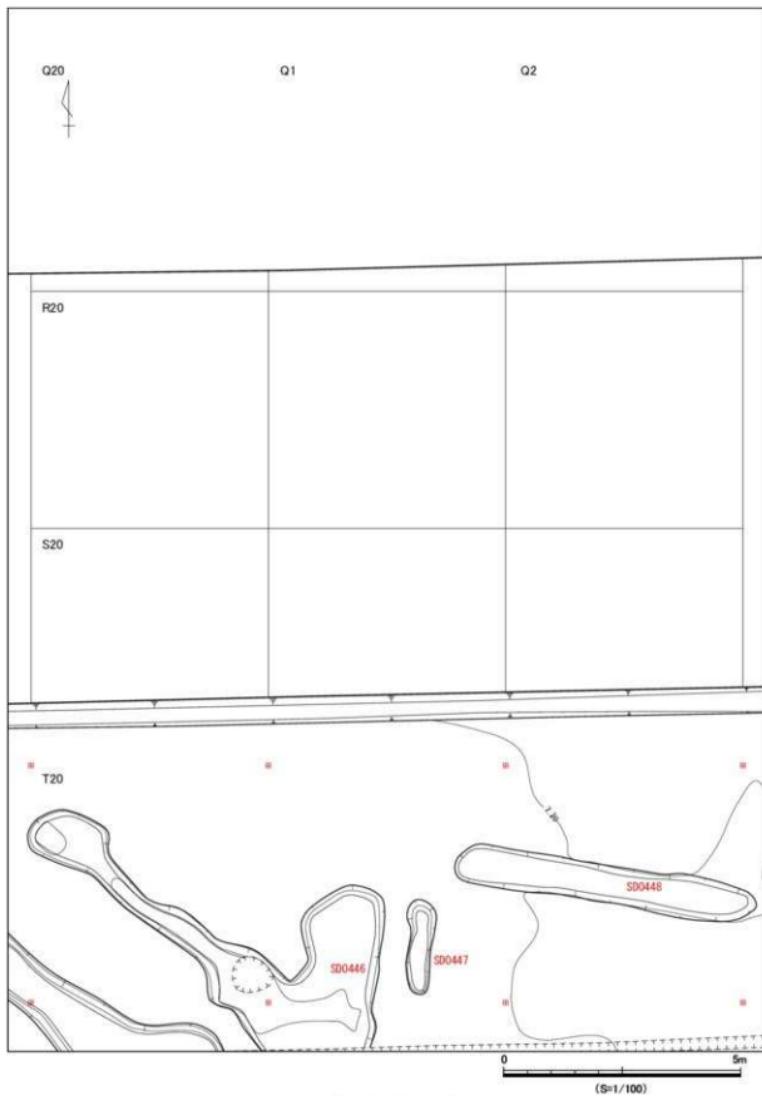


図690 ①面遺構全体図分割図12

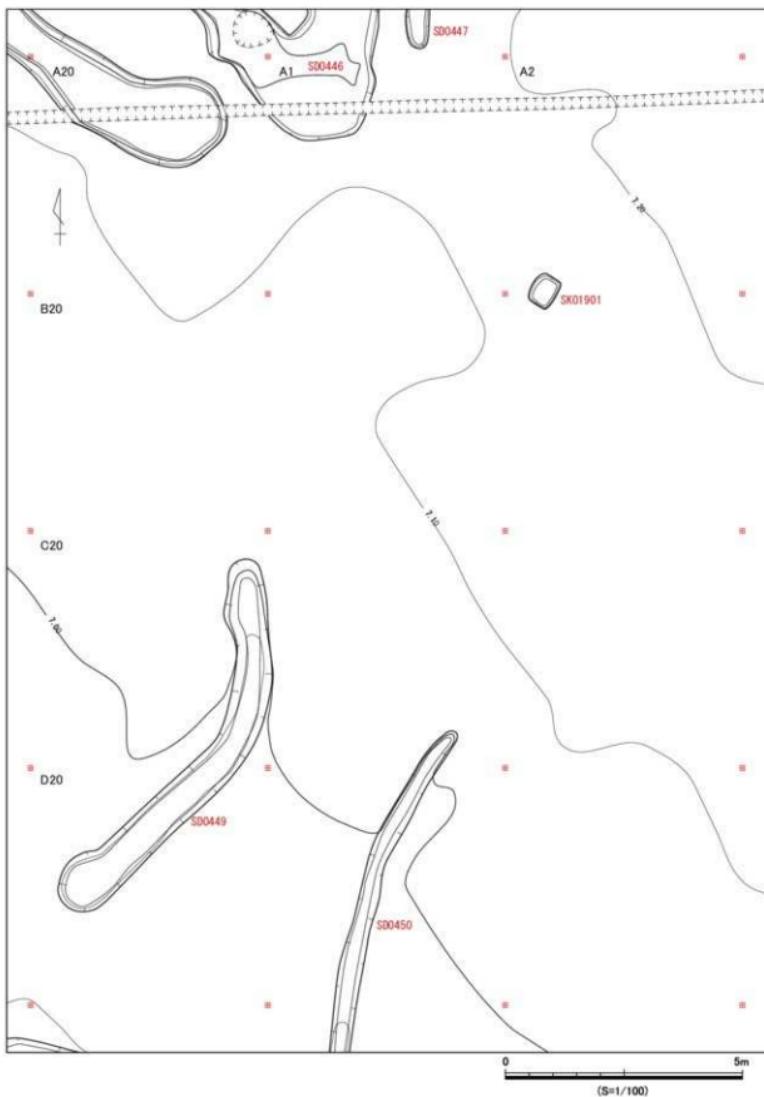


図691 ①面遺構全体図分割図13



図692 ①面造構全体図分割図14

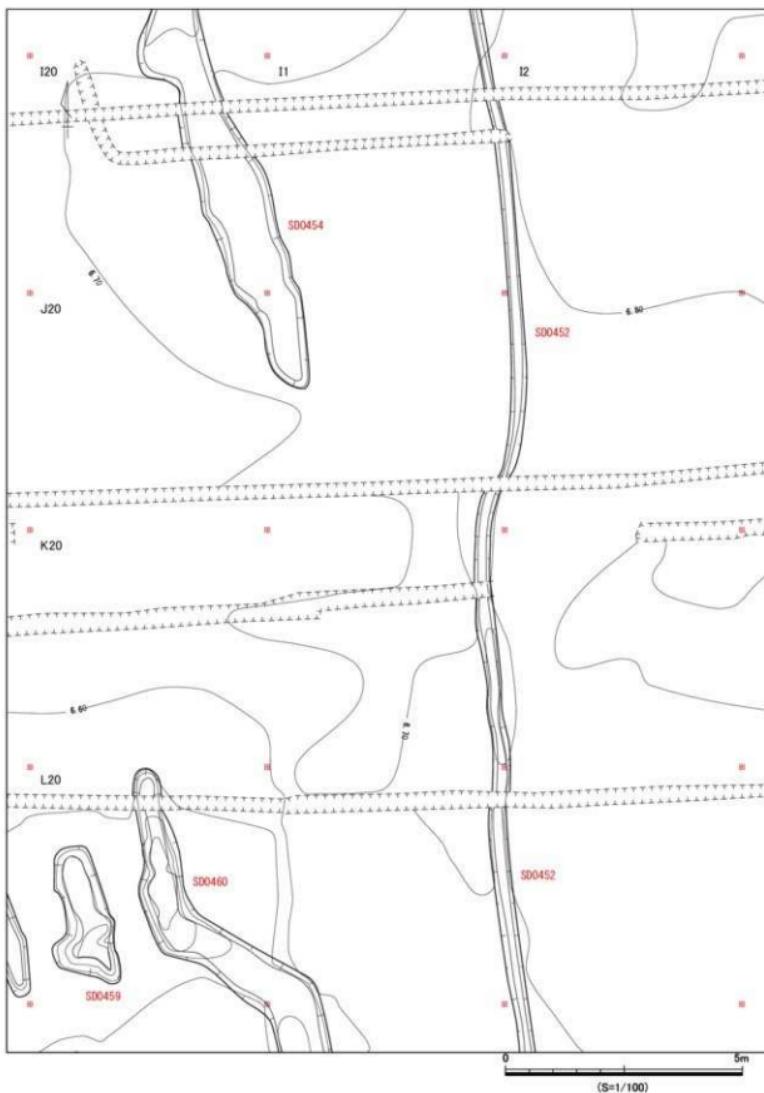


図693 ①面遺構全体図分割図15



図694 ①面遺構全体図分割図16



図695 ①面造構全体図分割図17

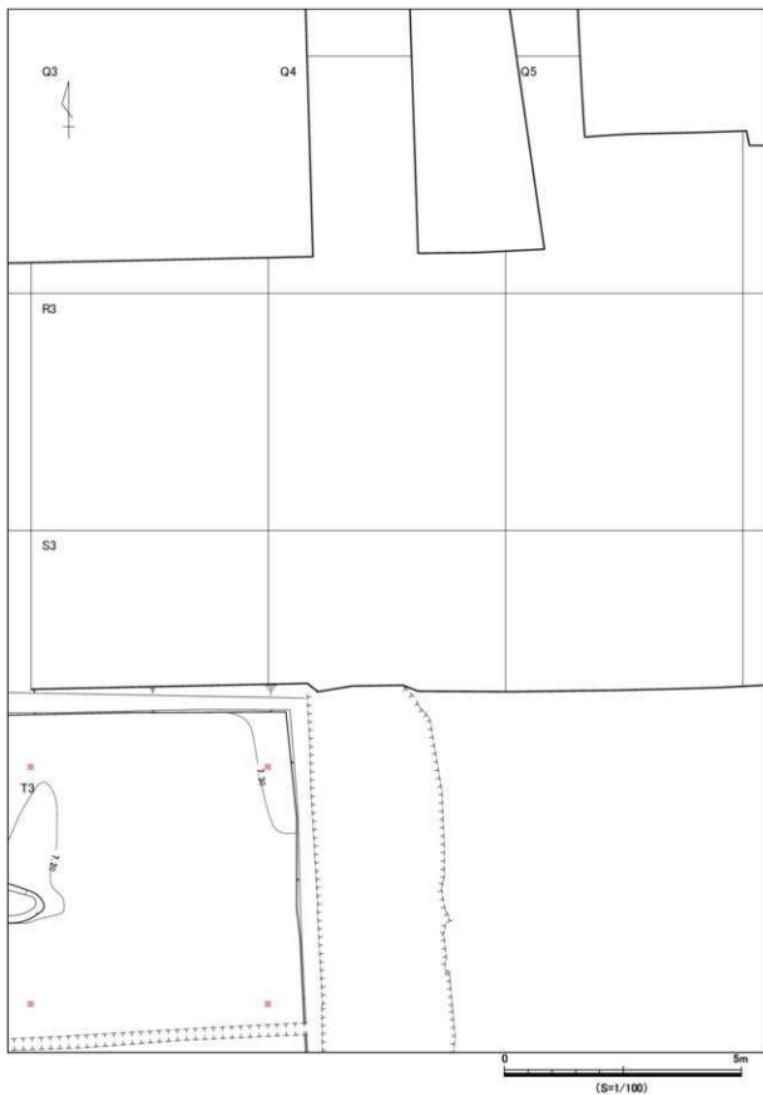


図696 ①面造構全体図分割図18

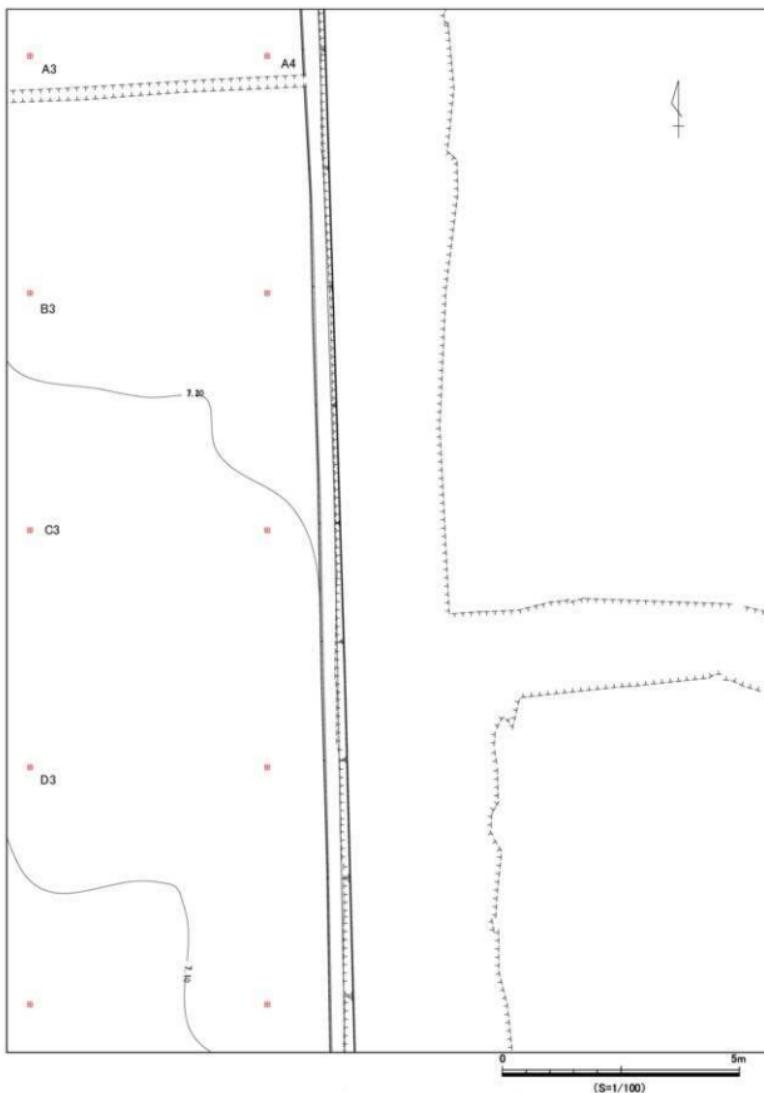


図697 ①面造構全体図分割図19



図698 ①面遺構全体図分割図20



図699 ①面遺構全体図分割図21

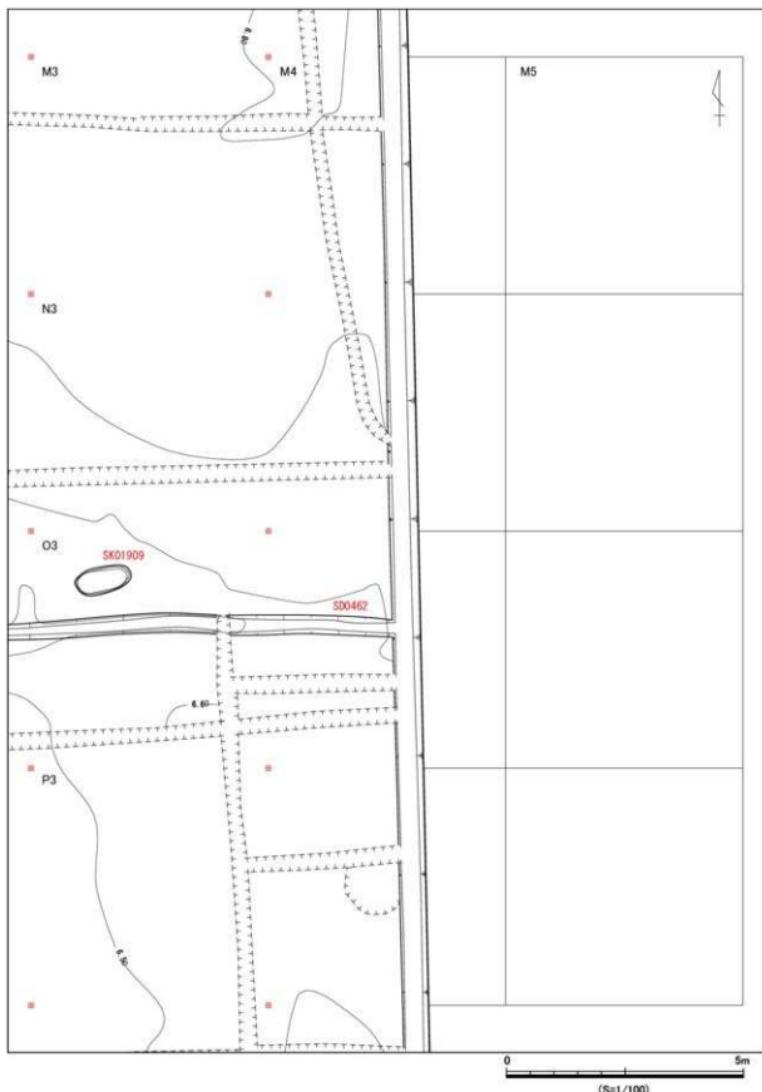


図700 ①面遺構全体図分割図22



図701 ①面造構全体図分割図23

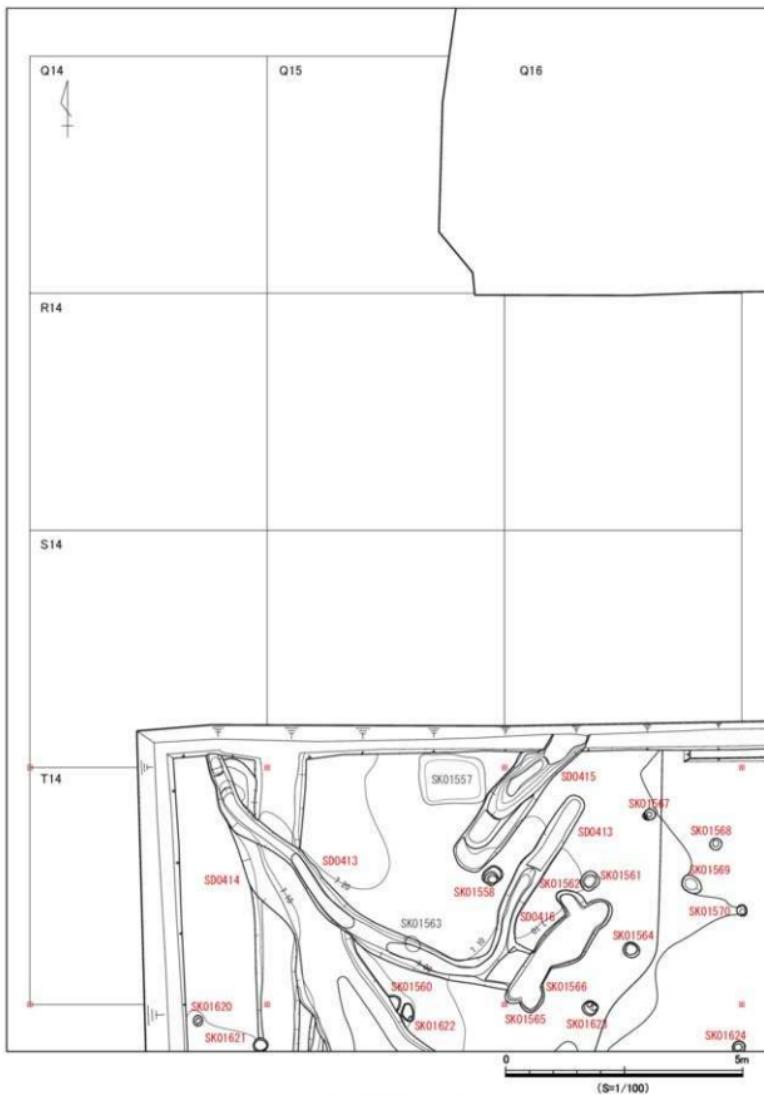


図702 ②面遺構全体図分割図 1

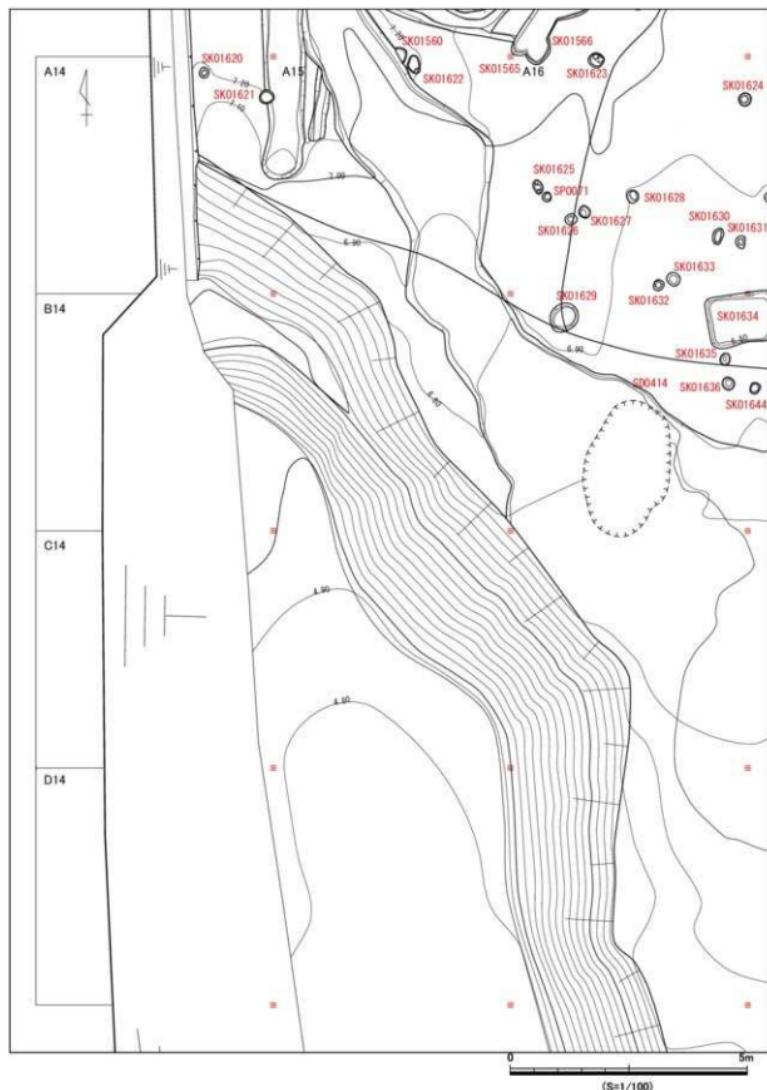


図703 ②面造構全体図分割図 2

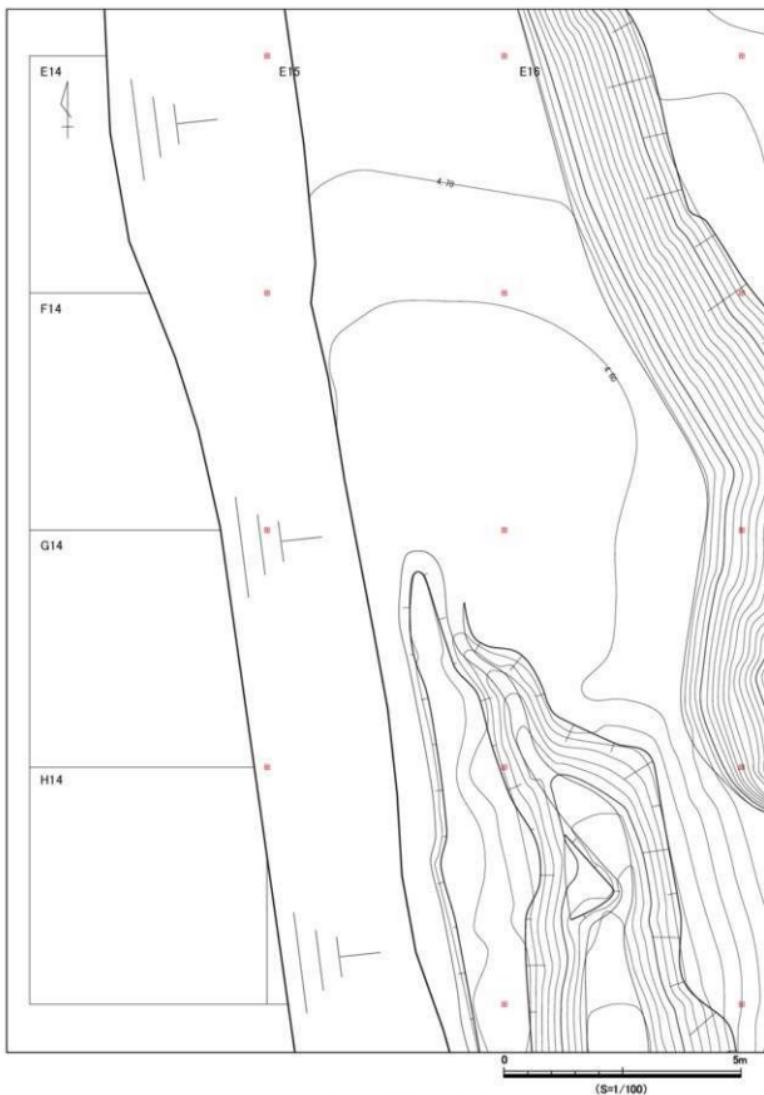


図704 ②面遺構全体図分割図 3



図705 ②面造構全体図分割図 4

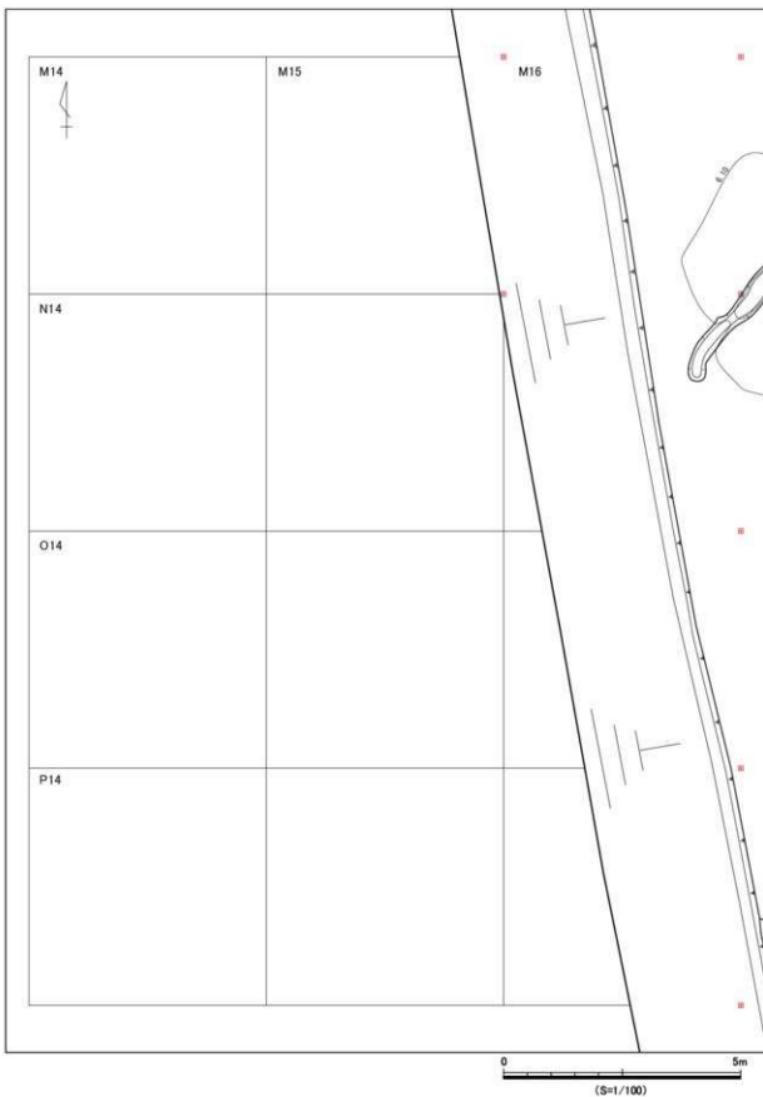


図706 ②面遺構全体図分割図 5

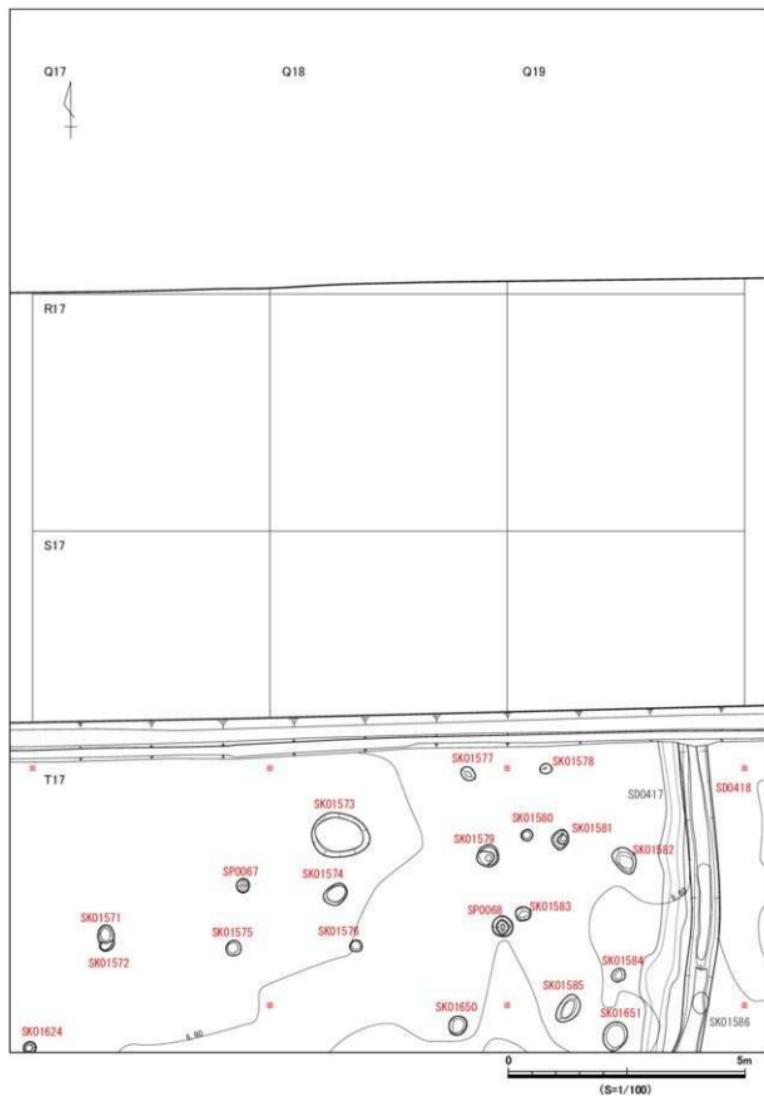


図707 ②面遺構全体図分割図 6

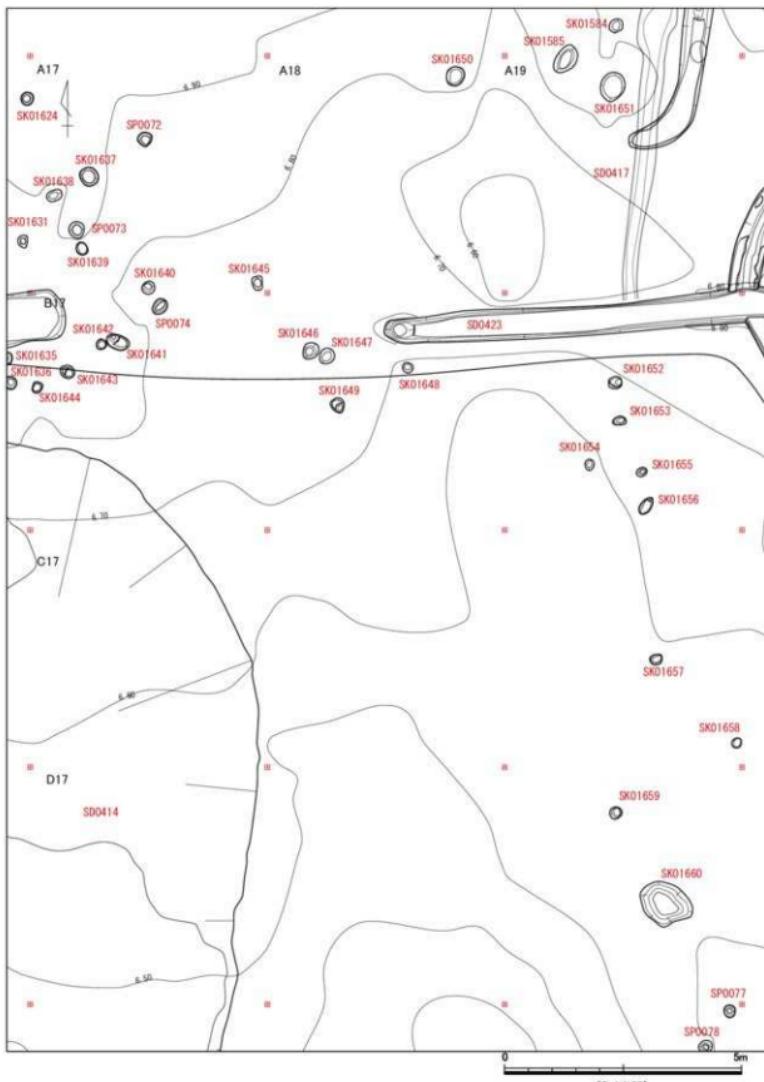


図708 ②面遺構全体図分割図 7



図709 ②面造構全体図分割図 8

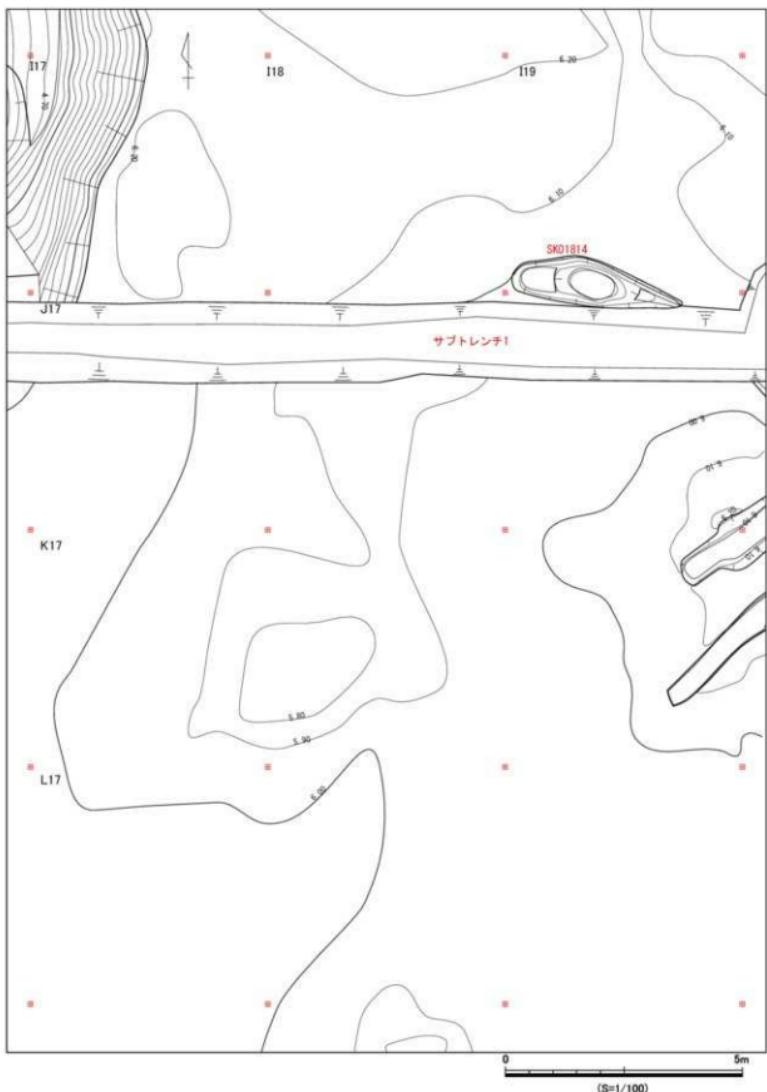


図710 ②面遺構全体図分割図9

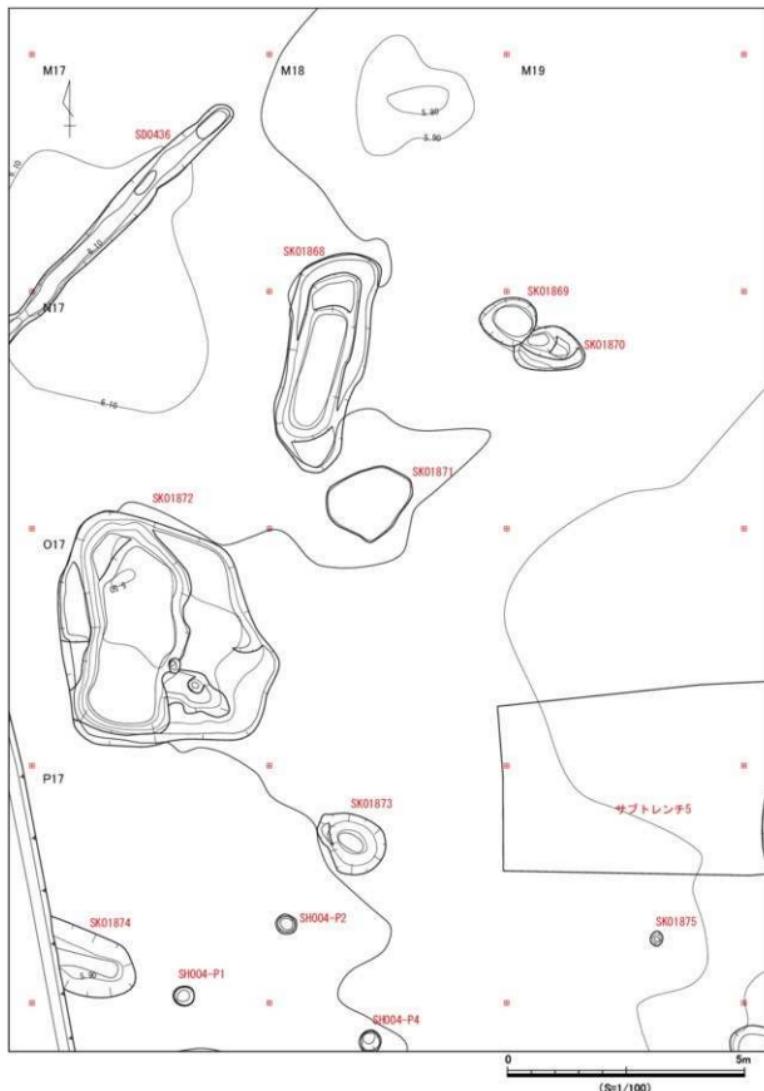


図711 ②面遺構全体図分割図10

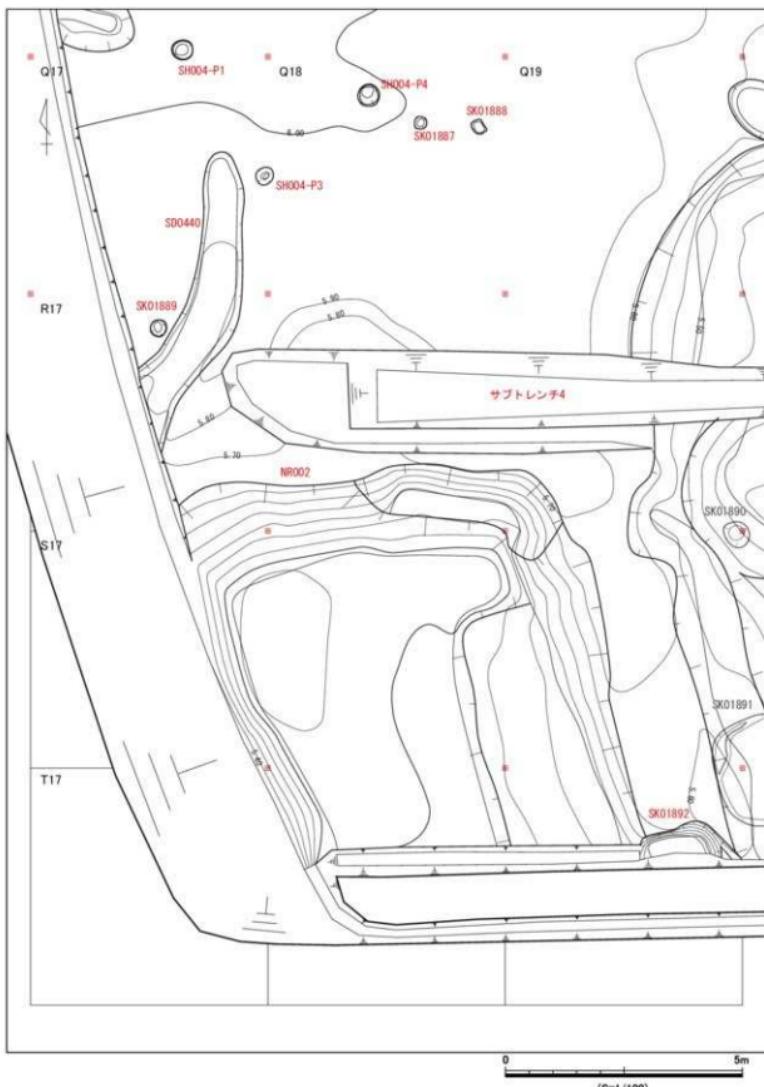


図712 ②面造構全体図分割図11

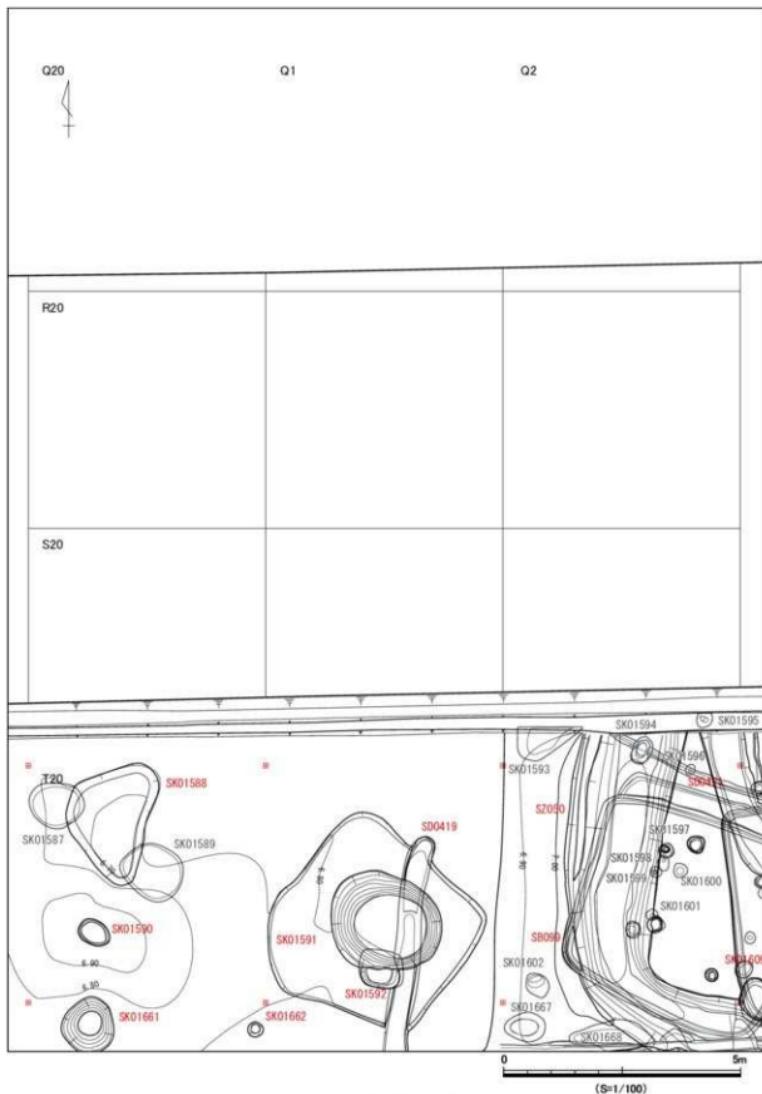


図713 ②面遺構全体図分割図12

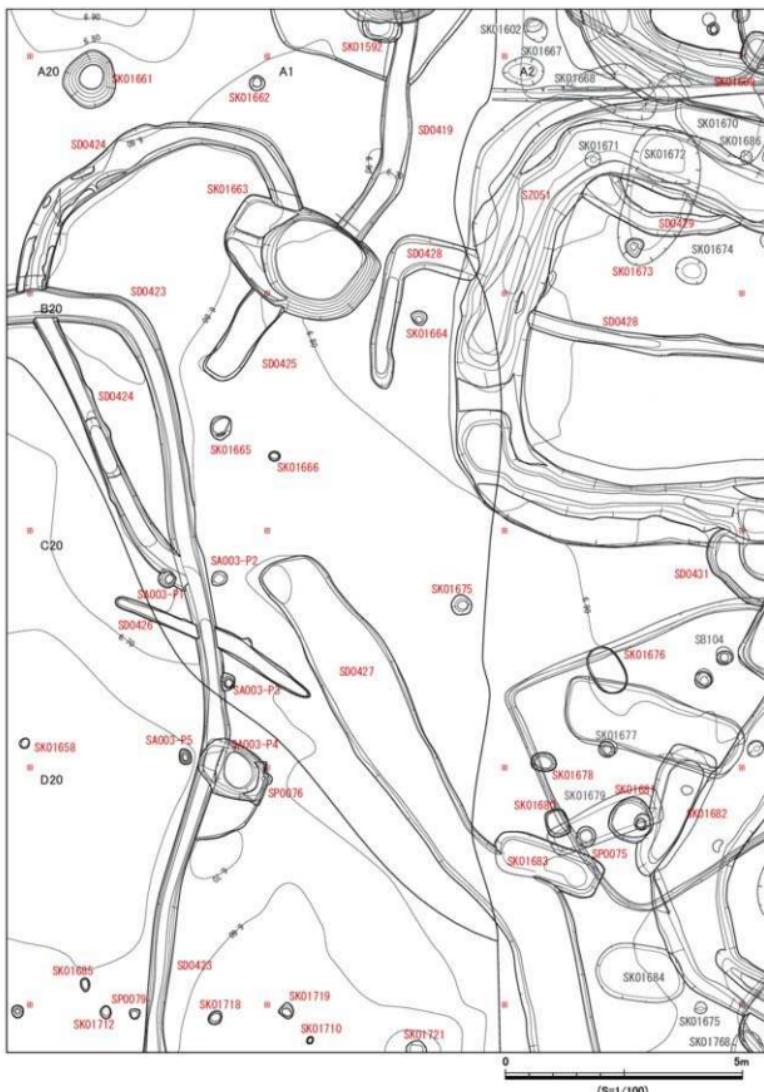


図714 ②面遺構全体図分割図13

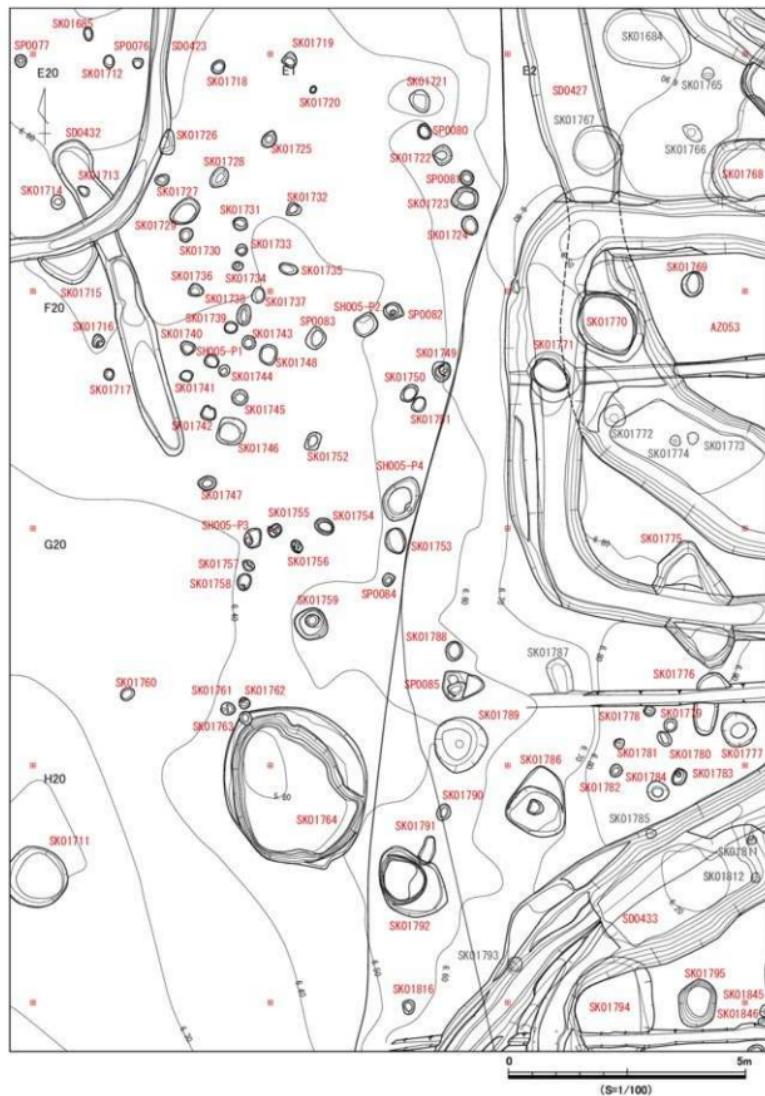


図715 ②面造構全体図分割図14

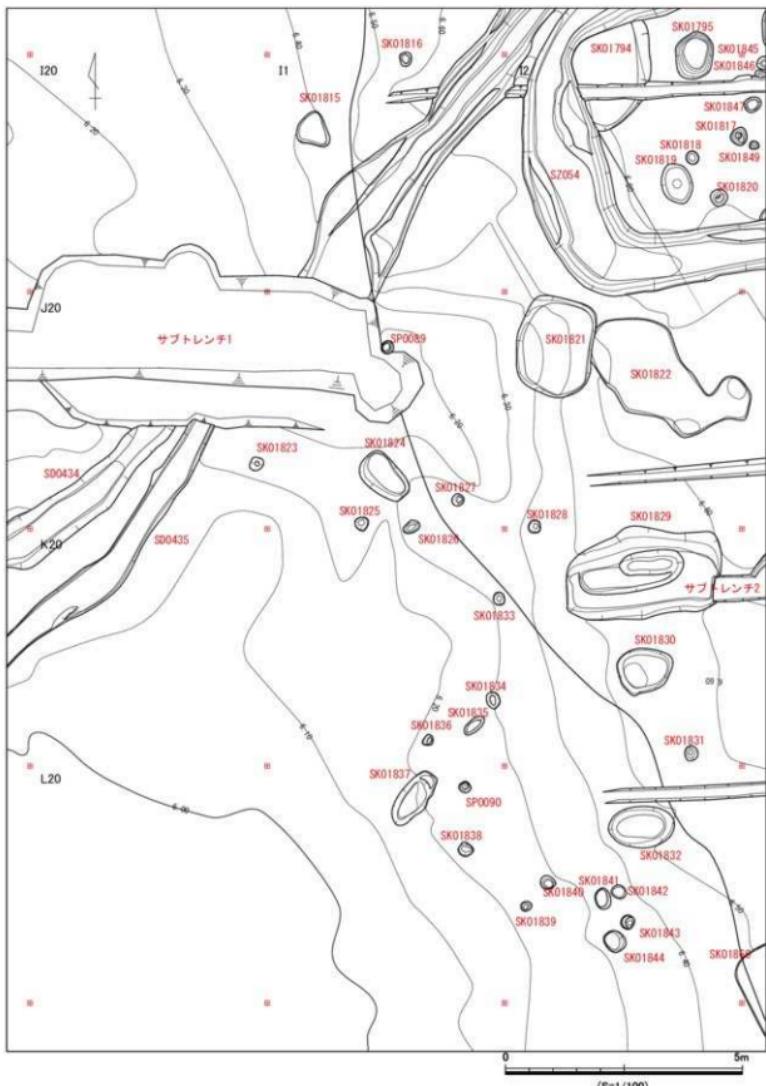


図716 ②面遺構全体図分割図15

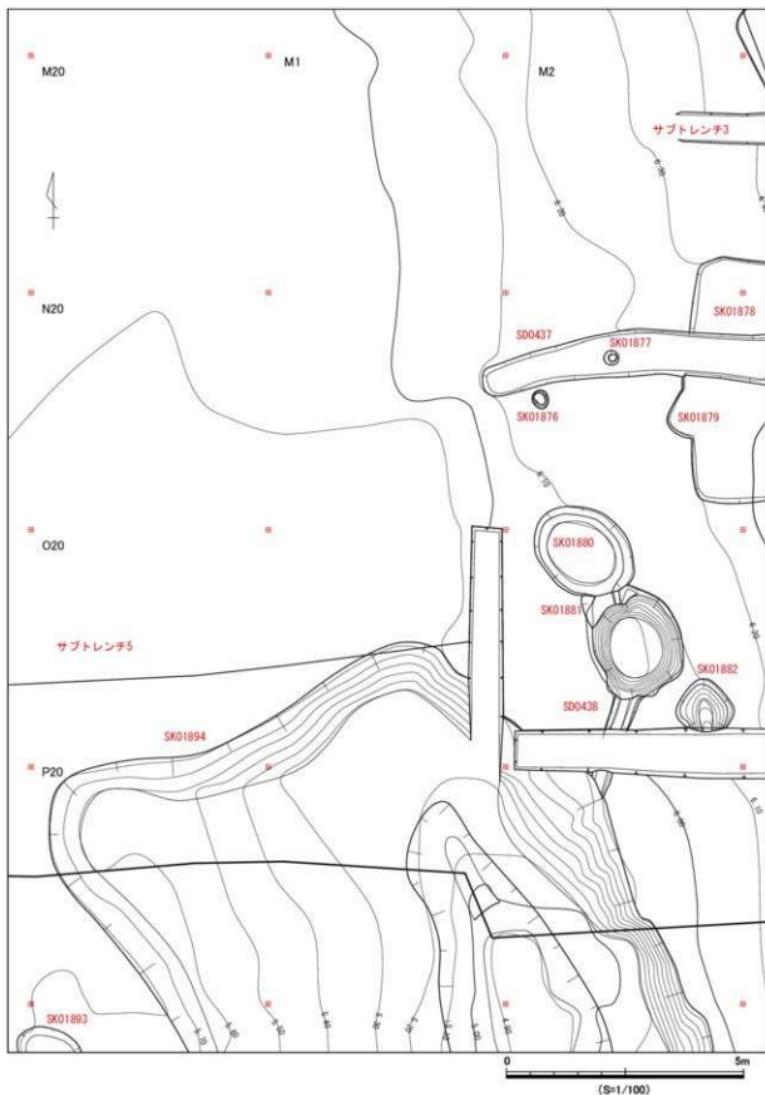


図717 ②面遺構全体図分割図16



図718 ②面遺構全体図分割図17

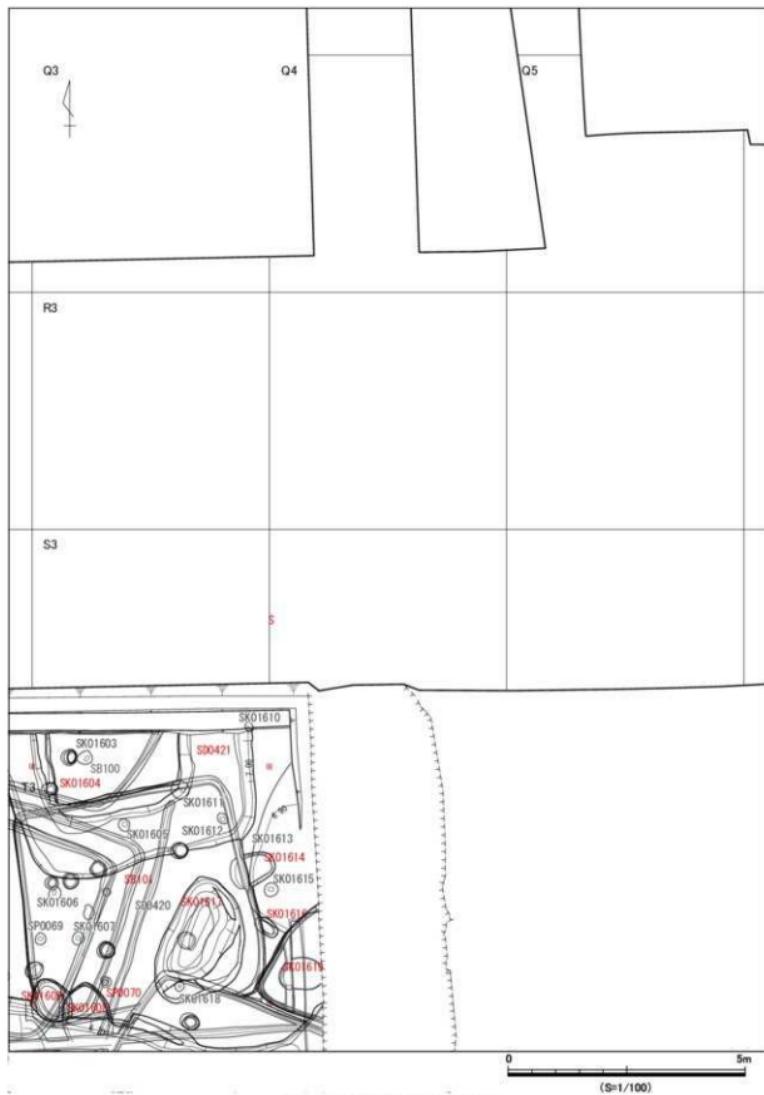


図719 ②面遺構全体図分割図18

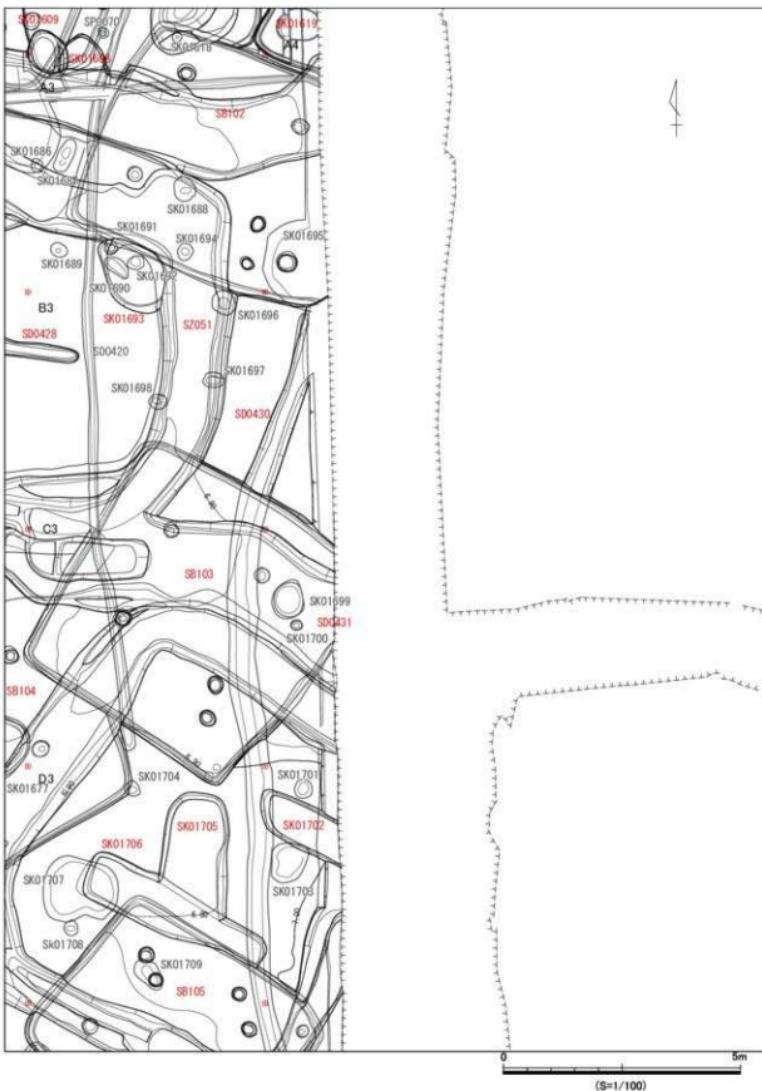


図720 ②面遺構全体図分割図19

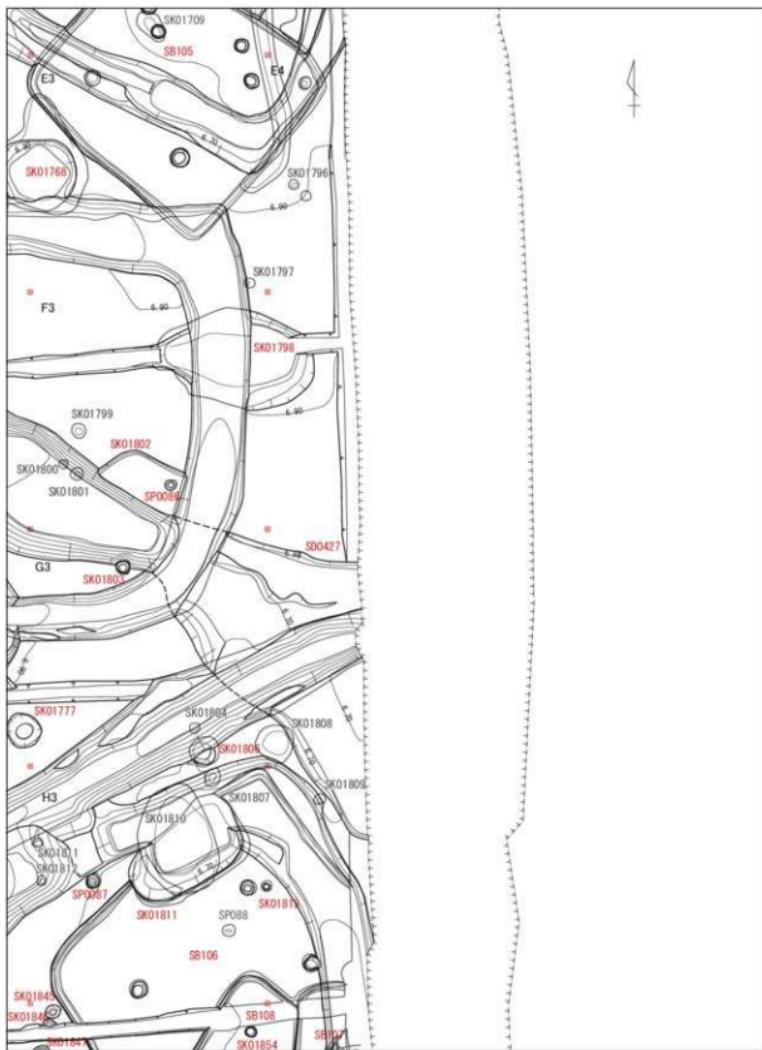


図721 ②面造構全体図分割図20



図722 ②面遣構全体図分割図21



図723 ②面遺構全体図分割図22



図724 ②面造構全体図分割図23

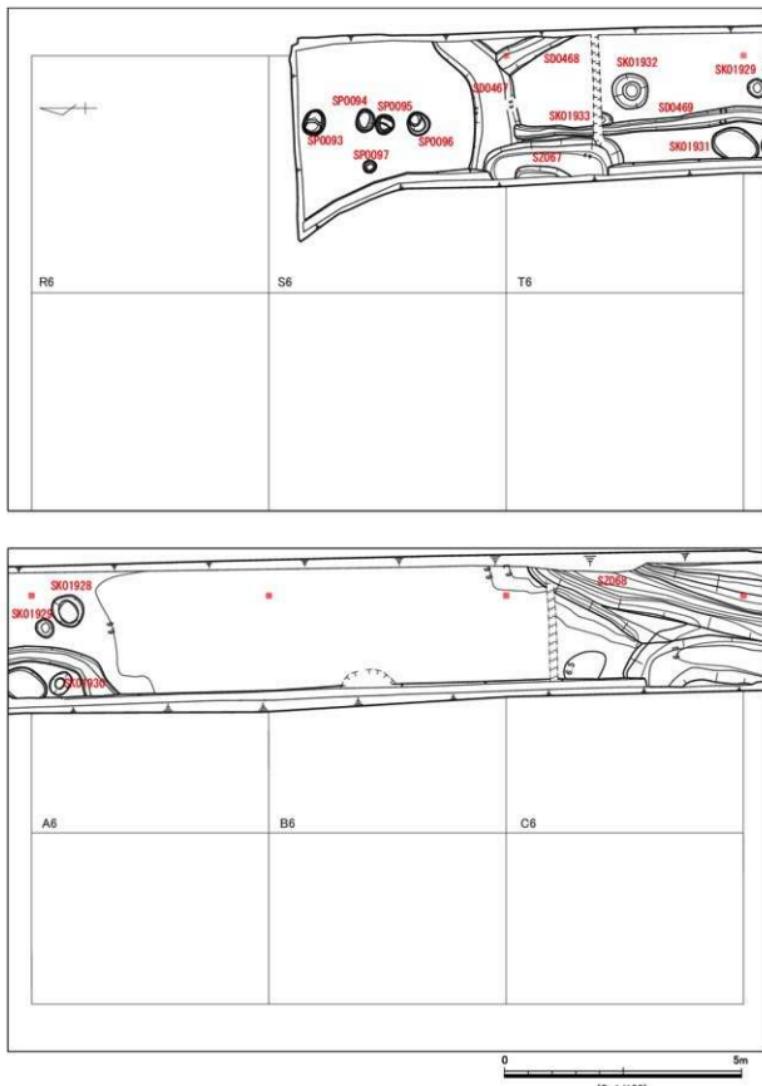


図725 ②面造構全体図分割図24-25

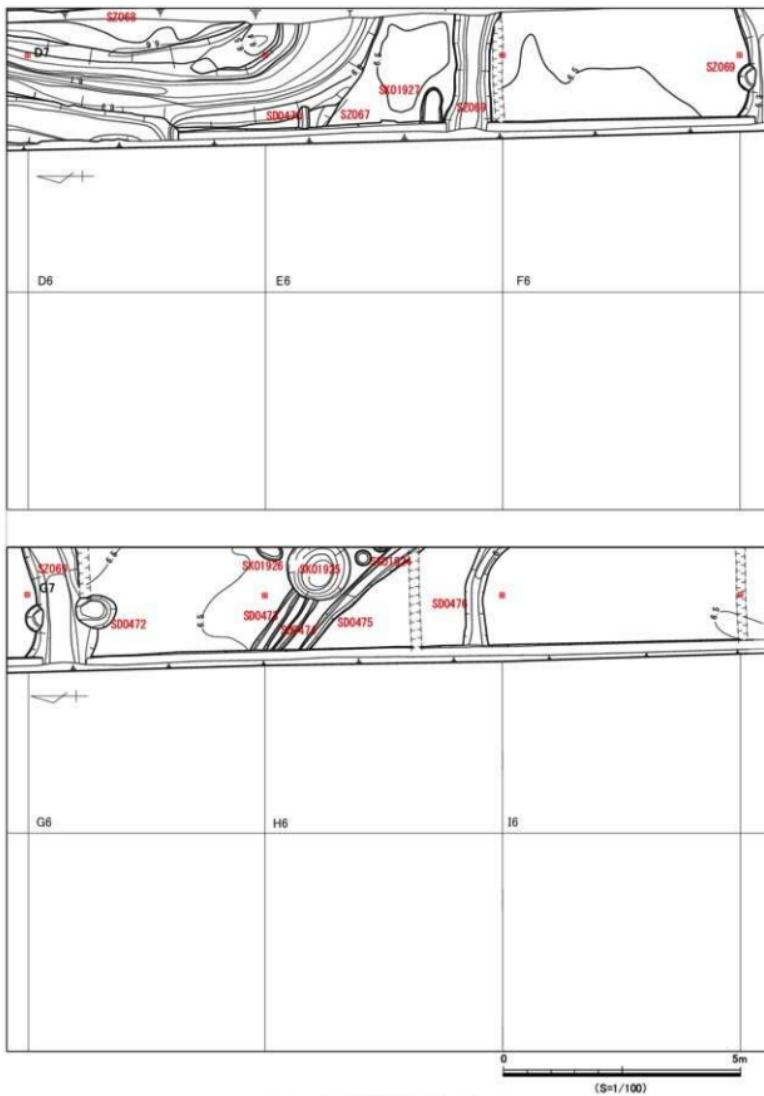


図726 ②面造構全体図分割図26・27

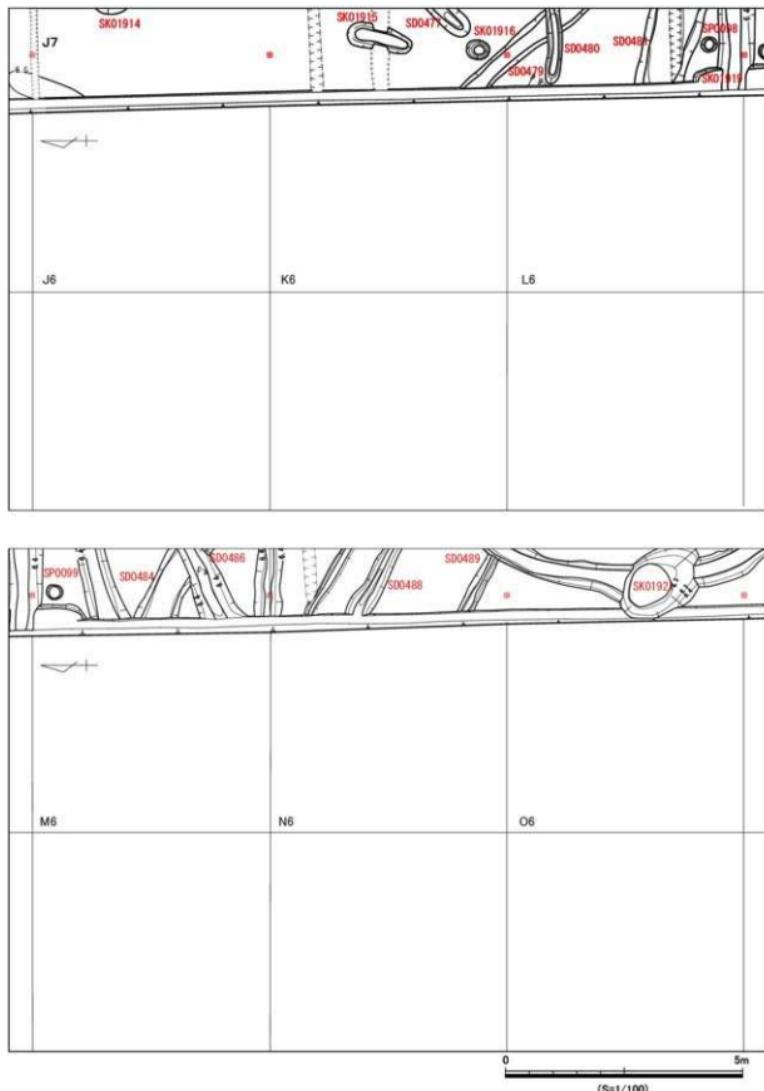


図727 ②面造構全体図分割図28-29

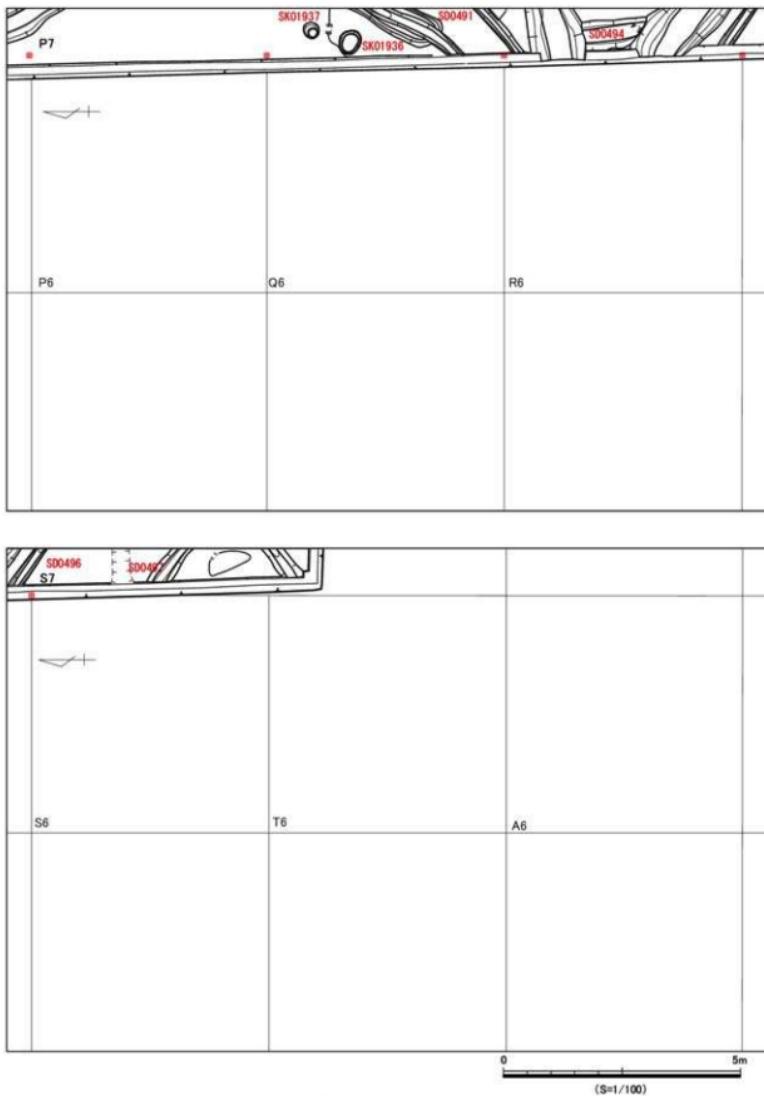


図728 ②面遣構全体図分割図30・31



図729 ②面構造全体図分割図32

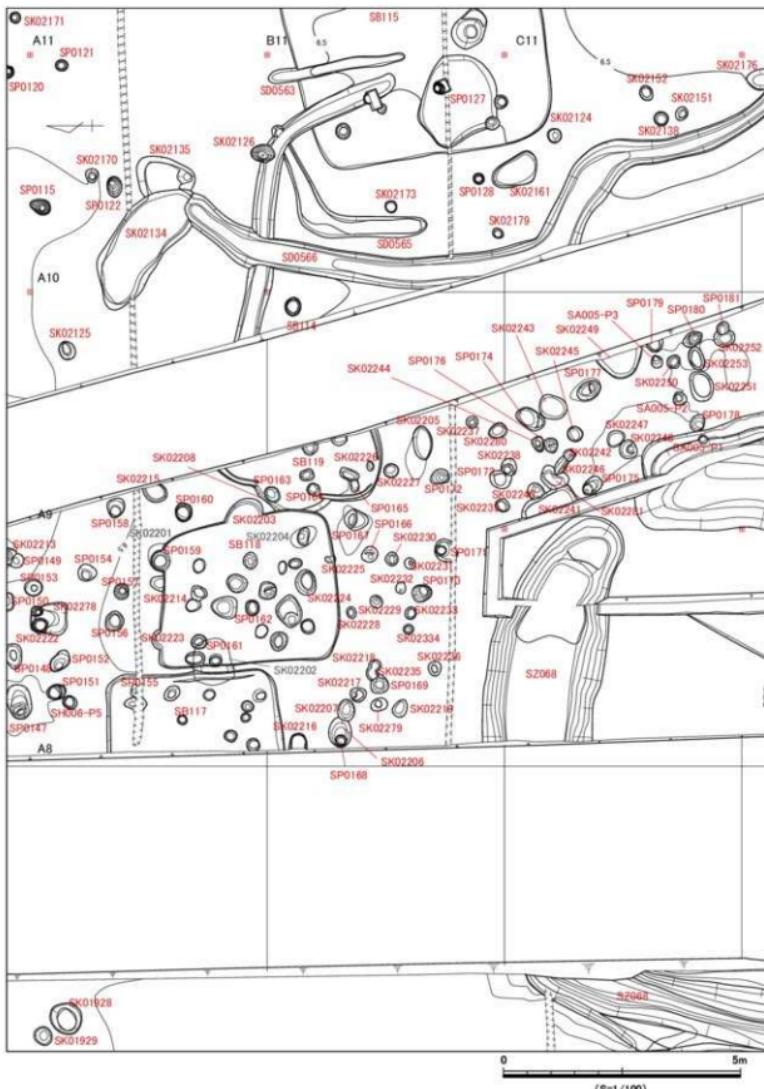


図730 ②面遺構全体図分割図33

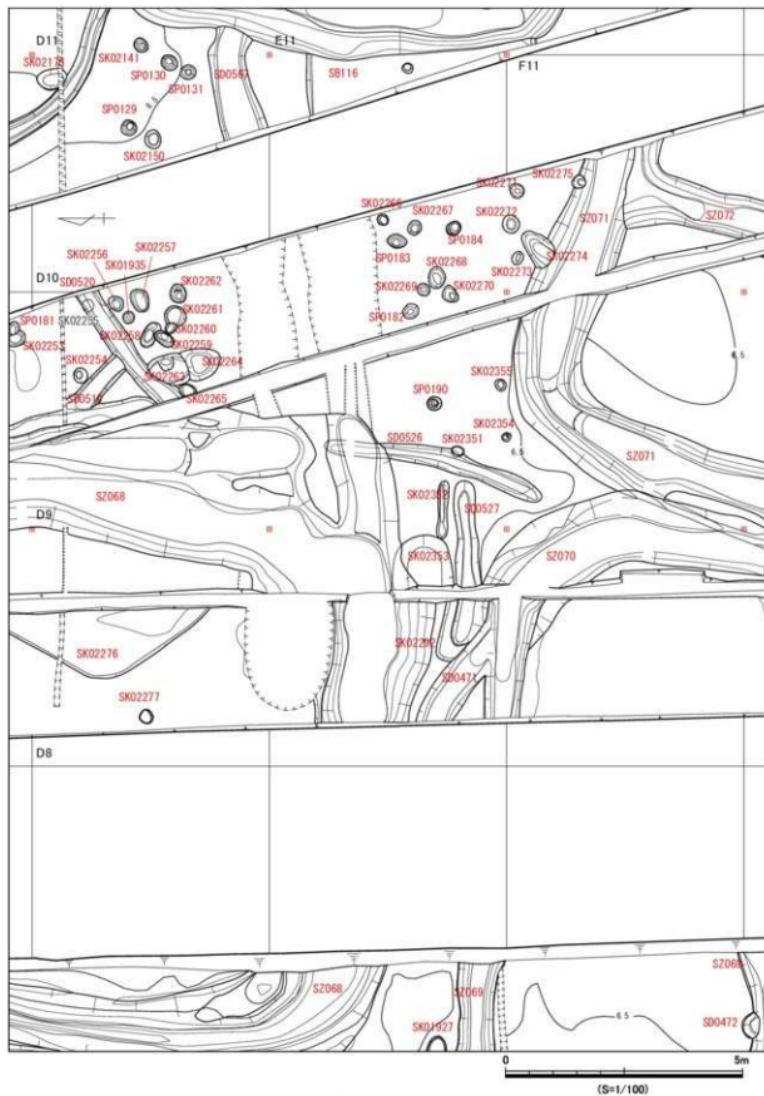


図731 ②面遺構全体図分割図34



図732 ②面遺構全体図分割図35

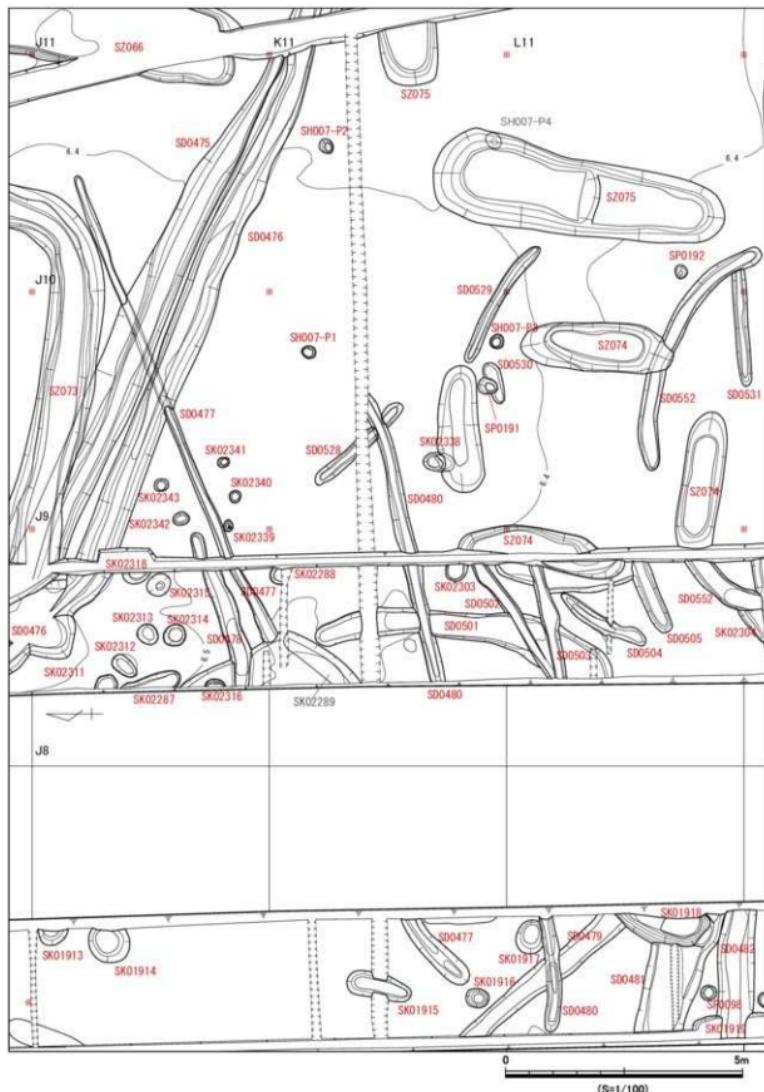


図733 ②面構全体図分割図36

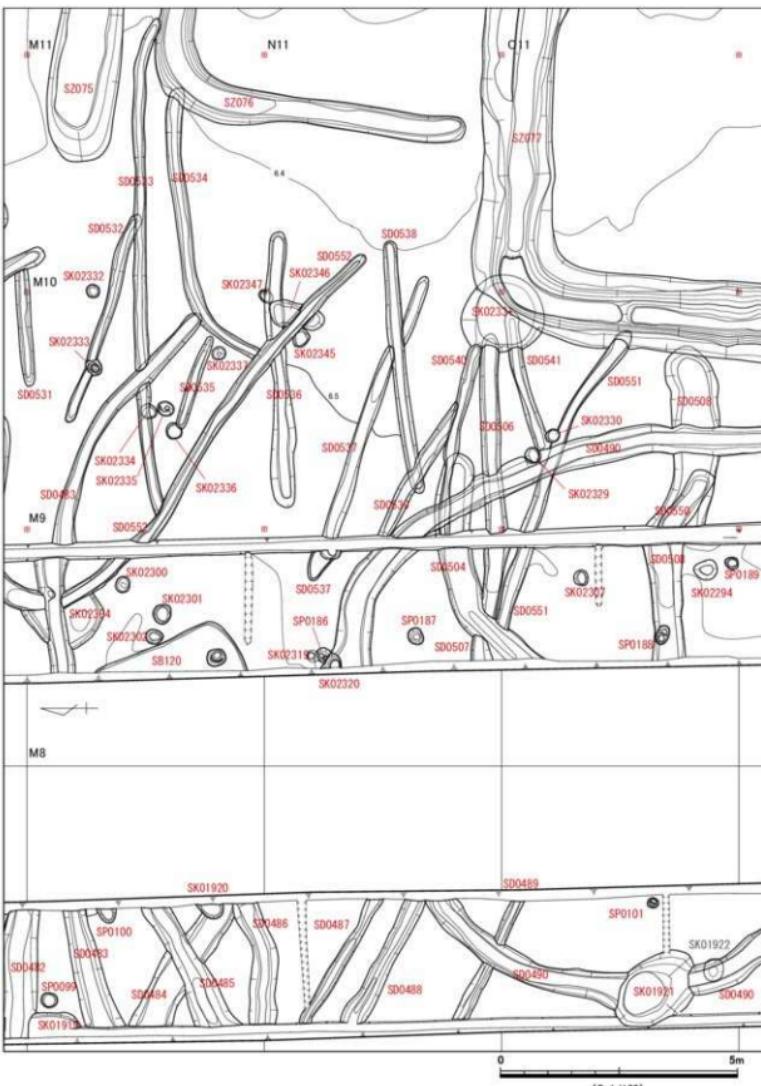


図734 ②面積構全体図分割図37

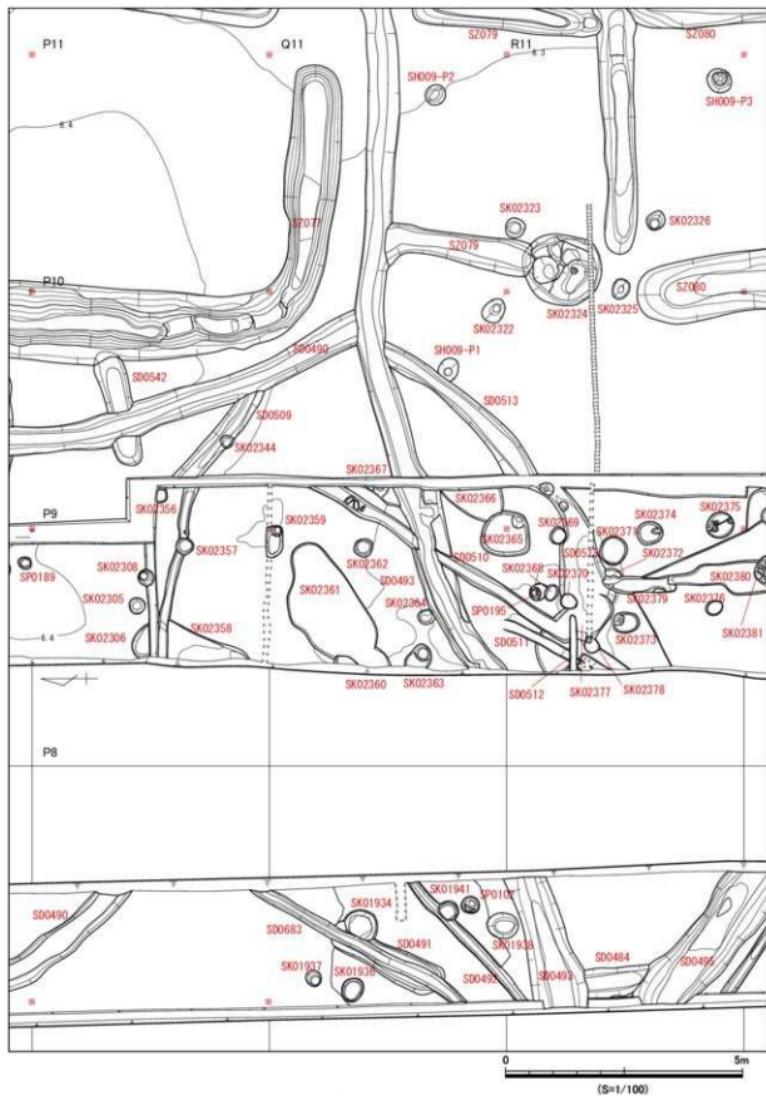


図735 ②面構全体図分割図38

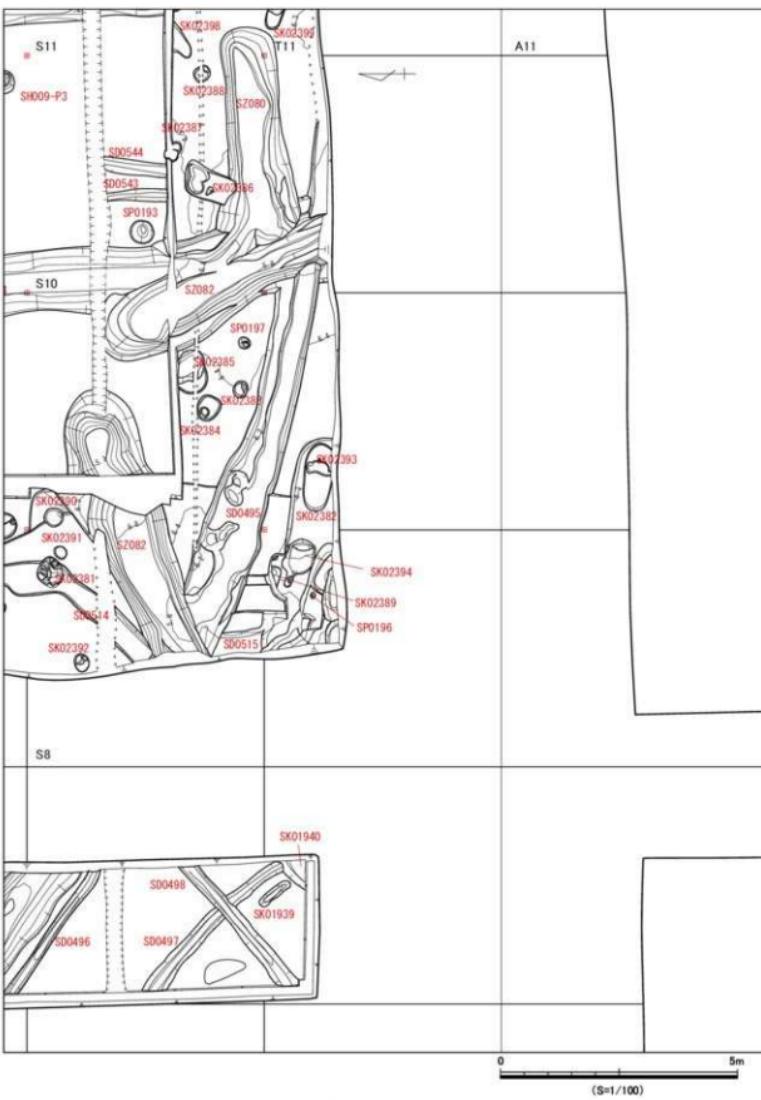


図736 ②面遺構全体図分割図39



図737 ②面遺構全体図分割図40

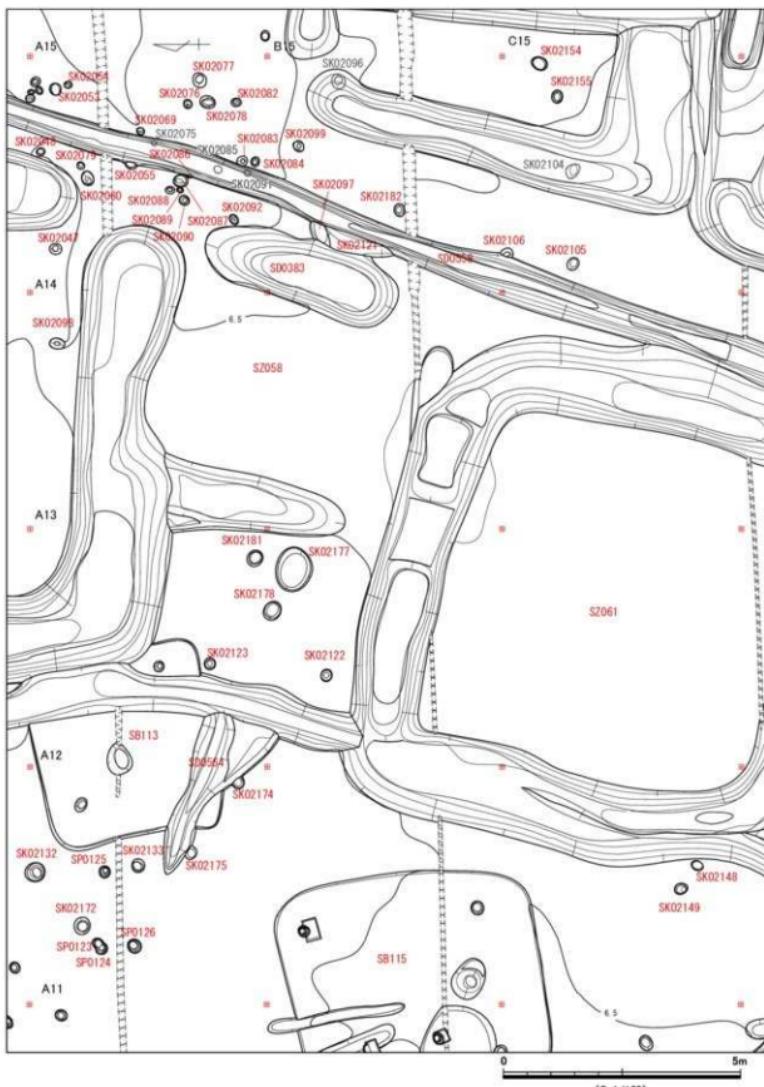


図738 ②面遺構全体図分割図41

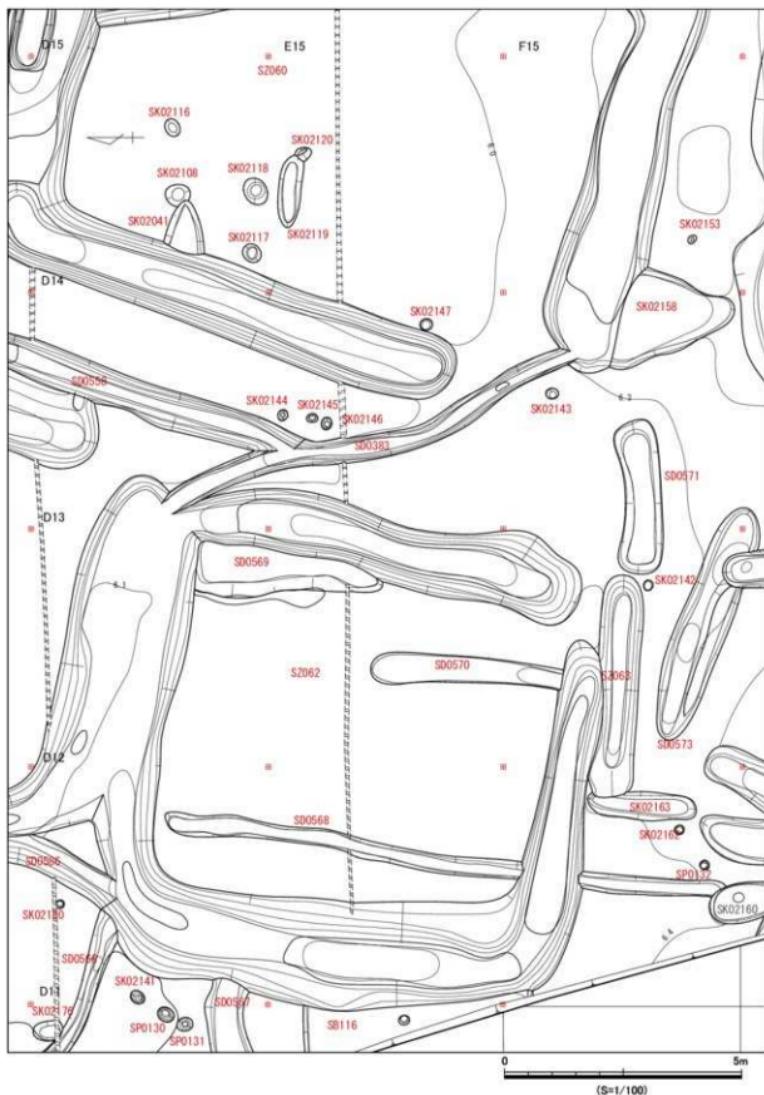


図739 ②面遺構全体図分割図42

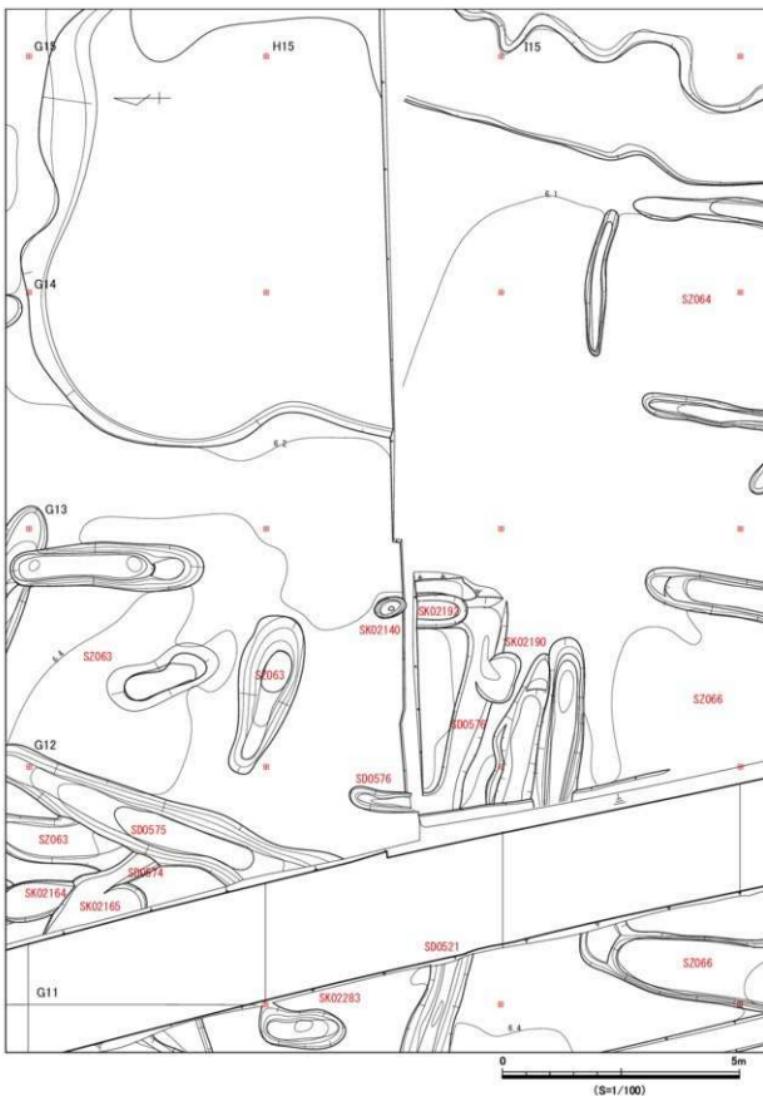


図740 ②面遺構全体図分割図43

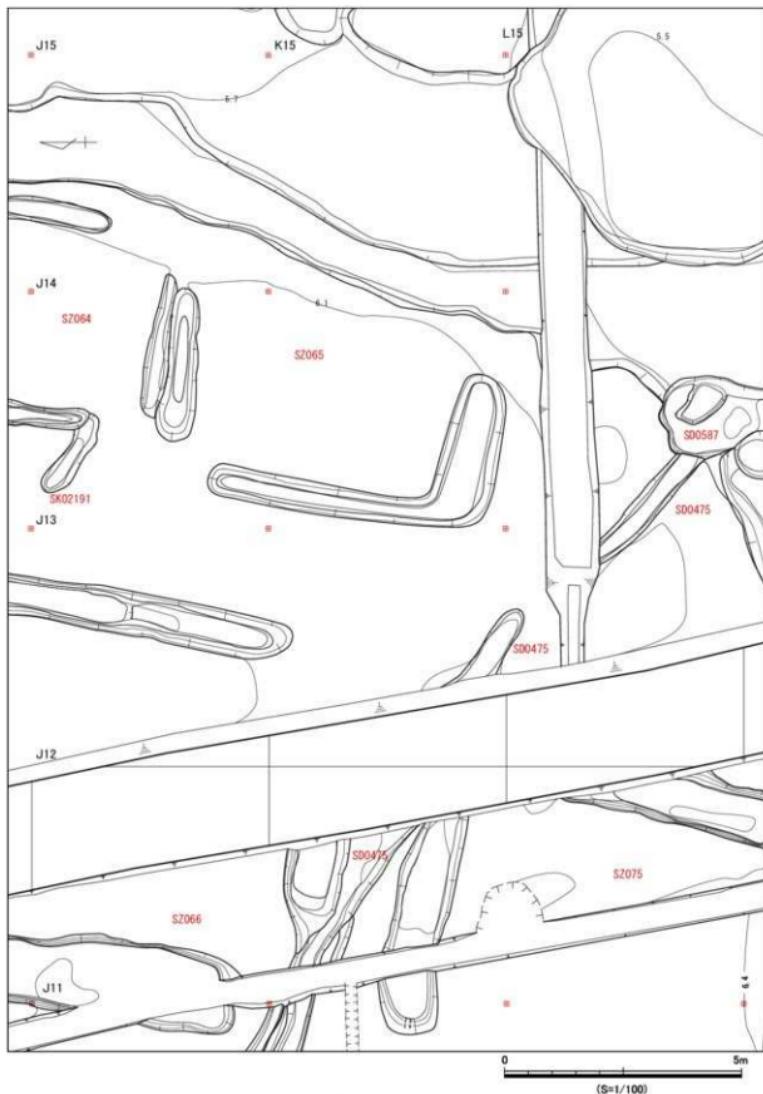


図741 ②面遺構全体図分割図44

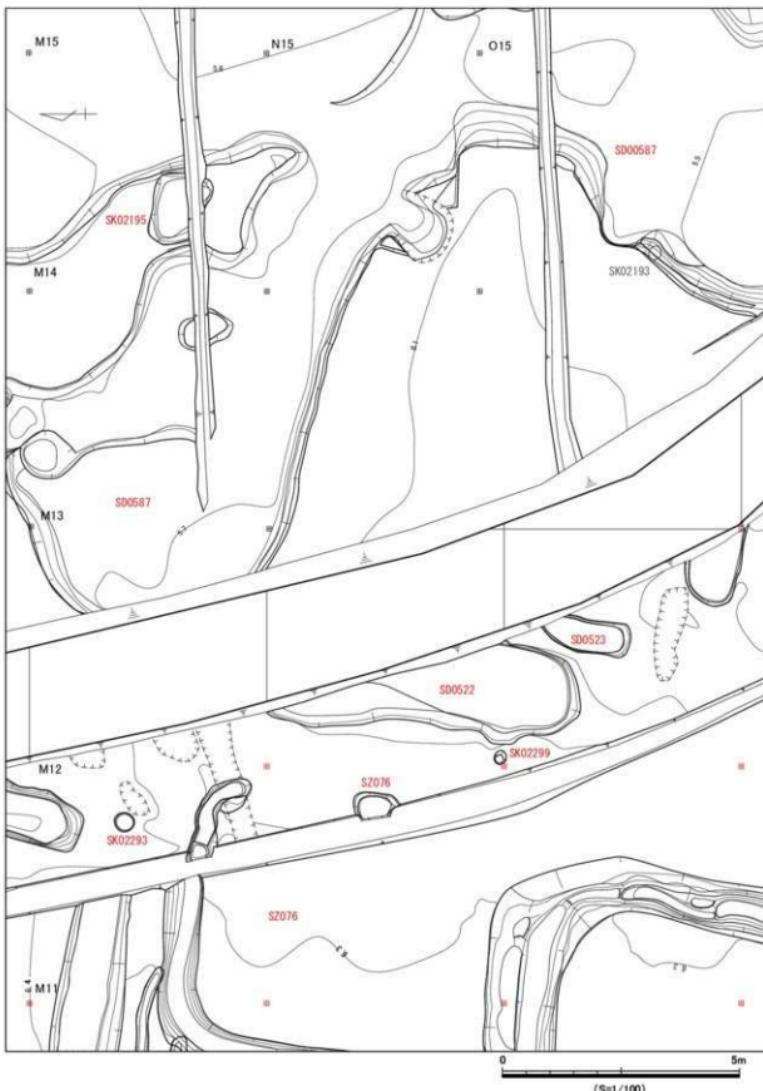


図742 ②面遺構全体図分割図45

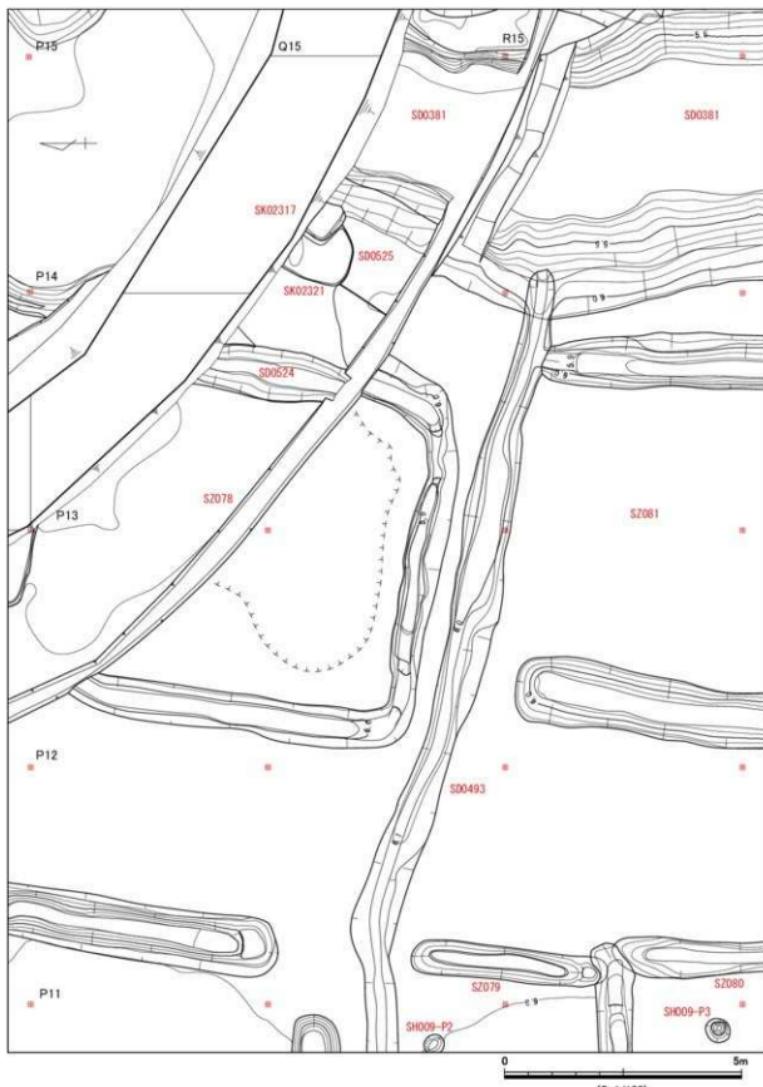


図743 ②面遺構全体図分割図46

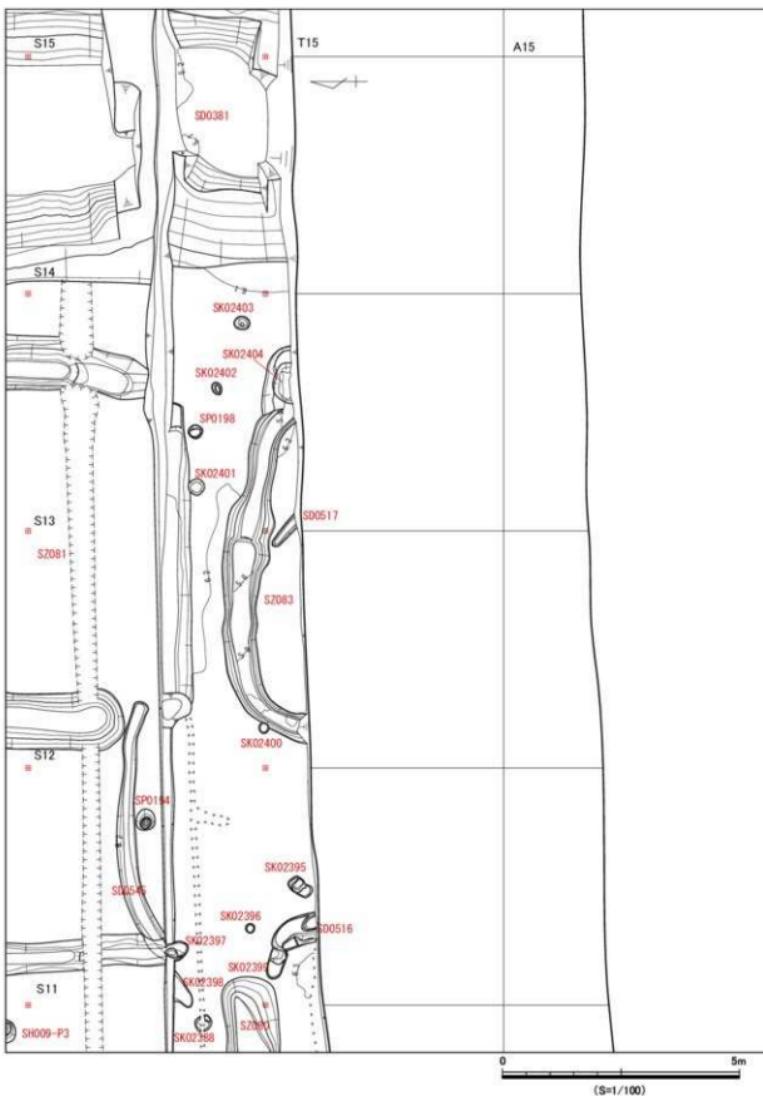


図744 ②面遺構全体図分割図47



図745 ②面遺構全体図分割図48



図746 ②面遺構全体図分割図49

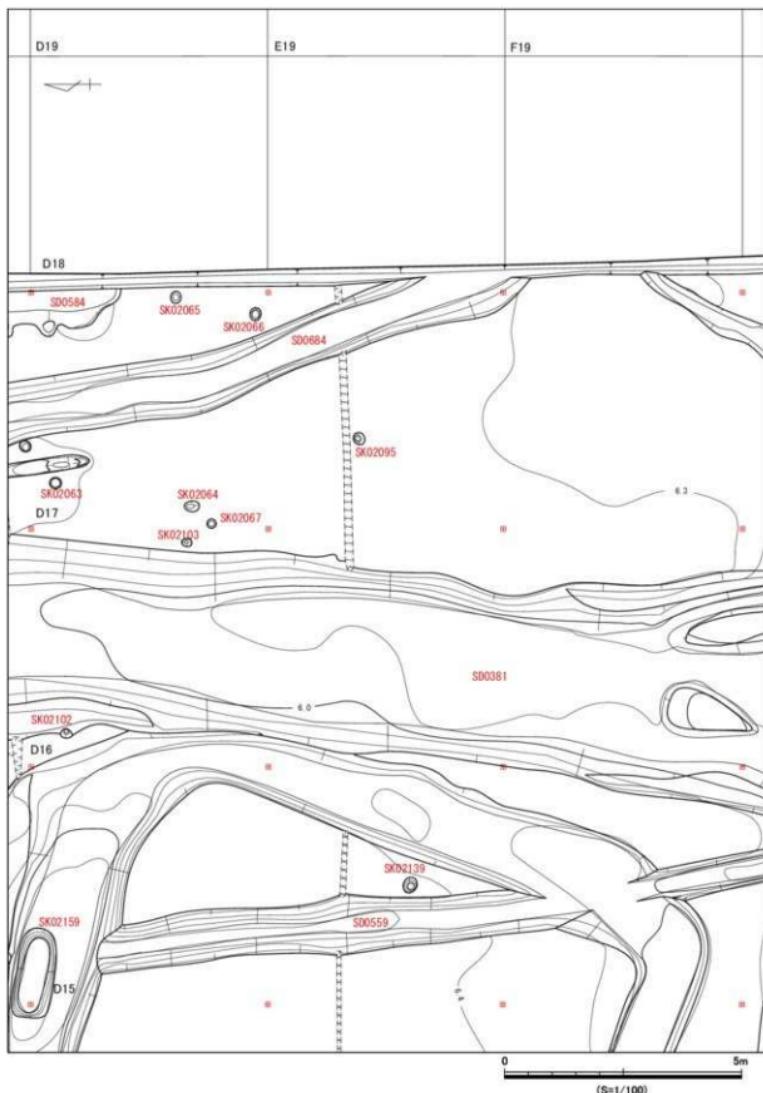


図747 ②面遺構全体図分割図50



図748 ②面遺構全体図分割図51



図749 ②面遺構全体図分割図52

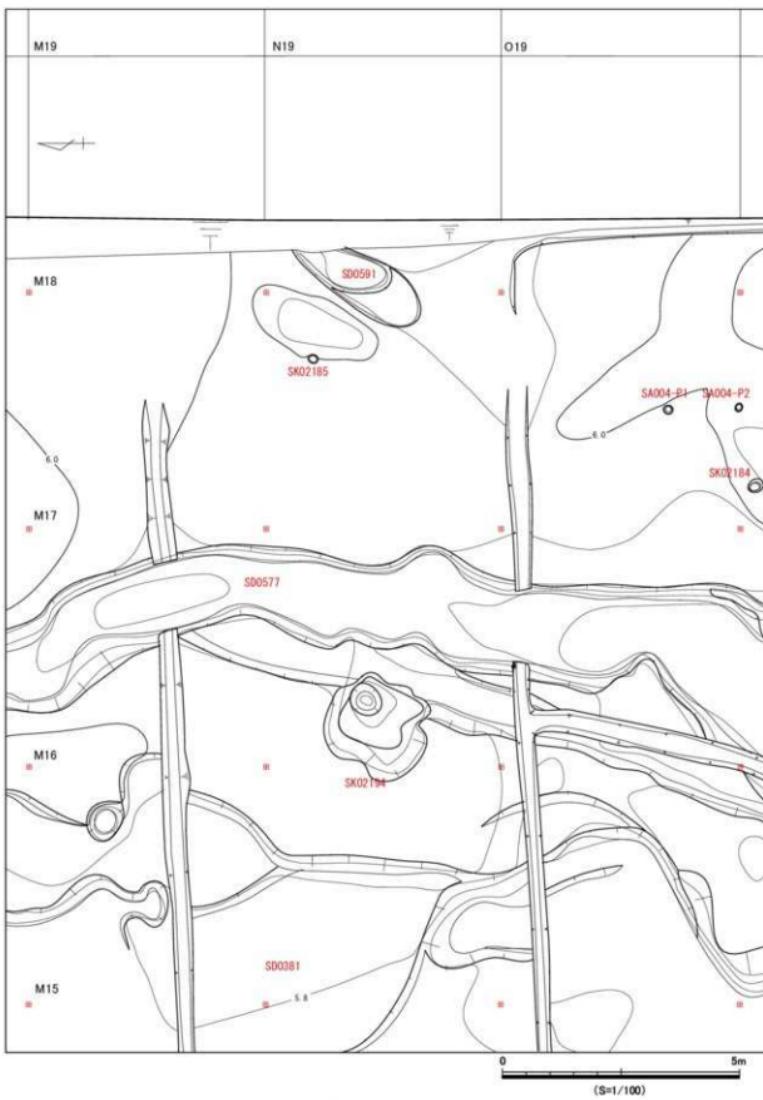


図750 ②面遺構全体図分割図53

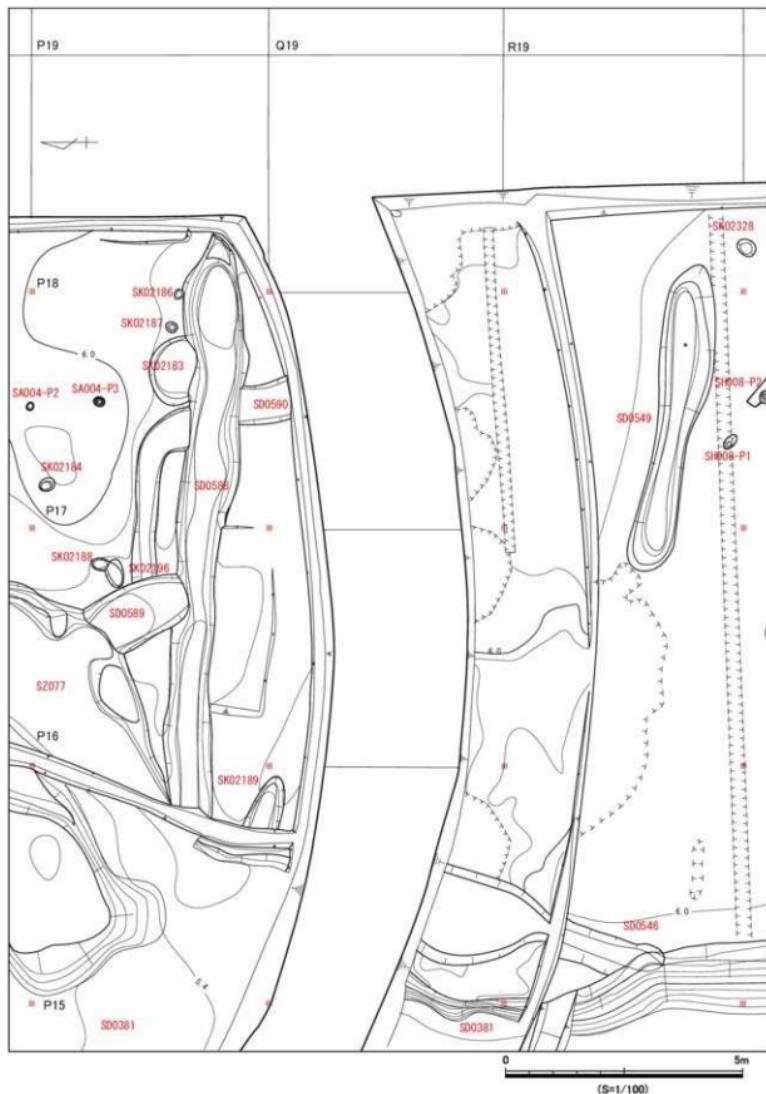


図751 ②面構全体図分割図54

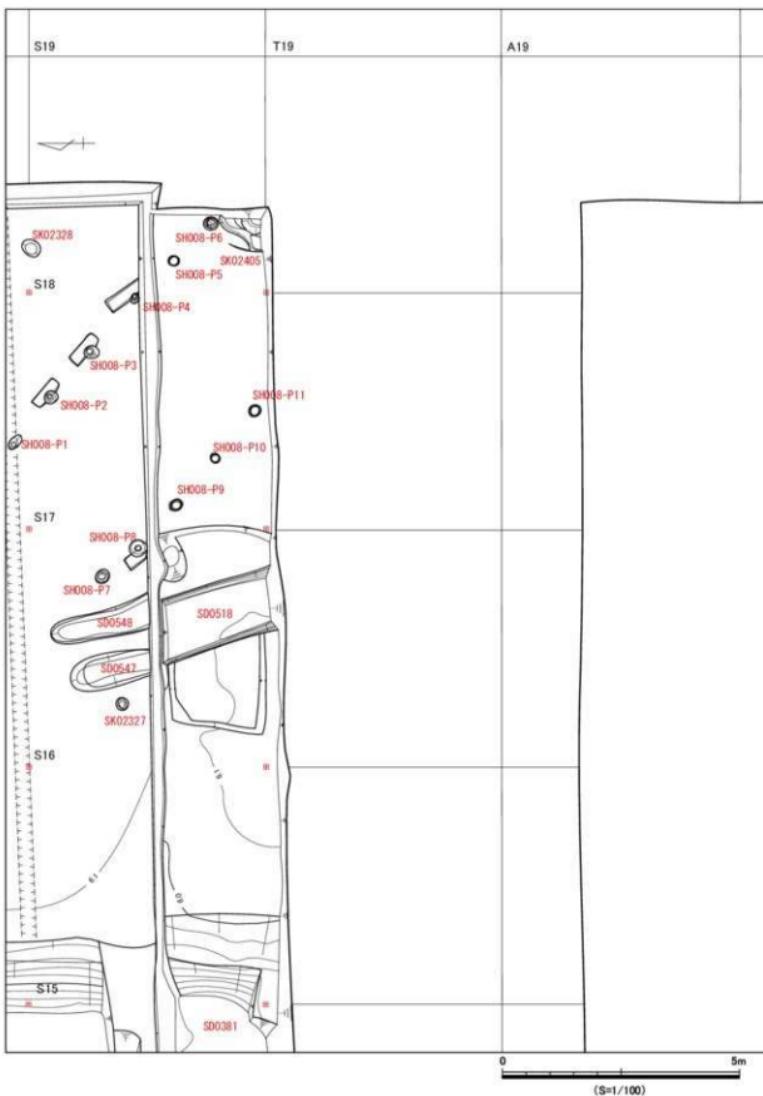


図752 ②面遺構全体図分割図55

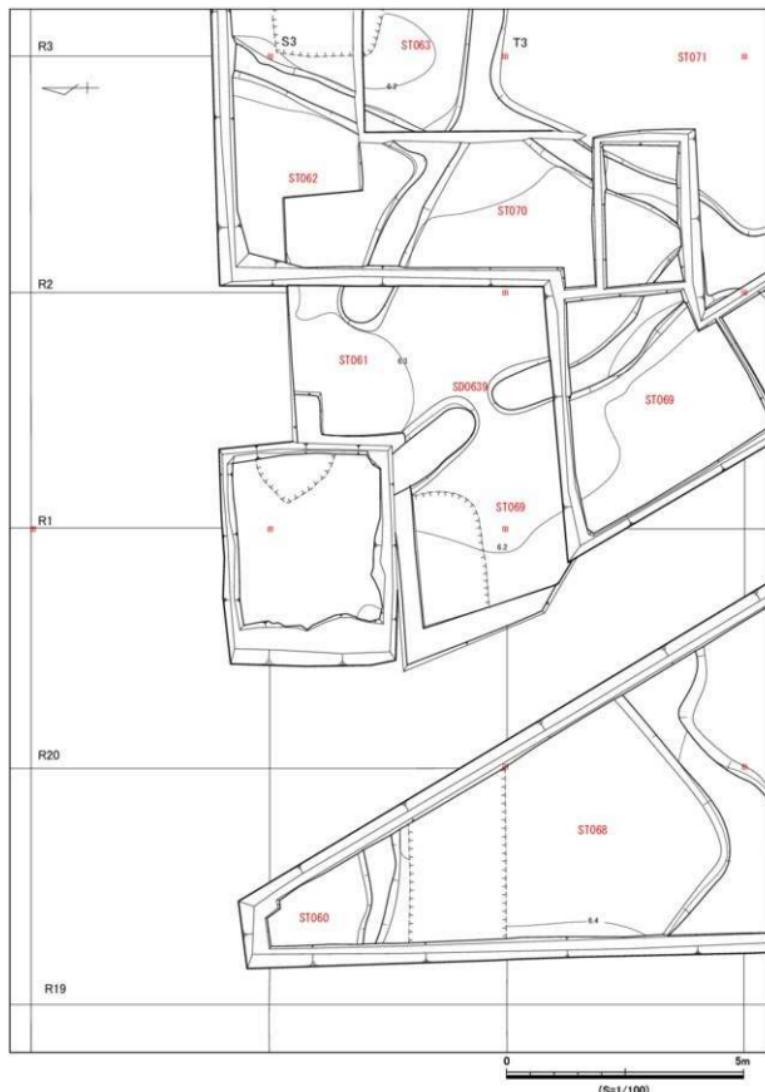


図753 ②面遣構全体図分割図56



図754 ②面遺構全体図分割図57



図755 ②面遣構全体図分割図58

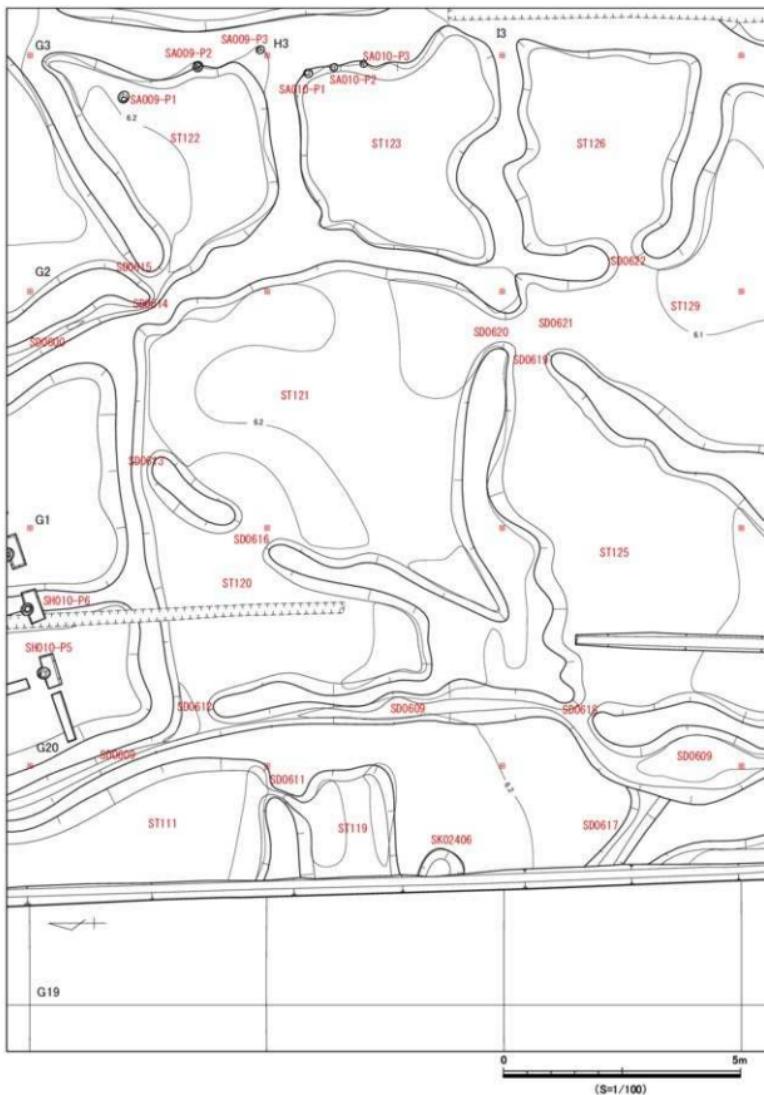


図756 ②面遺構全体図分割図59

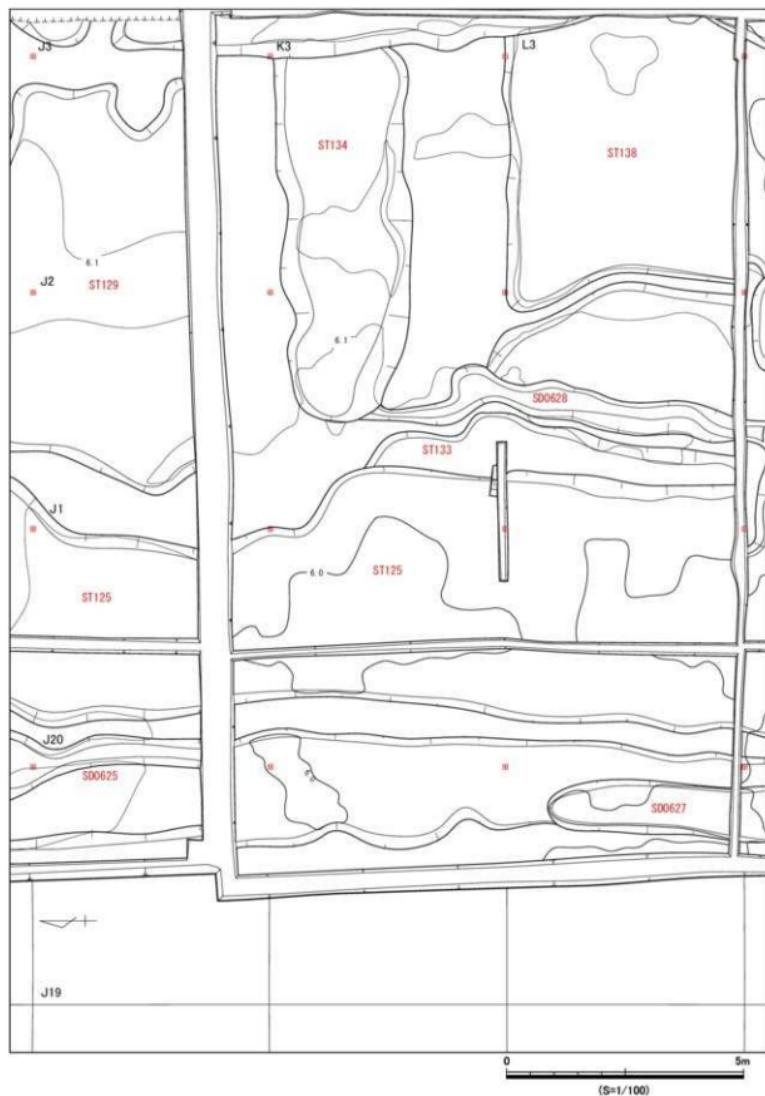


図757 ②面遺構全体図分割図60



図758 ②面遺構全体図分割図61



図759 ②面遺構全体図分割図62

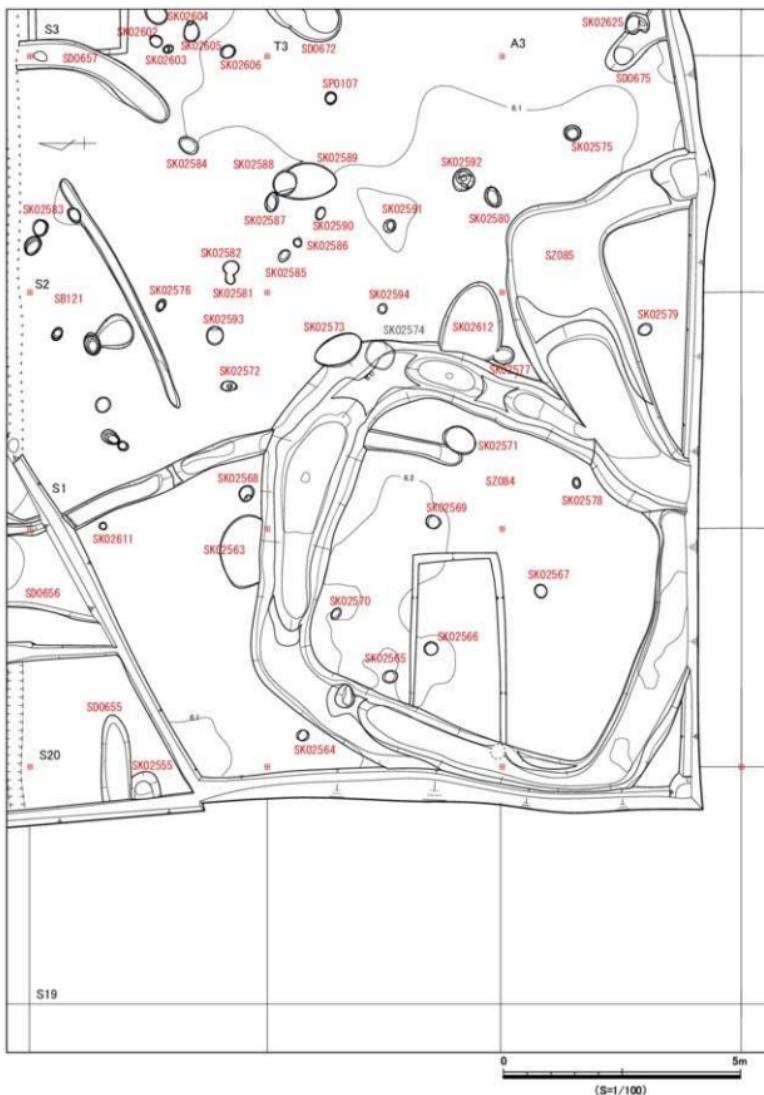


図760 ②面遺構全体図分割図63

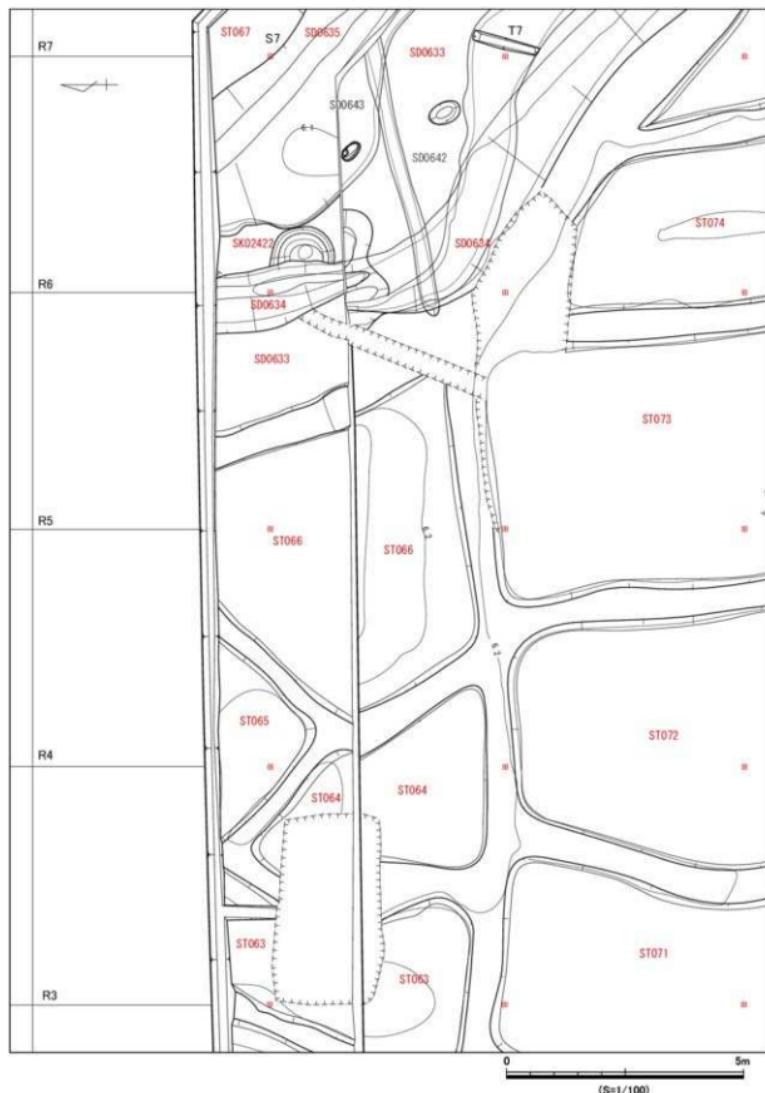


図761 ②面遺構全体図分割図64

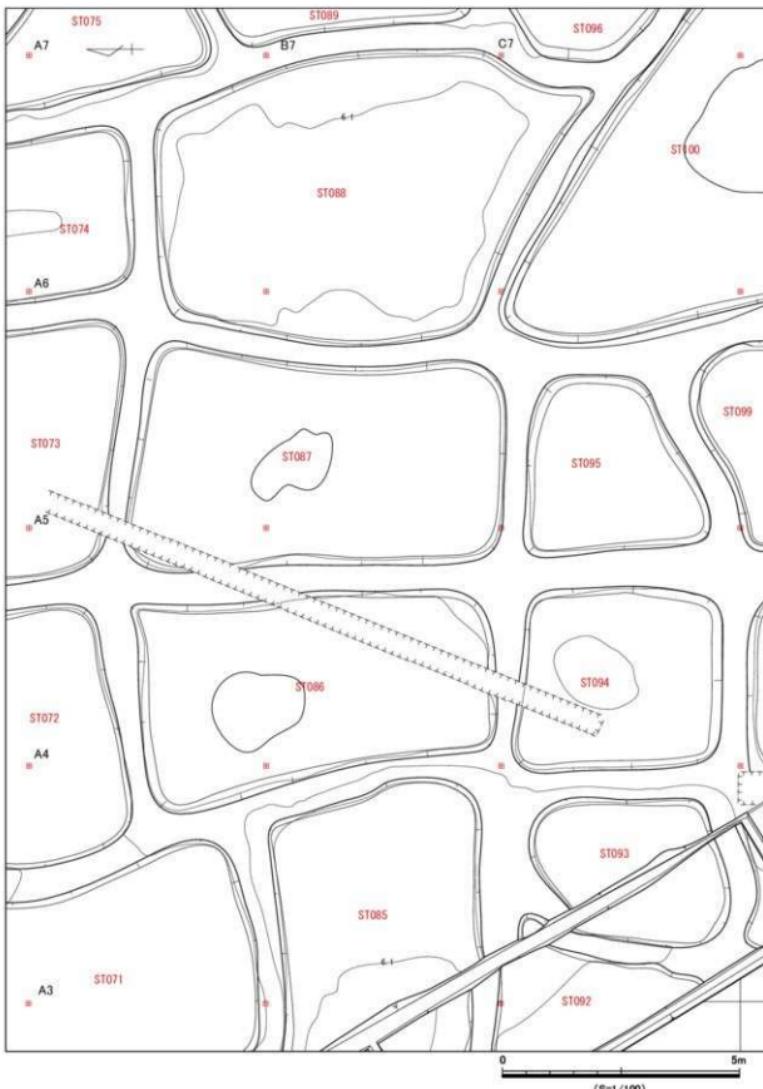


図762 ②面遺構全体図分割図65



図763 ②面遺構全体図分割図66



図764 ②面遺構全体図分割図67



図765 ②面構全体図分割図68

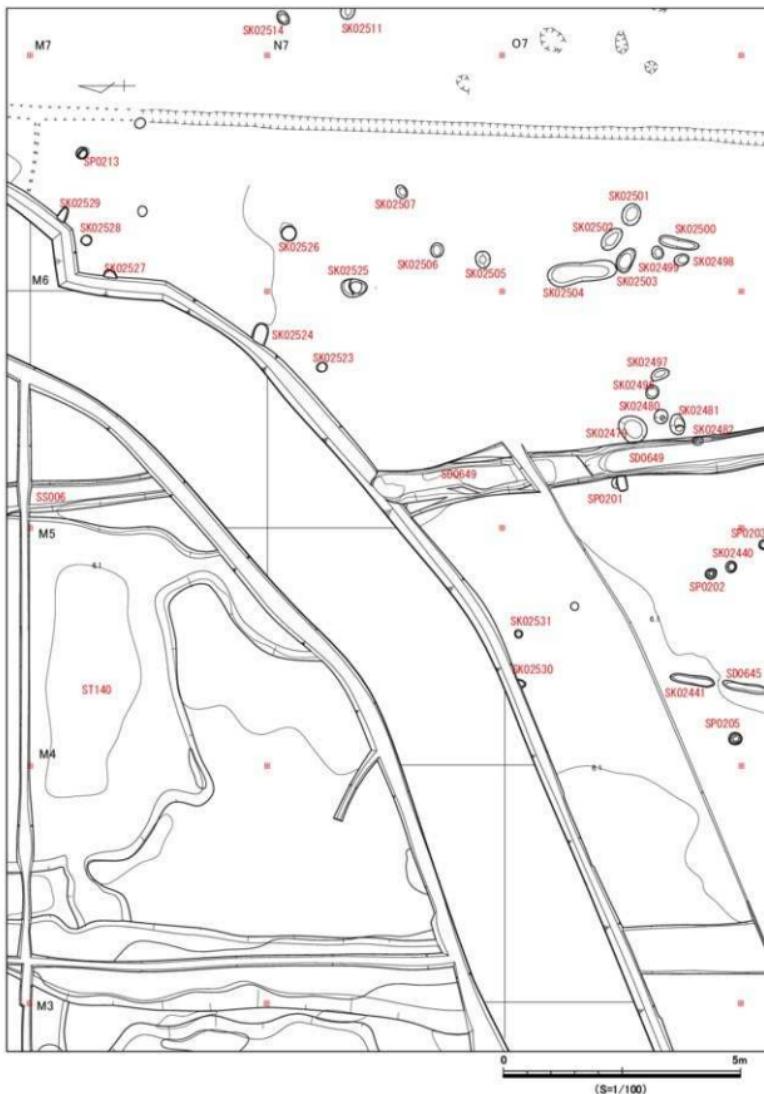


図766 ②面遺構全体図分割図69

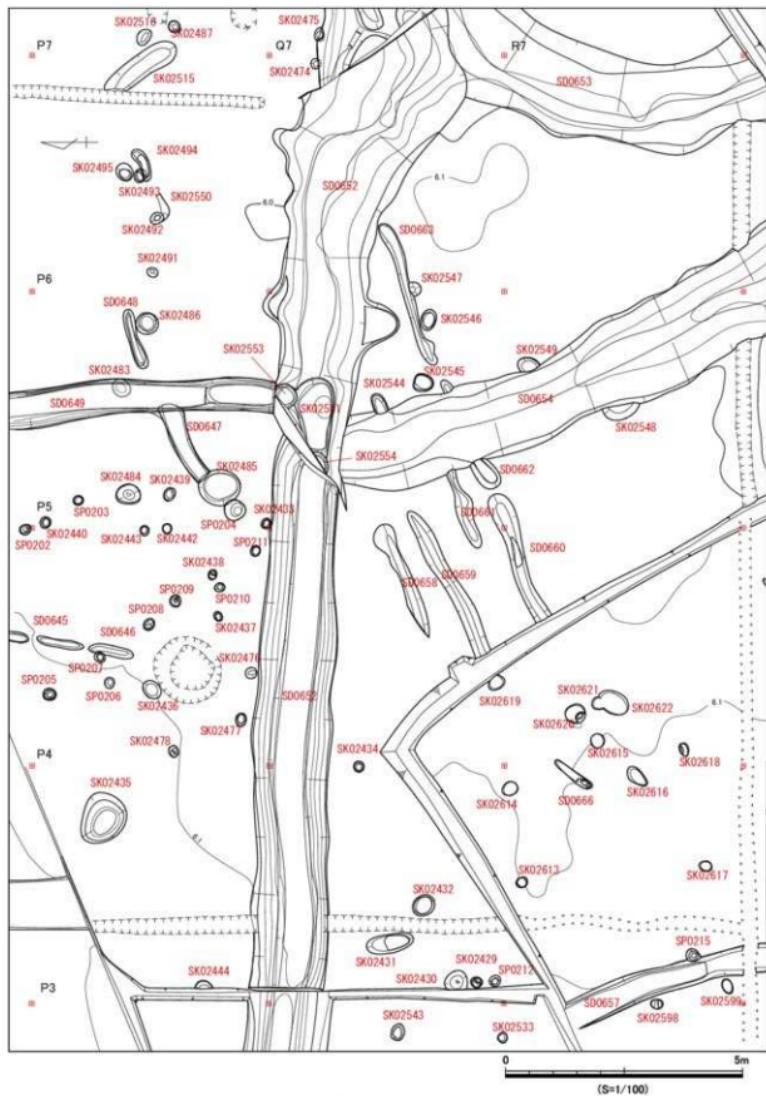


図767 ②面構造全体図分割図70

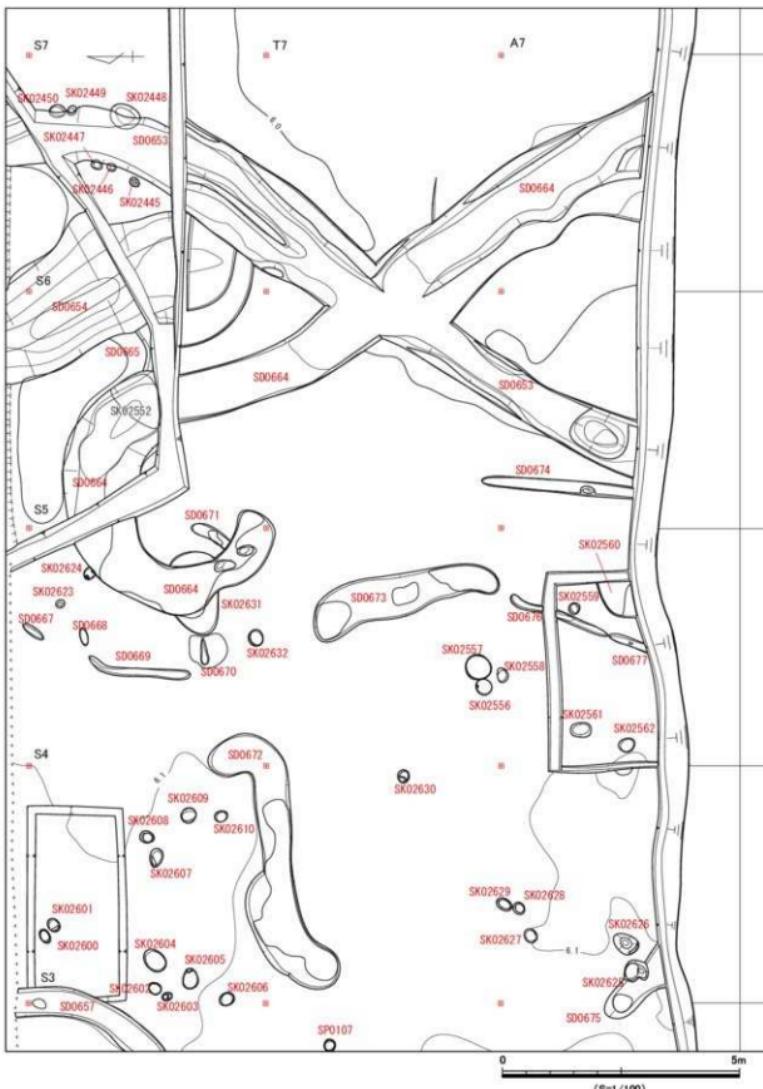


図768 ②面構造全体図分割図71

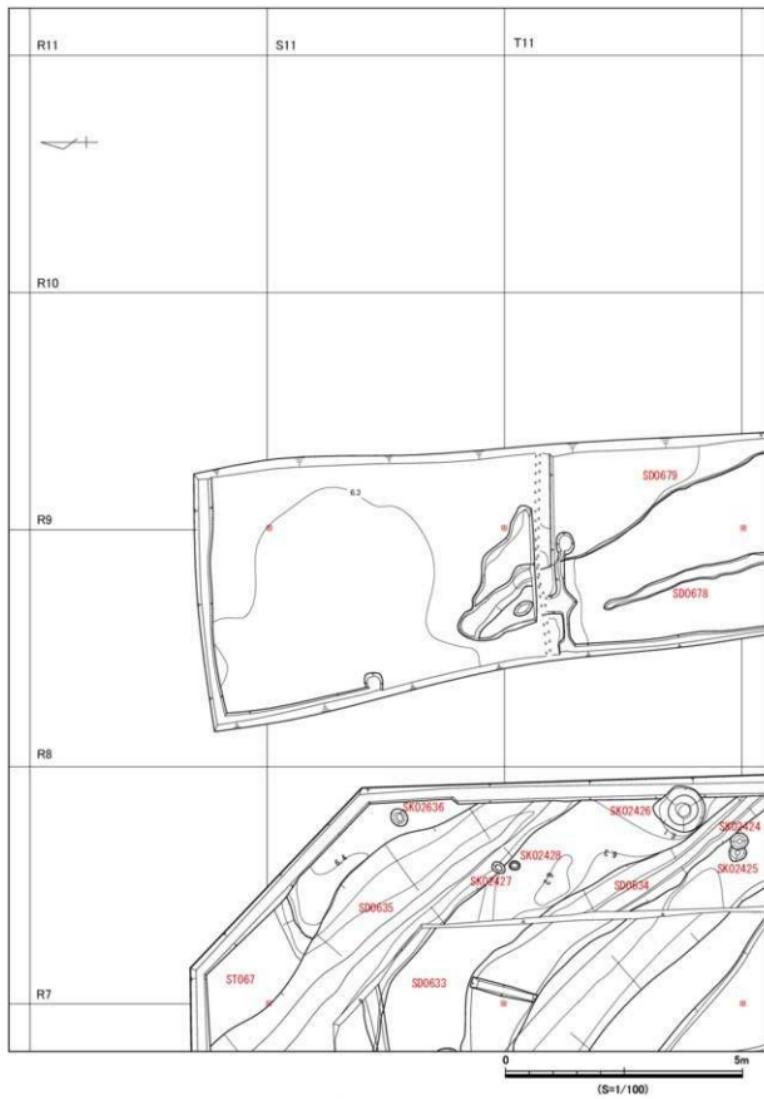


図769 ②面構全体図分割図72

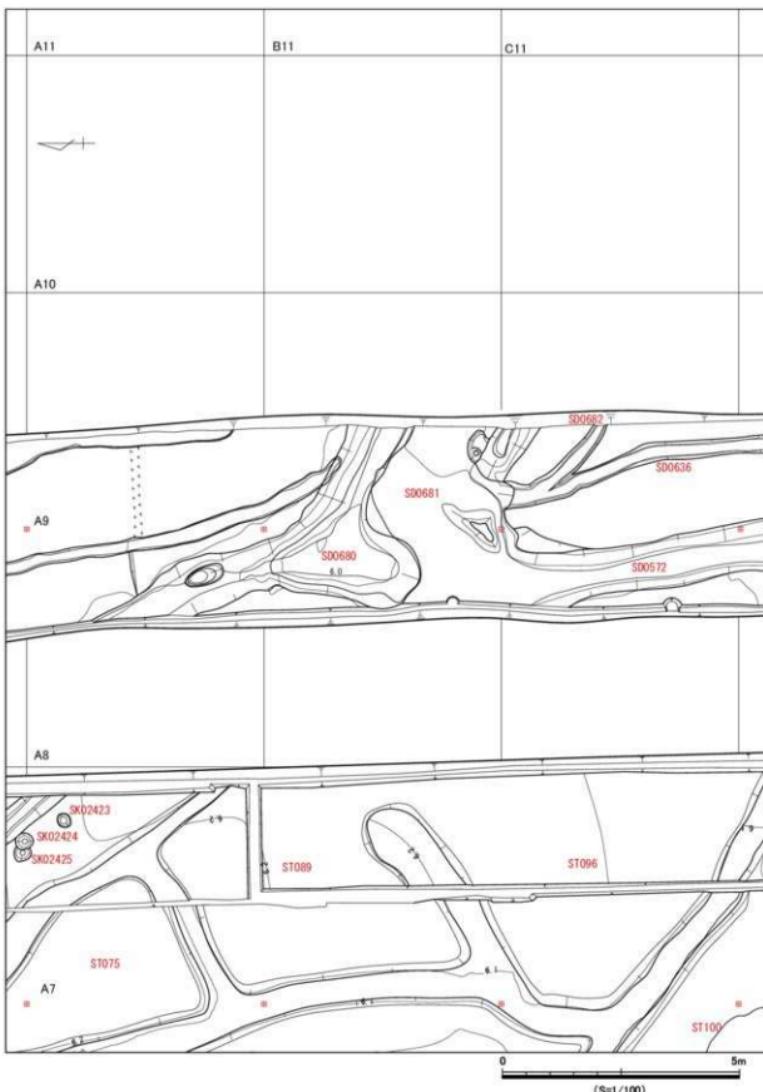


図770 ②面遺構全体図分割図73

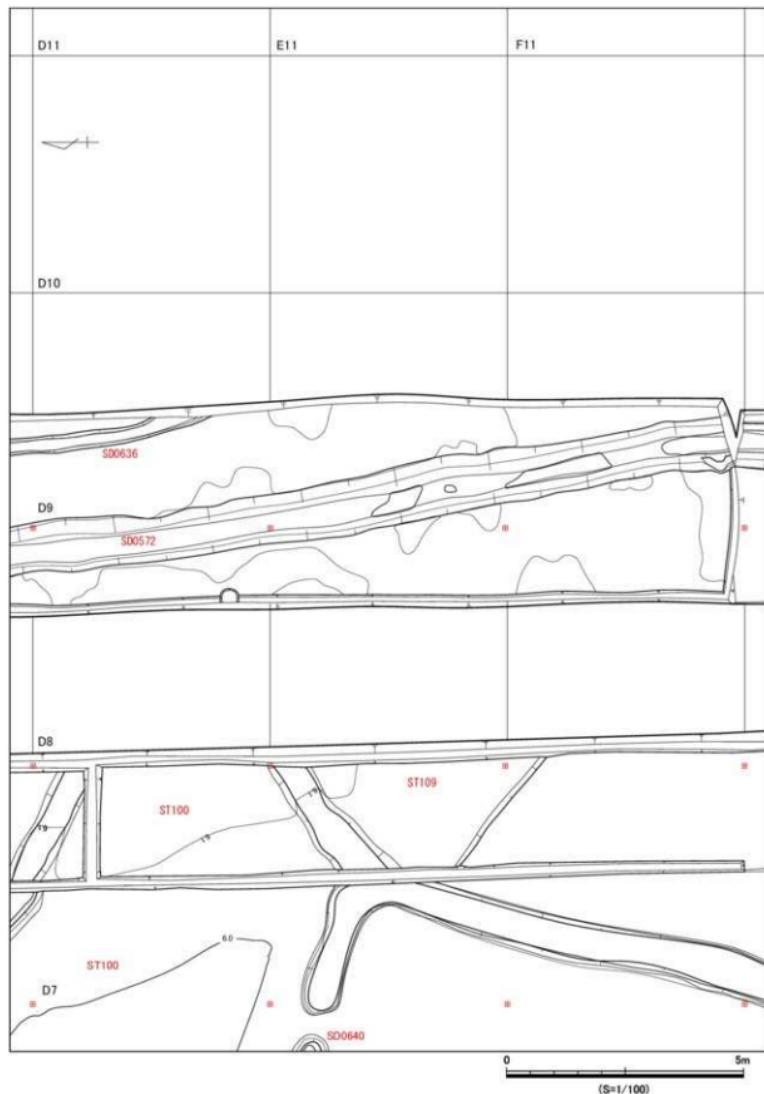


図771 ②面遺構全体図分割図74



図772 ②面遺構全体図分割図75

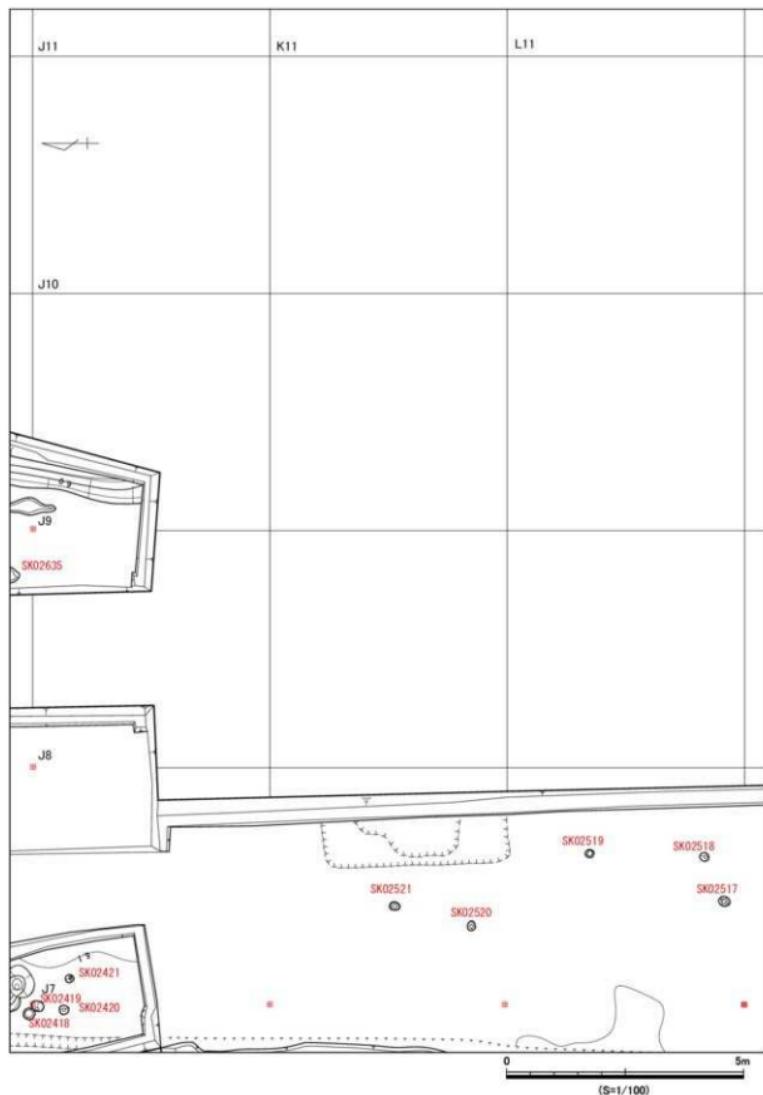


図773 ②面遺構全体図分割図76

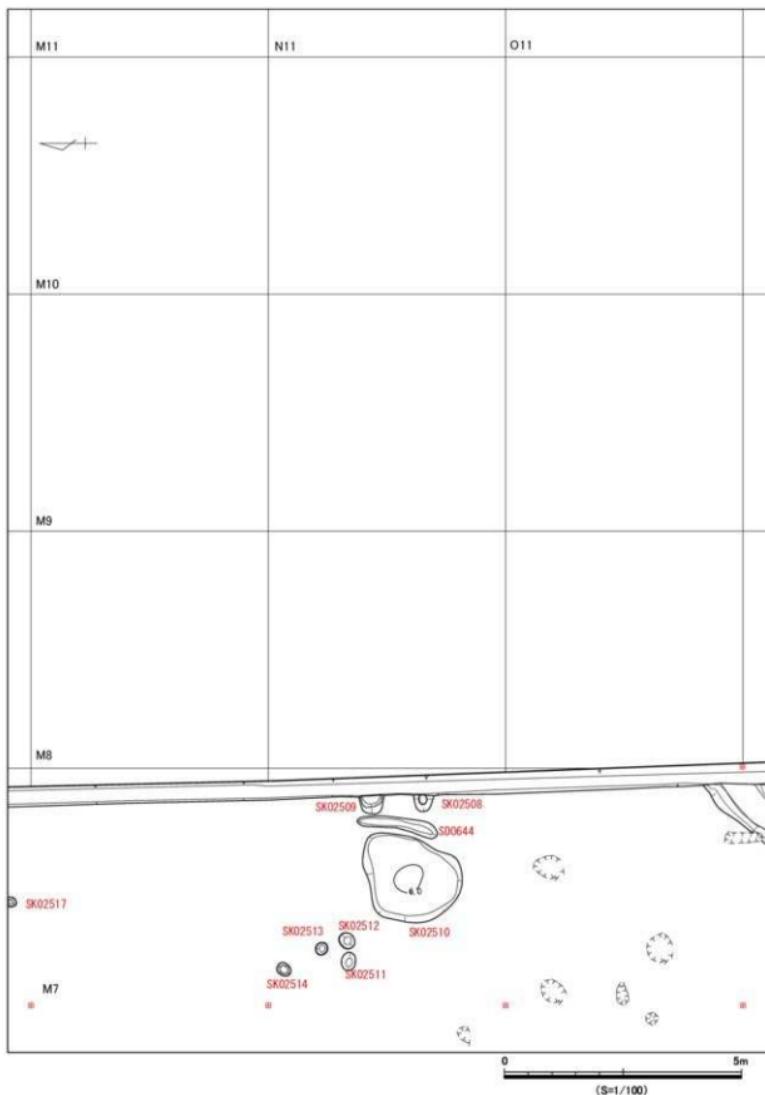


図774 ②面遺構全体図分割図77

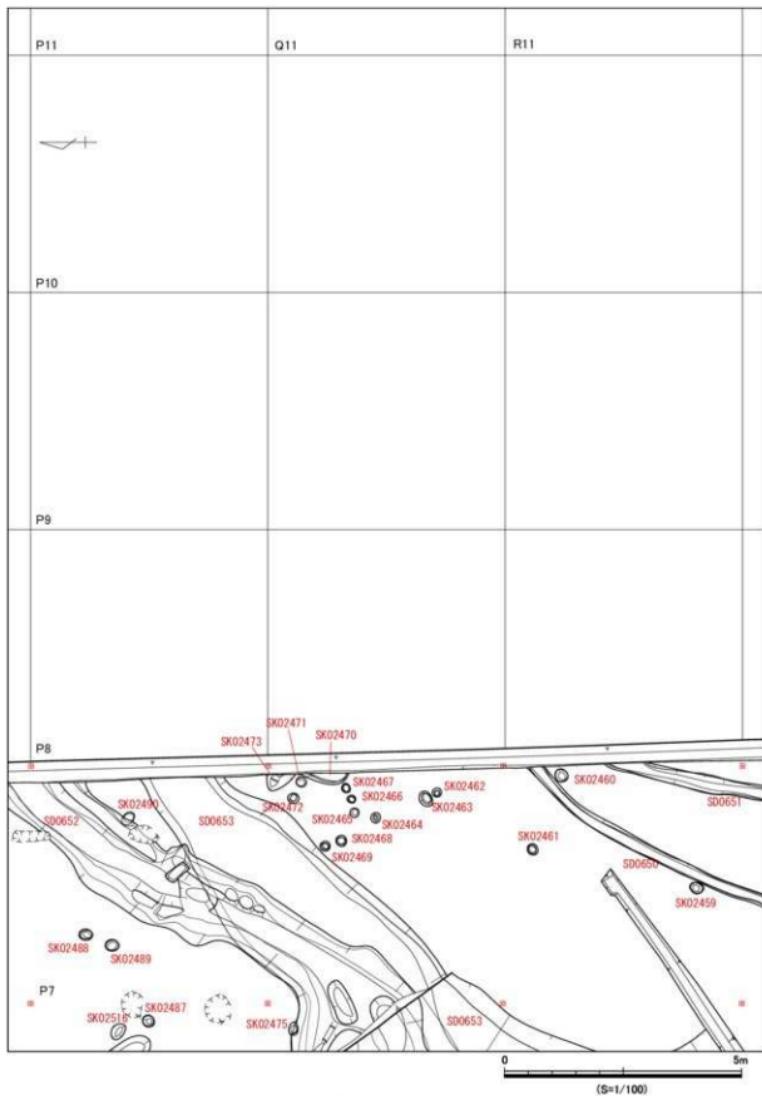


図775 ②面遺構全体図分割図78

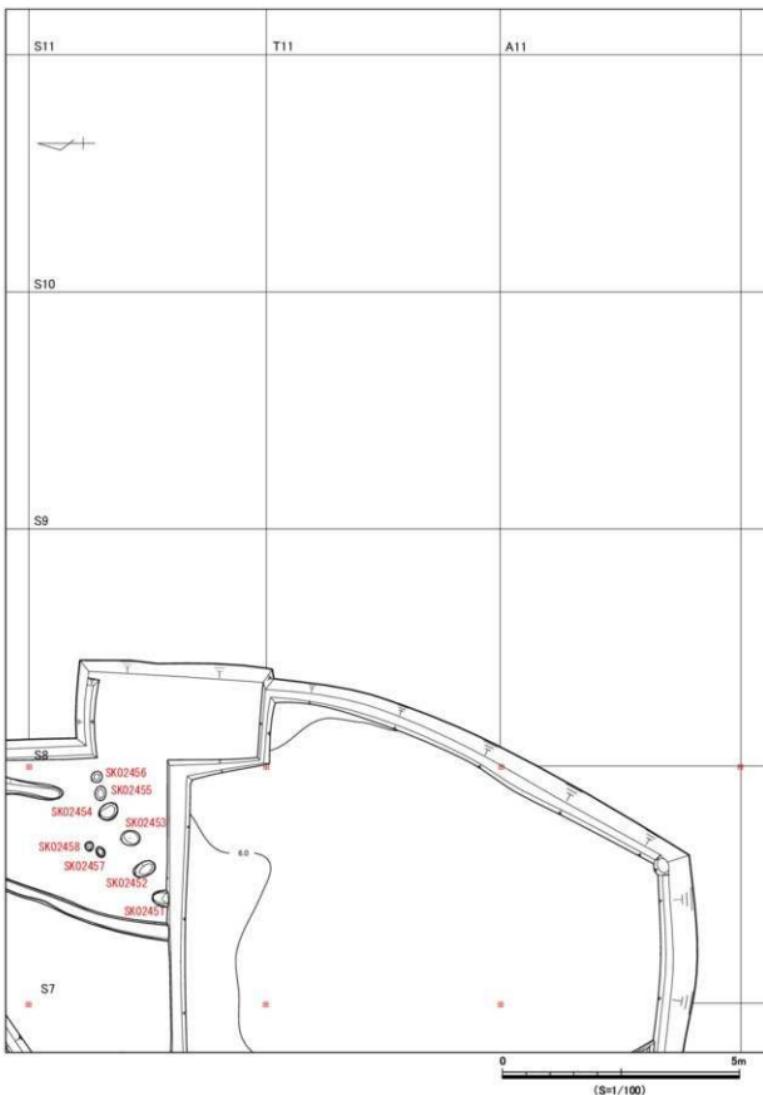


図776 ②面遺構全体図分割図79

岐阜県文化財保護センター調査報告書 第121集

荒尾南遺跡B地区 I

(第3分冊)

2012年2月29日

編集・発行 岐阜県文化財保護センター

岐阜市三田洞東1-26-1

印 刷 新日本法規出版株式会社